記者ハンドブック

新聞用字用語集

第13版

共同通信社

まえがき

1956年に初版を発行した共同通信社「記者ハンドブック」は本書で13版となります。記事は①分かりやすくやさしい文章、言葉で書く②できるだけ統一した基準を守る―という原則に変わりはありません。そのよりどころとなるように心掛けて編集しました。

ハンドブック13版は、「改定常用漢字表」による漢字使用の原則を見直した12版を基本に、「用字用語集」で異字同訓の使い分けの見直しを行いました。文化審議会が2014年に発表した「『異字同訓』の漢字の使い分け例」を参考に、できるだけ現行の枠内で見やすく、分かりやすい説明で使い分けに迷うことのないよう語義、用例を見直しました。漢字表については、日本新聞協会用語懇談会の基準を参考に、常用漢字以外に使用を認める若干の漢字を加えています。

本書が新聞、通信、放送だけでなく社会一般の文章表記にも役立つことを願っています。改訂に当たっては共同通信加盟社に多大な協力をいただきました。改めて感謝申し上げます。

2016年3月

共同通信社

目次

時差表
まえがき
新聞記事の大原則 —— 7
記事の書き方 —— 8

新聞漢字・仮名遣い

漢字表 —— 12
付表 —— 75
表外漢字字体表 —— 78
人名用漢字 —— 82
現代仮名遣い —— 88
「ぢ」「じ」、「づ」「ず」の使い分け用例集 — 90
送り仮名の付け方 —— 94
経済関係複合語の送り仮名 —— 102

書き方の基本

用字について —— 106
　漢字使用 —— 106
　平仮名使用 —— 107
　片仮名使用 —— 109
学術用語 —— 110
動植物名の書き方 —— 111
用語について —— 113
　句読点 —— 115
引用符 —— 118

繰り返し符号（踊り字）——118
その他の符号——119

用字用語集

使用の際の原則——122
凡例——122
用字用語集の記号——123
用字用語集——126
誤りやすい語句——479
差別語、不快用語——490

記事のフォーム

原則——498
箇条書き——498
発信地——498
解説、注、末尾編注——499
読み仮名とつづり——500
談話——500
一問一答、対談、座談会——501
時の人——501
ズーム——502
国会関係——502
政治——506
叙位叙勲——508
選挙——508
官庁人事——511
略歴——512
出身地、本籍地——515
責任者、所在地——515
決算——515

会社人事 516
新聞・放送・通信社人事 517
死亡記事 519
日時の書き方 527
年月日 527
年度 528
時間 529
その他 530
地名の書き方 532
人名、年齢の書き方 534
姓名 534
肩書 534
敬称 536
敬称を付けない場合 537
名前を伏せる場合 537
事件、事故報道の呼称 539
年齢 540
住所、職業、姓名、年齢の順序 541
数字の書き方 543
表記の基準 543
数え方の基準 548
助数詞適用の基準 549
数字の表記例 553
運動記事の書き方 559
運動選手の呼称 559
運動記事のフォーム 559
各競技の新記録 560
世界新記録・日本新記録 560
皇室用語について 562
皇室用語の扱い方 562
皇室用語の表記例 564

資料編 1

全国の市名・区名 566
政令指定都市の区名 576
紛らわしい地名 579
紛らわしい会社名 590
登録商標と言い換え 593
紛らわしい法令関連用語 597
病名・身体諸器官の表記例 612

資料編 2（巻末より）

年号・西暦対照表 751
外来語の書き方、用例 755
外来語・片仮名語用例集 757
運動用語仮名表記 733
外国の地名・人名の書き方 728
外国地名一覧 714
樺太、千島の地名の書き方 682
外国人名表記例 681
人名等に使われる中国略字表 675
新聞略語集 671
世界のメディア 642
計量単位の使い方 641
計量単位換算表 638
主な計量単位と種類 636
主な建造物・山岳 628
索引 767
年齢早見表

新聞記事の大原則

1 新聞記事は、日常一般に使われる標準的な分かりやすい口語体を使い、文語体や文語的表現は避ける。

2 文章は内閣告示に基づく常用漢字と音訓表をもとに本社が定めた字種と読み、および現代仮名遣いによる漢字・平仮名交じり文を主体にし、必要に応じて片仮名、ローマ字を使う。

3 送り仮名は送り仮名の付け方を原則とする。

4 社外執筆者の署名原稿については、本社の原則によることを要請するが、筆者が強く希望する場合は例外的表記を認める。

記事の書き方

【6要素と逆三角形】

記事の大原則は「正確に、早く」だ。それに加え、難しい事象であっても「分かりやすく」「コンパクト」にまとめることが重要となる。

その中心となるのは、いつ（WHEN）どこで（WHERE）だれが（WHO）なにを（WHAT）なぜ（WHY）どのように（HOW）の「6要素（5W1H）」だ。

「5W1H」のどれが一番重要かは個々のニュースによって異なるし、どんな記事にも必ず6要素が含まれるというわけでもない。読者に伝えるべき点やその優先度を判断し、必要に応じて内容をかみ砕き、理解しやすく書くことが求められている。もう一つのWとなる、記事が読者に対して持つ意味・値打ち（WORTH）の判断も大切だ。

記事では、結論を先に盛り込むなど、重要な要素から順に書いていく「逆三角形」の文体とするのが大前提となる。

【見出し、リード】

見出しは、読者が最初に目にするもので、ニュースの看板であり、ニュースのダイジェストとなる。1本目で読者の目を引くとともに、基礎知識がなくても理解してもらえるようにし、忙しい読者ならば見出しだけ見れば済むよう必要な情報を盛り込む。簡潔な記事の極致とも言える。

記事の重要性によって見出しの数は1～5本となるが、可能であれば1本目の主見出しだけで、難しければ2本目の見出しと合わせて、何についてのニュースでポイントがどこかを伝えられるよう、キーワードを前へ寄せる工夫をしたい。

リードとは、重要な記事の第1段落にニュースの概要を記述したものだ。読者がリードだけを読んでも理解できるように工夫する必要がある。1面トップクラスの場合でも20行以内としたい。見出しの要素を盛り込むことも必要だ。

リードに続けて、重要な事項の詳しい説明などを書き、ニュースの内

容がより詳しく伝わるようにする。重複に注意したい。

記事はその日の紙面の状況やニュースの内容によって、新聞掲載時は短くされるケースも多い。逆三角形の文体とするだけでなく、できるだけ1段落、1節ごとに記述をまとめ、記事を短くしやすくするよう心掛ける。拡大文字化などに伴い、掲載できる記事の量が減っている傾向にあり、全体をコンパクトにまとめることにも留意したい。

【文章について】

1 簡潔で濃密、平明な記事と的を射たビジュアルの併用は、紙面構成の両輪である。写真や図解、表、グラフの活用を、絶えず念頭に置いて執筆する。

2 送信記事は、1行11字組みを原則とする。本文の初めと改行のアタマは1字下げにする。

3 記事はなるべく10行以内で改行し、やむを得ないときも15行を超えないようにする。文意により2、3行で改行してもよい。

4 文は工夫してなるべく短くする。1文中に何もかも盛り込もうとすると、長くなって読みにくい。

5 かぎかっこなどの中の文章は改行しない。長くなるときは文章を二つに分けるなどの工夫をする。

6 主語と述語の関係をはっきりさせる。特に両者の照応、一方の脱落に注意する。

7 主語と述語はなるべく近づける。1文中にいくつもの主語、述語を盛り込むと分かりにくい。なるべく2文、3文に分ける。

8 修飾語はあまり長くしない。形容詞、副詞は、その係る言葉のすぐ前にもってくる。

9 曖昧な表現、分析中断、思考放棄の表現（「ということで」「いずれにしても」など）を避け、具体的で生き生きした表現を工夫する。

10 内容に応じて箇条書きの方法を取り入れ、視覚的にも読みやすくする。

新聞漢字・仮名遣い

漢字表 —— 12
付表 —— 75
表外漢字字体表 —— 78
人名用漢字 —— 82
現代仮名遣い —— 88
「ぢ」「じ」、「づ」「ず」の使い分け用例集 —— 90
送り仮名の付け方 —— 94
経済関係複合語の送り仮名 —— 102

漢字表

1 記事は、原則としてこの漢字表に示した字と読み（音訓）の範囲で漢字を使う。漢字表にない字（表外字）を含む言葉や固有名詞などの書き方は106ページ「用字について」を参照。

2 2010年内閣告示の常用漢字表は2136字で構成されるが、本社はこのうち7字を使わず、常用漢字表にない8字を使う。音訓も独自に使用、不使用を決めているものがある（14に詳細）。10年に常用漢字表に追加された196字は赤字で示した。

3 この表にある漢字は、ここに示した字体を使う。旧字体などの扱いは「用字について」で説明している。

4 この表は読みの五十音順に配列し、読みが複数ある字は重複して載せた。同じ字の訓読みが五十音順で近接している箇所は一つにまとめた。

5 音読みは片仮名、訓読みは平仮名で示した。送り仮名の部分は太字で示した。

6 1番目に音読みが書いてある字はその字の全ての音訓を示した。1番目が訓読みで音訓の多いものは、その字の代表的な音読みを参照するよう矢印で示した上で一部の読みを省略した。

〔例〕仰　あお・ぐ（→ギョウ）

7 文部科学省が「学年別漢字配当表」で定めた教育漢字（小学校で習う1006字）は、丸で囲った数字①～⑥で習う学年を示した。

8 同省の「音訓の小・中・高等学校段階別割り振り表」に従い、教育漢字の音訓のうち小学校では習わないものには傍線を付けた。独自に使用することを決めた「証す＝あかす」にも傍線を付けた。

〔例〕兄② あに・ケイ・キョウ

9 ㊎印は常用漢字表にある読みだが、本社は読み仮名を付けて使うことを示す。この印が付いている読みの場合でも、熟字によっては読者が読めると判断し、読み仮名を付けないと個別に決めているものがある。1

22※からの用字用語集に示してある。

〔例〕（漢字表）塞　サイ㋹　ソク㋹
（用字用語集）こうそく　梗塞

10 名詞の形だけで掲げてある訓読みは、動詞（かっこ内）には使わない。

〔例〕印　しるし（しるす）　氷　こおり（こおる）

11 熟字になったために音訓が変化するものは、漢字を使ってよい。

〔例〕穏（おん）→安穏（あんのん）
音（おん）→観音（かんのん）

12 示された音訓以外でも語幹が同じで派生の関係にあり、同じ漢字を使用する習慣のある語は使ってよい。

〔例〕移る→移ろう　煙い→煙たい

13 漢字書きできるいわゆる当て字や熟字訓などは「付表」で示した。

〔例〕田舎＝いなか　乙女＝おとめ

14 常用漢字表との違い

常用漢字表のうち使わない7字

虞　且　遵　但　朕　附　又

常用漢字表にないが使う8字

磯＝いそ　炒＝いためる　絆＝きずな　栗＝くり
哨＝ショウ　疹＝シン　胚＝ハイ　淵＝ふち

常用漢字表にない音訓を加えた3字

証＝あかす　虹＝コウ　鶏＝とり

常用漢字表にあるが使わない訓読み

嘲＝あざける　煎＝いる
羨＝うらやむ・うらやましい　各＝おのおの
河＝かわ　葛＝くず　籠＝こもる　遡＝さかのぼる
蔑＝さげすむ　潰＝つぶす・つぶれる　萎＝なえる
妬＝ねたむ　罵＝ののしる　塞＝ふさぐ・ふさがる
蓋＝ふた　綻＝ほころびる　淫＝みだら
貪＝むさぼる　若＝もしくは　弄＝もてあそぶ
因＝よる　僅＝わずか

※JIS（X0213）の例字字体に準拠したフォントを使用しており、いわゆる印刷標準字体（康熙字典体）と異なる字体の漢字（「摂」など）がある。

【ア・あ】

亜 ア
哀 アイ・あわれ・あわれむ
挨 アイ
愛④アイ
曖 アイ
相③あい・ソウ・ショウ
藍 あい・ラン⑫
間②あいだ（↓カン）
会②あう・カイ・エ
合②あう（↓ゴウ）
遭 あう・ソウ
青①あお・あおい・セイ・ショウ
仰 あおぐ（↓ギョウ）
赤①あか・あかい（↓セキ）
明②あかす（↓メイ）
飽 あかす・あきる・ホウ
証⑤あかす・ショウ
暁 あかつき・ギョウ
赤①あからむ・あからめる（↓セキ）
明②あかり・あかるい・あかるむ・あからむ（↓メイ）
上①あがる（↓ジョウ）
挙④あがる・あげる・キョ
揚 あがる・あげる・ヨウ
秋②あき・シュウ
商③あきなう・ショウ
明②あきらか（↓メイ）
諦 あきらめる・テイ
飽 あきる・あかす・ホウ
悪③アク・オ・わるい
握 アク・にぎる
明②あく・あくる（↓メイ）
空①あく・あける・から・そら・クウ
開③あく・あける・ひらく・ひらける・カイ
明②あける（↓メイ）
上①あげる（↓ジョウ）
挙④あげる・あがる・キョ
揚 あげる・あがる・ヨウ
顎 あご・ガク⑫
憧 あこがれる・ショウ⑫
麻 あさ・マ
朝②あさ・チョウ
字①あざ・ジ
浅④あさい・セン
欺 あざむく・ギ
鮮 あざやか・セン
足①あし（↓ソク）
脚 あし・キャク・キャ
味③あじ・あじわう・ミ
預⑤あずかる・あずける・ヨ
汗 あせ・カン
焦 あせる（↓ショウ）
遊③あそぶ・ユウ・ユ
価⑤あたい・カ
値⑥あたい・ね・チ
与 あたえる・ヨ
温③あたたか・あたたかい・あたたまる・あたためる・オン
暖⑥あたたか・あたたかい・あたたまる・あたためる・ダン
頭②あたま（↓トウ）
新②あたらしい（↓シン）
辺④あたり・ベ・ヘン
当②あたる・あてる・トウ
圧⑤アツ
厚⑤あつい・コウ
暑③あつい・ショ
熱④あつい・ネツ
扱 あつかう

集③あつまる・あつめる・つどう・シュウ
宛 あてる
充 あてる・ジュウ
当②あてる・あたる・トウ
後②あと（↓ゴ）
痕 あと・コン
跡 あと・セキ
穴⑥あな・ケツ
侮 あなどる・ブ
兄②あに・ケイ・キョウ
姉②あね・シ
暴⑤あばく・あばれる・ボウ・バク
浴④あびる・あびせる・ヨク
危⑥あぶない（↓キ）
油③あぶら・ユ
脂 あぶら・シ
天①あま・あめ・テン
尼 あま・ニ
雨①あま・あめ・ウ
甘 あまい・あまえる・あまやかす・カン
余⑤あまる・あます・ヨ
網 あみ・モウ
編⑤あむ・ヘン
天①あめ・あま・テン
雨①あめ・あま・ウ
危⑥あやうい・あやぶむ（↓キ）
妖 あやしい・ヨウ
怪 あやしい・あやしむ・カイ
操⑥あやつる・みさお・ソウ
過⑤あやまち・あやまつ・すぎる・すごす・カ
誤⑥あやまる・ゴ
謝⑤あやまる・シャ
歩②あゆむ（↓ホ）
荒 あらい（↓コウ）
粗 あらい・ソ
洗⑥あらう・セン
嵐 あらし
荒 あらす（↓コウ）
争④あらそう・ソウ
新②あらた（↓シン）
改④あらためる・あらたまる・カイ
表③あらわす・あらわれる・おもて・ヒョウ
現⑤あらわす・あらわれる・ゲン
著⑥あらわす・いちじるしい・チョ
在⑤ある・ザイ
有③ある・ユウ・ウ
歩②あるく（↓ホ）
荒 あれる（↓コウ）
泡 あわ・ホウ
淡 あわい・タン
合②あわす・あわせる・あう・ゴウ・ガッ・カッ
併 あわせる・ヘイ
慌 あわてる・あわただしい・コウ
哀 あわれ・あわれむ・アイ
安③アン・やすい
行②アン・コウ・ギョウ・いく・ゆく・おこなう
案④アン
暗③アン・くらい

【イ・い】

以④イ
衣④イ・ころも
位④イ・くらい
医③イ

①〜⑥＝配当学年　㊎＝読み仮名を付ける音訓
傍線＝小学校で習わない教育漢字の音訓

囲④イ・かこむ・かこう
依　イ・エ
委③イ・ゆだねる
易⑤イ・エキ・やさしい
威　イ
胃④イ
為　イ
畏　イ・おそれる
唯　イ・ユイ
尉　イ
異⑥イ・こと
移⑤イ・うつる・うつす
萎　イ
偉　イ・えらい
椅　イ
彙　イ⑪
意③イ
違　イ・ちがう・ちがえる
維　イ
慰　イ・なぐさめる・なぐさむ
遺⑥イ・ユイ
緯　イ
井　い・セイ・ショウ
言②いう（↓ゲン）
家②いえ・や・カ・ケ
癒　いえる・いやす・ユ
生①いかす（↓セイ）
怒　いかる・おこる・ド
域⑥イキ
息③いき・ソク
粋　いき・スイ
勢⑤いきおい・セイ
憤　いきどおる・フン
生①いきる（↓セイ）
育③イク・そだつ・そだてる・はぐくむ
行②いく（↓コウ）
逝　いく・ゆく・セイ
幾　いく・キ
戦④いくさ・たたかう・セン
池②いけ・チ
生①いける（↓セイ）
憩　いこい・いこう・ケイ
潔⑤いさぎよい・ケツ
勇④いさむ・ユウ
石①いし・セキ・シャク・コク
礎　いしずえ・ソ
泉⑥いずみ・セン
磯　いそ
忙　いそがしい・ボウ
急③いそぐ・キュウ
板③いた・ハン・バン
痛⑥いたい（↓ツウ）
抱　いだく（↓ホウ）
致　いたす・チ
頂⑥いただく・いただき・チョウ
悼　いたむ・トウ
痛⑥いたむ・いためる・いたい・ツウ
傷⑥いたむ・いためる・きず・ショウ
炒　いためる
至⑥いたる・シ
一①イチ・イツ・ひと・ひとつ
壱　イチ
市②いち・シ
著⑥いちじるしい・あらわす・チョ
一①イツ・イチ・ひと・ひとつ
逸　イツ
五①いつ・いつつ・ゴ
慈　いつくしむ・ジ
偽　いつわる・にせ・ギ
糸①いと・シ

営⑤いとなむ・エイ
挑 いどむ・チョウ
否⑥いな・ヒ
犬①いぬ・ケン
稲 いね・いな・トウ
命③いのち・メイ・ミョウ
祈 いのる・キ
茨 いばら
今②いま・コン・キン
戒 いましめる・カイ
忌 いむ・いまわしい・キ
芋 いも
妹②いもうと・マイ
嫌 いや（↓ケン）
卑 いやしい・いやしむ・いやしめる・ヒ
癒 いやす・いえる・ユ
入①いる（↓ニュウ）
居⑤いる・キョ
要④いる・かなめ・ヨウ

射⑥いる・シャ
鋳 いる・チュウ
入①いれる（↓ニュウ）
色②いろ・ショク・シキ
彩 いろどる・サイ
岩②いわ・ガン
祝④いわう・シュク・シュウ
引②イン・ひく・ひける
印④イン・しるし
因⑤イン
咽 イン
姻 イン
音①イン・オン・おと・ね
員③イン
院③イン
淫 イン
陰 イン・かげ・かげる
飲③イン・のむ
隠 イン・かくす・かくれる
韻 イン

【ウ・う】

右①ウ・ユウ・みぎ
宇⑥ウ
有③ウ・ユウ・ある
羽②ウ・は・はね
雨①ウ・あめ・あま
憂 うい（↓ユウ）
初④うい（↓ショ）
上①うえ（↓ジョウ）
飢 うえる・キ
植③うえる・うわる・ショク
魚②うお・さかな・ギョ
伺 うかがう・シ
浮 うく・うかれる・うかぶ・うかべる・フ
承⑤うけたまわる・ショウ
受③うける・うかる・ジュ
請 うける（↓セイ）
動③うごく・うごかす・ドウ
牛②うし・ギュウ
氏④うじ・シ
失④うしなう・シツ
後②うしろ（↓ゴ）
臼 うす・キュウ
渦 うず・カ
薄 うすい・うすめる・うすまる・うすらぐ・うすれる・ハク
唄 うた
歌②うた・うたう・カ
謡 うたい・うたう・ヨウ
疑⑥うたがう・ギ
内②うち・ナイ・ダイ
鬱 ウツ㊫
打③うつ・ダ

①〜⑥＝配当学年　㊫＝読み仮名を付ける音訓
傍線＝小学校で習わない教育漢字の音訓

討⑥うつ・トウ
撃 うつ・ゲキ
美③うつくしい・ビ
写③うつす・うつる・シャ
映⑥うつす・うつる・はえる・エイ
訴 うったえる・ソ
移⑤うつる・うつす・イ
器④うつわ・キ
腕 うで・ワン
疎 うとい・うとむ・ソ
促 うながす・ソク
畝 うね
奪 うばう・ダツ
産④うぶ（↓サン）
馬②うま・ま・バ
埋 うまる（↓マイ）
生①うまれる（↓セイ）
産④うまれる（↓サン）
海②うみ・カイ

生①うむ（↓セイ）
産④うむ（↓サン）
梅④うめ・バイ
埋 うめる・うまる・うもれる・マイ
恭 うやうやしい・キョウ
敬⑥うやまう・ケイ
浦 うら
裏⑥うら・リ
占 うらなう・しめる・セン
恨 うらむ・うらめしい・コン
売②うる・うれる・バイ
得④うる・える・トク
潤 うるおう・うるおす・うるむ・ジュン
漆 うるし・シツ
麗 うるわしい・レイ
愁 うれい・うれえる・ユウ
熟⑥うれる・ジュク
上①うわ（↓ジョウ）
植③うわる・うえる・ショク
運③ウン・はこぶ
雲②ウン・くも

【エ・え】

会②エ・カイ・あう
回②エ・カイ・まわる・まわす
依 エ・イ
恵 エ・ケイ・めぐむ
絵②エ・カイ
江 え・コウ
重③え（↓ジュウ）

柄 え・がら・ヘイ
餌 え・えさ・ジ
永⑤エイ・ながい
泳③エイ・およぐ
英④エイ
映⑥エイ・うつる・うつす・はえる
栄④エイ・さかえる・はえ・はえる
営⑤エイ・いとなむ
詠 エイ・よむ
影 エイ・かげ
鋭 エイ・するどい
衛⑤エイ
描 えがく・かく・ビョウ
役③エキ・ヤク
易⑤エキ・イ・やさしい
疫 エキ・ヤク
益⑤エキ・ヤク
液⑤エキ

駅③エキ
餌 えさ・え・ジ
枝⑤えだ・シ
悦 エツ
越 エツ・こす・こえる
謁 エツ⑫
閲 エツ
笑④えむ・わらう・ショウ
偉 えらい・イ
選④えらぶ・セン
襟 えり・キン
得④える・うる・トク
獲 える・カク
円①エン・まるい
延⑥エン・のびる・のべる・のばす
沿⑥エン・そう
炎 エン・ほのお
怨 エン⑫・オン
宴 エン
媛 エン
援 エン
園②エン・その
塩④エン・しお
煙 エン・けむる・けむり・けむい
猿 エン・さる
遠②エン・オン・とおい
鉛 エン・なまり
演⑤エン
縁 エン・ふち
艶 エン・つや

【オ・お】

汚 オ・けがす・けがれる・けがらわしい・よごす・よごれる・きたない
和③オ・ワ・やわらぐ・やわらげる・なごむ・なごやか
悪③オ・アク・わるい
小①お（↓ショウ）
尾 お・ビ
雄 お・おす・ユウ
緒 お・ショ・チョ
老④おいる・ふける・ロウ
王①オウ
凹 オウ
央③オウ
応⑤オウ・こたえる
往⑤オウ
押 オウ・おす・おさえる
旺 オウ
欧 オウ
殴 オウ・なぐる
皇⑥オウ・コウ
桜⑤オウ・さくら
翁 オウ
黄②オウ・コウ・き・こ
奥 オウ・おく
横③オウ・よこ
生①おう（↓セイ）
負③おう（↓フ）
追③おう・ツイ
扇 おうぎ・セン
終③おえる・おわる・シュウ
多②おおい・タ
覆 おおう（↓フク）
大①おおきい・おお・おおいに・ダイ・タイ
仰 おおせ（↓ギョウ）
公②おおやけ・コウ
丘 おか・キュウ
岡 おか
犯⑤おかす・ハン
侵 おかす・シン
冒 おかす・ボウ
拝⑥おがむ・ハイ
沖 おき・チュウ

①〜⑥＝配当学年　⑫＝読み仮名を付ける音訓
傍線＝小学校で習わない教育漢字の音訓

補⑥おぎなう・ホ
起③おきる（↓キ）
屋③オク・や
億④オク
憶　オク
置④おく・チ
奥　おく・オウ
遅　おくらす（↓チ）
送③おくる・ソウ
贈　おくる・ゾウ・ソウ
後②おくれる（↓ゴ）
遅　おくれる（↓チ）
起③おこす（↓キ）
興⑤おこす（↓コウ）
厳⑥おごそか（↓ゲン）
怠　おこたる・なまける・タイ
行②おこなう（↓コウ）
起③おこる（↓キ）
怒　おこる・いかる・ド
興⑤おこる（↓コウ）
押　おさえる・おす・オウ
抑　おさえる・ヨク
幼⑥おさない・ヨウ
収⑥おさまる・おさめる・シュウ
治④おさまる・おさめる（↓ジ）
修⑤おさまる・おさめる・シュウ・シュ
納⑥おさまる・おさめる（↓ノウ）
惜　おしい・おしむ・セキ
教②おしえる・おそわる・キョウ
押　おす・おさえる・オウ
推⑥おす・スイ
雄　おす・お・ユウ
遅　おそい（↓チ）
襲　おそう・シュウ
畏　おそれる・イ
恐　おそれる・おそろしい・キョウ
教②おそわる・おしえる・キョウ
穏　おだやか・オン
陥　おちいる・おとしいれる・カン
落③おちる・おとす・ラク
乙　オツ
夫④おっと・フ・フウ
音①おと・ね・オン・イン
弟②おとうと（↓テイ）
男①おとこ・ダン・ナン
陥　おとしいれる・おちいる・カン
落③おとす・おちる・ラク
脅　おどす・おどかす・おびやかす・キョウ
訪⑥おとずれる・たずねる・ホウ
踊　おどり・おどる・ヨウ
劣　おとる・レツ
躍　おどる・ヤク
衰　おとろえる・スイ
驚　おどろく・おどろかす・キョウ
同②おなじ・ドウ
鬼　おに・キ
己⑥おのれ・コ・キ
帯④おび・おびる・タイ
脅　おびやかす・おどす・おどかす・キョウ
覚④おぼえる（↓カク）
溺　おぼれる・デキ
主③おも・ぬし・シュ・ス
面③おも・おもて・つら・メン
重③おもい（↓ジュウ）

思②おもう・シ
表③おもて（↓ヒョウ）
趣　おもむき・シュ
赴　おもむく・フ
親②おや（↓シン）
泳③およぐ・エイ
及　およぶ・および・およぼす・キュウ
折④おり（↓セツ）
下①おりる（↓カ）
降⑥おりる（↓コウ）
折④おる・おり・おれる・セツ
織⑤おる・ショク・シキ
俺　おれ
愚　おろか・グ
卸　おろし・おろす
下①おろす（↓カ）
降⑥おろす（↓コウ）
終③おわる・おえる・シュウ
怨　オン・エン㋮
音①オン・イン・おと・ね
恩⑤オン
温③オン・あたたか・あたたかい・あたたまる・あたためる
遠②オン・エン・とおい
穏　オン・おだやか
御　おん・ギョ・ゴ
女①おんな（↓ジョ）

【カ・か】

下①カ・ゲ・した・しも・もと・さげる・さがる・くだる・くだす・くださる・おろす・おりる
化③カ・ケ・ばける・ばかす
火①カ・ひ・ほ
加④カ・くわえる・くわわる
可⑤カ
仮⑤カ・ケ・かり
何②カ・なに・なん
花①カ・はな
佳　カ
価⑤カ・あたい
果④カ・はたす・はてる・はて
河⑤カ
苛　カ
架　カ・かける・かかる
科②カ
夏②カ・ゲ・なつ
家②カ・ケ・いえ・や
華　カ・ケ・はな
荷③カ・に
菓　カ
貨④カ
渦　カ・うず
過⑤カ・すぎる・すごす・あやまつ・あやまち
嫁　カ・よめ・とつぐ
暇　カ・ひま
禍　カ
靴　カ・くつ
寡　カ
歌②カ・うた・うたう
箇　カ
稼　カ・かせぐ
課④カ
日①か・ひ・ニチ・ジツ
香　か（↓コウ）
蚊　か
鹿　か・しか
牙　ガ・ゲ・きば
瓦　ガ㋮・かわら
我⑥ガ・われ・わ
画②ガ・カク

①〜⑥＝配当学年　㋮＝読み仮名を付ける音訓
傍線＝小学校で習わない教育漢字の音訓

芽④ガ・め
賀⑤ガ
雅 ガ
餓 ガ
介 カイ
会②カイ・エ・あう
回②カイ・エ・まわる・まわす
灰⑥カイ・はい
快⑤カイ・こころよい
戒 カイ・いましめる
改④カイ・あらためる・あらたまる
怪 カイ・あやしい・あやしむ
拐 カイ
悔 カイ・くいる・くやむ・くやしい
海②カイ・うみ
界③カイ
皆 カイ・みな
械④カイ
絵②カイ・エ
街④カイ・ガイ・まち
開③カイ・ひらく・ひらける・あく・あける
階③カイ
塊 カイ・かたまり
楷 カイ
解⑤カイ・ゲ・とく・とかす・とける
潰 カイ
壊 カイ・こわす・こわれる
懐 カイ・ふところ・なつかしい・なつかしむ・なつく・なつける
諧 カイ
貝①かい
外②ガイ・ゲ・そと・ほか・はずす・はずれる
劾 ガイ
害④ガイ
崖 ガイ・がけ
涯 ガイ
街④ガイ・カイ・まち
慨 ガイ
蓋 ガイ㊟
該 ガイ
概 ガイ
骸 ガイ
蚕⑥かいこ・サン
交②かう（↓コウ）
買②かう・バイ
飼⑤かう・シ
返③かえす・かえる・ヘン
帰②かえす・かえる・キ
省④かえりみる（↓セイ）
顧 かえりみる・コ
代③かえる（↓ダイ）
変④かえる・かわる・ヘン
換 かえる・かわる・カン
替 かえる・かわる・タイ
返③かえる・かえす・ヘン
帰②かえる・かえす・キ
顔②かお・ガン
香 かおり・かおる・か・コウ・キョウ
薫 かおる・クン
抱 かかえる（↓ホウ）
掲 かかげる・ケイ
鏡④かがみ・キョウ
輝 かがやく・キ
係③かかり・かかる・ケイ
掛 かかり・かける・かかる
架 かかる・かける・カ
懸 かかる（↓ケン）
関④かかわる・せき・カン
垣 かき

柿 かき
鍵 かぎ・ケン
限⑤かぎる・ゲン
各④カク
角②カク・かど・つの
画②カク・ガ
拡⑥カク
客③カク・キャク
革⑥カク・かわ
核 カク
格⑤カク・コウ
殻 カク・から
郭 カク
覚④カク・おぼえる・さます・さめる
較 カク
隔 カク・へだてる・へだたる
閣⑥カク

確⑤カク・たしか・たしかめる
獲 カク・える
嚇 カク
穫 カク
欠④かく・かける・ケツ
書②かく・ショ
描 かく・えがく・ビョウ
嗅 かぐ・キュウ
学①ガク・まなぶ
岳 ガク・たけ
楽②ガク・ラク・たのしい・たのしむ
額⑤ガク・ひたい
顎 ガク㊐・あご
隠 かくす・かくれる・イン
陰 かげ・かげる・イン
影 かげ・エイ
崖 がけ・ガイ
欠④かける・かく・ケツ

架 かける・かかる・カ
掛 かける・かかる・かかり
駆 かける・かる・ク
賭 かける・ト
懸 かける（↓ケン）
陰 かげる・かげ・イン
籠 かご・ロウ
囲④かこむ・かこう・イ
傘 かさ・サン
風②かざ・かぜ・フウ・フ
重③かさねる・かさなる（↓ジュウ）
飾 かざる・ショク
賢 かしこい・ケン
頭②かしら（↓トウ）
貸⑤かす・タイ
数②かず・かぞえる・スウ・ス
風②かぜ・かざ・フウ・フ

稼 かせぐ・カ
方②かた・ホウ
片⑥かた・ヘン
形②かた（↓ケイ）
肩 かた・ケン
型④かた・ケイ
潟 かた
固④かたい（↓コ）
堅 かたい・ケン
硬 かたい・コウ
難⑥かたい・むずかしい・ナン
敵⑤かたき・テキ
形②かたち・かた・ケイ・ギョウ
刀②かたな・トウ
塊 かたまり・カイ
固④かたまる・かためる・かたい・コ
傾 かたむく・かたむける・

偏 ケイ かたよる・ヘン
語② かたる・かたらう・ゴ
傍 かたわら・ボウ
活② カツ
括 カツ
喝 カツ
渇 カツ・かわく
割⑥ カツ・わる・わり・われる・さく
葛 カツ
滑 カツ・コツ・すべる・なめらか
褐 カツ
轄 カツ
合② カッ・ガッ・ゴウ・あう・あわす・あわせる
勝③ かつ・まさる・ショウ
月① ガツ・ゲツ・つき
合② ガッ・カッ・ゴウ・あう・あわす・あわせる
担⑥ かつぐ・になう・タン
糧 かて・リョウ・ロウ
角② かど・つの・カク
門② かど・モン
金① かな（↓キン）
悲③ かなしい・かなしむ・ヒ
奏⑥ かなでる・ソウ
要④ かなめ・いる・ヨウ
必④ かならず・ヒツ
金① かね・かな・キン・コン
鐘 かね・ショウ
兼 かねる・ケン
彼 かの・かれ・ヒ
株⑥ かぶ
壁 かべ・ヘキ
釜 かま
窯 かま・ヨウ
鎌 かま
構⑤ かまう・かまえる・コウ
上① かみ（↓ジョウ）
神③ かみ（↓シン）
紙② かみ・シ
髪 かみ・ハツ
雷 かみなり・ライ
亀 かめ・キ
醸 かもす・ジョウ
通② かよう（↓ツウ）
空① から（↓クウ）
唐 から・トウ
殻 から・カク
柄 がら・え・ヘイ
辛 からい・シン
枯 からす・かれる・コ
体② からだ・タイ・テイ
絡 からむ・からまる・からめる・ラク
仮⑤ かり・カ・ケ
借④ かりる・シャク
刈 かる
狩 かる・かり・シュ
駆 かる・かける・ク
軽③ かるい・かろやか・ケイ
彼 かれ・かの・ヒ
枯 かれる・からす・コ
川① かわ・セン
皮③ かわ・ヒ
革⑥ かわ・カク
側④ がわ・ソク
乾 かわく・かわかす・カン
渇 かわく・カツ
交② かわす（↓コウ）
瓦 かわら・ガ㊫
代③ かわる（↓ダイ）
変④ かわる・かえる・ヘン

換 かわる・かえる・カン
替 かわる・かえる・タイ
干⑥カン・ほす・ひる
刊⑤カン
甘 カン・あまい・あまえる・あまやかす
甲 カン・コウ
汗 カン・あせ
缶 カン
完④カン
肝 カン・きも
官④カン
冠 カン・かんむり
巻⑥カン・まく・まき
看⑥カン
陥 カン・おちいる・おとしいれる
乾 カン・かわく・かわかす
勘 カン
患 カン・わずらう
貫 カン・つらぬく
喚 カン
堪 カン・たえる
寒③カン・さむい
換 カン・かえる・かわる
敢 カン
棺 カン
款 カン
閑 カン
間②カン・ケン・あいだ・ま
勧 カン・すすめる
寛 カン
幹⑤カン・みき
感③カン
漢③カン
慣⑤カン・なれる・ならす
管④カン・くだ
関④カン・せき・かかわる
歓 カン
監 カン
緩 カン・ゆるい・ゆるやか・ゆるむ・ゆるめる
憾 カン
還 カン
館③カン・やかた
環 カン
韓 カン
簡⑥カン
観④カン
艦 カン
鑑 カン・かんがみる
神③かん(↓シン)
丸②ガン・まる・まるい・まるめる
元②ガン・ゲン・もと
含 ガン・ふくむ・ふくめる
岸③ガン・きし
岩②ガン・いわ
玩 ガン
眼⑤ガン・ゲン・まなこ
頑 ガン
顔②ガン・かお
願④ガン・ねがう
考②かんがえる・コウ
鑑 かんがみる・カン
芳 かんばしい・ホウ
冠 かんむり・カン

【キ・き】

己⑥キ・コ・おのれ
企 キ・くわだてる
伎 キ
危⑥キ・あぶない・あやうい・あやぶむ
机⑥キ・つくえ
気①キ・ケ
岐 キ

①〜⑥=配当学年　㋮=読み仮名を付ける音訓
傍線=小学校で習わない教育漢字の音訓

希④キ
忌　キ・いむ・いまわしい
汽②キ
奇　キ
季④キ
祈　キ・いのる
紀④キ
軌　キ
帰②キ・かえる・かえす
既　キ・すでに
記②キ・しるす
起③キ・おきる・おこる・おこす
飢　キ・うえる
鬼　キ・おに
基⑤キ・もと・もとい
寄⑤キ・よる・よせる
規⑤キ
亀　キ・かめ
喜④キ・よろこぶ

幾　キ・いく
揮⑥キ
期③キ・ゴ
棋　キ
貴⑥キ・たっとい・とうとい・たっとぶ・とうとぶ
棄　キ
毀　キ⑪
旗④キ・はた
器④キ・うつわ
畿　キ
輝　キ・かがやく
機④キ・はた
騎　キ
木①き・こ・ボク・モク
生①き（↓セイ）
黄②き・こ・コウ・オウ
技⑤ギ・わざ
宜　ギ

偽　ギ・いつわる・にせ
欺　ギ・あざむく
義⑤ギ
疑⑥ギ・うたがう
儀　ギ
戯　ギ・たわむれる
擬　ギ
犠　ギ
議④ギ
消③きえる・けす・ショウ
菊　キク
利④きく・リ
効⑤きく・コウ
聞②きく・きこえる・ブン・モン
聴　きく・チョウ
兆④きざし・きざす・チョウ
刻⑥きざむ・コク
岸③きし・ガン

傷⑥きず（↓ショウ）
築⑤きずく・チク
絆　きずな
着③きせる（↓チャク）
競④きそう（↓キョウ）
北②きた・ホク
鍛　きたえる・タン
来②きたす・きたる・くる・ライ
汚　きたない（↓オ）
吉　キチ・キツ
喫　キツ
詰　キツ・つめる・つまる・つむ
絹⑥きぬ・ケン
牙　きば・ガ・ゲ
厳⑥きびしい（↓ゲン）
決③きまる・きめる・ケツ
君③きみ・クン

肝 きも・カン
脚 キャ・キャク・あし
却 キャク
客③キャク・カク
脚 キャク・キャ・あし
逆⑤ギャク・さか・さからう
虐 ギャク・しいたげる
九①キュウ・ク・ここの・ここのつ
久⑤キュウ・ク・ひさしい
及 キュウ・およぶ・および・およぼす
弓②キュウ・ゆみ
丘 キュウ・おか
旧⑤キュウ
休①キュウ・やすむ・やすまる・やすめる
吸⑥キュウ・すう
朽 キュウ・くちる

臼 キュウ・うす
求④キュウ・もとめる
究③キュウ・きわめる
泣④キュウ・なく
急③キュウ・いそぐ
糾 キュウ
級③キュウ
宮③キュウ・グウ・ク・みや
救④キュウ・すくう
球③キュウ・たま
給④キュウ
嗅 キュウ・かぐ
窮 キュウ・きわめる・きわまる
牛②ギュウ・うし
巨 キョ
去③キョ・コ・さる
居⑤キョ・いる
拒 キョ・こばむ

拠 キョ・コ
挙④キョ・あげる・あがる
虚 キョ・コ
許⑤キョ・ゆるす
距 キョ
魚②ギョ・うお・さかな
御 ギョ・ゴ・おん
漁④ギョ・リョウ
清④きよい（↓セイ）
凶 キョウ
兄②キョウ・ケイ・あに
共④キョウ・とも
叫 キョウ・さけぶ
狂 キョウ・くるう・くるおしい
享 キョウ
京②キョウ・ケイ
供⑥キョウ・ク・そなえる・とも
協④キョウ

況 キョウ
峡 キョウ
挟 キョウ・はさむ・はさまる
狭 キョウ・せまい・せばめる・せばまる
香 キョウ・コウ・か・かおり・かおる
恐 キョウ・おそれる・おそろしい
恭 キョウ・うやうやしい
胸⑥キョウ・むね・むな
脅 キョウ・おびやかす・おどす・おどかす
強②キョウ・ゴウ・つよい・つよまる・つよめる・しいる
教②キョウ・おしえる・おそわる
経⑤キョウ・ケイ・へる

郷⑥キョウ・ゴウ
境⑤キョウ・ケイ・さかい
橋③キョウ・はし
興⑤キョウ・コウ・おこる・おこす
矯キョウ・ためる
鏡④キョウ・かがみ
競④キョウ・ケイ・きそう・せる
響キョウ・ひびく
驚キョウ・おどろく・おどろかす
仰ギョウ・コウ・あおぐ・おおせ
行②ギョウ・コウ・アン・いく・ゆく・おこなう
形②ギョウ・ケイ・かた・かたち
暁ギョウ・あかつき
業③ギョウ・ゴウ・わざ
凝ギョウ・こる・こらす
曲③キョク・まがる・まげる
局③キョク
極④キョク・ゴク・きわめる・きわまる・きわみ
玉①ギョク・たま
清④きよめる・きよまる・きよい・セイ・ショウ
嫌きらう（↓ケン）
霧きり・ム
切②きる・きれる・セツ・サイ
斬きる・ザン
着③きる（↓チャク）
際⑤きわ・サイ
究③きわめる・キュウ
極④きわめる・きわまる・きわみ・キョク・ゴク
窮きわめる・きわまる・キュウ
巾キン
今②キン・コン・いま
斤キン
均⑤キン
近②キン・ちかい
金①キン・コン・かね・かな
菌キン
勤⑥キン・ゴン・つとめる・つとまる
琴キン・こと
筋⑥キン・すじ
僅キン
禁⑤キン
緊キン
錦キン・にしき
謹キン・つつしむ
襟キン・えり
吟ギン
銀③ギン

【ク・く】

九①ク・キュウ・ここの・ここのつ
久⑤ク・キュウ・ひさしい
口①ク・コウ・くち
工②ク・コウ
区③ク
功④ク・コウ
句⑤ク
供⑥ク・キョウ・そなえる・とも
苦③ク・くるしい・くるしむ・くるしめる・にがい・にがる
紅⑥ク・コウ・べに・くれない
宮③ク・キュウ・グウ・みや

庫③ク・コ
貢 ク・コウ・みつぐ
駆 ク・かける・かる
具③グ
惧 グ
愚 グ・おろか
悔 くいる（↓カイ）
空①クウ・そら・あく・あける・から
食②くう（↓ショク）
宮③グウ・キュウ・ク・みや
偶 グウ
遇 グウ
隅 グウ・すみ
茎 くき・ケイ
草①くさ・ソウ
臭 くさい・におう・シュウ
鎖 くさり・サ

腐 くさる・くされる・くさらす・フ
串 くし
鯨 くじら・ゲイ
崩 くずす・くずれる・ホウ
薬③くすり・ヤク
癖 くせ・ヘキ
管④くだ・カン
砕 くだく・くだける・サイ
下①くだる・くだす・くださる（↓カ）
口①くち・コウ・ク
唇 くちびる・シン
朽 くちる・キュウ
屈 クツ
掘 クツ・ほる
窟 クツ
靴 くつ・カ

覆 くつがえす・くつがえる・おおう・フク
国②くに・コク
配③くばる・ハイ
首②くび・シュ
熊 くま
組②くみ・くむ・ソ
酌 くむ・シャク
雲②くも・ウン
曇 くもる・ドン
悔 くやむ・くやしい・くいる・カイ
倉④くら・ソウ
蔵⑥くら・ゾウ
暗③くらい・アン
位④くらい・イ
食②くらう（↓ショク）
暮⑥くらす・くれる・ボ
比⑤くらべる・ヒ
栗 くり

来②くる（↓ライ）
繰 くる
狂 くるう・くるおしい・キョウ
苦③くるしい・くるしむ・くるしめる（↓ク）
車①くるま・シャ
紅⑥くれない（↓コウ）
暮⑥くれる・くらす・ボ
黒②くろ・くろい・コク
桑 くわ・ソウ
加④くわえる・くわわる・カ
詳 くわしい・ショウ
企 くわだてる・キ
君③クン・きみ
訓④クン
勲 クン
薫 クン・かおる
軍④グン

①〜⑥＝配当学年　㊙＝読み仮名を付ける音訓
傍線＝小学校で習わない教育漢字の音訓

郡④グン
群⑤グン・むれる・むれ・むら
化③ケ・カ・ばける・ばかす
仮⑤ケ・カ・かり
気①ケ・キ
家②ケ・カ・いえ・や
華　ケ・カ・はな
懸　ケ・ケン・かける・かかる
毛②ケ・モウ
下①ゲ・カ・した・しも・もと・さげる・さがる・くだる・くだす・くださる・おろす・おりる
牙　ゲ・ガ・きば
外②ゲ・ガイ・そと・ほか・はずす・はずれる
夏②ゲ・カ・なつ
解⑤ゲ・カイ・とく・とかす・とける
兄②ケイ・キョウ・あに
刑　ケイ
形②ケイ・ギョウ・かた・かたち
系⑥ケイ
京②ケイ・キョウ
径④ケイ
茎　ケイ・くき
係③ケイ・かかる・かかり
型④ケイ・かた
契　ケイ・ちぎる
計②ケイ・はかる・はからう
恵　ケイ・エ・めぐむ
啓　ケイ
掲　ケイ・かかげる
渓　ケイ
経⑤ケイ・キョウ・へる
蛍　ケイ・ほたる
敬⑥ケイ・うやまう
景④ケイ
軽③ケイ・かるい・かろやか
傾　ケイ・かたむく・かたむける
携　ケイ・たずさえる・たずさわる
継　ケイ・つぐ
詣　ケイ・もうでる
境⑤ケイ・キョウ・さかい
慶　ケイ
憬　ケイ⑫
稽　ケイ
憩　ケイ・いこい・いこう
警⑥ケイ
鶏　ケイ・にわとり・とり
競④ケイ・キョウ・きそう・せる
芸④ゲイ
迎　ゲイ・むかえる
鯨　ゲイ・くじら
汚　けがす・けがれる・けがらわしい（→オ）
隙　ゲキ⑫・すき
劇⑥ゲキ
撃　ゲキ・うつ
激⑥ゲキ・はげしい
消③けす・きえる・ショウ
削　けずる・サク
桁　けた
欠④ケツ・かける・かく
穴⑥ケツ・あな
血③ケツ・ち
決③ケツ・きめる・きまる
結④ケツ・むすぶ・ゆう・ゆわえる

【ケ・け】

傑 ケツ
潔⑤ケツ・いさぎよい
月①ゲツ・ガツ・つき
煙 けむり・けむる・けむい・エン
獣 けもの・ジュウ
蹴 ける・シュウ
険⑤けわしい・ケン
犬①ケン・いぬ
件⑤ケン
見①ケン・みる・みえる・みせる
券⑤ケン
肩 ケン・かた
建④ケン・コン・たてる・たつ
県③ケン
研③ケン・とぐ
倹 ケン
兼 ケン・かねる

剣 ケン・つるぎ
拳 ケン・こぶし
軒 ケン・のき
健④ケン・すこやか
険⑤ケン・けわしい
圏 ケン
堅 ケン・かたい
検⑤ケン
間②ケン・カン・あいだ・ま
嫌 ケン・ゲン・きらう・いや
献 ケン・コン
絹⑥ケン・きぬ
遣 ケン・つかう・つかわす
権⑥ケン・ゴン
憲⑥ケン
賢 ケン・かしこい
謙 ケン

鍵 ケン・かぎ
繭 ケン・まゆ
顕 ケン
験④ケン・ゲン
懸 ケン・ケ・かける・かかる
元②ゲン・ガン・もと
幻 ゲン・まぼろし
玄 ゲン
言②ゲン・ゴン・いう・こと
弦 ゲン・つる
限⑤ゲン・かぎる
原②ゲン・はら
現⑤ゲン・あらわれる・あらわす
眼⑤ゲン・ガン・まなこ
舷 ゲン
減⑤ゲン・へる・へらす
嫌 ゲン・ケン・きらう・いや
源⑥ゲン・みなもと
厳⑥ゲン・ゴン・おごそか・きびしい
験④ゲン・ケン

【コ・こ】

己⑥コ・キ・おのれ
戸②コ・と
去③コ・キョ・さる
古②コ・ふるい・ふるす
呼⑥コ・よぶ
固④コ・かためる・かたまる・かたい
孤 コ
弧 コ
拠 コ・キョ
股 コ・また
虎 コ・とら
故⑤コ・ゆえ

枯 コ・かれる・からす
個⑤コ
庫③コ・ク
虚 コ・キョ
湖③コ・みずうみ
雇 コ・やとう
誇 コ・ほこる
鼓 コ・つづみ
錮 コ
顧 コ・かえりみる
子①コ・シ・ス
小①コ（↓ショウ）
木①コ・き・ボク・モク
粉④コ・こな・フン
黄②コ・き・コウ・オウ
五①ゴ・いつ・いつつ
互 ゴ・たがい
午②ゴ
呉 ゴ
後②ゴ・コウ・のち・うしろ・あと・おくれる
娯 ゴ
悟 ゴ・さとる
御 ゴ・ギョ・おん
期③ゴ・キ
碁 ゴ
語②ゴ・かたる・かたらう
誤⑥ゴ・あやまる
護⑤ゴ
濃 こい・ノウ
恋 こい・こう・こいしい・レン
口①コウ・ク・くち
工②コウ・ク
公②コウ・おおやけ
勾 コウ
孔 コウ
功④コウ・ク
巧 コウ・たくみ
広②コウ・ひろい・ひろまる・ひろめる・ひろがる・ひろげる
甲 コウ・カン
交②コウ・まじわる・まじえる・まじる・まざる・まぜる・かう・かわす
仰 コウ・ギョウ・あおぐ・おおせ
光②コウ・ひかる・ひかり
向③コウ・むく・むける・むかう・むこう
后⑥コウ
好④コウ・このむ・すく
江 コウ・え
考②コウ・かんがえる
行②コウ・ギョウ・アン・いく・ゆく・おこなう
坑 コウ
孝⑥コウ
抗 コウ
攻 コウ・せめる
更 コウ・さら・ふける・ふかす
効⑤コウ・きく
幸③コウ・さいわい・さち・しあわせ
拘 コウ
肯 コウ
侯 コウ
厚⑤コウ・あつい
後②コウ・ゴ・のち・うしろ・あと・おくれる
恒 コウ
洪 コウ
皇⑥コウ・オウ
紅⑥コウ・ク・べに・くれない
荒 コウ・あらい・あれる・あらす
虹 コウ・にじ

郊 コウ
香 コウ・キョウ・か・かおり・かおる
候④ コウ・そうろう
校① コウ
格⑤ コウ・カク
耕⑤ コウ・たがやす
耗 コウ・モウ
航④ コウ
貢 コウ・ク・みつぐ
降⑥ コウ・おりる・おろす・ふる
高② コウ・たかい・たか・たかまる・たかめる
康④ コウ
控 コウ・ひかえる
梗 コウ
黄② コウ・オウ・き・こ
喉 コウ・のど
慌 コウ・あわてる・あわ

港③ コウ・みなと
硬 コウ・かたい
絞 コウ・しぼる・しめる・しまる
項 コウ
溝 コウ・みぞ
鉱⑤ コウ
構⑤ コウ・かまえる・かまう
綱 コウ・つな
酵 コウ
稿 コウ
興⑤ コウ・キョウ・おこる・おこす
衡 コウ
鋼⑥ コウ・はがね
講⑤ コウ
購 コウ
乞 こう

ただしい

恋 こう（↓レン）
請 こう（↓セイ）
神③ こう（↓シン）
号③ ゴウ
合② ゴウ・ガッ・カッ・あう・あわす・あわせる
拷 ゴウ
剛 ゴウ
強② ゴウ・キョウ・つよい・つよまる・つよめる・しいる
郷⑥ ゴウ・キョウ
傲 ゴウ⑪
業③ ゴウ・ギョウ・わざ
豪 ゴウ
被 こうむる・ヒ
声② こえ（↓セイ）
肥⑤ こえる・こえ（↓ヒ）
越 こえる・こす・エツ
超 こえる・こす・チョウ

氷③ こおり・ひ・ヒョウ
凍 こおる・こごえる・トウ
焦 こがす・こがれる・こげる・あせる・ショウ
石① コク・セキ・シャク・いし
克 コク
告④ コク・つげる
谷② コク・たに
刻⑥ コク・きざむ
国② コク・くに
黒② コク・くろ・くろい
穀⑥ コク
酷 コク
極④ ゴク・キョク・きわめる・きわまる・きわみ
獄 ゴク
焦 こげる（↓ショウ）
凍 こごえる・こおる・トウ

①〜⑥＝配当学年　⑪＝読み仮名を付ける音訓
傍線＝小学校で習わない教育漢字の音訓

ウ
九①ここの・ここのつ・キュウ・ク
心②こころ・シン
志⑤こころざし・こころざす・シ
試④こころみる・ためす・シ
快⑤こころよい・カイ
腰　こし・ヨウ
越　こす・こえる・エツ
超　こす・こえる・チョウ
応⑤こたえる・オウ
答②こたえる・こたえ・トウ
骨⑥コツ・ほね
滑　コツ・カツ・すべる・なめらか
言②こと（↓ゲン）
事③こと・ジ・ズ
殊　こと・シュ
異⑥こと・イ
琴　こと・キン
寿　ことぶき・ジュ
断⑤ことわる・たつ・ダン
粉④こな・こ・フン
好④このむ・すく・コウ
拒　こばむ・キョ
拳　こぶし・ケン
駒　こま
細②こまか・こまかい・ほそい・ほそる・サイ
困⑥こまる・コン
込　こむ・こめる
混⑤こむ・まじる・まざる・まぜる・コン
米②こめ・ベイ・マイ
肥⑤こやし・こやす・こえる・こえ・ヒ
暦　こよみ・レキ
懲　こりる・こらす・こらしめる・チョウ
凝　こる・こらす・ギョウ
頃　ころ
転③ころがる・ころげる・ころがす・ころぶ・テン
殺④ころす・サツ・サイ・セツ
衣④ころも・イ
声②こわ（↓セイ）
怖　こわい・フ
壊　こわす・こわれる・カイ
今②コン・キン・いま
困⑥コン・こまる
昆　コン
金①コン・キン・かね・かな
建④コン・ケン・たてる・たつ
恨　コン・うらむ・うらめしい
根③コン・ね
婚　コン
混⑤コン・まじる・まざる・まぜる・こむ
痕　コン・あと
紺　コン
献　コン・ケン
魂　コン・たましい
墾　コン
懇　コン・ねんごろ
言②ゴン・ゲン・いう・こと
勤⑥ゴン・キン・つとめる・つとまる
権⑥ゴン・ケン
厳⑥ゴン・ゲン・おごそか・きびしい

【サ・さ】

左①サ・ひだり
再⑤サ・サイ・ふたたび
佐　サ
作②サ・サク・つくる
沙　サ
査⑤サ
砂⑥サ・シャ・すな
茶②サ・チャ
唆　サ・そそのかす
差④サ・さす
詐　サ
鎖　サ・くさり
座⑥ザ・すわる
挫　ザ
才②サイ
切②サイ・セツ・きる・きれる
再⑤サイ・サ・ふたたび
西②サイ・セイ・にし
災⑤サイ・わざわい
妻⑤サイ・つま
采　サイ
砕　サイ・くだく・くだける
宰　サイ
栽　サイ
殺④サイ・サツ・セツ・ころす
財⑤サイ・ザイ
彩　サイ・いろどる
採⑤サイ・とる
済⑥サイ・すむ・すます
祭③サイ・まつる・まつり
細②サイ・ほそい・ほそる・こまか・こまかい
菜④サイ・な
斎　サイ
最④サイ・もっとも
裁⑥サイ・たつ・さばく
債　サイ
催　サイ・もよおす
塞　サイ㋮・ソク㋮
歳　サイ・セイ
載　サイ・のせる・のる
際⑤サイ・きわ
埼　さい
在⑤ザイ・ある
材④ザイ
剤　ザイ
財⑤ザイ・サイ
罪⑤ザイ・つみ
幸③さいわい（↓コウ）
遮　さえぎる・シャ
坂③さか・ハン
逆⑤さか・さからう・ギャク
酒③さか・さけ・シュ
境⑤さかい・キョウ・ケイ
栄④さかえる（↓エイ）
捜　さがす・ソウ
探⑥さがす・さぐる・タン
杯　さかずき・ハイ
魚②さかな・うお・ギョ
逆⑤さからう・さか・ギャク
盛⑥さかる・さかん・もる・セイ・ジョウ
下①さがる（↓カ）
先①さき・セン
崎　さき
冊⑥サク・サツ
作②サク・サ・つくる
削　サク・けずる
昨④サク
柵　サク
索　サク
策⑥サク
酢　サク・す

①〜⑥＝配当学年　㋮＝読み仮名を付ける音訓
傍線＝小学校で習わない教育漢字の音訓

搾 サク・しぼる
錯 サク
咲 さく
割⑥さく（↓カツ）
裂 さく・さける・レツ
桜⑤さくら・オウ
探⑥さぐる・さがす・タン
酒③さけ・さか・シュ
叫 さけぶ・キョウ
裂 さける・さく・レツ
避 さける・ヒ
下①さげる（↓カ）
提⑤さげる・テイ
支⑤ささえる・シ
刺 さす・ささる・シ
指③さす・ゆび・シ
差④さす・サ
挿 さす・ソウ
授⑤さずける・さずかる・ジュ
誘 さそう・ユウ
定③さだか・さだめる・さだまる・テイ・ジョウ
幸③さち（↓コウ）
冊⑥サツ・サク
札④サツ・ふだ
刷④サツ・する
刹 サツ㋪・セツ
拶 サツ
殺④サツ・サイ・セツ・ころす
察④サツ
撮 サツ・とる
擦 サツ・する・すれる
早①サッ・ソウ・はやい・はやまる・はやめる
雑⑤ザツ・ゾウ
里②さと・リ
論 さとす・ユ
悟 さとる・ゴ
裁⑥さばく・たつ・サイ
寂 さび・さびしい・さびれる・ジャク・セキ
様③さま・ヨウ
冷④さます（↓レイ）
覚④さます（↓カク）
妨 さまたげる・ボウ
寒③さむい・カン
侍 さむらい・ジ
冷④さめる（↓レイ）
覚④さめる（↓カク）
皿③さら
更 さら（↓コウ）
去③さる・キョ・コ
猿 さる・エン
沢 さわ・タク
騒 さわぐ・ソウ
爽 さわやか・ソウ
触 さわる・ふれる・ショク
障⑥さわる・ショウ
三①サン・み・みつ・みっつ
山①サン・やま
参④サン・まいる
桟 サン
蚕⑥サン・かいこ
惨 サン・ザン・みじめ
産④サン・うむ・うまれる・うぶ
傘 サン・かさ
散④サン・ちる・ちらす・ちらかす・ちらかる
算②サン
酸⑤サン・すい
賛⑤サン
残④ザン・のこる・のこす
惨 ザン・サン・みじめ
斬 ザン・きる
暫 ザン

【シ・し】

士④シ
子①シ・ス・こ
支⑤シ・ささえる
止②シ・とまる・とめる
氏④シ・うじ
仕③シ・ジ・つかえる
史④シ
司④シ
四①シ・よ・よつ・よっつ・よん
市②シ・いち
矢②シ・や
示⑤シ・ジ・しめす
旨　シ・むね
次③シ・ジ・つぐ・つぎ
死③シ・しぬ
糸①シ・いと
自②シ・ジ・みずから

至⑥シ・いたる
伺　シ・うかがう
志⑤シ・こころざす・こころざし
私⑥シ・わたくし・わたし
使③シ・つかう
刺　シ・さす・さざす
姉②シ・あね
始③シ・はじめる・はじまる
肢　シ
枝⑤シ・えだ
祉　シ
姿⑥シ・すがた
思②シ・おもう
指③シ・ゆび・さす
施　シ・セ・ほどこす
師⑤シ
恣　シ㋮
脂　シ・あぶら

紙②シ・かみ
視⑥シ
紫　シ・むらさき
詞⑥シ
歯③シ・は
嗣　シ
試④シ・こころみる・ためす
詩③シ
資⑤シ
飼⑤シ・かう
誌⑥シ
雌　シ・め・めす
摯　シ㋮
賜　シ・たまわる
諮　シ・はかる
仕③ジ・シ・つかえる
示⑤ジ・シ・しめす
地②ジ・チ
字①ジ・あざ

寺②ジ・てら
次③ジ・シ・つぐ・つぎ
耳①ジ・みみ
自②ジ・シ・みずから
似⑤ジ・にる
児④ジ・ニ
事③ジ・ズ・こと
侍　ジ・さむらい
治④ジ・チ・おさめる・おさまる・なおる・なおす
持③ジ・もつ
時②ジ・とき
除⑥ジ・ジョ・のぞく
滋　ジ
慈　ジ・いつくしむ
辞④ジ・やめる
磁⑥ジ
餌　ジ・えさ・え
璽　ジ

①〜⑥＝配当学年　㋮＝読み仮名を付ける音訓
傍線＝小学校で習わない教育漢字の音訓

路③じ・ロ
幸③しあわせ（↓コウ）
虐　しいたげる・ギャク
強②しいる（↓キョウ）
塩④しお・エン
潮⑥しお・チョウ
鹿　しか・か
叱　しかる・シツ⑪
式③シキ
色②シキ・ショク・いろ
織⑤シキ・ショク・おる
識⑤シキ
直②ジキ・チョク・ただち
　に・なおす・なおる
食②ジキ・ショク・くう・
　くらう・たべる
敷　しく・フ
軸　ジク
茂　しげる・モ
静④しず・しずか・しずま
　る・しずめる・セイ・
　ジョウ
滴　しずく・したたる・テ
　キ
沈　しずむ・しずめる・チ
　ン
鎮　しずめる・しずまる・
　チン
下①した（↓カ）
舌⑤した・ゼツ
慕　したう・ボ
従⑥したがう・したがえる・
　ジュウ・ショウ・ジュ
親②したしい・したしむ・
　おや・シン
滴　したたる・しずく・テ
　キ
七①シチ・なな・ななつ・
　なの
質⑤シチ・シツ・チ
叱　シツ⑪・しかる
失④シツ・うしなう
室②シツ・むろ
疾　シツ
執　シツ・シュウ・とる
湿　シツ・しめる・しめす
嫉　シツ
漆　シツ・うるし
質⑤シツ・シチ・チ
日①ジツ・ニチ・ひ・か
実③ジツ・み・みのる
十①ジッ・ジュウ・とお・
　と
品③しな・ヒン
死③しぬ・シ
忍　しのぶ・しのばせる・
　ニン
芝　しば
縛　しばる・バク
渋　しぶ・しぶい・しぶる・
　ジュウ
絞　しぼる（↓コウ）
搾　しぼる・サク
島③しま・トウ
閉⑥しまる（↓ヘイ）
絞　しまる（↓コウ）
締　しまる・しめる・テイ
染⑥しみ・しみる・そめる・
　そまる・セン
示⑤しめす・ジ・シ
湿　しめす・しめる・シツ
占　しめる・うらなう・セ
　ン
閉⑥しめる（↓ヘイ）
絞　しめる（↓コウ）
締　しめる・しまる・テイ
湿　しめる・しめす・シツ
下①しも（↓カ）
霜　しも・ソウ
写③シャ・うつす・うつる

社②シャ・やしろ
車①シャ・くるま
舎⑤シャ
者③シャ・もの
砂⑥シャ・サ・すな
射⑥シャ・いる
捨⑥シャ・すてる
斜シャ・ななめ
赦シャ
煮シャ・にる・にえる・にやす
遮シャ・さえぎる
謝⑤シャ・あやまる
邪ジャ
蛇ジャ・ダ・へび
尺⑥シャク
石①シャク・セキ・コク・いし
赤①シャク・セキ・あか・あかい・あからむ・あからめる
昔③シャク・セキ・むかし
借④シャク・かりる
酌シャク・くむ
釈シャク
爵シャク
若⑥ジャク・ニャク・わかい
弱②ジャク・よわい・よわる・よわまる・よわめる
寂ジャク・セキ・さび・さびしい・さびれる
着③ジャク・チャク・きる・きせる・つく・つける
手①シュ・て・た
主③シュ・ス・ぬし・おも
守③シュ・ス・まもる・もり
朱シュ
取③シュ・とる
狩シュ・かる・かり
首②シュ・くび
修⑤シュ・シュウ・おさめる・おさまる
殊シュ・こと
珠シュ
酒③シュ・さけ・さか
衆⑥シュ・シュウ
腫シュ・はれる・はらす
種④シュ・たね
趣シュ・おもむき
寿ジュ・ことぶき
受③ジュ・うける・うかる
呪ジュ・のろう
従⑥ジュ・ジュウ・ショウ・したがう・したがえる
授⑤ジュ・さずける・さずかる
就⑥ジュ・シュウ・つく・つける
需ジュ
儒ジュ
樹⑥ジュ
収⑥シュウ・おさめる・おさまる
囚シュウ
州③シュウ・す
舟シュウ・ふね・ふな
秀シュウ・ひいでる
周④シュウ・まわり
宗⑥シュウ・ソウ
拾③シュウ・ジュウ・ひろう
祝④シュウ・シュク・いわう
秋②シュウ・あき
臭シュウ・くさい・におう
修⑤シュウ・シュ・おさめ

①〜⑥＝配当学年　㊙＝読み仮名を付ける音訓
傍線＝小学校で習わない教育漢字の音訓

る・おさまる
袖 シュウ
執 シュウ・シツ・とる
終③シュウ・おわる・おえる
羞 シュウ
習③シュウ・ならう
週②シュウ
就⑤シュウ・ジュ・つく・つける
衆⑥シュウ・シュ
集③シュウ・あつまる・あつめる・つどう
愁 シュウ・うれえる・うれい
酬 シュウ
醜 シュウ・みにくい
蹴 シュウ・ける
襲 シュウ・おそう
十①ジュウ・ジッ・とお・と
中①ジュウ・チュウ・なか
汁 ジュウ・しる
充 ジュウ・あてる
住③ジュウ・すむ・すまう
拾③ジュウ・シュウ・ひろう
柔 ジュウ・ニュウ・やわらか・やわらかい
重③ジュウ・チョウ・え・おもい・かさねる・かさなる
従⑥ジュウ・ショウ・ジュ・したがう・したがえる
渋 ジュウ・しぶ・しぶい・しぶる
銃 ジュウ
獣 ジュウ・けもの
縦⑥ジュウ・たて
叔 シュク
祝④シュク・シュウ・いわう
宿③シュク・やど・やどる・やどす
淑 シュク
粛 シュク
縮⑥シュク・ちぢむ・ちぢまる・ちぢめる・ちぢれる・ちぢらす
塾 ジュク
熟⑥ジュク・うれる
出①シュツ・スイ・でる・だす
述⑤ジュツ・のべる
術⑤ジュツ
俊 シュン
春②シュン・はる
瞬 シュン・またたく
旬 ジュン・シュン
巡 ジュン・めぐる
盾 ジュン・たて
准 ジュン
殉 ジュン
純⑥ジュン
循 ジュン
順④ジュン
準⑤ジュン
潤 ジュン・うるおう・うるおす・うるむ
処⑥ショ
初④ショ・はじめ・はじめて・はつ・うい・そめる
所③ショ・ところ
書②ショ・かく
庶 ショ
暑③ショ・あつい
署⑥ショ
緒 ショ・チョ・お
諸⑥ショ

女①ジョ・ニョ・ニョウ・おんな・め
如　ジョ・ニョ
助③ジョ・たすける・たすかる・すけ
序⑤ジョ
叙　ジョ
徐　ジョ
除⑥ジョ・ジ・のぞく
上①ショウ・ジョウ・うえ・うわ・かみ・あげる・あがる・のぼる・のぼせる・のぼす
小①ショウ・ちいさい・こ・お
井　ショウ・セイ・い
升　ショウ・ます
少②ショウ・すくない・すこし
召　ショウ・めす

正①ショウ・セイ・ただし・い・ただす・まさ
生①ショウ・セイ・いきる・いかす・いける・うまれる・うむ・おう・はえる・はやす・き・なま
匠　ショウ
声②ショウ・セイ・こえ・こわ
床　ショウ・とこ・ゆか
抄　ショウ
肖　ショウ
姓　ショウ・セイ
尚　ショウ
性⑤ショウ・セイ
承⑤ショウ・うけたまわる
招⑤ショウ・まねく
昇　ショウ・のぼる
松④ショウ・まつ

沼　ショウ・ぬま
青①ショウ・セイ・あお・あおい
政⑤ショウ・セイ・まつりごと
昭③ショウ
星②ショウ・セイ・ほし
省④ショウ・セイ・かえりみる・はぶく
相③ショウ・ソウ・あい
哨　ショウ
宵　ショウ・よい
将⑥ショウ
従⑥ショウ・ジュウ・ジュ・したがう・したがえる
消③ショウ・きえる・けす
症　ショウ
祥　ショウ
称　ショウ
笑④ショウ・わらう・えむ

商③ショウ・あきなう
唱④ショウ・となえる
渉　ショウ
清④ショウ・セイ・きよい・きよまる・きよめる
章③ショウ
紹　ショウ
訟　ショウ
勝③ショウ・かつ・まさる
掌　ショウ
晶　ショウ
焼④ショウ・やく・やける
焦　ショウ・こげる・こがす・こがれる・あせる
硝　ショウ
粧　ショウ
装⑥ショウ・ソウ・よそおう
証⑤ショウ・あかす
詔　ショウ・みことのり

象④ショウ・ゾウ
傷⑥ショウ・きず・いたむ・いためる
奨 ショウ
照④ショウ・てる・てらす・てれる
詳 ショウ・くわしい
彰 ショウ
精⑤ショウ・セイ
障⑥ショウ・さわる
憧 ショウ⑪・あこがれる
衝 ショウ
賞④ショウ
償 ショウ・つぐなう
礁 ショウ
鐘 ショウ・かね
上①ジョウ・ショウ・うえ・うわ・かみ・あげる・あがる・のぼる・のぼせる・のぼす

丈 ジョウ・たけ
冗 ジョウ
成④ジョウ・セイ・なる・なす
条⑤ジョウ
状⑤ジョウ
定③ジョウ・テイ・さだめる・さだまる・さだか
乗③ジョウ・のる・のせる
城⑥ジョウ・しろ
浄 ジョウ
剰 ジョウ
常⑤ジョウ・つね・とこ
情⑤ジョウ・セイ・なさけ
盛⑥ジョウ・セイ・もる・さかる・さかん
場②ジョウ・ば
畳 ジョウ・たたむ・たたみ
蒸⑥ジョウ・むす・むれる・むらす

静④ジョウ・セイ・しず・しずか・しずまる・しずめる
縄 ジョウ・なわ
壌 ジョウ
嬢 ジョウ
錠 ジョウ
譲 ジョウ・ゆずる
醸 ジョウ・かもす
色②ショク・シキ・いろ
拭 ショク⑪・ふく・ぬぐう
食②ショク・ジキ・くう・くらう・たべる
植③ショク・うえる・うわる
殖 ショク・ふえる・ふやす
触 ショク・ふれる・さわる

飾 ショク・かざる
嘱 ショク
織⑤ショク・シキ・おる
職⑤ショク
辱 ジョク・はずかしめる
白①しら（↓ハク）
調③しらべる（↓チョウ）
尻 しり
退⑤しりぞく・しりぞける
タイ
知②しる・チ
汁 しる・ジュウ
印④しるし・イン
記②しるす・キ
代③しろ（↓ダイ）
白①しろ・しら・しろい・ハク・ビャク
城⑥しろ・ジョウ
心②シン・こころ

申③シン・もうす
伸 シン・のびる・のばす・のべる
芯 シン
臣④シン・ジン
身③シン・み
辛 シン・から い
信④シン
侵 シン・おかす
津 シン・つ
神③シン・ジン・かみ・かん・こう
唇 シン・くちびる
娠 シン
振 シン・ふる・ふるう・ふれる
浸 シン・ひたす・ひたる
疹 シン
真③シン・ま
針⑥シン・はり

深③シン・ふかい・ふかまる・ふかめる
紳 シン
進③シン・すすむ・すすめる
森①シン・もり
診 シン・みる
寝 シン・ねる・ねかす
慎 シン・つつしむ
新②シン・あたらしい・あらた・にい
審 シン
請 シン・セイ・こう・うける
震 シン・ふるう・ふるえる
薪 シン・たきぎ
親②シン・おや・したしい・したしむ
人①ジン・ニン・ひと

刃 ジン・は
仁⑥ジン・ニ
尽 ジン・つくす・つきる・つかす
迅 ジン
臣④ジン・シン
神③ジン・シン・かみ・かん・こう
甚 ジン・はなはだ・はなはだしい
陣 ジン
尋 ジン・たずねる
腎 ジン

【ス・す】

子①ス・シ・こ
主③ス・シュ・ぬし・おも
守③ス・シュ・まもる・もり
素⑤ス・ソ

須 ス
数②ス・スウ・かず・かぞえる
州③す・シュウ
巣④す・ソウ
酢 す・サク
図②ズ・ト・はかる
豆③ズ・トウ・まめ
事③ズ・ジ・こと
頭②ズ・トウ・ト・あたま・かしら
水①スイ・みず
出①スイ・シュツ・でる・だす
吹 スイ・ふく
垂⑥スイ・たれる・たらす
炊 スイ・たく
帥 スイ
粋 スイ・いき
衰 スイ・おとろえる

①〜⑥＝配当学年　㊟＝読み仮名を付ける音訓
傍線＝小学校で習わない教育漢字の音訓

推⑥スイ・おす
酔 スイ・よう
遂 スイ・とげる
睡 スイ
穂 スイ・ほ
酸⑤すい・サン
崇 スウ
数②スウ・ス・かず・かぞえる
髄 ズイ
随 ズイ
枢 スウ
吸⑥すう・キュウ
末④すえ・マツ・バツ
据 すえる・すわる
透 すかす（↓トウ）
姿⑥すがた・シ
隙 すき・ゲキ㊥
杉 すぎ
過⑤すぎる（↓カ）

好④すく・このむ・コウ
透 すく（↓トウ）
救④すくう・キュウ
少②すくない・すこし・ショウ
優⑥すぐれる・やさしい・ユウ
助③すけ（↓ジョ）
透 すける（↓トウ）
少②すこし・すくない・ショウ
過⑤すごす（↓カ）
健④すこやか・ケン
筋⑥すじ・キン
鈴 すず・レイ・リン
涼 すずしい・すずむ・リョウ
進③すすむ・すすめる・シン
勧 すすめる・カン

薦 すすめる・セン
裾 すそ
廃 すたる・すたれる・ハイ
既 すでに・キ
捨⑥すてる・シャ
砂⑥すな・サ・シャ
全③すべて・まったく・ゼン
統⑤すべる・トウ
滑 すべる・なめらか・カツ・コツ
住③すまう・すむ・ジュウ
済⑥すます・すむ・サイ
澄 すます・すむ・チョウ
炭③すみ・タン
隅 すみ・グウ
墨 すみ・ボク
速③すみやか（↓ソク）
住③すむ・すまう・ジュウ

済⑥すむ・すます・サイ
澄 すむ・すます・チョウ
刷④する・サツ
擦 する・すれる・サツ
鋭 するどい・エイ
据 すわる・すえる
座⑥すわる・ザ
寸⑥スン

【セ・せ】

世③セ・セイ・よ
施 セ・シ・ほどこす
背⑥せ（↓ハイ）
瀬 せ
是 ぜ
井 セイ・ショウ・い
世③セイ・セ・よ
正①セイ・ショウ・ただし・い・ただす・まさ
生①セイ・ショウ・いきる・

いかす・いける・うまれる・うむ・おう・はえる・はやす・き・なま
成④セイ・ジョウ・なる・なす
西②セイ・サイ・にし
声②セイ・ショウ・こえ・こわ
制⑤セイ
姓⑤セイ・ショウ
征セイ
性⑤セイ・ショウ
青①セイ・ショウ・あお・あおい
斉セイ
政⑤セイ・ショウ・まつりごと
星②セイ・ショウ・ほし
牲セイ

省④セイ・ショウ・かえりみる・はぶく
凄セイ㊊
逝セイ・ゆく・いく
情⑤セイ・ジョウ・なさけ
清④セイ・ショウ・きよい・きよまる・きよめる
盛⑥セイ・ジョウ・もる・さかる・さかん
婿セイ・むこ
晴②セイ・はれる・はらす
勢⑤セイ・いきおい
歳セイ・サイ
聖⑥セイ
誠⑥セイ・まこと
精⑤セイ・ショウ
製⑤セイ
晢セイ・ちかう
静④セイ・ジョウ・しず・しずか・しずまる・しずめる
請セイ・シン・こう・うける
整③セイ・ととのえる・ととのう
醒セイ
背⑥せい（↔ハイ）
税⑤ゼイ
説④ゼイ・セツ・とく
夕①セキ・ゆう
斥セキ
石①セキ・シャク・コク・いし
赤①セキ・シャク・あか・あかい・あからむ・あからめる
昔③セキ・シャク・むかし
析セキ
席④セキ
脊セキ

隻セキ
寂セキ・ジャク・さび・さびしい・さびれる
惜セキ・おしい・おしむ
戚セキ
責⑤セキ・せめる
跡セキ・あと
積④セキ・つむ・つもる
績⑤セキ
籍セキ
関④せき・かかわる・カン
節④セチ・セツ・ふし
切②セツ・サイ・きる・きれる
折④セツ・おる・おり・おれる
刹セツ・サツ㊊
拙セツ・つたない
窃セツ
殺④セツ・サツ・サイ・こ

①〜⑥＝配当学年　㊊＝読み仮名を付ける音訓
傍線＝小学校で習わない教育漢字の音訓

接⑤セツ・つぐ
設⑤セツ・もうける
雪②セツ・ゆき
摂　セツ
節④セツ・セチ・ふし
説④セツ・ゼイ・とく
舌⑤ゼツ・した
絶⑤ゼツ・たえる・たやす・たつ
銭⑤ゼに・セン
狭　せまい・せばめる・せばまる・キョウ
迫　せまる・ハク
攻　せめる・コウ
責⑤せめる・セキ
競④せる（↓キョウ）
千①セン・ち
川①セン・かわ
仙　セン
占　セン・しめる・うらなう
先①セン・さき
宣⑥セン
専⑥セン・もっぱら
泉⑥セン・いずみ
浅④セン・あさい
洗⑥セン・あらう
染⑥セン・そめる・そまる・しみる・しみ
扇　セン・おうぎ
栓　セン
旋　セン
船②セン・ふね・ふな
戦④セン・いくさ・たたかう
煎　セン
渓　セン㋥
腺　セン
詮　セン
践　セン
箋　セン
銭⑤セン・ぜに
潜　セン・ひそむ・もぐる
線②セン
遷　セン
選④セン・えらぶ
薦　セン・すすめる
繊　セン
鮮　セン・あざやか
全③ゼン・まったく・すべて
前②ゼン・まえ
善⑥ゼン・よい
然④ゼン・ネン
禅　ゼン
漸　ゼン
膳　ゼン
繕　ゼン・つくろう

【ソ・そ】

狙　ソ・ねらう
阻　ソ・はばむ
祖⑤ソ
租　ソ
素⑤ソ・ス
措　ソ
粗　ソ・あらい
組②ソ・くむ・くみ
疎　ソ・うとい・うとむ
訴　ソ・うったえる
塑　ソ
想③ソ・ソウ
遡　ソ㋥
礎　ソ・いしずえ
曽　ゾ・ソウ
双　ソウ・ふた
争④ソウ・あらそう
壮　ソウ

早①ソウ・サッ・はやい・はやまる・はやめる
走②ソウ・はしる
宗⑥ソウ・シュウ
奏⑥ソウ・かなでる
相③ソウ・ショウ・あい
荘 ソウ
草①ソウ・くさ
送③ソウ・おくる
倉④ソウ・くら
捜 ソウ・さがす
挿 ソウ・さす
桑 ソウ・くわ
巣④ソウ・す
掃 ソウ・はく
曽 ソウ・ゾ
曹 ソウ
爽 ソウ・さわやか
窓⑥ソウ・まど
創⑥ソウ・つくる

喪 ソウ・も
痩 ソウ㋮・やせる
葬 ソウ・ほうむる
装⑥ソウ・ショウ・よそおう
僧 ソウ
想③ソウ・ソ
層⑥ソウ
総⑤ソウ
遭⑤ソウ・あう
槽 ソウ
踪 ソウ
操⑥ソウ・みさお・あやつる
燥 ソウ
霜 ソウ・しも
贈 ソウ・ゾウ・おくる
騒 ソウ・さわぐ
藻 ソウ・も
沿⑥そう・エン

添 そう・そえる・テン
造⑤ゾウ・つくる
象④ゾウ・ショウ
像⑤ゾウ
増⑤ゾウ・ます・ふえる・ふやす
憎 ゾウ・にくむ・にくい・にくらしい・にくしみ
雑⑤ゾウ・ザツ
蔵⑥ゾウ・くら
贈 ゾウ・ソウ・おくる
臓⑥ゾウ
候④そうろう・コウ
添 そえる・そう・テン
即 ソク
束④ソク・たば
足①ソク・あし・たりる・たる・たす
促 ソク・うながす
則⑤ソク

息③ソク・いき
捉 ソク・とらえる
速③ソク・はやい・はやめる・はやまる・すみやか
側④ソク・がわ
測⑤ソク・はかる
塞 ソク㋮・サイ㋮
俗 ゾク
族③ゾク
属⑤ゾク
続④ゾク・つづく・つづける
賊 ゾク
底④そこ・テイ
損⑤そこなう・そこねる・ソン
注③そそぐ・チュウ
唆 そそのかす・サ
育③そだつ・そだてる・は

①〜⑥=配当学年　㋮=読み仮名を付ける音訓
傍線=小学校で習わない教育漢字の音訓

ぐくむ・イク
卒④ソツ
率⑤ソツ・リツ・ひきいる
袖　そで・シュウ⑪
外②そと（↓ガイ）
供⑥そなえる（↓キョウ）
備⑤そなえる・そなわる・ビ
園②その・エン
染⑥そまる（↓セン）
背⑥そむく・そむける・せ・せい・ハイ
初④そめる（↓ショ）
染⑥そめる（↓セン）
空①そら（↓クウ）
反③そる・そらす・ハン・ホン・タン
存⑥ソン・ゾン
村①ソン・むら
孫④ソン・まご
尊⑥ソン・たっとい・とうとい・たっとぶ・とうとぶ
損⑤ソン・そこなう・そこねる
遜　ソン
存⑥ゾン・ソン

【タ・た】

太②タ・タイ・ふとい・ふとる
他③タ・ほか
多②タ・おおい
汰　タ
手①た・て・シュ
田①た・デン
打③ダ・うつ
妥　ダ
唾　ダ・つば
蛇　ダ・ジャ・へび
堕　ダ
惰　ダ
駄　ダ
大①タイ・ダイ・おお・おおきい・おおいに
太②タイ・タ・ふとい・ふとる
代③タイ・ダイ・かわる・かえる・よ・しろ
台②タイ・ダイ
体②タイ・テイ・からだ
対③タイ・ツイ
待③タイ・まつ
怠　タイ・おこたる・なまける
胎　タイ
耐　タイ・たえる
退⑤タイ・しりぞく・しりぞける
帯④タイ・おびる・おび
泰　タイ
堆　タイ
袋　タイ・ふくろ
逮　タイ
替　タイ・かえる・かわる
貸⑤タイ・かす
隊④タイ
滞　タイ・とどこおる
態⑤タイ
戴　タイ
大①ダイ・タイ・おお・おおきい・おおいに
内②ダイ・ナイ・うち
代③ダイ・タイ・かわる・かえる・よ・しろ
台②ダイ・タイ
弟②ダイ・テイ・デ・おとうと
第③ダイ
題③ダイ

平③たいら（↓ヘイ）
耐 たえる・タイ
堪 たえる・カン
絶⑤たえる（↓ゼツ）
倒 たおす・たおれる・トウ
高②たかい・たか・たかまる・たかめる・コウ
互 たがい・ゴ
耕⑤たがやす・コウ
宝⑥たから・ホウ
滝 たき
薪 たきぎ・シン
宅⑥タク
択 タク
沢 タク・さわ
卓 タク
拓 タク
度③タク・ド・ト・たび
託 タク
濯 タク
炊 たく・スイ
諾 ダク
濁 ダク・にごる・にごす
抱 だく（↓ホウ）
類④たぐい・ルイ
巧 たくみ・コウ
蓄 たくわえる・チク
丈 たけ・ジョウ
竹①たけ・チク
岳 たけ・ガク
確⑤たしか・たしかめる・カク
足①たす（↓ソク）
出①だす（↓シュツ）
助③たすける・たすかる・すけ・ジョ
携 たずさえる・たずさわる・ケイ
訪⑥たずねる・おとずれる・ホウ
尋 たずねる・ジン
戦④たたかう・いくさ・セン
闘 たたかう・トウ
正①ただしい・ただす・まさ・セイ・ショウ
直②ただちに（↓チョク）
畳 たたみ・たたむ・ジョウ
漂 ただよう・ヒョウ
達④タツ
立①たつ（↓リツ）
建④たつ（↓ケン）
断⑤たつ・ことわる・ダン
絶⑤たつ（↓ゼツ）
裁⑥たつ・さばく・サイ
竜 たつ・リュウ
脱 ダツ・ぬぐ・ぬげる
奪 ダツ・うばう
尊⑥たっとい・たっとぶ（↓ソン）
貴⑥たっとい・たっとぶ（↓キ）
盾 たて・ジュン
縦⑥たて・ジュウ
奉 たてまつる・ホウ・ブ
立①たてる（↓リツ）
建④たてる（↓ケン）
例④たとえる・レイ
棚 たな
谷②たに・コク
種④たね・シュ
楽②たのしい・たのしむ・ガク・ラク
頼 たのむ・たのもしい・たよる・ライ
束④たば・ソク
度③たび・ド・ト・タク
旅③たび・リョ

①〜⑥＝配当学年　㊉＝読み仮名を付ける音訓
傍線＝小学校で習わない教育漢字の音訓

食②たべる（↓ショク）
玉①たま・ギョク
球③たま・キュウ
弾　たま（↓ダン）
霊　たま・レイ・リョウ
卵⑥たまご・ラン
魂　たましい・コン
黙　だまる・モク
賜　たまわる・シ
民④たみ・ミン
試④ためす・こころみる・シ
矯　ためる・キョウ
保⑤たもつ・ホ
絶⑤たやす（↓ゼツ）
便④たより・ベン・ビン
頼　たよる（↓ライ）
足①たりる・たる・たす・あし・ソク
誰　だれ

垂⑥たれる・たらす・スイ
戯　たわむれる・ギ
俵⑤たわら・ヒョウ
丹　タン
反③タン・ハン・ホン・そる・そらす
旦　タン・ダン
担⑥タン・かつぐ・になう
単④タン
胆　タン
炭③タン・すみ
探⑥タン・さぐる・さがす
淡　タン・あわい
短③タン・みじかい
嘆　タン・なげく・なげかわしい
端　タン・はし・は・はた
綻　タン
誕⑥タン
壇　タン・ダン

鍛　タン・きたえる
旦　ダン・タン
団⑤ダン・トン
男①ダン・ナン・おとこ
段⑥ダン
断⑤ダン・たつ・ことわる
弾　ダン・ひく・はずむ・たま
暖⑥ダン・あたたか・あたたかい・あたたまる・あたためる
談③ダン
壇　ダン・タン

【チ・ち】

地②チ・ジ
池②チ・いけ
治④チ・ジ・おさめる・おさまる・なおる・なおす

知②チ・しる
値⑥チ・ね・あたい
恥　チ・はじる・はじ・はじらう・はずかしい
致　チ・いたす
遅　チ・おくれる・おくらす・おそい
痴　チ
稚　チ
置④チ・おく
質⑤チ・シツ・シチ
緻　チ
千①ち・セン
血③ち・ケツ
乳⑥ち・ちち・ニュウ
小①ちいさい（↓ショウ）
近②ちかい・キン
昏　ちかう・セイ
違　ちがう・ちがえる・イ
力①ちから・リョク・リキ

契 ちぎる・ケイ
竹①チク・たけ
畜 チク
逐 チク
蓄 チク・たくわえる
築⑤チク・きずく
父②ちち・フ
乳⑥ちち・ち・ニュウ
縮⑥ちぢむ・ちぢまる・ちぢめる・ちぢれる・ちぢらす・シュク
秩 チツ
窒 チツ
茶②チャ・サ
着③チャク・ジャク・きる・きせる・つく・つける
嫡 チャク
中①チュウ・ジュウ・なか
仲④チュウ・なか
虫①チュウ・むし
沖 チュウ・おき
宙⑥チュウ
忠⑥チュウ
抽 チュウ
注③チュウ・そそぐ
昼②チュウ・ひる
柱③チュウ・はしら
衷 チュウ
酎 チュウ
鋳 チュウ・いる
駐 チュウ
著⑥チョ・あらわす・いちじるしい
貯④チョ
緒 チョ・ショ・お
丁③チョウ・テイ
弔 チョウ・とむらう
庁⑥チョウ
兆④チョウ・きざす・きざし
町①チョウ・まち
長②チョウ・ながい
挑 チョウ・いどむ
重③チョウ・ジュウ・え・おもい・かさねる・かさなる
帳③チョウ
張⑤チョウ・はる
彫 チョウ・ほる
眺 チョウ・ながめる
釣 チョウ・つる
頂⑥チョウ・いただく・いただき
鳥②チョウ・とり
朝②チョウ・あさ
貼 チョウ・はる
超 チョウ・こえる・こす
腸④チョウ
跳 チョウ・はねる・とぶ
徴 チョウ
嘲 チョウ
潮⑥チョウ・しお
澄 チョウ・すむ・すます
調③チョウ・しらべる・ととのう・ととのえる
聴 チョウ・きく
懲 チョウ・こりる・こらす・こらしめる
直②チョク・ジキ・ただちに・なおす・なおる
勅 チョク
捗 チョク㋮
散④ちる・ちらす・ちらかす・ちらかる・サン
沈 チン・しずむ・しずめる
珍 チン・めずらしい
陳 チン
賃⑥チン
鎮 チン・しずめる・しず

まる

【ツ・つ】

通②ツ・ツウ・とおる・とおす・かよう
都③ツ・ト・みやこ
津 つ・シン
対③ツイ・タイ
追③ツイ・おう
椎 ツイ
墜 ツイ
費④ついやす・ついえる・ヒ
通②ツウ・ツ・とおる・とおす・かよう
痛⑥ツウ・いたい・いたむ・いためる
塚 つか
使③つかう・シ
遣 つかう・つかわす・ケン
仕③つかえる・シ・ジ
尽 つかす（↓ジン）
捕 つかまえる・つかまる（↓ホ）
潰 つかる・つける
疲 つかれる・ヒ
遣 つかわす・つかう・ケン
月①つき・ゲツ・ガツ
次③つぎ・つぐ・ジ・シ
尽 つきる（↓ジン）
付④つく・つける・フ
突 つく・トツ
就⑥つく（↓シュウ）
着③つく（↓チャク）
次③つぐ・つぎ・ジ・シ
接⑤つぐ・セツ
継 つぐ・ケイ
机⑥つくえ・キ
尽 つくす（↓ジン）
償 つぐなう・ショウ
作②つくる・サク・サ
造⑤つくる・ゾウ
創⑥つくる・ソウ
繕 つくろう・ゼン
付④つける・つく・フ
就⑥つける（↓シュウ）
着③つける（↓チャク）
潰 つける・つかる
告④つげる・コク
伝④つたえる・つたわる・つたう・デン
拙 つたない・セツ
土①つち・ド・ト
培 つちかう・バイ
筒 つつ・トウ
続④つづく・つづける・ゾク
慎 つつしむ・シン
謹 つつしむ・キン
堤 つつみ・テイ
鼓 つづみ・コ
包④つつむ・ホウ
集③つどう（↓シュウ）
努④つとめる・ド
務④つとめる・つとまる・ム
勤⑥つとめる・つとまる・キン・ゴン
綱 つな・コウ
常⑤つね・とこ・ジョウ
角②つの・かど・カク
募 つのる・ボ
唾 つば・ダ
翼 つばさ・ヨク
粒 つぶ・リュウ
坪 つぼ
妻⑤つま・サイ
罪⑤つみ・ザイ

詰 つむ・つめる・つまる・キツ
摘 つむ・テキ
積④ つむ・つもる・セキ
紡 つむぐ・ボウ
爪 つめ・つま
冷④ つめたい（↓レイ）
詰 つめる（↓キツ）
積④ つもる・つむ・セキ
艶 つや・エン
露 つゆ・ロ・ロウ
強② つよい・つよまる・つよめる（↓キョウ）
面③ つら（↓メン）
貫 つらぬく・カン
連④ つらねる・つらなる・つれる・レン
釣 つる・チョウ
弦 つる・ゲン
鶴 つる

剣 つるぎ・ケン
連④ つれる（↓レン）

【テ・て】

手① て・た・シュ
弟② デ・テイ・ダイ・おとうと
丁③ テイ・チョウ
体② テイ・タイ・からだ
低④ テイ・ひくい・ひくめる・ひくまる
呈 テイ
廷 テイ
弟② テイ・ダイ・デ・おとうと
定③ テイ・ジョウ・さだめる・さだまる・さだか
底④ テイ・そこ
抵 テイ
邸 テイ

亭 テイ
帝 テイ
訂 テイ
貞 テイ
庭③ テイ・にわ
逓 テイ
停④ テイ
偵 テイ
堤 テイ・つつみ
提⑤ テイ・さげる
程⑤ テイ・ほど
艇 テイ
締 テイ・しまる・しめる
諦 テイ・あきらめる
泥 デイ・どろ
的④ テキ・まと
笛③ テキ・ふえ
摘 テキ・つむ
滴 テキ・しずく・したたる

適⑤ テキ
敵⑤ テキ・かたき
溺 デキ・おぼれる
迭 テツ
哲 テツ
鉄③ テツ
徹 テツ
撤 テツ
寺② てら・ジ
照④ てる・てらす・てれる・ショウ
出① でる（↓シュツ）
天① テン・あめ・あま
典④ テン
店② テン・みせ
点② テン
展⑥ テン
添 テン・そえる・そう
転③ テン・ころがる・ころげる・ころがす・ころ

①〜⑥＝配当学年　㊎＝読み仮名を付ける音訓
傍線＝小学校で習わない教育漢字の音訓

ぶ
塡 テン⑪
殿 テン・デン・との・どの
田①デン・た
伝④デン・つたわる・つたえる・つたう
殿 デン・テン・との・どの
電②デン

【ト・と】

土①ト・ド・つち
斗 ト
吐 ト・はく
図②ト・ズ・はかる
妬 ト
度③ト・ド・タク・たび
徒④ト
途 ト
都③ト・ツ・みやこ
渡 ト・わたる・わたす
登③ト・トウ・のぼる
塗 ト・ぬる
賭 ト・かける
頭②ト・トウ・ズ・あたま・かしら
十①と・とお・ジュウ・ジッ
戸②と・コ
土①ド・ト・つち
奴 ド
努④ド・つとめる
度③ド・ト・タク・たび
怒 ド・いかる・おこる
問③とい（→モン）
刀②トウ・かたな
冬②トウ・ふゆ
当②トウ・あたる・あてる
灯④トウ・ひ
投③トウ・なげる
豆③トウ・ズ・まめ
到 トウ
東②トウ・ひがし
逃 トウ・にげる・にがす・のがす・のがれる
倒 トウ・たおれる・たおす
党⑥トウ
凍 トウ・こおる・こごえる
唐 トウ・から
島③トウ・しま
桃 トウ・もも
納⑥トウ・ノウ・ナッ・ナ・ナン・おさめる・おさまる
討⑥トウ・うつ
透 トウ・すく・すかす・すける
悼 トウ・いたむ
盗 トウ・ぬすむ
陶 トウ
塔 トウ
搭 トウ
棟 トウ・むね・むな
湯③トウ・ゆ
痘 トウ
登③トウ・ト・のぼる
等③トウ・ひとしい
筒 トウ・つつ
答②トウ・こたえる・こたえ
統⑤トウ・すべる
道②トウ・ドウ・みち
稲 トウ・いね・いな
読②トウ・ドク・トク・よむ
踏 トウ・ふむ・ふまえる
糖⑥トウ

頭②トウ・ズ・ト・あたま・かしら
謄トウ
藤トウ・ふじ
闘トウ・たたかう
騰トウ
問③とう（↓モン）
同②ドウ・おなじ
洞ドウ・ほら
胴ドウ
動③ドウ・うごく・うごかす
堂④ドウ
童③ドウ・わらべ
道②ドウ・トウ・みち
働④ドウ・はたらく
銅⑤ドウ
導⑤ドウ・みちびく
瞳ドウ・ひとみ
峠とうげ

尊⑥とうとい・とうとぶ（↓ソン）
貴⑥とうとい・とうとぶ（↓キ）
十①とお・と・ジュウ・ジッ
遠②とおい・エン・オン
通②とおる・とおす・かよう・ツウ・ツ
溶とかす（↓ヨウ）
解⑤とかす（↓カイ）
時②とき・ジ
匿トク
特④トク
得④トク・える・うる
督トク
徳⑤トク
読②トク・ドク・トウ・よむ
篤トク

溶とく（↓ヨウ）
解⑤とく（↓カイ）
説④とく・セツ・ゼイ
研④とぐ・ケン
毒④ドク
独⑤ドク・ひとり
読②ドク・トク・トウ・よむ
溶とける（↓ヨウ）
解⑤とける（↓カイ）
遂とげる・スイ
床とこ・ゆか・ショウ
常⑤とこ・つね・ジョウ
所③ところ・ショ
年①とし・ネン
閉⑥とじる・とざす・しめる・しまる・ヘイ
栃とち
凸トツ
突トツ・つく

嫁とつぐ・よめ・カ
届⑥とどく・とどける
滞とどこおる・タイ
調③ととのう・ととのえる・しらべる・チョウ
整③ととのう・ととのえる・セイ
唱④となえる・ショウ
隣となり・となる・リン
殿との・どの・デン・テン
扉とびら・ヒ
飛④とぶ・とばす・ヒ
跳とぶ・はねる・チョウ
乏とぼしい・ボウ
止②とまる・とめる・シ
泊とまる・とめる・ハク
留⑤とまる（↓リュウ）
富⑤とみ・とむ・フ・フウ
弔とむらう・チョウ

止②とめる・とまる・シ
泊　とめる・とまる・ハク
留⑤とめる（↓リュウ）
友②とも・ユウ
共④とも・キョウ
供⑥とも（↓キョウ）
伴　ともなう・ハン・バン
虎　とら・コ
捉　とらえる・ソク
捕　とらえる・とらわれる（↓ホ）
鳥②とり・チョウ
鶏　とり・にわとり・ケイ
取③とる・シュ
捕　とる（↓ホ）
執　とる・シツ・シュウ
採⑤とる・サイ
撮　とる・サツ
泥　どろ・デイ
屯　トン
団⑤トン・ダン
豚　トン・ぶた
頓　トン
問③とん（↓モン）
貪　ドン
鈍　ドン・にぶい・にぶる
曇　ドン・くもる
丼　どんぶり・どん

【ナ・な】

那　ナ
奈　ナ
南②ナ・ナン・みなみ
納⑥ナ・ノウ・ナッ・ナン・トウ・おさめる・おさまる
名①な・メイ・ミョウ
菜④な・サイ
内②ナイ・ダイ・うち
亡⑥ない・ボウ・モウ
無④ない・ム・ブ
苗　なえ・なわ・ビョウ
治④なおす・なおる（↓ジ）
直②なおす・なおる（↓チョク）
中①なか・チュウ・ジュウ
仲④なか・チュウ
永⑤ながい・エイ
長②ながい・チョウ
流③ながす・ながれる・リュウ・ル
半②なかば・ハン
眺　ながめる・チョウ
泣④なく・キュウ
鳴②なく（↓メイ）
慰　なぐさめる・なぐさむ・イ
殴　なぐる・オウ
嘆　なげく・なげかわしい・タン
投③なげる・トウ
和③なごむ・なごやか（↓ワ）
情⑤なさけ・ジョウ・セイ
梨　なし
成④なす（↓セイ）
謎　なぞ
納⑥ナッ・ノウ・ナ・ナン・トウ・おさめる・おさまる
夏②なつ・カ・ゲ
懐　なつかしい・なつかしむ・なつく・なつける・ふところ・カイ
七①なな・ななつ・なの・シチ
斜　ななめ・シャ
何②なに・なん・カ
鍋　なべ
生①なま（↓セイ）

怠 なまける・おこたる・タイ
鉛 なまり・エン
並⑥ なみ（↓ヘイ）
波③ なみ・ハ
涙 なみだ・ルイ
滑 なめらか・すべる・カツ・コツ
悩 なやむ・なやます・ノウ
倣 ならう・ホウ
習③ ならう・シュウ
並⑥ ならぶ・ならべる・ならびに・なみ・ヘイ
成④ なる（↓セイ）
鳴② なる・ならす・なく・メイ
慣⑤ なれる・ならす・カン
苗 なわ・なえ・ビョウ
縄 なわ・ジョウ

男① ナン・ダン・おとこ
南② ナン・ナ・みなみ
納⑥ ナン・ノウ・ナッ・ナ・トウ・おさめる・おさまる
軟 ナン・やわらか・やわらかい
難⑥ ナン・かたい・むずかしい
何② なん・なに・カ

【ニ・に】

二① ニ・ふた・ふたつ
仁⑥ ニ・ジン
尼 ニ・あま
弐 ニ
児④ ニ・ジ
荷③ に・カ
新② にい（↓シン）
煮 にえる（↓シャ）

匂 におう
臭 におう・くさい・シュウ
苦③ にがい・にがる（↓ク）
逃 にがす（↓トウ）
握 にぎる・アク
肉② ニク
憎 にくい・にくむ・にくらしい・にくしみ・ゾウ
逃 にげる（↓トウ）
濁 にごる・にごす・ダク
西② にし・セイ・サイ
虹 にじ・コウ
錦 にしき・キン
偽 にせ・いつわる・ギ
日① ニチ・ジツ・ひ・か
担⑥ になう・かつぐ・タン
鈍 にぶい・にぶる・ドン
若⑥ ニャク・ジャク・わか

煮 にやす（↓シャ）
入① ニュウ・いる・いれる・はいる
乳⑥ ニュウ・ちち・ち
柔 ニュウ・ジュウ・やわらか・やわらかい
女① ニョ・ジョ・ニョウ・おんな・め
如 ニョ・ジョ
女① ニョウ・ジョ・ニョ・おんな・め
尿 ニョウ
似⑤ にる・ジ
煮 にる（↓シャ）
庭③ にわ・テイ
鶏 にわとり・とり・ケイ
人① ニン・ジン・ひと
任⑤ ニン・まかせる・まかす

妊 ニン
忍 ニン・しのぶ・しのばせる
認⑥ニン・みとめる

【ヌ・ぬ】

縫 ぬう・ホウ
抜 ぬく・ぬける・ぬかす・ぬかる・バツ
脱 ぬぐ・ぬげる・ダツ
拭 ぬぐう・ふく・ショク⑫
主③ぬし・おも・シュ・ス
盗 ぬすむ・トウ
布⑤ぬの・フ
沼 ぬま・ショウ
塗 ぬる・ト

【ネ・ね】

音①ね・おと・オン・イン
値⑥ね・あたい・チ
根③ね・コン
寧 ネイ
願④ねがう・ガン
寝 ねかす・ねる・シン
猫 ねこ・ビョウ
熱④ネツ・あつい
粘 ねばる・ネン
眠 ねむる・ねむい・ミン
狙 ねらう・ソ
寝 ねる・ねかす・シン
練③ねる・レン
年①ネン・とし
念④ネン
捻 ネン
粘 ネン・ねばる
然④ネン・ゼン
燃⑤ネン・もえる・もやす・もす
懇 ねんごろ・コン

【ノ・の】

野②の・ヤ
悩 ノウ・なやむ・なやます
能⑤ノウ
納⑥ノウ・ナッ・ナ・ナン・トウ・おさめる・おさまる
脳⑥ノウ
農③ノウ
濃 ノウ・こい
逃 のがす・のがれる・にげる・にがす・トウ
軒 のき・ケン
残④のこる・のこす・ザン
乗③のせる・のる・ジョウ
載 のせる・のる・サイ
除⑥のぞく・ジョ・ジ
望④のぞむ・ボウ・モウ
臨⑥のぞむ・リン
喉 のど・コウ
後②のち（↓ゴ）
伸 のびる・のばす・のべる・シン
延⑥のびる・のべる・のばす・エン
述⑤のべる・ジュツ
上①のぼる・のぼせる・のぼす（↓ジョウ）
昇 のぼる・ショウ
登③のぼる・トウ・ト
飲③のむ・イン
乗③のる・のせる・ジョウ
載 のる・のせる・サイ
呪 のろう・ジュ

【ハ・は】

把 ハ
波③ハ・なみ

派⑥ハ
破⑤ハ・やぶる・やぶれる
覇 ハ
刃 は・ジン
羽②は・はね・ウ
葉③は・ヨウ
歯③は・シ
端 は・はし・はた・タン
馬②バ・うま・ま
婆 バ
罵 バ
場②ば・ジョウ
拝⑥ハイ・おがむ
胚 ハイ
杯 ハイ・さかずき
肺⑥ハイ
背⑥ハイ・せ・せい・そむく・そむける
俳⑥ハイ
配③ハイ・くばる

排 ハイ
敗④ハイ・やぶれる
廃 ハイ・すたれる・すたる
輩 ハイ
灰⑥はい・カイ
売②バイ・うる・うれる
倍③バイ
梅④バイ・うめ
培 バイ・つちかう
陪 バイ
媒 バイ
買②バイ・かう
賠 バイ
入①はいる（↓ニュウ）
生①はえる（↓セイ）
映⑥はえる（↓エイ）
栄④はえる・はえ・さかえる・エイ
墓⑤はか・ボ

剝 はがす・はぐ・はがれる・はげる・ハク
化③ばかす（↓カ）
鋼⑥はがね・コウ
図②はかる・ズ・ト
計②はかる・はからう・ケイ
測⑤はかる・ソク
量④はかる・リョウ
諮 はかる・シ
謀 はかる・ボウ・ム
白①ハク・ビャク・しろ・しら・しろい
伯 ハク
拍 ハク・ヒョウ
泊 ハク・とまる・とめる
迫 ハク・せまる
剝 ハク・はがす・はぐ・はがれる・はげる
舶 ハク

博④ハク・バク
薄 ハク・うすい・うすめる・うすまる・うすらぐ・うすれる
吐 はく・ト
掃 はく・ソウ
履 はく・リ
剝 はぐ（↓ハク）
育③はぐくむ・そだつ・そだてる・イク
麦②バク・むぎ
博④バク・ハク
幕⑥バク・マク
漠 バク
暴⑤バク・ボウ・あばく・あばれる
縛 バク・しばる
爆 バク
激⑥はげしい・ゲキ
励 はげむ・はげます・レ

①〜⑥＝配当学年　㊊＝読み仮名を付ける音訓
傍線＝小学校で習わない教育漢字の音訓

剝　イ　はげる（↓ハク）
化③ばける（↓カ）
箱③はこ
運③はこぶ・ウン
挟　はさむ・はさまる・キョウ
端　はし・は・はた・タン
箸　はし
橋③はし・キョウ
恥　はじ（↓チ）
初④はじめ・はじめて（↓ショ）
始③はじめる・はじまる・シ
柱③はしら・チュウ
走②はしる・ソウ
恥　はじる・はじ・はじらう・はずかしい・チ
辱　はずかしめる・ジョク

外②はずす・はずれる・そと・ほか・ガイ・ゲ
弾　はずむ（↓ダン）
畑③はた・はたけ
旗④はた・キ
端　はた・はし・は・タン
機④はた・キ
肌　はだ
裸　はだか・ラ
畑③はたけ・はた
果④はたす（↓カ）
働④はたらく・ドウ
八①ハチ・や・やつ・やっつ・よう
鉢　ハチ・ハツ
蜂　はち・ホウ
罰　バチ・バツ
発③ハツ・ホツ
鉢　ハツ・ハチ
髪　ハツ・かみ

法④ハツ・ホウ・ホツ
初④はつ（↓ショ）
末④バツ・マツ・すえ
伐　バツ
抜　バツ・ぬく・ぬける・ぬかす・ぬかる
閥　バツ・バチ
罰　バツ・バチ
果④はて・はてる・はたす・カ
花①はな・カ
華　はな・カ・ケ
鼻③はな・ビ
話②はなし・はなす・ワ
放③はなす・はなつ・はなれる・ほうる・ホウ
離　はなす・はなれる・リ
甚　はなはだ・はなはだしい・ジン
羽②はね・は・ウ

跳　はねる・とぶ・チョウ
母②はは・ボ
幅　はば・フク
阻　はばむ・ソ
省④はぶく（↓セイ）
浜　はま・ヒン
早①はやい・はやまる・はやめる・ソウ・サツ
速③はやい・はやめる・はやまる・すみやか・ソク
林①はやし・リン
生①はやす（↓セイ）
原②はら・ゲン
腹⑥はら・フク
払　はらう・フツ
晴②はらす・はれる・セイ
腫　はらす・はれる・シュ
針⑥はり・シン
貼　はる・チョウ

張⑤はる・チョウ
春②はる・シュン
晴②はれる・はらす・セイ
腫はれる・はらす・シュ
凡ハン・ボン
反③ハン・ホン・タン・そる・そらす
半②ハン・なかば
氾ハン
犯⑤ハン・おかす
帆ハン・ほ
汎ハン㋮
伴ハン・バン・ともなう
判⑤ハン・バン
坂③ハン・さか
阪ハン
板③ハン・バン・いた
版⑤ハン
班⑥ハン
畔ハン

般ハン
販ハン
斑ハン
飯④ハン・めし
搬ハン
煩ハン・ボン・わずらう・わずらわす
頒ハン
範ハン
繁ハン
藩ハン
万②バン・マン
伴バン・ハン・ともなう
判⑤バン・ハン
板③バン・ハン・いた
晩⑥バン
番②バン
蛮バン
盤バン

【ヒ・ひ】

比⑤ヒ・くらべる
皮③ヒ・かわ
妃ヒ
否⑥ヒ・いな
批⑥ヒ
彼ヒ・かれ・かの
披ヒ
泌ヒ・ヒツ
肥⑤ヒ・こえる・こえ・こやす・こやし
非⑤ヒ
卑ヒ・いやしい・いやしむ・いやしめる
飛④ヒ・とぶ・とばす
疲ヒ・つかれる
秘⑥ヒ・ひめる
被ヒ・こうむる
悲③ヒ・かなしい・かなし

扉ヒ・とびら
費④ヒ・ついやす・ついえる
碑ヒ
罷ヒ
避ヒ・さける
日①ひ・か・ニチ・ジツ
火①ひ・ほ・カ
氷③ひ・こおり・ヒョウ
灯④ひ・トウ
尾ビ・お
眉ビ・ミ・まゆ
美③ビ・うつくしい
備⑤ビ・そなえる・そなわる
微ビ
鼻③ビ・はな
秀ひいでる・シュウ
冷④ひえる（↓レイ）

①〜⑥＝配当学年　㋮＝読み仮名を付ける音訓
傍線＝小学校で習わない教育漢字の音訓

控　ひかえる・コウ
東②ひがし・トウ
光②ひかり・ひかる・コウ
匹　ひき・ヒツ
率⑤ひきいる・ソツ・リツ
引②ひく・ひける・イン
弾　ひく（↓ダン）
低④ひくい・ひくめる・ひくまる・テイ
膝　ひざ
久⑤ひさしい・キュウ・ク
肘　ひじ
潜　ひそむ・もぐる・セン
額⑤ひたい・ガク
浸　ひたす・ひたる・シン
左①ひだり・サ
匹　ヒツ・ひき
必④ヒツ・かならず
泌　ヒツ・ヒ
筆③ヒツ・ふで

羊③ひつじ・ヨウ
一①ひと・ひとつ・イチ・イツ
人①ひと・ジン・ニン
等③ひとしい・トウ
瞳　ひとみ・ドウ
独⑤ひとり・ドク
響　ひびく・キョウ
暇　ひま・カ
姫　ひめ
秘⑥ひめる・ヒ
冷④ひや・ひやす・ひやかす（↓レイ）
百①ヒャク
白①ビャク・ハク・しろ・しら・しろい
氷③ヒョウ・こおり・ひ
兵④ヒョウ・ヘイ
拍　ヒョウ・ハク
表③ヒョウ・おもて・あらわす・あらわれる
俵⑤ヒョウ・たわら
票④ヒョウ
評⑤ヒョウ
漂　ヒョウ・ただよう
標④ヒョウ
平③ビョウ・ヘイ・たいら・ひら
苗　ビョウ・なえ・なわ
秒③ビョウ
病③ビョウ・ヘイ・やむ・やまい
描　ビョウ・えがく・かく
猫　ビョウ・ねこ
平③ひら（↓ヘイ）
開③ひらく・ひらける・あく・あける・カイ
干⑥ひる・ほす・カン
昼②ひる・チュウ
翻　ひるがえる・ひるがえす・ホン
広②ひろい・ひろまる・ひろめる・ひろがる・ひろげる・コウ
拾③ひろう・シュウ・ジュウ
品③ヒン・しな
浜　ヒン・はま
貧⑤ヒン・ビン・まずしい
賓　ヒン
頻　ヒン
便④ビン・ベン・たより
敏　ビン
瓶　ビン
貧⑤ビン・ヒン・まずしい

【フ・ふ】

不④フ・ブ
夫④フ・フウ・おっと
父②フ・ちち

付④フ・つける・つく
布⑤フ・ぬの
扶　フ
府④フ
怖　フ・こわい
歩②フ・ホ・ブ・あるく・あゆむ
阜　フ
訃　フ
負③フ・まける・まかす・おう
赴　フ・おもむく
風②フ・フウ・かぜ・かざ
浮　フ・うく・うかれる・うかべる
婦⑤フ
符　フ
富⑤フ・フウ・とむ・とみ
普　フ
腐　フ・くさる・くされる・くさらす
敷　フ・しく
府　フ
賦　フ
譜　フ
不④フ・フ
分②フ・ブン・フン・わける・わかれる・わかる・わかつ
侮　ブ・あなどる
奉　ブ・ホウ・たてまつる
武⑤ブ・ム
歩②ブ・ホ・フ・あるく・あゆむ
部③ブ
無④ブ・ム・ない
舞　ブ・まう・まい
夫④フウ・フ・おっと
封　フウ・ホウ
風②フウ・フ・かぜ・かざ
富⑤フウ・フ・とむ・とみ
笛③ふえ・テキ
殖　ふえる・ふやす・ショク
増⑤ふえる（↓ゾウ）
深③ふかい・ふかまる・ふかめる・シン
更　ふかす（↓コウ）
伏　フク・ふせる・ふす
服③フク
副④フク
幅　フク・はば
復⑤フク
腹⑥フク・はら
福③フク
複⑤フク
覆　フク・おおう・くつがえす・くつがえる
吹　ふく・スイ
拭　ふく・ぬぐう・ショク㋮
噴　ふく・フン
含　ふくむ・ふくめる・ガン
膨　ふくらむ・ふくれる・ボウ
袋　ふくろ・タイ
老④ふける・おいる・ロウ
更　ふける（↓コウ）
房　ふさ・ボウ
節④ふし・セツ・セチ
藤　ふじ・トウ
伏　ふす・ふせる・フク
防⑤ふせぐ・ボウ
二①ふた・ふたつ・ニ
双　ふた・ソウ
札④ふだ・サツ
豚　ぶた・トン
再⑤ふたたび・サイ・サ
淵　ふち
縁　ふち・エン

①〜⑥＝配当学年　㋮＝読み仮名を付ける音訓
傍線＝小学校で習わない教育漢字の音訓

払 フツ・はらう
沸 フツ・わく・わかす
仏⑤ブツ・ほとけ
物③ブツ・モツ・もの
筆③ふで・ヒツ
太②ふとい・ふとる・タイ・タ
懐 ふところ（↓カイ）
舟 ふね・ふな・シュウ
船② ふね・ふな・セン
文①ふみ・ブン・モン
踏 ふむ・ふまえる・トウ
麓 ふもと・ロク
殖 ふやす・ふえる・ショク
増⑤ふやす（↓ゾウ）
冬②ふゆ・トウ
振 ふる・ふるう・ふれる・シン
降⑥ふる（↓コウ）
古②ふるい・ふるす・コ
震 ふるう・ふるえる・シン
奮⑥ふるう・フン
触 ふれる・さわる・ショク
分②フン・ブン・ブ・わける・わかれる・わかる・わかつ
粉④フン・こ・こな
紛 フン・まぎれる・まぎらす・まぎらわす・まぎらわしい
雰 フン
噴 フン・ふく
墳 フン
憤 フン・いきどおる
奮⑥フン・ふるう
分②ブン・フン・ブ・わける・わかれる・わかる・わかつ
文①ブン・モン・ふみ
聞②ブン・モン・きく・きこえる

【へ・ヘ】

辺④ベ・あたり・ヘン
丙 ヘイ
平③ヘイ・ビョウ・たいら・ひら
兵④ヘイ・ヒョウ
並⑥ヘイ・なみ・ならべる・ならぶ・ならびに
併 ヘイ・あわせる
柄 ヘイ・がら・え
病③ヘイ・ビョウ・やむ・やまい
陛⑥ヘイ
閉⑥ヘイ・とじる・とざす・しめる・しまる
塀 ヘイ
幣 ヘイ
弊 ヘイ
蔽 ヘイ㊟
餅 ヘイ・もち
米②ベイ・マイ・こめ
壁 ヘキ・かべ
璧 ヘキ
癖 ヘキ・くせ
隔 へだてる・へだたる・カク
別④ベツ・わかれる
蔑 ベツ
紅⑥ベに・くれない・コウ・ク
蛇 へび・ジャ・ダ
経⑤へる・ケイ・キョウ
減⑤へる・へらす・ゲン
片⑥ヘン・かた
辺④ヘン・あたり・ベ

返③ヘン・かえす・かえる
変④ヘン・かわる・かえる
偏 ヘン・かたよる
遍 ヘン
編⑤ヘン・あむ
弁⑤ベン
便④ベン・ビン・たより
勉③ベン

【ホ・ほ】

歩②ホ・ブ・フ・あるく・あゆむ
保⑤ホ・たもつ
哺 ホ
捕 ホ・とらえる・とらわれる・とる・つかまえる・つかまる
補⑥ホ・おぎなう
舗 ホ
火①ホ・ひ・カ
帆 ほ・ハン
穂 ほ・スイ
母②ボ・はは
募 ボ・つのる
墓⑤ボ・はか
慕 ボ・したう
暮⑥ボ・くれる・くらす
模⑥ボ・モ
簿 ボ
方②ホウ・かた
包④ホウ・つつむ
芳 ホウ・かんばしい
邦 ホウ
奉 ホウ・ブ・たてまつる
宝⑥ホウ・たから
抱 ホウ・だく・いだく・かかえる
放③ホウ・はなす・はなつ・はなれる・ほうる
法④ホウ・ハッ・ホッ
泡 ホウ・あわ
封 ホウ・フウ
胞 ホウ
俸 ホウ
倣 ホウ・ならう
峰 ホウ・みね
砲 ホウ
崩 ホウ・くずれる・くずす
訪⑥ホウ・おとずれる・たずねる
報⑤ホウ・むくいる
蜂 ホウ・はち
豊⑤ホウ・ゆたか
飽 ホウ・あきる・あかす
褒 ホウ・ほめる
縫 ホウ・ぬう
亡⑥ボウ・モウ・ない
乏 ボウ・とぼしい
妄 ボウ・モウ
忙 ボウ・いそがしい
坊 ボウ・ボッ
妨 ボウ・さまたげる
忘⑥ボウ・わすれる
防⑤ボウ・ふせぐ
房 ボウ・ふさ
肪 ボウ
冒 ボウ・おかす
某 ボウ
剖 ボウ
紡 ボウ・つむぐ
望④ボウ・モウ・のぞむ
傍 ボウ・かたわら
帽 ボウ
棒⑥ボウ
貿⑤ボウ
貌 ボウ
暴⑤ボウ・バク・あばく・あばれる
膨 ボウ・ふくらむ・ふくれる

①〜⑥＝配当学年　㊙＝読み仮名を付ける音訓
傍線＝小学校で習わない教育漢字の音訓

れる
謀 ボウ・ム・はかる
葬 ほうむる・ソウ
放③ほうる（↓ホウ）
頬 ほお
外②ほか（↓ガイ）
他③ほか・タ
朗⑥ほがらか・ロウ
北②ホク・きた
木①ボク・モク・き・こ
目①ボク・モク・め・ま
朴 ボク
牧④ボク・まき
睦 ボク
僕 ボク
墨 ボク・すみ
撲 ボク
矛 ほこ・ム
誇 ほこる・コ
星②ほし・セイ・ショウ

欲⑥ほしい・ほっする・ヨク
干⑥ほす・ひる・カン
細②ほそい・ほそる・こまか・こまかい・サイ
蛍 ほたる・ケイ
発③ホツ・ハツ
法④ホツ・ホウ・ハツ
没 ボツ
勃 ボツ
坊 ボッ・ボウ
欲⑥ほっする・ほしい・ヨク
程⑤ほど・テイ
仏⑤ほとけ・ブツ
施 ほどこす・シ・セ
骨⑥ほね・コツ
炎 ほのお・エン
誉 ほまれ・ヨ
褒 ほめる・ホウ

洞 ほら・ドウ
堀 ほり
彫 ほる・チョウ
掘 ほる・クツ
滅 ほろびる・ほろぼす・メツ
反③ホン・ハン・タン・そる・そらす
本①ホン・もと
奔 ホン
翻 ホン・ひるがえる・ひるがえす
凡 ボン・ハン
盆 ボン
煩 ボン・ハン・わずらう・わずらわす

【マ・ま】

麻 マ・あさ
摩 マ

磨 マ・みがく
魔 マ
目①ま・め・モク・ボク
真③ま・シン
馬②ま・うま・バ
間②ま（↓カン）
毎②マイ
米②マイ・ベイ・こめ
妹②マイ・いもうと
枚⑥マイ
昧 マイ
埋 マイ・うめる・うまる・うもれる
舞 まい・まう・ブ
参④まいる・サン
前②まえ・ゼン
負③まかす（↓フ）
任⑤まかす・まかせる・ニン
賄 まかなう・ワイ

曲③まがる・まげる・キョク
牧④まき・ボク
巻⑥まき・まく・カン
紛まぎれる・まぎらす・まぎらわす・まぎらわしい・フン
幕⑥マク・バク
膜マク
巻⑥まく・まき・カン
枕まくら
負③まける（↓フ）
曲③まげる・まがる・キョク
孫④まご・ソン
誠⑥まこと・セイ
正①まさ（↓セイ）
勝③まさる・かつ・ショウ
交②まざる・まじる・まぜる・まじわる・まじえる（↓コウ）
混⑤まざる・まじる・まぜる・こむ・コン
増⑤ます（↓ゾウ）
升ます・ショウ
貧⑤まずしい・ヒン・ビン
股また・コ
瞬またたく・シュン
町①まち・チョウ
街④まち・ガイ・カイ
末④マツ・バツ・すえ
抹マツ
待③まつ・タイ
松④まつ・ショウ
全③まったく・すべて・ゼン
祭③まつり・まつる・サイ
政⑤まつりごと・セイ・ショウ
的④まと・テキ
窓⑥まど・ソウ
惑まどう・ワク
眼⑤まなこ・ガン・ゲン
学①まなぶ・ガク
免まぬかれる・メン
招⑤まねく・ショウ
幻まぼろし・ゲン
豆③まめ・トウ・ズ
守③まもる（↓シュ）
眉まゆ・ビ・ミ
繭まゆ・ケン
迷⑤まよう・メイ
丸②まる・まるい・まるめる・ガン
円①まるい・エン
周④まわり・シュウ
回②まわる・まわす・カイ・エ
万②マン・バン
満④マン・みちる・みたす
慢マン
漫マン

【ミ・み】

未④ミ
味③ミ・あじ・あじわう
眉ミ・ビ・まゆ
魅ミ
三①み・みつ・みっつ・サン
身③み・シン
実③み・みのる・ジツ
見①みえる（↓ケン）
磨みがく・マ
幹⑤みき・カン
右①みぎ・ウ・ユウ
詔みことのり・ショウ
操⑥みさお・あやつる・ソウ
岬みさき

①〜⑥＝配当学年　㊙＝読み仮名を付ける音訓
傍線＝小学校で習わない教育漢字の音訓

陵　みささぎ・リョウ
短③みじかい・タン
惨　みじめ・サン・ザン
水①みず・スイ
湖③みずうみ・コ
自②みずから・ジ・シ
店②みせ・テン
見①みせる（↓ケン）
溝　みぞ・コウ
満④みたす・みちる・マン
乱⑥みだす・みだれる・ラン
道②みち・ドウ・トウ
導⑤みちびく・ドウ
満④みちる・みたす・マン
密⑥ミツ
蜜　ミツ
三①みつ・み・みっつ・サン
貢　みつぐ・コウ・ク

認⑥みとめる・ニン
緑③みどり・リョク・ロク
皆　みな・カイ
港③みなと・コウ
南②みなみ・ナン・ナ
源⑥みなもと・ゲン
醜　みにくい・シュウ
峰　みね・ホウ
実③みのる・み・ジツ
耳①みみ・ジ
宮③みや（↓キュウ）
脈④ミャク
都③みやこ・ト・ツ
名①ミョウ・メイ・な
妙　ミョウ
命③ミョウ・メイ・いのち
明②ミョウ・メイ・あかり・あかるい・あかるむ・あからむ・あきらか・あける・あく・あくる・あかす
冥　ミョウ㊫・メイ
見①みる（↓ケン）
診　みる・シン
民④ミン・たみ
眠　ミン・ねむる・ねむい

【ム・む】

矛　ム・ほこ
武⑤ム・ブ
務⑤ム・つとめる・つとまる
無④ム・ブ・ない
夢⑤ム・ゆめ
謀　ム・ボウ・はかる
霧　ム・きり
六①む・むい（↓ロク）
迎　むかえる・ゲイ
昔③むかし・セキ・シャク
麦②むぎ・バク

向③むく・むける・むかう・むこう・コウ
報⑤むくいる・ホウ
婿　むこ・セイ
虫①むし・チュウ
蒸⑥むす（↓ジョウ）
難⑥むずかしい・かたい・ナン
結④むすぶ（↓ケツ）
娘　むすめ
六①むつ・む・むっつ・むい・ロク
旨　むね・シ
胸⑥むね・むな・キョウ
棟　むね・むな・トウ
村①むら・ソン
紫　むらさき・シ
群⑤むれ・むれる・むら・グン
蒸⑥むれる・むらす・むす・

室② ジョウ むろ・シツ

【メ・め】

女① め（↓ジョ）
目① め・ま・モク・ボク
芽④ め・ガ
雌 め・めす・シ
名① メイ・ミョウ・な
命③ メイ・ミョウ・いのち
明② メイ・ミョウ・あかり・あかるい・あかるむ・あからむ・あきらか・あける・あく・あくる・あかす
迷⑤ メイ・まよう
冥 メイ・ミョウ㊊
銘 メイ
盟⑥ メイ
鳴② メイ・なく・なる・な

恵 めぐむ・ケイ・エ
巡 めぐる・ジュン
飯④ めし・ハン
召 めす・ショウ
雌 めす・め・シ
珍 めずらしい・チン
滅 メツ・ほろびる・ほろぼす
免 メン・まぬかれる
面③ メン・おも・おもて・つら
綿⑤ メン・わた
麺 メン

【モ・も】

茂 モ・しげる
模⑥ モ・ボ
喪 も・ソウ
藻 も・ソウ

亡⑥ モウ・ボウ・ない
毛② モウ・け
妄 モウ・ボウ
盲 モウ
耗 モウ・コウ
望④ モウ・ボウ・のぞむ
猛 モウ
網 モウ・あみ
設⑤ もうける・セツ
申③ もうす・シン
詣 もうでる・ケイ
燃⑤ もえる（↓ネン）
木① モク・ボク・き・こ
目① モク・ボク・め・ま
黙 モク・だまる
潜 もぐる・ひそむ・セン
餅 もち・ヘイ
用② もちいる・ヨウ
物③ モツ・ブツ・もの

持③ もつ・ジ
最④ もっとも・サイ
専⑥ もっぱら・セン
下① もと（↓カ）
元② もと・ゲン・ガン
本① もと・ホン
基⑤ もと・もとい・キ
戻 もとす・もどる・レイ
求④ もとめる・キュウ
物③ もの・ブツ・モツ
者③ もの・シャ
桃 もも・トウ
燃⑤ もやす（↓ネン）
催 もよおす・サイ
漏 もらす（↓ロウ）
守③ もり（↓シュ）
森① もり・シン
盛⑥ もる（↓セイ）
漏 もる・もれる・もらす・ロウ

①〜⑥＝配当学年　㊊＝読み仮名を付ける音訓
傍線＝小学校で習わない教育漢字の音訓

文①モン・ブン・ふみ
門②モン・かど
紋　モン
問③モン・とう・とい・とん
聞②モン・ブン・きく・きこえる

【ヤ・や】

冶　ヤ㊙
夜②ヤ・よ・よる
野②ヤ・の
八①や（↓ハチ）
矢②や・シ
弥　や
屋③や・オク
家②や・いえ・カ・ケ
館③やかた・カン
厄　ヤク
役③ヤク・エキ
疫　ヤク・エキ
約④ヤク
益⑤ヤク・エキ
訳⑥ヤク・わけ
薬③ヤク・くすり
躍　ヤク・おどる
焼④やく・やける・ショウ
易⑤やさしい・エキ・イ
優⑥やさしい・すぐれる・ユウ
養④やしなう・ヨウ
社②やしろ・シャ
安③やすい・アン
休①やすむ・やすまる・やすめる・キュウ
痩　やせる・ソウ㊙
八①やつ・や・やっつ・よう・ハチ
宿③やど・やどる・やどす・シュク
雇　やとう・コ
柳　やなぎ・リュウ
破⑤やぶる・やぶれる・ハ
敗④やぶれる・ハイ
山①やま・サン
病③やまい・やむ・ビョウ・ヘイ
闇　やみ
辞④やめる・ジ
柔　やわらか・やわらかい・ジュウ・ニュウ
軟　やわらか・やわらかい・ナン
和③やわらぐ・やわらげる（↓ワ）

【ユ・ゆ】

由③ユ・ユウ・ユイ・よし
油③ユ・あぶら
喩　ユ
愉　ユ
遊③ユ・ユウ・あそぶ
諭　ユ・さとす
癒　ユ・いえる・いやす
輸⑤ユ
湯③ゆ・トウ
由③ユイ・ユ・ユウ・よし
唯　ユイ・イ
遺⑥ユイ・イ
友②ユウ・とも
右①ユウ・ウ・みぎ
由③ユウ・ユ・ユイ・よし
有③ユウ・ウ・ある
勇④ユウ・いさむ
幽　ユウ
悠　ユウ
郵⑥ユウ
湧　ユウ・わく
猶　ユウ
裕　ユウ

遊③ユウ・ユ・あそぶ
雄 ユウ・お・おす
誘 ユウ・さそう
憂 ユウ・うれえる・うれい・うい
融 ユウ
優⑥ユウ・やさしい・すぐれる
夕①ゆう・セキ
結④ゆう（↓ケツ）
故⑤ゆえ・コ
床 ゆか・とこ・ショウ
雪②ゆき・セツ
行②ゆく（↓コウ）
逝 ゆく・いく・セイ
揺 ゆする・ゆさぶる・ゆすぶる（↓ヨウ）
譲 ゆずる・ジョウ
豊⑤ゆたか・ホウ
委③ゆだねる・イ

指③ゆび・さす・シ
弓②ゆみ・キュウ
夢⑤ゆめ・ム
緩 ゆるい・ゆるやか・ゆるむ・ゆるめる・カン
許⑤ゆるす・キョ
揺 ゆれる・ゆる・ゆらぐ・ゆるぐ（↓ヨウ）
結④ゆわえる（↓ケツ）

【ヨ・よ】

与 ヨ・あたえる
予③ヨ
余⑤ヨ・あまる・あます
誉 ヨ・ほまれ
預⑤ヨ・あずける・あずかる
世③よ・セイ・セ
代③よ（↓ダイ）
四①よ（↓シ）

夜②よ・よる・ヤ
良④よい・リョウ
善⑥よい・ゼン
宵 よい・ショウ
幼⑥ヨウ・おさない
用②ヨウ・もちいる
羊③ヨウ・ひつじ
妖 ヨウ・あやしい
洋③ヨウ
要④ヨウ・いる・かなめ
容⑤ヨウ
庸 ヨウ
揚 ヨウ・あげる・あがる
揺 ヨウ・ゆれる・ゆる・ゆらぐ・ゆるぐ・ゆする・ゆさぶる・ゆすぶる
葉③ヨウ・は
陽③ヨウ
溶 ヨウ・とける・とかす・とく
腰 ヨウ・こし
様③ヨウ・さま
瘍 ヨウ
踊 ヨウ・おどる・おどり
窯 ヨウ・かま
養④ヨウ・やしなう
擁 ヨウ
謡 ヨウ・うたい・うたう
曜②ヨウ
酔 よう・スイ
八①よう（↓ハチ）
抑 ヨク・おさえる
沃 ヨク㋮
浴④ヨク・あびる・あびせる
欲⑥ヨク・ほっする・ほしい
翌⑥ヨク
翼 ヨク・つばさ

①〜⑥＝配当学年　㋮＝読み仮名を付ける音訓
傍線＝小学校で習わない教育漢字の音訓

横③よこ・オウ
汚 よごす・よごれる（↓オ）
由③よし・ユ・ユウ・ユイ
寄⑤よせる・よる・キ
装⑥よそおう・ソウ・ショウ
四①よつ・よ・よっつ・よん・シ
呼⑥よぶ・コ
詠 よむ・エイ
読②よむ（↓ドク）
嫁 よめ・とつぐ・カ
寄⑤よる・よせる・キ
夜②よる・よ・ヤ
喜④よろこぶ・キ
弱②よわい・よわる・よわまる・よわめる・ジャク
四①よん（↓シ）

【ラ・ら】

拉 ラ
裸 ラ・はだか
羅 ラ
礼③ライ・レイ
来②ライ・くる・きたる・きたす
雷 ライ・かみなり
頼 ライ・たのむ・たのもしい・たよる
絡 ラク・からむ・からまる・からめる
落③ラク・おちる・おとす
楽②ラク・ガク・たのしい・たのしむ
酪 ラク
辣 ラツ㊫
乱⑥ラン・みだれる・みだす
卵⑥ラン・たまご
覧⑥ラン
濫 ラン
藍 ラン㊫・あい
欄 ラン

【リ・り】

吏 リ
利④リ・きく
里②リ・さと
理②リ
痢 リ
裏⑥リ・うら
履 リ・はく
璃 リ
離 リ・はなれる・はなす
力①リキ・リョク・ちから
陸④リク
律⑥リチ・リツ
立①リツ・リュウ・たつ・たてる
律⑥リツ・リチ
率⑤リツ・ソツ・ひきいる
慄 リツ㊫
略⑤リャク
立①リュウ・リツ・たつ・たてる
柳 リュウ・やなぎ
流③リュウ・ル・ながれる・ながす
留⑤リュウ・ル・とめる・とまる
竜 リュウ・たつ
粒 リュウ・つぶ
隆 リュウ
硫 リュウ
侶 リョ
旅③リョ・たび
虜 リョ
慮 リョ

了 リョウ
両③リョウ
良④リョウ・よい
料④リョウ
涼 リョウ・すずしい・すずむ
猟 リョウ
陵 リョウ・みささぎ
量④リョウ・はかる
僚 リョウ
漁④リョウ・ギョ
領⑤リョウ
寮 リョウ
霊 リョウ・レイ・たま
療 リョウ
瞭 リョウ
糧 リョウ・ロウ・かて
力①リョク・リキ・ちから
緑③リョク・ロク・みどり
林①リン・はやし

厘 リン
倫 リン
鈴 リン・レイ・すず
輪④リン・わ
隣 リン・となる・となり
臨⑥リン・のぞむ

【ル・る】

流③ル・リュウ・ながれる・ながす
留⑤ル・リュウ・とめる・とまる
瑠 ル
涙 ルイ・なみだ
累 ルイ
塁 ルイ
類④ルイ・たぐい

【レ・れ】

令④レイ
礼③レイ・ライ
冷④レイ・つめたい・ひえる・ひや・ひやす・ひやかす・さめる・さます
励 レイ・はげむ・はげます
戻 レイ・もどす・もどる
例④レイ・たとえる
鈴 レイ・リン・すず
零 レイ
霊 レイ・リョウ・たま
隷 レイ
齢 レイ
麗 レイ・うるわしい
暦 レキ・こよみ
歴④レキ
列③レツ
劣 レツ・おとる
烈 レツ
裂 レツ・さく・さける
恋 レン・こう・こい・こいしい
連④レン・つらなる・つらねる・つれる
廉 レン
練③レン・ねる
錬 レン

【ロ・ろ】

呂 ロ
炉 ロ
賂 ロ
路③ロ・じ
露 ロ・ロウ・つゆ
老④ロウ・おいる・ふける
労④ロウ
弄 ロウ㊊
郎 ロウ
朗⑥ロウ・ほがらか

①〜⑥＝配当学年　㊊＝読み仮名を付ける音訓
傍線＝小学校で習わない教育漢字の音訓

浪 ロウ
廊 ロウ
楼 ロウ
漏 ロウ・もる・もれる・もらす
糧 ロウ・リョウ・かて
露 ロウ・ロ・つゆ
籠 ロウ・かご
六①ロク・む・むつ・むっつ・むい
緑③ロク・リョク・みどり
録④ロク
麓 ロク・ふもと
論⑥ロン

【ワ・わ】

和③ワ・オ・やわらぐ・やわらげる・なごむ・なごやか
話②ワ・はなす・はなし
我⑥わ・われ・ガ
輪④わ・リン
賄 ワイ・まかなう
若⑥わかい（↓ジャク）
沸 わかす・わく・フツ
分②わかる・わかつ・わかれる（↓ブン）
別④わかれる・ベツ
脇 わき
惑 ワク・まどう
湧 わく・ユウ
沸 わく・わかす・フツ
枠 わく
訳⑥わけ・ヤク
分②わける（↓ブン）
技⑤わざ・ギ
業③わざ・ギョウ・ゴウ
災⑤わざわい・サイ
患 わずらう・カン
煩 わずらう・わずらわす・ハン・ボン
忘⑥わすれる・ボウ
綿⑤わた・メン
私⑥わたくし・わたし・シ
渡 わたる・わたす・ト
笑④わらう・えむ・ショウ
童③わらべ・ドウ
割⑥わる・わり・われる・さく・カツ
悪③わるい・アク・オ
我⑥われ・わ・ガ
湾 ワン
腕 ワン・うで

付表

この表は、いわゆる当て字や熟字訓など、主として一字一字の音訓として漢字表に挙げにくい語を示したもので、読み仮名を付けずに使用してよい。無印は内閣告示の常用漢字表の付表に掲げられた語で、●印は新聞協会用語懇談会、共同通信社が使用を認めた語。

あす　明日
あずき　小豆
あま　海女
いおう　硫黄
いくじ　意気地
いなか　田舎
●いなり　稲荷
いぶき　息吹
●いりもや　入り母屋
うなばら　海原
うば　乳母
うわき　浮気
うわつく　浮つく
●うんも　雲母
えがお　笑顔
●えもん　衣紋
おじ　伯父、叔父
●おちうど／おちゅうど　落人
●おてまえ　お点前〔茶の湯〕
おとな　大人
●おとひめ　乙姫
おとめ　乙女
おば　伯母、叔母
●おびな　男びな
おまわりさん　お巡りさん
おみき　お神酒
おもや　母屋
●おやま　女形
●おんみつ　隠密
かあさん　母さん
●がいため　外為
かぐら　神楽
かし　河岸
かじ　鍛冶
かぜ　風邪
●かたりべ　語り部
かな　仮名
かや　蚊帳
●かりうど／かりゅうど　狩人
かわせ　為替
●かわも　川面
かわら　河原

●ぎだゆう　義太夫
きのう　昨日
きょう　今日
●くげ　公家
くだもの　果物
くろうと　玄人
けさ　今朝
けしき　景色
●けんうん　巻雲
●けんせきうん　巻積雲
●けんそううん　巻層雲
ここち　心地
こじ　居士
ことし　今年
●このえへい　近衛兵
●ごようたし　御用達
●さいさき　幸先
さおとめ　早乙女
ざこ　雑魚
さじき　桟敷
さしつかえる　差し支える
さつき　五月

さなえ　早苗
さみだれ　五月雨
●さんく　産駒
●しおさい　潮騒
●じかだんぱん　直談判
●じかとりひき　直取引
しぐれ　時雨
しっぽ　尻尾
しない　竹刀
しにせ　老舗
しばふ　芝生
しみず　清水
しゃみせん　三味線
じゃり　砂利
じゅず　数珠
●しょうえん　荘園
じょうず　上手
しらが　白髪
しろうと　素人
しわす　師走
すきや　数寄屋
●すけっと　助っ人

すもう　相撲
●せきわけ　関脇
●せっけん　席巻
ぞうり　草履
●そとうば／そとば　卒塔婆
●だいかぐら　太神楽
だし　山車
●たしせいせい　多士済々
たち　太刀
たちのく　立ち退く
●たて　殺陣
●たておやま　立女形
たなばた　七夕
たび　足袋
●たゆう　太夫・大夫
●たんのう　堪能
ちご　稚児
●ついじべい　築地塀
ついたち　一日
つきやま　築山
つゆ　梅雨
でこぼこ　凸凹

●でずいり　手数入り
てつだう　手伝う
てんません　伝馬船
とあみ　投網
とうさん　父さん
とえはたえ　十重二十重
どきょう　読経
とけい　時計
●とざま　外様
●どさんこ　道産子
●としま　年増
●どどいつ　都々逸
ともだち　友達
なこうど　仲人
なごり　名残
なだれ　雪崩
●なにわぶし　浪花節
にいさん　兄さん
●にしきのみはた　錦の御旗
●にんじょう　刃傷
●ぬすっと　盗っ人
ねえさん　姉さん

のら　野良
のりと　祝詞
はかせ　博士
はたち　二十、二十歳
はつか　二十日
はとば　波止場
●はんにゃ　般若
●ひぞっこ　秘蔵っ子
●ひとみごくう　人身御供
ひとり　一人
ひより　日和
●ふいちょう　吹聴
ふたり　二人
ふつか　二日
ふぶき　吹雪
●ふんぬ　憤怒
へた　下手
へや　部屋
●ほうがんびいき　判官びいき
まいご　迷子
まじめ　真面目
まっか　真っ赤

まっさお　真っ青
●みかげいし　御影石
●みのしろきん　身代金
みやげ　土産
むすこ　息子
めがね　眼鏡
●めしゅうど／めしうど　召人
●もくろみしょ　目論見書
もさ　猛者
もみじ　紅葉
もめん　木綿
もより　最寄り
やおちょう　八百長
やおや　八百屋
やまと(え)　大和(絵)
やよい　弥生
ゆかた　浴衣
ゆくえ　行方
よせ　寄席
わこうど　若人

═表外漢字字体表═

常用漢字表にない漢字の字体選択のよりどころとして旧国語審議会は2000年に表外漢字字体表を作成した。本社は同表に示された字体を使い、かっこ内の簡易慣用字体は「芦」を除き使わない。同表の1022字のうち、10年の常用漢字表改定で常用漢字になった154字は省いた。

ア 唖(啞) 蛙 鴉 埃 靄 軋 斡 按 庵 鞍

イ 已 夷 韋 帷 葦 飴 謂 閾 溢 鰯

尹 殷 隕 蔭

ウ 于 迂 孟 烏 云 暈

エ 穢 曳 洩 裔 穎(頴) 嬰 翳 腋 曰 奄 冤 袁 婉 焉 堰 淵 焔 筵 厭 鳶 燕 閻 嚥

オ 嗚 凰 嘔 鴨 甕 襖 謳 鴛 鷗(鴎) 鸚 俤

カ 瓜 呵 珂 迦 訛 訶 跏 嘩 瑕 榎 窩 蝦 蝸 顆 臥 俄 峨 訝 蛾 衙 駕 芥 乖 廻 徊 恢 晦 堺 鞋 檜 蟹 咳 漑 鎧 喀 廓 擱 攪(撹) 愕 萼 諤 鰐 樫 絣 筈 閣 鰹 萱 奸 旱 函 咸 姦 宦 柑 竿 悍 桓 涵 菅 嵌 鉗 澗 翰 諫 瞰 檻 灌 雁

キ 几 卉 其 祁 耆 悸 揆 箕 窺 諱 徽 櫃 妓 祇 魏 蟻 掬 麹(麴) 吃

乞	躬	凵	匈	狗	偈	躓	倦	呟	乎
拮	諸	仇	汲	灸	咎	邱	柩	笈	
躾	劑	哭	鵠	忽	惚	昏	渾	褌	

躬	凵	匈	狗	偈	躓	倦	呟	乎	
躾	鉤	巷	齲						
劑	鮫	敲	宰	恍	亢	姑	眩	孤	
哭	塘	曠	膏	恰	叩	狐	諺	涸	
鵠	曠	膏	狡	吼	肛	孤			
忽	劫	閤	胱	庚	杭	袴			
惚	毫	膠	崗	腔	蛤	壺			
昏	壕	籌	腔	幌	煌	跨			
渾	濠	縞	薨	咬	垢	糊			
褌	嚙（噛）		糠			醐	

ス 疹 崇 膝 滲 蜃
セ 栖 棲 甥 貰 蜻 賑 鋮
ソ 賛 晰 蹟 泄 屑 浙 啜 楔 截 鯖 脆 壬 訊 靱 塵 儘
タ 苫 穿 閃 陝 釧 揃 煽 撰 箭 賤 疽 蔬 麹 宋 炒 叟 尖
チ 蛋 湊 葱 掻 (掻) 楚 鼠 蘇 鼬 箏 噌 瘡 蝉 嘶 喘 鰭
ツ 槌 鎚 辻 喋 牒 趙 銚 諜 寵 誅 噦 躊 佇 楮 儲 瀦 躇 吊 帖
テ 剃 挺 釘 掟 梯 逞 啼 碇 鼎 綴 鄭 薙 蹄 鵜 荻 擢 姪 轍 辿 唸
ト 兎 兜 堵 屠 宕 沓 套 痩 桶 淘 篆 顛 囀 繿 佃 淀 澱 臀
ニ 邇 韮 禱 (祷) 撞 禿 瀆 咄 沌 遁 呑
ネ 涅 禰 捏 撚
ノ 膿 嚢
ハ 杷 爬 琶 頗 播 芭 蟇 胚 徘 牌 曝 稗 狽 煤 帛 柏 粕 箔 莫 駁 瀑 畠 捌 撥 潑 醗 筏 跋 噺 叛
チ 雉 馳 蜘 筑 膣 胄 紐 厨 蛛 註 簞 譚 灘 坦 疸 耽 啖 蛋 毯 湛 痰 憚 歎 殆 碓 腿 頽 醍 托 鐸 凧 襷 燵 侘 陀 詫 拿 茶 舵 楕 騨 苔 倅 砒 噂 樽 鱒 粟 杣 噂 樽 鱒 艘 薔 甑 叢 藪 躁 囃 竈 鰺 仄

ヒ 祢 絆 槃 幡 攀 挽 磐 蕃
屁 庇 砒 脾 痺 鄙 誹 臂 枇 毘
梶 媚 琵 薇 廱 疋 畢 逼 謬 豹
憑 瓢 屏(屛) 廟 牝 瀕 憫 賓

フ 斧 俯 腑 孵 鮒 巫 葡 撫 蕪 諷
祓 吻 扮 焚 糞

ヘ 幷(并) 聘 斃 袂 僻 睦 瞥 扁 篇

ホ 圃 蒲 戊 牡 姥 菩 呆 彷 庖 苞
騙 娩 鞭
疱 捧 逢 蓬 鞄 鋒 牟 芒 茫 虻

マ 邁 枡(桝) 俣 沫 迄 曼 蔓 瞞 饅
榜 膀 鉾 謗 吠 卜 梵
蹙 鰻

ム 鵡

メ 瞑

モ 蒙 朦 勿 糊 悶

ヤ 揶 爺 鑓

ユ 揄 愈 楡 尤 釉 楢 猷

ヨ 飫 輿 孕 拗 涌 痒 傭 熔 蝿

ラ 螺 莱 雷 洛 埒 瀾 爛 鸞

リ 狸 裡 罹 籬 戮 掠 笠 溜 榴 劉
瘤 梁 聊 菱 寥 蓼 淋 燐 鱗

ル 屡

レ 蛤 蠣 櫟 礫 轢 煉 漣 憐 簾 錬
攣

ロ 魯 濾(沪) 廬 櫓 蘆(芦) 鷺 牢 狼
榔 廔 臈 朧 臘 蠟(蝋) 聾 肋 勒
漉

ワ 窪 歪 猥 隈 或 罠 椀 碗 彎(弯)

人名用漢字

常用漢字以外で子どもの名前に使える人名用漢字は次の通り。この表にある漢字（2016年現在、862字種）は人名以外でも表に示された字体を使う。

常用漢字以外

「―」は、相互の漢字が同一の字種であることを示す。本社は原則として太字の字体を使う。【 】内は部首。

【一】丑 丞【丿】乃 之 乎【乙】也【二】云 亘―亙 些【亠】亦 亥 亨 亮【亻】仔 伊 伍 伽 佃 佑 伶 侃 侑 俄 俠 俣 俐 倭 俱 倦 倖 偲 傭 儲【儿】允 兎 兜【八】其【冫】冴 凌 凜―凛【几】凧 凪 凰 凱【口】函【刂】劉【力】劫 勁【勹】勾 勿 匁【匚】匡【十】廿【卜】卜【卩】卯 卿【厂】厨 厩【又】叉 叡 叢【口】叶 只 吾 吞 吻 哉 哨 啄 哩 喬 喧 喰 喋 嘩 嘉 嘗 嘯 嚊【口】圃【土】圭 坐 尭―堯 坦 埴 堰 堺 堵 塙 塚【士】壬【大】夷 奄 奎 套【女】娃 姪 姥 娩 嬉【子】孟【宀】宏 宋 宕 宥 寅 寓 寵【小】尖【尢】尤【尸】屑【山】峨 峻 峰 嵯 嵩 嶺 巌―巖【工】巫【己】巳 巴 巷 巽【巾】帖 幌 幡【广】庄 庇 庚 庵 廟【廴】廻【弓】弘 弛【彐】彗【彡】彦 彪 彬【彳】徠【心・忄】忽 怜 恢 恰 恕 悌 惟

惚悉惇惹惺惣慧憐【戈】戊或
戟【手】托按挺挽掬捲捷捺捧
掠揃摑摺撒撰撞播撫擢
【攵】孜敦【文】斐【斗】斡【斤】斧斯
【方】於【日】旭昂昊昏昌昴晏
晃—晄晒晋晟晦晨智暉暢曙
曝【曰】曳【月】朋朔【木】杏杖杜李
杭杵杷枇柑柴柘柊柏柾柚
桧—檜栞桔桂栖桐栗梧梓梢
椰梯桶梶椛梁棲椋椀楯楚
楕椿楠楓椰楡楊榎樺榊榛
槙—槇槍槌樫槻樟樋橘樽橙
檎檀櫂櫛櫓【欠】欣欽歎【止】此
【歹】殆【殳】毅【比】毘【毛】毬【氵】汀汝
汐汲沌沓沫洸洲洵洛浩浬
淵淳渚—渚淀淋渥湘湊湛溢
滉溜漱漕漣澪濡瀕灘
【火・灬】灸灼烏焔焚煌煤煉熙
燕燎燦燭燿【爻】爾【片】牒【牛】牟
牡牽犀【犭】狼猪—猪獅【王】玖珂
珈珊珀玲琢—琢琉瑛琥琶琵
琳瑚瑞瑶瑳【瓜】瓜瓢【生】甥
【用】甫【田】畠畢【疋】疋疏【白】皐皓
【目】眸瞥【矢】矩【石】砦砥砧硯碓
碗碩碧磐磯【示・礻】祇祢—禰
祐—祐祷—禱禄—祿禎—禎【内】禽
【禾】禾秦秤稀稔稟稜穣—穣
【穴】穹穿窄窪窺【立】竣竪【竹】竺
竿笈笹笙笠箸筑箕箔篇篠
簞簾【米】籾粥粟糊【糸】紘紗紐

紘 紬 絆 絢 綺 綜 綴 緋 綾 綸 縞
徽 縈 繡 簗 纏 【羊】羚 【羽】翔 翠 耀
【而】而 【耳】耶 耽 聡 【聿】肇 【月(肉)】肋
肴 胤 胡 脩 腔 腹 膏 【臣】臥 【舛】舜
【舟】舵 【艹】芥 芹 芭 芙 芦 苑 茄 苔
苺 茅 茉 茸 茜 莞 荻 莫 莉 菅 菫
菖 萄 菩 萌—萠 萊 菱 葦 葵 萱 葺
萩 董 葡 蓑 蒔 蒐 蒼 蒲 蒙 蓉 蓮
蔭 蔣 蔦 蓬 蔓 蕎 蕨 蕉 蕃 蕪 薙
雷 蕗 藁 薩 蘇 蘭 【虫】蝦 蝶 螺 蟬
蟹 蠍 【衣・衤】衿 袈 袴 裡 裟 裳 襖
【言】訊 訣 註 詢 詫 誼 諏 諄 諒 謂
諺 讃 【豸】豹 【貝】貰 賑 【走】赳 【足】跨
蹄 蹟 【車】輔 輯 輿 轟 【辰】辰 【辶】辻
迂 迄 辿 迪 迦 這 逞 逗 逢 遥—遙
遁 遼 【邑・阝】邑 祁 郁 鄭 【酉】酉 醇
醐 醍 醤 【釆】釉 【金】釘 釧 銑 鋒 鋸
錘 錐 錆 錫 鍬 鎧 【門】閃 閏 閣
【阝】阿 陀 隈 【隹】隼 雀 雁 雛 【雨】雫
霞 【青】靖 【革】鞄 鞍 鞘 鞠 鞭 【頁】頁
頌 頗 顕 【風】颯 【食】饗 【香】馨 【馬】馴
馳 駕 駿 驍 【鬼】魁 【魚】魯 鮎 鯉 鯛
鰯 鱗 鱚 【鳥】鳩 鳶 鳳 鴨 鴻 鵜 鵬
鷗 鷲 鷺 鷹 【鹿】麒 麟 【麻】麿 【黍】黎
【黒】黛 【鼎】鼎

常用漢字の異体字

（　）内は対応する常用漢字表の字体。本社は原則として使用しないが、薗（園）、條（条）、嶋（島）、冨（富）、峯（峰）、萬（万）、埜（野）、龍（竜）は使い分ける。

ア

亞(亜)　惡(悪)　爲(為)　逸(逸)　榮(栄)
衛(衛)　謁(謁)　圓(円)　縁(縁)　薗(園)
應(応)　櫻(桜)　奥(奥)　横(横)　溫(温)

カ

價(価)　禍(禍)　悔(悔)　海(海)　壞(壊)
懷(懐)　樂(楽)　渴(渇)　卷(巻)　陷(陥)
寛(寛)　漢(漢)　氣(気)　祈(祈)　器(器)
僞(偽)　戲(戯)　虚(虚)　峽(峡)　狹(狭)
響(響)　曉(暁)　勤(勤)　謹(謹)　駈(駆)
勳(勲)　薫(薫)　惠(恵)　揭(掲)　鷄(鶏)
藝(芸)　撃(撃)　縣(県)　倹(倹)　剣(剣)

サ

險(険)　圈(圏)　検(検)　顯(顕)　驗(験)
嚴(厳)　廣(広)　恆(恒)　黄(黄)　國(国)
黒(黒)　穀(穀)
碎(砕)　雑(雑)　祉(祉)　視(視)　児(児)
濕(湿)　實(実)　社(社)　者(者)　煮(煮)
壽(寿)　収(収)　臭(臭)　従(従)　澁(渋)
獣(獣)　縦(縦)　祝(祝)　暑(暑)　署(署)
緒(緒)　諸(諸)　敍(叙)　将(将)　祥(祥)
渉(渉)　焼(焼)　奨(奨)　條(条)　狀(状)
乗(乗)　浄(浄)　剰(剰)　畳(畳)　嬢(嬢)
譲(譲)　醸(醸)　神(神)　眞(真)　寝(寝)
愼(慎)　盡(尽)　粋(粋)　酔(酔)　穂(穂)
瀬(瀬)　斉(斉)　静(静)　摂(摂)　節(節)
専(専)　戦(戦)　繊(繊)　禅(禅)　祖(祖)
壮(壮)　爭(争)　荘(荘)　捜(捜)　巣(巣)

會(曽)　裝(装)　僧(僧)　層(層)　痩(痩)

騒(騒)　増(増)　憎(憎)　藏(蔵)　贈(贈)

臓(臓)　卽(即)

タ

帶(帯)　彈(弾)　晝(昼)　鑄(鋳)　著(著)

團(団)　滯(滞)　瀧(滝)　單(単)　嘆(嘆)

廳(庁)　徵(徴)　聽(聴)　懲(懲)　鎭(鎮)

轉(転)　傳(伝)　都(都)　嶋(島)　燈(灯)

盜(盗)　稻(稲)　德(徳)　突(突)

ナ

難(難)

ハ

拜(拝)　盃(杯)　賣(売)　梅(梅)　髮(髪)

拔(抜)　繁(繁)　晩(晩)　卑(卑)　祕(秘)

碑(碑)　賓(賓)　敏(敏)　冨(富)　侮(侮)

福(福)　拂(払)　佛(仏)　勉(勉)　歩(歩)

峯(峰)　墨(墨)　飜(翻)

マ

每(毎)　萬(万)　默(黙)

ヤ

埜(野)　彌(弥)　藥(薬)　與(与)　搖(揺)

様(様)　謠(謡)

ラ

來(来)　賴(頼)　覽(覧)　欄(欄)　龍(竜)

虜(虜)　凉(涼)　綠(緑)　淚(涙)　壘(塁)

類(類)　禮(礼)　曆(暦)　歷(歴)　練(練)

錬(錬)　郎(郎)　朗(朗)　廊(廊)　錄(録)

【参考】

人名用漢字については、次に掲げる新聞協会用語懇談会の申し合わせを基に本社の基準を決めた。

新聞用語懇談会の人名用漢字の字体に関する申し合わせ

（2005・1・24）

1 「常用漢字表」内の漢字は原則として新字体を使い、旧字体の使用は避ける。

2 「常用漢字表」内の漢字の異体字についても、表に掲げられた字体のものを使うことを原則とする。

3 戸籍法施行規則別表第二の「漢字の表一」に掲げられた人名用漢字は、「表外漢字字体表」掲載の「人名用漢字の字体一覧」に掲げられた字体を使用し、同一覧にない字種については「表外漢字字体表」（3部首許容、簡易慣用字体の採用は各社判断）に従うことを原則とするが、同字体表にない字種の扱いも含め、当分の間、各社の対応に委ねる。

〔例〕亘―亙　凜―凛　槙―槇　遥―遙（いずれも前者が「人名用漢字の字体一覧」掲載の字体）

〔注〕「表外漢字字体表」（2000年国語審議会答申）掲載の「人名用漢字の字体一覧」は97年までに制定された人名用漢字一覧で、同表前文に「常用漢字に準じて扱うことが妥当である」と明記しているものである。04年以後制定の人名用漢字は、法務省が字体の標準を示すものではないと表明しているので、字体の標準としては考慮しない。

4 戸籍法施行規則別表第二の「漢字の表二」に掲げられた常用漢字の異体字（旧字体など）は原則として使用せず、かっこ内の常用漢字の字体を使用する。

5 ただし、特に本人、家族などの強い希望があった場合、前記各項の申し合わせについては各社の運用に任せる。

現代仮名遣い

1 記事を書くときの仮名遣いは、原則として1986年7月に内閣が告示した「現代仮名遣い」による。

2 「現代仮名遣い」は現代の国語を書き表すための仮名遣いのよりどころを示し、主として口語文に適用する。原文の仮名遣いを生かす必要のある文語文や引用、固有名詞など、特別の場合には使わなくてもよい。

【現代仮名遣いの要旨】

1 仮名の使い方は大体発音通りとする。

(1)直音「ゐ」「ゑ」の仮名は使わず、全て「い」「え」と書き、「を」は助詞に限る。「ぢ」「づ」は特例に示す場合だけに用いる。

(2)拗音(ようおん)「ちゃ」「ぢゅ」「ぢょ」は特例に示す場合だけに用いる。拗音に用いる「や、ゆ、よ」はなるべく小書きにする。(新聞では小書きが原則)

〔例〕しゃかい(社会)　しゅくじ(祝辞)　かいじょ(解除)　りゃくが(略画)

(3)撥音(はつおん)「ん」

〔例〕まなんで(学)　みなさん(皆)　しんねん(新年)　しゅんぶん(春分)

(4)促音「つ」。促音に用いる「つ」はなるべく小書きにする。(新聞では小書きが原則)

〔例〕はしって(走)　かっき(活気)　がっこう(学校)

(5)長音はそれぞれの仮名で書き表す。

ただし、オ列の長音だけは「う」を添える。

〔例〕おかあさん(母)　にいさん(兄)　くうき(空気)　ねえさん(姉)　《オ列長音の場合》　おとうさん(父)　とうだい(灯台)　おうぎ(扇)　おはよう

2 特定の語は表記の慣習を尊重し次のように書く。

(1)助詞の「を」は、「を」と書く。

〔例〕本を読む　やむを得ない　てにをは

(2)助詞の「は」は、「は」と書く。

〔例〕今日は日曜　山では　あるいは　とはいえ

〔例外〕いまわの際　すわ一大事　雨も降るわ風も吹くわ　来るわ来るわ　きれいだわ

(3)助詞の「へ」は、「へ」と書く。

〔例〕故郷へ帰る　…さんへ

(4)動詞の「いう(言)」は、「いう」と書く。

〔例〕いうまでもない(言)　…というもの

(5)次のような語は「ぢ」「づ」を用いて書く。〔次ページの「使い分け用例集」参照〕

①同音の連呼で生じた「ぢ」「づ」

〔例〕ちぢむ(縮)　つづみ(鼓)　つづく(続)　つづる

〔例外〕いちじく　いちじるしい

②2語の連合で生じた「ぢ」「づ」

〔例〕はなぢ(鼻血)　そこぢから(底力)　ひぢりめん　いれぢえ(入れ知恵)　ちゃのみぢゃわん(茶飲み茶わん)　まぢか(間近)　こぢんまり　ちりぢり(散り散り)　みかづき(三日月)　たけづつ(竹筒)　たづな(手綱)　にいづま(新妻)　おこづかい(お小遣い)　こづつみ(小包)　はたらきづめ　みちづれ(道連れ)

次のような語は一般に2語に分解しにくいもの等として「じ」「ず」を用いて書くことを本則とする。

〔例〕せかいじゅう(世界中)　いなずま(稲妻)　さかずき(杯)　うなずく　おとずれる(訪)　ひざまずく　でずっぱり　ひとりずつ　ゆうずう(融通)

〔注〕次のような語の「じ」「ず」は漢字の音読みでもともと濁っているものであって①②に当たらない。

じめん(地面)　ぬのじ(布地)　ずが(図画)　りゃくず(略図)

(6)次のような語はオ列の仮名に「お」を添えて書く。

〔例〕おおかみ　おおやけ(公)　こおり(氷)　こおろぎ　ほお(頬)　とお(十)　いきどおる(憤)　こおる(凍)　とおる(通)　おおい(多)　おおきい(大)　とおい(遠)

3　付記　次のような語はエ列の長音として発音されるか、エイ、ケイなどのように発音されるかにかかわらず、エ列の仮名に「い」を添えて書く。

〔例〕せい(背)　かせいで(稼)　まねいて(招)　春めいて　へい(塀)　れい(例)　えいが(映画)　とけい(時計)

「ぢ」「じ」、「づ」「ず」の使い分け用例集

【ぢ】

いっぽんぢょうし（一本調子）
いれぢえ（入れ知恵）
うわぢょうし（上調子）
こぢんまり
しばいぢゃや（芝居茶屋）
そえぢ（添え乳）
そこぢから（底力）
ちかぢか（近々）
ちぢ（千々）
ちぢこまる（縮こまる）
ちぢまる（縮まる）
ちぢみ（縮）〔染織〕
…ぢゃわん（「茶飲み茶わん」「めおと茶わん」の類）
…ぢょうちん（「小田原ぢょうちん」「盆ぢょうちん」の類）
ちりぢり（散り散り）
てぢか（手近）
はしぢか（端近）
はなぢ（鼻血）
ひぢりめん
まぢか（間近）
みぢか（身近）
もらいぢち（もらい乳）
わるぢえ（悪知恵）

【じ】

あじわう（味わう）
あわじ（淡路）〔地名〕
いくじない（意気地ない）
いこじ（意固地）
いちじく（イチジク）〔植物〕
いちじるしい（著しい）
えこじ
おじ（伯父、叔父）
おじいさん
かじや（鍛冶屋）
きじ（生地、木地）
きぬじ（絹地）
きんじさん・きんちさん（禁治産）
こうじ（小路）
じあい（地合い）
しおじ（潮路）
じがね（地金）
じしん（地震）
したじ（下地）
じぬし（地主）
じばん（地盤）
じみ（地味）
じめん（地面）
…じゅう（「一日中・一日じゅう」「世界中・世界じゅう」の類）
しろじ（白地）
しんじゅう（心中）
ぜんじ・ぜんち（全治）
たいじ（退治）
たびじ（旅路）
ちじく（地軸）
てみじか（手短）
とうじ（冬至）
とじる（閉じる）
とんじゃく・とんちゃく（頓着）
ぬのじ（布地）

はじる（恥じる）
ふじ・ふち（不治）
ほんじ（本地）
むじ（無地）
もみじ（紅葉）
りょうじ（療治）
れんじゅう・れんちゅう（連中）
ろじ（路地、露地）

【づ】

あいそづかし（愛想尽かし）
あいづち（相づち）
あづま（吾妻）〔地名〕
いきづかい（息遣い）
いきづく（息づく）
いっづけ（居続け）
いもづる（芋づる）
いろづく（色づく）
えんづく（縁づく）
おおづめ（大詰め）
おりづめ（折り詰め）
おりづる（折り鶴）
かいづか（貝塚）
かたづける（片付ける）
かっきづく（活気づく）
かなづち（金づち）
かねづかい（金遣い）
かねづつみ（金包み）
かねづまり（金詰まり）
かねづる（金づる）
かんづめ（缶詰）
きづかれ（気疲れ）
きづく（気付く）
きりづまづくり（切り妻造り）
くちづたえ（口伝え）
くちづて（口づて）
こころづくし（心尽くし）
こころづけ（心付け）
こころづもり（心積もり）
こづかい（小遣い）
こづく（小突く）
こづくり（小作り・小づくり）
こつづみ（小鼓）
こづつみ（小包）
ことづて（言づて）
こどもづれ（子供連れ）
ごぶづき（五分づき）
したつづみ（舌鼓）
したづみ（下積み）
じつづき（地続き）
じづら（字面）
すしづめ（すし詰め）
たけづつ（竹筒）
たづな（手綱）
ちかづく（近づく）
ちゃづけ（茶漬け）
ちょうづけ（帳付け）
…づえ（「頬づえ」「松葉づえ」の類）
…づき（「役員付」の類）
…づく（「スポーツづく」の類）
…づくし（「国尽くし」の類）
つくづく
つづく（続く）
つづみ（鼓）
つづら
つづる
つづれおり（つづれ織り）
つねづね（常々）
…づまり（「気詰まり」「手詰まり」の類）
…づめ（「乗りづめ」「働きづめ」の類）
…づよい（「力強い」「根強い」の類）
…づらい（「読みづらい」の類）
つれづれ
てづかみ（手づかみ）

てづくり（手作り）
てづる（手づる）
ともづり（友釣り）
なべづる（ナベヅル）〔動物〕
なまづめ（生爪）
にいづま（新妻）
にくづき（肉付き）
にわづたい（庭伝い）
ぬかづけ（ぬか漬け）
ぬまづ（沼津）〔地名〕
ねづく（根付く）
のりづけ（のり付け）
はなづら（鼻面）
はらつづみ（腹鼓）
はらづもり（腹積もり）
ばんづけ（番付）
ひきつづき（引き続き）
ひげづら（ひげ面）
ひだりづま（左づま）
ひづけ（日付）
ひづめ〔牛、馬など〕
ひとづきあい（人付き合い）
ひとづて（人づて）
ひとづま（人妻）
ふかづめ（深爪）
ふんづける（踏ん付ける）
まなづる（真鶴）〔地名〕
みかづき（三日月）
みづくろい（身繕い）
みやづかえ（宮仕え）
もとづく（基づく）
やくづき（役付き）
よこづな（横綱）
よづり（夜釣り）
わらづと

【ず】

あずき（アズキ・小豆）
あずける（預ける）
あずま〔東国の総称〕
あせみずく（汗みずく）
いず（伊豆）〔地名〕
いずこ
いずれ
いたずら
いなずま（稲妻）
うずく
うずくまる
うずめる
うなずく
おとずれる（訪れる）
かかずらう
かしずく
かずら・かつら
かたず（固唾）〔をのむ〕
きずく（築く）
きずな（絆）
くず
ぐずる
くずれる（崩れる）
くちずさむ（口ずさむ）
けずる（削る）
こうずけ（上野）〔地名〕
さえずる
さかずき（杯）
さしず（指図）
さしずめ
さずける（授ける）
さんずのかわ（さんずの川）
しずかに（静かに）
しずく（滴）
しずむ（沈む）
じんずうりき・じんつうりき（神通力）
ずうずうしい
ずうたい
ずが（図画）
ずがいこつ（頭蓋骨）
ずかずか
…ずから（「おのずから」「自ら」の類）

ずきん（頭巾）
…ずく（「腕ずく」「納得ずく」の類）
…ずくめ（「面白ずくめ」「結構ずくめ」の類）
ずしずし
ずたずた
…ずつ（「少しずつ」「一つずつ」「1人ずつ」の類）
ずにのる（図に乗る）
ずぬける・ずばぬける
ずぶとい
だいず（ダイズ・大豆）
たずさえる（携える）
たずねる（訪ねる、尋ねる）
ちず（地図）
ちょうずばち（ちょうず鉢）
つまずく
てなずける（手なずける）
ときわず（常磐津）〔芸能〕
なかんずく
なずな（ナズナ）〔植物〕
なずむ
にくずき（肉好き）
ぬかずく
はずかしい（恥ずかしい）
はずす（外す）
ひざまずく
ふずい（不随）
ぼうず（坊主）
ほおずき（ホオズキ）〔植物〕
まず
まずしい（貧しい）
みずみずしい
みみずく（ミミズク）〔動物〕
むしず
むずかしい・むつかしい（難しい）
むずかる
めずらしい（珍しい）
もくず（藻くず）
ゆうずう（融通）
ゆうすずみ（夕涼み）
ゆずる（譲る）
りゃくず（略図）
りゅうず（竜頭）
わずかに
わずらわしい（煩わしい）
わびずまい（わび住まい）

送り仮名の付け方

記事を書くときの送り仮名の付け方は1973年内閣告示の「送り仮名の付け方」に基づいて日本新聞協会の新聞用語懇談会が取り決めた方式に準拠した。内閣告示の「本則（例外を含む）」に統一し、「許容」は採用しない。

【通則】

《単独の語》

1　活用のある語

●通則1

本則　活用のある語（通則2を適用する語を除く）は、活用語尾を送る。

〔例〕表す　著す　憤る　承る　行う　書く　断る　賜る　実る　催す　現れる　生きる　陥れる　考える　助ける　荒い　潔い　賢い　濃い　主だ

例外

(1)語幹が「し」で終わる形容詞は「し」から送る。

〔例〕著しい　惜しい　悔しい　恋しい　珍しい

(2)活用語尾の前に「か」「やか」「らか」を含む形容動詞は、その音節から送る。

〔例〕暖かだ　細かだ　静かだ　穏やかだ　健やかだ　和やかだ　明らかだ　平らかだ　滑らかだ　柔らかだ

(3)次の語は、次に示すように送る。

明らむ　味わう　哀れむ　慈しむ　教わる　脅かす　（おどかす）　脅かす（おびやかす）　関わる　食らう　異なる　逆らう　捕まる　群がる　和らぐ　揺する　明るい　危ない　危うい　大きい　少ない　小さい　冷たい　平たい　新ただ　同じだ　盛んだ　平らだ　懇ろだ　惨めだ

哀れだ　幸いだ　幸せだ　巧みだ

〔注〕語幹と活用語尾との区別がつかない動詞は、例えば「着る」「寝る」「来る」などのように送る。

●通則2

本則　活用語尾以外の部分に他の語を含む語は、含まれている語の送り仮名の付け方によって送る。（含まれている語を〔　〕の中に示す）

〔例〕

(1)動詞の活用形またはそれに準ずるものを含むもの。

動かす〔動く〕　照らす〔照る〕
語らう〔語る〕　計らう〔計る〕　向かう〔向く〕
浮かぶ〔浮く〕
生まれる〔生む〕　踏まえる〔踏む〕　押さえる〔押す〕
捕らえる〔捕る〕
勇ましい〔勇む〕　輝かしい〔輝く〕　喜ばしい〔喜ぶ〕
暗れやかだ〔暗れる〕
及ぼす〔及ぶ〕　積もる〔積む〕　聞こえる〔聞く〕
頼もしい〔頼む〕
起こる〔起きる〕　落とす〔落ちる〕
暮らす〔暮れる〕　冷やす〔冷える〕
当たる〔当てる〕　終わる〔終える〕　変わる〔変える〕
集まる〔集める〕　定まる〔定める〕　連なる〔連ねる〕
交わる〔交える〕
混ざる・混じる〔混ぜる〕　恐ろしい〔恐れる〕

(2)形容詞・形容動詞の語幹を含むもの。

重んずる〔重い〕　若やぐ〔若い〕
怪しむ〔怪しい〕　悲しむ〔悲しい〕　苦しがる〔苦しい〕
確かめる〔確かだ〕
重たい〔重い〕　憎らしい〔憎い〕　古めかしい〔古い〕
細かい〔細かだ〕　柔らかい〔柔らかだ〕
滑らかだ〔滑い〕　高らかだ〔高い〕　寂しげだ〔寂しい〕

(3)名詞を含むもの。

汗ばむ〔汗〕　先んずる〔先〕　春めく〔春〕
男らしい〔男〕　後ろめたい〔後ろ〕

〔注〕次の語は、それぞれ〔　〕の中に示す語を含

むものとは考えず、通則1によるものとする。
明るい〔明ける〕　荒い〔荒れる〕　悔しい〔悔いる〕　恋しい〔恋う〕

2　活用のない語

●通則3

本則　名詞（通則4を適用する語を除く）は、送り仮名を付けない。

〔例〕月　鳥　花　山　男　女　彼　何

例外

(1)次の語は、最後の音節を送る。

辺り　哀れ　勢い　幾ら　後ろ　傍ら　幸い　幸せ
全て　互い　便り　半ば　惜け　斜め　独り　昔れ
自ら　災い

(2)数をかぞえる「つ」を含む名詞は、その「つ」を送る。

〔例〕一つ　二つ　三つ　幾つ

●通則4

本則　活用のある語から転じた名詞および活用のある語に「さ」「み」「げ」などの接尾語が付いて名詞になったものは、もとの語の送り仮名の付け方によって送る。

〔例〕

(1)活用のある語から転じたもの。

動き　仰せ　恐れ　煎り　稼ぎ　昼り　調べ　届け
眺め　願い　晴れ
当たり　代わり　向かい
狩り　答え　釣り　問い　狙い　祭り　群れ
憩い　愁い　憂い　香り　極み　初め
近く　遠く

(2)「さ」「み」「げ」などの接尾語が付いたもの。

暑さ　大きさ　正しさ　確かさ
明るみ　重み　憎しみ
惜しげ

例外　次の語は、送り仮名を付けない。

謡　趣　氷　印　頂　帯　畳
卸　煙　恋　志　次　隣　富　恥　話　光　舞
折　係　掛（かかり）　組　肥　並（なみ）　巻　割

〔注〕

(1)ここに掲げてある語でも、動詞の意識が十分に残っている場合には例外に該当せず、それぞれもとの語の送り仮名の付け方によって送り仮名を付ける。

「折」は時期、機会などを表す場合に送り仮名を付けない。「並」は「並足、並肉」などのように「並」が語の初めに付いて主として程度を表す場合は送り仮名を付けない。しかし「十人並み、月並み」などのように「並」が語末にくる複合名詞には全て送り仮名を付ける。

〔例〕折から　折り畳み　棚卸し　底光り　活字の組み
頭割り　並の肉　人並み　都市並み

(2)表・記号などに用いる場合には、次の（　）の中に示すように送り仮名を省くことができる。

〔例〕畳り(畳)　暗れ(暗)　答え(答)　問い(問)

●通則5

本則　副詞・連体詞・接続詞は、最後の音節を送る。

〔例〕必ず　少し　既に　再び　全く　最も
来る　去る

例外

(1)次の語は、次に示すように送る。

明くる　大いに　直ちに

(2)次のように、他の語を含む語は、含まれている語の送り仮名の付け方によって送る。（含まれている語を（　）の中に示す）

併せて〔併せる〕　至って〔至る〕　従って〔従う〕　絶えず〔絶える〕　例えば〔例える〕　努めて〔努める〕
辛うじて〔辛い〕　少なくとも〔少ない〕
互いに〔互い〕
必ずしも〔必ず〕

《複合の語》

●通則6

本則　複合の語（通則7を適用する語を除く）の送り仮名は、その複合の語を組み立てている単独の語の送り仮名の付け方による。

〔例〕

(1)活用のある語

書き抜く　流れ込む　申し込む　打ち合わせる　向かい合わせる　長引く　若返る　裏切る　旅立つ　聞き苦しい　薄暗い　草深い　心細い　待ち遠しい　軽々しい　若々しい　気軽だ　望み薄だ

(2)活用のない語

石橋　竹馬　山津波　後ろ姿　斜め左　花便り　独り言　卸商　水煙　目印　田植え　封切り　物知り　落書き　雨上がり　墓参り　日当たり　夜明かし　先駆け　巣立ち　手渡し　入り江　飛び火　教え子　合わせ鏡　生き物　落ち葉　預かり金　寒空　深情け　愚か者　行き帰り　伸び縮み　乗り降り　抜け駆け　作り笑い　暮らし向き　売り上げ　取り扱い　乗り換え　引き換え　歩み寄り　申し込み　移り変わり　出稼ぎ　長生き　早起き　苦し紛れ　大写し　粘り強さ　待ち遠しさ　乳飲み子　無理強い　立ち居振る舞い　呼び出し電話　次々　常々　近々　深々　休み休み　行く行く

〔注〕「貸しボート」のように複合語の一部が仮名書きの場合は「貸ボート」とせず、「貸す」単独の場合と同じように送り仮名を付ける。

●通則7

複合の語のうち、次の複合名詞は、慣用に従って送り仮名を付けない。

〔注〕この通則は、次に示した語以外でも、一般に慣用が固定していると認められる同類の語にはある程度類推して適用できる。例示した語の【　】の中は同類の他の漢字書きの語と置き換えられる。ただし抑制的に適用し、送り仮名を省いてよいか迷う場合

は通則6を適用して送り仮名を付ける。

(1)特定の領域の語で、慣用が固定していると認められるもの。

①地位・身分・役職・法令・書式などの名。

【進退】伺　覚書　事務取扱　関取　【役員】付　【支店】詰　頭取　年寄(相撲の)　【欠席】届　取締【役・本部】　取調【官】　名取　【退職】願　【社員】見習　見習【社員】

②工芸品およびこれに準ずる物の名に用いられた「織・紋・染・縮・塗・彫・焼」。【　】の中は地名、人名などに置き換えられる。「素焼き、漆塗り、紋織り、木彫り、ろうけつ染め」のように素材・形態・技法などを表すものには仮名を送る。

【博多】織　【鳴海】紋　【型絵】染　【阿波】縮　【春慶】塗　【鎌倉】彫　【備前】焼

③主に経済関係の分野で慣用され、語末に「人・時・所・機器・金・書・機関・制度・品目・数量」を表す語が付くもの。「貸し付け、借り入れ条件」など動作・方法・状態(動詞的)を表すものは仮名を送る。

(2)一般に慣用が固定していると認められるもの。

①主に職業名を表す「工・師・店・屋」の付く語で、慣用が固定していると認められ、難読・誤読の恐れがないものは送り仮名を付けなくてよい。ただし迷う場合には仮名を付ける。(傍線は送り仮名を付けない語)

仕上工　振付師　釣具店　仕出屋

②語頭に「合(あい)」の付く次のような語は、送り仮名を付けなくてよい。

合印　合縁奇縁　合鍵　合方　合着　合気道　合口　合言葉　合駒　合図　合服　合札　合間

③語頭に「浮(うき)」「貸(かし)」「敷(しき)」「建(たて)」の4字が付く主として具象名詞で、次のような語は送り仮名を付けなくてよい。

浮　浮足　浮具　浮草　浮雲　浮桟橋　浮島　浮州　浮巣　浮名　浮橋　浮袋　浮舟　浮身　浮世(絵)　浮輪

貸　貸衣装　貸傘　貸金　貸金庫　貸座敷　貸室　貸自転車　貸事務所　貸席　貸倉庫　貸地　貸質　貸店

経済関係複合語の送り仮名(102ページ)

貸店舗　貸主　貸農園　貸布団　貸舟・船　貸別荘
貸部屋　貸本　貸間　貸元　貸家

敷

敷居　敷石　敷板　敷皮　敷革　敷金　敷地　敷布
敷布団　敷物

建

建網　建売【業者・住宅】　建株　建玉　建具　建坪
建値　建場　建前　建面積　建物　建屋

④その他、送り仮名を付けなくてよい主な語例。

あ

宛先　宛名　泡盛　居合　入会【権】　植木　請負
受付（人・所・係の場合）　受取（領収書）　歌会始
裏書（経済用語の場合）　絵巻　縁組　大立者　沖合
置引　置物　奥書　奥付　織元（職業）　織物

か

介添人　書留　河川敷　肩書　缶詰（製品の場合）
気合　気付（宛名）　忌引　脚立　具合　組員　組頭
組長　組曲　倉敷料　消印　講書始　高利貸（職業）
木立　子守　献立

さ

作付反別　作付面積　桜守　挿絵　桟敷　座敷　指
図　差出人　試合　仕立券　仕立物　字引　関守
代金引換　立会演説　立場　童巻　立役者
付添【人】　漬物　【〇日】付　手合（囲碁・将棋の対局）　手当（金銭）　手付金　灯台守　隣組　友引
取扱注意　取組（相撲などの）　取引　捕物

な

並木　鳴子　乗換駅　乗換券　乗組員

は

場合　羽織　墓守　履物　初詣　葉巻　番組　番付
控室　引換券　日付　瓶詰（製品の場合）　歩合　封
切館　福引　踏切（鉄道用語に限る）　振替（口座間の金銭などの移動の場合）　星取表　掘割
巻紙（手紙）　巻物　待合【室】　待合（政治）　万引
水引　宮守　元結（髪の）　物置　物語

や

役割　屋敷　夕立

ら

両替

わ

渡守　割合　割高　割引　割安

【漢字書きにできる熟字訓の送り仮名】

漢字書きにできる熟字訓の送り仮名は次のようにする。（個々の用例は次の例と「用字用語集」参照）

1　次の語には、次に示すように送り仮名を付ける。

浮つく　お巡りさん　差し支える　五月晴れ
立ち退く　手伝う　最寄り

2 次の語は、送り仮名を付けない。

息吹　時雨　築山　名残　雪崩　吹雪　迷子　行方

【紛らわしい送り仮名】

〔送り過ぎ〕（かっこ内×は誤り）

あ　合間（合い間）　商い（商ない）　誤る（誤まる）　失う（失なう）　幼い（幼ない）　脅かす（脅やかす）

か　塊（塊り）　仮（仮り）　来る（来たる）　気短（気短か）　悔しい（悔やしい）

さ　速やか（速みやか）　唆す（唆がす）

た　次（次ぎ）　慎む（慎しむ）　隣（隣り）

は　辱める（辱かしめる）

ま　短い（短かい）　珍しい（珍らしい）

や　養う（養なう）

わ　患う（患らう）　割に（割りに）

〔送り不足〕（かっこ内は誤り。○は送り不足に注意）

あ　証し○（証）　当たる○・当てる○（当る）　危ない（危い）　荒らす○（荒す）　慌ただしい○（慌しい）　癒やす○（癒す）　後ろ○（後）　押さえる○（押える）　恐ろしい○（恐しい）　下りる○（下る）　終わる○・終える○（終る）

か　狩り○（狩）　悔いる○（悔る）　悔やむ○（悔む）

さ　過ごす○（過す）　損なう○（損う）

た　類い○（類）　費やす○（費す）　尽くす○（尽す）　隣り○合う（隣合う）　捕らえる○（捕える）

な　惰け○ない（惰ない）　懐かしい（懐しい）　延べ○（延）

は　恥ずかしい○（恥かしい）　果たして○（果して）　甚だしい○（甚しい）

ま　紛らわしい○（紛わしい）　交じる○・交ぜる○（交る）

わ　煩わしい○（煩しい）

経済関係複合語の送り仮名

1　次ページのA欄の42語については、B欄の「人・時・所・機器・金・書・機関・制度・品目・数量」を表す語が後に付く場合、送り仮名を省く。

〔例〕受付件数　売上高　卸売問屋　支払総額
　　振替手数料　申込期間　割当数量　割増料金

2　A欄の語を単独で使う場合、またはB欄の語以外の動作・方法・状態などを表す語が後に付く場合は、いずれも送り仮名が必要。

〔例〕売り上げ　貸し出し　払い戻し中
　　受け付け順　貸し付け基準　取り扱い方法
　　積み立て条件　振り込み方法

〔注〕受付〔人、所、係〕、受取〔領収書〕、取組〔相撲〕、振替〔口座間の金銭などの移動〕は単独で〔　〕の意に用いる場合、送り仮名を省く。

3　A欄の語を2語重ねて使用する場合も送り仮名が必要。

〔例〕申し込み受け付け

4　A欄の語の後に修飾語の付いたB欄の語が付く場合、A欄の語が2語重なった後にB欄の語が付く場合、A欄の語の送り仮名は不要。

〔例〕受付開始日　受取領収書
　　貸越増加額　貸倒引当金
　　貸出増加額　支払申請書
　　取扱金融機関　申込受付期日
　　申込締め切り日

以上を整理すると、左記の通り。

1	A＋B	送り仮名不要
2	A（単独）	送り仮名必要
	A＋B以外の語	送り仮名必要
3	A＋A	送り仮名必要
4	A＋修飾語＋B	送り仮名不要
	A＋A＋B	送り仮名不要

経済関係複合語組み合わせ表

（五十音順。A欄は類推・拡大解釈しない）

A欄	
預入	差引
受付	支払
受取	立会
売上	積立
売掛	取扱
売越	取組
卸売	取次
買掛	荷受
買越	払込
貸越	払戻
貸倒	引当
貸出	引受
貸付	振替
借入	振込
借受	振出
借換	見積
借越	申込
仮払	申立
繰入	割当
繰越	割増
小売	割戻

B欄			
人	員係掛	業者商人	時 期 期間 期限 期日 時間 時刻 日
所	局先事務所	場所地点	店(舗) 窓口
機器	機器		
金	運賃 益 価格 額	株 勘定 基金	金 金額 金利 欠損 原価 口座 公債 債 債券 債権 債務 残
	残株 残高 資金 資本 資本金 社債 証券	税 税額 総額 損 損失 代金 高 単価 貯金 貯蓄 貸 貸金	
	手形 手数料 値 値段 配当 費 物価 預金 予算 利益 利子 利息 料 料金		
書	券 小切手 書 書状 証書 類 帳 帳簿 通帳 伝票 票 表 簿 用紙		
機関	会社 官庁 機関 企業 協会 業 業界 業者 銀行 組合 市場 商 商社 信託 専門店 代理店 団 団体 店(舗) 問屋		
制度	規則 規定 制 制度 保険	品目 現品 商品 品 品目 物 物件 物品 銘柄	
数量	件数 合計 冊数 数 数量 総計 総数 総量	高 単位 比率 本数 利益率 率 利率 量 累計 枠	

書き方の基本

用字について 106
漢字使用 106
平仮名使用 107
片仮名使用 109
学術用語 110
動植物名の書き方 111
用語について 113
句読点 115
引用符 118
繰り返し符号（踊り字） 118
その他の符号 119

用字について

【漢字使用】

1　漢字は、固有名詞などを除き、漢字表（12ページ参照）にある字と音訓の範囲で使う。

2　漢字表にない漢字（表外字）や音訓（表外音訓）を含む言葉は原則として次のようにする。

(1)訓読みの場合は基本的に平仮名書きする。漢語（音読みの漢字熟語）は言い換えができない場合は読み仮名を付けて使用するが、乱用しない。

(2)表外字、表外音訓などの読み仮名は2回目から省略する。**読み仮名はできるだけその語全体に付ける。**四字熟語は交ぜ書き（表外字、表外音訓の部分だけを平仮名書きにすること）をなるべく避け、熟語全体か2文字に読み仮名を付ける。3文字以上の漢字で構成された言葉には当該漢字だけに読み仮名を付ける場合もある。

〔例〕醍醐味（だいごみ）　河口堰（ぜき）　五臓六腑（ろっぷ）　社会の木鐸（ぼくたく）　鼎談（ていだん）　乾坤一擲（けんこんいってき）

(3)交ぜ書きは、用字用語集で示したもの以外は避ける。

(4)次の場合は表外字、表外音訓もそのまま使う。難読の場合は読み仮名を付ける。

①人名、地名、団体名など固有名詞
〔例〕夏目漱石　奄美大島　琉球大学

②栄典、称号、官職名
〔例〕金鵄勲章　征夷大将軍

③文芸作品、美術品、映画、演劇、曲、番組などの題名、作品名
〔例〕徒然草　最後の晩餐　天平の甍（いらか）　悲愴

④国宝、文化財、神社仏閣などの名称
〔例〕弥勒菩薩像　燕子花図　仁和寺

⑤文芸、美術、芸能の名称
〔例〕神楽　三味線　山車　常磐津　浪花節　琵琶

⑥地名を基にした物の名称
〔例〕伊万里焼　御影石

⑦学術上の用語で言い換えが適当で

ない場合

〔例〕形而上学　鍾乳洞　竪穴住居

⑧皇室関係の用語で言い換えが適当でない場合

〔例〕大嘗祭（だいじょうさい）
高御座（たかみくら）

3 字体は、国の常用漢字表と本社の漢字表（12ページ）、表外漢字字体表（78ページ）、人名用漢字（82ページ）にあるものを原則として用いる。

4 固有名詞も、漢字表、表外漢字字体表、人名用漢字が示す字体を使うことを原則とする。

〔例〕廣田→広田　瀧澤→滝沢
齋一→寿一
文藝春秋→文芸春秋
慶應→慶応　佛教大→仏教大

〔注〕「国士舘大、龍谷大」は例外。人名、自治体名で次の場合は例外として旧字体、異体字を使ってもよい。

(1)原則の字体（かっこ内）と著しく違う旧字体、異体字で、複数の字体を使い分けるもの。

渕(淵)　薗(園)　苅(刈)　嶽(岳)
舘(館)　圀(国)　秌(秋)　舛(升)
條(条)　嶋・嵎(島)　冨(富)
峯(峰)　萬(万)　埜(野)　龍(竜)
芦(蘆)

(2)本人の希望などに基づき、特定の人物に限り使うことを決めた場合。

〔例〕（秋篠宮家）眞子　小澤征爾

(3)本人、家族から強い希望があった場合などは、原則以外の字体を使うこともある。寄稿、座談会、インタビュー記事の署名で本人が強く望む場合も同様で、いずれもその旨を編注で明らかにする。

【平仮名使用】

次の各項に当てはまる場合は、原則として平仮名書きを主体とする。

1 代名詞、連体詞、接続詞、感動詞、助詞、助動詞・補助用言、形式名詞は、平仮名を主体とし、副詞は平仮名と漢字を使い分ける。

(1)**代名詞**　われ・われわれ〔見出しなどで必要なときは我・我々と書いてもよい〕　あなた　どなた
これ　これら　ここ　こちら　あれ　あれら　それ　どれ　どこ
そこ　あそこ　あっち　そちら
そっち　こちら　こいつら　どちら　どっち　私　僕　俺　君　彼
彼女　自分　何　誰

(2)**連体詞**　ある　あらゆる　いわゆる　この　その　そんな　ほんの　わが

(3)**接続詞**　あるいは　かつ　しかし　しかも　すなわち　それ故　それとも　ただし　ところが　ところで　ないし　なお　ならびに　また　または　もしくは　もって　および　従って　併せて

(4)**感動詞**　〔強調するときは片仮名書きにしてもよい〕　ああ　あらいや　おや　そら　まあ　ウワーッ　ハハハ

(5)**助詞**　ぐらい　こと　ずつ　ところ　ながら　など　ばかり　まで

(6)**助動詞・補助用言**　〔動詞・形容詞の本来の意味、用法が薄れて、上にくる文節の補助の働きをするもの〕　ごとき　たい　べきだ　ようだ・ようです(様)　そうだ・そうです(相)　…という(言)　…である(有)　…でない(無)　…している・しておる(居)　…してあげる(上)　…していく(行)　…しておく(置)　…してくる・なってくる(来)　…にすぎない(過)　…になる(成)　…かもしれない(知)　…してみる・…とみられる・…とみる(見)

(7)**形式名詞**　こと(事)　とき(時)　ところ(所)　うち(内)　もの(物・者)　わけ(訳)

〔注〕これらの名詞が実質的意味をもって使われる場合は、漢字を使ってもよい。

〔例〕事と次第によっては　住んでいた所

(8)**副詞**

訓読みのものは平仮名書きを原則とする。ただし訓読みで漢字を用いた方が意味が明らかになる場合は漢字書きにしてもよい。

〔例〕あくまで　かえって　じかに　たちどころに　ほそぼそ　営々と　重ねて　幸いに　奮って　夢にも

音読みのものは漢字書きを原則とする。ただしその漢字にあまり意味がない場合は平仮名書きにする。

〔例〕案外　皆目　早速　非常に　無性に

いちいち　せっかく　だいぶ　たくさん　めっぽう

2　漢字本来の意味がずれて使われる語は平仮名書きにする。

〔例〕いっぱいの人出　幸せいっ

ばい

3 当て字に類するものは原則として平仮名書きにする。

〔例〕ござい(御座居)ます じだんだ(地団太・駄) すっぱ(素破)抜く ちょっと(一寸) はやり(流行) ふさわ(相応)しい むちゃくちゃ(無茶苦茶) めでた(目出度)い やにわ(矢庭) わんぱく(腕白)

4 表外字、表外音訓を含む道具、器具類などの名称は、平仮名書きにするが、文章中に埋没して読みにくくなる場合には片仮名書きにしてもよい。

〔例〕おけ(桶△) くわ(鍬△) たる(樽△) やかん(薬缶)

【片仮名使用】

1 外国人名・地名(中国と朝鮮半島を除く)と外来語は原則として片仮名書きする。

〔注〕中国と朝鮮半島の地名で一部に片仮名表記するものがある。

〔例〕ソウル(韓国) ハルビン(中国) マカオ(中国)

2 感動表現で特に強調する場合

〔例〕アラ オヤ マア

3 擬音語・擬声語

なるべく片仮名で書くが、平仮名で書いてもよい。

〔例〕ガーガー カーン ゴーン キーン キャンキャン ジャー ジャー シューシュー ゼーゼー チャリン ドボン ポキポキ メリメリ ワーン ごーごー しっしっ とくとくばさばさ

4 擬態語

平仮名で書く。ニュアンスを出したい場合は片仮名書きしてよいが、乱用しない。

〔例〕うっとり うとうと がっかり がっくり ぎくしゃく ぐっすり こそこそ ごたごた さっぱり さめざめ じたばた じめじめ ずきずき ちぐはぐ どぎまぎ にょろにょろ ぬくぬく のらりくらり びくびく ふわふわ べたべた がらがら・ガラガラ すーすー・スースー ぺろぺろ・ペロペロ

5 その他、特別の意味やニュアンスを出す場合、読みにくさを避ける場合は片仮名を使ってもよい。

〔例〕思うツボ　ノリのいい音楽　恥をかくのがオチだ

【学術用語】

学術用語は各学会の学術用語集の表記を基準とする。

表内字で書けないため仮名書きや漢字と仮名の交ぜ書きにする言葉に次の例がある。

1 平仮名

〔例〕花こう岩（花崗岩）　火山れき（火山礫）　かんらん岩（橄欖岩）　てんびん（天秤）　でんぷん（澱粉）　反すう（反芻）　ふ化（孵化）　ほうろう（琺瑯）　らせん（螺旋）　れんが（煉瓦）　ろ過（濾過）

2 片仮名

〔例〕ケイ素（硅素）　タンパク質（蛋白質）　ヒ素（砒素）　フッ素（弗素）　リン酸（燐酸）

3 星座名

星座、星の名前は天文学の表記に準拠する。星座名は原則として平仮名書きとし、平仮名で意味が分かりにくいものは、平仮名の後の（　）内に漢字書きする。ギリシャ神話の神々の名などは片仮名書きする。

〔例〕いっかくじゅう座　いるか座　うお座　うしかい座　うみへび座　おうし座　おおいぬ座　おおかみ座　おおぐま座　おとめ座　おひつじ座　かんむり座　ぎょしゃ座　きりん座　くじら座　けんびきょう座　こいぬ座　こうま座　こぐま座　こと座　さそり座　てんびん座　はくちょう座　ふたご座　へび座　へびつかい座　みなみじゅうじ座　みなみのうお座　みなみのかんむり座　やぎ座　らしんばん座　わし座

いて（射手）座　がか（画架）座　きょしちょう（巨嘴鳥）座　しし（獅子）座　はちぶんぎ（八分儀）座　ほ（帆）座　みずがめ（水瓶）座　りゅうこつ（竜骨）座

アンドロメダ座　エリダヌス座　オリオン座　カシオペヤ座　ケフェウス座　ケンタウルス座　コンパス座　ペガスス座　ヘルクレス座　ペルセウス座

4 星雲・星団・星名

〔例〕暗黒星雲　アンドロメダ星雲　オリオン星雲　かに星雲　北アメリカ星雲　銀河星雲　馬頭星雲　すばる〔プレアデス星団〕　マゼラン雲〔大マゼラン雲・小マゼラン雲〕　織女星　北斗七星　南十字星　天王星　海王星　冥王星

【動植物名の書き方】

1 動植物の名称は原則として片仮名で書く（キノコ類を含む）。科学・医学記事、動植物の生態や保護などに関する記事では表内字で書ける動植物名も片仮名とする。

〔例〕赤海亀↓アカウミガメ　西表山猫↓イリオモテヤマネコ　鍋鶴↓ナベヅル　日本狼↓ニホンザル　北極熊↓ホッキョクグマ　松茸△↓マツタケ　ミンク鯨↓ミンククジラ

2 それ以外の記事では、表内字・表内音訓だけで書ける動植物名は漢字書きしてもよい。

〔例〕鈴虫　玉虫　千鳥　白鳥　小豆　昆布　大根　月見草　白菜　昼顔　八重桜

3 次の場合は漢字表の範囲内の漢字や平仮名でよい。

(1)表内字・表内音訓だけでは書けない動植物名のうち、身近なものの修飾部分。地名は表外字・表外音訓も使用してよい。

〔例〕伊勢エビ　温州ミカン　木曽ヒノキ　車エビ　毛ガニ　甲州ブドウ　夏ミカン　帆立て貝　〔注〕サツマイモを「薩摩イモ」としない。

(2)種の名前の一部ではない修飾部分。

〔例〕揚げヒバリ　老い松　落ちアユ　野良猫　馬車馬　干し柿

(3)動植物名を比喩的に使う場合や慣用句。

〔例〕一匹おおかみ　いばらの道　うぐいす豆　雨後のたけのこ　うなぎ上り　ごぼう抜き　尻切れとんぼ　すずめの涙　たぬき寝入り　つばめ返し　とんぼ返り　猫かわいがり　ひのき舞台　みみず腫れ　めじろ押し　わしづかみ

平仮名では埋没して読みにくい場合は片仮名書きでもよいが、乱用しない。

〔例〕いずれがアヤメかカキツバ

タ　ウの目タカの目　エビでタイを釣る　腐ってもタイ　タカ派・ハト派　月とスッポン　トカゲのしっぽ切り　トビがタカを生む

(4)加工品や調理した物の名称に含まれる動植物名。

〔例〕いか刺し　かき鍋　かつお節　さけ茶漬け　締めさば　しらす丼　酢だこ　ひのき風呂　干しぶどう　身欠きにしん　りんごジャム

〔注〕「ウナギのかば焼き」のように1語になっていない場合は平仮名書きしない。

4　市況欄や家庭欄用料理記事の特例。

〔例〕インゲン豆　カイワレ大根　サツマ芋　ジャガ芋　白ウリ　スグキ菜　ソラ豆　玉ネギ　ツル菜　冬ガン　苦ウリ　紅花インゲン　ホウレン草　三つ葉　芽キャベツ　山ゴボウ

用語について

【正確で分かりやすく】

1 読みやすい記事は、言葉の意味を考え込む煩わしさや誤解の余地のない平明な文章で構成される。

それには①分かりやすく親しみ深い言葉を選び、正確に使う②適切な言葉の選択に迷う場合でも、独り善がりの新奇な語をつくらない―などに注意する必要がある。

2 あまり一般的でない専門用語の使用は避ける。使う場合は文中で説明するか、「ズーム」を出稿するなど工夫する。

3 外国語をみだりに使わない。やむを得ず使うときは、丸かっこして訳語か説明を付ける。

〔例〕セーフガード（緊急輸入制限）　ファンダメンタルズ（経済の基礎的諸条件）

4 略語、略称はごく一般化したものを除き、初出から単独で使わない。まず略さない日本語名称をフル表記し、丸かっこ内に略語、略称を入れる。2度目からは略語、略称を用いる。

専門家しか使わない略称（バイ＝バイラテラル〔2国間〕）などはできるだけ避け、分かりやすい日本語で表現する。共新聞略語集（671ページ）

〔例〕北大西洋条約機構（ＮＡＴＯ）　世界保健機関（ＷＨＯ）　全国健康保険協会（協会けんぽ）　自動列車停止装置（ＡＴＳ）

5 文語や古くさい言い回しは使わない。口語文に交じりやすい文語に注意する。

〔例〕

代名詞　たれ↓誰　いずこ↓どこ

動詞　はゆ↓映える　滅ぶ↓滅びる　敗る↓敗れる

形容詞　高し・高き↓高い　涼し・涼しき↓涼しい

形容動詞　主たる↓主な

助動詞　助けらる↓助けられる　しのばるる↓しのばれる　思わしめる↓思わせる　されたし↓されたい

助詞　にて↓で　すら↓さえ　だに↓さえ

6 文語・漢語調は避ける。

〔例〕やむなきに至った↓やむを得なくなった
よもや大事に至るまい↓まさか大事にならないだろう
協議を行った↓協議した
優勝を遂げた↓優勝した
当該↓その、当の
逐次↓次々に、だんだん
若干名の↓数人の

7 紋切り型やマンネリ表現を使わない。

〔例〕うれしい悲鳴　大わらわ
がっくり肩を落とす　閑古鳥が鳴く　首を長くして待つ　成り行きが注目される　ポンと投げ出す　幕を切って落とす　みる向きもある
（一夜明けて」も便利な表現だが、安易に使わない）

8 重複表現は使わない。

〔例〕被害を被る↓損害を受ける、被害に遭う
古来から↓古来
従来から↓従来、以前から
突然卒倒する↓卒倒する
およそ千数百円↓千数百円
慎重に熟慮する↓熟慮する
ただ今の現状↓現状
毎日曜日ごと↓日曜日ごと
かねて療養中のところ↓療養していたが
いまだ未完成↓未完成
まだ時期尚早↓時期尚早
約数十㌔↓数十㌔

9 不要な語は使わない。次の語句は削った方がすっきりする。

なお　また　そして　一方　例えば　あるいは　一面　さらにいわば　いわゆる　具体的にはこのため　…である　…のこと…といわれる　…期待される

10 一つの文節中で次の語を重ねて用いない。

ので　が　ため　こと　もの
ところ

11 空疎な美文調や未熟な直訳調は避け、受け身や二重否定、片仮名語を乱用しない。官庁用語、特殊な警察用語などは言い換える。

〔例〕車上盗↓車上荒らし
出店荒らし↓会社荒らし
所要経費↓費用　当該の↓その

12 同音異義語、異字同訓、類語などの使い分けは、用字用語集の例示を確認する。

〔例〕異常―異状

異同―異動　移動
開放―解放　招集―召集

【句読点】

句点「。」

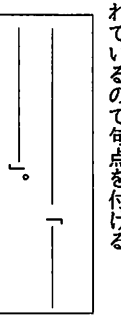
1 句点は文の終わりに付ける。

2 かっこでくくった文については次のようにする。

(1)段落全体を構成する場合は付けない。

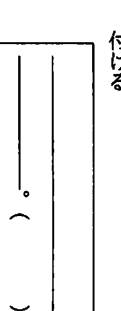
〔例〕「これ以上は話し合っても無駄だ」
　突然の打ち切り宣言だった。

(2)段落の最後にある場合は付けない。



〔例〕…会長は頭を下げた。「責任を取りたい」

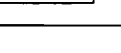
(3)直前に主語などの語句がある場合は、段落の最後にあるときでも、「と述べた」などの述語が省略されているので句点を付ける。



〔例〕男性はひと言「知りません」でした。
　それきり口をつぐんだ。

3 文末に丸かっこがある場合は次のようにする。

(1)部分的注釈の後は句点を付ける。



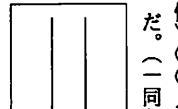
〔例〕今月の消費者物価指数上昇率は0・5％（速報値）。

(2)文章全体の注釈、筆者名、クレジットなどは、かっこの前に句点を付ける。

〔例〕手記の全文は次の通り。（原文のまま）

(3)座談会、対談記事の情景描写などで、段落の終わりのときは丸かっ

この前に、文中のときは後に句点を打つ。



〔例〕○○氏　政府の責任は重大だ。（一同うなずく）

〔例〕…それは初耳です（と身を乗り出す）。ぜひ聞きたい。

4　段落の最後の文が「?」「!」の符号で終わるときは句点を付けない。

5　文末が「?」「!」で終わるときは句点を付けず、その後1字あける。しかしこれらの符号の次が『』「（」「〝」のときは1字あけしない。

〔例〕
▽そんなことが起こってたまるものか！　Aさんは叫んだ。
▽「○○に会いたいって？　どういうわけで？」

6　単語に係る「?」「!」の後は1字あけない。

〔例〕こんな名案？にはお目にかかったことがない。

7　改行で箇条書きするときは、各箇条の終わりに句点を付ける。ただし骨子のような簡単な箇条には付けなくてよい。

8　文中の追い込みの箇条書きでは、各箇条の終わりに句読点を付けない。最後の箇条と本文との切れ目には「―」を用いる。

〔例〕主な業務は①法律相談②訴訟費用立て替え③国選弁護人の選定―など。

9　省略や間を持たせるために、文末で用いた「…」「―」の次には、句点を付ける。

〔例〕あれからもう90日、あすはあの子の誕生日だというのに…。

読点「、」

1　読点は文章を読みやすくしたり、記事内容を正しく伝えるために打つ。息の切れ目や読みの間（なるべく20字以内）を考えて付ける。

2　語句の列記には読点を打つ。

〔例〕名誉も、地位も、家庭も捨

てるつもりか。

3 誤読、難読を避けるため読点を使う。

〔例〕

▽晴れた夜、空を仰ぐと…

▽Aさんと、同乗のBさん、Cさんの3人が負傷した。

▽当時の衆院農林水産委員、長谷川四郎氏は…

4 誤読、難読の恐れのない場合は、原則として読点を打たない。

(1)「一方」「なお」「また」などの後。

〔注〕「なお」「また」などの接続詞は使う必要がない場合が多い。

(2)主語となる部分の語・句や文が短いとき。

〔例〕

▽Aさんは「日本の秋は故国と比べ…」と話した。

▽実績の有無は問わないが、…

(3)所属など丸かっこ付きの氏名を列記する場合。

〔例〕サッカー日本代表にFW岡崎（レスター）本田（ACミラン）宇佐美（G大阪）、MF香川（ドルトムント）ら23人が選ばれた。

〔注〕列記が多く、読点を省くと読みにくくなる場合は付けてもよい。

(4)『「』の前の助詞や動詞の後。

〔例〕

▽○○首相は15日の閣議で「次回のサミットは…」と述べ、…

▽…ロンドンを訪問した同大統領は、米ロ首脳会談の見通しについて「会談をいつ開くかは…」と述べた。

▽山田被告は公判後、地裁内の記者クラブで会見し「怒りでいっぱいです」と語った。

(5)「①…②…」と追い込みの箇条書きに入る前。

〔例〕日本はこれまで①3カ月の参入延期②自動車保険の通信販売解禁③火災保険の自由化範囲の拡大―などの譲歩案を示したが…

中点「・」

1 単語の列記には中点を使ってよい。特に組み合わせ、取り合わせには中点を用いる。

〔例〕文・文章・段落の定義

水・陸稲の作況　ヤード・ポンド法　ラジオ・テレビ

2 外国人(漢字名を除く)の名と姓の間、「サー」などの敬称と姓名の間には中点を使う。
〔例〕サー・ウィンストン・チャーチル
ウィリアム・J・クリントン
アブドラ・イブン・フセイン
3 外来語、外国の地名、建造物名称などは原則として中点を入れない。
〔例〕エンパイアステートビル
サファリラリー
ただし次の場合は中点を入れる。
①固有名詞と普通名詞からなる語
②3語以上からなる語
③長くて判読しにくい語
〔例〕ケース・バイ・ケース
セントビンセント・グレナディーン パ・リーグ
4 小数の単位を表すのに中点を使う。
5 省略符号として中点を使う。
〔例〕東京・神田駅前
6 その他、判読しやすくするため中点を用いる。
〔例〕ラブロフ・ロシア外相
(9時・東京ドーム)

【引用符】

1 会話、語句の引用に「」『』〝〟を用いる。〝〟は、どうしても必要な場合に限って使い、乱用はしない。二重に引用する場合は『〝〟』(曲名、作品名などは『』)を使う。
〔例〕
▽○○総務相は○日の閣議後「首相は〝行革に政治生命を懸ける〟と言っており、私もその決意で臨む」と語った。
▽弟は「ゆうべ漱石の『草枕』を読み直して徹夜したよ」と言った。
2 列車名、船舶名で「号」「丸」が付かず文中に埋没して読みにくい場合に限り「」でくくってよいが、原則として「」は省く。
〔例〕のぞみ9号 成田エクスプレス35号 第23天神丸 米空母ロナルド・レーガン 客船タイタニック 巡視艇「ちどり」
「私は昨夜〝こだま〟で帰った」

【繰り返し符号(踊り字)】

1 同じ漢字が二つ重なった熟語には、繰り返し符号の「々」を使ってよい。
〔例〕近々 刻々 点々 大々的

三々五々　処々方々　戦々恐々
人々

ただし別の言葉にわたる場合や、同じ熟語が重なる場合は繰り返し符号(々)をなるべく使わない。

〔例〕一試合一試合　一歩一歩
会議議長　高高度　古古米
再再利用　三三九度　大学学長
太太神楽　南南西の風
部分部分　毎日毎日

〔注〕慣用として「先々週　前々週　先々代　複々線　翌々週」などは繰り返し符号を使ってもよい。

2 同じ単語や熟語を重ねた畳語で2語目が濁る場合、その部分を平仮名で書いてもよい。

〔例〕返す返す・返すがえす
重ね重ね・重ねがさね
好き好き・好きずき
散り散り・散りぢり
離れ離れ・離ればなれ
一人一人・一人びとり

3 同一事項を表す「〃」は、統計表、図表などには使ってもよい。

4 その他の繰り返し符号「ゝ」「ゞ」「〳〵」「〴〵」は使わない。

〔注〕「いすゞ」「金子みすゞ」など固有名詞は例外。

【その他の符号】

1 語句や文の後に注記するときは（　）を用いる。単独または記事末尾に付ける解説、注や編注には【　】を使う。☞記事のフォーム（498ページ）

2 「―」は、説明や間をもたせるときや追い込み箇条書きの切れ目、「AからBまで」「A対B」、一問一答の「問い」の代わりに用いる。

3 「…」は①言葉の省略②無言を表す③間をもたせるとき―などに用いる。

4 「＝」は注記、説明などに用いる。「＝」で始まる注記、説明の最後が句読点で終わる場合は「＝」で受けない。☞人名、年齢の書き方（541ページ）

5 「～」は数字の範囲を表すのに用いる。☞数字の書き方（544ページ）

用字用語集

使用の際の原則 122
凡例 122
用字用語集の記号 123
用字用語集 126
誤りやすい語句 479
差別語、不快用語 490

用字用語集

本社が使用する表記を用字用語集に示した。

【使用の際の原則】

1 漢字で示したものは漢字書きするのが原則だが、訓読みの場合は文脈に応じて平仮名書きしてもよい。

2 平仮名で示したものは必要に応じて片仮名書きしてもよい。

3 平仮名だけで示したものを漢字で書かない。

4 片仮名だけで示したものを平仮名や漢字で書かない。

5 言い換え、書き換えの用例は代表的な例示である。文章の硬軟に応じ、漢字表の範囲内で別の表現にしてよい。

【凡　例】

1 主に次のものを載せた。

(1)漢字表にない漢字を含む語の言い換え、書き換え、および読み仮名を付けて使える語。

(2)漢字2字以上で構成される熟字訓および二つ以上の表記が慣用されている語の統一表記。

(3)誤った表記や避けたい語の指摘、言い換え。

(4)同音漢字の語などで、誤用や使い分けに注意するもの。

(5)「現代仮名遣い」による主な仮名遣いの表記例。

(6)「送り仮名の付け方」に基づいた統一送り仮名方式の主な表記例。

(7)副詞、接続詞などについて、本社で使用する漢字と仮名の書き分けの主なもの。

(8)本社では使わない常用漢字表内字の言い換え、書き換え。

2 次の要領で載せた。

(1)見出し語は「現代仮名遣い」による平仮名で、ほぼ五

十音順に配列した。

(2)項目には見出し語のほか、標準的な表記、使わない表記、語釈・説明、言い換え・書き換え、用例、注記などを記した。

(3)用例は小さな文字で示し、ほぼ五十音順に配列した。

(4)読み仮名が必要な漢字には右横にルビを振った。

〔例〕膵臓　古色蒼然

(5)送り仮名を省略する語は次のように示した。

〔例〕受渡価格　譴責始

3　用字用語集の記号、かっこ。

△　漢字表にない字

●　漢字表にない音訓

▲　誤用の字

＊　字音・字訓で読む場合には使ってよい表記

↓　この記号の下にあるように書き換える

＝　＝の下の平仮名は、その語の読み方を示す

㊐　文部科学省が制定した学術用語

㊍　漢字表にない音訓を含んでいるが、熟字訓などで慣用表記として使うもの（内閣告示「常用漢字表」の付表の語を含む）

㊎　二つ以上の表記があるもので、その一方を統一的に使うもの、統一用語

㊐　副詞、あるいは副詞的用法の書き方

⊗　差別語、不快用語などで言い換えるもの

㊎　言い換え、書き換えが困難で漢字表にない字・音訓を使ってもよい特別な語

↪　その項目を参照

（　）　見出し語の使わない表記または用例に挙げた言葉を補うもの

〔　〕　語義の説明または注釈に類するもの。分かりやすくするため、平仮名書きにした場合もある

【　】　例外的に送り仮名を付けない複合語。かっこ内の語と同類の意味の漢字の言葉の場合は送り仮名を付けない

〔例〕【役員】付　社長付、専務付なども送り仮名なしで表記

《　》　送り仮名を付けない経済関連複合語。後に続くかっこ内の語が、人・時・所・機器・金・書・機

関・制度・数量・品目を表す場合は送り仮名を付けない

〔例〕売上《高》　売上金、売上課税制度、売上率なども送り仮名なしで表記

4　言葉を使う範囲

〔一般用語〕一般に使われている用語

〔限定用語〕掲げた用例に限って使える用語

〔特別用語〕社会の習慣その他から、表記例の字を使うことが望ましい用語

5　見出し語の下の丸かっこ内の表記は原則として使わず、言い換え、書き換えの例を矢印「→」の下に示した。

(1)漢字表にない字（△印で示す）を含むもの

〔例〕あつれき（軋轢△△）→摩擦、いざこざ、不和、もめ事、あつれき

(2)漢字表にない音訓（・印で示す）を含むもの

〔例〕まっすぐ（真っ直ぐ）→真っすぐ

(3)同音の置き換えで、原語の音を生かすもの

〔例〕しげき（刺戟△）→刺激

(4)原音の意義の一部を取って、文脈に応じて使うもの

〔例〕けう（希有、稀有△）→まれ、珍しい、希少

(5)なるべく原語の意義に近い語を代用するもの

〔例〕ねあせ（盗汗）→寝汗

(6)漢字表にない字または音訓の部分を仮名書きにして原語の音を生かすもの

〔例〕いきがい（生き甲斐△）→生きがい

(7)二つ以上の表記があるもので、慣用度が高いと認められるもの。（　）内は慣用度が低いと認められるもの

〔例〕かどう（稼動）→稼働

(8)二つ以上の表記のあるもので、その一つを統一的に使うもの（㊟印で示す）

〔例〕うき（雨季）→㊟雨期

(9)常用漢字表にある音読みであっても、本社が読み仮名付きで使用するもの

〔例〕ごうまん（傲慢）→傲慢（ごうまん）

ほてん（補塡）→穴埋め、補塡（ほてん）

(10)誤った表記と認められるもの、または同音漢字を誤用しやすいもの（▲印で示す）

〔例〕あんのじょう　㊀(案の条)→案の定
むがむちゅう　(無我無中)→無我夢中

(11)甚だしい当て字と認められるもの
〔例〕えたい　(得体)→えたい、正体
ごまかす　(誤魔化す)→ごまかす
まごつく　(間誤つく)→まごつく
むりやり　㊀(無理矢理)→無理やり

(12)漢字表にない字、音訓を使ってもよい特別な語（㊟印で示す）
〔例〕かきょう　(華僑)→㊟華僑
しょうや　(庄屋、荘屋)→㊟庄屋

(13)副詞の漢字と仮名の書き分け用例
〔例〕あくまで　㊀(飽く迄)→あくまで
いぜん　㊀依然(として)

(14)差別語、不快用語など使用しない語例
〔例〕めくら　⊗(盲)→目の見えない人、目が不自由な人・状態

(15)漢字表にない字を含む熟語で言い換えを指示している語のうち、特定の成句、慣用句に限り交ぜ書き、漢字読み仮名付きで使用できるもの
〔例〕おうなつ　(押捺)→押印、印を押す　指紋押なつ
きとう　(祈禱)→祈り、祈念、祈願　祈禱師

6　異字同訓または同音異義語は使い分けを示した。使い分けが難しい場合は、語義ごとに用例を示した。
〔例〕おさえる
＝押さえる〔主に物理的におさえる、手などで覆う〕暴れる人を押さえ込む、傷口を押さえる…
〔確保する〕拠点を押さえる、現場を押さえる…
＝抑える〔抑圧、弾圧〕抑え込み一本〔柔道〕、反政府デモを抑え込む…
〔抑制、くいとめる〕相手打線を1点に抑え込む…

7　特に使い分けに注意が必要な表現は並べて示した。
〔例〕
〈使い分けに注意〉
▼手を上げる〔あげる、ホールドアップ、殴る〕手を上げて声援に応える、手を上げてタクシーを止める…
▼手を挙げる〔表明、挙手〕候補者公募に手を挙げる、手を挙げて意見を言う

【あ】

あい
＝合い〔互いに同じ動作をする、一緒になる、一致、合致、程度、調和〕意味合い、色合い、地合い、知り合い、筋合い、競り合い、助け合い、立ち合い〔相撲、剣道など〕、血合い、付き合い、釣り合い、出来合い、度合い、肌合い、張り合い、引き合い、間合い、見合い、譲り合い、寄り合い所帯、合印、合縁奇縁、合鍵、合気道、合口〔が悪い〕、合言葉、合札、合間、居合〔抜き〕、沖合、気合、具合、試合、出合残高、泥仕合、歩合、待合【室】

＝会い〔人と人が顔をあわせる、立ち入り〕立ち会い、忍び会い、入会【権】、立会演説、立会《人》

＝相〔互いに、相対・相関関係、接頭語〕相合い傘、相哀れむ、相生い、相変わらず、相呼応して、相異なる、相席、相対する、相携えて、相通じる、相次ぐ、相手、相半ばする、相棒、相星、相四つ〔相撲〕、相和す

＝(間)↓あい〔あいだ〕谷あい、幕あい、山あい

あい　アイ・藍〔植物〕藍色、藍染め、タデアイ

あいいれない　(相容れない)↓相いれない

あいうち　(相撃ち、相討ち)↓㊫相打ち

あいかた
＝合方〔歌舞伎・能・落語などのはやし、またははやし方〕

＝相方〔相手方、漫才の一方〕

あいがも　(合鴨、間鴨)↓アイガモ・合いガモ〔動物〕

あいかん
＝哀感〔もの悲しい気分〕哀感が漂う

＝哀歓〔悲しみと喜び〕哀歓を共にする、人生の哀歓

あいがん　(愛翫)↓愛玩(動物)

あいぎ　(間着)↓合着

あいきょう　(愛嬌、愛敬)↓愛嬌

あいきょうげん　(間狂言)↓あい狂言

あいくち　(匕首、合口)↓あいくち、短刀

あいくるしい (愛苦しい▲)→愛くるしい

あいごま (間駒)→合駒〔将棋〕

あいさつ (挨拶)→あいさつ

〔注〕寄稿などで漢字書きの場合、読み仮名は不要。

あいしょう (合性)→㊒相性

あいしょう (愛誦△)→愛唱

あいしょう (愛妾△)→愛人

あいず (相図)→合図

あいせき ‖哀惜〔悲しみ惜しむ〕哀惜の念に堪えない ‖愛惜〔惜しんで大切にする〕愛惜の品

あいそ・あいそう (愛相)→愛想 愛想尽かし、無愛想

あいだ 間 間柄、この間

あいちゃく 愛着〔「あいじゃく」とも〕

あいづち (相槌△)→相づち

あいにく ㊐(生憎、合憎)→あいにく

あいぬ アイヌ(民族)

〔注〕初出は「アイヌ民族」とする。「アイヌ人、アイヌの人」は使わない。☞差別語、不快用語(493ページ)

あいのて (間の手、相の手)→合いの手(を入れる)

あいのり (合い乗り)→㊒相乗り

あいびき (逢い引き△、媾曳△)→あいびき

あいびき (合い挽き△、相挽き△)→(牛豚肉の)合いびき

あいぶ (愛撫△)→かわいがる、優しくなでる、愛撫(あいぶ)

あいふく (間服)→合服

あいべや ㊐相部屋

あいまい 曖昧・あいまい 曖昧模糊(もこ)

あいまって (相俟△って、相待▲って)→相まって

あいみたがい (相見互い)→相身互い

あいろ (隘△路)→難関、障害、困難、支障

あう ‖合う〔互いに同じ動作をする、一緒になる、一致、合致、程度、調和〕意見が合う、落ち合う、気が合う、計算が合う、釣り合う、道理に合う、取り合う、殴り合う、話が合う、間に合う、向かい合う、巡り合う、目と目が合う ‖(逢△う)→会う〔人と人が顔をあ

わせる〕会いに行く、客に会う、死に目に会う、席に立ち会う

＝遭う〔思わぬことや好ましくない出来事に出くわす〕返り討ちに遭う、交通事故に遭う、強盗に遭う、災難に遭う、地震に遭う、反撃・反対に遭う、ひどい目に遭う

☞「であい・であう」の項

あうん（阿吽△△）→あうん（の呼吸）

あえぐ（喘△ぐ）→あえぐ

あえて（副）（敢えて）→あえて

あえない（敢え無い）→あえない　あえない最期

あえる（和える）→あえる　あえ物、ごまあえ

あお（蒼、碧△）→青　（接尾）青々と、青ざめる、青白い、青二才、青光り

あおい（葵△）→アオイ〔植物〕

葵の紋、フタバアオイ、葵祭

あおぐ　仰ぎ見る、教えを仰ぐ、協力を仰ぐ、空を仰ぐ、毒を仰ぐ

あおぐ（扇ぐ）→（うちわで）あおぐ

あおたがい　青田買い

〔注〕「青刈り、青田刈り」との違いに注意。☞誤りやすい語句（479ページ）

あおむけ（仰向け）→あおむけ

あおる（煽△る）→あおる　あおり立てる、民衆をあおる

あか（朱、紅）→赤　赤子の手をひねる、赤だし、赤の他人、赤恥

あか（垢△）→あか　あか擦り、あか抜ける、手あか

あかあか

＝赤々〔真っ赤なさま〕赤々と咲く花、赤々と夕日が沈む、火が赤々と燃える

＝明々〔光が明るいさま〕明々と月が照る、明々と点灯、月が明々と道を照らす、夜が明々と明ける

あかがね（銅）→あかがね

あかし　証し

あかす

＝明かす〔あきらかにする〕真意・秘密を明かす、種を明かす、鼻を明かす

＝飽かす〔ふんだんに使う〕金・暇に飽かす

＝証す〔証明する〕潔白を証す

あかね（茜△）→アカネ〔植物〕　あかね色・雲

あかみ
＝赤身〔赤い肉〕赤身の魚
＝(赤味)→赤み〔赤い程度〕赤みを帯びる

あがめる（崇める）→あがめる

あからさま（明からさま）→あからさま

あからむ
＝明らむ〔明るくなる〕東の空が明らむ
＝赤らむ〔赤くなる〕赤ら顔、西の空が赤らむ

あかり（灯り）→明かり　明かり取り、街の明かり

あがる・あげる
＝(騰)→上〔下の対語、位置・程度などがあがる〕意気が上がる、腕を上げる、軍配を上げる、効果・実績・収入・成果・利益が上がる(を上げる)、水中から助け上げる、2階に上がる、のろし・花火を上げる、マウンドに上がる、料金が上がる
〔声や音を出す〕産声を上げる、凱歌を上げる、歓声を上げる、下馬評に上がる、善隣友好をうたい上げる、第一声を上げる、名乗りを上げる、非難の声が上がる
〔終わる・機能が停止する〕上がり3ホール、雨が上がる、仕上げる、病み上がり
〔動作や作用が極限になる〕息が上がる、暗れ上がる、腹え上がる
〔神仏に供す〕線香を上げる、祝詞を上げる
〔平常心を失う〕人前で上がる
＝挙〔はっきり示す〕候補に挙がる、条件を挙げる、やり玉に挙げる、例を挙げる
〔結果を残す〕勝ち星・金星・10勝・先取点を挙げる、ポイントを挙げる〔得点〕
〔こぞってする〕国を挙げて、全力を挙げる
〔事を起こす、執り行う〕結婚式を挙げる、祝杯を挙げる、兵を挙げる
〔つかまえる〕犯人を挙げる
〔注〕「上、挙」の使い分けに迷う場合は平仮名書き。

〈使い分けに注意〉
▼手を上げる〔あげる、ホールドアップ、殴る〕手を上げて声援に応える、手を上げてタクシー

を止める、娘に手を上げたことはない

▼**手を挙げる**〔表明、挙手〕候補者公募に手を挙げる、手を挙げて意見を言う

▼**名を上げる**〔有名になる〕優勝して名を上げる

▼**名を挙げる**〔列挙〕候補に5人の名を挙げる

＝揚〔高く掲げる、空中に浮かぶ〕揚げヒバリ、アドバルーンを揚げる、観測気球を揚げる、国旗を揚げる、たこ揚げ、㊗旗揚げ、一旗揚げる、帆を揚げる

〔水から陸や上方に移す〕いかりを揚げる、水揚げ、船荷を陸に揚げる

〔油で調理する〕揚げたての天ぷら、揚げ出し豆腐

☞「にあげ」「ひきあげる」の項

＝(上)→あげる〔やる(与える、補助動詞)の謙譲表現〕…してあげる、お土産をあげる

あかるい 明るい 明るみ(に出る)、明るむ

あかんぼう 赤ん坊

あきさめ 秋雨

あきない・あきなう 商い・商う

あきめくら ⊗(明き盲)→物事が見えない人、字が読めない人

あきらか 明らか

あきらめる 諦める

あきる (厭きる△、倦きる△)→飽きる 飽き飽きする、飽き足りない、飽きっぽい、飽くなき野望、見飽きる

あきれすけん (アキレス腱△)→アキレス腱△

あきれる (呆れる)→あきれる あきれ返る

あきんど (＊商人)→あきんど

あく (＊灰汁)→あく あくの強い人、あくを取る

あく・あける

＝空〔からになる〕空き缶・瓶、空き室・地、空き巣、空き箱、空き間・家、家を空ける、がら空き、体が空く、間隔・時間を空ける、席が空く、手空き、中身を空ける

＝明〔明るくなる、内容が明らかになる、片が付く〕明け方、明け暮れ、明け荷、明けの明星、明け渡し期日、明け渡す、打ち明け話、寒が明ける、休

暇が明ける、休場明け、年が明ける、年季が明ける、秘密を打ち明ける、目が明く〔見えるようになる〕、喪が明ける、夜明かし、夜が明ける、らちが明かない、連休明け

＝開〔ひらく〕開いた口がふさがらない、開かずの門、開け方が分からない、開け閉め、開け放つ、かっと目を開ける、壁に穴を開ける、口開け、ふたを開ける、幕が開く、店を開ける

〔注〕「水をあける」は平仮名書き。「舞台に穴があく・あける、ポストに穴があく・あける」など抽象的な表現では平仮名書き。具体的に物体に穴をあける場合は「開」を使う。

あくぎょう　(悪業)→悪行

あくごう　悪業〔仏教用語〕

あくじき　悪食

あくたい　(悪体▲)→悪態(をつく)

あくたれる　悪たれる

あくどい　(悪どい▲)→あくどい

あくび　(欠伸)→あくび

あくまで　(副)(飽く迄△)→あくまで

あぐら　(胡坐△△)→あぐら

あくらつ　(悪辣)→悪質、あくどい、ひどい、たちの悪い、悪辣(あくらつ)

あくりょう　悪霊〔「あくれい」とも〕

あくる　明くる　明くる朝、明くる日

あげあしとり　(挙げ足取り)→(秘)揚げ足取り

あげおろし　揚げ降ろし(作業)

あげおろし　(箸の)上げ下ろし

あげく　(挙げ句)→(秘)揚げ句

あけすけ　(明け透け)→あけすけ

あけっぱなし　(明けっ放し)→(秘)開けっ放し

あけっぴろげ　(明けっ広げ)→(秘)開けっ広げ

あげまく　(上げ幕)→揚げ幕

あご　顎　顎が痛い、顎で使う、顎を出す

あこがれる　憧れる

あさ　朝　朝帰り、朝駆け、朝っぱら、朝ぼらけ、朝焼け

あさ　アサ・麻〔植物〕麻織り

あざ　(痣△)→あざ

あさい　浅い　浅黒い、浅知恵、浅薄け、浅手、浅み、浅め

あさがお　アサガオ・朝顔(植

物〕

あさぎ
＝浅黄〔薄い黄色〕浅黄色、浅黄染め
＝(浅葱△)→あさぎ〔緑がかった薄い青色、薄藍〕あさぎ色、あさぎ裏

あざける（嘲る）→あざける

あざって（＊明後日）→あさって

あさはか（浅墓）→浅はか

あさましい（浅間しい）→浅ましい

あざむく 欺く 敵を欺く

あざやか 鮮やか 色鮮やか

あさる（漁る）→あさる

あざわらう（嘲う、嘲笑う）→あざ笑う

あし
＝足〔一般用語。主に足首から先の部分〕足跡、足音、足掛かり、足癖、足手まとい、足止め、足取り、足並み、足慣らし、足早に、足踏み、足まめ（に通う）、足を出す、足を引きずる、足を棒にする、勇み足、襟足、客足、球足が速い、出足、並足、逃げ足、抜き足差し足、速足、日足〔市場用語〕

〈使い分けに注意〉
▼**足が速い**〔後足〕
▼**足が早い**〔売れ行き、鮮度〕
▼**足を伸ばす**〔動作〕
▼**足を延ばす**〔遠出〕

＝脚〔主に太ももから下の部分、物を支える部分〕脚の線が美しい、(秘)雨脚、風脚、机の脚、日脚が伸びる、火脚が早い、(秘)船脚
〔競馬〕脚色＝あしいろ、追い込み脚、差し脚、末脚、逃げ脚
〔注〕「前足・脚、後足・脚、後ろ足・脚」は意味によって使い分ける。「足を組む、手足が長い」など脚を含めた全体を指して「足」を用いる場合もある。

あし（芦△、蘆△、葦△、葭△）→アシ
〔植物〕芦毛（あしげ）

あし（悪し）→あし あしからず、あしきをくじく、あしざま、折あしく、善しあし〔性格〕、良しあし〔品質〕

あじ… 味気ない、味付け、味なまね、味見、味わう、味

わわせる、味を占める

あしかけ
＝足掛け〔足場など〕
＝足かけ〔期間〕足かけ3年
あしげ（足蹴）→足蹴
あじさい（紫陽花）→アジサイ〔植物〕
あししげく（足繁く）→足しげく
あした（＊明日、朝）→あした
あしもと（足許、足下）→㊎足元
あじわう 味わう〔「味あう、味あわせる」は誤り〕
あしわざ
＝足技〔柔道など〕
＝足業〔曲芸〕
あす ㊐明日・あす ㊎日時の書き方(528ページ)
あずかる
＝(与る)→あずかる〔関与する、受ける〕あずかって力がある、あずかり知らぬ、お招き・恩恵・相談にあずかる
＝預かる〔保管・管理・保留する〕預かり金、一時預かり、現金・勝負・台所・荷物・留守を預かる
あずき アズキ・㊐小豆〔植物〕小豆がゆ
あずけいれ 預け入れ(指定、手続き、方法) 預入《金》、預入指定日・期日、預入手数料 ㊎経済複合語(102ページ)
あずける 預ける 預け金、預け主、一時預け、体を預ける、げたを預ける
あずま（東、吾妻）→あずま
あずま男
〔注〕人名・地名の吾妻は仮名書きでは「あづま」。
あずまや（東屋、四阿）→あずまや
あせ 汗 汗じみる、汗する、汗だく、汗ばむ、脂汗
あぜ（畔、畦）→あぜ あぜ道
あせも（汗疹）→あせも
あせる 焦る 焦り
あせる（褪せる）→あせる 色あせる
あぜん（唖然）→あぜん、あきれる、あっけにとられる
あそぶ 遊ぶ 遊び金、遊び心、ハンドルの遊び
あだ
＝(仇)→あだ〔かたき〕あだを討つ、恩をあだで返す

＝(徒)→あだ〔無駄〕あだ花、親切があだになる

あたい

＝価〔金高で表現した数量〕価が高い、物の価

＝値〔ねうち、抽象的表現に〕一見に値する、xの値を求める、称賛に値する、千金の値、注目に値する

あだうち（仇討ち△）→仕返し、報復、敵討ち、あだ討ち

あたたかい

＝温かい〔一般用語。冷の対語〕温かい心、温かい食べ物、温かい目で見守る、温かいもてなし、家庭の温かさ、体が温かい、懐が温かい

＝暖かい〔寒の対語、主に気象・気温に〕暖かい海、暖かい気候、暖かい室内、暖かいセーター、暖かい日の色、暖かい冬、生暖かい空気

〔注〕「暖かい海」の対語は「冷たい海」。

あたたまる・あたためる

＝温〔冷たさをやわらげる、抽象的表現にも〕旧交を温める、心温まる、席の温まるいとまがない、食べ物を温める、手足を温める、鳥が卵を温める、ベンチを温める、水を温める

＝暖〔温度が上がる、主に気象・気温に〕空気が暖まる、室内を暖める

あだな（仇名△、徒名、渾名△、綽名△）→あだ名

あたま　頭　頭打ち、頭から、頭越し、頭ごなし、頭割り

あたらしい　新しい　新しがる、真新しい、目新しい

あたり　辺り　辺り一面、辺り構わず、この辺り

〔注〕「明日あたり、彼あたりは」など接尾語的な用法は平仮名書き。

あたる

＝当たる〔接触、的中、配分、相当〕当たり狂言、当たりくじ、当たり障り、当たり散らす、当たり外れ、当たり前、当たり屋、当たり役、当たりを付ける、当たるを幸い、1個当たり千円、原典・辞典に当たる、…に当たり、任に当たる、的に当たる、予報が当たる

＝(中る)→あたる〔中毒〕昇気あたり、食あたり、毒にあたる、湯あたり

あ

あつい
＝暑い〔寒の対語〕暑い地方、暑い夏、暑い部屋、暑がり、暑苦しい格好、蒸し暑い
＝熱い〔冷の対語〕熱い戦争、熱い血潮、熱い湯、熱かん、お熱い仲
＝厚い〔薄の対語〕厚い布団、厚い友情、厚切り、厚化粧、厚焼き、手厚いもてなし、人情が厚い、分厚い本
＝篤い→あつい〔病気が重い、気持ちが深い〕あつい病、信仰心があつい

あつかう 扱う 扱い高・品・証

あつかましい 厚かましい

あっかん（圧観）→圧巻

あっこうぞうごん 悪口雑言

あっせい
＝圧制〔無理に抑える〕圧制者、圧制政治
＝圧政〔権力で抑える政治〕圧政に苦しむ国民

あっせん（斡旋）→あっせん、世話、仲介

あっぱれ（天晴れ）→あっぱれ

あつみ（厚味）→厚み

あつらえる（誂える）→あつらえる

あつれき（軋轢）→摩擦、いざこざ、不和、もめ事、あつれき

あて 宛て 友人宛ての手紙、宛先、宛名

あてがう（宛行う）→あてがう

あてじ（宛て字）→㊟当て字

あてど（当て所）→あてど あてど(も)なく

あでやか（艶やか）→あでやか

あてる
＝当てる〔接触、的中、配分、相当〕当て馬、当てが外れる、当てこすり、当て込む、当てずっぽう、当て付ける、当てにする、当てはめる、当て身、当てもなく、風に当てる、心当て、捜し(探し)当てる、寒気に当てられる、振り当てる、胸に手を当てる、目当て、割り当てる
＝充てる〔充当、割り振る〕会場に充てる、教材に充てる、建築費に充てる、後任に○○氏を充てる、財源に充てる、抵当に充てる
＝宛てる〔手紙など〕恩師に宛て

て礼状を出す、母に宛てた手紙、本社に宛てられた書類

あと

＝後〔先・前の対語、後続〕後味、後々まで、後追い、後押し、後書き、後が絶える、後片付け、後がない、後釜、後腐れ、後先、後作、後になり先になり、後の祭り、後払い、後回し、後戻り、後を追う〔ついていく〕、後を絶たない〔継続〕、後を頼む、後をつける〔すぐ後ろをついて行く〕、後を引く、…した後で

〔注〕「あと一息、あと2人、あと3時間」などは平仮名書き。

＝跡〔痕跡、相続〕足跡、跡形もない、跡取り、跡目争い、跡を絶つ〔消息〕、跡を守る、苦心の跡が見える、城跡、立つ鳥跡を濁さず、犯行の跡、容疑者の跡を追う〔痕跡をたどる〕

＝痕〔くっきり残ったあと、主に人体〕傷痕〔比喩的にも〕、手術の痕、弾の痕〔弾痕〕、血の痕〔血痕〕、爪痕〔比喩的にも〕、やけどの痕

〔注〕「跡、痕」の使い分けに迷う場合は「跡」を使う。

あとあし

＝後脚〔動物の脚〕後脚で立つ

＝後足〔比喩的用法〕後足で砂を掛ける

あとしまつ　(跡仕末)→㊥後始末

あとつぎ

＝後継ぎ〔社長・総裁・農業など〕

＝跡継ぎ〔家元・家督・名跡など〕

あな　(孔)→穴

あなぐま　アナグマ〔動物〕、穴熊〔将棋〕

あなご　(海鰻△)→アナゴ・穴子

あな　(＊貴方、＊貴男、＊貴女)〔動物〕→あなた

あなどる　侮る　侮り難い

あばく　暴く　暴き出す、暴き立てる

あばれる　暴れる　暴れ馬

あびきょうかん　(阿鼻△叫喚)→地獄のような惨状、阿鼻(あび)叫喚

あびる　浴びる　浴びせ倒し、浴びせる

あぶ　(虻△)→アブ〔動物〕　あぶ蜂取らず

あぶく　(泡)→あぶく(銭)

あぶない　危ない　危なげない

あぶら
＝油〔液体状、主に植物・鉱物〕
油揚げ、油絵、油かす、油紙、油差し、油じみた、油を売る、油を絞られる〔叱られる〕、油を搾る〔製造〕、油を流したような水面、がまの油、ごま油、火に油を注ぐ
＝脂〔固体状、脂肪、主に動物〕
脂足、脂汗、脂が乗る、脂ぎった顔、脂性、脂っこい食べ物、脂取り、脂太り、牛肉の脂身

あへん（阿片）→アヘン〔法律名はあへん法〕

あほう（阿呆）→あほう

あほうどり（阿呆鳥、＊信天翁）→アホウドリ〔動物〕

あま ㊊海女、海士（あま）〔男の場合〕

あま… 雨傘、雨具、雨ざらし、雨垂れ、雨戸、雨漏り、雨宿り、雨よけ

あまあし（雨足）→㊎雨脚

あまい・あまえる 甘い・甘える 甘えん坊、甘さ、甘酸っぱい、甘ったるい、甘ったれる、甘やかす

あまくだり（天降り）→天下り

あまごい 雨乞い

あます・あまる 余す・余る 有り余る、食い余す、身に余る、目に余る、持て余す

あまた ㊐（＊数多）→あまた

あまどい（雨樋）→雨どい

あまのがわ（天の河）→天の川

あまのじゃく（天の邪鬼）→あまのじゃく

あまみ（＊甘味）→甘み・甘味

あまり
＝余り〔残り、はした、余分〕余り物、1時間余り話した、補って余りある、お小遣いの余りは貯金、字余り、10人余り、割って余りが出る
＝あまり〔副詞など〕あまり賢くない、あまり手荒にするな、あまりにも簡単、悲しみのあまり、…したあまり

あまんじる 甘んじる〔「甘んずる」とも〕

あみ 網 網打ち、網棚、網目〔状〕、網焼き、かすみ網

あみ… 編み上げ靴、編み機、編み針、編み目、編み物

あみだ（阿弥陀）→㊎阿弥陀 阿弥陀如来、南無阿弥陀仏
〔注〕仏教関係以外の「あみだくじ」

などは平仮名書き。

あめ 雨　雨上がり、雨降り

あめ (飴△)→あめ　あめ玉、アメとムチ

あめもよう (雨模様)→曇り空　の下、小雨が降る中　誤りやすい語句(479ページ)

あや (文、彩、綾△)→あや　あや織り、あや取り、あやなす、言葉のあや

あやうい 危うい

あやしい
＝怪しい〔不気味、異様、はっきりしない〕怪しい人影、怪しむ、彼の日本語は怪しい、挙動が怪しい、空模様が怪しい
＝妖しい〔なまめかしい、神秘的〕妖しい魅力、妖しく輝く瞳

〔注〕使い分けに迷う場合は平仮名書き。

あやつる 操る　操り人形

あやぶむ 危ぶむ

あやまち・あやまつ 過ち・過つ　過ちを犯す、酒の上の過ち、身を過つ、若気の過ち

あやまる
＝誤る〔間違う、誤解、誤認、誤用、錯誤〕誤った処置、誤って傷を付ける、誤りを正す、誤りを見つける、言い誤る、運転を誤る、思い誤り、書き誤り、人選を誤る、適用を誤る、道を誤る、用法を誤る
＝謝る〔わびる〕謝って済まない、謝り証文、謝りに行く、平謝り

あやめる (殺める、危める)→あやめる

あゆむ 歩む　歩み寄り

あら (粗)→あら　あら探し、魚のあら

あらい
＝荒い〔勢いが激しい状態、乱暴、乱れ〕荒々しい、荒い波風、荒海、荒稼ぎ、荒肝、荒行、荒くれ、荒事、荒潮、荒仕事、荒立てる、荒茶、荒っぽい気性、荒縄、荒武者、荒目、荒物、荒療治、荒技・荒業、金遣いが荒い、気が荒い、手荒い
＝粗い〔粗・密の対語、大ざっぱ、粗雑〕網の目が粗い、粗板、粗織り、粗壁、粗がんな、粗刻み、粗ごなし、粗塩、粗筋、粗玉、粗造り、粗土、粗っぽい仕上げ、粗朶もり、粗塗り、粗熱、粗びき、粗彫り、粗利

益、きめが粗い〔肌など〕、打撃・守備が粗い、粒が粗い、見方が粗い、木目が粗い

あらいざらい ㊞洗いざらい

あらう 洗う　洗い髪、洗いざらし、洗い張り

あらがう 〔抗う〕→あらがう　時流にあらがう

あらかじめ ㊞〔予め〕→あらかじめ

あらかた ㊞〔粗方〕→あらかた

あらけずり ＝粗削り〔一般用語。大ざっぱな削り〕粗削りだが有望な新人、粗削りな原稿、粗削りの板

＝荒削り〔限定用語。様式が大胆〕荒削りの円空仏

あらし 嵐

あらす・あれる 荒らす・荒れる　荒れ狂う、荒れ性、荒れ地、荒れ果てる、荒れ模様、肌荒れ

あらず 〔非ず〕→あらず　さにあらず

あらそう 争う　争い事

あらた 新た　㊞新たに

あらためて ㊞改めて・あらためて

あらためる 改める　改まる

あらて 新手　新手の商法

あらまき 〔荒巻き〕→㊞新巻き（ザケ）

あらわす・あらわれる ＝表〔感情などを表に出す、表示、表明〕言い表す、意思を表す、影響・効果・成果が表れる、顔色に表れる、兆しが表れる、敬意を表す、結果に表れる、言葉に表す、数字に表す、成績に表れる、敵意の表れ、怒気を表す、名は体を表す、変化が表れる、喜びを表す

＝現〔隠れていた姿・形が見えるようになる、現象、出現〕怪獣が現れる、才能を現す、湿疹が現れる、正体・本性を現す、真価を現す、姿を現す、太陽が現れる、端緒が現れる、頭角を現す、馬脚を現す

あらわす 著す　書物を著す

あらわす・あらわれる ＝表〔感情などを表に出す、表示、表明〕言い表す、意思を表す、影響・効果・成果が表れる、顔色に表れる、兆しが表れる、敬意を表す、結果に表れる、言葉に表す、数字に表す、成績に表れる、敵意の表れ、怒気を表す、名は体を表す、変化が表れる、喜びを表す

＝現〔隠れていた姿・形が見えるようになる、現象、出現〕怪獣が現れる、才能を現す、湿疹が現れる、正体・本性を現す、真価を現す、姿を現す、太陽が現れる、端緒が現れる、頭角を現す、馬脚を現す

あり 〔蟻〕→アリ〔動物〕アリジゴク〔動物〕、あり地獄〔比喩〕

あり・ある
＝有〔無の対語〕有り余る、有り合わせ、有り金
＝在〔存在、所在〕在り方、在りし日
〔注〕「ある」と読む場合は平仮名書きを活用する。
〔以下は慣用で平仮名書き〕
ありきたり、ありさま、ありったけ、ありてい、ありとあらゆる、ありのまま、ありふれる、ありよう

ありあり ㊀ありあり〔と見える〕

ありか 〔在り処〕→在りか〔物・建物のある場所〕宝の在りかを発見

ありがたい・ありがとう ありがたい・ありがとう〔感謝〕〔注〕めったにないの意味に使うときは「有り難い」でもよい。

ある・あるいは 〔或〕→ある・あるいは ある時、ある所

あるじ 〔主〕→あるじ

あわ 〔粟〕→アワ〔植物〕〔恐怖で〕総身にあわ立つ、ぬれ手で粟・あわ

あわ 泡 泡立つ波、泡を食う、一泡吹かせる、水の泡

あわせる
＝合わせる〔一致させる、合計〕合わせ鏡、合わせ目、合わせ物、合わせる顔がない、合わせ技、音楽に合わせて、顔合わせ、数を合わせる、体に合わせる、考え合わせる、組み合わせ、抱き合わせ、力を合わせる、調子を合わせる、突き合わせる、つじつまを合わせる、手を合わせる、時計を合わせる、引き合わせる、回り合わせる、見合わせる、巡り合わせ、持ち合わせる ➡「あい」「あう」の項
＝併せる〔並べる、両立する、両方をとる〕併せ馬、併せて健康を祈る、併せて支給、併せ持つ、消濁併せのむ、両者を併せ考える

あわただしい 慌ただしい

あわてる 慌てる 慌てふためく、慌て者、大慌て

あわもり 泡盛

あわや ㊀あわや あわや大惨事、あわや転倒
〔注〕危うく回避という意味。「あわや世界新」など、もう一息での意味

で使わない。

あわゆき
＝淡雪〔薄く積もった雪〕
＝泡雪〔泡のように消えやすい雪〕

あわれ（憐れ）→哀れ　哀れっぽい、哀れみ、哀れむ

あんえい（暗翳）→暗影

あんか（行火）→あんか

あんがい（副）案外

あんぎゃ　行脚　全国行脚

あんきょ（暗渠）→地下排水溝、地下（通）水路

あんしょう
＝（暗誦、諳誦）→暗唱〔そらんじる〕詩・せりふを暗唱する
＝暗証〔証明する暗号〕カードの暗証番号

あんしんりつめい（安神立命）→（禁）安心立命〔仏教では「あんじんりゅうめい、あんじんりゅうみょう」とも〕

あんたん（暗澹、暗胆）→暗い、真っ暗、暗たん

あんど（安堵）→ほっとする、安心、安堵

あんどん（行灯）→あんどん

あんに（副）暗に

あんのじょう（副）（案の条）→案の定

あんのん　安穏

あんば（鞍馬）→あん馬

あんばい
＝（按排、按配）→案配〔ほどよく配置・処理する〕順序を案配する
＝（塩梅）→あんばい〔具合、料理の味加減〕いいあんばいに席が空いていた、お吸い物のあんばいを見る、体のあんばいが悪い

あんぶん（按分）→案分

あんぶんひれい（按分比例）→（学）比例配分、案分比例

あんま（按摩）→マッサージ業
〔注〕職業、職種には使わない。国家資格は「あん摩マッサージ指圧師」。

あんや（＊闇夜）→暗夜

【い】

い…　居合わせる、（慣）居心地、居酒屋、居候、居たたまれない、居着く、居続ける、居づらい、居所・居どころ、居直る、居ながらにして、

居並ぶ、居眠り(運転)、居残り、居留守、居合(抜き)

いる… 射当てる、射落とす、射止める、射抜く

いる… 鋳掛け、鋳型、鋳物

いい (良い、好い、善い)→いい気な、いい気味、いい質問だ、いい年をして、いい身分、それでいい、体裁がいい ☞「よい」の項

いいる… 言い合う、言い返す、言い掛かり、言いかける、言いかねる、言い交わす、言い込める、言い知れぬ、言いたい放題、言い出しっぺ、言い違い、言い付ける、言い伝え、言い直し、言いなり、言い値、言い逃れ、言い古す、言い分、言い回し、言い漏らし、言い訳、言い渡し

いいかえ (言い替え)→言い換え

いいかげん (好い加減)→いいかげん〔形容動詞、副詞〕

いいぐさ (言い種)→言い草

いいだくだく 唯々諾々

いいづらい (言い辛い)→言いづらい

いいなずけ (*許婚、*許嫁)→婚約者、いいなずけ

いう ＝(云う△、謂う△)→言う〔思ったことを言葉で表す、述べる〕あえて言えば、あっと言わせる、言いたいことを言う、言うことを聞く、言うまでもなく、言える範囲内、言わずと知れた、えも言われぬ、彼が言うには、彼は「…」と言う、…と言わんばかり、はっきり言って

＝いう〔「言う」の実質的な意味が薄れた場合など〕あっという間に、いうなれば、いざというときに、Aさんという人、経験がものをいう、こういう(こんな)事情があった、豪傑といわれる彼が、絶対にそういう(そんな)ことはない、そういえば、どちらかといえば、とはいえ、何という暑さだ、何といっても、貧乏というものはつらい、ミシミシいう

＝(…と)いう〔伝聞など〕…というわけだ、…といわれている、…といわれる

〔注〕漢字書きが適切かどうか迷う場合は平仮名書き。

(と)いえども (雖も、言えども)↓(と)いえども

いえる 癒える 傷・病が癒える、失恋の痛手が癒える

いおう 硫黄

いがい 以外〔○○の他〕関係者以外の入室禁止、これ以外に方法がない

意外〔思いの外〕意外性、意外とするところ、意外な事件、意外に強硬

いがい 遺骸〔通常は遺体とする〕

いかが・いかん (如何)↓いかが・いかん いかがなものか、いかがわしい、結果いかんでは

いかく 威嚇(射撃)

いかす (活かす)↓生かす

いかなる (如何なる)↓いかなる

いかに (如何に)↓いかに(も)

いかめしい (厳めしい)↓いかめしい

いかり (碇、錨)↓いかり いかりを揚げる・下ろす

いかる 怒る 怒り肩

いかん (遺憾)↓遺憾

いかん 偉観〔素晴らしい眺め〕展望台からの偉観

異観〔珍しい眺め〕桂林の異観

いき 息〔呼吸、気息〕背息吐息、息が合う、息が上がる、息が長い、息継ぎ、息詰まる熱戦、息抜き、息巻く、息む、息を入れる、息を凝らす、息を殺す、息をのむ、息を吹き返す、ため息をつく、寝息、虫の息

意気〔心ばえ、気概〕意気が上がる、意気込む、意気盛ん、意気消沈、意気阻喪、意気天を突く、意気投合、意気揚々、心意気、人生意気に感じる、生意気

いき 粋 粋がる、粋筋、粋な姿

いき (委棄)↓遺棄

いき… 行き…〔行き当たり、行き帰り、行きがけ、行き来、行き先、行き過ぎ、行き倒れ、行き違い、行きつけ、行き詰まり、行き届く、行き止まり、行き場

＝生き…　生き生きと、生き写し、生き埋め、生き字引、生き永らえる、生き恥、生き物、生き別れ

…いき　先行き、東京行き

いぎ　＝異義〔異なった意味〕同音異義　＝異議〔異なった意見〕異議続出、異議なし、異議申し立て、異議申立書・人

＝意義〔言葉によって表す内容、意味、値打ち〕人生の意義、有意義

いきおい　勢い　勢い込む、勢いづく、勢いよく、勢いを付ける、勢いを増す、日の出の勢い

いきおい　㊞(勢い)→いきおい〔そのときの成り行きで〕いきおい口論となった

いきがい　(生き甲斐)→生きがい

いきけんこう　(意気軒昂)→意気盛ん、意気軒高

いきさつ　(＊経緯)→いきさつ

いきじ　意気地　㊟「いくじ」の項

いきしょうてん　(意気昇天)→意気衝天

いきづかい　息遣い

いきづく　(息衝く)→息づく

いきどおる　憤る

いきぼとけ　(＊活仏)→生き仏〔注〕チベット仏教の高僧は「活仏」＝かつぶつ」。

いきょう　＝異郷〔故郷を離れた土地・国〕　＝異境〔外国、他国〕

いぎょう　＝偉業〔立派な仕事・事業〕偉業を達成する　＝遺業〔故人が残した仕事・事業〕亡父の遺業を継ぐ

いく　＝逝く〔人が死んだ場合〕　＝行く〔動詞〕行く先、海に行く　＝いく〔補助動詞、「行く」の意味が薄れた場合〕うまくいく、合点がいく、実施していく、減っていく、満足がいく〔注〕「ゆく」とも。「いく」は「ゆく」より口語的。

いく…　幾重、幾多、幾たび、幾つ、幾度、幾ら〔副詞はなるべく平仮名書き〕いくら、いくらか(安い)、いくらでも、いくら何でも

いくさ 戦　勝ち戦、負け戦
いぐさ（藺草）→イグサ〔植物〕、イ草〔畳替えなど〕
いくじ ㊀意気地
〔注〕「意気地がない、意気地なし」など否定的な場合に使う。自分の思うことを通そうとする気持ちのときは「意気地＝いきじ」。
いくせい（育生）→育成
いくどうおん（異句同音）→異口同音
いくばく（幾何）→いくばく
いくん
＝遺訓〔故人の残した教え〕先祖の遺訓を守る
＝偉勲〔立派な功績・手柄〕偉勲をたたえての授賞
＝遺勲〔故人の残した功績〕故人の遺勲を碑に残す

いけい 畏敬　畏敬の念
いけうお（活け魚）→生け魚
いけす（生け簀）→いけす
いけどり 生け捕り
いけにえ（生け贄）→犠牲、いけにえ
いけばな（活け花）→生け花
いける 生ける　生け垣、花を生ける
いける（埋める）→いける　炭をいける
いけん
＝意見〔思うところ、考え、訓戒〕大方の意見、親の意見
＝異見〔異なった意見・見解〕異見を唱える
いこい・いこう 憩い・憩う
いこう
＝偉功〔大きな功績〕偉功を立てる
＝遺功〔死後に残された業績〕遺功をたたえる
いこじ（依怙地）→意固地
いさい 委細　委細構わず
いさい 偉才〔優れた才能の持ち主。異才とも〕画壇の偉才
いさい 異彩　異彩を放つ
いさぎよい（いさぎ良い）→潔い
いざなう（誘う）→いざなう
いさむ 勇む　勇ましい、勇み足、勇み立つ、勇み肌
いさめる（諫める）→いさめる
いざよい（＊十六夜）→いざよい・十六夜
いさりび（＊漁火）→いさり火
いし
＝意思〔持っている考え、思い、

法律用語に多い）意思の有無を問う、意思の疎通を欠く、意思表示、辞任の意思（が固い）、自由意思、承諾の意思、本人・住民の意思を尊重

‖**意志**（物事を成し遂げようとする心、心理学用語に多い）意志が強い・弱い（性格）、意志強固、意志薄弱、意志を貫く、困難・障害に打ち勝つ意志、鉄の意志

‖**遺志**（死者の生前の志）故人の遺志を継ぐ

いし　（縊死）→首つり、首をくくる

いじ　意地　意地ずくで、意地っ張り

いしずえ　礎　国家の礎、平和の礎（いしじ）〔沖縄〕

いしぶみ　（碑）→いしぶみ

いじめる　（虐める、苛める）→いじめる

いしゃ　（慰藉）→慰謝（料）

いしゅがえし　（遺趣返し）→意趣返し

いしゅく　（委縮）→萎縮

〔注〕恐れ入ってかしこまる意では「畏縮」も。

いしょう

‖（衣裳）→**衣装**（衣服）衣装合わせ

‖**意匠**（デザイン、工夫）意匠登録、意匠を凝らす

いじょう

‖**異常**（一般用語。正常の対語、主に形容動詞）異常乾燥、異常気象、異常事態、異常体質、異常な音、異常な状態、イナゴが異常（に）発生、エンジンに異常がある、コイの異常死、室内に異常を発見、診察の結果は「異常なし」だった

‖**異状**（限定用語）異状死・異状死体（医師法）、西部戦線異状なし（レマルクの小説）

いじょう

‖**移譲**（権限などを対等の間で移し譲る）行政事務・税源を国から自治体に移譲、所有権を夫から妻に移譲、政権移譲

‖**委譲**（権限などを下級のものに任せ譲る）社長権限の一部を副社長に委譲、大統領権限を首相に委譲

いしょく　（依嘱）→㊞委嘱

いしょく　（移殖）→移植

いしんでんしん　以心伝心

いす　椅子・いす

〔注〕障害者スポーツの「車いす」など慣用によって平仮名書き。

いずこ（何処）→いずこ

いずれ（何れ）→いずれ

いすわり（居据わり、居坐り）→㊒居座り　居座る

いせき（遺蹟）→遺跡

いぜん㊐依然（として）

いぜん　以前（から）

いぜんけい（已然形）→已然形

いそ　磯　イソギンチャク〔動物〕、磯釣り

いそしむ（勤しむ）→いそしむ

いぞん
＝依存〔他のものに頼る、「いそん」とも〕依存症、依存心、依存度
＝異存〔不服〕異存がない、異存を唱える

いたい　痛い　痛々しい、痛しかゆし、痛手

いたいけ（幼気）→いたいけ
いたいけな子ども

いたく（依託）→㊒委託

いたく㊐痛く、甚だ）→いたく（感激する）

いだく　抱く

いたけだか（威猛高、威丈高）→㊒居丈高

いたす　致す　致し方ない、不徳の致すところ

いたずら（＊悪戯）→いたずら

いたずらに㊐徒に）→いたずらに

いただき　頂〔頂上〕山の頂

いただく（戴く）→頂く〔もらう、のせる〕頂き物、これなら頂きだ、賞状を頂く、雪を頂く

〔注〕「食べる」の謙譲語、食前のあいさつの「いただきます」は平仮名書き。

…いただく（して）いただく〔補助動詞〕お読みいただく、来ていただく、出席していただく

いただけない（頂けない、戴けない）→いただけない〔悪い〕

いたち（鼬）→イタチ〔動物〕
いたちごっこ

いたって㊐至って（健康）

いだてん（韋駄天）→いだてん
いだてん走り、韋駄天〔神〕

いたむ　悼む　故人を悼む、死を悼む

いたむ・いためる
＝痛〔痛苦〕足が痛む、痛ましい出来事、痛み入る、痛み分け、

傷が痛む、心を痛める、肘を痛める、人を痛めつける、懐が痛む

＝傷〔傷つく、破損する〕家が傷む、傷みを繕う、傷んだ果物、髪・爪・肌を傷める、機械の傷み、道路が傷む、根が傷む、花を傷める

いためる 炒める 野菜炒め

いたる (到る)→至る 至れり尽くせり、都に至る

いたわる (労る)→いたわる

いち・いっ… 副いちいち、一概に、一段と、一段落して、一度に、一目散に、一様に、一気に、一挙に、一見、一向に、一心に、一般に

いちおう 副(一往)→統一応

いちかばちか (一か八か)→いちかばちか・イチかバチか

いちげん (一見)→いちげんいちげんの客

いちご (苺、苺△)→イチゴ〔植物〕いちごジュース

いちごいちえ 一期一会

いちじ

＝**一時** 一時しのぎ、一時払い

＝**一事** 一事が万事、一事不再理

＝**1次** 1次試験、1次冷却水

いちじく (＊無花果)→イチジク〔植物〕

いちじつのちょう 一日の長

いちじるしい 著しい

いちず (一途)→いちず

いちどう

＝**一同**〔同一、全員〕一同起立、有志一同

＝**一堂**〔同じ場所〕一堂に会する

いちどきに (一時に)→いちどきに

いちはやく 副(逸早く)→いち早く

いちばんに 副一番に(する)

いちぶ

＝**一部**〔全体の一部分〕一部始終、一部の人

＝**一分**〔10分の1、ごくわずか〕一分咲き、一分の隙・狂いもない

いちべつ (一瞥△)→一見、一目、ちらっと見る

いちぼう (一眸△)→一望

いちもくりょうぜん 一目瞭然

いちょう (銀杏、△＊公孫樹)→イチョウ〔植物〕イチョウ並木、いちょう返し〔髪形〕、いちょう切り、大銀杏(おおいちょう)〔大相撲〕

いちり
＝一利〔一つの利益〕百害あって一利なし
＝一理〔一応の理屈〕彼の言い分にも一理ある
いちりつ　（一率）↓一律
いちりんざし　一輪挿し
いちる　（一縷△）↓一筋、わずか、かすか（な）、いちる
いちれんたくしょう　（一蓮△托△生）↓一蓮托生（いちれんたくしょう）
いつ　（＊何日、＊何時）↓いつ㊀いつか
いつ（つ）　五（つ）　五つ星
いっかく
＝一画〔漢字の一筆で書く線、土地の区切り〕一点一画、分譲地の一画
〔注〕画数を示す場合は「1画」。
＝一角〔一つのかど、一部分〕一角獣、駅前の一角に店を出す、氷山の一角、優勝候補の一角
いっかくせんきん　（一擲千金）↓一獲千金
いっかつ
＝一括〔ひとくくり〕一括して処理、一括審議
＝一喝〔叱る〕上司に一喝される
いっかん
＝一貫〔始めから終わりまで〕一貫作業、一貫した思想、終始一貫、中高一貫教育
＝一環〔鎖などの一つの輪、一連のものの一部〕環境保護の一環、都市計画の一環
＝一巻〔巻物・書物・フィルムなどの一つ〕一巻の終わり〔万事休す〕、第1巻
いっき　（一揆△）↓㊒一揆　一向一揆
いっきうち　（一騎討ち）↓㊒一騎打ち
いっきかせい　（一気呵△成）↓一気に、一息に、一気呵成（かせい）
いっくしむ　（愛しむ）↓慈しむ
いっけんや　（一軒屋）↓一軒家
いっこくせんきん　一刻千金
いっこだて　一戸建て
いっこん　一献（傾ける）
いっさい
＝一切〔全て、例外なく〕㊒一切知らない、一切の費用、一切を渡す
＝一再〔一度や二度〕㊒一再ならず
いっさいがっさい　一切合切〔一切合財とも〕

いっさつたしょう 一殺多生（「いっせったしょう」とも）

いっさんに 副（逸散に）→一散に・いっさんに

いっしどうじん （一視同人▲）→一視同仁

いっしゃせんり （一瀉△千里）→一気に、一息に、あっという間に、よどみなく

いっしゅう 一蹴

いっしょ （一所）→一緒　一緒に出掛ける

いっしょうけんめい （一所懸命）→仏一生懸命

いっしをむくいる 一矢を報いる

いっしん ＝一心（こころ、専念）一心同体、一心に祈る、一心不乱

＝一身（身体、自身）一身上の都合、一身をささげる、同情を一身に集める

いっすいのゆめ （一睡▲の夢）→一炊の夢

いっせいちだい （一生▲一代）→一世一代

いっせいに 副一斉に

いっそう 副一層・いっそう

いったい 副一体・いったい　一体全体、一体どうなるか

いったん 副（一旦）→いったん、一時（停止）、一度

いったん 一端　一端を担う

いっちょういっせき 一朝一夕

いっちょうら （一帳羅）→一張羅

いってつ 一徹　頑固一徹

いってん ＝一点（一つの点、わずか）一点の曇りもない、一点張り

＝一天（空）一天にわかにかき曇り

いっと 一途　悪化の一途

いっとうぼり 一刀彫（工芸品）

いっとき （一時）→いっとき　いっときも忘れない

いつに 副一に　一にかかって、志を一にする

いっぱい ＝一杯（成句・慣用句）一杯機嫌、一杯食わされる、一杯飯、ちょっと一杯　数字の書き方（546ページ）

＝いっぱい（たくさん、満杯）感激でいっぱい、元気いっぱい、今月いっぱい、時間いっぱい、

場内いっぱいの人、精いっぱい、力いっぱい、手いっぱい、腹いっぱい、帆にいっぱいの風、目いっぱい

いっぱし（一端）→いっぱし

いっぴき（一疋△）→一匹、1匹

一匹おおかみ、1匹のネズミ

いっぺん

＝一遍・いっぺん（一度、ひとおり）一遍こっきり、通り一遍

＝一片（ひとひら、わずか）一片の誠意もない、1片の花びら

いっぺんとう（一辺到▲）→一辺倒

いっぺんに 副 一遍に・いっぺんに

いつわる 偽る

いでたち（出で立ち）→いでたち

いてつく（凍て付く）→いてつく

いでゆ（＊出湯）→いで湯

いと 糸 糸織り、糸切り歯、糸巻き、糸目、糸枠

いどう

＝異同（相違）計数の異同、字句の異同

＝異動（地位・勤務の状態が変わる、戸籍法など）株主異動、住所・戸籍の異動、人事異動、定期異動、住民異動届

＝移動（位置が動く）移動図書館、高気圧が移動、民族大移動

いとおしい（愛おしい）→いとおしい

いとく

＝遺徳（故人が残した徳）亡き師の遺徳をしのぶ

＝威徳（威厳のある徳）神の威徳を畏れる

いとぐち（緒）→糸口

いとけない（幼い、稚い）→いとけない

いとこ（＊従兄・弟、＊従姉・妹）→いとこ

いどし（亥年△）→い年・亥年、いのしし年

いとしい（愛しい）→いとしい

いとし子

いとなむ 営む 営み

いとま（暇）→いとま いとま乞い、枚挙にいとまがない

いな 稲 稲作、稲妻、稲光

いなか ㊐田舎 片田舎

いなむ 否む 否めない、賛成か否か

いなもの 異なもの　縁は異なもの味なもの

いなり ＝㊐稲荷〔神〕稲荷神社、お稲荷様

＝いなり〔すし〕いなりずし、おいなりさん

いにしえ （古）→いにしえ

いぬ イヌ・犬〔動物〕犬かき、犬死に

いぬどし （戌年△）→いぬ年・戌（いぬ）年

いね イネ・稲〔植物〕イネ科、稲掛け、稲刈り、稲こき

いのいちばん いの一番

いのしし （猪△）→イノシシ〔動物〕

いのち 命　命懸け、命からがら、命綱、命取り、命拾い

いのちごい 命乞い

いはい （位牌、遺牌△△）→位牌（いはい）

いはい 遺灰　海に遺灰をまく

いはつ 衣鉢（を継ぐ）

いばら （茨、荊、棘△）→いばら

イバラ科、いばらの道、ノイバラ〔植物〕

〔注〕「茨」は茨城県など固有名詞だけに使う。

いばる 威張る

いはん （違犯）→㊎違反

いふ 畏怖

〔注〕なるべく「恐れおののく、怖がる」などとする。

いぶき ㊍息吹

いぶく （息吹く）→いぶく

いま 今・いま　今時分、今しも、今どき、今なお、今に・いまに、今にして、今風、今もって、今や・いまや、今様、今を時めく

〔注〕「いま一度、いま一歩、いまひとつ」などは平仮名書き。

いまいましい （忌々しい）→いまいましい

いまさら ㊍今更・いまさら

いましめる 戒める

いまだに ㊍（未だに、今だに）→いまだに　原因はいまだに究明されていない

いまわ （今際）→臨終、最期、死に際　いまわの際

いまわしい 忌まわしい

いみしんちょう （意味慎重△△）→意味深長

いむ 忌む　忌み嫌う、忌み言葉

いも イモ・芋〔植物〕芋づる（式）、芋掘り、芋虫、焼き芋、サツマイモ、サトイモ、ジャ

ガイモ

〔注〕市況記事や料理記事では「サツマ芋、ジャガ芋」と漢字交じり書きしてもよい。

いもち　（＊稲熱）→いもち（病）

いや△ ＝（厭）→嫌〔きらう〕嫌がらせ、嫌気が差す、嫌気して〔市場用語〕、嫌というほど

＝（否）→いや〔否定〕いや応なしに、いやでも応でも

＝（弥）→いや〔いよいよ〕いやが上にも、いや増す

いやいや　副嫌々　嫌々引き受ける

いやし・いやす　癒やし・癒やす

いやしい　（賤しい△）→卑しい　卑しむ、卑しめる

いやしくも　副（苟も△）→いやしくも

いやに　副いやに（暑い日だ）

いやみ　（嫌味）→嫌み（を言う）

いやらしい　（厭らしい、嫌らしい）→いやらしい（目つき）

いよいよ　副（愈々△）→いよいよ

いよう　（偉容）→㊙威容

いらだつ　（苛立つ）→いら立つ

いりあい　入り会い　入会漁業、入会組合、入会権、入会地

いりまじる　（入り混じる）→入り交じる

いりもや　㊙入り母屋（造り）

いりゅう　＝慰留〔なだめ思いとどまらせる〕慰留工作、慰留に努める

＝遺留〔置き忘れる、死後に残す〕遺留品、遺留分

いりょうきかい　（医療器械）→医療機械、医療機器

いりょうきぐ　（医療機具）→医療器具

いりょく　（偉力）→㊙威力

いる　＝入る〔主に出の対語〕入り海、入り江、入り口、入り組む、入り日、入り浸る、入り船、入り用、悦に入る、恐れ・畏れ入る、気に入る、堂に入る、仲間入り、恥じ入る、深入り、水入り、物入り

＝要る〔必要〕金が要る、何も要らない、保証人が要る

＝居る〔存在〕居ても立ってもいられない、並み居る人

〔注〕漢字書きの慣用が強いもの以外は平仮名書き。

…いる〔補助動詞、主に「て」が加わった場合など〕勉強をしている

いる　射る　的を射る、弓を射る

いる　鋳る　鐘を鋳る

いる　(炒る、煎る)→いる　いり卵、肝いり、豆をいる

いれい　(違例)→異例

いれかえ　(入れ換え)→㊎入れ替え　入れ替わる

いれかわりたちかわり　入れ(り)代わり立ち代わり

いれずみ　(＊文身、＊刺青)→入れ墨

いれる　(容れる、淹△れる)→入れる　入れ揚げる、入れ知恵、入れ違い、入れ歯、入れ物、受け入れる、お茶・コーヒーを入れる、要求を入れる

〔注〕「相いれない」は平仮名書き。

いろ　色　色合い、色揚げ、色気づく、色刷り、色染め、色づく、色付け、色っぽい、色よい返事、色分け、色をなす、お色直し

いろいろ　(色々、＊種々)→いろいろ

いろう　(胃癆△)→胃ろう

いろづかい
＝色使い〔絵の具などの使い方〕独特の色使い

＝色遣い〔遊興で金銭を使う〕遊里での色遣い

いろどる　(色取る)→彩る　彩り

いろめく　色めく　色めき立つ

いろり　(囲炉裏)→いろり

いわ　岩　岩組み、岩棚、岩登り、岩風呂

…いわい　快気祝い、誕生祝い、入学祝い、米寿の祝い

いわう　祝う　祝い酒、祝い物

いわかん　(異▲和感)→違和感

いわく　(曰△く)→いわく　いわくありげ、いわく言い難し、いわく付き

いわし　(鰯△)→イワシ〔動物〕　いわし雲

いわば　㊎(言わば、謂△わば)→いわば

いわゆる　(所▪謂△)→いわゆる

いわれ　(謂△れ)→いわれ　いわれなき迫害、いわれのある寺

いん
＝陰〔陽の対語、かげ、外からは見えない状態〕陰画、陰気、陰険、陰惨、陰性、光陰、夜

陰、緑陰

＝隠（かくす、かくれる、表面に現れない）隠居、隠見、隠語、隠者

いんうつ（陰鬱）→うっとうしい、陰気、陰鬱

いんえい（陰翳）→陰影

いんかしょくぶつ（陰花植物）→隠花植物

いんきょ（允許）→許可、免許

いんぎん（慇懃）→丁寧、いんぎん（無礼）

いんこう 咽喉（身体器官）耳鼻咽喉科

いんこう 淫行

いんしゅう（因襲）→因習

いんせい（隠棲、隠栖）→隠居、隠せい

いんせい（院制）→院政（歴史用語）白河上皇の院政

（注）一院制、二院制との違いに注意。

いんせき 姻戚

いんせき（隕石）→隕石

いんぜん（陰然）→隠然

いんそつ（引卒）→引率

いんたい

＝引退（役職・地位から退く）引退後の生活、引退を表明、現役引退

＝隠退（世を逃れて閑居する）隠退生活、郷里に隠退

いんとう 咽頭（身体器官）

いんとく（隠徳）→陰徳

いんとく（陰匿）→隠匿

いんとん（隠遁）→隠居、世を捨てる

いんにん（陰忍）→隠忍　隠忍自重

いんねん 因縁　因縁ずく

いんび（陰微）→隠微

いんび（淫靡）→みだら、淫靡

いんぺい（陰蔽、隠蔽）→隠す、隠匿、隠蔽

いんぼう（隠謀）→㊙陰謀

いんめつ（湮滅）→隠滅、消滅、もみ消し

いんれき（陰歴）→陰暦

【う】

う（鵜）→ウ（動物）ウがアユを捕る、鵜飼い（舟）、鵜飼い観覧船、鵜匠、うのみにする

うい 憂い　物憂い・もの憂い

うい… 初産、初陣、初孫

ういういしい 初々しい

ういてんぺん（有為天変）→有

為転変

…うえ いやが上、検討の上、…した上、その上

うえる 植える　植え替え、植え込み、植え付け、田植え、鉢植え、植木、植木市、植木鉢

うえる (餓える)→飢える　飢え死に、心の飢え

うえん (迂遠)→回りくどい、遠回り、実際的でない

うおのめ (魚の目)→うおのめ

うかい (迂回、迂廻)→遠回り、回り道、回る、迂回　迂回路

うかがい
＝伺い〔一般用語〕伺いを立てる、暑中伺い
＝伺〔書式〕進退伺

うかがう
＝(窺う)→うかがう〔そっとのぞく、狙う、時機の到来を待つ〕　家の中・顔色・機会・内部・寝息・鼻息・様子をうかがう
＝伺う〔聞く・訪ねる・問うの謙譲語〕お宅に伺う、話を伺う

うかつ (迂闊)→うかつ、うっかり

うがつ (穿つ)→うがつ

うかぶ・うかべる 浮かぶ・浮かべる　浮かばれない

うき (雨季)→㊫雨期

うき… 浮き上がる、浮き浮きする、浮き貸し、浮き沈み、浮き球〔球技〕、浮きドック、浮き彫り、浮き実〔スープ〕、浮足、浮具、浮草、浮雲、浮桟橋、浮島、浮州、浮巣、浮名、浮橋、浮袋、浮舟、浮世絵、浮輪　☞送り仮名の付け方(99ページ)

うきみ
＝浮身〔日本の古式泳法〕
＝憂き身〔つらいことの多い身の上〕

うきめ 憂き目

うきよ (憂き世)→㊫浮世

うく 浮く　浮かぬ顔、浮かれる、お金を浮かす、宙に浮く、熱に浮かされる、歯が浮く

うぐいす (鶯)→ウグイス〔動物〕うぐいす張り、うぐいす豆

うけあい (受け合い)→㊫請け合い

うけおい 請負　請負業・師・人、請負工事、土木請負

うけたまわる 承る

うけつけ 受け付け（開始、業務、締め切り、順、状況、条件、増加、中、手続き）、**受付**（人・所・係の場合） 願出受け付け、受付《時間》、受付開始日、受付金融機関、受付増加額 ⇨経済複合語（102ページ）

うけとめる （受け留める）→受け止める

うけとり 受け取り（手続き、方法）、**受取**（領収書） 書類受け取り、受取《金》、受取指定日・期日 ⇨経済複合語（102ページ）

うける ＝受ける（授の対語、負う、ほかから来るものを自分のものにする、相手の望み通りにする）受け入れ態勢、受け売り、受け答え、受け皿、受け太刀、受け継ぐ、受け付ける、受けて立つ、受け取り（に行く）、受け取る、受け流す、受け身、受け持ち、大衆に受ける、身元を引き受ける、**身元引受人** ＝請ける（ひきうける、保証する）請け合う、請け負う、請け書、請け人、請け判、下請け、質請け、茶請け、孫請け、身請け、元請け

うけわたし 受け渡し（期限、条件） 受渡価格、受渡期日

うげん 右舷

うごうのしゅう （烏合の衆）→烏合の衆

うごめく （蠢く、動めく）→うごめく うごめかす

うさぎ （兎）→ウサギ（動物） うさぎ小屋（比喩）、うさぎ跳び

うさばらし 憂さ晴らし

うさんくさい （胡散臭い）→うさんくさい

うし ウシ・牛（動物）

うし （丑）→うし・丑 土用の丑の日

うじ 氏 氏神、氏子

うじ （蛆）→うじ（動物。ハエ・アブの幼虫の俗称） うじ虫

うしお （潮）→うしお

うしどし （丑年）→うし年・丑年

うしなう （喪う）→失う

うしょう （�station匠）→�station匠

うしろ 後ろ 後ろ足・脚、後ろ髪、後ろ暗い、後ろ姿、後ろ

盾、後ろ手、後ろ鉢巻き、後ろ前、後ろ向き、後ろめたい、後ろ指

うす 臼 石臼

うず 渦 渦潮、渦巻き、渦巻く

うすい 薄い 薄明かり、薄商い、薄汚い、薄切り、薄口、薄塩り、薄暗い、薄っぺら、薄手、薄日、薄めに、薄目を開ける、薄物、薄焼き、薄汚れる、薄笑い

うすうす 副(薄々)→うすうす(感じる)

うずく (疼く△)→うずく

うずくまる (蹲る、踞る△)→うずくまる

うずたかい (堆い、うず高い▲)→うずたかい

うずまる (埋まる)→うずまる

うずみ火、うずめる、うずもれる、故郷に骨をうずめる

うずめる 薄める 薄まる

うすら 薄ら〔接頭語〕薄ら明かり、薄ら寒い、薄ら笑い

うずら (鶉△)→ウズラ〔動物〕

うずら豆

うすれる 薄れる 薄らぐ

うせる (失せる)→うせる

うそ (嘘△)→うそ うそ字、うそつき、うそ発見器

うぞうむぞう 有象無象

うそぶく (うそ吹く、嘯く△)→うそぶく

うた

‖歌〔一般用語。歌謡、曲のついた歌詞、和歌〕歌合わせ、歌声、歌心、歌を歌う、子守歌、舟歌、万葉集の歌

‖唄〔限定用語。邦楽、民謡など。動詞には使わない〕小唄、地唄、長唄、端唄、馬子唄

うたい 謡 謡本、地謡〔能・狂言〕、謡

うたう

‖歌う〔一般用語。詩や歌など〕歌い手、悲しみを詩に歌う、惰感を歌い上げる、鳥が歌う、流行歌を歌う

‖謡う〔謡曲など〕謡を謡う、謡曲「○○」を謡う

‖(唄う)→うたう〔小唄など〕小唄・地唄・長唄・端唄をうたう

‖(謳う△)→うたう〔強調する、ほめたたえる〕うたい文句、効能をうたう、神童・天才とうたわれる、○○友好を条文にうた

う

うたかいはじめ 歌会始

うたがう 疑う　疑わしい

うたぐる (疑る)→うたぐる

うたぐり深い

うたげ (宴)→うたげ

うたたね (転寝)→うたた寝

うたよみ (歌読み)→歌詠み

うち

＝内〔外の対語〕内祝い、内々、内海、内借り、内気、内金、内づら、内弟子、内に秘める、内庭、内払い金、内風呂、内堀、内幕、内孫、内回り、内湯、内輪

＝(家、中)→うち〔形式名詞など〕朝のうちに、うちに帰る、うちの社長、知らないうちに、3日のうち1日は

うち…　打ち合い、打ち明け話、打ち合わせ、打ち掛け〔女性の礼服、囲碁用語〕、打ち勝つ、打ち切り、打ち首、打ち消す、打ち出す、(金字塔・新記録を)打ち立てる、打ち付ける、打ち解ける、打ち止め、打ちのめす、打ち負かす、打ち身、打ち水、打ち破る

うちあげ (打ち揚げ)→㊙打ち上げ　打ち上げ花火

うちかけ (裲襠)→打ち掛け〔女性の礼服〕

うちがけ 内掛け〔相撲〕

うちこむ

＝打ち込む〔一般用語〕仕事に打ち込む、球を打ち込む、データを打ち込む

＝(射ち込む)→撃ち込む〔発射〕弾・ミサイルを撃ち込む

うちでのこづち (打ち手の小槌)→打ち出の小づち

うちょうてん (宇頂天、有頂点)→有頂天

うちわ (*団扇)→うちわ

うつ

＝打つ〔一般用語。打ち当てる、たたく〕㊙相打ち、㊙一騎打ち、打ち所が悪い、打って変わって、打って出る、心を打つ、碁を打つ、太刀打ち、注射を打つ、㊙同士打ち、逃げを打つ、抜き打ち(解散)、非の打ちどころがない、不意打ち、焼き打ち

＝討つ〔武器を使って相手をうち果たす〕あだ討ち、討ち入り、

討ち死に、討っ手、返り討ち、敵討ち、だまし討ち、闇討ち、夜討ち朝駆け

〈使い分けに注意〉

▼打ち取る〔野球など〕外野フライに打ち取った

▼討ち取る〔征伐〕敵の大将を討ち取った

＝撃つ〔主に射撃〕(拳銃の)撃ち合い・早撃ち、挟み撃ち、的を撃つ、ミサイルで撃ち落とす、迎え撃つ

☞「ねらいうち」の項

うつ (鬱)→鬱(うつ)　鬱々(うつうつ)、㊐うつ病

うづき (卯月△)→卯月(うづき)

うっけつ (鬱血)→㊐うっ血

うつす・うつる

＝(撮)→写〔写真、文書、絵など。撮影、模写〕生き写し、写し取る、(防犯)カメラ・ビデオに写る、かわいく写る、経典を写す〔写経〕、写真写りが良い、書類を引き写す、答案を写す、丸写し

＝映〔反映、映写、再生〕映画・スライド・ビデオを映す、鏡に顔を映す、壁に影が映る、着物がよく映る、障子に影が映る、世相を映す、テレビに映る、まざまざと映し出される、目に映る風景

うつす・うつる　移す・移る

移り香、移り変わり、移り気、移ろう、時代が移る、首都を移す、住まいを移す

〔注〕「病気をうつす、風邪がうつる」などは平仮名書き。

うっすら　副(薄ら)→うっすら(雪化粧)

うっせき (鬱積)→鬱積(うっせき)

うっそう (鬱蒼△)→うっそう

うっちゃる (打棄る)→うっちゃる

うつつ (現)→うつつ　うつつを抜かす、夢うつつ

うってつけ (打って付け)→うってつけ

うっとうしい (鬱陶しい)→うっとうしい

うつぶせ (俯せ△、うつ伏せ)→うつぶせ

うっぷん (鬱憤)→鬱憤(うっぷん)

うつむく (俯く△、うつ向く)→うつむく

うつろ (空ろ、虚ろ)→うつろ

うで　腕　腕押し、腕飾り、腕利き、腕組み、腕比べ、腕ずく、

腕立て伏せ、腕試し、腕っこき、腕っ節、腕前、腕まくり

うど　(＊独活)→ウド〔植物〕うどの大木

うとい・うとむ　疎い・疎む　疎ましい、疎んじる

うどし　(卯年)→う年・卯年、うさぎ年

うながす　促す

うなぎ　(鰻)→ウナギ〔動物〕ウナギのかば焼き、うなぎ上り(の物価)、うな丼

うなずく　(頷く)→うなずく

うなばら　㊞海原

うなる　(唸る)→うなる

うに　(海胆、＊雲丹)→ウニ〔動物〕、うに〔加工品〕粒うに、練りうに、バフンウニ

うぬぼれ　(自惚れ)→うぬぼれ

うのみ　(鵜呑み)→うのみ

うば　㊞乳母　乳母車

うば　(姥)→うば

うぶ　(初、＊初心)→うぶ

うぶ…　産着、産毛、産声、産湯

うま　ウマ・馬〔動物〕馬跳び、馬の耳に念仏、馬乗り

うま　(午)→うま・午　初午、ひのえうま・丙午

うまい　(上手い、巧い)→うまい

うまい　(美味い、甘い、旨い)→うまい　うま煮

うまどし　(午年)→うま年・午年

うまみ　＝(旨味)→うまみ〔巧みさ、利益〕　うまみのある商売

＝(旨味、＊甘味)→うま味〔味覚〕　うま味調味料、かつおだしのうま味

うまや　(厩)→馬小屋、うまや

うまれる・うむ　＝生〔一般用語。誕生、死の対語、作り出す〕赤ちゃんが生まれる、生まれ変わる、生まれつき(の性格)、生まれ月、生みの苦しみ〔創作〕、傑作を生む、新記録が生まれる、大正生まれの人、利潤を生む　＝産〔主に出産関係〕案ずるより産むがやすし、産み落とす、産み月、産みの苦しみ〔出産〕、産み分ける、子を産む、卵を産む

〔注〕紛らわしい場合は一般用語の「生」を使うか平仮名書きにする。

うみのおや　(産みの親)→生みの親
うめ　ウメ・梅〔植物〕梅漬け、梅干し
うめる・うまる　埋める・埋まる　埋め合わせ、埋め草、埋め立て(工事・事業・地・面積)
うもれる　埋もれる　埋もれ木
うやうやしい　恭しい
うやまう　敬う
うよきょくせつ　(紆余曲折)→曲折、複雑な経過、紆余曲折
うら　裏　裏編み、裏打ち、裏返し、裏方、裏金、裏切り、裏作、裏地、裏付け(捜査)、裏腹、裏目に出る、舞台裏、裏取引
うら…　(心)→うら〔何となくという意味の接頭語〕うら悲しい、うら寂しい、うら若い
うらがき　＝裏書き〔一般用語〕潔白を裏書きする証拠、犯行を裏書きしている
うらがき　＝裏書〔経済用語〕裏書禁止、裏書譲渡、裏書人、小切手・証券・手形の裏書
うらなう　占う　占い師
うらにほん　⊗(裏日本)→日本海側
うらぶれる　(裏ぶれる)→うらぶれる
うらぼん　(盂蘭盆)→盂蘭盆
うらみ　＝(怨み)→恨み〔憎悪、遺恨〕恨みがましい、恨み骨髄に徹する、恨み言、恨みつらみ
＝(憾み)→うらみ〔心残り、不満、欠点〕公平を欠くうらみ、拙速のうらみ
うらむ　(怨む)→恨む　恨めしい
うらやましい　(羨ましい)→うらやましい
うらやむ　(羨む)→うらやむ
うららか　(麗らか)→うららか
うり　(瓜)→ウリ〔植物〕うりざね顔、うり二つ
うり・うれる　売り・売れる　売り惜しみ、売りオペ(レーション)、売り買い、売り株、売り切れ、売り食い、売り気配、売り越す、売り言葉、売り込み、売り材料、売り筋、売り出し(価格・期間)、売り立て

〔入札。売り立て会〕、売り建て〔金融。売り建て玉〕、売り地、売り手〔市場〕、売り伝票、売り場、売り払う、売り戻し、売り物、売り家、売り渡し〔価格・期日〕、売れ足、売れ筋、売れ高、売れっ子、売れ残り、売れ行き、売値

うりあげ 売り上げ〔課税、増、増加、予定〕 売上《高》、売上高純利益率、売上総利益、売上高増加率、売上予定額 ☞経済複合語〔102ページ〕

うりかけ 売り掛け〔増、増加、予定〕 売掛《金》、売掛債権、売掛商品勘定 ☞経済複合語〔102ページ〕

うりこし 売り越し〔基調、姿勢〕 売越《額》、売越幅 ☞経済複合語〔102ページ〕

うりうどし (閏年△)→うるう年

うるおう 潤う 潤す

うるさがた (うるさ方▲)→うるさ型

うるし ウルシ・漆〔植物〕 漆塗り

うるむ 潤む

うるわしい 麗しい

うれい・うれえる ＝愁〔悲しみ〕 愁い(え)顔、愁いを嘆く、愁いに沈む、春の愁い、身の上を愁える、友人の死を愁える ＝憂〔心配〕 憂い(え)顔、憂いを残す、後顧の憂い、災害を招く憂い、備えあれば憂いなし、病気再発を憂える

うれしい (嬉△しい)→うれしい

うれる 熟れる

うろこ (鱗△)→うろこ雲、目からうろこが落ちる

うわ‥ 上書き、上着、上滑り、上澄み、上背、上(っ)調子、上積み、上(っ)面、上手、上塗り、上の空、上履き、上(っ)張り、上目遣い、上役

うわき ㊍浮気

うわぐすり (釉△、釉薬△)→うわぐすり・上薬

うわごと (譫△言、囈△言)→うわ言

うわさ (噂△)→うわさ

うわずる (上擦る)→上ずる

うわぢょうし 上調子〔邦楽用語〕

うわつく ㊍浮つく

うわべ　(上辺)→うわべ　うわべだけ、うわべを繕う

うわや　(上家)→㊒上屋

うんこう
＝運行　バス・電車の運行、天体の運行

＝運航　船・航空機の運航

うんちく　(蘊蓄)→学識、深い知識、うんちく(を傾ける)

うんぬん　(云々)→うんぬん、等々、など

うんも　㊓雲母〔「うんぼ」とも〕

【え】

え　(画)→絵　絵心、絵空事、絵解き、絵に描いた餅、絵はがき、絵巻、絵巻物

え　餌　餌付け、まき餌

えいき
＝英気〔すぐれた才気・気性、元気〕英気を養う

＝鋭気〔鋭く強い気力・気性〕鋭気に満ちた

えいこう　(曳航)→㊒えい航

えいごう　(永劫)→永久、永遠　未来永劫

えいこうだん　(曳光弾)→えい光弾

えいし　衛視〔国会〕

えいじ　(嬰児)→赤ん坊、乳飲み子、乳児

えいせん　(曳船)→引き船

えいぞう
＝映像〔物の表面に映る形、イメージ〕鮮明な映像、テレビの映像、母の映像

＝影像〔絵・彫刻などに表した神仏・人の姿〕影像を拝む、○○神の影像

えいち　(叡智)→英知

えいねん　永年　永年勤続、永年在職、永年表彰　〔注〕「ながねん」と読む場合は原則「長年」と書く。

えいよう　(営養)→栄養

えがお　㊓笑顔

えかき　(画描き)→絵描き　お絵描き

えがく　(画く)→描く

えこう　回向

えこじ　(依怙地)→えこじ、意固地＝いこじ

えこひいき　(依怙贔屓)→えこひいき

えさ　餌

えし　(壊死)→壊死

えしん 回心 ☞「かいしん」の項

えじき 餌食

えしゃく 会釈

えだ 枝 枝下ろし、枝組み、枝ぶり、枝分かれ

えたい (得体)→えたい、正体

えっけん (謁見)→お会いする、お目にかかる、謁見(えっけん)

えつにいる 悦に入る

えて 得手〔得意とするもの〕

えてして (副)得てして

えと (*干支)→えと・干支(えと)

〔注〕本来は十干と十二支の組み合わせだが、「えと」の響みで十二支の意味で使ってもよい。☞日時の書き方(531ページ)

えとく 会得

…(を)えない …(を)得ない

せざるを得ない、認めざるを得ない、やむを得ない

えのぐ (絵具)→絵の具

えび (*海老、蝦)→エビ〔動物〕

えび反り、エビでタイを釣る、干しエビ

えびす (恵比須、恵比寿、恵美須、夷、戎、蛭子)→えびす

えびす顔、えびす講

〔注〕固有名詞はそれぞれの表記で書く。

えびちゃ (葡萄茶、海老茶)→えび茶

えほう (吉方)→恵方(参り)

えぼし (烏帽子)→烏帽子(えぼし)

えむ 笑む 笑顔、ほくそ笑む、ほほ笑み

えもの

＝得物〔武器、道具など〕得物を取って戦う、棒を得物にする

＝獲物〔狩猟・漁などでとる(とった)もの〕獲物を狙う、狩りの獲物

えもん (紋)衣紋(掛け)

えら (鰓、腮)→えら

えらい 偉い 偉い人、偉ぶる

〔注〕「えらいことだ、えらい目に遭った、えらく疲れた」などは平仮名書き。

えらぶ (択ぶ、撰ぶ)→選ぶ

えり (衿)→襟 襟足、襟首、襟巻き、襟元、襟を正す、詰め襟

えり… (選り)→えり えり好み、えりすぐり、えり抜き、えり分ける

える

＝得る〔入手〕許可を得る、勝利を得る、地位を得る

＝獲る〔捕獲〕戦利品を獲る

える・うる 得る〔…ができる、…かもしれないの意を表すとき。文語的な表現のときは「うる」と読む〕あり得る、得るところ、書き得る、考え得る、…し得る、でき得る、でき得れば、…を得る〔文語的な場合〕

えん 円 円建て〔決済・債〕

えん 縁 縁側、縁切り〔寺〕、縁談、縁づく、縁結び

えんえき 〔演繹〕→演繹

えんえん 〔蜿蜒〕→延々 会議が延々と続く

えんか ＝円価〔円の価値〕円価の変動

＝円貨〔通貨の種類〕円貨と交換

えんか 〔艶歌〕→演歌

えんか・えんげ 〔嚥下〕→のみ込む、のみ下す 嚥下障害

えんぎ 〔縁喜〕→縁起

えんきょく 〔婉曲〕→遠回し、穏やかに、それとなく、やんわり

えんぐみ 縁組 養子縁組

えんご 〔掩護〕→援護

えんこん 〔怨恨〕→恨み、怨恨

えんざい 〔冤罪〕→無実の罪、ぬれぎぬ、冤罪

えんじ 〔臙脂〕→えんじ えんじ色

えんすい 〔円錐〕→円すい

えんせい 〔厭世〕→世をはかなむ、厭世

えんせん 〔厭戦〕→厭戦

えんてい 〔堰堤〕→ダム、堤防、せき

えんぴふく 〔燕尾服〕→えんび服

えんぶ ＝演武〔武芸の練習・公演〕模範演武

＝演舞〔舞の練習・公演〕演舞場

＝円舞〔輪になって踊るダンス〕円舞曲

えんぶん 艶聞 〔注〕なるべく「浮名、浮いたうわさ」などとする。

えんま 〔閻魔〕→えんま えんま顔、えんま帳、閻魔大王

えんゆうかい 〔宴遊会〕→園遊会

【お】

お 〔御〕→お〔接頭語〕お預け、お家芸、お神楽、お志、お座

敗、お絞り、お歳暮、お世辞、お中元、お点前、お手盛り

お ＝尾　尾ひれが付く、尾を引く

＝緒　げたの緒、へその緒

おい（甥）△→おい

おい…　追い掛ける、追い落とし、追い返す、追い越し（禁止）、追い込み、追いだき、追い出す、追い付く、追い払う、追い回す

おいうち（追い討ち、追い撃ち）→㊥追い打ち

おいおい　㊐（追い追い）→おいおい

おいさき　＝生い先〔成長の前途〕生い先が楽しみ

＝老い先〔余命〕老い先短い

おいしい（美味しい）→おいしい

おいて（於いて）△→おいて

おう　生う　生い茂る、生い立ち

おう　負う　負い目、気負い、名にし負う

おう…　凹地、凹凸、凹版、凹面（鏡）、凹レンズ

おういつ（横溢）△→あふれる、いっぱい、みなぎる、盛ん

おうおうにして　㊐往々にして

おうか（謳歌）△→たたえる、満喫、謳歌

おうぎ（奥儀）→奥義〔「おくぎ」とも〕

おうし（牡牛）△→雄牛　おうし座

おうじ　＝往時〔昔〕往時の勢いはない、往時をしのぶ

＝往事〔過去の出来事〕往事夢のごとし、往事を述懐する

おうせい　旺盛

おうせい　＝王制〔王が統治する政治制度、王の定めた制度〕王制廃止、王制反対

＝王政〔王が行う政治〕王政復古、絶対王政

おうだ　殴打

おうたい（応待）→㊥応対

おうちゃく　横着

おうと（嘔吐）△→吐く、もどす、嘔吐

おうとつ　凹凸

おうなつ（押捺）△→押印、印を押す　指紋押なつ

おうのう（懊悩）△→悩み、もだ

え、苦悩

おうへい 横柄

おうむ (鸚鵡△△)→オウム〔動物〕

おうむ返し、**オウム病**

おうよう (鷹揚△)→おうよう、ゆったり、おっとり

〔注〕意味、用法は「おおよう」とほぼ同じ。

おえつ (嗚咽△・)→おえつ(を漏らす)、むせび泣き

おお… 大入り(袋)、大仕掛け、大づかみ、大詰め、大っぴら、大引け、大まか、**大捕物**、**大目付**

おおい 多い

おおいに (副)大いに

おおう (被う)→覆う 覆い、覆い隠す、日覆い

おおかた ＝大方〔名詞〕大方の人は賛成している ＝おおかた〔副詞〕おおかたそうだろうと思った、仕事はおおかた片付いた

おおかみ (狼△)→オオカミ〔動物〕ニホンオオカミ、一匹おおかみ、おおかみ少年

おおきい 大きい 大きめ

おおげさ (大袈裟△△)→大げさ

おおごと (＊大事)→大ごと

おおざっぱ (大雑把)→大ざっぱ

おおさんしょううお (大山椒△魚)→オオサンショウウオ〔動物〕

おおしい (男々しい・・)→雄々しい

おおせ 仰せ 仰せ付ける、仰せの通り

おおぜい (＊多勢)→大勢〔小勢＝こぜい＝の対語〕「たぜい」の項

おおだてもの (大立物△)→大立者

おおにんず・おおにんずう 大人数〔小人数の対語、多人数と同義〕

おおばんぶるまい (椀△飯振る舞い、大番振る舞い)→大盤振る舞い

おおぶり ＝大振り〔大きく振る〕大振りする打者

＝大ぶり〔大きめ〕大ぶりの器

おおみそか (大晦日△)→大みそか

おおむね 副（大旨、概ね）→おおむね

おおめ（多目）→多め〔多量〕

おおめ（大眼）→大目（に見る）

おおもと（大元）→大本　国の大本、大本を正す

おおやけ 公

おおよう（大様）→おおよう

参「おうよう」の項

おおよそ・およそ（大凡、凡そ）→おおよそ・副およそ

おおらか（大らか、多らか）→おおらか

おおわらわ（大童）→大わらわ

おか

＝丘〔一般用語。小高い土地〕丘を越えて

＝岡〔熟語など限定的に〕岡っ引き、岡目八目〔本来の表記は傍目八目〕、岡持ち

＝（陸）→おか〔陸地〕おか釣り

おかげ（お陰、お蔭△）→おかげおかげさま、おかげで

おかしい（可笑しい）→おかしい

おかしらつき（お頭▲付き、御▲頭付き）→尾頭付き

おかす

＝犯す〔罪・過ちなどを〕犯した罪の償い、校則を犯す、法を犯す

＝侵す〔侵害〕学問の自由が侵される、権利を侵す、国境・聖域・領土を侵す、主権を侵す、病魔に侵される、プライバシーを侵す

＝冒す〔あえてする、けがす〕面＝おもて＝を冒していさめる、危険・リスクを冒す、尊厳を冒す

おかぼ（＊陸稲）→おかぼ

おかみ（＊女将、＊内儀）→おかみ

おがむ 拝む　拝み倒す

おかやき（傍焼き）→岡焼き

おから（＊雪花菜）→おから

おかん 悪寒

おき‥ 置き石、置き時計、置き場、置き土産、置き屋、置き忘れ、置引〔盗み〕、置物

おきあい 沖合　沖合漁業

おきて（掟△）→おきて

おきな（翁）→おきな

おぎなう 補う

おきなかし ⊗（沖仲仕）→港湾労働者

おきる　起きる　起き上がる

おく
＝置く〔据える、間に挟む〕置いてき(け)ぼり、重きを置く、肩に手を置く、下宿人を置く、店員を置く、冷却期間を置く、1日置いて、3日置きに
＝おく〔補助用言〕預かっておく、言わせておく、書いておく、…しておく、調べておく

〈使い分けに注意〉

▼**並べて置く**〔置くに重点〕

▼**並べておく**〔並べるに重点〕

おく　(措く、擱く)→おく　彼をおいて適任者はいない、筆をおく〔書くのをやめる〕

おく…　奥底、奥の手、奥深い、奥まる、奥行き、**奥書**、**奥付**

おくぎ　(奥儀)→奥義〔「おうぎ」とも〕

おくする　臆する
〔注〕なるべく「気後れする」などとする。

おくせつ　(憶説)→臆説

おくそく　(憶測)→臆測

おくて　(＊晩生、＊晩稲、＊晩熟)→おくて〔農作物〕

おくて　奥手　恋に奥手な女性

おくびょう　臆病

おくめんもない　臆面もない
〔注〕なるべく「厚かましい、恥ずかしげもない」などとする。

おくやみ　お悔やみ

おくゆかしい　(奥床しい)→奥ゆかしい

おくらいり　(お倉入り)→お蔵入り

おくりな　(諡)→贈り名、追号

おくる
＝送る〔迎の対語、送達、送別、届ける、過ごす〕エール・声援・拍手を送る、送り仮名、送り状、送り出し、送り火、送り迎え、仮名を送る、義援金・見舞金を送る〔手渡す場合は「贈る」〕、祝電を送る、順送り、敵に塩を送る、野辺送り、日を送る、見送る
＝贈る〔贈与〕贈り物、感謝状を贈る、勲位・称号を贈る、祝辞を贈る

〈使い分けに注意〉

▼**送る言葉**〔送辞〕卒業生を送る言葉

▼**贈る言葉**〔賀辞、祝辞〕受賞者に贈る言葉、花嫁の父が娘に贈る言葉

おくれる
＝遅れる〔一般用語。進み方が遅い、主に時間関係〕一歩遅れる、遅れ咲き、遅ればせ、遅れを取り戻す、会合に遅れる、開発の遅れた国、完成が遅れる、時代に遅れる、出世が遅れる、スタートで遅れる、立ち遅れ、月遅れ、手当てが遅れる、手遅れ、時計が遅れる、流行遅れ、列車が遅れる
＝後れる〔限定用語。先の対語〕後れ毛、後れを取る、気後れする、死に後れる

おけ　(桶)△→おけ

おけら　(螻蛄、螻蛄)△△→オケラ〔動物。昆虫ケラの俗称〕おけらになる

おこす・おこる
＝起〔生じる、掘る、立つ、始める〕会社・事業を起こす、災害を引き起こす、事件が起こる、訴訟を起こす、田を起こす、伝票を起こす、寝た子を起こす、物事の起こり
＝興〔盛んにする〕家を興す、国が興る、産業を興す
〔注〕「町おこし、村おこし」は平仮名書き。

おこす・おこる　(熾)△→おこす・おこる　炭火をおこす

おごそか　厳か

おこたる　怠る　怠りなく準備

おこなう　行う　行い

おこる　怒る　怒りっぽい

おこる　(瞋る)△→おこる　口がおこっている、すしをおこる

おごる　(驕る、傲る)△→おごる、おごり高ぶる、思い上がる

おさ　(長)→おさ　集落のおさ

おさえる
＝押さえる〔主に物理的におさえる、手などで覆う〕暴れる人を押さえ込む、傷口を押さえる、首根っこを押さえ付ける、目頭を押さえる
〔確保する〕拠点を押さえる、現場を押さえる、差し押さえ、証拠を押さえる、選挙区を押さえる、担保を押さえる
〔つかむ〕勘所を押さえる、要点を押さえる
＝抑える〔抑圧、弾圧〕抑え込み
一本〔柔道〕、反政府デモを抑え込む、不平不満を抑え付ける

〔抑制、くいとめる〕相手打線を1点に抑え込む、怒りを抑える、インフレを抑える、抑えが利かない、抑えの投手、経費を抑える、新人を抑えて当選、涙を抑えて、発症を抑える、反撃を抑える、病気の流行を抑える、欲望を抑える

おさない 幼い 幼子、幼なじみ

おざなり (御座成り、御座形) ↓おざなり〔その場しのぎでやる〕おざなりな仕事・答弁

〔注〕すべきことをせず、放置する意味の「なおざり」との違いに注意。

おさまる・おさめる

＝収〔収容、収拾、取り込む、元通りの安定した状態にする〕争いが収まる、怒りを収める、インフレが収まる、収まりがつかない、風が収まる、興奮が収まる、混乱が収まる、手中に収める、勝利を収める、成果を収める、博物館に収まる、不平が収まらない、矛を収める、丸く収まる、目録に収める、元のさやに収まる、利益を収める

＝納〔納付、納入、しまい込む、おしまいにする〕歌い納める、納まり返る、納まり所のない怒り、納め物、聞き納め、国庫に納める、仕事納め、社長の椅子に納まる、税金を納める、得意先に品物を納める、年貢の納め時、ひつぎに納める、舞い納め、見納め、胸に納める

〈使い分けに注意〉

▼写真・ビデオに収める〔撮る〕

▼写真・ビデオに納まる〔撮られる〕

＝治〔乱の対語、鎮まる、苦痛が去る〕痛みが治まる、気が治まる、国が治まる、腹の虫が治まらない、暴動を治める、水を治める

＝修〔身に付ける、正しくする〕学業を修める、素行が修まらない、身を修める

〔注〕使い分けに迷う場合は平仮名書き。

おし ⊗(唖)△↓口の利けない人、言葉が不自由な人・状態

おじ ㊊伯父〔父・母の兄〕、㊋叔父〔父・母の弟〕

おじ　(小父)→おじ(さん)

おしい　惜しい　惜しがる

おじいさん　(お祖父さん、お爺さん)→おじいさん

おしえる・おそわる　教える・教わる

おじぎ　(御辞儀、御時宜)→お辞儀・おじぎ

おしきせ　(押し着せ)→お仕着せ

おしげ　(惜し気)→惜しげ(もなく)

おじけ　(怖じ気)→おじけ　おじけ立つ、おじけづく

おしどり　(鴛鴦)→オシドリ(動物)　おしどり夫婦

おしなべて　㊞(押し並べて)→おしなべて

おしべ　(雄蕊)→㊞おしべ・雄しべ

おしむ　惜しむ　惜しみなく、惜しむらくは

おしょう　和尚〔宗派によっては「かしょう、わじょう」とも読む〕＝和尚・和上

おしろい　(*白粉)→おしろい

おしんこ　(お新香)→おしんこ

おす　＝押す〔引の対語、力を加える〕　後押しをする、押し合いへし合い、押し入れ、押し掛ける、押し込み強盗、押し殺した声、押し付ける、押し詰まる、押し通す、押し葉・花、押し目買い、押しも押されもせぬ、押し問答、押しやる、押し寄せる、判を押す、人を押しのける、病気を押して出席、ベルを押す、横車を押す、列を押し進める

おす　(牡)→雄、㊞牡〔競馬〕

おせち　(御節)→お節・おせち(料理)

おせっかい　(御節介)→おせっかい

おぜんだて　(御膳立て)→お膳立て

おそい　遅い　遅生まれ、遅かれ早かれ、遅咲き

おそう　襲う　襲い掛かる

おそまき　(遅蒔き、遅巻き)→遅まき　遅まきながら

おそらく　㊞恐らく・おそらく＝推す〔推進、推測、推薦〕A案を推す、推して知るべし、推し昼る、議長に推す、事業を推し進める

おそるおそる ㊞恐る恐る

おそれ ＝(怖れ、惧れ、虞)△→恐れ〔一般用語〕恐れをなす、絶滅の恐れ

＝畏れ〔かしこまる、畏敬〕神の威光に畏れを抱く

おそれる ＝(怖れる、惧れる)→恐れる〔一般用語〕恐れ入る、恐れ多い、恐れながら、失敗を恐れるな、死を恐れる

＝畏れる〔特別用語。かしこまる、畏敬〕畏れ敬う、神を畏れる

〔注〕特に畏敬の念を示す際は「畏れ入る、畏れ多い」を使う。

おそろしい (怖ろしい)→恐ろしい

おたけび (雄叫び)→雄たけび

おたまじゃくし (蝌蚪△、お玉杓△子)→オタマジャクシ〔動物〕、おたまじゃくし〔ひしゃく、音符の俗称〕

おためごかし (御為ごかし)→おためごかし

おだやか 穏やか

おち： 落ち合う、落ち着く、落ち度、落ち延びる、落ち葉、落ち穂拾い、落ち武者、落ち目

おちいる (落ち入る)→陥る

おちうど・おちゅうど ㊞落人

おちおち ㊞(落ち落ち)→おちおち

おちる (墜ちる、堕ちる)→落ちる 巨星落つ

おつ 乙 乙な味、乙に澄ます

おっくう (億劫△)→おっくう、面倒

おっつけ ㊞追っ付け(来るはず)

おっつけ (押っ付け)→おっつけ〔相撲〕

おって 追っ手(が迫る)

おって ㊞追って(連絡する)

おっとりがたな 押っ取り刀

〔注〕急いで駆け付けるさまのこと。のんびりの意味で使うのは誤り。

おでき (お出来)→おでき

おてまえ (御手前、御点前)→㊞お点前〔茶の湯の作法・様式〕結構なお点前

おてもり (御手盛り)→お手盛り

おてんば (御転婆)→おてんば

おどかす (威かす、嚇かす)→脅かす

おとこぎ (男気、侠気△)→おと

こ気

おとこだて　(男伊達△)→男だて

おとさた　音沙汰

おとしあな　(陥し穴)→落とし穴

おとしいれる　(落とし入れる)→陥れる

おとしめる　(貶める△)→おとしめる

おとす　落とす　落とし主、落とし話、落とし物

おととい　(*一昨日)→おととい

おととし　(*一昨年)→おととし

おとな　㊞大人　大人並み、大人びる、大人ぶる

おとなげない　(大人気ない)→大人げない

おとなしい　(温和しい、大人しい)→おとなしい

おとひめ　㊞乙姫

おとめ　㊞乙女

おとも　(お伴)→お供(する)

おどり・おどる　‖踊〔舞踊、揺れ動く〕踊り子、踊り字、踊りの輪、踊り場、バブルに踊る、人に踊らされる、笛吹けども踊らず、盆踊り〔注〕「束をどり、都をどり、組踊」など固有名詞に注意。‖躍〔跳躍、躍動〕躍り上がって喜ぶ、躍り食い、躍り出る、小躍りする、心・胸が躍る、魚が躍る、見出しが躍る

おとろえる　衰える

おどろく　驚く　驚かす、驚き

おないどし　同い年

おなか　(お腹)→おなか

おの　(斧△)→おの

おのおの　(各、各々)→おのおの

おのずから　㊎(自ずから)→おのずから ↪「みずから」の項

おば　㊞伯母〔父・母の姉〕、㊞叔母〔父・母の妹〕

おば　(小母)→おば(さん)

おばあさん　(お祖母さん、お婆さん)→おばあさん

おばけ　お化け

おはこ　(*十八番)→おはこ

おはなし　‖お話〔名詞〕お話をする ‖お話し〔動詞〕お話しする〔謙譲表現〕、お話しになる〔尊敬表現〕↪「はなし」の項

おはよう　(お早う)→おはよう〔あいさつ〕

おび 帯　帯揚げ、帯留め
おびえる (脅える、怯える)→おびえる
おびきだす (誘き出す)→おびき出す
おひざもと (お膝下)→お膝元
おひたし (お浸し)→おひたし
おひとよし (お人好し、お人良し、お人善し)→お人よし
おびな (男雛)→㊐男びな
おびやかす 脅かす
おびる 帯びる
おひろめ お披露目
おふくろ (お袋)→おふくろ〔母〕
おふせ (御布施)→お布施
おぼえがき 覚書
おぼえる (憶える)→覚える　覚えが早い、覚えがめでたい、覚え込む、覚え帳
おぼしめし (思し召し)→おぼしめし
おぼつかない (覚束ない)→おぼつかない　〔注〕「おぼつかない」は1語の形容詞。「おぼつかず、おぼつくまい」などは誤り。
おぼれる 溺れる
おまえ (御前)→おまえ〔代名詞〕
おまもり お守り　お守り袋
おまわりさん ㊐お巡りさん
おみき ㊐お神酒
おみくじ (御神籤、御御籤)→おみくじ
おみずとり お水取り〔行事〕
おめい 汚名　汚名返上、汚名をそそぐ〔「汚名をすすぐ」とも〕
おめつけ お目付け(役)
おめみえ (御目見得)→お目見え
おも 主　主立った、主な、㊎主に
おも 面　面ざし、面立ち、面長、面持ち、面やつれ
おもい 重い　重々しい、重きを置く、重苦しい、重さ、重たい、重んじる
おもい… 思い上がり、思い当たる、思い思い、思いがけない、思い切り、思い過ごし、思い立つ、思い付き、思い出、思いとどまる、思いなしか、思いやり
おもう (想う、憶う)→思う　思うつぼ、君を思う
おもうぞんぶん ㊎思う存分
おもかげ (俤、思影)→面影

おもかじ（面舵、主舵）↓面かじ

おもし（重石）↓重し〔重さを増すために加えるのは重り〕

誤りやすい語句（481ページ）

おもしろい 面白い 面白がる、面白ずくめ、面白み

おもちゃ（＊玩具）↓おもちゃ

おもて

＝表〔裏の対語、表面、公のもの・場所〕裏表がない、江戸表、表芸、表沙汰、表通り、表に出る、表向き、畳表

＝面〔顔、正面〕面も上げず、面を伏せる、矢面に立つ

おもねる（阿る）↓おもねる

おもはゆい（面映ゆい）↓面はゆい

おもみ（重味）↓重み

おもむく（趣く）↓赴く

おもむろに 副（徐に）↓おもむろに

おもや（母屋）↓対 母屋

おもり お守り

おもり（錘）↓重り 釣り・てんびんの重り

おもわく 思惑 思惑買い

おもんばかる（慮る）↓おもんばかる〔「おもんばかる」とも〕

おや 親 親御さん

おやじ（＊親父、親爺、親仁）↓おやじ

おやつ（＊お三時、お八つ）↓おやつ

おやま 俗女形（「おんながた」とも）立女形

おやもと（親許）↓親元

およそ 副（凡そ）↓およそ

および（及び）↓および〔接続詞〕AおよびB

およぶ・およぼす 及ぶ・及ぼす〔動詞〕影響を及ぼす、及ばずながら、及び腰、力及ばず、被害が及ぶ

おり（檻）↓おり

おり

＝折〔時期、機会、場合〕折々は、折から、折に触れ、折も折、折よく、折を見て、…する折、その折に、時折

＝折り〔動作性の用法、接尾語〕折り合い、折り入って、折り襟、折り返し（点・運転）、折り重なる、折り方、折りかばん、折り紙、折り畳み（式）、折り詰め（弁当）、折り鶴、折

り箱、折り曲げる、折り目、菓子折り、三つ折り、指折り

おり… 織り上げる、織り糸、織り方、織り機、織り地、織り布、織り姫、織り交ぜる、織り目、織り模様、織元、織物

…おり

＝**織り**〔一般用語〕透かし織り、手織り、平織り、紋織り、羽織

＝**織**〔地名などを冠した工芸品〕唐織、西陣織、博多織

おりあしく 圏(折悪しく)→折あしく

おりこむ

＝**折り込む**〔折って入れる〕折り込み広告、チラシ・ちらしを折り込む

＝**織り込む**〔盛り込む〕織り込み済み、計画に織り込む

おりる

＝**下りる**〔上の対語、上から下へ〕馬から下りる〔下馬〕、階段を下りる、肩の荷が下りる、木から下りる、坂を下りる、遮断機が下りる、タラップを下りる、土俵を下りる、船から下りる〔下船〕、幕が下りる、胸のつかえが下りる、屋根から下りる、山から下りる〔下山〕、リフトで下りる

〔許可や命令が下される〕許可が下りる、年金が下りる

＝**降りる**〔乗り物から出る〕○○駅で降りる、車・電車・飛行機・リフトから降りる、月面に降りる、高速道路から降りる

〔地位・役目から退く〕主役を降りる、総裁候補から降りる、マウンドから降りる

〔高い所から低い所へ〕エレベーターで降りる〔昇るの対語〕、降り技〔体操〕、滑り降りる、塹を降りる〔降壇〕、飛び降り自殺、舞い降りる

〔降ってきたように発生〕霜が降りる、夜のとばりが降りる

〔注〕「駆け降りる、飛び降りる」など複合動詞は「降」を使う。

おる・おれる 折る・折れる

折れ合う、折れ目

おれ 俺

おろか 愚か 愚か者

おろし (風△)→おろし 赤城おろし、六甲おろし

おろし 卸（衣料品の）卸、卸会社、卸価格、卸商、卸問屋、卸値、卸元、元卸

おろしうり 卸売り（実績、条件、方法）卸売《業》、卸売市場、卸売物価、卸売平均価格 ☞経済 複合語（102ページ）

おろしがね （下ろし金、卸し金）→おろし金

おろす ＝下ろす〔上の対語、上から下へ〕網棚から荷物を下ろす〔単純な上げ下げ〕、いかりを下ろす、階段から引きずり下ろす、肩の荷を下ろす、腰を下ろす、遮断機を下ろす、手を下ろす、パンタグラフを下ろす、雪下ろし〔引き出す〕預金を下ろす〔切り落とす〕枝を下ろす、髪を下ろす〔出家〕〔しめる〕看板を下ろす、シャッター・ブラインド・よろい戸を下ろす、錠を下ろす、幕を下ろす〔新しくする〕下ろしたての服、書き下ろし小説

＝降ろす〔乗り物から出す〕貨物の積み降ろし、乗客を降ろす、荷降ろし〔地位・役目から退く〕マウンドから降ろされる、役職から降ろす・引きずり降ろす〔降下〕国旗を降ろす〔注〕「荷降ろし」は「荷下ろし」とも。

＝卸す〔主に商業用語〕小売店に卸す、棚卸し

＝（下ろす、卸す）→おろす〔切り分ける、すりつぶす〕魚を三枚におろす、大根おろし

おろそか （疎か）→おろそか

おろりね 終値

おわる 終わる 終える

おわん （お椀、お碗）→おわん

おん 御 御大、御中、御の字、御身、御礼

おんぎ （恩誼）→恩義

おんけん （温健）→穏健

おんこう （温好）→温厚

おんじょう

＝温情〔思いやりのある優しい心〕温情主義、温情に満ちた人、温情判決

＝恩情〔目下の者への慈しみの心〕恩情ある計らい、師の恩情に報いる

おんぞうし（御曹子）→㊎御曹司

おんちょう（恩寵）→恵み、恩顧、恩恵、天恵

おんど　音頭　音頭取り、東京音頭

おんとう（隠当）→穏当

おんどり（雄鳥、＊雄鶏）→おんどり

おんながた（女方）→女形〔「おやま」とも〕

おんねん　怨念

おんぷ
＝音符〔音楽記号など〕四分音符、全音符、濁音符
＝音譜〔楽譜〕音譜が読めない

おんみつ（穏密）→㊎隠密

おんみょうじ（陰陽師）→陰陽

おんみょうどう（陰陽道）→陰陽道

おんりょう　怨霊

おんわ（穏和）→温和

【か】

か
＝荷　荷重、在荷、㊎集荷、出荷、入荷、負荷
＝貨　財貨、雑貨、滞貨

か
＝科〔区分、種類など〕勘定科目、教科、小児科、選択科目、必修教科の科目
＝課〔割り当て、事務機構の単位など〕課税、課題、教育課程、人事考課、全日制の課程

か（個）→箇　箇所、箇条

か　カ〔数字に付く場合。カは大文字、ケは使わない〕2カ月、10カ所、数カ所
〔注〕「三が日、百か日」は平仮名書き。

か　カ・蚊〔動物〕蚊取り線香、やぶ蚊、ヒトスジシマカ

が（蛾）→ガ〔動物〕誘蛾灯

かあさん　㊐母さん

かい　貝　貝殻、貝細工、サクラガイ・桜貝

かい（甲斐）→かい　生きがい、かいがない、かい性、ふがいない

かい…　買い上げ（価格）、買い一服、買い入れ（値）、買い受け（人）、買い置き、買いオペ（レーション）、買い替え、買いかぶる、買い気、

買い切り(制)、買い食い、買い越す、買い言葉、買い込む、買い支え、買い占め、買い出し、買い注文、買い付け(制度・益)、買い手(市場)、買い取り(価格)、買い主、買い控え、買い戻し、買い物、買い呼び値、買値

がい
＝慨　慨嘆、感慨、憤慨
＝概　一概、概括、概況、概算、概数、概説、概念、概評、概要、概略、概論、気概、大概

がいか　(凱歌△)→勝ちどき、凱歌(がいか)

がいかく　(外廓△)→外郭(団体)

かいかけ　買い掛け(条件、方法)　買掛《金》、買掛債務　(経済複合語(102ページ))

かいかつ　(快闊△)→快活

がいかん
＝外観　(見た目)外観は立派
＝概観　(だいたいの様子)世界経済の動向を概観する

かいきえん
＝怪気炎　(威勢がよすぎて真実味が疑われるような話しぶり、本来の用法)
＝快気炎　(囲いていて気持ちがいいほどの元気な発言)

かいきしょく　(皆既蝕△)→皆既食

かいぎゃく　(諧謔△)→滑稽・こっけい、(気の利いた)冗談、ユーモア

かいきょう　⊗(回教)→イスラム教

かいけつ　(快傑)→怪傑

(注)「快傑ゾロ」など固有名詞は名称通り昔く。

かいげん　開眼　大仏開眼法要
(注)「打撃に開眼」などは「かいがん」と読む。

かいこ　カイコ・蚕(動物)

かいこ
＝回顧　(過去を顧みる)回顧録
＝懐古　(昔を懐かしむ)懐古趣味、懐古の情

かいご　(改悟)→悔悟

かいこう　(邂逅△)→巡り合い、思いがけず出会う

かいこく　(誡告)→戒告

かいこし　買い越し(基調、姿勢)　買越《額》　(経済複合語(102ページ))

がいこつ　骸骨

かいさい　(快哉△)→快哉(かいさい)

かいさく（開鑿）→開削
かいざん（改竄）→変造、改変、改ざん
がいし（碍子）→がいし
がいして 副概して
かいしゃこうせいほう（会社更正法）→会社更生法
かいじゅう（晦渋）→難解
かいしゅん（改悛）→改心、悔悟、改悛（かいしゅん）　改悛（かいしゅん）の情
〔注〕刑法では「改悛の状」だが、記事では「改悛（かいしゅん）の情」を使う。
かいしゅん 買春 児童買春・ポルノ禁止法
かいしょ 楷書
かいじょう 解錠〔法律用語には開錠もある〕
かいしょく（海蝕）→海食（作用）

かいしん
＝改心〔一般用語〕非行少年を改心させる
＝回心〔キリスト教で神の道へ心を向ける〕
〔注〕仏教で仏の正道に帰依するのは「回心＝えしん」。
＝戒心〔用心〕戒心を怠らない
かいしん（快心）→会心（の笑み・作）
かいじん（灰燼）→全焼、灰になる、灰じん（に帰する）
かいする
＝会する〔集まる〕一堂に会する
＝解する〔理解する〕真意・人情・風流を解する
＝介する〔差し挟む、心にかける〕意に介する、人を介する
かいせい（海棲）→海生　海生動物

かいせき
＝会席〔寄り合いの席〕会席膳、会席料理
＝懐石〔茶の湯の料理〕懐石料理、茶懐石
がいせん（凱旋）→凱旋（がいせん）　凱旋（がいせん）公演、凱旋（がいせん）門
がいぜんせい（蓋然性）→確度、確かさ、蓋然（がいぜん）性
かいそう
＝海藻〔海の藻類の総称。コンブ、ノリ、ヒジキ、ワカメなど〕
＝海草〔花の咲く海中の植物。アマモ、イトモ、スガモなど〕
〔注〕一般的には「海藻」を使う。
かいぞえ 介添え（役）　**介添人**
かいだめ（買い溜め）→買いだめ

がいため ㊟外為〔外国為替の略〕

かいちゅう（蛔△虫）→回虫

かいちょう 開帳　賭博開帳の疑い、秘仏の開帳

〔注〕刑法では「賭博場開張」だが、記事では「賭博開帳」を使う。

かいてい

＝改定〔一般用語。一度決めたものを定め直す〕運賃の改定、学習指導要領の改定、給与改定、賠償料の改定

＝改訂〔書籍・文書の内容の一部を直す〕改訂版、字句の改訂、辞書の一部を改訂する

かいとう

＝回答〔質問・照会に対する返事〕質問に回答する、身の上相談への回答、世論調査の回答率

＝解答〔問題・疑問を解いて答える〕クイズの解答、試験問題の解答集、土地問題に対する一つの解答

かいどう

＝街道〔町と町を結ぶ主要道路〕奥州・日光・甲州・中国・西国街道、街道筋

＝海道〔海岸沿いの主要道路。特に東海道の略〕〔東海道の〕海道一の親分、海道下り、しまなみ海道

かいどう

＝会同〔法曹界用語。集まって相談する〕検察長官会同

＝会堂〔集会のための建物〕教会堂、公会堂

がいとう

＝街頭〔町筋、つじ〕街頭演説

＝街灯〔道路を照らす明かり〕街灯がともる

＝外灯〔屋外の照明〕庭園の外灯

かいならす（飼い慣らす、飼い馴△らす）→飼いならす△

がいはんぼし（外反拇趾△）→外反母趾△（病名）

かいふく（恢△復、快復）→回復　信頼を回復、疲労回復

かいふく 開腹　開腹手術

かいへん

＝改変〔内容を改める〕規則を改変する、国政の改変

＝改編〔編成・編集し直す〕機構の改編、番組改編

かいほう

＝開放〔開け放つ、出入り自由〕運動場を開放、演習地を開放、開放経済、開放的な性格、開放都市、市場開放、窓を開放

する、門戸開放
＝解放〔束縛・圧迫を解いて自由にする〕解放区、解放戦線、女性解放運動、農地解放、人質解放、貧困からの解放

かいほうかん
＝開放感〔閉塞感の対語〕広くて開放感のある部屋
＝解放感〔束縛感の対語〕休日の解放感、仕事からの解放感

かいまみる 垣間見る
〔注〕「垣間見せる、垣間聞く」は誤り。誤りやすい語句（481ページ）

かいめつ （潰滅）→壊滅

かいもく 副皆目

かいよう 潰瘍 胃潰瘍

がいよう （概容）→概要

かいらい （傀儡）→手先、操り人形、かいらい（政権）

かいり
＝（乖離）→乖離〔背き離れる〕人心の乖離
〔注〕なるべく「懸け離れる、隔たり、背離」などに言い換える。
＝解離〔科学・医学用語〕解離性障害、解離性大動脈瘤、解離熱、電気解離

かいり （海里）→カイリ

かいろ 懐炉・カイロ 使い切りカイロ

かいろう （廻廊）→回廊

かいわい （界隈）→付近、周辺、辺り、近辺、かいわい

かう 買う 安定性・怒り・恨み・実力を買う、けんかを買って出る、人柄を買って登用

かう 交う 飛び交う、行き交う

かえす・かえる
＝（還、反）→返〔主に事物に〕〔元の持ち主や元の状態などに戻る〕生き返る、追い返す、折り返し点、原点に返る、自然に返る、正気に返る、先祖返り、立ち返る、土に返る、白紙に返す、引き返す、紛失物が返る、元へ返す、野生に返す、野性に返る、領土を返す、われに返る
〔向きを逆にする〕裏返し、宙返り、とんぼ返り、寝返り
〔対応した動作〕言い返す、意趣返し、返し技、香典返し
〔重ねて行う〕聞き返す、ぶり返す、読み返す
〔すっかり…する、ひどくする〕あきれ返る、ごった返す、し

よげ返る、煮えくり返る

＝(還)↓帰〔主に人に〕家に帰る、生きて帰る、親元に帰す、帰らぬ人となる、帰り道、故郷に帰る、里帰り、初心に帰る、童心に帰る、領土が帰る

〔注〕「三塁走者をかえす、三塁走者がかえる」などは平仮名書き。

かえす・かえる（孵）△↓かえす・かえる　鳥が卵をかえす、ひながかえる

かえすがえすも（副）返す返すも（残念）

かえだま（換え玉）↓替え玉

かえって（副）（却って）↓かえって

かえば（換え刃）↓（俗）替え刃

かえりうち（返り打ち）↓返り討ち

かえりみる

＝省みる〔反省〕省みて恥じない、自らを省みる

＝顧みる〔振りかえる、気にかける〕顧みて他を言う、過去を顧みる、家庭を顧みない、危険・結果を顧みない、人を顧みる暇がない、歴史を顧みる

かえる（蛙）△↓カエル（動物）　かえる跳び、カエルの面に水

かえる・かわる

＝代〔ある役割を別のものにさせる〕あいさつに代えて、命に代えても、入れ(り)代わり立ち代わり、親代わり、肩代わり、代わり映えのしない、代わり番こ、ご飯のお代わり、社長が代わる、政権が代わる、背に腹は代えられぬ、その代わり、父に代わって、投手を代える、取って代わる、何物にも代え難い、身代わりになる、余人をもって代え難い

＝変〔前と異なる状態になる、普通と異なる〕位置が変わる、色が変わる、打って変わって、生まれ変わる、形を変える、変わり種、変わり果てる、変わり身が早い、観点・立場を変えて、季節の移り変わり、攻守所を変える、声・心変わり、宗旨変え、早変わり、方針・予定を変える

＝換〔AとBを交換〕言い換え、置き換え、掛き換え、借り換え、(遺伝子)組み換え〔限定用語〕、取り換え、乗り換え、配置が換わる、引き換え、物

を金に換える〔換金〕、乗換駅・券、引換券・証

〈使い分けに注意〉

▼空気を変える〔雰囲気〕

▼空気を換える〔換気〕

＝替〔新しく別のもの・行為にする〕預け替え、井戸替え、㊙入れ替え、入れ替わる、移し替え、買い替え、替え歌、替えズボン、額を掛け替える、花瓶の水を替える、㊙着替え、㊙切り替え、国替え、組み替え〔一般用語〕、くら替え、クラス替え、衣替え、差し替え、商売替え、植物の植え替え、すげ替える、住み替え、すり替え、組織替え、代替わり〔経営者、年代など〕、台替わり〔金、数字〕、〔金の〕立て替え、（家の）建て替え、月替わり、作り・造り替える、付け替え、積み替え、詰め替え、手を替え品を替え、ドルを円に替える〔外為〕、並べ替え、塗り替え、年度替わり、生え替わる、貼り・張り替える、日替わり定食、評価替え、吹き替え、振り替え輸送、巻き替え〔相撲〕、持ち替える、模様替え、読み替え、両替

〔注〕㊙書き分けに迷う場合は平仮名㊙書き。

かえん　（火焔）△→火炎（瓶）

かお…　顔立ち、顔つき、顔触れ、顔見せ〔歌舞伎などは顔見世興行〕

かおり・かおる

＝香〔一般用語〕香り高い、菊・花が香る、香水の香り、茶の香り、古里・ふるさとの香り

＝薫〔比喩的、抽象的なものに〕風薫る、菊薫る佳日、初夏の薫り、文化の薫り

がかい　（瓦解）→瓦解（がかい）

かかえる　抱える　抱え込む

〔注〕「抱きかかえる」は平仮名㊙書き。

かがく

＝科学　科学衛星、科学技術、科学捜査研究所、自然科学

＝化学　化学記号、化学合成、化学式、化学繊維、化学反応、化学療法、生化学、物理化学、分析化学、有機・無機化学、理化学研究所

かかげる　掲げる

かかし　（案山子）→かかし〔「かがし」とも〕

かがみ
＝鏡〔姿・形を映す道具〕鏡張り、鏡開き、鏡餅、鏡を抜く、手鏡、水鏡
＝(鑒、鑑)→かがみ〔手本、模範〕武士のかがみ

かがやく　輝く　輝かしい、輝かす

かかり
＝係〔一般用語〕係員(官)、戸籍係、進行係
〔注〕「裁判長係り」は送り仮名を付ける。
＝掛　御用掛

かかりあう　(係り合う)→掛かり合う

かかる
＝掛かる〔一般用語。ぶらさげる、及ぶ〕足掛かり、疑いが掛かる、大掛かり、襲い掛かる、気掛かり、㊟手掛かり、通り掛かる、取り掛かる、魔手に掛かる、迷惑が掛かる
＝架かる〔かけ渡す〕渓谷に架かるつり橋
＝懸かる〔懸垂、懸命、懸隔、空中に浮かぶ、勝者に与える〕神懸かり、生活が懸かる、中天に懸かる月、優勝が懸かる
＝係る〔関係する〕係り結び、本件に係る訴訟
＝(罹る)→かかる〔病気になる〕デング熱にかかる
〔以下は慣用で平仮名書き〕
医者にかかる、一にかかって、かかりきり、かかりつけの医者、肩にかかる重荷、期待がかかる、時間(月日)がかかる、10億円かかる、双肩にかかる、倒れかかる、力がかかる、つぶれかかる、紫がかった色、名曲がかかる
☞「かける」の項

かかわる　(係わる、拘わる)→関わる
〔注〕「悪天候にかかわらず決行」など「(に・にも)かかわらず」は平仮名書き。

かき　垣　生け垣、垣根

かき　カキ・柿〔植物〕柿色、渋柿、干し柿

かき　(牡蠣)→カキ〔動物〕かき鍋、生がき

かき　(夏期)→㊟夏季
〔注〕「夏期講習」など、固有の名称や特に期間を表す場合は「夏期」を使う。

かき （花卉）△→草花、花、花卉（かき）

かき… 書き誤り、書き表す、書き入れ（時）、書き置き、書き下ろし、書き換え、書き方、書き下＝くだ＝し文、書き込む、書き損ない、書き初め、書き付け、書き留める、書き取る、書き殴る、書き物、書き分け、書き割り、書留〔郵便〕

…がき 箇条書き、口上書き、効能書き、断り書き、筋書き、能書き、端書き、落書き、奥書、覚書、肩書

かぎ 鍵 鍵穴、鍵を掛ける、問題を解く鍵、優勝の鍵を握る、合鍵

かぎ （鉤）△→かぎ かぎかっこ、かぎ針

かきょう （華僑）△→㊥華僑

かぎょう
＝家業〔家代々の仕事〕家業を継ぐ
＝稼業〔生活のための仕事〕サラリーマン稼業、役者稼業
＝課業〔割り当てられた学科・業務〕課業管理〔経営学用語〕

かきん （家禽）△→家禽（かきん）

かく 各 各自、各地

かく
＝書く〔文字などを記す〕字・小説を書く
＝（画く）→描く〔絵や図にあらわす、えがく〕絵・地図・模様を描く、眉を描く

かく （掻く）△→かく あぐら・汗・頭・いびき・裏・寝首・恥・べそをかく、かき集める、かき消す、かき立てる、かき回す、かき乱す、かきむしる、引っかく、人混みをかき分ける、耳かき、雪かき

かくう （仮空）△→架空

がくかんせつ （顎関節）→顎関節

かくさ
＝格差〔一般用語。格付けの差〕1票の格差、格差社会、企業格差、賃金格差
＝較差〔比較した差、気象関係〕最高・最低気温の較差、日較差
〔注〕気象以外は「差、違い」などに言い換える。

かくしゃく （矍鑠）△△→元気、壮健、達者、かくしゃく

かくす・かくれる 隠す・隠れ

る　隠し味、隠し芸、隠し事、隠し立て、隠し玉〔野球は隠し球〕、隠れみの

〈使い分けに注意〉

▼隠し撮り〔撮影〕

▼隠しどり〔録音〕

かくせい　覚醒

かくせいざい　覚醒剤

がくせい　学生〔高専、大学、大学院〕 ☞「じどう」の項

かくぜん　(△劃然)→画然

がくぜん　(愕然)→がくぜん

かくだん・かくべつ　㊀格段・格別

がくだん　＝楽団〔バンド〕管弦楽団

＝楽壇〔音楽界〕楽壇の第一人者

かくづけ　格付け

かくてい　＝確定〔物事をはっきり決める〕　確定拠出年金、確定申告、当選が確定

＝画定〔土地などの区切りの決定〕　境界・国境・選挙区の画定

〔注〕法律関係では境界確定訴訟など「確定」も使う。

かくとう　(格闘△)→格闘

かくはん　(攪拌△)→かき混ぜる、かき回す　攪拌機(かくはんき)

かくまう　(匿う)→かくまう

かぐら　㊀神楽　お神楽〔一般用語〕、御神楽(みかぐら)〔皇室関連〕

かくらん　(撹乱△)→かき乱す、かく乱

かくらん　(霍乱△)→暑気あたり、(鬼の)かくらん

かくれが　(隠れ処)→隠れ家・隠れが

かぐわしい　(香しい、芳しい)→かぐわしい

がくわり　学割〔学生割引の略〕

かけ…　掛け合い(漫才)、掛け合わせ(交配)、掛け売り、掛け声、掛け言葉、掛け算、掛け軸・時計、掛け捨て、掛け取り、掛け値、掛け布団、掛け目、掛け持ち(授業)

かげ　＝(蔭△)→陰〔隠れて見えない所、光の当たらない所〕陰口、陰膳、陰で糸を引く、陰で支える、陰で悪口を言う、㊀陰ながら、陰に隠れる、陰になり日なたになり、陰の声、陰の実力者・主役、陰干し、草葉の陰で、木陰で休む、島・山

の陰で見えない、日陰〔日が当たらない場所〕、寄らば大樹の陰、歴史の陰の部分

＝影〔物の形、光、光を遮ることでできる黒い部分〕うわさをすれば影、面影、影絵、影が薄い、影の内閣、影法師、影武者、影も形もない、影を潜める、影を踏む、緊張緩和に暗い影、湖面に映る山の影、島影が見える、障子に影が映る、月影を踏む、日影〔日の光〕、光と影、人影がない、不吉な影が差す、帆影、星影、見る影もない

がけ　崖　崖崩れ、崖っぷち

かけがえのない〔掛け替えのない〕→かけがえのない

かけきん
＝掛け金〔保険〕
＝賭け金〔ばくち〕

…かげつ　…カ月　3カ月の重傷、妊娠5カ月　⇨「か」の項

かけはし
＝架け橋〔一般用語。具体的な架橋〕かずらの架け橋を渡る、臨時に設けられた架け橋
＝懸け橋〔比喩的〕懸け橋外交、未来への懸け橋、○○友好の懸け橋に…、夢の懸け橋

かけひき　駆△け引き、掛け引き→駆け引き

かけら　〔欠けら、欠片〕→かけら

かける
＝掛ける〔一般用語。ぶらさげる、及ぶ〕足場を掛ける、売り掛け、押し掛ける、看板を掛ける、気に掛ける、くぎに掛ける、苦労を掛ける、声掛け、心掛ける、腰掛け、手掛ける、出掛ける、拍車を掛ける、はしごを掛ける、働き掛ける、発破・ハッパを掛ける、話し掛ける、帽子掛け、見掛け倒し、水掛け論、眼鏡を掛ける、呼び掛ける
＝架ける〔かけ渡す〕架け替え、綱を架け渡す、電線を架ける、橋を架ける
＝懸ける〔懸垂、懸命、懸隔、空中に浮かぶ、勝者に与える〕命を懸けて、懸け離れる、懸け隔て、神に懸けて誓う、出場を懸けた一戦、賞金を懸ける、名に懸けて、メンツに懸けて

＝賭ける〔ばくち〕賭け事、賭けに勝つ、金品を賭ける

〔以下は慣用で平仮名書き〕

明け方にかけて、足かけ3年、圧力をかける、行きがけ、王手をかける、起きがけ、帰りがけ、扇風機をかける、食べかけ、手塩にかける、電話をかける、土日にかけて、泊まりがけ、歯止めをかける、ブレーキをかける、麻酔をかける、目をかける、読みかけ

➡「かかる」の項

かける (馳ける、駈ける)→駆ける　駆け上がる、駆け足、駆け落ち、駆け降りる、駆け出し、駆け付ける、駆けっこ、駆け抜ける、駆け回る

かける (翔る)→かける　天かける

かげる (翳る)→陰る　景気の陰り、日が陰る

かげろう (＊陽炎)→かげろう

かげろう (蜉蝣、蜻蛉)→カゲロウ〔動物〕かげろうの命

かげん 加減　味・さじ・手・湯加減、加減が悪い、加減する

〔注〕形容動詞、副詞の「いいかげん」は平仮名書き。

かご

＝(筐、籃)→籠〔編んで作った入れ物〕編み籠、鳥籠

＝(駕籠)→かご〔乗り物〕かごに乗る、大名かご

かこう

＝火口〔火山の噴火口、ボイラーのたき口〕火口丘、火口原、火口壁

＝火孔〔マグマの噴出口〕

かこう 河口　河口港、河口堰

かこうがん (花崗岩)→㊟花こう岩〔㊟御影石とも〕

かこく (苛酷)→過酷　厳しい、むごい

〔注〕むごさ、無慈悲なさまを特に強調するときは「苛酷」も。

かこん 禍根

かさ

＝(笠、蓑)→かさ〔頭にかぶるもの〕編みがさ、市女＝いちめ＝がさ、かさに着る、三度がさ、陣がさ、すげがさ、電灯のかさ、花がさ、松かさ

＝傘〔頭上にかざすもの〕雨傘、核の傘、傘立て、唐傘、蛇の目傘、日傘、洋傘

〔注〕キノコの「かさ」は平仮名書

き。
＝(蚊)△→かさ〔光環〕月にかさが懸かる

かさ・かさむ (嵩)△→かさ・かさむ　かさ上げ、かさにかかる、かさばる、水かさが増す

かざ　風　風脚、風穴、風上、風切り、風車、風下、風花

がさ　⊗(ガサ)→家宅捜索

かさなる・かさねる　重なる・重ねる　重ね着、重ね餅

かさねがさね　㊀重ね重ね

かさねて　㊀重ねて

かざみどり　風見鶏

かざる　飾る　飾り気、飾り物

かざんせいがす　(火山性ガス)→火山ガス

かし　㊀河岸　魚河岸

かし　(瑕疵)△△→欠点、瑕疵(かし)

かし　(華氏)→カ氏
〔注〕カ氏、セ氏を特に区別する必要のある場合に表記する。

かし…　貸し方(貸す方法)、貸し借り、貸し切り列車・バス、貸し出す、貸し手、貸し剝がし、貸しビル・ボート、貸衣装、貸方(簿記用語)、貸株、貸金、貸金庫、貸座敷、貸室、貸自転車、貸事務所、貸席、貸倉庫、貸地、貸賃、貸店舗、貸主、貸農園、貸布団、貸舟・船、貸別荘、貸部屋、貸本、貸間、貸元、貸家
☞送り仮名の付け方(99ページ)

かじ　(舵△、梶、楫△)→かじ　面かじ、かじ付き(なし)フォア、かじ取り、かじを取る、取りかじ

かじ　㊀鍛冶　鍛冶屋、刀鍛冶

かじぐ　(傾ぐ)→かじぐ　首をかしげる、船がかじぐ

かじこい　賢い　ずる賢い、悪賢い

かしこし　貸し越し(限度、増、増加)　当座貸し越し、貸越《金》、貸越限度額、貸越残高、貸越増加額、貸越比率　☞経済複合語(102ページ)

かしこまる　(畏まる)→かしこまる

かしずく　(傅く△)→かしずく

かしだおれ　貸し倒れ(準備、増、増加、引き当て)　貸倒増加額、貸倒総額、貸倒引当金　☞経済複合語(102ページ)

かしだし　貸し出し(開始、基準、協定、限度、準備、状況、条

件、政策、増、増加、方法、予定）貸出《金》、貸出開始日、貸出金融機関、貸出限度額、貸出残高、貸出増加額、貸出平均金利、貸出予定額、貸出枠

経済複合語（102ページ）

かしつけ 貸し付け（開始、契約、決定、限度、国、実績、締め切り、状況、条件、増加、担保、箇囲、返済、方法、申し込み）現金貸し付け、代理貸し付け、手形貸し付け、貸付《金》、貸付開始日、貸付係、貸付期間、貸付金融機関、貸付契約額・金、貸付限度額、貸付債権、貸付信託、貸付返済金・額、貸付有価証券、貸付枠

経済複合語（102ページ）

かしましい（姦しい）→かしましい

かしゃく（呵責）→責め苦、苦悩、とがめる 良心の呵責 仮借 仮借ない批判

かじゅう

＝加重（重さ・負担が加わる）加重平均、累犯加重

＝荷重（物体に作用する力、耐える力）荷重に耐える、クレーンの荷重

＝過重（重過ぎる）過重な負担、過重労働

かしょ

＝（個所）→箇所 箇所付け、疑問の箇所、訂正箇所、複数箇所

＝カ所（数字に付く場合）3カ所、数カ所

「か」の項

かしょう

＝過小（過大の対語）過小資本、過小評価

＝過少（過多の対語）過少申告、過少な金額

＝（寡小）→寡少（衆多の対語）寡少な勢力、寡少労働力

がじょう 牙城

かじょうがき（箇条書き）→箇条書き

かしょくのてん（華燭の典）→結婚式

かしわ（柏、槲）→カシワ（植物）かしわ餅

かしわで（柏手、拍手）→かしわ手

かす 貸す 信用貸し、賃貸し、手・耳を貸す

かす

＝（糟、粕）→かす（酒を搾った後の残り）かす漬け、酒かす

＝(滓)△↓かす〔良いところを搾った残り〕搾りかす、残りかす

かずのこ カズノコ・数の子

かすみ (霞)△↓かすみ かすみ網、春がすみ

かずら (葛、蔓)△↓かずら〔つる草の総称〕かずら橋

かすり (絣△、＊飛白)↓かすり かすりの着物、久留米絣(がすり)

かする (掠る、擦る)↓かする かすり傷

かする

＝科する〔罰金・刑など罰を負わせる〕刑・罰則・ペナルティーを科する

＝課する〔税金・学業などを割り当てる〕宿題・責任・追徴金・任務・ノルマを課する、兵役義務を課する

かせ (枷)△↓かせ 手かせ足かせ

かぜ ㊞風邪 風邪をひく

かせいそーだ (苛性曹達)↓㊚ 水酸化ナトリウム、カセイソーダ〔工業製品〕

かせつ

＝仮設〔一時的に設置する〕仮設住宅、仮設スタンド

＝架設〔電線や橋などをかけ渡す〕電話の架設

かせん 寡占

がぜん (俄然)△↓突然、にわかに、急に、突如、がぜん

かせんしき 河川敷〔「かせんじき」とも〕

かそう

＝仮想〔仮定の想像〕仮想現実、仮想図、仮想敵国

＝仮装〔仮にある姿を装う〕仮装行列、仮装船舶、仮装売買

かぞえる 数える 数え上げる、数え歌、数え年

かた 方 相手方、明け方、考え方、見方、目方

かた 片 片意地、片思い、片仮名、片言交じり、片隅、片っ端、片手間、片時、片腹痛い、片棒を担ぐ、片や、片刷れ、片を付ける

〔注〕「片親、片手落ち、片肺飛行」は使わない。

かた

＝形〔主にフォーム、すがた、目に見える形状〕足形〔踏んで残る足の形〕、跡形もない、H形鋼、大形の花・箱、大形の模様、女形、形崩れ、形鋼〔鋼材。大形形鋼など〕、形無しだ、

かまぼこ形、髪形、空手・剣道・柔道の形、小形のチョウ、コの字形、(水泳の)自由形、単3形乾電池、D51形、丁字形、手形、波形、ハート形、歯形(歯でかんだあと)、肥満形、ひょうたん形、三日月形、優形、痩せ形、山形、弓形

＝型(手本、パターン、タイプ、サイズ)足型(靴作製用の木型)、鋳型、うるさ型、雲竜型、大型機械、大型自動車、大型の小売店、大型の魚(魚釣り)、大型の新人、大型の台風、大型免許(自動車)、型紙、型式証明(自動車、航空機など)、型通り、型にはまる、型破り、型枠、型を見ない(魚釣り)、木型、血液型、小型飛行機、最新型、32型テレビ、デスクトップ型、内向型、2016年型、歯型(歯並びを写し取ったもの)、人型ロボット、ひな型、冬型、紋切り型

(注)借金の「かた」は平仮名書き。

かた 肩 肩上げ、肩当て、肩入れ、肩車、肩凝り、肩透かし、肩たたき、肩慣らし、肩肘

かたい

＝固い(緩いの対語、結び付きが強い)固い握手、固い絆、固い友情、固織り、固く絞る、固く握り締める、固練り、固太り、団結が固い、つぼみが固い

(融通がきかない)頭が固い、固いことを言わずに

(揺るがない)意思・意志が固い、固い決意、固く戒める、固く禁じる、固く辞退、固く信じる、固く念を押す、(約束を)固く守る、口を固く閉ざす、財布のひもが固い、辞意が固い、地盤が固い(選挙、地質)

＝堅い(もろいの対語、中身が詰まっていて強い)織り目が堅い、堅い木の実、堅い炭、堅い木材

(確実)合格・当選・優勝は堅い、勝率8割は堅い

(手がたく堅実)お堅い役所、ガードが堅い、堅い人物、堅い話(確実な内容)、堅い守り、堅気になる、堅苦しい、堅物、考え方が堅い、義理堅い、口が堅い、底堅い動き(経済用

語〕、手堅い商売

＝硬い〔軟の対語、外力に強い〕硬い石・鉛筆・氷・土・布地・皮革、硬い皮膚、手触りが硬い、骨が硬い

〔こわばった様子〕硬い表現、硬い文章、硬い目つき、硬さがほぐれる、体が硬い、選手が硬くなる、態度が硬い、話が硬い〔こなれない〕、表情が硬い、身のこなしが硬い

〔注〕食べ物は一般に「硬い」だが、「固ゆで卵、堅焼き煎餅」など慣用で異なる表記もある。使い分けに迷う場合は平仮名書き。

かたい 難い　想像に難くない

…がたい 得難い、及び難い、信じ難い、分かち難い

かたいぶ （下腿部）△→下腿部

かたえぞめ 型絵染

かたおや ⊗（片親）→ひとり親

かたがき 肩書

かたがた （旁）△→かたがた

かたがつく （方・形が付く）→片が付く

かたがわり （肩替わり、片▲代わり）→肩代わり

かたき （仇）△→敵　敵討ち、敵同士、敵役

かたぎ

＝（＊気質）→かたぎ〔気風、性質〕

職人かたぎ、昔かたぎ

＝堅気〔真面目、律義〕堅気の商売

かたくな （頑な）→かたくな

かたくり カタクリ・片栗〔植物〕片栗粉

かたず （固唾）→固唾

かたづく 片付く　片付ける

かたておち ⊗片手落ち〔不快語的な意味合いがあるとされる。「不公平、不平等、公平を欠く、バランスを欠く」などに言い換える〕

かたどる （象る、模る、形取る）→かたどる

かたはいひこう ⊗片肺飛行〔航空機事故では「片方のエンジンが故障」などと具体的に書く。比喩的にも使わない〕

かたまり

＝固まり〔主に集まり〕星の固まり、やじ馬の固まり

＝塊〔かたまったもの〕金・土・肉の塊、脂肪の塊、欲の塊

かたまる・かためる 固まる・固める　足固め、固め打ち、

固めの杯、固め技、決意を固める、凝り固まる、選挙地盤を固める、態度を固める、団結を固める、土を固める

かたみ
＝片身〔体の半分〕魚の片身
＝形見〔思い出の品、遺品〕形見分け、亡父の形見
＝肩身〔他人に対する面目〕肩身が狭い

かたむく 傾く 傾ける

かたよる
＝片寄る〔ずれて一方に寄る〕隅に片寄る、積み荷が片寄る
＝偏る〔中立的でなくなる、公正を欠く〕栄養が偏る、偏った考え・思想、処分が偏る、人口が都市に偏る、政治が都市優先に偏る

かたりぐさ（語り種）→語り草

かたりべ ㊢語り部

かたる 語る 語らい、語らう、語り合う、語り手、語り物、語るに落ちる、事実を語る

かたる△（騙る）→かたる〔だます〕有名人の名をかたる

かたわ ⊗（片端、片輪）→身体障害（者）、体が不自由な人・状態

かたわら（側ら）→傍ら

かたん（荷担）→㊢加担

かち 勝ち 勝ち戦、勝ち馬、勝ち気、勝ちくら〔競馬〕、勝ちっ放し、勝ち点、勝ち投手、勝ち抜き、勝ち星、勝ち負け、勝ち目、勝馬投票券

…がち 遠慮がち、失敗しがち

かちあう（搗ち合う）→かち合う 頭と頭がかち合う、予定がかち合う

かちどき（勝閧）△→勝ちどき

かちみ（勝ち味）→勝ちみ

かちゅう
＝火中〔火の中〕火中の栗を拾う
＝渦中〔真っただ中〕渦中の人

かつ
＝活〔生きる、元気づける〕活を入れる、死中に活を求める
＝喝〔叱る〕一喝する、喝を食らわす 誤りやすい語句（48ページ）

かつ ㊢（且つ）△→かつ

かつ… 活魚、活仏、活力

かつお（鰹）△→カツオ〔動物〕
かつお節、初ガツオ

がっか
＝学科〔学問の種類〕専門の学科、

法律学科

＝学課〔学業の割り当て〕全学課を修了

がっかい

＝学会〔学術研究団体・会合〕日本民俗学会

＝学界〔学問・学者の社会〕○○学界の第一人者

かっかそうよう　(隔靴掻痒)△△→じれったい、もどかしい、隔靴掻痒

かっきてき　(劃期的)△→画期的

かつぐ　担ぐ　縁起を担ぐ、担ぎ出す、担ぎ屋、荷を担ぐ、人を担ぐ〔だます〕

かっけ　(脚気)→かっけ〔病名〕

かっけつ　(喀血)△→血を吐く、喀血〔呼吸器系から出た血を吐くこと〕↪「とけつ」の項

かっこ　(確乎)△→確固

かっこ　かっこ・括弧〔なるべく平仮名書き〕

かっこう　(恰好)△→格好

かっさい　喝采

がっしょう　合掌　合掌造り

がっしょうれんごう　合従連衡

かっせん　合戦　弔い合戦、雪合戦

かったつ　(闊達、豁達)△△→おおらか、度量の広い、活発自由闊達

かっちゅう　(甲冑)△→よろいかぶと、甲冑

かって　㊞(曽て、嘗て)△→かつて

かって　勝手　勝手口、勝手にしてください

がってん　合点〔「がてん」とも〕

かっとう　葛藤　親子の葛藤

かっぱ　(合羽)→かっぱ　雨がっぱ

かっぱ　(河童)→かっぱ・カッパ　おかっぱ頭、かっぱ巻き、カッパの川流れ

かっぷく　(恰幅)△→恰幅(かっぷく)・かっぷく、押し出し

かっぽ　(闊歩)△→大手を振って歩く、威張って歩く、闊歩(かっぽ)

かっぽう　(割烹)△→(日本)料理(店)　かっぽう着

かつもく　(刮目)△→注目

かつようじゅ　(闊葉樹)△→㊐広葉樹

かつら　(鬘)△→かつら〔「かずら」とも〕

かてい

＝過程〔進行のプロセス、段階〕進化の過程、製造の過程

＝課程〔ある期間に割り当てられた学業・仕事など〕業務課程、修士課程

かていでんき（家庭電機）→家庭電器

かど 角 角が立つ、曲がり角

かど 門 お門違い、門松、笑う門には福来る

かどう

＝（稼動）→稼働〔かせぎ働く、機械を動かす〕稼働日数、稼働率、原発の再稼働

＝可動〔動く仕掛け〕可動橋、可動式書庫、可動堰

かどう（花道）→華道

かどで（＊首途）→門出

かどばん かど番（囲碁、将棋、相撲）かど番大関、かど番に追い込まれる

かな ㊐仮名 仮名遣い、仮名交じり文、片仮名、平仮名

〔注〕「かな書家」など、書道では平仮名書きが多い。

かな… 金網、金切り声、金臭い、金縛り、金づち

かなう（叶う、適う、敵う）→かなう 君にはかなわない、夢をかなえる、理にかなう

かなしい・かなしむ（哀）→悲しい・悲しむ 悲しげ

かなた（彼方）→かなた

かなでる 奏でる

かなめ 要 要石、守備の要

かならず ㊐必ず 必ずしも

かなり ㊐（可成）→かなり

かに（蟹）→カニ〔動物〕かに歩き、かに玉、ワタリガニ

かね 金 金貸し、金ずくで、金遣い、金詰まり、金づる、金回り、金目の物、金を使う

〔注〕「カネ余り、政治とカネ」と片仮名書きしてもよいが乱用しない。

かね

＝鐘〔釣りがね〕鐘を突く、寺の鐘、早鐘、割れ鐘

＝（鉦）→かね〔たたきがね〕かねや太鼓で探す

かねあい 兼ね合い・かねあい

かねじゃく（＊曲尺、矩尺）→かね尺

かねつ

＝加熱〔熱を加える、熱くする〕加熱器、加熱処理、徐々に加熱する

＝過熱〔限界以上に熱する〕過熱器〔原発など〕、景気の過熱、ストーブの過熱で出火

かねて ㊀(予て)→かねて
〔注〕「かねてから」は重複表現。
かねる 兼ねる　兼ね備える、視察を兼ねる、本部長を兼ねる
…かねる〔補助用言〕悪事をやりかねない、言い出しかねる、待ちかねる、見るに見かねる
かの 彼　彼女
〔注〕「かの地、かの人、かの山、かの有名な」は平仮名書き。
かのう(化膿△)→うむ、化膿(かのう)
かのこ(鹿の子)→鹿(か)の子　鹿の子絞り、鹿の子餅
かば カバ・河馬〔動物〕
かばやき(蒲△焼き)→かば焼き
かばん(鞄▲)→かばん
かひ(可非)→可否
かび(黴△)→カビ・かび　かび臭い、かびる
かふ 寡婦、寡夫
かぶ(蕪△)→カブ〔植物〕カブラ、かぶ漬け
かぶき 歌舞伎
かぶと(兜△、冑、甲)→かぶと　カブトムシ〔動物〕
かぶる(被る)→かぶる　かぶせる、帽子をかぶる
がべい 画餅〔「がへい」とも〕画餅に帰する
〔注〕なるべく「絵に描いた餅」とする。
かほう 果報〔いい運、むくい〕　果報は寝て待て、果報者
かぼちゃ(南瓜△)→カボチャ〔植物〕かぼちゃケーキ
かま
＝窯〔焼き物など〕石窯〔パン、ピザ〕、窯元、炭焼き窯、陶磁器窯、登り窯
＝釜〔生活用具など〕後釜、同じ釜の飯、釜飯、茶釜、風呂釜
＝(缶)→かま〔ボイラーなど〕S Lのかま、かまたき
かま 鎌　鎌首、鎌をかける、草刈り鎌、鎖鎌
がま(蒲△)→ガマ〔植物〕
がま(蝦蟇△、蝦蟆△)→ガマ〔動物〕ガマガエル〔ヒキガエルの別称〕、がまの油
かまう 構う　構える、構わない
がまぐち(蝦蟇△口)→がまぐち
かまど(竈△)→かまど
かまぼこ(蒲△鉾△)→かまぼこ
がまん 我慢　痩せ我慢
かみ… 上方、上座、上手
かみ… 神懸かり、神懸けて、神様、神詣で、神代

かみ… 紙切れ、紙くず、紙包み、紙挟み、紙一重、㊞紙吹雪

かみ… 髪飾り、髪形、髪結い

かみなり 雷 雷おやじ、カミナリ族

かみわざ (神技)→神業

かむ (噛む、咬む)→かむ 一枚かむ、かみ切る、ギアがかむ

かめ カメ・亀〔動物〕アオ・アカウミガメ、ゾウガメ、ミドリガメ、ウミガメ・海亀〔海生の亀の総称〕、リクガメ・陸亀〔陸生の亀の総称〕、亀の甲より年の功

かめ (瓶、甕)→かめ 水がめ

かも (鴨、凫)→カモ〔動物〕かもにする、カモ猟

…かも 〔文をこの語で止めるのは好ましくない〕…かもしれない

かもい (鴨居)→かもい

かもす 醸す 醸し出す

かや ㊞蚊帳 蚊帳の外

かや (茅、萱)→カヤ〔植物〕かやぶき屋根

かゆ (粥)→かゆ 七草がゆ

から 殻 吸い殻、出し殻、抜け殻、燃え殻、もぬけの殻、もみ殻

から… 空売り、空(っ)風、空くじ、空騒ぎ、空だき、空っぽ、㊞空梅雨、空手形、空吹かし、空振り、空回り〔注〕「カラオケ、カラ出張」などは片仮名書き。

から… 唐傘、唐紙、唐草(模様)、唐橋、唐門、唐様、唐織

がら 柄 絵柄、柄が悪い、柄にもない、時節柄、職業柄

からあげ (空揚げ)→唐揚げ・から揚げ

からい 辛い 辛口、辛党、辛めの

からくも ㊞辛くも

からげる (絡げる、紮げる)→からげる 裾をからげる

からし (芥子、辛子)→からし からし漬け、からしれんこん、練りがらし〔注〕「唐辛子、辛子めんたいこ」は「辛子」を使う。

からす (烏、鴉)→カラス〔動物〕からす口、からすの行水、三羽がらす、旅がらす

からす・かれる ‖(涸)→枯らす・枯れる〔しおれる、なくなる、老成〕愛惜・

才能・涙が枯れる、井戸・水が枯れる、枯れ枝・木・草・野・葉、枯れ山水、枯れた芸風、木枯らし、資金枯れ、立ち枯れ

〔注〕「出がらし」は平仮名書き。

がらす (*硝子)→ガラス

〔注〕眼球の器官は「硝子体＝しょうしたい」。

からだ (*身体)→体　体つき

からて (唐手)→㊒空手　空手の形

からぶき (乾拭き)→から拭き

からまつ (*落葉松)→カラマツ・唐松〔植物〕

からみ (辛味)→辛み・辛味

…がらみ (搦み△)→がらみ〔接尾語〕50がらみの男

からむ・からまる 絡む・絡まる　絡み付く、予算絡み

からめる ＝絡める〔一般用語。巻き付ける、密接に結び付ける〕足を絡めた攻撃、住民の意見も絡め…

＝(搦める△)→からめる〔捕縛する〕からめ手、からめ捕る、がんじがらめ

がらん (伽藍△)→寺院、仏閣、伽藍(がらん)

かり (加里)→カリ〔カリウムの略〕苛酸カリ

かり・かりる 借り・借りる　借り上げ、借り方〔借りる方法〕、借り着、借り切り、借り越す、借り倒し、借り地、借り賃、借り手、借り主、借り物、貸借り、前借り、間借り、借方〔簿記用語〕、借株

かり… 仮受け(金)、仮差し押さえ、仮処分、仮住まい、仮縫い、仮寝、仮の姿、仮免許、仮渡し(金)

かりいれ 借り入れ(業務、契約、限度、国、実績、条件、申請、担保、返済、方法、申し込み、予定)　手形借り入れ、借入《金》、借入金融機関、借入契約額・金・書、借入限度額、借入債務、借入返済金、借入申込書・期日、借入予定額 ☞経済複合語(102ページ)

かりうけ 借り受け(契約、実績、条件、申請、返済、方法)　借受《金》、借受契約額・

書、借受申請額・書、借受返済金・額 ☞経済複合語（102ページ）

かりうど・かりゅうど ㊞狩人

かりかえ 借り換え（基準、実績、条件、申請、方法）借換《金》☞経済複合語（102ページ）

かりぎぬ （狩衣）→狩衣

かりこし 借り越し（計算、限度）差し引き借り越し、借越《金》、差引借越高 ☞経済複合語（102ページ）

かりに ㊞仮に

かりばらい 仮払い（契約、申請、申し込み）仮払《金》、仮払申請書、仮払伝票、仮払申込書 ☞経済複合語（102ページ）

かりゅう （顆粒）△→粒、顆粒

かりょう

＝科料〔刑事罰〕科料に処す

＝過料〔行政罰〕過料を取られる ☞法令関連用語（610ページ）

がりょうてんせい （画竜点睛）△→㊞画竜点睛（を欠く）

かる

＝（苅る）△→刈る〔草木・頭髪などを切る〕稲刈り、刈り入れ、刈り込む、下刈り、背刈り、背田刈り

〔注〕求人競争などは「背田買い」。 ☞誤りやすい語句（479ページ）

＝狩る〔鳥獣などを追い出して捕らえる、たずね探して観賞する、探してとる〕イチゴ狩り、獲物を狩り出す、狩り場、獣を狩る、潮干狩り、魔女狩り、紅葉狩り、山狩り

＝駆る〔追い立てる〕馬を駆る、駆り立てる、衝動に駆られる、デモに駆り出される、人を駆り集める、不安に駆られる、余勢を駆る

かるい 軽い 軽々しい、軽はずみ、軽め、軽業

かるがる ㊞軽々（と）

かるた （歌留多、骨牌）△→かるた

がれき （瓦礫）△→がれき

かれつ 苛烈

〔注〕なるべく「激烈、激しい、猛烈」などとする。

かれる 枯れる・かれる ☞「からす・かれる」の項

かれん （可憐）△→愛らしい、いじらしい、かわいらしい、かれん

かろうじて ㊞辛うじて

かろやか 軽やか

かろんじる 軽んじる〔軽んずるとも〕

かわ (河)→㊎川 天の川、小川、川岸、川霧、川下り、川っぷち、川幅、川べり

かわ ＝皮〔天然皮、表皮〕皮切り、皮をなめす、皮を剝ぐ、木・果物の皮、毛皮、獣の皮、面の皮、化けの皮、骨と皮、欲の皮、**敷皮**〔敷物〕

＝革〔加工皮〕革帯、革かばん、革靴、革ジャンパー、革製品、革袋、太鼓の革、なめし革、本革、わに革、**敷革**〔靴〕

かわいい (可愛い)→かわいい

かわいげがない

かわいそう (可哀相、可哀想)→かわいそう

かわく ＝乾く〔一般用語。湿の対語〕乾いた銃声、乾いた土地、空気が乾く、洗濯物が乾く、火で乾かす

＝渇く〔喉がかわく、渇望〕愛情の渇き、渇きを覚える

かわす ＝交わす〔交換、交差〕握手を交わす、言い交わす、酒を酌み交わす、取り交わした誓約書、話を交わす

＝(躱△す)→かわす〔避ける、外す、そらす〕相手の意図をかわす、先行馬をかわす、体・身をかわす、矛先をかわす

かわせ ㊎為替

かわも ㊎川面

かわら (礫△、川原)→㊎㊍河原

かわら 瓦 瓦版、瓦ぶき、屋根瓦

かわりばえ (代わり栄え)→代わり映え

かわる 代わる・変わる・換わる・替わる ➡「かえる・かわる」の項

かわるがわる ㊐代わる代わる

かん 缶 空き缶、缶切り、缶詰め作業・状態、石油缶、ドラム缶、**缶詰**〔製品〕

かん ＝観〔本質を悟る、見方、見える様子〕価値観、観桜会、観測、観点、奇観、先商観、雑観〔いろいろな所見〕、雑観記事、参観、史観、終末観、主・客観的、人生観、世界観、先入観、相場観、達観、道徳観、…の

観を呈する、悲観、別人の観、唯物史観、倫理観、歴史観

‖感〔気持ち、感じ方〕安定感、一体感、違和感、音感、隔世の感、感触、季節感、景況感、罪悪感、雑感〔さまざまな感想〕、使命感、正義感、責任感、底値感、第六感、高値警戒感、抵抗感、天井感、逼迫感、不信感、不透明感、無力感、割高感

〔注〕「無常観、無常感」などは内容によって使い分ける。

‖勘〔直感によって感じとる能力〕勘がいい・鈍い、勘違い、勘で分かる、勘を働かせる、勝負勘、㊙土地勘、ヤマ勘

かん（燗）△→かん　熱かん、かんをつける

かん…　寒明け、寒稽古、寒造り、寒の入り

がん（雁）△→ガン〔動物〕がん首、マガン

がん（癌）△→がん〔比喩的には使わない〕がん征圧月間

かんおけ（棺桶）△△→棺おけ

かんがい（灌漑）△→かんがい、水利、引き水

かんがい（旱害）△→干害

かんがい（感慨）▲→感慨

がんかけ　願掛け

〔注〕「願を掛ける」は「願を懸ける」とも。

かんがみる　鑑みる

かんがん（寒顔）▲→汗顔（の至り）

かんかんがくがく（侃々諤々）△△△→かんかんがくがく（の議論）

かんき（乾季）→㊙乾期

かんきつ（柑橘）△△△→かんきつ（類）

がんぐ（翫具）△→玩具

かんぐる　勘繰る

かんけい（奸計）△△→悪巧み、策謀、策略

かんげき（間隙）→（一瞬の）隙、溝、間隙（かんげき）

かんけつ（間歇）△→間欠　間欠泉

かんげん（諫言）△→忠告、意見、忠言、いさめる

かんげんがく（管絃楽）△→管弦楽

かんご

‖監護〔民法、児童福祉法〕児童を監護する者〔保護者〕

‖観護〔少年法〕家庭裁判所調査

官の観覆

☞法令関連用語(598ページ)

かんご 看護 〔看護師〔資格、肩書〕、老人看護〕

かんこう (箝口、緘口)→口止め かん口令

かんごう (環濠)→環濠 〔注〕水のない空堀では「環壕」。

かんさ ＝監査 〔監督・検査〕会計監査、監査役

＝鑑査 〔審査〕無鑑査で出品

がんさく (贋作)→偽作、偽物、贋作

かんさつ ＝監察 〔視察し監督する〕監察医、監察官、行政監察

＝観察 〔物事を注意して見る〕観察眼、自然観察、保護観察

かんし ＝(看視)→監視 〔注意して見張る〕監視員、監視の目が光る、監視網

＝環視 〔周りで見る〕衆人環視

かんしゃく (癇癪)→かんしゃく

かんしゅ (監守)→看守

かんじゅく ＝完熟 〔完全に熟す〕完熟トマト

＝慣熟 〔慣れて上手になる〕慣熟飛行、機械の操作に慣熟する

かんしょ (甘藷、甘薯)→サツマイモ 〔植物〕、甘藷 〔注〕市況・料理記事では「サツマ芋」も使う。

かんしょ・かんしゃ (甘蔗)→サトウキビ 〔植物〕

かんしょう ＝観照 〔客観的に見つめ本質を思索する〕自然観照、人生観照の哲学

＝観賞 〔見て楽しむ〕映画観賞〔鑑賞とも〕、自然・花・風景を観賞

＝鑑賞 〔芸術作品などを味わい理解する〕音楽鑑賞、絵画の鑑賞、能楽鑑賞

かんしょう 勧奨 出品・退職・納税を勧奨する

かんじょう

＝環状 〔輪をなしている〕環状集落、環状星雲、環状線、環状列石

＝冠状 〔冠のような形〕冠状動脈〔冠動脈とも〕

＝管状 〔管、筒のような形〕管状

花、管状神経系、管状組織

かんじょう 勘定　勘定書き、勘定書＝かんじょうしょ、勘定ずく、勘定高い、勘定に入れる

かんしょうちたい （間▲衝地帯）→緩衝地帯

かんしん

＝関心〔心にかかる、気にかける、興味を持つ〕関心がある、関心事、無関心

＝歓心〔うれしく思う〕歓心を買う

＝感心〔心に感じ入る〕いたく感心する、感心な行い

＝寒心〔心配でぞっとする〕寒心に堪えない

かんじん （肝腎）→㊙肝心

かんじん 勧進　勧進相撲、勧進帳、勧進元

かんすう （函△数）→関数

かんせい （陥穽）→落とし穴、わな

かんせい

＝官制〔行政機関の組織・権限など〕官制改革

＝官製〔政府が作ったもの、政府・行政の主導でできたもの〕官製談合、官製の協議会

＝管制〔管理・制限〕管制官、管制塔

かんせい

＝（喊△声）→喚声〔わめき声、ときの声〕驚きの喚声、喚声を上げて突進する

＝歓声〔喜んで出す声〕勝利の瞬間に歓声が起こる、大歓声に包まれる

かんせい

＝乾生〔生き物が乾燥したところで生育・成育する〕乾生植物、乾生動物

＝乾性〔すぐに乾く性質〕乾性胸膜炎、乾性油

かんせん 汗腺〔身体器官〕

かんたい （款待）→歓待

かんだかい （肴△高い）→甲高い

かんたん （感歎）→感嘆

がんたん 元旦〔元日の朝のこと。元旦の朝・昼・夜としない〕

かんち

＝感知〔感じる〕相手の意図を感知、煙感知器

＝関知〔あずかり知る〕私の関知しないこと

かんちがい （感▲違い）→勘違い

かんちょう （浣△腸、灌△腸）→か

ん腸

かんづく　(勘付く)→感づく

かんづめ　＝缶詰〔製品〕缶詰工場、サケの缶詰　＝缶詰め〔動作、状態〕缶詰め作業、缶詰め状態、ホテルに缶詰めになる

かんてつ　貫徹　初志貫徹

かんてん　(看点)→観点

かんてん　(旱天△)→干天(の慈雨)

かんどころ　(甲所、肝所)→勘所

かんなづき　神無月

かんなん　(艱△難)→苦難、困難　艱難(かんなん)辛苦

かんにさわる　(癇△に触る)→かんに障る

かんにん　(勘忍)→堪忍　堪忍袋(の緒が切れる)

かんぬし　神主

かんのう　堪能〔練達している〕　⇨「たんのう」の項

かんのん　観音　観音様、観音開き

かんぱい　(乾盃△)→乾杯

かんばしい　芳しい

かんばつ　(旱魃△)→㊒干ばつ、水枯れ、日照り

かんぱん　甲板〔「こうはん」とも〕

がんばん　＝岩盤〔地中にある岩石層〕　＝岩板〔プレート〕

かんぴょう　(干瓢△、乾瓢△)→かんぴょう〔原料はユウガオ〕

かんぷ　完府　完府なきまで

かんぷく　(感伏△)→感服

がんぶつ　(贋△物)→偽物

かんぺき　(完璧▲)→完璧

かんべん　勘弁

かんぽうやく　(漢法▲薬)→漢方薬

かんぼく　(潅△木)→㊒低木

かんまん　(緩▲漫)→緩慢

がんみ　(翫△味、含味)→㊒玩味　熟読玩味

かんむり　冠　冠大会　〔注〕怒っている、不機嫌の意味の「おかんむり」は平仮名書き。

かんめい　(肝銘)→感銘

がんめい　(頑冥)→頑迷

かんめん　(干麺)→乾麺

がんもどき　(雁擬△き)→がんもどき

かんよ　(干与)→関与

かんよう（涵養△）→養成、育成、蓄える

かんようしょくぶつ（観用植物▲）→観葉植物

がんらい（副）元来

かんり

＝管理〔職務・施設などを管轄・運営し保守する〕管理価格、管理社会、管理通貨制度、管理貿易、健康の管理、工場を管理する、品質の管理

＝監理〔監督する〕行政監理、設計監理、電波監理（審議会）

かんりゅう

＝還流〔流れて元に戻る〕還流器、銀行券・資金の還流

＝環流〔流れめぐる〕海水・大気の環流、血液の環流

＝（灌流△）→かん流〔医学用語〕かん流液、冷却かん流法

かんりゅう（乾溜△）→乾留

かんれき（還歴▲）→還暦 ⓒ誤り

かんろく（貫禄△、貫録）→㊟貫禄

【き】

き

＝季〔季節〕㊟春・夏・秋・冬季、季題、今季、四季、時季、年季（を入れる）、来季

＝期〔ある期間〕㊟雨期、㊟乾期、期末手当、厳冬期、今期（前期・後期）、時期、周期、第2四半期、同期生、年期小作、農閑・農繁期、端境期、末期、満期、漁・猟期

〔注〕「夏季講習・夏期講習」などは固有の名称に従う。

＝気〔精神、気質、気体など〕気負う、気が置けない、気掛かり、気が利く、気が付く、気兼ね、気が早い、気管支、気位（が高い）、気さく、気障り、気色悪い、気勢、気立て、気遣い、気密性が良い、気安い、気を使う、気を付ける、心気の衰え、二十四節気、気合、○○気付〔宛先〕

＝機〔はずみ、要、頃合いなど〕逸機、機会、機が熟す、機嫌、機知、機に乗じて、機能、機を見るに敏、好機を逸す、国家機密、時機、勝機、心機一転、卒業を機に、存亡の機、転機、臨機応変

き

＝**器**〔主に単純・小型の入れ物・道具・装置〕泡立て器、うそ発見器、温水器、加圧器、火炎放射器、花器、ガス点火器、ガス漏れ警報器、楽器、家庭電器、気化器、器材〔教育器材など〕、器物、吸入器、計量器、煙感知器、検温器、遮断器〔ブレーカー〕、消火器、水準器、炊飯器、送・受話器、聴診器、抵抗器、電熱器、投光器、透析器、㊢ふ化器、変圧器、保育器、歩行器、補聴器、蒸し器、湯沸かし器、連結器

＝**機**〔主に複雑・大型の機器・装置〕編み機、印刷機、映写機、開閉機、火災報知機、乾燥機、機材〔建設機材など〕、起重機、計算機、警報機、検眼機、耕運機、工作機、削岩機、自動販売機、写真機、遮断機〔踏切など〕、織機、信号機、洗濯機、扇風機、掃除機、送・受信機、測深機、脱穀機、探査機、探知機、端末機、通信機、電算機、電動機、電話機、電話交換機、発電機、読み取り機、輪転機、録音機

〔注〕「器、機」は規模や性能など実情に応じて使い分ける。

き　(樹)→木　木ぐつ、木組み、木づち、木登り、木彫り

き　生　生一本、生じょうゆ、生そば、生成り、生真面目

き　黄　黄色(い)、黄ばむ

きあけ　忌明け

きいん　(基因)→㊢起因

ぎいん

＝**議員**〔議会で議決権を持つ人〕議員会館、議員総会、議員特典、議員立法、国会議員

＝**議院**〔国政を審議する場所〕議院運営委員会、議院証言法、議院内閣制、議院法制局

きうん　(気運)→㊢機運

きえ　帰依　仏道に帰依する

きえん　(気焔)△→気炎　気炎を上げる

きえん

＝**機縁**〔因縁、きっかけ〕結婚を機縁に

＝**奇縁**〔不思議な縁〕㊢縁奇縁

ぎえんきん　(義捐金)△→義援金

きえんさん　(稀塩酸)△→㊢希塩酸

きおうしょう　(既応症)▲→既往

症

きおくれ（気遅れ）→気後れ

きか（麾下△）→旗下、指揮下（の者）、部下、配下

きか

＝気化〔液体・固体が気体に変わる〕気化熱

＝帰化〔渡来動植物が環境に適応し野生化〕帰化植物

〔注〕法律上は帰化（申請・手続き）だが、原則「国籍取得」とする。

参差別語、不快用語（494ページ）

きが（饑餓△）→飢餓

きかい

＝機械〔一般用語〕医療・光学・精密・測定機械

＝器械〔限定用語〕器械体操

きがい（気慨）→気概

きがえ（着換え）→㊎着替え

ぎがく 伎楽 伎楽面

きかん

＝気管〔呼吸器の一部〕気管支炎

＝（器管▲）→器官〔臓器など生物体を構成する部分〕消化器官

きかん 汽缶

〔注〕一般には「ボイラー」を使う。

きき（器機）→機器

きき（毀棄）→毀棄（きき） 公文書毀棄（きき）

ききいっぱつ（危機一発▲）→危機一髪

ききざけ（聞き酒）→㊎利き酒

ききとして（嬉々△として）→喜々として

ききめ

＝効き目〔効果〕効き目がある

＝利き目〔限定用語〕利き目で見る

ききゅうそんぼうのとき（危急存亡の秋）→危急存亡のとき

きぎょう

＝企業〔営利を目的に経済行為を行う組織体〕企業化、企業整備、企業責任、企業努力、企業年金、企業別組合

＝起業〔新しく事業を始める〕起業基金、起業利得

〔注〕「企業家、起業家」の使い分けに注意。

ぎきょうしん（義侠△心）→正義感、義侠心（ぎきょうしん）

ききん（飢饉△）→凶作、飢饉（ききん）

きく キク・菊〔植物〕菊判

きく

＝（訊く△）→聞く〔一般用語〕意見を聞く、うわさを聞く、音に

聞こえる、聞き入る〔音楽など〕、聞き入れる、聞き納め、聞き落とす、聞き覚え、聞き返す、聞き届き、聞き込み、聞きしに勝る、聞き上手、聞き捨て、聞きただす、聞き付ける、聞きづらい、聞き手、聞き取り調査、聞き流す、聞きほれる、聞き耳を立てる、聞き物、聞き役、聞き分けのない子、聞き分ける、聞く耳持たぬ、立ち聞き、手が言うことを聞かない、盗み聞き、話し声を聞く、人聞き、また聞き、胸の内を聞く、物音を聞く

＝聴く〔特別用語。身を入れてきく〕音楽・講義を聴く、声なき声を聴く、国民の声を聴く、事情を聴く

〔注〕きく態度によって使い分ける。複合語では一般に「聞」を使う。

きく

＝利く〔役に立つ、利用、機能〕応用が利く、押しが利く、おだてが利く、回転の利いた突っ張り、顔が利く、肩書が利く、利いたふうなことを言う、気が利く、利かん気、利き腕、利き駒〔将棋〕、機転が利く、口利き、口を利く、ごまかしが利かない、小回りが利く、自由・無理が利く、すごみを利かす、つぶしが利く、にらみが利く、幅が利く、左手が利く、ブレーキが利く、目が利く、目利き、目端が利く、めりはりが利く、融通が利く

＝効く〔効果がある〕効き目がある、薬が効く、宣伝が効いた、皮肉が効いた、風刺が効いている、冷・暖房が効いている

〔注〕使い分けに迷う場合は平仮名書き。

〈使い分けに注意〉

▼わさびを利かせる〔働かせる〕

▼わさびが効いた〔効果がある〕

きぐ（危惧△）→危惧　絶滅危惧種

きぐ

＝機具〔比較的大きな物〕機具置き場、農機具

＝器具〔比較的小さな物〕医療・ガス・健康・照明器具

きぐう（寄寓△）→仮住まい、同居、身を寄せる、厄介になる

きぐう 奇遇
きけい (畸形△)→㊢奇形
ぎけつ 議決〔条約など承認案件は議決、法案など一般案件は可決〕㊢「さいけつ」「さいたく」の項
きげん (気嫌▲)→機嫌
きげん (起原)→起源
きげんそ (稀元素△)→希元素
きこう
＝帰港〔出た港に帰る〕5日後に帰港の予定、帰港途中の航海
＝帰航〔帰りの航海・飛行〕帰航中の漁船
きこう
＝寄港〔船が港に立ち寄る〕外国船が寄港する、寄港地
＝寄航〔航空機が空港に立ち寄る〕爆撃機が寄航、ハワイに寄航する
きごう (揮毫△)→揮毫(きごう)
きこうぼん (稀覯本△)→希少本、希書、珍本
きこえる (聴こえる)→聞こえる 聞こえが悪い、聞こえよがし
きこり (木こり、樵△)→きこり
きざ (気障)→きざ きざな男
きさい
＝奇才〔珍しくすぐれた才能〕不世出の奇才
＝鬼才〔人間とは思えないほどの才能〕映画界の鬼才
＝機才〔機敏な才能〕機才にたける
きざい
＝器材〔器具と材料〕施設器材隊〔自衛隊〕
＝機材〔機械と材料〕建設機材、資機材
きさき (妃、后)→きさき お妃選び
きざす (萌す△)→兆す 兆し
きざむ 刻む 刻み付ける
きさらぎ (如月△)→如月(きさらぎ)
きし (旗幟△)→旗印、立場、態度 旗幟(きし)鮮明
きじ
＝木地〔塗り物の下地、木目〕木地師、木地塗り、こけしの木地
＝生地〔自然のままの質、布地〕生地が出る、生地のまま、パン・麺の生地、洋服の生地
きじ (雉、雉子△)→キジ〔動物〕キジも鳴かずば打たれまい
ぎし 義肢

ぎじ　(擬似)→疑似　疑似餌、疑似コレラ、疑似体験

きじく
＝基軸〔基準、中心〕基軸政党、基軸通貨
＝機軸〔機関・車輪の軸、活動の中心・方式〕新機軸を出す

きしつ　気質〔気立て〕学生気質、サラリーマン気質

ぎじばり　(擬餌鉤、疑似針)→擬餌針

きしゃ　(寄捨)→喜捨

きしゃく　(稀釈)→希釈

きじゅん　(規準)→㊟基準

きしょう　(稀少)→希少(価値)

きしょう
＝気性〔気立て〕気性が荒い、進取の気性に富む
〔注〕「進取の気象」とも書くが「気性」を使う。
＝気象〔大気中に起こる現象〕気象観測、気象の変化が激しい

きしょう　(徽章)→記章、バッジ

ぎしょう
＝偽称〔偽って名乗る〕肩書を偽称
＝偽証〔偽りの証言〕偽証罪

ぎじょうへい　(儀仗兵)→儀仗兵、儀礼兵
〔注〕自衛隊では「儀仗隊員」。

きず　(創、疵、瑕)→傷　刀傷、傷痕〔比喩的にも〕、傷が付く、傷薬、傷口、傷つく、傷物〔商品〕、生傷、無傷
〔注〕「玉にきず」は平仮名書き。

きすう　(帰趨)→成り行き、動向、行方、落ち着き先

きずな　(絆)→絆

きする　期する　合格を期する、夜明けを期して

きせい
＝規制〔規律を立てて制限する〕交通規制、行動を規制、政治資金を規制する、窓口規制、輸出を規制
＝規正〔特別用語〕政治資金規正法〔日本の場合〕

きせい
＝既成〔既に出来上がっている物事〕既成概念、既成事実、既成政党、既成道徳
＝既製〔既に出来上がっている商品〕既製品、既製服
＝期成〔やり遂げようとする〕期成同盟

きせき　(奇蹟)→奇跡

きせる（＊煙管）→きせる
きせん　機先（を制する）
きぜん（毅然）→厳然、決然、毅然
きそう　帰巣　帰巣本能
きぞう　寄贈（「きそう」とも）
ぎそう＝（欺装）→偽装〔いつわりごまかす〕偽装結婚、偽装工作、偽装殺人
＝擬装〔カムフラージュ〕擬装陣地、擬装砲
ぎそう（艤装）→艤装
きそうきょく（綺想曲）→奇想曲
きそくえんえん（気息奄々）→息も絶え絶え、気息奄々
きそん（毀損、棄損）→毀損
名誉毀損
〔注〕「名誉毀損」以外はなるべく「損なう」などとする。
…きた　…してきた、…なってきた
〔注〕補助動詞、「来た」の意味が薄れた場合。☞「くる」の項
きたい（奇体）→奇態（な事件）
きたい・きだい（稀代）→希代
ぎたい　擬態　擬態語、昆虫の擬態
きたえる　鍛える
きたす　来す　運営に支障を来す
きたない　汚い　汚らしい
ぎだゆう　㊞義太夫
きたる　来る　来る〇日の投票日に、来れ若者、待ち人来る
きだん（綺談）→奇談
きたんない（忌憚ない）→腹蔵ない、率直な、遠慮のない、忌憚ない
きち（機智）→機知〔ウイット〕
機知に富む
きちがい　⊗（気違い）→精神障害者
〔注〕「気違い沙汰」など「気違い」の付く語は工夫して別の表現にする。☞差別語、不快用語（490ページ）
きちょうめん（几帳面）→きちょうめん
きづかい　気遣い　気遣う
きづかれ　気疲れ
きづく　気付く
きつけ　着付け
きつけ　気付け　気付け薬
きづけ　気付〔宛先。「きつけ」とも〕大使館気付
きっこう（拮抗）→張り合う、対抗、対立、拮抗

きっすい (吃△水)→喫水　喫水線

きっすい 生粋　生粋の京都人

きって 切手 小切手

…きっての (切っての)→きっての 当代きっての名横綱

きつね (狐△)→キツネ〔動物〕キタキツネ、きつね色、きつねうどん、きつね火

きっぷ 切符

きっぷ (気っ風)→きっぷ(がいい)

きづまり 気詰まり

きてい (規程)→㊒規定〔注〕「国家公務員倫理規程」などは固有の名称通り書く。

きてん (気転)→㊒機転(が利く)

きてん ＝起点〔終点に対し始まりとなる点〕鉄道・路線の起点　＝基点〔基となる点、中心点〕○○を基点として半径5キロ

きとう (祈禱△)→祈り、祈念、祈願　祈禱師

きとく

＝危篤〔病気・けがが重く生命が危うい〕父親が危篤

＝奇特〔殊勝〕奇特な人

きなこ (黄・粉)→きな粉

きぬ

＝絹〔繊維〕絹織り、絹ごし豆腐、絹地、絹張り、絹を裂くような叫び声、絹織物

＝(衣)→きぬ〔着物〕きぬ擦れ、ぬれぎぬ、歯に衣着せぬ

きね (杵△)→きね　昔取ったきねづか

きねん

＝(紀念)→記念〔思い出に残す〕記念日、記念品

＝祈念〔祈る〕平和を祈念する

〈使い分けに注意〉

▼平和記念式典(正式には原爆死没者慰霊式ならびに平和祈念式)〔広島〕

▼平和祈念式典(正式には原爆犠牲者慰霊平和祈念式典)〔長崎〕

〔注〕両方を扱う場合は「平和式典」あるいは「平和祈念式」とする。

きのう ㊒昨日・きのう ㊐日時の書き方(528ページ)

きのこ (茸△)→キノコ〔菌類〕キノコ狩り・採り、きのこ雲、きのこ汁

きのみきのまま（着のみ着のまま）→着の身着のまま

きば　牙　牙をむく

きはく（気魄）→気迫

きはく（稀薄）→希薄

きはん（軌範）→規範

きばん
＝基盤（物事の土台）会社の基盤、強固な基盤、生活基盤
＝基板（電気回路が埋め込まれている板、ウエハー）電子基板、プリント基板

きび（黍、稷）→キビ（植物）きび団子

きび（気徴）→機微　機微に触れる

きびき　忌引

きびしい　厳しい

きふ（寄附）→寄付

きふく（帰伏）→㊒帰服

きべん（詭弁、奇弁）→詭弁

きまぐれ（気紛れ）→気まぐれ

きまって　㊒決まって

きまりわるい（極まり悪い）→きまり悪い　きまりが悪い

きまる・きめる（極）→決まる・決める　決まり切った、決まり手、決まり文句、決まりをつける、決め込む、決め球、決め付ける、決め手、決めどころ、独り決め、本決まり

ぎまん（欺瞞）→欺く、偽り、ごまかし、欺瞞

きみ
＝黄身（卵）卵の黄身
＝（黄味）→黄み（黄色い程度）黄みを帯びる

きみ　気味　いい気味、風邪気味、気味悪い、小気味よい、だれ気味、不気味

きみじか　気短

きみたち（君達）→君たち
㊟「…たち」の項

きみつ
＝機密（国家・組織などの重要な秘密）機密が漏れる、機密費、機密文書、データの機密性
＝気密（気圧が変化しないように密閉した状態）気密構造、気密室、気密性が高い服

きめ
＝木目（「もくめ」とも）木目込み細工・人形
＝（肌理）→きめ（肌や物の表面のあや）きめが粗い・細かい、きめ細かい配慮

きめたおし（極め倒し）→きめ

倒し〔相撲〕

きめだし（極め出し）→きめ出し〔相撲〕

きも（胆）→肝　肝が据わる、肝試し、肝っ玉、肝に銘じて

きもいり（肝煎り、肝入り）→肝いり

〔注〕仲介・世話（人）のこと。発案・提唱（者）の意味では使わない。

きゃしゃ（華奢）→きゃしゃ

きやすめ（気安め）→気休め

きゃたつ　脚立

きゃはん（脚絆）→脚半

きゃら（伽羅）→キャラ〔植物〕、きゃら〔香料〕

きやり（木遣り）→木やり〔歌〕

きゆう（杞憂）→取り越し苦労、無用の心配、杞憂

きゅう（灸）→きゅう　おきゅう、きゅう師、きゅうを据える〔比喩的表現には使わない〕

S「しんきゅう」の項

きゅういん　吸引　アヘン・大麻の吸引、吸引力

〔注〕アヘンでは「吸飲」を使うこともある。

きゅうかく　嗅覚

きゅうきゅう（急救）→救急　救急救命士、救急車、救命救急センター

きゅうきゅうとして（汲々として）→きゅうきゅうとして

きゅうきょ　㊀（急遽、急拠）→急ぎ、急きょ

きゅうきょう（窮況）→窮境

きゅうきょく（窮極）→㊁究極

きゅうこう

＝休校〔学校が全て授業を休みにする〕台風で休校になる、同盟休校

＝休講〔講義を休む〕病気で休講にする

きゅうし　臼歯

きゅうじ　給餌

きゅうしゃ（厩舎）→厩舎

きゅうしゅん（急峻）→（非常に）険しい、急峻

ぎゅうじる　牛耳る

きゅうしん

＝急進〔目的に急いで進む〕船が急進する、急進的、急進分子

＝急伸〔急に伸びる〕売り上げが急伸する、株価が急伸

きゅうす　急須

きゅうせき（旧蹟）→旧跡

きゅうせんぽう（急先鋒）→急先鋒

きゅうたいいぜん 旧態依然

きゅうだん（糾弾△）→糾弾

きゅうてき（仇△敵）→敵、あだ

きゅうてんかい

＝急展開〔急に範囲・様相などが広がる〕作戦が急展開した、事態が急展開する

＝急転回〔くるりと方向を変える〕車を急転回させる

きゅうはく

＝急迫〔差し迫る〕急迫した事態、情勢急迫

＝窮迫〔困りきる〕財政が窮迫、生活が窮迫

きゅうむいん（厩△務員）→厩務（きゅうむ）員

きゅうめい

＝究明〔道理・原因などをきわめ明らかにする〕事故原因を究明、真相を究明

＝（糾△明）→糾明〔責任・罪状などをただし明らかにする〕違反行為を糾明、責任を糾明

きゅうめいどうい（救命胴△着）→救命胴衣

きよい（浄い、潔い）→清い

お清め、清める、清らか

きょう 慣今日・きょう 日時の書き方(528ページ)

…きょう（卿△）→特卿 枢機卿〔「すうきけい」とも〕、チェンバレン卿

きょうあい（狭隘△）→狭い、狭苦しい、窮屈な、狭量

きょうあく（兇△悪、狂悪）→凶悪

きょうい

＝脅威〔脅し、恐れ、威力〕脅威を感じる、軍事力の脅威

＝驚異〔非常な驚き〕驚異的な記録、大自然の驚異

きょうえん（饗△宴）→供宴

きょうえん

＝共演〔同じ舞台、ドラマなどに出演〕トップスターの初共演

＝競演〔同じ役柄、演目などを競い合う〕ハムレットを競演、ビッグバンドの競演

＝協演〔協力して演奏する〕ウィーン・フィルと協演

きょうおう（饗△応）→供応

きょうか 供花〔仏教では供華＝くげ＝も使う〕

きょうかいし（教誨△師）→教誨（きょうかい）師

きょうがく（驚愕△）→（非常に）驚く、仰天、肝をつぶす、

驚愕(きょうがく)

きょうかつ（脅喝）→恐喝

きょうき（兇器△）→凶器

きょうき（狭気△）→おとこ気

ぎょうぎ 行儀

ぎょうぎょうしい（業々しい）→仰々しい

きょうきらんぶ（狂気▲乱舞）→狂喜乱舞

きょうきん 胸襟 胸襟を開く

ぎょうけつ ＝凝血〔血が固まる〕凝血作用

＝凝結〔気体が変化する、固まる〕水蒸気の凝結

きょうこ（鞏△固）→強固

きょうごいん（教護院）→児童自立支援施設

きょうこう（兇△行）→凶行

きょうこう ＝強行〔障害・困難・反対を押し切って行う〕強行策、強行着手、強行突破、計画・工事・審議を強行、採決を強行、試合を強行

＝強攻〔強気で攻める〕強攻策で大盤得点、強攻して失敗

＝強硬〔手ごわい、強い態度〕強硬策、強硬手段、強硬な意見、強硬な抗議、強硬な態度、強硬に主張

〔注〕「強行策、強攻策、強硬策」は内容によって使い分ける。

きょうごう（強剛△△）→㊙強豪

ぎょうこう（僥倖△△）→（思わぬ）幸運

きょうこつ（＊頬骨）→頬骨

きょうさく（狭窄△）→狭窄

気管・視野狭窄(きょうさく)

きょうざつぶつ（夾△雑物）→不純物、混ざり物

きょうざめ（興醒め、興冷▲め）→興ざめ

ぎょうさん ㊥（仰山）→ぎょうさん

きょうじ（矜△持）→誇り、自負

きょうしゃ 香車〔将棋。香子＝きょうす＝とも〕

きょうしょう（狭少）→狭小

きょうじん（強△靱）→粘り強い、強靱(きょうじん)

きょうせい（匡△正）→矯正

ぎょうせい（擬陽性）→㊐疑陽性

きょうそう ＝競争〔互いに優劣を争う〕競争価格、競争試験、生存競争

＝競走〔走り競う〕競走馬、自転車競走、徒競走、100㍍競走〔陸上競技〕、モーターボート競走(法)

＝(競漕)△→競漕(きょうそう)〔こぎ比べ〕ペーロン競漕

きょうそう(狂躁)△→狂騒

きょうそうきょく

＝協奏曲〔コンチェルト〕ピアノ協奏曲

＝狂想曲〔カプリッチオ〕

＝狂騒曲〔比喩的に〕歳末狂騒曲

きょうそく(脇息)→脇息(きょうそく)

きょうぞめ 京染

きょうたい(狂体)→狂態 狂態を演じる

きょうだい

＝兄弟〔一般用語〕義兄弟、ライト兄弟

＝(＊姉弟、＊兄妹)→きょうだい〔男女のため兄弟がそぐわない場合や性別不明の場合〕私は姉3人と兄1人の5人きょうだい

きょうたん(驚歎)△→驚嘆

きょうだん(兇弾)△→凶弾

きょうてん

＝教典〔教育上や宗教上の基本となる書物〕初等教育の教典

＝経典〔宗教的な教えの書〕仏教・キリスト教などの経典

ぎょうてん 仰天 びっくり仰天

きょうどう(協同)→㊥共同

〔注〕「協同一致、協同組合、産学協同」などは「協同」を使う。

きょうとうほ(橋頭堡、橋頭保)△→足掛かり、拠点、橋頭堡(きょうとうほ)

きょうはく

＝脅迫〔おどし、刑法の用語。一般にも広く使われる〕脅迫罪、脅迫状

＝強迫〔無理強い、民法および医学・心理学関係に使われる〕強迫観念、強迫性障害、強迫による意思表示 ㊐法令関連用語(599㌻)

きょうべんをとる(教鞭を執る)△→教える、教壇に立つ

きょうぼう(兇暴、狂暴)→凶暴

きょうぼく(喬木)△→㊥高木

きょうまん(驕慢)△→高慢

きょうみしんしん(興味深々)▲→興味津々

きょうよう

＝共用〔2人以上で共同で使う〕

共用部分、炊事場の共用
＝供用〔使用に供する〕施設を供用する
きょうりょう（橋梁△）→橋
〔注〕橋梁工事は「架橋工事、橋の修理工事」などと言い換える。
きょうわ
＝協和〔心を合わせ仲良くする〕民族が協和する
＝共和〔共同で事に当たる〕共和国、共和制
ぎょーざ（餃子△）→ギョーザ
きょか（炬△火）→たいまつ、トーチ
〔注〕国体などでは「炬火（台・リレー）」を使う。
ぎょかい（魚貝）→魚介（類）
ぎょかく（魚穫△）→漁獲
きょきん（醵金）→拠金
きょくげん
＝局限〔範囲を限る〕問題を局限する
＝極限〔ぎりぎりのところ〕体力の極限に達する
きょくじつき（旭日旗△）→㊐旭日旗
きょくじつだいじゅしょう（旭△日大綬△章）→㊐旭日大綬章 ☞叙位叙勲（508ページ）
きょくち
＝局地〔限られた土地・区域〕局地戦、局地的な降雨
＝極地〔北極・南極など〕極地探検、極地法〔登山・探検での方法〕
＝極致〔最高の境地、きわみ〕美の極致
きょくりょく ㊎極力
ぎょじ 御璽 御名御璽
ぎょしゃ（馭△者）→御者
きょしゅつ（醵△出）→拠出
ぎょしょう 魚礁〔人工的な場合は漁礁とも〕
ぎょしょう（魚醤△）→魚醤（ぎょしょう）
きょしんたんかい（虚心△坦懐）→こだわりなく、虚心、わだかまりなく、虚心坦懐（たんかい）
ぎょふ ⊗（漁夫）→漁民、漁船員
〔注〕「漁夫の利」は例外。
きょほうへん（毀誉褒貶△）→評判、世評、毀誉褒貶（きよほうへん）
ぎょもう（魚網）→㊐漁網
ぎょろう（漁△擄）→漁労
きらい（嫌い）→きらい〔傾向、気味、区別〕男女のきらいなく、独断専行のきらいがある

きらい・きらう 嫌い・嫌う
忌み嫌う、毛嫌い、好き嫌い、人嫌い

きらす 切らす 息・しびれを切らす、在庫を切らす

きらびやか (煌びやか△)→きらびやか

きらぼしのごとく (綺羅星△の如く)→きら星のごとく〔本来は「きら・ほしのごとく」と読む〕

きり 霧 朝霧、霧吹き、夜霧

きり (桐△)→キリ(植物) きりげた、きりだんす、きり箱

きり… 切り上げ(率)、切り売り、切り絵、切り返し、切りがない、切り紙細工、切り口上、切り下げ(率)、切り捨て(御免)、切り出し、切り通し、切り抜き、切り花、切り札、切り干し、切り身、切り盛り

…きり
＝**切り** 打ち切り、追い切り〔競馬〕、区切り、指し切り〔将棋〕、初っ切り〔相撲〕、飛び切り、持ち切り、読み切り
＝**きり** 一回きり、行ったきり、着たきり、これ(っ)きり、付き(っ)きり、寝たきり、ひっきりなし、まる(っ)きり
＝(限)→**きり**〔受け渡し期限〕9月きり、先ぎり、当ぎり

きりかえ (切り換え)→㊎切り替え

きりこ 切り子 【薩摩】切子

きりさめ 霧雨

きりつ (紀律)→規律

きりづま 切り妻 切り妻造り

きりは (切り端)→切り羽

きりゅうさん (稀硫酸△)→希硫酸

ぎりょう (技倆△、伎倆△)→技量

きりん (麒麟△△)→キリン〔動物〕、麒麟〔想像上の動物〕麒麟児

きる・きせる 着る・着せる 恩に着る、かさに着る、着せ替え、罪を着せる

きる・きれる
＝(伐、截△、剪)→**切**〔一般用語〕切り捨てる、切れ味、切れ切れ、切れ端、切れ目、切れ者、球の切れ、刃物で腕を切られる、逃げ切る、割り切れない
＝**斬**〔限定的に使用〕悪徳商法を斬る〔強く批判する〕、一刀の下に敵を斬る、世相を斬る、

つじ斬り
〔注〕使い分けに迷う場合は「切」を使う。
きれい（綺麗△）→きれい・奇麗
きれつ　亀裂
きろ
＝帰路〔帰り道、戻り道〕出先からの帰路
＝岐路〔分かれ道〕人生の岐路に立つ
きわ　際　際立つ、際どい、際物
きわまる
＝極まる〔極限、極度、最高最上〕感極まる、危険・失礼・不都合極まりない
＝窮まる〔行き詰まる〕窮まりなき宇宙、進退窮まる
きわみ　極み　痛恨の極み
きわめつき　極め付き　極め付きの芸・作品
〔注〕「極め付け」は誤り。
きわめて　㊞極めて
きわめる
＝極める〔極限、極度、最高最上〕栄華を極める、口を極めて褒める、位人臣を極める、混雑を極める、頂上を極める、見極める
＝窮める〔突き詰める〕奥義を窮める
＝究める〔探究、追究〕学問を究める、真相・真理を究める、道を究める
きをいつにする（気▲・期▲・機▲を一にする）→軌を一にする
きんぎょ　キンギョ・金魚〔動物〕
きんきん　㊞近々
きんこ（禁固）→禁錮
きんさ　僅差
きんしたまご（金糸卵）→㊞錦糸卵
きんしゃ（禽舎△）→鳥小屋、鶏舎
きんしゅ　筋腫〔病名〕
きんしゅう　錦秋
きんじゅう（禽△獣）→鳥獣
きんしょう　僅少
ぎんしょう（吟誦△）→吟唱
きんせい（均斉）→均整
きんせいひん（禁製品▲）→禁制品
きんぞくせい
＝金属性〔金属特有の性質〕金属性の音
＝金属製〔金属製品〕金属製花瓶・バット

きんちさん 禁治産（「きんじさん」とも）準禁治産者

〔注〕日本では民法改正で成年後見制度となり、禁治産者は「成年被後見人」、準禁治産者は「被保佐人」とする。

きんとん （金団）→きんとん 栗きんとん

きんのう 勤王、勤皇

きんぱく （金箔△）→金箔（きんぱく）

きんむく （金無垢△）→金無垢（むく）、純金

きんり （禁裡△）→禁裏、宮中、御所

【く】

く 区 区画、区間、区切り、区分け、区割り

ぐあい （工合）→具合 腹具合

くい （杭△）→くい

くい・くいる 悔い・悔いる 悔い改める、悔いが残る

くい… 食い上げ、食い入る、食い気、食い込む、食い下がる、食いしん坊、食い倒れ、食い足りない、食い違い、食いちぎる、食い付く、食いつぶす、食い詰める、食い道楽、食い止める、食い逃げ、食い延ばす、食いぶち、食い物

くう 食う 泡を食う

ぐう 偶 偶数、偶然、偶像、偶発、土偶、配偶者

ぐう 遇 奇遇、境遇、厚遇、遭遇、待遇、知遇、不遇、優遇、冷遇、礼遇

くうていぶたい （空挺部隊△）→落下傘部隊、空挺（くうてい）部隊

くうほう 空包（実包（実弾）の対語、音だけ出る演習弾）空包射撃 ＝空砲（実弾を込めていない銃砲、その発射音）空砲で脅す

ぐうわ （寓話△）→寓話（ぐうわ）

くおん 久遠

くき 茎 歯茎

くぎ （釘△）→くぎ くぎ付け、くぎ抜き、くぎを刺す

くきょう （苦況）→苦境

くぎる （句切る）→区切る

くぎれ 句切れ（俳句、短歌の調子や意味の切れ目）初句切れ

くくる （括る）→くくる 締めくくる、ひもでくくる

くぐる （潜る）→くぐる かい

くぐる、くぐり抜ける、門をくぐる

くげ ㊥公家

くげ (＊供花・)→供華〔仏教用語。一般には供花＝きょうか〕

くけい (矩△形)→㊥長方形

くさい

＝臭い〔におう〕汗臭い、かび臭い、きな臭い、臭い物にふた、臭み、焦げ臭い、酒臭い

＝くさい〔比喩的表現〕うさんくさい、きなくさい〔不穏〕、楽人くさい、照れくさい、泥くさい〔やぼったい〕、水くさい人だ、面倒くさい

くさきぞめ 草木染

くさす (腐す・)→くさす

くさび (楔△)→くさび　くさび形、くさびを打ち込む、くさびを差す

くさる 腐る　腐らす、腐れ縁、持ち腐れ

くし (櫛△)→くし

くし 串　串焼き、玉串

くじ (籤△)→くじ　くじ運、くじ引き(券)、貧乏くじ

くじく (挫く・)→くじく　足をくじく、くじける、強きをくじく

くしくも ㊦(奇しくも・)→くしくも

くじゅう

＝苦汁〔苦い経験〕苦汁の日々、苦汁をなめる

＝苦渋〔心の苦しみ〕苦渋に満ちた顔、苦渋の色・決断・選択・表情

くじら クジラ・鯨〔動物〕シロナガスクジラ、マッコウクジラ、ミンククジラ、鯨尺、歯鯨、ひげ鯨

くず (屑△)→くず　くず入れ、くず箱、屋くず

くず (葛・)→クズ〔植物〕くず粉、くず餅、くず湯

ぐず (愚図)→ぐず　ぐずる

くずおれる (頽△れる、崩折れる)→くずおれる

くずす 崩す　崩し書き、崩し字、崩れる

くすだま (薬・玉)→くす玉

くすのき (樟△、楠△)→クスノキ〔植物。クスの木としない〕

くすぶる (燻△る)→くすぶる

くせ 癖　癖毛、無くて七癖〔注〕「くせ球・」は平仮名書き。

くせもの (曲者)→くせ者〔状

態・物事の場合は「その親切がくせものだ」などと平仮名書き〕

くだ 管　管を巻く

くだく 砕く　砕ける

ください・くださる (を)下さい・(を)下さる　お手紙を下さい、しばらくの猶予を下さい、褒美を下さる

…ください 〔補助動詞の場合〕(して)ください　ご検討ください、ご注意ください、ご了承ください

くだし・くだり… 下し薬、下り坂、下り列車

くだす (降す)→下す　宿敵を下す、手を下す、命令を下す

くだもの (慣)果物

くだらない (下らない)→くだらない〔つまらない、価値がない〕

くだり (件、条)→くだり〔文章の一部分〕

くだり (行)→くだり〔文章の1行〕三くだり半

くだる (降る)→下る　軍門に下る、野に下る

くち… 口開け、口当たり、口移し、口裏を合わせる、口惜しい＝くちおしい、口利き、口汚い、口切り、口癖、口答え、口ごもる、口さがない、口寂しい、口ずさむ、口酸っぱく、口添え、口頼み、口止め(料)、口直し、口の端、口走る、口幅ったい、口早、口火を切る、口ぶり、口汚し、口をつぐむ

ぐち 愚痴　愚痴る

くちこみ 口コミ〔マスコミをもじった口伝えの情報〕

くちづけ くちづけ・口づけ

くちづたえ 口伝え

くちづて (口伝て)→口づて

くちばし (嘴、口ばし)→くちばし　くちばしを入れる

くちもと (口許)→口元

くちる 朽ちる　朽ち木、朽ち果てる

くつ (沓)→靴　雨靴、革靴、靴下、靴墨、靴擦れ、靴ひも、靴磨き、ゴム靴

〔注〕「木ぐつ、わらぐつ」は平仮名書き。

くつがえす 覆す　覆る

くっさく (掘鑿)→掘削

くったく (屈托)→屈託

くっつく（食っ付く）→くっつく

くっぷく（屈伏）→㊀屈服

くつろぐ（寛ぐ）→くつろぐ

くとうてん 句読点

くどく 功徳　功徳を積む

くどく 口説く　口説き文句

くに 国　お国入り、お国柄、お国自慢、国替え、国詰

〔注〕郷里の意味で使う場合は平仮名書きも活用する。

くにづくり（国作り）→国造り

くにもと（国許）→郷里、国元

くはい（苦盃、苦敗）→苦杯

くばる 配る　気を配る、配り物、目配り

くび 首　首飾り、首かせ、首くくり、首っ丈、首っ引き、首つり、首にする、首根っこ、首巻き、首輪

くびきり（首切り）→解雇、人員整理

〔注〕解雇の過酷さ、不当性を強調する場合は「首切り」を使う。

くびじっけん（首実験）→首実検

くふう（工風）→工夫

くぼ（窪）→くぼ地、くぼみ、盆のくぼ

くま クマ・熊〔動物〕木彫りの熊、クマザサ、クマゼミ、クマタカ、熊手、熊の胆、クマバチ、ツキノワグマ、ヒグマ

くまどり（隈取り）→隈取り

〔歌舞伎〕

くまなく ㊀（隈無く）→くまなく

くみ
＝組み〔動作を伴う用法、組み合わせ〕足組み、石組み、腕組み、大組み、組み合わす、組み糸、組み入れる、組み打ち、組み敷く、組み写真、組み体操、組み立て（式）、組み違い、組み手〔空手の種目は組手〕、組み版、組みひも、組み物、3枚組みの写真、仕組み、柱組み工法、枠組み、縁組、組合、組曲、組立【工場・業】

＝組〔グループ〕赤組、組員、組替え（クラス替え）、組頭、組違い同番号、組長、3組の夫婦、3人組

くみかえ
＝組み替え〔一般用語〕予算の組み替え

＝組み換え〔限定用語〕遺伝子の組み換え

くみする　（与する、組する）→くみする　くみしやすい

くむ

＝酌む〔器につぐ、考慮・配慮する〕気持ちを酌む、酒を酌み交わす、事情を酌む、人の心を酌む

＝（汲む）→くむ〔すくう、摂取〕意見をくみ上げる、誠意がくみ取れる、流れをくむ、水をくむ

くも　雲　雲脚、雲隠れ、雲間、雲行き、雲を突く

くも　（蜘蛛）→クモ〔動物〕クモの子を散らす、くも膜下出血〔病名〕

くもり　曇り、曇〔表・記号の場合〕曇りがち、曇り空

くもる　曇る　顔を曇らす、曇りガラス

くもん　（苦悶）→苦しみ、苦悶

くやしい　（＊口惜しい）→悔しい　悔し泣き、悔し紛れ

くやむ　悔やむ　お悔やみ（状）

くゆらす　（燻らす、薫らす）→くゆらす

くよう　（供要）→供養

くら

＝倉〔倉庫など〕倉荷証券、倉渡し（価格）、製品を倉に納める

＝蔵〔土蔵など、古風な慣用語に〕穴蔵、お蔵入り、お蔵にする、蔵ざらえ、蔵出し（の酒・みそ）、蔵出し税、蔵払い、蔵開き、蔵元、米蔵、酒蔵

くら　（鞍）→くら　くら替え

くらい

＝位〔名詞〕気位、位が高い、位人臣を極める、位取り、位に就く、位負け

＝くらい〔助詞〕彼ぐらい、30歳ぐらい、中ぐらい、どのくらい

くらう　食らう　面食らう

くらげ　（＊水母、＊海月）→クラゲ〔動物〕

くらす　暮らす　暮らし向き

くらべる　（較べる、競べる）→比べる

くらます　（晦ます、暗ます）→くらます　姿をくらます、人の目をくらます、目くらまし、行方をくらます

くらむ　（眩む、暗む、晦む）→くらむ　金に目がくらむ、絶

壁に目がくらむ、立ちくらみ

くらやみ 暗闇

くり クリ・栗〔植物〕甘栗、栗きんとん、栗毛、栗ご飯

くり 〔庫裡〕△→庫裏

くり… 繰り上げ、繰り合わせる、繰り替え〔金・払い〕、繰り返し、繰り言、繰り込む、繰り下げ、繰り出し金、繰り出す、繰り延べ〔資産〕、繰り広げる

くりいれ 繰り入れ〔基準、計算〕次期繰り入れ、繰入《金》、繰入剰余金、繰入利益・損失、繰入利益金・損失金

経済複合語(102ページ)

くりこし 繰り越し〔計算〕次期繰り越し、繰越《高》、繰越剰余金・額、繰越利益・欠損、繰越利益金・欠損金

経済複合語(102ページ)

くりぬく 〔刳り貫く、くり抜く〕△→くりぬく

くる 繰る ページを繰る

くる =来る〔助詞〕朝が来る、台風が来る、手紙が来る、電車が来る、友達がやって来る

=くる 〔補助動詞、「来る」の意味が薄れた場合〕頭にくる、行ってくる、帰ってくる、かちんとくる、してくる、なってくる、ぴんとくる

くるう 狂う 狂おしい

くるしい 苦しい 苦し紛れ、苦しむ、苦しめる

くるま 車 車止め、車寄せ

くれぐれも ㊐(呉々も)→くれぐれも

くれない 紅 紅のバラ

くれる 暮れる 悲しみに暮れる、暮れなずむ春の空、暮れも押し詰まる〔押し迫るとも〕、途方に暮れる、日が暮れる、夕暮れ

ぐれんたい 〔愚連隊〕→ぐれん隊

くろ 黒 黒々、黒焦げ、黒ずくめ、黒っぽい、黒塗り、黒光り、黒め〔加減〕、黒目がち、黒枠、どす黒い

ぐろう 〔愚弄〕→からかう、侮る、ばかにする、愚弄

くろうと ㊐玄人 玄人はだし

くろがね 〔鉄〕→くろがね

くろこ 〔黒衣〕→黒子〔歌舞伎、浄瑠璃など。「くろご」とも〕

黒子に徹する

くろんぼ ⊗(クロンボ、黒んぼ) ↓黒人 ⇔差別語、不快用語(493ページ)

くわ クワ・桑〔植物〕桑畑

くわいれ (鍬入れ)↓くわ入れ

くわえる ＝加える 一撃を加える、危害を加える、手心を加える、仲間に加える

＝(銜える、咥える、食わえる) ↓くわえる くわえたばこ、猫が魚をくわえる、指をくわえる

くわしい (委しい、精しい)↓詳しい

くわせもの ＝食わせ物〔偽物〕 ＝食わせ者〔くせ者〕

くわだてる 企てる

くんかい (訓誡)↓訓戒

ぐんき (軍規)↓㊟軍紀

くんじ (訓辞)↓㊟訓示

ぐんしゅう ＝群衆〔人の群れ〕群衆に紛れる、群衆を扇動する、数万の群衆、大群衆

＝群集〔人・物が集まる〕群集劇、群集心理、群集墳、やじ馬が群集する

くんじょう (燻蒸)↓燻蒸

ぐんじょう 群青(色)

くんせい (燻製)↓燻製

ぐんせい (群棲)↓群生

ぐんせい 軍政 軍政を敷く

くんとう (訓陶)↓燻陶

【け】

け… 毛並み、毛織物

…け・げ 味気ない、嫌気、色気、飾り気、食い気、産気、湿り気、邪魔っ気、しゃれっ気、商売っ気、素っ気ない、ちゃめっ気、粘り気、眠気、吐き気、火の気、混じり気、若気の過ち

〔接尾語的な用法は平仮名書き〕

危なげない、憎しげもなく、大人げない、おぼろげ、悲しげに、かわいげがない、けなげ、寂しげ、寒けがする、さりげなく、自信ありげ、親しげ、心配げ、楽しげ、何げな

く、憎々しげに、人けがない、不安げ、誇らしげ、満足げ、珍しげ、物欲しげに、訳ありげ

けい

＝形〔すがた、かたち〕雲形、円形、外形、活用形、奇形、球形、胸郭成形、形式、(原)形質、形勢、形成外科、原形〔元のかたち〕、固形、三角形、字形、象形文字、陣形、図形、整形外科、扇形、㊙造形、体形、隊形、地形、定形郵便物、馬てい形、美形、変形(する)、有形・無形、U字形、流線形

＝型〔かたどる、模範となるもの〕規格成型、(鋳物などの)原型、紙型、定型業務、定型詩、典型、飛型点〔ジャンプ競技〕、(○○の)変型、母型、無定型、模型、理想型、類型

けいがい 形骸 形骸化

けいがん (炯眼、慧眼)→眼力、洞察力、見識

げいぎ (芸妓)→芸者、芸妓(芸妓とも)

けいけん (敬虔)→信心深い、信仰心のあつい、敬虔

けいこ 稽古・けいこ

けいご (警固)→警護

けいこう 蛍光(灯・塗料)

けいさん (珪酸)→㊙ケイ酸

けいじじょうがく (形而上学)→㊙形而上学

けいしょう (軽小)→軽少

けいすう

＝(系数)→係数〔科学用語〕エンゲル係数、摩擦係数

＝計数〔計算〕計数管、計数器、計数整理、計数に明るい

けいせん (繋船)→係船

けいせん (罫線)→けい線

けいそ (珪素、硅素)→㊙ケイ素

けいそう (繋争)→係争

けいぞく (繋属)→係属

けいそつ (軽卒)→軽率

けいたい (形体)→形態(学)

けいだい 境内

けいちつ (啓蟄)→啓蟄

けいちょう (軽佻)→軽薄、浮ついた、上っ調子 軽佻浮薄

けいとう (鶏頭)→ケイトウ・鶏頭〔植物〕

けいどうみゃく (頸動脈)→頸動脈〔身体器官〕

けいばつ（閨閥）→閨閥（けいばつ）
けいぶ（頸部）→首、頸部（けいぶ）
けいべつ　軽蔑
けいま（桂馬）→㊒桂馬〔将棋。囲碁はケイマ〕
けいもう（啓蒙）→啓発　啓蒙（けいもう）思想・主義
けいら（警邏）→巡回、パトロール
けいり（計理）→経理
けいりゅう（谿流）→渓流
けいりゅう（繋留）→係留
けいれん（痙攣）→けいれん、ひきつけ
けいろ（径路、逕路）→経路
けう（希有、稀有）→まれ、珍しい、希少
けおされる（気圧される）→気おされる
けおとす　蹴落とす
けが（怪我）→けが
けがす　汚す　汚れる
けがらわしい　汚らわしい
げき
＝劇　劇症肝炎、劇毒、劇物、劇薬
＝激　急激、激臭、激暑、激賞、激職、激震、激甚、激戦、激痛、激変、激務、激烈、激論
げき（檄）→げき　げきを飛ばす、げき文・檄文（げきぶん）
〔注〕「げきを飛ばす」は本来、激励の意味ではない。自分の主張を強く訴え広く決起や同意を促すことで、「檄文」はその文書。
げきか
＝劇化〔小説・事件などを演劇に脚色〕○○事件を劇化
＝激化〔激しくなる〕激化の一途をたどる、対立が激化した
げきこう・げっこう（激昂）→激高、憤激、激怒
げきりんにふれる（逆鱗に触れる）→（目上の人を）激怒させる、逆鱗（げきりん）に触れる
けげん（怪訝）→けげん
げこ　下戸
げこくじょう（下剋上）→下克上
けごん　華厳
けさ　㊒今朝・けさ　㊓日時の書き方（528ページ）
けさ（袈裟）→けさ　けさ懸け
げざい（解剤）→下剤
けし（芥子、罌粟）→ケシ〔植物〕けし粒
けし…　消し込み（操作・伝票）、消しゴム、消し炭、消し飛

ぶ

げし 夏至
けしいん 消印
けしき ㊀景色
けしきばむ 気色ばむ
けしょう 化粧 化粧まわし
けしん (化神)→化身
けずる 削る 鉛筆削り、削り節
げせない 解せない
けた 桁 井桁、桁違い、桁外れ、橋桁、2桁
げた (下駄)→げた
けだもの (獣)→けだもの
けだるい 気だるい
けち (吝嗇)→けち けちくさい、けちをつける
けっかい (決潰)→決壊
けつがん (頁岩)→頁岩、泥板岩

けっき (蹶起)→決起
けっきょく ㊁結局
げっけいじゅ (月桂樹)→ゲッケイジュ・月桂樹〔植物〕
けっこうずくめ 結構ずくめ
けっこん 血痕
けっさい
‖決済〔取引の完了〕為替決済、決済通貨、債務の決済、手形の決済
‖決裁〔責任者による採否決定〕決裁を仰ぐ、社長の決裁、稟類を決裁する、大臣の決裁
けっして ㊁決して
けっじょ (闕如)→欠如
けっしょう (血漿)→血漿 血漿製剤、血漿タンパク質
けっしょうばん 血小板 血小板因子、血小板輸血

げっしょく (月蝕)→月食
けっしん (決審)→結審
けっせん
‖決戦〔最後の勝負〕決戦を挑む、短期決戦
‖決選〔決定選挙の略〕決選投票
けつぜん (蹶然)→決然
けっちゃく (結着)→㊁決着
げっぷ 月賦(払い)
けつべつ (訣別)→決別
けつまくえん 結膜炎〔病名〕
けづめ (蹴爪)→蹴爪
げてもの (下手物)→げてもの
けとう ⊗(毛唐)→外国人
げどく (下毒)→解毒
けとばす 蹴飛ばす
けなげ (健気)→けなげ
けなす (貶す)→けなす
げねつ (下熱)→解熱(剤)

けねん 懸念

けば (毳△、毛羽)→けば　けばけばしい、けば立つ

けびょう 仮病

けまり (蹴鞠)→蹴鞠(けまり)

けむ (煙)→けむ(に巻く)

けむい 煙い　煙たい

けむり 煙　煙に巻かれる(火事など)、砂煙、湯煙

けむる 煙る　線香が煙る

ける 蹴る　蹴散らす、蹴られる、蹴り返す

けれん (外連)→けれん　けれん味

けわしい 険しい

けん 険　険のある顔、天下の険

げん ＝原〔もと、おこり、物事のはじめ〕原作、原子(力)、原始人、原色、原始林、原人、原図、原寸大、原生林、原石、原体験、原点、原動力、原本、原油、原料、病原(菌・体)

＝源〔物事の発するもと〕起源、供給源、源流、光源、語源、根源、財源、資源、震源地、水源(地・池)、電源、熱源

＝元〔一番はじめ、要素〕改元、還元、紀元、元旦、元号、元素、元老、次元、㊞復元

げん 験　験がいい、験担ぎ、験直し、修験者

げんいん (牽△引)→引っ張る、先導、リードする、けん引(車・役)

けんうん (絹雲)→㊞巻雲

けんお 嫌悪

けんか (喧△嘩△)→けんか、争い

けんか (県下)→県内〔注〕中央から見下した「県下、都下、府下」は使わない。

げんか (元価△)→原価

げんがく (絃楽)→弦楽

げんかしょうきゃく (原価消▲却▲)→減価償却

けんかしょくぶつ 顕花植物

げんがっき (絃△楽器)→弦楽器

けんがみね 剣が峰

けんぎ 嫌疑〔嫌疑者は使わず容疑者とする〕

けんきょ (検挙)→摘発〔逮捕、補導、任意調べ〕

〔注〕統計記事などで「検挙」を使う場合もある。㊟法令関連用語(600ページ)

げんきょう (元兇△)→元凶

げんけい
＝原形〔もとの形、自然の形〕原形をとどめない
＝原型〔出来上がりのもととなる型、その形式〕鋳物の原型、弥生遺跡の原型

けんげん
＝権限〔職権、法令・契約などに基づく権能の範囲〕各省の権限争い、職務権限
＝権原〔権利の発生する法律上の原因〕占有の権原

けんげん（献言）→建言

けんけんごうごう（喧々囂々）△
→けんけんごうごう

げんこつ（拳骨）→げんこつ

けんこんいってき（乾坤一擲）△
→のるかそるか、いちかばちか・イチかバチか、乾坤一擲

けんざい
＝健在〔元気で変わりない〕ベテラン健在、両親ともに健在
＝顕在〔形となって現れる〕確執が顕在化する、顕在失業

げんさい 減殺

けんさく（建策）→献策

けんさく 検索

けんさん（研鑽）△→研究、研さん

けんし（検死）→㊙検視

けんし
＝繭糸〔まゆから取った糸〕
＝絹糸〔きぬいと〕絹糸紡績

げんし
＝（源資）→原資〔資金源、財政投融資に向けられる資金源〕原資を確保する
＝減資〔資本を減らす〕減資と増資

けんじつ（健実）→堅実

けんじゅう 拳銃

けんしゅん（嶮峻）△△→険阻、険しい

げんじょう
＝（現悩）→現状〔現在の状況・状態〕現状維持、現状分析、現状を打破する
＝原状〔元のままの状態・形〕原状回復、原状に戻す

けんしん
＝健診〔総合的な健康診断〕高齢者健診、乳幼児健診、春の定期健診
＝検診〔主に特定疾患を対象とした検査〕胃の集団検診、乳がんの検診

けんせい（牽制）→けん制
けんせき（譴責）→けん責（処分）
けんせきうん（絹積雲）→学
　巻積雲
げんせん（原泉）→源泉
げんぜん（儼然）→厳然
けんそ（嶮岨）→険阻、険しい
げんそ（原素）→元素
けんそう（喧噪、喧騒）→やかましい、騒々しい、騒がしさ
けんそううん（絹層雲）→学
　巻層雲
げんそく　舷側
げんぞく（還俗）→俗人に返る、復飾、還俗
けんそん　謙遜
けんたい（倦怠）→倦怠　倦怠感
けんだま（剣玉、拳玉）→けん玉
げんち　言質
けんでん（喧伝）→言いはやす、言い立てる、言い触らす、吹聴
けんどじゅうらい（捲土重来）→巻き返し、捲土重来〔「けんどちょうらい」とも〕
げんに　副現に　現に見た
げんに　副厳に　厳に戒める
けんのん（剣呑）→けんのん
けんばん　鍵盤
げんばん
＝原板〔写真。「げんぱん」とも。映像フィルムは「オリジナルフィルム」など別の表現にする〕
＝原盤〔レコード、CD〕
げんぱん　原版〔印刷。「げんばん」とも〕
けんぶん（見分）→検分
〔注〕「実況見分」は例外。
けんぺいりつ（建蔽率）→建ぺい率
〔注〕「蔽」は漢字表にある字だが法令の表記に合わせる。
けんぽう　拳法
けんま（研摩）→研磨
けんまく（権幕、剣幕、見幕）→けんまく
けんもほろろ（剣もほろろ）→
　けんもほろろ
けんらん（絢爛）→きらびやか、華麗　豪華絢爛
けんろう（堅牢）→堅固、丈夫
げんわく（眩惑）→幻惑

【こ】

こ… 小柄、小刻み、小言、小じゅうと、小競り合い、小高い、小遣い銭、小手調べ、小手投げ、小生意気、小憎らしい、小ばかにする、小走り、小太り、小ぶり、小降り、小回り、小難しい

…っこ

＝っ子〔こども、人〕甘えっ子、いたずらっ子、売れっ子、江戸っ子、駄々っ子

〔注〕「縋っ子」など子どもにレッテルを貼るような表現は使わない。「チビっ子」もなるべく使わない。

＝っこ〔接尾語〕教えっこする、駆けっこ、隅っこ、抱っこ、慣れっこ、にらめっこ

ご

＝御〔接頭語、漢字で書く慣用が強いもの、固有名詞的なもの〕切り捨て御免、御詠歌、御三家〔徳川家〕、御所、御神火、御前試合、御殿、御紋、御用〔捕物〕、御用学者、御用達、御用邸、御来光、御利益、御陵、御料地・林、天下御免

＝ご〔接頭語〕ごあいさつ、ご意見番、ご縁がある、ご機嫌〔斜め〕、ご協力、ご結婚、ご三家〔芸能界など〕、ご祝儀、ご神体、ご存じ、ご多分に漏れず、ご当所、ご当地、ご法度、ご飯、ご本尊、ご無用、〔二度とごめんだ、ごめんなさい、〔酒店のご用聞き、〔何か〕ご用ですか、ご臨終、そういうご仁

こい

＝恋〔一般的用法〕恋歌、恋路、恋しい、恋仲、恋文、恋煩い

＝恋い〔主として複合動詞〕恋い焦がれる、恋い慕う

こい 濃い　濃いお茶、濃い口、濃いめ、濃茶〔茶道〕

こい (鯉)△→コイ〔動物〕こいこく、コイの洗い、コイの滝登り

ごい (語彙)→語彙(ごい)

〔注〕ある範囲で使われる単語の総体・集まりのこと。「その語彙はおかしい」とは言わない。

こいき 小粋

こいぬ

＝子犬〔生まれたての犬〕

＝小犬〔小型の犬〕

こいねがう（希う、冀う、請い願う）→こいねがう

こいのぼり（鯉幟）→こいのぼり

こう

＝請う〔請求、請願〕案内を請う、許可を請う、請われて出馬する、紹介を請う

＝乞う〔名詞形など〕雨乞い、いとま乞い、命乞い、乞うご期待、慈悲を乞う

ごう

＝剛〔かたい、しっかりしている、柔の対語〕外柔内剛、㊥剛(速)球、剛健、剛体、剛直、剛の者、剛腹、剛腕〔豪腕とも〕

＝豪〔勇ましい、たけだけしい、権勢〕㊥強豪、豪雨、豪快、豪傑、豪語、豪打、豪邸、豪遊、古豪、酒豪、富豪

＝強〔強い、勢力がある〕強引、強弓、強情、強訴、強欲、強力

ごう（業）業が深い、業を煮やす

ごう（濠）→堀、溝、濠

ごう（壕）→塹壕、防空壕

こうい

＝好意〔親切な気持ち、慕わしい気持ち〕好意的な扱い、好意を寄せる

＝厚意〔思いやりの気持ち。他人の行為に対して使う〕ご厚意に感謝する

こういん（拘引）→勾引(状)

〔注〕無理に連れて行く場合は「拘引」も使う。

こううん（好運）→幸運

こううんき（耕耘機）→耕運機

こうえい（後裔）→子孫

こうえん

＝口演〔口で述べる〕口演童話、講談・浪曲などの口演

＝公演〔演技・演奏などの公開〕○○劇団の初公演

＝好演〔すぐれた演技・演奏〕脇役が好演

＝講演〔公衆に講義する〕環境問題で講演する

ごうおん

＝号音〔合図の音〕号音一発

＝轟音→ごう音〔とどろき渡る大きな音〕戦闘機のごう音

こうがい　梗概

〔注〕なるべく「概要、あらまし、粗筋」などとする。

こうがい（慷慨）→憤慨　悲憤

慷慨(こうがい)

こうがく
＝向学〔学問を志す〕向学心
＝好学〔学問を好む〕好学の士
＝後学〔今後のためになる学問、後進の学者〕後学のために、後学の徒

こうかつ（狡猾△△）↓ずる賢い、悪賢い

こうかん
＝交歓〔ともに楽しむ〕新年交歓会
＝交換〔取り換える〕エールの交換、交換留学生、物々交換、名刺の交換

こうかん（巷△間）↓世間、ちまた

ごうかん（強姦△）↓女性暴行、性的暴行、乱暴

〔注〕被害者が特定される恐れがない場合に限り、罪名・容疑名に「強姦(ごうかん)」を使ってもよい。⇔性犯罪の被害者（539ページ）

ごうがん（傲岸）↓横柄、尊大、傲岸(ごうがん)　傲岸不遜

こうかんしんけい　交感神経〔身体器官〕

こうがんむち　厚顔無恥

こうき
＝校規〔学校の規則〕校規に違反
＝校紀〔学校の風紀〕校紀を乱す

こうぎ（講▲議）↓講義

こうぎ（交誼、厚誼△、好誼△）↓親しい交わり、厚いよしみ

ごうき
＝（剛毅△）↓剛毅(ごうき)〔意志が強くくじけない〕
＝豪気〔気性が大きくこだわらな

い〕

こうきしゅくせい（綱規▲粛清▲）↓綱紀粛正

こうきしん（好気心▲）↓好奇心

ごうきゅう（強球、豪球）↓㊎剛球

こうきょ（溝渠△）↓溝

こうぎょう（礦業）↓鉱業

こうぎょう
＝興行〔演芸・スポーツなどを催す〕興行会社、興行ビザ、秋季興行、地方興行
＝興業〔産業や事業を興す〕殖産興業

こうきん（勾禁）↓拘禁　拘禁反応

こうぐう（好▲遇）↓厚遇

こうくうげか（口腔△外科）↓口(こう)腔外科

こうげん
＝公言〔はばからず堂々と言う〕
＝広言〔はばからず放言する〕
＝高言〔偉そうに大言を吐く〕
＝巧言〔口先がうまい〕巧言令色

こうげん（抗元）→抗原

こうこう（口腔）→口腔〔一般用語、動物関係。医学用語は口腔〕☞「びこう」「ふくこう」の項

こうごうしい 神々しい

こうこうや（好々爺）→好々爺

こうこく
＝広告〔世の中に広く知らせる〕意見広告、誇大広告、全面広告、中づり広告
＝公告〔官庁などが広告・掲示で一般市民に知らせる〕官報に公告、競売公告、公告縦覧
＝抗告〔上級の裁判所に不服を申し立てる〕準抗告、即時抗告☞法令関連用語（601ページ）

こうこつ（恍惚）→うっとり、恍惚

こうさい 虹彩〔身体器官〕

こうさてん（交叉点）→交差点

こうし 格子 格子じま、格子戸、鉄格子

こうし（嚆矢）→最初、発端、嚆矢

こうじ 公示〔総選挙・参院通常選挙の場合〕☞「こくじ」の項

こうじ 好餌

こうじ 小路

こうじ（麹、糀）→こうじ こうじ菌、米こうじ

ごうし（合祀）→合祀

こうじまおおし 好事魔多し

ごうしゃ（豪奢）→豪華、豪勢

こうしゅ
＝好守〔うまい守備〕好守好打の応酬
＝攻守〔攻撃と守備〕攻守所を変える、攻守のバランスがいい

こうじゅつ
＝口述〔口頭で述べる〕口述試験、口述筆記
＝公述〔公聴会などで意見を述べる〕公述人
＝後述〔後で述べる〕詳細は後述

こうしょう（哄笑）→高笑い、大笑

こうしょう
＝高尚〔上品〕高尚な趣味
＝好尚〔好み、流行〕時代の好尚

こうじょう（口状）→口上 切

り口上、口上書き

ごうじょう（剛情）→強情

こうじょうせん　甲状腺〔身体器官〕

こうしょはじめ　講書始

こうじる（嵩じる）→高じる〔高ずるとも〕趣味が高じる、わがままが高じる

こうしん（昂進、亢進）→高進〔注〕病名では「亢進」を使う。

こうしん
＝後進〔後から進んでくる〕後進に道を譲る、後進を育成する
＝後身〔生まれ変わった身〕貴族院の後身である参議院

こうしんじょ（興信所）→信用調査会社

こうずか　好事家

こうせい
＝後世〔のちの世、のちの時代〕名を後世に残す
＝後生〔あとから生まれる者、後塵〕後生畏るべし

こうせい
＝（甦生）→更生〔生まれ変わる、生きかえる、再起〕会社更生法、更生会社、（生活保護法の）更生施設、更生して再出発、更生担保、更生保護施設、自力更生、前非を悔いて更生、古着を更生する
＝更正〔あらため正す〕更正処分、更正登記、更正予算、税金の更正決定
＝厚生〔生活を豊かにする〕厚生施設、厚生年金、福利厚生

こうせいぶっしつ（抗性物質）→抗生物質

こうせき（礦石）→鉱石

こうせきそう　洪積層

こうせつ（巷説）→風説、（世間の）うわさ

こうせん
＝交戦〔戦いを交える〕交戦国、交戦状態
＝抗戦〔抵抗して戦う〕徹底抗戦
＝好戦〔すぐ武力に訴える〕好戦的

こうそ
＝控訴〔一審の判決に対する不服申し立て〕原告が控訴する、控訴期間、控訴審
＝公訴〔刑事事件で検察官が裁判所に有罪の判決を求める訴え〕公訴時効

〔注〕「控訴棄却」と「公訴棄却」が

あることに注意。

こうそう（宏壮）△→広壮

ごうそう（豪荘）→豪壮

こうそく　梗塞　心筋梗塞、脳梗塞

ごうそっきゅう（豪速球）→㊟豪剛速球

こうた　小唄

こうたい（交替）△→㊟交代

こうだい（宏大）△→広大

こうたいじんぐう（皇太神宮）▲→皇大神宮

ごうたん（剛胆、強胆）→㊟豪胆

こうち　巧緻

〔注〕なるべく「精巧、巧妙」などとする。

こうち（狡知、狡智）△△→悪知恵

こうち　拘置　拘置所 ➡「こうりゅう・こうち」の項

こうちゃく（膠着）△→行き詰まり、手詰まり、膠着（こうちゃく）

こうちょう

＝公聴〔一般用語〕公聴会

＝広聴〔行政用語〕広聴活動

こうつうどめ（交通止め）→通行止め

〔注〕交通は広い範囲の総合的、抽象的な概念。「交通が止まる」は使用可。

こうてい

＝工程〔作業の進行する順序・過程〕製造工程

＝行程〔目的地までの道のり、日程〕1日の行程、目的地まで2日の行程

＝航程〔船・飛行機の道のり〕

こうてい（校定）→校訂

こうでい　拘泥、こだわる

こうていえき（口蹄疫）△→口蹄疫（こうてえき）〔動物病名〕

こうてつ（交迭）▲→更迭

こうでん（香奠）△→香典

こうとう（昂騰）△→高騰

こうとう

＝口答〔口で答える、筆答の対語〕

＝口頭〔口で述べる〕口頭試問、口頭審理、口頭弁論

こうとう　喉頭〔身体器官〕

こうとうむけい　荒唐無稽

こうどく

＝購読〔買って読む〕雑誌を購読する、新聞の購読料

＝講読〔読んでその意味を説き明かす〕原書講読、講読会

こうない

＝校内〔学校の中〕校内放送、校

内暴力

＝構内〔建物や敷地の中〕駅の構内、大学構内

ごうのもの　(豪の者、強の者)↓剛の者

こうばい　勾配

こうばしい　(芳ばしい)↓香ばしい

ごうはら　業腹

こうはん　(広汎)↓㊒広範

〔注〕病名では「広汎」を使う。

こうはん　甲板〔「かんぱん」とも〕

こうはんいいん　甲板員

こうふ

＝交付〔金銭・書類を渡す〕免許証の交付

＝公布〔法令・条約を国民に知らせる〕憲法の公布

こうふ　⊗(坑夫)↓炭鉱員、坑内員、鉱員

こうふく　(降服)↓㊒降伏

ごうふく　(豪腹、強腹)↓剛腹

こうふん

＝(昂奮、亢奮)↓興奮〔感情が高ぶる〕興奮冷めやらぬ、熱戦に興奮するファン

＝公憤〔正義の憤り〕公憤を禁じ得ない、政界の腐敗に公憤を覚える

こうふん　(口吻)↓口ぶり、口先

こうべ　(首、頭)↓こうべ　こうべを垂れる

ごうべん　合弁(資本)

〔注〕外国企業と共同で経営すること。国内企業同士は「共同出資」。

こうほう

＝(弘報)↓広報〔官公庁や企業・団体などが一般に広く知らせる活動〕広報活動、広報紙・誌、政府広報

＝公報〔官公庁の公式の報告、公示など〕選挙公報、戦死公報

こうぼう　(光芒)↓光、光線

ごうほう　(剛放)↓豪放　豪放磊落

こうまい　(高邁)↓秀でた、高い、気高い

ごうまん　(傲慢)↓傲慢

こうむる　(蒙る)↓被る

こうもり　(蝙蝠)↓コウモリ

〔動物〕こうもり傘

こうもん　(肛門)↓㊒肛門

こうや　(曠野)↓広野

こうや　紺屋〔「こんや」とも〕

こうやく（膏薬）△→こう薬

こうゆう

＝**交友**〔友人としての交際〕学生時代からの交友、交友関係

＝**交遊**〔一般的な交際〕交遊録、政治家との交遊

こうよう（昂揚）△→高揚

こうり（行李）△→こうり

こうり 小売り〔契約、実績、マージン〕小売《商》、小売売上高、小売市場、小売値、小売標準価格、小売物価指数、小売平均価格、小売利潤 ⇨経済 複合語（102ページ）

こうりがし 高利貸〔職業〕

こうりゅう・こうち

＝**勾留**〔容疑者・被告の拘禁〕勾留状、勾留理由開示の法廷、未決勾留

〔注〕外国の事案では一般用語として「拘束」を使う。

＝**拘留**〔30日未満の自由刑〕20日の拘留に処せられる

＝**拘置**〔刑の言い渡しを受けた者の拘禁〕

⇨法令関連用語（603ページ）

こうりょう（宏量）△→広量

こうりょう（荒寥）△→荒涼

こうれい 高齢（者）

こうろ

＝**行路**〔通り道、世渡り〕行路病者、人生行路

＝**航路**〔船・航空機のルート〕航路標識

こうをそうする（効を奏する）→功を奏する

こえ 肥 肥だめ、下肥、元肥

こえる 肥える

こえる・こす

＝**越**〔ある場所・地点・時を過ぎて先に進む〕頭越しに、一線を越える、インターホン越しに、垣根・壁・柵・ハードル・ピーク・ラインを越える〔比喩的にも〕、期限を越える、車で国境を越える、K点を越える、県境を越えた合併、権限を越える、それに越したことはない、峠・山を越える、年を越す、度を越したいたずら、引っ越す、冬を越す、60の坂を越す

＝**超**〔ある基準・範囲・程度を上回る〕気温が30度を超える、基準を超える、警戒水位を超える、限度・程度を超える、50％を超える、10万人を超す、

制限量を超える、範囲・枠を超える、1兆円を超す、平均寿命が80歳を超える、目標を超える

〔通常の概念・区分をこえる、勝る〕国境を超えた愛・平和運動〔比喩的〕、師匠を超える、時代・世代を超える、主義・立場を超える、素人の域を超える、想像を超える、理解を超えた存在

〔注〕「勝ち越し、乗り越える、見越す、持ち越す」など複合語は原則として「越」を使う。

ごえん（誤嚥△）→誤飲、誤嚥（ごえん）性肺炎〔病名〕

こおどり（雀躍△り）→小躍り

こおり 氷 氷詰め

こおる（氷る）→凍る 凍り付く、凍り豆腐、土が凍る

こおろぎ（蟋蟀△△）→コオロギ〔動物〕

ごかく（互格、牛角）→互角

ごかじょうのごせいもん 五箇条の御誓文

こがす・こがれる 焦がす・焦がれる 煮物を焦がす、待ち焦がれる、身を焦がす

こかつ（涸渇△）→枯渇

こがね 黄金 黄金色、黄金作り

こがねむし コガネムシ・黄金虫〔動物〕

こがらし（凩△）→木枯らし

こかん 股間

ごかん

＝五官〔目・耳・鼻・舌・皮膚―の五つの感覚器官〕

＝五感〔見る・聞く・嗅ぐ・味わう・触れる―の五つの感覚・働き〕

こかんせつ 股関節

こき（古稀△）→古希

こきおろす（扱き下ろす）→こき下ろす

こきつかう（扱き使う）→こき使う、酷使する

こぐ（漕△ぐ）→こぐ こぎ着ける

ごく

＝極〔甚だしい意味の名詞を作る接頭語〕極悪、極寒、極彩色、極暑、極上〔品〕、極秘、極貧

＝ごく〔きわめて、副詞〕ごく一部、ごくごく、ごく親しい人

こくいっこく（副）刻一刻

こくう 虚空 虚空をつかむ

こくこく（副）刻々〔こっこく〕

ども〕

こくじ 告示〔国や自治体の決定の周知、衆参両院の補欠・再選挙、地方選挙、最高裁裁判官国民審査の場合〕内閣告示 ☞「こうじ」の項

こくじょう (国状)→㊟国情

ごくつぶし (穀潰し)→ごくつぶし

こけ (虚仮)→こけ こけおどし、こけにする

こけ (苔、蘚)→コケ〔植物〕こけむす、コケモモ

こけい (固型)→固形

こけらおとし (柿落とし)→こけら落とし〔新改築の劇場やホールの初興行〕

ごげる 焦げる 焦げ茶色

ごげん (語原)→語源

ここう 虎口 虎口を脱する

こごえる 凍える 凍え死に

ここち ㊟心地 居・着・座り心地、心地よい

ここの(つ) 九(つ)

こころ… 心温まる、心当たり、心意気、心得違い、心置き(なく)、心掛かり、心掛け、心構え、心変わり、心苦しい、心添え、心遣い、心尽くし、心付け、心積もり、心なしか、心憎い、心残り、心ばえ、心任せ、心もとない、心行くまで

…ごころ 歌心、絵心、親心、恋心、里心、下心、出来心、手心、真心、物心

こころざし 志 高い志を持つ

こころざす 志す

こころみる 試みる ㊟試みに

こころもち 心持ち・㊟こころもち

こころやり (心遣り)→心やり〔注〕気晴らし、憂さ晴らしの意味。思いやりの意味ではない。

こころよい (心良い)→快い

こざかしい (小賢しい)→小ざかしい

こさつ (古刹)→古寺、古刹(こさつ)

こざっぱり ㊟こざっぱり ざっぱりとした身なり

こさめ 小雨 ☞「しょうう」の項

ござん (午餐)→昼食〔注〕皇室・王室関係でも「昼食会」とする。☞「ばんさん」の項

ござんけ ＝御三家〔徳川家の尾張・紀伊・水戸家〕

＝ご三家〔芸能界など〕

こし 腰　腰当て、腰折れ、腰掛け、腰巾着、腰砕け、腰だめ、腰つき、腰投げ、腰巻き

こし （故紙）→㊥古紙

こじ ㊥居士　一言居士

こじ ＝固辞〔かたく辞退する〕就任を固辞、知事選の出馬を固辞

＝固持〔しっかり持ち続ける〕信念を固持

こじき （乞食）→物乞い、こじき　㊥差別語、不快用語（492ページ）

こしきゆかしく （古色床しく）→古式ゆかしく

こしたんたん （虎視眈々）→虎視眈々

こしつ 固執〔「こしゅう」とも〕

こじつけ （こじ付け）→こじつけ　こじつける

こしゃく （小癪）→こしゃく、生意気

こしょう （胡椒）→コショウ〔植物〕、こしょう〔香辛料〕黒・白こしょう

ごしょう 後生　後生大事

こしょくそうぜん （古色蒼然）→古びた、古めかしい、古色蒼然

こじらいれき （古事来歴）→故事来歴

こしらえる （拵える）→こしらえる

ごじん （御人）→ご仁　奇特なご仁

こすう （箇数）→個数

こずえ （梢）→こずえ

こする （擦る）→こする

こぜい 小勢〔大勢＝おおぜい＝の対語〕

こせいだい （古世代）→古生代

こせき （古蹟）→古跡、旧跡

こぜりあい 小競り合い

こせんきょう （跨線橋）→陸橋、渡線橋

こぞう 小僧　寺の小僧さん、膝小僧

〔注〕「いたずら小僧、膝小僧」などの比喩的表現や引用以外はなるべく使わない。

ごぞうろっぷ （五臓六腑）→五臓六腑

こそく （姑息）→間に合わせ、一時しのぎ、姑息

〔注〕ずるい、ひきょうの意味で使わない。

こぞって ㊒(挙って)→こぞって

ごぞんじ (御存知)→ご存じ

こたい
＝固体〔一定の形・体積をもち容易に変化しない物質〕液体・気体と固体、固体燃料
＝個体〔独立して存在するもの〕生き物の個体差、個体群、個体変異

こたえ 答え
〔注〕問い、答えを表や記号、一問一答形式にする場合は「問」「答」と送り仮名を省いてよい。

こたえる
＝応える〔働き掛けに報いる、応じる〕恩顧・期待・声援・要望に応える、手応え、歯応え、批判に応える、見応え、読み応え
〔注〕「寒さがこたえる、胸にこたえる」などは平仮名書き。
＝答える〔返答〕受け答え、口答え、問題に答える、呼んでも答えがない
〔注〕「インタビューに答える・応える」は内容によって使い分ける。
＝(堪える)→こたえる〔耐え忍ぶ、我慢する〕極暑にこたえられるか…、持ちこたえる

ごたく (御託)→ご託 ご託を並べる

こだち 木立

こたつ (火燵、炬燵)→こたつ

こだてじゅうたく (戸建て住宅)→一戸建て住宅

ごたぶんにもれず (ご多聞▲に漏れず)→ご多分に漏れず

こだま
＝(谺)→こだま〔やまびこ〕山にこだまする子どもの声
＝木霊〔木の精〕

ごちそう (御馳走)→ごちそう

ごちょう (伍長)→㊒伍長

こぢんまり ㊒(小ぢんまり)→こぢんまり

こつ
＝骨〔ほね〕お骨を拾う、骨揚げ
＝こつ〔勘所、呼吸、要領〕こつをつかむ、商売のこつをのみ込む

こづかい ⊗(小使い)→校務員、校務主事
〔注〕地域によっては「用務員、庁務員」も使われている。☞「ようむ」の項

こづかい 小遣い お小遣い、

小遣い銭

こづく 小突く

こっくべんれい (克苦勉励△)→刻苦勉励

こっけい 滑稽・こっけい

こっこく ㊐刻々〔「こくこく」とも〕

こつぜん (忽然△)→突然、にわかに、こつぜん

こつそしょうしょう (骨粗鬆△症)→㊕骨粗しょう症〔病名〕

こつづみ 小鼓

こづつみ 小包

こっとう (骨董△)→古美術品、古道具、古物、骨董(こっとう)　骨董(こっとう)品

こっぱみじん (木っ葉▲微塵△)→木っ端みじん

こて

＝小手〔肘と手首の間の部分〕小手が利く、小手先、小手調べ、小手投げ、小手をかざす

＝(籠手)→こて〔よろいの付属品、剣道・弓道の防具〕

ごてどく ごて得〔ごね得とも〕

こと 言　恨み言、片言、繰り言、小言、言づて、泣き言、独り言、わび言

こと (糊△塗)→取り繕う、ごまかす　糊塗(こと)する

こと

＝事〔主に具体的な事柄、実質名詞〕遊び事、荒事、争い事、あらぬ事、考え事、芸事、研究している事、事新しい、事欠く、事が面倒、事柄、事細かに、事足りる、事と次第によっては、事なかれ主義、事に当たる、事の起こり、事のついでに、事もあろうに、事もなげに、事を起こす、事を構える、作り事、出来事、悩み事、習い事、願い事、見事、物事、約束事

〔注〕「大ごと、人ごと・ひとごと」は平仮名書き。

＝こと〔主に抽象的な内容、形式名詞〕あんなことになって、うまいことを言う、勝手なことをするな、聞いたことがない、ことによると、このことは、準備しておくこと、…することにしている、そんなこととは知らずに、人のことみたいに、見たこともない、見ることができる、読むこと

ごと（毎）→ごと　1時間ごとに、日ごとに、夜ごと

ごとく（如く）→ごとく、ようにに

ことごとく　副（悉く△）→ことごとく

ことごとに　副（事毎に）→事ごとに

ことさら　副殊更・ことさら

ことし　㊐今年・ことし

ことづける（託ける）→言付ける

ことづて（言伝て）→言づて、伝言

ことなる　異なる

ことに　副殊に・ことに

ことのほか　副殊の外・ことの外

ことば（詞）→言葉　忌み言葉、売り・買い言葉、言葉尻、言葉少なに、言葉遣い、言葉つき、話し言葉、早口言葉、はやり言葉、合言葉

ことはじめ　事始め

ことほぐ（寿ぐ）→ことほぐ

こども（小供）→子供・子ども　〔注〕一般には「子ども」が多く使われている。祝日は「こどもの日」。

ことわざ（諺△）→ことわざ

ことわり（理）→ことわり〔道理〕

ことわる　断る　お断り・おことわり、断り状

こな　粉　粉々、粉みじん、粉雪

こなす（熟す）→こなす　頭ごなし、着こなし、こなれる、仕事をこなす、使いこなす、乗りこなす、腹ごなし、身のこなし

こにんず・こにんずう　小人数〔大人数の対語〕

こぬかあめ（小糠雨、粉糠△雨）→小ぬか雨

ごねどく　ごね得〔本来は「ごて得」〕

こねる（捏△ねる）→こねる　こね上げる、こね回す

この（此△の）→この　この間、この期に及んで、この際、このたび、このところ、この辺で、このほど、この世

このえへい　㊐近衛兵

このむ　好む　好ましい　〔注〕「好きこのむ、好きこのんで」は平仮名書き。

このんで　副好んで

こはく（琥珀△△）→琥珀（はく）　学コハ

ク酸

ごはさん　(ご破産▲)→ご破算

ごはっと　ご法度

こばなし　(小咄△、小噺△)→小話・小ばなし

こばむ　拒む　拒み通す

こはる　小春〔陰暦10月の異称〕〔注〕「小春日和」は晩秋から初冬にかけての暖かい日和のこと。

ごびゅう　(誤謬△)→誤り

こひょう　小兵

こびる　(媚△びる)→こびる

こぶ　コブ・昆布〔植物。コンブとも〕昆布巻き

こぶし　拳・こぶし

ごぶづき　(五分搗△き)→五分づき

こべつ　＝(箇・別)→個別〔一つ一つ、一人一人〕個別交渉・指導・審査、個別に話し合う　＝戸別〔一軒一軒、各戸〕戸別訪問〔選挙運動など〕

ごぼう　(牛蒡△)→ゴボウ〔植物〕ごぼう抜き

こぼんのう　子煩悩

こま　(＊独楽)→こま　こま回し

こま　駒　駒げた、駒不足、駒を進める、将棋の駒、若駒

こま　(齣△)→こま　(映画フィルムの)こま送り、こま落とし、青春の一こま、4こま漫画

ごま　(胡△麻)→ゴマ〔植物〕ごまあえ、ごま油、ごま塩(頭)、ごまをする〔比喩〕

ごま　護摩(をたく)

こまいぬ　(狛△犬)→こま犬

こまかい　細かい

ごまかす　(誤魔化す)→ごまかす

こまぎれ　(小間切れ)→細切れ

こまごま　㊀(細々)→こまごま

こまぬく　(拱△く)→こまぬく〔「こまねく」とも〕

こまめ　(小忠実)→小まめ

こまやか　＝(濃・やか)→こまやか〔濃い、惰が深い〕こまやかな心遣い、人惰こまやか　＝細やか〔「こまかい」細やかな編み目、細やかに説明する

こみ・こむ　＝込〔入り組む、こみ入る、連用形に付いて複合語をつくる〕巻込む、込み上げる、込み入った話、税込み、立て込む、

手の込んだ仕事、負けが込む
＝混〔混雑〕混み合う店内、電車が混む、㊙人混み
ごみ（芥、塵）→ごみ
こむすび 小結〔相撲〕
こめ 米・コメ 米蔵、米つき、米とぎ、米どころ
〔注〕米国と紛らわしいので「コメ」と片仮名書きする場合が多い。
こめる（籠める）→込める 言い込める、押し込める、霧・煙が立ち込める、親しみを込めて、弾を込める、閉じ込める、願いを込める、封じ込める、（雨に）降り込められる、真心を込める、やり込める
ごめん 御免・ごめん お役御免、木戸御免、切り捨て御免、ごめんなさい、二度とごめんだ
こも（薦、菰）→こも こもかぶり
こもり 子守 子守歌
こもる（籠もる、隠る、込もる）→こもる 口ごもる、心がこもる、城に立てこもる、巣ごもり、寺にこもる、閉じこもる、引きこもる、冬ごもり、身ごもる、山ごもり
こもんじょ 古文書
こやし 肥やし 肥やす
こゆう（個有）→固有 固有名詞
こよい（今宵）→こよい
こよう（雇傭）→雇用
ごようおさめ（御用納め）→仕事納め
ごようたし ㊙御用達〔ごようたつ〕とも
ごようはじめ（御用始め）→仕事始め
ごらいこう 御来光〔高山で迎える日の出〕
ごらいごう（御来迎）→御来迎〔ブロッケン現象〕
こらえる（堪える、悼える）→こらえる こらえ性、涙をこらえる
こらす 懲らす 懲らしめる
こらす 凝らす 意匠を凝らす、作戦を凝らす、目を凝らす
こりごり（懲り懲り）→こりごり
ごりむちゅう（五里夢中）→五里霧中
ごりやく 御利益
こりる 懲りる

こる 凝る　肩が凝る、凝った細工、凝り固まる、凝り性
これ (此△、是)→これ
ころ
＝頃〔名詞〕(学生の)頃、頃合い、食べ頃、値頃、前身頃
＝ころ〔接尾語的、特定の日時・時間の後に付くとき〕今年の春ごろ、3月20日ごろ、4時ごろ
ごろ (語路)→語呂　語呂合わせ
ころう (故老)→古老
ころう (固陋△)→頑固、頑迷、かたくな、強情
ころがる 転がる　転がす、転がり込む、転げ落ちる、転げ込む、転げ回る、転げる
ごろね (転寝・)→ごろ寝
ころもがえ (衣更え・)→衣替え

こわ 声　声色、声高、声音
こわい (強い、剛い・)→こわい　毛がこわい、ご飯がこわい、こわ談判、憎のこわい人、手ごわい
こわい (恐い・)→怖い　怖い顔・夢、怖いもの知らず、怖いもの見たさ、怖がりを言う、怖がる
こわき 小脇(に抱える)
こわごわ 副(恐々、怖々)→こわごわ
こわす (毀す・)→壊す
こわばる (強張る)→こわばる
こわもて (強面、怖面・)→こわもて　こわもてに出る、こわもての談判
ごんぎょう (勤経▲)→勤行
こんくらべ (根競べ・)→根比べ

こんげん (根原、根元)→根源
ごんげん 権現　権現造り
こんご 副今後
こんこう (混淆△)→(玉石・神仏)混交
ごんごどうだん (言語同断▲)→言語道断
こんこん
＝(渾△々、滾△々)→こんこん　滾々水がこんこんと湧く
＝(昏△々)→こんこん　こんこんと眠る
＝懇々　懇々と諭す
こんじき 金色
こんじゃく 今昔　今昔の感
こんじょう 今生　今生の別れ
こんしん (渾△身)→満身、全身、あらん限り、渾身(こんしん)
こんすい (昏△睡、昏△酔)→意識

不明、昏睡(こんすい)

〔注〕刑法の条文では「昏酔強盗」だが、記事では「昏睡強盗」を使う。

こんせい

＝混成〔種類の違うものを一つにまぜ合わせる〕混成作用、混成チーム、混成旅団

＝混生〔植物などが複数入り交じって生息する〕

＝混声〔男声と女声〕混声合唱

こんせき 痕跡

こんせん

＝混戦〔両軍入り乱れて戦う〕混戦状態から抜け出す、優勝争いは混戦模様だ

＝混線〔電話などで複数の通話が入り交じる。話の筋が混乱する〕通話・話が混線

こんぜん (渾然△)→混然(一体)

こんだて 献立

こんてい (根柢△)→根底

こんど 副今度

こんとん (混沌△、渾沌△)→混迷、混沌(こんとん)

こんにちは (今日は)→こんにちは〔あいさつ〕

こんにゃく (蒟蒻△△)→コンニャク〔植物〕、こんにゃく(玉)〔加工食品〕こんにゃくゼリー、こんにゃく問答

こんねんど (今年度)→本年度

日時の書き方(528ページ)

こんぱい (困憊△)→疲れ果てる 疲労困憊(こんぱい)

こんぱく (魂魄△)→霊魂、魂

こんばんは (今晩は)→こんばんは〔あいさつ〕

こんぶ コンブ・昆布〔海藻。コンブとも〕コンブ漁、塩昆布

こんぺいとー (金平糖、金米糖)→コンペイトー

こんぺき (紺碧△)→紺碧(こんぺき)(の空)

こんぼう (棍棒△)→こん棒

こんぽう (梱包△)→荷造り、梱包(こんぽう)

こんめい (昏迷△)→混迷

こんりゅう 建立

こんりんざい (根▲輪際)→金輪際

こんろ (焜炉△)→こんろ ガス・石油こんろ

【さ】

さい (才)→歳〔年齢を表す場合〕

さい (采、賽△、骰△)→さい さいころ、さいの目、さいは投

げられた

さい（差遣）→㊢差異

…ざい

‖材〔原料、材料、人材〕画材、機材、器材、吸着材、教材、建材、資材、人材、素材、題材、廃材、冷却材〔原発〕

‖財〔財産、財貨〕私財、資財、消費財、生産財、耐久財、文化財、埋蔵文化財、有形・無形文化財

‖剤〔薬〕育毛剤、覚醒剤、乾燥剤、起爆剤、吸着剤、強壮剤、駆虫剤、抗がん剤、殺虫剤、消化剤、除草剤、接着剤、脱臭剤、鎮痛剤、防臭剤、利尿剤、冷却剤

さいえん ⊗才媛〔使わない〕

さいか（裁下）→裁可（を仰ぐ）

さいか（罪過）→㊢罪科

さいかい

‖再会〔再び会う〕旧友に再会

‖再開〔再び開く〕休憩後に再開

さいきかんぱつ（才気煥発）→才気煥発

さいぎしん（猜疑心）→疑心、疑念、邪推

さいくん（妻君）→細君

さいけつ

‖採決〔議案の可否を賛否の数で決める〕強行採決、起立採決

‖裁決〔上級者による裁断、審査請求などに対する行政庁の決定〕議長裁決、国税不服審判所の裁決、裁決を下す

さいけん

‖債券〔有価証券の一つ〕外国債券、債券先物取引、債券発行

‖債権〔財産権の一つ。債務の対語〕債権行為、債権国会議、債権者、債権放棄、不良債権

さいご

‖最後〔一番あと〕最後の手段

‖最期〔死に際〕最期をみとる、悲惨な最期

さいこうちょう（最高調）→最高潮

さいごつうちょう（最後通牒）→最後通告

さいさき ㊢幸先

さいさん ㊢再三 再三再四、再三忠告する

さいし（祭祀）→祭り、祭事、祭祀

さいじき（歳事記）→歳時記〔俳句〕

さいじつ 祭日

〔注〕現在の日本では国民の祝日に祭日はないので「祝日」とする。

さいしゅ

＝採取〔選び取る〕鉱物・植物の採取、採取経済、指紋の採取

＝採種〔植物の種子を取る〕

さいしゅほ（採種圃△）→採種園・田・畑、種畑

さいしょう

＝最小〔一番小さい、最大の対語〕最小限（度）、最小公倍数、最小湿度

＝最少〔一番少ない、最多の対語〕最少額、最少得点、最少の人数

ざいせ（在生）→在世〔「ざいせい」とも〕

さいせい

＝再生〔生きかえる、更生、作り直す、再現〕再生紙、再生繊維、再生装置、再生不良性貧血（病名）、トカゲの尾が再生する、録画した番組を再生

＝再製〔製品を加工して作り直す〕再製生糸、再製酒

さいせき

＝採石〔石材を切り出す〕採石場

＝砕石〔岩石を細かく砕く〕砕石機、砕石工場

ざいせき

＝在籍〔学校・団体などに籍がある〕本校には480人が在籍

＝在席〔自分の席に着いている〕会議のため在席していない

さいせん（賽△銭）→さい銭　さい銭箱

さいたいけつ（臍△帯血）→臍帯血（さいたいけつ）

さいたくもらさず（最▲大漏らさず）→細大漏らさず

さいたく　採択

〔注〕議会では諮問と陳情に限る。条例案などは「議決」か「可決」。

さいだん　裁断　生地を裁断する、裁断を下す

〔注〕シュレッダーは「細断機」とも。

さいち　細緻

〔注〕なるべく「細密、精密」などとする。

さいはい　采配　采配を振る

さいふ　財布

さいろく

＝（載録）→採録〔取り上げて記録・録音・録画する〕会議の全容を採録する

＝再録〔再び書物や記録に載せる〕報告書を雑誌に再録する

さいわい　幸い　㊀幸いに

さえずる　(囀る△)→さえずる

さえる　(冴える△)→さえる　頭がさえる、顔色がさえない、さえた笛の音色、目がさえる

さおさす　(棹さす△)→さおさす　〔注〕舟を進める、時流に乗るの意。逆らうの意に使うのは誤り。

さおとめ　㊊早乙女

さか　酒　酒場、酒盛り

さか…　逆上がり、逆落とし、逆立ち、逆手、逆巻く、逆夢

さが　(性)→さが　この世のさが

さかうらみ　(逆怨み)→逆恨み

さかぐら　(酒倉)→酒蔵

さかさま　(逆様、倒)→逆さま　真っ逆さま

さがす　＝捜す　〔主に見えなくなったもの、捜査、捜索〕家出人を捜す、家族を捜し求める、犯人を捜す、紛失物を捜す、迷子を捜す、身元捜し、目撃者を捜す、家＝や＝捜し、行方不明者を捜す、離散の家族を捜す

さがす　＝探す　〔主に欲しいもの〕あら探し、家＝いえ＝探し、獲物を探す、貸家を探す、里親探し、職を探す、宝探し、父の面影を探す、ルーツ探し　〔注〕「捜(探)し当てる、捜(探)し歩く、捜(探)し出す、捜(探)し回る、捜(探)し物」などは意味に応じて書き分ける。「店で気に入った財布を探す」「紛失した財布を捜す」、求人は「人探し」、行方不明者は「人捜し」となる。

さかずき　(盃△)→杯　水杯

さかな　＝魚　魚釣り　㊊「とる」の項

さかな　＝(肴△)→さかな　〔つまみ、酒席の話題〕彼をさかなにして飲む、酒のさかな

さかのぼる　(遡る△、遡る、逆上る)→さかのぼる

さからう　逆らう

さかり　盛り　盛り場、育ち盛り、生意気盛り、働き盛り、花盛り、分別盛り

さがる　下がる　お下がり、ぶら下がる、成り下がる

さかん　＝左官　〔壁を塗る職人。左官屋としない〕左官技能士、左官業

さかん　＝佐官　〔大佐・中佐・少佐、1佐・2佐・3佐の総称〕

さき…　先立つ、先付け小切

手、先取り、先乗り、先走り、先細り、㊐先ほど、先回り、先物買い、先行き、先渡し

さぎ（詐偽）→詐欺

〔注〕公選法の詐偽投票、詐偽登録などは「詐偽」を使う。

さきがけ（魁、先駈け）→先駆け

さきだかかん（先高感）→先高観

さきに ㊐先に

さきもり（防人）→防人（さきもり）

さきんじる 先んじる〔先んずるとも〕

さく 冊 短冊

さく 柵 柵越え

さく ＝策〔はかりごと、つえ〕画策、金策、国策、策士、策定、策を練る、散策、施策、秘策

さく ＝索〔さがす、尽きる、縄〕検索、索引、索条、索然、索道、索漠、探索

さく 咲く 咲き誇る、七分咲き

さく ＝裂く〔破る、引き離す〕岩の裂け目、切り裂く、布が裂ける、引き裂く、夫婦仲を裂く

さく ＝割く〔切り分ける、分け与える〕給料を割く、魚を割く、時間を割く、紙面を割く、人員を割く、領土を割く

さくい ＝作為〔作りごと、こしらえる〕作為債務、作為的、作為の跡が見える、不作為の違法性、無作為抽出

さくい ＝作意〔たくらみ、制作の意図〕作意はなかった、作意不明、見え透いた作意

さくさん（醋酸）→酢酸

さくし ＝作詞〔歌曲の詞をつくる〕作詞作曲〔作詩も使われる〕

さくし ＝作詩〔詩をつくる、詩作〕

〔注〕歌曲には「作詞者・作詩者」の両方あるので注意する。

さくせい ＝作成〔文書、計画など〕ケアプラン・法案・ホームページ・マニュアル・名簿・目録の作成

さくせい ＝作製〔物品、図面など〕カレンダー・設計図・地図・万能細胞・標本・ポスターの作製

〈使い分けに注意〉
▼○○を作成〔内容に重点〕デザイナーがカタログを作成
▼○○を作製〔大量生産に重点〕カタログを作製し展示会で配布
〔注〕本、CD、DVDなども同様に使い分ける。

さくせん（策戦）→作戦

さくそう（錯綜）→交錯、入り乱れる、もつれる、錯綜（さくそう）

さくづけ 作付け（状況・転換・割り当て） 作付作目、作付反別、作付面積

さくら サクラ・桜〔植物〕サクラソウ・桜草、桜餅

さくらんぼ（＊桜桃、桜ん坊）→サクランボ〔植物。サクランボウとも〕

さくれつ（炸裂）→破裂、爆発、さく裂

さけ 酒 酒造り、酒浸り

さけ（鮭）→サケ〔動物〕㊟新巻きザケ、さけ茶漬け

さげすむ（蔑む、貶む、下げすむ）→さげすむ

さげる
＝下げる〔上げるの対語、低くする、引っこめる〕上げ下げ、かばんを肩に下げる、供物を下げる、下げかじ、下げ渡す、値段を下げる、ぶら下げる、見下げ果てる
＝提げる〔手に持つ〕手提げかばん、手鍋提げても、荷物を提げて歩く、引っ提げる

さげん 左舷

ざこ ㊟雑魚 雑魚寝

ささ（笹、篠）→ササ〔植物〕笹かまぼこ・団子、ささ舟、ささ身、ささやぶ

ささい（些細）→わずか、少々、取るに足りない、ささい

ささげる（捧げる、献げる）→ささげる 一生をささげる、供物をささげ持つ、玉串をささげる

さざなみ（＊小波、細波、漣）→さざ波

ささめゆき（細雪）→ささめ雪

ささやき（＊私語、囁き）→ささやき

さし… 差し上げる、差し入れ〔品〕、差し押さえ、差し替え、差し金、差し込み、差し障り、差し迫る、差し出す、差し止める、差し違え〔相撲〕、差し伸べる、差し

挟む、差し控える、差し引く、差し向かい、差し戻し

〈使い分けに注意〉

▼差し足〔音を立てずに歩く〕

▼差し脚〔競馬〕

…さし（止し）→さし〔途中でやめる〕食いさし、燃えさし、読みさし

さじ（匙△）→さじ　さじ加減

ざし（坐△視）→座視

さしあたり（副）差し当たり

さしえ（＊挿画）→挿絵

さじき（慣）桟敷　天井桟敷

ざしき　座敷　奥座敷

さしず　指図

さしずめ（副）（差し詰め）→さしずめ

さしだし　差し出し　差し出し口、差出状、差出人

さしつかえる（慣）差し支える

さして
＝指し手〔将棋〕

さしひき　差し引き（貸し越し、借り越し、計算、剰余）　差引借越金・額・高、差引勘定・残高、差引剰余金、差引利益・利益金・損失・損失金（C）経済

複合語（102ページ）

さしょう（些△少）→わずか、少々

ざしょう（坐△礁）→座礁

ざしょう　挫傷　脳挫傷

さじん（砂△塵）→砂煙、砂ぼこり

さす
＝刺す〔とがった物を突き入れる、刺激を与える、野球でアウトにする〕くぎを刺す、刺し網、刺し子、刺し違える、刺し身、突き刺す、とげが刺さる、蜂に刺される、鼻を刺す臭い、刃物で刺す、針を刺す、本塁で刺される

＝指す〔事物をそれだと定めて示す、方向を明らかにする〕指し切り〔将棋〕、指し示す、指し値、指し物、将棋を指す、名指しする、目指す方向、指図、指物師

〔注〕「人さし指、指さす」などは平仮名書き。

＝（射す）→差す〔さし挟む、かざす、照り込む、きざす、入れる〕影が差す、傘を差す、刀を差す、杯を差す、差しで会う、差し歯、潮が差す、抜き

差しならない、根差す、日が差す、魔が差す、水を差す、物差し ☞「さし…」の項

＝挿す〔細長い物を中に入れる〕かんざしを挿す、挿し木、根挿し、花を挿す

さす (砂洲)→砂州

さすが ㊀(流石)→さすが

さずかる 授かる 授かり物、授ける

さすらい (＊流離、＊流浪、＊漂泊)→さすらい さすらう

ざせつ (座折)→挫折

ざぜん (坐禅)→座禅

さそう 誘う 誘い出す、誘い水

さそり (蠍)→サソリ〔動物〕

さそり座

さた 沙汰 地獄の沙汰、取り沙汰、刃傷沙汰

〔注〕慣用や読みやすさによって平仮名書きも。

さだか 定か

さだめし ㊀定めし

さち 幸 海の幸、山の幸

さつ ⊗(サツ)→警察

ざっかん

＝雑感〔さまざまな感想〕雑感随想、人生雑感

＝雑観〔いろいろな所見〕雑観記事

さつき ㊀五月 五月晴れ

さつき (皐月)→皐月(さつき)〔月名〕

さつき (五月、皐月)→サツキ〔植物〕

さつきゅう 早急〔「そうきゅう」とも〕

さっそう (颯爽)→さっそう

さっそく ㊀早速

ざっとう (雑沓)→雑踏

ざっぱく (雑駁)→雑然、粗雑、雑ぱく(な知識)

さつまいも (薩摩藷)→サツマイモ〔植物〕、甘藷(かんしょ)

〔注〕市況・料理記事では「サツマ芋」も使う。

さつりく (殺戮)→大量殺害、惨殺、殺りく

さてつ (蹉跌)→失敗、つまずき、挫折

さと (郷)→里 里心、里山

〔注〕「里親、里子」を人間以外には使わない。

さとうきび (砂糖黍)→サトウキビ〔植物〕

さとがえり 里帰り

〔注〕家族ぐるみで郷里に帰る場合は「帰省」などとする。美術品の永

久返遷などを「里帰り」とするのは誤り。誤りやすい語句（483ページ）

さとす 諭す　懇々と諭す

さとる （覚る）→悟る　悟りを開く

さなえ ㊞早苗

さなか （＊最中）→さなか

さば （鯖）→サバ〔動物〕　さばを読む、締めさば

さばく
＝裁く〔裁判、裁定〕大岡裁き、法の裁きを受ける
＝（捌く）→さばく〔解きほぐす、解き分ける〕売りさばく、在庫をさばく、魚をさばく、太刀さばき、手さばき

さばく（沙漠）→砂漠

さび（錆、銹）→さび（止め）

さび 寂・さび　寂のある声・庭、わびとさび

さびしい（淋しい）→寂しい

さびる（寂びる）→さびる　さびた味、さびた芸風

さびれる 寂れる　寂れた商店街、寂れた町・街

ざぶとん（座蒲団）→座布団

さほど ㊞（然程、左程）→さほど

さぼる サボる〔サボタージュの略から〕講義・仕事をサボる

…さま
＝様〔敬称、漢字で書く習慣が強い場合〕王様、神様、観音様、殿様、仏様
〔注〕「お客さま、奥さま、おひなさま、午前さま、皆さま」などはなるべく平仮名書き。
＝さま〔皇室〕皇后さま、皇太子さま 皇室用語（562ページ）
＝さま〔接尾語など〕ありさま、お世話さま、お互いさま、お疲れさま、ご苦労さま、死にざま、続けざま

さまがわり 様変わり

さまさま（様々）→さまさま　猛暑さまさまの海の家

さまざま（様々）→さまざま

さます・さめる
＝冷〔ひえる、感情・興味が薄らぐ〕愛情が冷める、興奮が冷める、熱が冷める、熱を冷ます、ほとぼりが冷める、湯冷めする
＝覚〔目がさめる、現実に立ち返る〕意識を覚ます、太平の眠りを覚ます、寝覚めが悪い、眠気を覚ます、迷いを覚ます、

目が覚める、目の覚めるような色、夢から覚める

＝(醒)→さます・さめる〔酔い・興味がなくなる〕興ざめ、酔いをさます

さまたげる 妨げる

さまつ (瑣末、些末)→さまつ

さまになる 様になる

さまよう (彷徨う、さ迷う)→さまよう

さみだれ ㊐五月雨

〔注〕「さみだれ式、さみだれスト」などは平仮名書き。

さむい 寒い 寒がり、寒け立つ、㊐寒々(とした)

さむえ (作務衣)→作務衣

さむらい 侍 侍大将

さめ (鮫)→サメ〔動物〕さめ肌

さめる (褪める)→さめる 冷ざめる、色がさめる

さゆ (＊白湯)→さゆ

さようなら (左様なら)→さようなら〔さよなら・サヨナラとも〕さよなら公演、サヨナラホームラン

さら (新)→さら・更 さら地・更地、さらの服、さら湯・更湯、真っさら

〔注〕「更＝さら」は漢字表にある訓だが、なるべく平仮名書き。

さらい… 再来週、再来月、再来年

さらに ㊐(更に)→さらに さらなる

ざらめ (粗目)→ざらめ

さる サル・猿〔動物〕猿ぐつわ、猿芝居、猿知恵、猿まね、猿回し、ニホンザル

さるどし (申年)→さる年・申年

されき (砂礫)→㊐砂利、小石

さわ 茶話

さわぐ 騒ぐ 騒がしい、騒ぎ、騒ぎ立てる

さわやか 爽やか

さわり・さわる

＝障〔さまたげる、差し障り〕当たり障り、気に障る、しゃくに障る、人気に障る、深酒は体に障る、耳障りな音・言葉、目障りな建物

〔注〕「耳障りの良い」は誤り。誤りやすい語句(488㌻)

＝触〔ふれる〕触らぬ神にたたりなし、魚に触れない、舌触り、手触りが良い、肌触り

さわり (触り)→さわり〔見せ

場〕ドラマのさわり ➡誤りやすい語句(483ページ)

さんいつ (散佚△)→散逸

さんか ＝参加〔仲間として加わる〕参加校・者、資本参加、不参加 ＝傘下〔団体などの支配下〕傘下に収める、大手の傘下に入る

〔注〕「参加団体、傘下団体」の使い分けに注意。

さんか (讃歌△)→賛歌

ざんがい 残骸

さんかくすい (三角錐△)→三角すい

さんがにち (三箇日、三ケ日)→三が日〔正月〕

さんかほうしゅう 参稼報酬

ざんき (慚愧△、慙愧△、慙愧△)→赤面、汗顔、ざんき(に堪えない)

ざんぎゃく (惨虐)→残虐

さんく ㊥産駒

ざんげ (懺悔△)→ざんげ〔仏教では「さんげ」と読む〕

さんけい 参詣

さんげん (三絃△)→三弦、㊥三味線

ざんげん (讒言△)→中傷、告げ口、そしる

さんご (珊瑚△)→サンゴ〔動物〕

サンゴ礁、サンゴの群体、さんご細工

ざんこく (惨酷)→残酷

ざんさ (残渣△)→かす、残りかす

ざんさつ ＝(残殺)→惨殺〔むごたらしく殺す〕 ＝斬殺〔きり殺す〕

さんさろ (三叉路△)→三差路

さんざん ㊥散々

散々苦労を掛ける、散々な目に遭う

さんさんくど 三三九度

さんさんごご 三々五々

さんじ (讃辞△)→賛辞

ざんし (残滓△)→残りかす、名残

さんしょう (山椒△)→サンショウ〔植物〕、さんしょう〔香辛料〕

〔注〕「さんしょ」とも。

さんしょううお (山椒魚△)→サンショウウオ〔動物〕

ざんしん 斬新

〔注〕「漸進＝ぜんしん」との誤用に注意。

さんすい (撒水△)→散水

さんずのかわ (三途の川)→さ

んずの川

さんぜん（燦然△）→きらびやか、きらきら、輝かしい、さんぜん（と輝く）

さんそぼんべ　酸素ボンベ〔医療・登山用。潜水用は空気ボンベ〕

さんたん（惨憺△）→悲惨、惨め

苦心惨憺（くしんさんたん）

さんたん（讃嘆△、讃歎△）→賛嘆

さんだんとび　三段跳び

さんにゅう

＝参入〔参加する〕異業種に参入

＝算入〔計算に入れる〕予算算入

ざんにん（惨忍）→残忍

さんば　⊗（産婆）→助産師

さんばし　桟橋

さんはんきかん（三半器官▲▲）→三半規管〔身体器官〕

さんび（讃美△）→賛美　賛美歌

さんび（惨鼻）→酸鼻

さんぴ（賛非▲）→賛否

さんぷ（撒△布）→散布、まく

さんぼう

＝三方〔神前・貴人などに物を供える器物〕三方に盛る

＝三宝〔仏教用語。仏・法・僧を指す〕深く三宝を敬う

さんまい　三昧　常行＝じょうぎょう＝三昧

〔注〕「読経・念仏ざんまい」など接尾語的に使う場合は平仮名書き。もとは仏教用語なので「ギャンブル・酒ざんまい」などとしない。

さんまん（散慢▲）→散漫

さんみいったい（三身一体）→三位一体

さんりょう（山稜△）→尾根

さんりょう　山陵〔山と丘、天皇・皇后の墓、みささぎ〕

さんろく　山麓

【し】

し

＝士〔資格、称号、職名〕栄養士、介護福祉士、海事代理士、義肢装具士、気象予報士、技術士〔建設部門など〕、技能士〔造園、ビルクリーニングなど〕、救急救命士、行政書士、建築士、公認会計士、作業療法士、歯科衛生士、歯科技工士、司法書士、社会福祉士、社会保険労務士、精神保健福祉士、税理士、潜水士、測量士、中小企業診断士、道士

〔道教、仙人〕、土地家屋調査士、〔剣道などの〕範士・教士・錬士、不動産鑑定士、弁護士、弁理士、保育士、ボイラー技士、無線技士、無線技術士、理学療法士、臨床心理士

＝司〔職名〕児童心理司、児童福祉司、身体障害者福祉司、知的障害者福祉司、保護司

＝師〔教師、指導者、資格、職名〕衛生検査技師、家畜人工授精師、看護師、技師、きゅう師、獣医師、柔道整復師、助産師、診療放射線技師、調理師、伝道師、導師〔仏教〕、はり師、美容師、保健師、マッサージ師、薬剤師、理容師、臨床検査技師、**振付師**、**彫師**、**彫物師**

し… 仕入れ〔品・値段〕、仕置き場、仕送り、仕納め、仕返し、仕掛け花火、仕切り〔場〕、仕組み、仕付け〔糸〕、仕留める、仕分け

じ

＝滋〔しげる、増す、潤す〕滋味、滋養

＝慈〔いつくしむ〕慈愛、慈善、慈悲、慈母、仁慈

じ… 地合い、地固め、地金、地取り、地引き網、地味、地割り

しあい（仕合）→**試合**

〔注〕「泥仕合」は例外。

しあげ 仕上げ 鏡面仕上げ、総仕上げ、**仕上【工】**

しあさって（＊明々後日）→しあさって

しあわせ（仕合わせ）→幸せ

しあん

＝試案〔試みの案〕試案を作成

＝私案〔自分の案〕単なる私案

＝思案〔考えをめぐらせる〕思案顔、思案に余る・暮れる

しい（思惟）→思考、思索、考え

しい（恣意）→勝手、気まま、恣意

しい 私意〔自分の考え〕私意を捨てる

しい（椎）→シイ〔植物〕シイの実、シイタケ〔菌類〕

しいか 詩歌〔「しか」とも〕

じいさん（爺さん）→じいさん

しいたげる 虐げる

しいて ㊐強いて 強いて言えば

しいる 強いる 無理強い
じう (滋雨)→慈雨 干天の慈雨
じうた 地唄
じうたい 地謡〔能、狂言〕
しえん (私怨)→恨み、私憤、私怨
しお
＝塩 塩辛い、塩漬け、塩引き、塩豆、塩焼き
＝(汐)→潮 潮合い、潮脚、潮風、潮煙、潮路、潮だまり、潮時、潮干狩り、潮吹き、潮待ち、潮焼け
しおさい ㊐潮騒〔「しおざい」とも〕
しおれる (萎れる)→しおれる葉がしおれる
しか シカ・鹿〔動物〕子鹿、鹿せんべい、ニホンジカ
しが 歯牙 歯牙にもかけない
じか (直)→じか じか履き、じか火、㊐じかに
〔注〕「㊐直談判、㊐直取引」は漢字書き。
しがい 死骸〔人間以外に〕
しかく
＝視覚〔目で物を見る感覚・働き〕
視覚効果、視覚障害
＝視角〔視点〕視角が広い
＝死角〔目が届かないところ〕死角に入る、法の死角
〔注〕「〔王者に〕死角なし」を隙がないの意で使うのは誤り。
じかく (痔核)→痔核〔病名〕
しかけ 仕掛け 仕掛ける
しかし (然し、併し)→しかし
じがじさん (自我自讃)→自画自賛
じかじゅふん (自花受粉)→自家受粉
じかせんえん 耳下腺炎〔病名〕
しかた 仕方 仕方ない、仕方なく
じかたび (直足袋)→地下足袋
じかだんぱん ㊐直談判
じかとりひき ㊐直取引
しかも (然も、而も)→しかも
しかる (呵る)→叱る
しかん (弛緩)→緩み、たるみ、弛緩剤 筋弛緩
じかんわり 時間割
しき (志気)→士気
しき… 敷き写し、敷き詰める、敷き伸べる、敷きわら、敷居、敷石、敷板、敷皮〔敷物〕、敷革〔靴〕、敷金、敷地、

敷布、敷布団、敷物 ⇔送り仮名の付け方(99ページ)

…しき 板敷き、上敷き、下敷き、鍋敷き、河川敷、倉敷料、㊞桟敷、座敷

じき

＝時期〔とき〕時期尚早、重大な時期

＝時機〔機会、しおどき〕時機到来、時機を逸する、時機をうかがう

＝時季〔季節〕行楽の時季、時季指定権・変更権〔労働基準法〕、時季外れ、時季もの、マツタケの時季

じぎ 時宜 時宜にかなう、時宜に適した、時宜を得た措置

しきじ

＝式辞〔式場でのあいさつ〕校長の式辞

＝式次〔式次第〕入学式の式次

じきじき ㊞直々

じきしょうそう (時機尚早)→時期尚早

じきに ㊞直に・じきに

しきもう ⊗(色盲)→色覚障害

しきりに ㊞(頻りに)→しきりに

しく (布く)→敷く

じくうけ (軸承け)→軸受け

しぐさ (仕草、仕種)→しぐさ

じくじ (忸怩)→恥ずかしい、じくじ

しぐれ ㊞時雨

しぐれる (時雨れる)→しぐれる

しけ (時化、＊不漁)→しけ

しげき (刺戟)→刺激

しげしげ ㊞(繁々)→しげしげ

しげる (繁る)→茂る

しこ 四股

しこう

＝志向〔一般用語。心がある目的に向かう〕学問を志向、権力志向、上昇志向、ブランド志向

＝指向〔限定用語。特定の方向を向く〕指向性アンテナ、指向性の強いマイク、性的指向〔先天的・根本的な性傾向。性指向とも〕

＝思考〔考えられた事柄〕権力的な思考、主観的な思考、プラス思考〔プラス志向としない〕

しこう (嗜好)→好み、愛好、嗜好品

しこう・せこう
＝施行〔主に法令の効力を発生させる〕施行細則、施行日、施行命令、施行令
＝施工〔工事をする〕施工図、施工主
しこうさくご 試行錯誤
しごく 至極〔副詞にも〕至極快適だ、迷惑至極
しこな 〔四股名、醜名・〕→しこ名
しさい 〔仔細△〕→子細、訳、詳細
しし 〔獅子△〕→㊢獅子 獅子身中の虫、獅子の子落とし、獅子奮迅、獅子舞
ししじ
＝支持〔支える、他人の意見・思想などに賛成する〕価格支持制度、彼の意見を支持する、支持者、支持政党
＝指示〔指図・命令する〕計画の中止を指示する
ししじ
＝師事〔先生に仕え教えを受ける〕A先生に師事する
＝私事〔個人的な事〕私事を暴く
じじこっこく ㊟時々刻々〔「じじこくこく」とも〕時々刻々移り行く
ししじみ 〔蜆△〕→シジミ〔動物〕 ししじみ汁
ししゅう 〔刺繍△〕→刺しゅう
じしゅう 〔自修〕→自習 自学自習、自習時間
ししょ 〔死処〕→㊢死所
じしょ
＝自署〔署名〕誓約書に自署する
＝自書〔自筆〕自書式の投票方法、遺言状を自書する
じじょ 〔二女・〕→次女
ししょう 至上 至上の喜び、至上命令
〔注〕「至上命題」は誤り。㊟誤りやすい語句(483ページ)
じじょう 〔自乗〕→2乗〔読みは「にじょう」〕
じじょうじばく 自縄自縛
じす・じする 辞す・辞する 辞さない、ストも辞さず
しずく 〔雫△〕→滴
じすべり 〔地辷り△〕→地滑り
しずまる・しずめる
＝静〔動の対語、静かになる〕嵐が静まる、気を静める、心が静まる、静まり返る、寝静まる、物音が静まる

＝鎮〔おさえつける、おさまる〕痛みを鎮める、取り鎮める、内乱が鎮まる、反乱を鎮める、み霊が鎮まる

しずむ 沈む 悲しみに沈む

しせい

＝市制〔市としての制度〕市制施行、市制を敷く

＝市政〔市の政治〕市政運営、市政刷新、市政便り

＝市勢〔市の人口・産業などの状態〕市勢総覧、市勢要覧

じせい

＝時世〔時代、世の中〕ありがたいご時世だ、時世の流れ

＝時勢〔時代の情勢、世の成り行き〕時勢に遅れる、時勢に逆らう、時勢に順応する、時勢を通観

じせい

＝自制〔自己抑制、自重〕自制心、自制を求める、挑発行動を自制する

＝自省〔内省〕過ちを深く自省する、自省の念に駆られる

しせいし・しせいじ ⊗私生子・私生児〔使用不可〕

しせき 〔史蹟〕△→史跡

じせき 〔事蹟〕△→事跡

じせつ

＝自説〔自分の意見〕自説を貫く、自説を曲げない

＝持説〔普段から主張している意見、持論〕持説を固守する、年来の持説

じせん

＝自薦〔自分で自分を推薦、他薦の対語〕自薦他薦の候補者

＝自選〔自分の作品から選ぶ〕自選集、自選の句

しぜんとうた 〔自然淘汰〕△→自然淘汰(とうた)

しそ 〔紫蘇〕△→シソ〔植物〕しそ巻き

しそうけんご 〔思想堅固〕▲▲→志操堅固

しそうのうろう 〔歯槽膿漏〕△→歯槽膿漏(のうろう)〔病名〕

した 舌 舌打ち、舌先三寸〔舌三寸とも〕、舌足らず、舌なめずり、舌を巻く

した… 下 下書き、下描き、下刈り、下心、下地、下敷き、下調べ、下っ端、下積み、下取り、下縫い、下塗り、下履き、下働き、下回り、下向き、下読み

したい (屍体△)→死体〔人間以外の動物は死骸〕

したい ＝肢体〔手足と身体〕肢体の不自由な子、伸びやかな肢体

＝(姿体)→姿態〔動作したときの姿、体つき〕なまめかしい姿態

じたい ＝(事体)→事態〔事の成り行き〕緊急事態、事態の収拾を図る

＝自体〔それ自身〕計画自体に問題がある

しだいに ㊀次第に

したう 慕う 慕わしい

したうけ 下請け 下請け業者、下請け工事

したがう 従う 従える

したがって 従って

したく (仕度)→㊀支度

したごしらえ (下拵え△)→下ごしらえ

しだし 仕出し 仕出し弁当・料理、仕出〔屋〕

したしい 親しい 親しむ

したためる (認める)→したためる

したたる 滴る

したつづみ 舌鼓

したて 仕立て 仕立て直し、仕立〔券・職人・服〕

じだらく 自堕落

じだんだ (地団太、地団駄)→じだんだ

しち 質 質入れ、質請け、質店、質流れ、質札

しちぐさ (質種)→質草

しちてんばっとう (七顛八倒△)→七転八倒

じちょう ＝自重〔軽はずみな行動を慎む〕隠忍自重、各自の自重を望む、自重自戒

＝自嘲〔自分で自分をあざける〕自嘲気味に話す、自嘲するような薄笑い

しちりん (七厘、七輪)→しちりん、こんろ

じっかい (十誡△)→十戒〔注〕旧約聖書には「十誡」もあるが代用字表記の「十戒」を使う。

しっがいこつ (膝蓋骨)→膝蓋骨(しつがいこつ)〔身体器官〕

じっきょうけんぶん (実況検分)→実況見分 ㊟法令関連用語(601ページ)

しっくい (漆喰△)→㊁しっくい

しつけ
＝(躾)△→しつけ〔礼儀、作法〕しつける、ぶしつけ
＝仕付け〔衣服の仕立て〕仕付け糸、仕付けを取る

じっこう
＝実行〔実際に行う〕計画を実行に移す、実行税率〔関税〕、実行予算、実行力、不言実行
＝実効〔実際に表れる効力・効果〕実効が上がる、実効為替レート、実効金利、実効支配、実効性に乏しい、実効税率〔所得税など〕

じっこん（昵懇、入魂）→じっこん じっこんの間柄

じつじょう（実状）→㊎実情

しっしん 湿疹

しっしん（失心）→失神

しっせき（叱責）→叱る、叱責

じっせん
＝実戦〔実際の戦闘〕実戦訓練、実戦経験、実戦さながら、実戦的な選手、実戦部隊
＝実践〔実際に行う〕実践記録、実践的解決、進んで実践する

しっそう 失踪

しった（叱咤）→叱咤 叱咤激励

じったい
＝実体〔本質、本体〕経営実体のないダミー会社、実体経済、実体審理、実体のないもの、生命の実体
＝実態〔実際のありさま・状態・情勢〕経営の実態を把握、実態調査

しっと 嫉妬

じつどう
＝実働〔実際に働く〕実働8時間
＝実動〔実際に行動する〕実動演習、実動台数、実動部隊

じつに・じつは ㊎実に・実は

じっぱひとからげ（十把一絡げ）→十把ひとからげ

しっぷうじんらい（疾風迅来）▲→疾風迅雷

しっぺい 疾病

しっぽ ㊎尻尾・しっぽ

じっぽうしゃげき（実砲射撃）▲→実包射撃〔空包の対語〕

じづめ 字詰め

しつよう（執拗）△→しつこい、執念深い、執拗

して
＝(仕手、為手)→シテ〔能・狂言〕
＝仕手〔市場用語、あることを行

う人〕仕手株、仕手戦、力仕事の仕手がない

じてん
＝辞典〔言葉を主とした辞書〕国語辞典
＝事典〔事柄を主とした辞書〕百科事典
＝字典〔文字を主とした辞書〕康熙字典

じどう（自働）→自動

じどう 児童
〔注〕児童、生徒、学生の区分は「幼稚園・保育園＝園児・幼児」「小学校＝児童」「中学・高校＝生徒」「高専・大学・大学院＝学生」。専修・各種学校は原則「生徒」だが、文脈に応じ「学生」としてもよい。

しとめる（仕止める）→仕留める

しとやか（淑やか）→しとやか

じどり 地鶏〔ニワトリ以外は地鳥〕

しない ㊥竹刀

じならし（地均し）→地ならし

じなん（二男）→次男

しに… 死に石〔囲碁〕、死に後れる、死に顔、死に金、死に神、死に装束、死に体、死に水、死に目に会う、死に別れ

…じに 犬死に、飢え死に、溺れ死に、凍え死に、早死に、無駄死に

しにせ（＊老舗）→㊥老舗

しにものぐるい（死に者狂い）→死に物狂い

しにょう（屎尿）→大小便、汚物、㊐し尿

じにん
＝自任〔自負する〕食通を自任、大政治家を自任、天才を自任する
＝自認〔自覚する〕遅咲きを自認する、過失を自認する、性自認、勉強不足を自認する

しの（篠）→シノ〔植物〕しの突く雨、しの笛

しのぐ（凌ぐ）→しのぐ

しのぶ
＝忍ぶ〔我慢する、ひそかに行う〕足を忍ばせる、拳銃を懐に忍ばせる、忍び会い、忍び込む、忍び泣き、忍ぶ恋、耐え忍ぶ、恥・不便を忍ぶ、見るに忍びない
＝（偲ぶ）→しのぶ〔懐かしく思い出す〕故郷・故人をしのぶ

しば
＝シバ・芝〔植物〕芝草、芝刈り機〕
＝(柴)△↓しば〔雑木の小枝〕おじいさんは山へしば刈りに…
しばいぬ（柴△犬）↓シバイヌ・㊟柴犬〔動物〕
じはだ（地肌）↓地肌
しばたたく（瞬く）↓しばたたく〔「しばたたく」としない〕
しばふ　㊟芝生
しはらい　支払い（延期、限度、実績、指定、準備、条件、申請、増加、担当、停止、手続き、方式、方法、保証、命令、申し込み、猶予）
支払《人》、支払勘定、支払機、支払限度額、支払指定日・期日、支払準備金・制度、支払申請額・書、支払増加額、支払保証制度・人、支払申込金・書、支払予算・予算額、支払予備金
㊟経済複合語（102ページ）
しばらく　㊟(暫く)↓しばらく
しばる　縛る　縛り付ける
しはん　紫斑
しはん（屍斑△）↓死斑
じびき　字引　生き字引
しひょう　死票〔死に票とも〕
しびん（溲△瓶、尿瓶）↓し瓶
しぶ(い)　渋（い）　渋い声、渋うちわ、渋柿、渋抜き
しぶしぶ　㊟渋々
しぶとい（渋▲太い▲）↓しぶとい
しぶみ
＝渋味〔味覚〕柿の渋味
＝渋み〔落ち着いた深い味わい〕渋みのある演技
しぶる　渋る　出し渋る
…しぼり
＝絞り〔一般用語〕お絞り、総絞り、豆絞り、レンズの絞り
＝**絞**〔地名を冠した染織〕有松絞、鳴海絞、博多絞
しぼる
＝絞る〔ねじって水分を出す、無理に出す、小さくする〕油を絞られる〔叱られる〕、音量を絞る、声を振り絞る、絞り染め、絞るような汗、タオルを絞る、無い知恵を絞る、人数を絞る、範囲を絞る
＝搾る〔締め付けて水分を取り出す、無理に取り立てる、主に製造関係〕油を搾る〔製造〕、牛乳を搾る、搾りかす、搾り汁、税金を搾り取る、レモン

を搾る

しま（縞△）→しま　格子じま、シマウマ〔動物〕、しま模様

しまい　仕舞〔能楽〕仕舞を舞う

しまい・しまう（仕舞、終・）→しまい・しまう　おしまいにする、店じまい

しまおくそく（揣△摩臆測）→当て推量、臆測、想像

しまつ（仕末）→始末　始末書、不始末

しまる・しめる

＝締〔緩の対語、しめつける、しめくくる〕帯を締める、原稿を締め切る、心を引き締める、締まりがない、締め切り日、締めくくる、締め込み、締め付ける、酢で締める、抱き締める、戸締まりをする、ネクタイを締める、ねじを締める、羽交い締め、ひもが締まる

＝絞〔主に首をしめる〕首が絞まる、絞め殺す、絞め技〔柔道〕、喉を絞める

＝閉〔開の対語〕栓を閉める、戸が閉まる、ふたを閉める、窓を閉め切る、店を閉める

しみ　染み　染みが付く、染み込む、染み抜き

じみ　滋味〔深みのある味わい〕　滋味に富む料理

しみじみ　副（染み染み）→しみじみ　しみじみと語る

しみず　㊥清水

しみる（凍・みる）→しみる　しみるような夜

しみる（滲・みる、沁△みる、浸・みる）→染みる　色が染みる、寒さが身に染みる、染み付いた習性、骨身に染みる、目に染みる

…じみる　汗じみる、油じみる、所帯じみる

じむとりあつかい　**事務取扱**〔職分〕

しめい

＝使命〔与えられた大事な任務〕　使命感に燃える、重大な使命を帯びる

＝死命〔死と命〕死命を制する

しめかざり（注連飾り、七五三飾り）→しめ飾り〔しめ縄を飾ること、その飾りもの〕

しめす　示す　示し合わせる、示しがつかない、難色を示す

しめだす

＝閉め出す〔中に入れない〕家・

部屋・建物から閉め出す
＝締め出す〔抽象的表現、仲間外れにする〕業界から締め出す、部外者を締め出す

しめる 湿る 湿らす、湿り気

しめる 占める 独り占め

しめんそか (四面楚歌)→四面楚歌

しも 下 下手、下膨れ

しも 霜 霜囲い、霜枯れ、霜柱、霜降り肉、霜焼け、霜よけ

じゃ 蛇 蛇口、蛇の目傘、蛇腹、大蛇

しゃか (釈迦)→釈迦 お釈迦様、釈迦に説法

じゃがいも (馬鈴薯)→ジャガイモ〔植物〕肉じゃが
〔注〕市況・料理記事では「ジャガ芋」も使う。

しゃく (勺)→勺

しゃくしじょうぎ (杓子定木)→しゃくし定規

しゃくどういろ 赤銅色

しゃくとりむし シャクトリムシ・尺取り虫〔動物〕

しゃくねつ (灼熱)→炎熱、灼熱

じゃくねん (弱年)→㊟若年

じゃくはい (弱塁)→㊟若塁

じゃけん (邪慳)→邪険

しゃこう
＝遮光〔光を遮る〕遮光栽培、遮光幕

しゃこうしん (射倖心)→射幸心

しゃし (奢侈)→ぜいたく、おごり

しゃだつ (洒脱)→あか抜けした、俗気のない、洒脱

しゃだんき
＝遮断機〔踏切などの開閉機〕
＝遮断器〔電気回路の開閉装置〕

しゃち (鯱)→シャチ〔動物〕

しゃちほこ (鯱)→しゃちほこ 金のしゃちほこ、しゃちほこ張る

じゃっかん
＝若干〔少し、多少〕若干の疑問を抱く、若干の余裕がある

じゃっき (惹起)→引き起こす

しゃてい 射程〔射距離をいう〕
〔注〕「射程距離」は重複表現。

しゃにむに ㊟遮二無二・しゃ

にむに

しゃふつ 煮沸

しゃへい（遮蔽）→覆う、遮る、遮蔽

しゃみせん ㊐三味線

じゃり ㊐砂利

しゃりょう（車輛△）→車両

しゃれ（洒△落）→しゃれっ気、駄じゃれ　しゃれ

じゃんけん（じゃん拳）→じゃんけん

しゅ

＝主〔中心となる人、支配者、あるじ〕主家、主将、主唱、主犯

＝首〔最上位、第1位、かしら〕首位、首長、首都、首脳、首班、首謀者、首領、党首 ☞「しゅせき」「しゅだい」の項

じゅ 従　従五位＝じゅごい、従三位＝じゅさんみ

しゅい（主意）→趣意

〔注〕国会の「質問主意書」は例外。

しゅう（洲△）→州　九州、旧満州、大洋州

…じゅう 一日中、国中、世界中

〔注〕「家じゅう、町じゅう」などはなるべく平仮名書き。

じゅうい（獣医）→獣医師

しゅうう（驟△雨）→にわか雨

しゅうえん（終焉△）→終息、終焉

しゅうか（集貨、蒐△荷）→㊎集荷

しゅうかく（収獲）→収穫

しゅうがく

＝修学〔学問・知識を学び修める〕修学年限、修学旅行

＝就学〔教育を受けるため学校に入る〕就学義務、就学児童、就学年齢、就学免除

じゅうがた 自由形〔競泳〕

しゅうかんし（週間▲誌・紙）→週刊誌・紙

しゅうき（秋期）→㊎秋季

〔注〕固有の名称や特に期間を表す場合は「秋期」を使う。

しゅうき 周忌　一周忌

しゅうき（週期）→周期

しゅうぎ 祝儀　ご祝儀

じゅうき（什△器）→器具、道具、家具

しゅうぎょう

＝終業〔仕事・学年などを終える〕5時終業、終業式

＝就業〔仕事に就く、始める〕就

業規則、就業拒否、就業時刻、就業人口

＝修業〔学問・技芸などを習い身に付ける。「しゅぎょう」とも〕修業証書、修業年限

しゅうきょく

＝終局〔落着、碁・将棋の終わり、終末〕事件の終局、終局裁判・判決、終局を迎える

＝終極〔おしまい、とどのつまり〕終極の目的、終極目標

＝終曲〔最終楽章、結びの曲〕

しゅうぎょとう〔集漁灯〕→集魚灯

しゅうけつ〔終決〕→終結

しゅうげん 祝言

しゅうこう〔修交〕→修好　修好条約

しゅうこう

＝就航〔船舶・航空機が初めて航路につく〕国際線に就航する、遊覧船が今月から就航した

＝周航〔船で各地を巡る〕瀬戸内海を周航する

しゅうし

＝終始〔始めから終わりまで、首尾〕言い訳に終始する、終始一貫、終始沈黙していた

＝終止〔終わる〕終止形、終止符を打つ

しゅうしゅう

＝〔蒐△集、拾集〕→収集〔集める〕切手収集、ごみの収集、情報の収集、陶器を収集

＝収拾〔混乱した状態をおさめる〕事態収拾、収拾がつかない

じゅうじゅう 副重々　重々承知している

じゅうじゅん〔柔順〕→㊎従順

じゅうしょう

＝重症〔重い症状〕重症の肺炎

＝重傷〔重い傷〕3カ月の重傷

〔注〕重傷は全治1カ月以上。1カ月未満は軽傷。

しゅうじん〔集△塵〕→集じん〔機・装置〕

しゅうじんかんし〔周▲人監視▲〕→衆人環視

しゅうせい〔終世〕→終生

しゅうせい

＝修正〔一般用語。直して正しくする〕修正案、修正液〔文具〕、文案を修正

＝修整〔特別用語。直し整える〕画像・写真の修整ソフト、修整液〔写真〕

じゅうそう　重曹〔重炭酸ソーダの略〕

しゅうそく

＝収束〔おさめる〕事態を収束

＝(終熄△)→終息〔終わる、絶える、自動詞に限定〕火山活動が終息する、新型肺炎の終息を宣言、戦火が終息した

〔注〕使い分けに迷う場合は「収拾、解決、終結」などに言い換える。

＝集束〔(光の)束が集まる〕集束弾、集束レンズ

しゅうたい　(醜体)→醜態

じゅうたい　(重態)→重体

じゅうたん　(絨緞△、絨毯△)→じゅうたん、カーペット

しゅうたんば　(愁歎△場)→愁嘆場

しゅうち　羞恥　羞恥心

しゅうち

＝周知〔あまねく知られる〕周知徹底、周知の通り、周知を図る

＝衆知〔多くの人の知恵・知識〕衆知を集める

しゅうちゃく　執着〔「しゅうじゃく」とも〕

しゅうちょう　⊗(酋△長)→首長、集落の長

じゅうてん　(充塡)→詰める、満たす、補充、充塡(じゅうてん)

しゅうと　(舅、姑△)→しゅうと

じゅうどうぎ　(柔道衣)→柔道着

しゅうとく

＝拾得〔拾う〕拾得物

＝収得〔自分の物にする〕株式を収得、収得罪、収得賞金、収得税

しゅうとく　(修得)→習得

〔注〕「修得単位」など例外もある。

しゅうとめ　(姑△)→しゅうとめ

じゅうにし　十二支 ⇨「えと」の項

じゅうにひとえ　(十二単・一人衣)→十二単(ひとえ) ⇨「ひとえ」の項

じゅうふく　(重復▲)→重複〔「ちょうふく」とも〕

じゅうぶん　㊀(充分)→㊁十分・じゅうぶん

しゅーまい　(焼売・焼賣)→シューマイ

じゅうもう　(絨毛△)→絨毛(じゅうもう)

しゅうよう

＝収容〔(収め)入れる〕強制収容所、収容人員、収容量、倉庫・病院に収容

＝収用〔法律用語。取り上げて使う〕漁業権の強制収用、収用委員会、土地収用法、非常収用

じゅうらい 従来

〔注〕「従来から」は重複表現。

しゅうらく (聚落)△→集落

しゅうりょう

＝修了〔一定の学業・課程を修め終える〕修了式、修了証書、全科目を修了、大学院修士課程を修了

＝終了〔物事が終わる〕会期を終了、終了式、予定通り終了

じゅうりょうあげ 重量挙げ

じゅうりょうぜい 従量税〔自動車重量税は例外〕

じゅうりん (蹂躙)△△→踏みにじる、侵害、じゅうりん

しゅうれん

＝(修錬)→(新)修練〔精神・技術などを磨く、鍛錬〕修練を積む、武道の修練

＝習練〔習い慣れる、練習〕水泳の習練

しゅうれん (収斂)△→収束、収縮、集約

しゅうろく

＝収録〔書物・新聞などに収める、録音・録画〕新語を数多く収録した辞書、ビデオ・DVDに収録する

＝(輯録)△→集録〔集めて記録する〕各地の伝説を集録

しゅかい (首魁)△→首謀(者)、首領

しゅかん

＝主幹〔ある仕事の中心になる人物・役職〕編集主幹

＝主管〔中心になって管理・管轄する〕Jリーグが主管する試合、主管官庁

じゅきゅう

＝受給〔給与・配給を受け取る〕受給資格、年金の受給

＝需給〔需要と供給〕需給相場、需給のバランス、需給を調整する

しゅぎょう

＝修業〔一般用語。学問・技芸などを修める。「しゅうぎょう」とも〕板前修業、学問の修業、花嫁修業、文章修業

＝修行〔仏法・武道などを修める、巡礼する〕学問の修行〔古風な表現として〕、修行僧、諸国修行、仏法修行、武者修

行、山にこもって修行する

じゅくし（熟柿）→熟柿、熟し柿＝じゅくしがき

しゅくしょう（縮少）→縮小

しゅくせい

＝**粛正**〔不正をなくす〕綱紀の粛正、乱脈を粛正

＝**粛清**〔異分子を排除する〕血の粛清、反対派を粛清

しゅくどう 縮瞳

しゅくはい（祝盃）→祝杯

じゅくんしゃ 受験者 ☞「じゅくん」の項

じゅけん

＝**受験**〔試験を受ける〕入学・入社・昇進試験を受験

＝**受検**〔検査を受ける〕新弟子検査の受検

〔注〕個々の試験・検定は主催者の表記に合わせる。

しゅこう（趣好）→趣向

しゅさい

＝**主催**〔中心になって催す〕主催団体、○○主催の音楽・競技会

＝**主宰**〔上に立って物事を行う（人）〕会議を主宰、劇団を主宰する、同人雑誌を主宰する

しゅし（主旨）→趣旨

じゅじゅ 授受 金銭授受

じゅじゅつ 呪術

しゅしょう（首唱）→主唱

しゅじょう 衆生 衆生済度

じゅしょう

＝**受章（者）・授章（式）**〔勲章、褒章〕

＝**受賞（者）・授賞（式）**〔ノーベル賞など〕

〔注〕「授賞（章）者側」のような使い方もある。「受彰者」は使わず「被表彰者、表彰される人」などとする。「授賞理由・受賞理由」は内容によって使い分ける。

しゅしょく

＝**酒食**〔酒と食事〕酒食の供応

＝**酒色**〔酒と色事〕酒色にふける

じゅず ㊥数珠 数珠つなぎ

じゅせい

＝**受精**〔卵子が精子と結合する〕受精卵、体外受精

＝**授精**〔人工的に精子を与える〕顕微授精、人工授精

しゅせき

＝**主席**〔地位をあらわす称号〕国家主席、党主席

＝**首席**〔第1位の席〕首席奏者、首席代表、首席で卒業、首席

を占める

しゅせき（手蹟）△→手跡、筆跡

しゅだい

＝**主題**〔主たるテーマ〕楽曲の主題、主題歌、論文の主題

＝**首題**〔最初に付ける題目〕経文の首題、首題に表示、首題の件につき

しゅっこう

＝**出港**〔港を出る〕神戸を出港

＝**出航**〔船・航空機が出発〕ハワイに向け出航

しゅっしょ

＝**出所**〔出どころ、刑務所から出る〕出所祝い、出所を明らかにする

＝**出処**〔人の進退〕出処進退を誤らぬ

しゅっすい　出穂　出穂期

しゅったつ　出立　明朝に出立する

じゅにん

＝**受任**〔任命・任務を受ける〕受任国

＝**受忍**〔意に沿わないことにも耐え忍ぶ〕受忍限度

しゅのう（主脳）→首脳

じゅばく　呪縛

しゅはん（首犯）→主犯

じゅばん（襦袢）△→じゅばん

しゅはんしめい（首班指名）→首相指名〔日本の場合〕

じゅふん

＝**受粉**〔めしべが花粉を受ける〕自家受粉

＝**授粉**〔人工的に花粉をつけてやる〕人工授粉

しゅぼう（主謀）→首謀(者)

しゅぼば（種牡馬）△→㊒種牡馬

じゅもん　呪文

しゅよう　腫瘍〔病名〕

〔注〕「脳腫瘍」を除き、悪性腫瘍は「がん」とする。

じゅよう（需用）→㊒需要

〔注〕地方予算科目の「需用費」は例外。

しゅら　修羅(場)

しゅりゅうだん（手榴弾）△→手投げ弾、手りゅう弾

しゅん　旬　旬の魚・野菜

じゅん

＝**準**〔一般用語。次ぐ、なぞらえる、はかる〕準会員、準学士〔高専卒〕、準拠、準契約、準抗告、準指導員〔スキー、スケートなど〕、準州、準じる、準星、準優勝、準用、照準、水準、標準、平準

＝准〔特別用語、意味は準と同じ。地位・資格に多く使われる〕准尉、准看護師、准教員〔旧制〕、准教授、准将、批准(▲)

しゅんえい（俊鋭）→俊英

じゅんか（馴化）→㊐順化

じゅんか（醇化）→純化

じゅんかん（循環）→循環

しゅんき（春期）→㊍春季

〔注〕「春期講習」など、固有の名称や特に期間を表す場合は「春期」を使う。

じゅんけつ

＝純血〔純粋な血統〕純血種の犬

＝純潔〔心身が清らか〕

しゅんげん（峻厳）→極めて厳しい、冷厳、険しい

しゅんこう（竣工、竣功）→落成、完工、完成　竣工式

じゅんこう

＝巡航〔船舶、航空機など〕巡航速度、巡航ミサイル

＝巡行〔山車など〕みこしの巡行

しゅんさい（駿才）→俊才

じゅんしゅ（遵守）→順守

しゅんじゅん（逡巡）→尻込み、ためらう

じゅんしん（純心）→純真

しゅんせつ（浚渫）→しゅんせつ

しゅんそく（駿足）→俊足、快足

しゅんどう（蠢動）→うごめく

じゅんぱい（順拝）→巡拝

じゅんぷうまんぱん　順風満帆〔「…まんぽ」は誤読〕

しゅんべつ（峻別）→はっきり区別する、厳しくけじめをつける

じゅんぽう（遵法）→順法（精神）

じゅんぼく（醇朴）→純朴

しゅんめ（駿馬）→良馬、名馬

じゅんら（巡邏）→巡回、パトロール

じゅんれい（順礼）→巡礼

しゅんれつ（峻烈）→厳しい、峻烈

しょ

＝所〔ありか、ところ、地点〕㊍死所、出所、㊍所業、所在、所蔵、所帯、所要、所用、㊍随所

＝処〔とどまるところ、とりさばく〕出処進退、処遇、㊍処々方々、処置、処罰、処分、処理、善処、対処

…しょ(じょ)

＝所　刑務所、検疫所、拘置所、裁判所、支所〔刑務支所、拘置支所など〕、収容所、少年鑑別所、職業安定所、測候所、駐在所、登記所、保育所、保健所、保護観察所、療養所

＝署　海上保安署、警察署、支署〔警察署支署、税関支署、税務署支署など〕、消防署、森林管理署、税関監視署、税務署、労働基準監督署

＝処　補給処・支処〔陸・空自衛隊。海自は主に補給所〕

…しょ・しょう

＝書　契約書、診断書、請求書、身分証明書、領収書、履歴書

＝証　学生証、権利証、受領証、保険証、身分証〔IDカードなど〕、免許証

〔注〕一般に「受領証、領収書」。

しょう・しょう

＝仕様〔物事を行う内容、仕方〕　仕様書き、仕様書、特別仕様

＝しょう〔方法、手だて〕言ってもしょうがない、寒くてしょうがない、しょうがない怠け者、涙が出てしょうがない

〔注〕「しょうがない・しょうがない」はどちらも使える。

しょう

＝小〔大の対語、小さい、幼い〕　過小(評価)、狭小、最小(限度)、弱小、縮小、小生、卑小、微小(生物)

＝少〔多の対語、少ない、若い、わずか〕過少(申告)、希少、軽少、減少、最少(得点)、少子(化)、少壮、少量、多少、微少(量)、幼少

しょう

＝賞　芥川賞・直木賞、恩賜賞、恩賞、学士院賞、芸術院賞、(論功)行賞、国民栄誉賞、賞罰、ノーベル賞、ピュリツァー賞

＝章　印章、襟章、旗章、記章、勲章、警察勲功章、憲章、肩章、社章、㊞瑞宝大綬章、褒章、紋章、腕章 ⇔叙位叙勲(508ページ)

しょう

＝性〔性質〕飽き性、荒れ性、苦労性、こらえ性、凝り性、心配性、貧乏性

＝症〔症状〕恐怖症、拒食症、健忘症、熱中症

じょう
＝状〔かたち、様子、書き付け〕委任状、回状、行状、形状、現状、告訴状、罪状、(俗)状況、書状、信任状、白状、病状、名状、免状
＝情〔心の働き、本当のありさま、おもむき〕温情、苦情、激情、(俗)国情、私情、(俗)実情、(俗)情勢、実情、情状、(俗)情勢、叙情、政情、世情、敵情、内情、表情、物情、民情
しょういだん（焼夷弾△）→焼夷(しょうい)弾
しょうう
＝小雨〔すこし降る雨〕小雨決行
＝少雨〔多雨の対語〕少雨情報
〔注〕気象用語の「小雨＝ごさめ」は数時間に1ミリに達しない降雨。

しょうえん（庄園△）→(俗)荘園
しょうか（頌歌△）→賛歌
しょうか（銷夏△）→消夏
しょうが（生姜△）→ショウガ
〔植物〕紅しょうが
しょうかい 哨戒(機)
しょうかい
＝紹介〔引き合わせる、取り持つ〕業者を紹介、紹介状、新製品を紹介、知人を紹介
＝照会〔問い合わせる〕照会に回答、取引の照会、身元照会
しょうがい
＝(障碍△)→障害〔事を行うのに妨げになるもの、身体上の故障〕胃腸の障害、機能障害、高度障害保険金、更年期障害、障害基礎年金、障害競走〔馬術、競馬〕、(保険期間中の)障害状態、障害補償、性同一性障害〔注〕「障害を持つ」は「障害が(の)ある」に言い換える。S差別語、不快用語（490ページ）
＝傷害〔傷つける〕傷害罪、傷害事件、傷害致死罪、傷害保険
しょうがく
＝小額〔高額の対語、わずかな額面〕小額紙幣
＝少額〔多額の対語、わずかな額〕少額出資、少額訴訟、少額貯蓄非課税制度
しょうかん
＝召喚〔呼び出す〕召喚状、法廷に召喚
＝召還〔呼び返す〕大使を召還
じょうき 常軌 常軌を逸する
じょうぎ（定木）→定規 三角定規

じょうきせん　(蒸汽船)→蒸気船
じょうきゃく
＝焼却(焼き捨てる)　焼却処分、焼却炉
＝(銷却)→消却(消してなくす)　自社株の消却、名簿から消却
＝償却(経済用語。借金などを返す)　減価償却、不良債権の償却、無税償却
じょうきょう　(情況)→(新)状況
じょうけい　(少憩)→(新)小憩
しょうけい　(憧憬)→憧れ、憧憬(どうけい)(「どうけい」は慣用読み)
じょうけい　(状畏)→(新)情景
じょうご　(＊漏斗)→じょうご
じょうご　上戸　泣き・笑い上戸
しょうこう　(少康)→小康
しょうごう
＝称号(呼び名)　名誉教授の称号
＝商号(屋号)　商号権
しょうこり　(性凝り)→性懲りもなく)
しょうさ　(少差)→小差
じょうさい　(城塞、城砦)→城、とりで、城塞(じょうさい)
しょうさん　(賞讃、賞賛)→(新)称賛
じょうし　(上梓)→出版
じょうし　(城址、城趾)→城跡
＝じょうせき・しろあと
しょうしつ
＝焼失(焼けてなくなる)　国宝の建造物が焼失
＝消失(消えてなくなる)　権利の消失
しょうしゃ　(瀟洒)→すっきりした、しゃれた、あか抜けした
じょうじゅ　成就　大願成就
しょうしゅう
＝招集(一般用語)　地方議会・自衛隊・外国議会・外国軍隊の招集
＝召集(限定用語)　国会の召集、(旧日本軍の)召集令状
じょうしゅう
＝常習(いつもしなれている(悪い)こと)　常習犯、遅刻の常習者、賭博・麻薬の常習者
＝常襲(繰り返し襲われる)　常襲地帯(台風、津波、水害など)(注)地震、干害、冷害、虫害、地滑り、雪崩などは「頻発(地帯)」。
しょうしょ
＝証書(証明する文書)　借用証書、

卒業証書、当選証書、預金証書
＝詔書〔天皇の公文書〕国会召集の詔書、衆議院解散の詔書
しょうしょう ㊐少々
じょうじょう (上乗)→上々
じょうじょうしゃくりょう 情状酌量
しょうしょく (少食)→小食
しょうじん 精進　精進揚げ、精進落ち、精進潔斎、精進する、精進料理
しょうしんよくよく (小心欲々)→小心翼々
じょうず ㊐上手
しょうすい (憔悴)→やつれ、衰え、憔悴
じょうすい
＝上水〔飲料用に管などで供給された水〕上水道
＝浄水〔清らかな水〕浄水場、浄水タンク、浄水池
しょうすう
＝小数〔1に満たない数〕小数点
＝少数〔多数の対語、わずかな数〕少数意見、少数精鋭、少数派
しょうせい (召請)→招請
じょうせい (状勢)→㊎情勢
じょうせき
＝定石〔一般用語、囲碁〕定石通り
＝定跡〔将棋用語〕
じょうぜつ (饒舌)→冗舌、多弁、おしゃべり
しょうぜん (悄然)→しょんぼり、意気消沈、元気なく
しょうそう (焦躁)→焦燥
しょうぞく (裳束)→装束　死に装束
じょうたい (情態)→状態
じょうたい (常体)→常態〔敬体の対語は常体〕
しょうち (召致)→招致
しょうちゅう 焼酎
じょうちょ 情緒〔「じょうしょ」とも〕
しょうちん (鉦)(銷)沈→消沈　意気消沈
じょうてい (上提)→上程　法案を本会議に上程
しょうど
＝焦土〔焼け野原〕焦土作戦、焦土と化す
＝焼土〔農地の表面を焼く〕焼土作業
しょうどう
＝唱道〔自分から先に立って唱える〕改革運動を唱道、唱道者

＝唱導〔仏教用語。先立ちとなって他を導く〕唱導師

じょうとう（常套）→ありふれた、決まり切った　常とう手段

じょうとうく（常套句）→決まり文句

しょうに　小児（科）

しょうにまひ（小児麻痺）→ポリオ〔病名〕

〔注〕「ポリオ（小児まひ）」でも可。脳性小児まひは「脳性まひ」。

しょうにゅうどう（鍾乳洞）→㊒鍾乳洞　㊒鍾乳石

しょうにん　上人　法然上人〔注〕親鸞聖人など、開祖を「聖人」とする宗派もある。

しょうにんずう　少人数〔多人数の対語〕〔注〕教育関係ではクラス編成の「少人数学級」、グループ編成の「小人数学習」などがある。

しょうはい（賞盃）→賞杯〔さかずき〕、カップ、トロフィー

しょうはい（賞牌）→賞牌（しょうはい）〔記章〕、メダル

しょうび（称美）→賞美

しょうび　焦眉　焦眉の急〔注〕なるべく「危急、切迫、緊急」などとする。

じょうひ（剰費）→冗費

しょうひざい（消費材）→消費財

しょうひょう

＝商標〔トレードマーク〕商標権、登録商標

＝証票〔証明のための札・伝票〕検査済み証票、品質証明証票

しょうぶ（菖蒲）→ショウブ〔植物〕しょうぶ湯

しょうふく（承伏）→承服

じょうぶつ　成仏

しょうへい（招聘）→招請、招待、招く、招聘（しょうへい）

しょうへき　障壁　非関税障壁

しょうほん

＝抄本〔必要部分の抜き書き〕戸籍抄本

＝正本〔原本、台帳〕歌舞伎脚本の正本、登記所の正本と照合

じょうまん（冗慢）→冗漫

しょうみ（正身）→正味

じょうみゃく　静脈　静脈注射、静脈瘤（じょうみゃくりゅう）

しょうみょう

＝〔唱名〕→称名〔念仏〕

＝声明〔仏教の声楽〕

じょうもん 縄文　縄文土器
しょうや (庄屋、荘屋)→特庄屋
じょうやど (常宿)→定宿
しょうゆ (醤油)→しょうゆ
しょうよう 従容　従容として
しょうよう (逍遥)→散歩、散策
しょうよう (賞揚)→称揚
じょうらん (擾乱)→乱れる、かき乱す、騒乱、騒動
じょうり
＝条理〔物事の筋道〕条理にかなう、条理に反する、不条理
＝情理〔人情と道理〕情理を尽くして説く
＝条里〔土地の区画〕(古代の)条里制
じょうりゅう (蒸溜)→蒸留

〔注〕「余市蒸溜所」など、固有名詞は名称通り書く。

しょうりょう (小量)→少量
じょうるり 浄瑠璃
じょうれい
＝条令〔箇条書きの法令〕法律の条令
＝条例〔地方自治体が制定する法規〕東京都公安条例
じょうれん (定連)→常連
しょかん (書翰)→書簡
しょき
＝初期〔物事の初めの時期〕昭和初期、初期化、初期の段階
＝所期〔期待する〕所期の目的を達成
じょきゅう ⊗(女給)→ウエートレス、ホステス ☞差別語、不快用語(492ページ)

しょぎょう (所行)→秘所業
しょぎょうむじょう (諸業無惛)→諸行無常
しょく
＝植〔植える〕移植、誤植、写植、植樹、植毛、植林、入植、腐植
＝殖〔ふやす〕殖財、殖産、生殖、増殖、拓殖、繁殖、養殖、利殖
しょくあたり (食中り)→食あたり
しょぐう (所遇)→処遇
しょくざい (贖罪)→罪滅ぼし、罪の償い、贖罪
しょくし 食指　食指を動かす
しょくじ 食餌　食餌実験
しょくしゅ 触手　触手を伸ばす
しょくじりょうほう (食餌療法)→食事療法

〔注〕医療関係で「食餌療法」を使う場合もある。

しょくじん（食尽、食甚、蝕甚△）→食の最大〔日食、月食〕

しょくぜん 食膳

じょくそう（褥瘡△△）→床擦れ、褥瘡（じょくそう）

しょくぶつにんげん ⊗（植物人間）→植物状態（の患者）

しょくみん（殖民）→植民（地）

しょくりょう
＝食料〔食べ物全体〕携帯食料、食料安保、食料サミット、食料自給率、食料品
＝食糧〔穀物を中心とした主食物〕（旧）食糧管理制度、食糧法、戦後の食糧難
〔次の用語は両様ある〕
食料（糧）援助、食料（糧）危機、食料（糧）供給、食料（糧）事情、食料（糧）需要、食料（糧）不足、食料（糧）問題、食料（糧）輸出（入）

じょくん 叙勲
〔注〕勲位・勲章を授けること。受ける人を「叙勲者」とせず「受勲者、受章者」とする。

しょこう（曙光△）→光明、兆し

じょこう ⊗（女工）→女性工員、女性従業員 C差別語、不快用語（492ページ）

じょじ（抒事△）→叙事（詩）

じょじょう（抒情△）→叙情（詩）

じょじょに 副徐々に

しょしょほうほう（所々方々）→秘処々方々

じょすうし
＝助数詞〔物を数える言葉、数字の下に付ける語。1個、2枚、3頭、4件など〕

＝序数詞〔順序を表す言葉。1日目、2番目、第3日など〕
〔注〕「第○日目」としない。

しょせい（処生△）→処世　処世訓、処世術

じょせい
＝助成〔経済面で力を添える〕研究を助成する、助成金
＝助勢〔精神的・肉体的に手助けする〕助勢を求める

じょせい 女婿

しょせん 副（所詮）→しょせん

しょせん
＝初戦〔第1戦〕初戦から3連勝
＝緒戦〔戦いの始まった頃。「ちょせん」は慣用読み〕家康は緒戦での劣勢を挽回

しょたい 所帯〔一家を持って暮らす独立の生活体〕大所帯、男所帯、所帯じみる、所帯道具、所帯持ち、貧乏所帯、寄り合い所帯 ⇨「せたい」の項

しょちゅう… 暑中伺い、暑中見舞い

じょちゅう ⊗(女中)→お手伝い(さん) ⇨差別語、不快用語(492ページ)

しょっかく ‖触覚〔五感の一つ。物に触れて起こる感覚〕触覚器官 ‖触角〔昆虫など節足動物の頭にある感覚器官〕触角を伸ばす

しょとくほしょう ‖所得保障〔社会保障制度の一部門。年金・児童手当・生活保護などの現金給付をいう〕‖所得補償〔へき地など条件が不利な営農者に対する金銭補償などの場合〕

じょのくち 序の口〔大相撲は序ノ口〕

しょほうせん (処法箋)▲→処方箋

じょまく ‖除幕〔銅像・記念碑などの幕を外す〕記念碑の除幕式 ‖序幕〔芝居・歌舞伎などの第1幕、物事の初め〕大会の序幕を飾る

しょよう ‖所用〔用事〕所用で外出 ‖所要〔必要〕所要回数・経費・時間、所要の条件・手続き

じょりゅう 女流〔女流名人などの固有名詞以外は使わない〕

しら 白 白木造り、白玉粉、白羽の矢(を立てる)

じらい (爾来)△→以来、その後

じらいげん (地雷源)▲→地雷原

しらが ㊥白髪 白髪交じり

しらける 白ける・しらける 座がしらける、シラケ世代、空が白ける〔注〕抽象的な場合は仮名書き。

しらじらしい (白々しい)→しらじらしい

しらじらと ㊥白々と(夜が明ける)

しらす (白洲)△→白州 河口の白州、奉行所の白州

しらすだいち (白砂台地)→シラス台地

しらすぼし (白子干し)→しらす干し

しらふ　（*素面）→しらふ

しらみ　（虱△）→シラミ〔動物〕

しらをきる　（白を切る）→しらを切る

しり　（臀△）→尻　尻上がり、尻押し、尻切れとんぼ、尻抜け、尻拭い、尻もちをつく、目尻

〔注〕「しり取り」は平仮名書き。

じりき
＝自力〔自分だけの力〕自力で更生した、自力で立ち上がる
＝地力〔本来持っている力、底力〕地力に勝る上位陣、地力を発揮する

しりごみ　（後込み）→尻込み

しりすぼみ　（尻窄△み）→尻すぼみ、尻すぼまり〔尻つぼみとしない〕

しりぞく　退く　退ける

じりつ
＝自立〔助けなしに自分で物事を行う〕親元を離れて自立する、経済的に自立する、自立経営、自立心
＝自律〔自分をコントロールする〕景気の自律回復、自律神経（失調症）、自律性

しりめ　（後目）→尻目（に）

しりめつれつ　支離滅裂

しりょう
＝資料〔一般用語。調査・研究の基となる材料、データ〕
＝史料〔歴史研究・編さんなどに必要な文献・記録・遺物・図像など〕史料批判
＝試料〔化学分析・検査のための材料、サンプル〕

しりょう　（思料）→㊥思量　思量する〔考えをめぐらせる〕

しる　知る　知ったかぶり、知らんぷり、知り合い、知り尽くす、知り抜く、知り人、知れ渡る、物知り

しるし
＝印〔目印、証明〕おわびの印、印ばんてん、印を付ける、目印
＝（徴・験）→しるし〔きざし、効き目〕景気回復のしるし

しるす
＝（誌す、認す）→記す〔書く〕思いを記す、手帳に記す
＝（印す、標す）→しるす〔印をつける〕足跡をしるす

しるべ
＝（導、標）→しるべ〔案内〕道しるべ

＝知る辺〔知り合い〕知る辺を頼って渡米する

しれい

＝**司令**〔軍隊、スポーツなど〕消防司令補、司令官、司令塔、司令部

＝**指令**〔指揮、命令〕指令本部、指令を通達、スト指令、通信指令室〔警察、消防〕、輸送指令〔JR〕

しれつ（熾烈△）→激烈、猛烈、激しい、熾烈（しれつ）

しれない

＝知れない〔分からない〕消息が知れない、底知れない

＝しれない〔補助用言〕…かもしれない

しれん（試煉△、試練）→㊙試練

しろ 白 白地、白っぽい

しろうと ㊙素人 素人離れ

しろがね（銀）→しろがね

しろみ

＝**白身**〔白い肉など〕白身の魚、卵の白身

＝〔白味〕→白み〔白い程度〕白みを帯びる

しろもの 代物

じろん

＝〔自論▲〕→持論〔前から主張している意見〕彼の持論、持論を展開する

＝**時論**〔時事問題に関する議論、時の世論〕時論に屈する

しわがれる（嗄△れる、しわ枯れる）→しわがれる〔「しゃがれる」とも〕

しわけ

＝**仕分け**〔区分、分類〕商品の仕分け、四つに仕分ける

＝**仕訳**〔簿記用語。勘定科目に分ける〕仕訳帳、貸借の仕訳

しわざ（為業）→仕業

しわす ㊙師走〔「しはす」とも〕

しん

＝**心**〔こころ、精神、慣用の熟語〕心が疲れる、心が強い人、心から好き、心は素直、心棒、灯心、炉心

＝**芯**〔ものの中央、中心〕標芯、鉛筆・バット・ろうそくの芯、帯芯

〔注〕「心＝こころ」と読まれるのを避けたいときは読み仮名を付ける。使い分けに迷う場合は平仮名書き。

じん 腎 腎移植、腎バンク

しんうち 真打ち〔落語など〕

しんえん（深淵）→深淵

しんか
＝進化〔主に生物学用語。退化の対語〕進化論、生物の進化
＝深化〔さらに深まる〕研究が深化する、思索の深化

しんがい（浸害）→侵害
〔注〕刑法の罪名には「浸害」も。

しんがい（震駭）→震え上がる、驚きおびえる

じんかい（塵芥）→ごみ、ちり

じんがさ（陣笠、陣傘）→陣がさ

しんがた（新形）→新型

しんかん（深閑）→森閑

しんかん（震撼）→揺るがす、震え上がらせる、震撼（しんかん）

しんかん（神官）→神職
〔注〕神官は神に仕えるのが職務の官吏。日本には現在いない。

しんき
＝新奇〔新しくて珍しい〕新奇な型、新奇な考案、新奇な着想、新奇な催し、新奇をてらう
＝新規〔物事が新しい〕新規開店、新規採用、新規事業

しんぎ（真疑）→真偽

しんきいってん（心気一転）→心機一転

しんきじく（新基軸）→新機軸

しんきまきなおし（新規時き直し、新規巻き直し）→新規まき直し

しんきゅう（鍼灸、針灸）→はり・きゅう　鍼灸（しんきゅう）院・師・術
〔注〕公的資格は「はり師、きゅう師」。

しんきょう
＝心境〔心の状態〕心境の変化
＝進境〔技術・知識などの進歩の程度〕進境著しい

しんきろう（蜃気楼）→蜃気楼（しんきろう）

しんぎん（呻吟）→苦しむ、うめく、呻吟（しんぎん）

しんきんこうそく　心筋梗塞〔病名〕

しんく（真紅）→㊙深紅

じんくす　ジンクス、縁起
〔注〕元々は「運の悪さをもたらす人・物事」のこと。縁起がいいことにはなるべく使わない。

しんけいせんい　神経線維〔身体器官〕

しんげん（神厳）→森厳

しんげん（震原）→震源（地）

しんこう
＝侵攻〔他国または他の領土を攻め侵す、侵略〕イラクのクウ

エート侵攻
＝進攻〔軍を進め攻め込む、進撃〕ロシア軍のチェチェン進攻

しんこう
＝振興〔学術・産業を盛んにする〕地域の振興
＝新興〔新しくおこる〕新興住宅地、新興勢力

じんこうにかいしゃする（人口に膾炙する）↓広く世間に知れ渡る、有名になる、人口に膾炙する

しんこく（深酷）↓深刻

しんこく
＝申告〔役所・上司に申し出る〕所得を申告する
＝親告〔被害者が訴える〕親告罪

しんこん
＝（神魂）↓心魂〔精神〕心魂を傾ける
＝身魂〔身体と心〕身魂をなげうつ

しんし（真摯）↓真剣、誠実、㊥真面目、真摯

じんじふせい（人事不正）↓人事不省（に陥る）

しんしゃく（斟酌）↓配慮、考慮、手心、手加減

しんじゅう 心中

しんしゅつ（滲出）↓浸出
〔注〕滲出液、滲出性中耳炎など、医学用語では「滲出」を使う。

しんしゅのきしょう（進取の気象）↓㊙進取の気性 ☞「きしょう」の項

しんしょ
＝信書〔特定の相手に宛てた手紙・書状〕信書の秘密
＝親書〔自筆の手紙、国の首脳の公式の手紙〕大統領の親書

しんしょう
＝心証〔人の心に与える印象〕心証を害する
＝心象〔イメージ〕心象風景

しんしょう 身上〔身代、財産〕身上をつぶす

しんじょう
＝信条〔信じている事柄〕信条を守る、生活信条
＝身上〔身の上の事柄、とりえ〕彼は勤勉が身上だ、身上調査

しんじょう
＝心情〔心の中の思い〕心情的に共鳴する、若者の心情を理解する
＝真情〔本当の気持ち〕真情のこもった手紙、真情を訴える、

真情を吐露する

しんしょく
＝(侵蝕)△→侵食〔侵し食い込む〕組織・領土を侵食
＝(浸蝕)△→浸食〔水がしみ込んで損なう〕河川の浸食、浸食作用

しんしん
＝心身〔精神と肉体〕心身症、心身ともに健康
＝心神〔心、精神、魂〕心神耗弱、心神喪失 ☞法令関連用語(608ページ)

じんしん
＝人心〔人の心〕人心が離反する、人心を一新、人心を惑わす
＝人身〔人間の体〕人身事故、人身攻撃、人身売買

しんすい
＝進水〔新しく造った船を水上に浮かべる〕進水式
＝(侵水)▲→浸水〔水が入り込む〕浸水家屋、床上(下)浸水
＝親水〔水との親和性がある〕親水権、親水公園、親水性素材

しんずい〔真髄〕→神髄

しんせい
＝真性〔間違いなくその病気である、生まれつきの性質〕真性コレラ・赤痢
＝真正〔本物、正真正銘〕真正クモ目、真正相続人、真正ダイヤモンド

しんせいだい〔新世代▲〕→新生代

しんせき〔親戚〕

しんせき〔真蹟△〕→真跡、真筆

じんせきみとう〔人跡未到〕→人跡未踏(の地・山) ☞「ぜんじんみとう」の項

じんぞう〔腎臓〕〔身体器官〕

しんそこ〔真底〕→心底(ほれる)

じんたい〔靭帯△〕→靱帯(じんたい)〔身体器官〕

しんたいうかがい〔進退伺〕〔書式〕

しんちゅう〔真鍮△〕→真ちゅう、黄銅

じんちゅうみまい〔陣中見舞い〕

しんちょう〔伸暢△、伸張〕→伸長

じんちょうげ〔沈丁花・〕→ジンチョウゲ〔植物。チンチョウゲは俗称〕

しんちょく〔進捗〕→進展、進

行、進捗（しんちょく）　進捗率

じんつうりき　神通力（「じんずうりき」とも）

しんてい　（真底）→心底（を見抜く）

しんてん　＝伸展（勢力・規模の伸長・拡大）経済力の伸展、貿易・業績が伸展　＝進展（事態や物事の進行・進歩・発展）局面の進展、結婚話が進展、事件の進展に伴い

しんとう　神道

しんとう　（滲透△、侵透▲）→浸透

しんとう　（振盪△、震盪△）→振とう　心臓振とう、脳振とう

しんどう　＝振動（揺れ動く）音の振動数、新幹線の振動公害、振動障害、振り子の振動　＝震動（ふるえ動く。地震など自然現象に）火山・地震の震動、大地の震動、家鳴り震動

じんとく　＝人徳（その人に自然に備わった徳）人徳のある人　＝仁徳（慈しみの徳）仁徳あふれる看護

しんにゅう　＝侵入（不法に押し入る、他の領分を侵す）家宅侵入、他国に侵入、敵が侵入、ハッカーの侵入経路　＝浸入（ひたし入る、水が入る）川の水が浸入、建物に（川の）水が浸入　＝進入（進み入る）ゴール前に進入、場内に進入、進入禁止

しんにん　＝信任（信じ任ずる）信任状、信任投票、信任を得る　＝信認（信用して認める）市場の信認　＝親任（国王などが任命する）親任式、法王の親任を受ける（注）日本の場合、親任式は使わず「任命式」とする。

じんぱい　（塵肺△）→じん肺（病名）じん肺症

しんぴょうせい　（信憑性△、真憑性▲）→信頼性、信用度、㊟信ぴょう性

しんぷ　神父（カトリック系の司祭。一般にプロテスタントは牧師）

しんぷく　＝心服（心から尊敬して従う）

＝信服〔相手を信じ服従する〕
しんぷく（震幅）→振幅
じんべえざめ（甚兵衛鮫△）→㊙
ジンベエザメ〔動物〕
しんぼう（辛棒）→辛抱
しんぼく 親睦
じんましん（蕁麻疹△）→じんましん〔病名〕
しんめい
＝（心命▲）→身命〔体と命〕身命をなげうって
＝神明〔神〕神明造り、天地神明に誓う
じんめんじゅうしん 人面獣心〔スフィンクスなどは人面獣身〕
じんもん（訊問△）→尋問
しんやくせいしょ（新訳聖書▲）→新約聖書

しんらつ（辛辣）→痛烈、手厳しい、辛口(の)、容赦ない、辛辣(しんらつ)
しんらばんしょう 森羅万象
しんりゃく（侵掠△）→侵略
しんれい
＝心霊〔たましい、神秘的な精神現象〕心霊現象、心霊術
＝神霊〔神のみ霊、霊妙な徳〕神霊の加護
しんろ
＝針路〔船や航空機の向き、比喩的にも〕北に針路を変える、日本の針路、飛行機・船の針路を修正
＝進路〔進もうとしているコース〕人生の進路、進路指導、台風の進路、船の進路を横切る
〔注〕使い分けに迷う場合や混在する場合は「かじを切る」「船の前を通る」など表現を工夫する。
しんろう
＝心労〔精神的疲労〕心労が重なる、心労が絶えない
＝辛労〔骨折り〕辛労辛苦、長年の辛労が報われる

【す】

す 巣 空き巣、巣くう、巣立ち、巣離れ、浮巣
す 酢 三杯酢、酢漬け、酢の物、ポン酢
す（洲△）→州 三角州、中州、浮州
す… 素足、素うどん、素顔、素手、素通り、素泊まり、素潜り、素焼き、素読み

ず　頭　頭が高い、頭突き
すい　酸い　酸いも甘いも
すい…　吸い殻、吸い口、吸い込み、吸い付く、吸い取り紙、吸い飲み、吸い物
すいか　(誰何)→呼びただす
すいぎゅう　スイギュウ・水牛〔動物〕
すいきょう　(粋狂、酔興)→酔狂
すいげんち　(水源池)→水源地〔注〕特に池を指す場合は「水源池」も。
すいこう　(推敲△)→文を練る、推敲(すいこう)
ずいじ　㊞随時
ずいしょ　(随処)→㊞随所
すいしょう　(推賞、推称)→推奨

すいせい
＝水性〔水に溶けやすい性質〕水性塗料、水性ペン
＝(水棲△)→水生〔水中で生活する生物〕水生昆虫・植物・動物、水生シダ
すいせい　(彗星△)→彗星(すいせい)、ほうき星
すいせん　スイセン・水仙〔植物〕
すいせん　(推選)→推薦〔注〕地方自治法では「指名推選」。
すいぜんのまと　(垂涎△の的)→垂ぜんの的
すいぞう　(膵臓△)→膵臓(すいぞう)〔身体器官〕
すいたい　(衰頽△)→衰退
すいとう　出納　出納係、出納簿

ずいどう　(隧道△)→トンネル〔「すいどう」とも〕
ずいぶん　㊞随分・ずいぶん
すいほう
＝水泡〔水の泡〕水泡に帰す
＝(水疱△)→水疱(すいほう)〔病名〕
ずいほうだいじゅしょう　(瑞△宝大綬章)→㊟瑞宝大綬章
叙位叙勲(508ページ)
すいれん　(睡蓮△、水蓮△)→スイレン〔植物〕
すうき　(数寄▲)→数奇　数奇な運命
すうききょう　(枢機卿△)→㊟枢機卿〔「すうきけい」とも〕
ずうずうしい　(図々しい)→ずうずうしい
すうせい　(趨勢△)→大勢、動向、成り行き

ずうたい　(図体)→ずうたい、(大きい)体

すうだん　数段〔副詞にも〕

すえ　末　末恐ろしい、末々、末頼もしい、末っ子、末永く、末広がり

すえ…　据え置き(期間・料金)、据え膳、据え付け

ずえ　＝図絵〔図画〕地獄図絵　＝図会〔図集〕名所図会

すえき　須恵器

すえる　据える　上座に据える、腰を据える、社長に据える、礎石を据える、腹に据えかねる、目を据えてよく見る

ずが　図画〔法律用語では「とが」〕

ずがいこつ　頭蓋骨〔身体器官。「とうがいこつ」とも〕

すかさず　㊒(透かさず)→すかさず

すかす　(賺す)→すかす　なだめすかす

すかす・すく　透かす・透く　肩透かし、透かし織り、透かし彫り、透ける、見え透いた、見透かす

すかす・すく　(空)→すかす・すく　おなかをすかせる、電車がすいている、胸がすく

すがすがしい　(清々しい)→すがすがしい

すがた　姿　姿見、姿焼き

すき　好き　好き勝手、好き嫌い、好きこのんで、好き好き

すき　(透き)→隙　隙間、隙をうかがう、隙を見て、手隙

すき　(漉き)→すき　紙すき

すき　(数奇)→数寄(を凝らす)

すぎ　スギ・杉〔植物〕スギ花粉(症)、ヒマラヤスギ

…すぎ　＝過ぎ〔度を超えている、連用形の後〕遊び過ぎ、行き過ぎ、食べ過ぎ、出来過ぎ　＝すぎ〔ある時刻・年数・距離を超える、接尾語の場合〕50すぎの男性、30㌔すぎ、正午・昼すぎ、半ばすぎ　〔注〕「80歳を過ぎて、正午を過ぎる」など動詞は漢字書き。

すきとおる　透き通る

(…に)すぎない　(過ぎない)→(に)すぎない

すきま　(透き間)→㊒隙間

すきや　(数奇屋)→㊒㊒数寄屋(造り)

すきやき (鋤△焼き)→すき焼き
すきん 頭巾
すぐ・すぐに ㊀(直)→すぐ・すぐに すぐさま
…ずく (尽く)→ずく 腕ずく、計算ずく、相談ずく、力ずく、納得ずく、欲得ずく
〔注〕「腕ずくで」など「で」が付く場合は「…ずく」。☞「…づく」の項
すくう 救う 救い手、救い主
すくう (掬△う)→すくう〔すくって取り上げる〕足をすくう、網ですくい上げる、すくい投げ、水を両手ですくう
すくう (巣食う)→巣くう
すくなくとも ㊁少なくとも
すくむ (竦△む)→すくむ 足がすくむ、首をすくめる、すくみ上がる、抱きすくめる、立ちすくむ
…ずくめ (尽くめ)→ずくめ〔その物・事ばかり〕規則ずくめ、記録ずくめの大会、黒ずくめ、結構ずくめ、マツタケずくめの料理
〔注〕同類の物を全て列挙する「…尽くし＝づくし」との混同に注意。
すぐる (選る)→すぐる〔選び取る〕実力者をすぐる、精鋭をよ(え)りすぐる
すぐれる (秀れる、勝れる)→優れる
すげ (菅△)→スゲ〔植物〕すげがさ
すけっと ㊁助っ人
すけとうだら (介党鱈△、助惣鱈△)→スケトウダラ〔動物〕
〔注〕スケソウダラともいうが和名の「スケトウダラ」を使う。
すげない (素気ない)→すげない
すごい (凄い)→すごい すごい腕、すごみ、すごむ
すこし ㊀少し
すこぶる ㊁(頗△る)→すこぶる、大層、非常に
すごもり (巣籠もり)→巣ごもり
すこやか 健やか
すごろく (双六)→すごろく
すさまじい (凄まじい)→すさまじい
ずさん (杜△撰△)→ずさん〔「ずさん」とも〕、ぞんざい、粗雑
すし (鮨△、鮓△、寿司)→すし いなりずし、五目ずし、すし詰め、ちらしずし、なれずし、にぎりずし、ふなずし

すじ 筋　筋合い、筋書き、筋金入り、筋立て、筋違い、筋道、筋向かい、筋向こう、筋目
すじこ スジコ・筋子
すじょう (素姓、素生)→㊞素性
すす (煤△)→すす　すすける、すす掃き、すす払い
すず (錫△)→スズ　スズ合金
すずかけ (篠懸△)→鈴懸け　スズカケノキ〔植物〕
すすぐ (濯ぐ、雪ぐ、漱△ぐ)→すすぐ〔「そそぐ」とも〕
すずなり (鈴生り)→鈴なり
すすむ 進む　食事・食欲が進む、病気が進む
すずめ (雀△)→スズメ〔動物〕着たきりすずめ、すずめの涙
すすめる 進める〔進行〕会議を進める、位を進める、計画を進める、交渉を進める、時計を進める
すすめる (奨める)→勧める〔勧誘、奨励〕　席を勧める、節約を勧める、転地を勧める、入会を勧める　＝薦める〔推薦〕お薦め品
〈使い分けに注意〉
▼○○を勧める〔ある行為を促す〕　読書を勧める
▼○○を薦める〔望ましい人・事物を推薦〕良書を薦める
すそ 裾　お裾分け、裾野、裾模様
ずだぶくろ (頭陀△袋)→ずだ袋　〔ずた袋とも〕
すたる 廃る　廃れる
ずつ (宛)→ずつ　一つずつ
ずつき 頭突き
すっとんきょう (素っ頓狂)→すっとんきょう
すっぱい 酸っぱい
すっぱだか・すはだか 素っ裸　・素裸
すっぱぬく (素っ破抜く)→すっぱ抜く
すっぽん (鼈△)→スッポン〔動物〕すっぽん鍋、月とスッポン
すてき (素敵、素的)→すてき
すでに ㊞既に・すでに
すてる (棄てる)→捨てる　捨て石、捨て印、捨て置く、捨て金、捨て子、捨てぜりふ、捨て所、捨て値、捨て身
すな 砂　砂遊び、砂嵐、砂かぶり、砂煙、砂袋

すなお 素直
すなわち (即ち、則ち)→すなわち
ずにのる (頭に乗る)→図に乗る
ずぬける (頭抜ける、図抜ける)→ずぬける
すねる (拗ねる)→すねる
すのこ (簀の子)→すのこ
すばしこい (素早しこい、素速しこい)→すばしこい〔「すばしっこい」とも〕
すはだ (素肌)→素肌
ずばぬける (ずば抜ける)→ずばぬける
すばやい (素速い)→素早い
すばらしい 素晴らしい
すばる (昴)→すばる〔おうし座にある星団名で平仮名書き〕
ずぶとい (図太い)→ずぶとい
すぶり (バットの)素振り
すべ (術)→すべ　なすすべがない、なすすべを知らない
すべからく (須く)→すべからく、当然、ぜひ
すべて (凡て、総て)→全て
すべる (総べる)→統べる
ずぼし 図星
すまう 住まう　住まい
すまき (簀巻き)→す巻き
すみ 炭　炭窯、炭火、炭焼き
すみ 墨　お墨付き、墨染め
すみ (角)→隅　隅々、隅っこ
…ずみ 検査済み、差し替え済み、売約済み、用済み
すみか (棲み処、住み家)→すみか　ついのすみか
すみやか 速やか
すみれ (菫)→スミレ〔植物〕　すみれ色
すみわけ (棲み分け)→すみ分け〔縄張り〕
＝**住み分け**〔人間の居住〕2世帯住宅で住み分け
すむ (棲む、栖む)→すむ〔動物など〕　アユがすむ清流、すみ着く、魔物がすむ、山にすむ獣
＝**住む**〔人間〕住み着く、住めば都、部屋住み
すむ・すます 済む・済ます　成り済ます
すむ・すます 澄む・澄ます　澄まし顔、澄まし汁
すもう (＊角力)→㊐相撲
すり (掏摸)→すり

する
＝(摺る△)→刷る〔印刷〕色刷り、刷り上がり、刷り込み〔動物の学習形態〕、刷り物、手刷りの賀状、名刺を刷る
＝擦る〔こする〕靴擦れ、悄報を擦り合わせる、擦り傷、擦り切れる、擦り込む、擦り抜ける、擦りむく、擦れ違う、擦れっからし、擦れる、床擦れ、マッチを擦る
＝(摩・磨・摺△、擂△)→する〔摩滅、摩耗、みがく、使い果たす、細かく砕く〕靴がすり減る、競馬でする、ごまをする〔比喩〕、墨をする、すり足で進む、すり替え、すりガラス、すりこ木、すり鉢、すり身、手すり、行きずり

ずるい（狡い△）→ずるい　ずる賢い、ずるける、ずる休み
するめ　するめ〔加工品〕スルメイカ〔動物〕
すれすれ（擦れ擦れ）→すれすれ
すわる
＝(坐△る)→座る〔膝を折って席に着く、一定の地位・場所を占める〕後釜に座る、㊙居座る、社長の椅子に座る、座り心地、座り込み、横座り
＝据わる〔どっしり構える、落ち着く、動かなくなる〕赤ちゃんの首が据わる、腰が据わる、据わりが悪い、度胸が据わる、腹が据わる、(酔って)目が据わる
すん　寸　寸借、寸前、寸足らず、寸詰まり、寸鉄、寸評
すんか　寸暇(を惜しんで働く)
すんごう（寸毫△）→寸分、少し
ずんどう（寸胴）→ずんどう
すんぽう　寸法　寸法書き

【せ】

…せい
＝制〔主に制度〕学区制、議院内閣制、共和制、君主制、定時制、天皇制、独立採算制、民主制、六三制
＝性〔性質、傾向〕アルカリ性、遺伝性、可燃性、感受性、居住性、偶然性、公共性、国民性、採算性、指向性、志向性、主体性、植物性、㊐信ぴょう性、生産性、普遍性、放射性

〔注〕「公開制(公開性)、地域性(地域制)」などの使い分けに注意。かっこ内はあまり使わない。

せいあつ (征圧)→制圧〔がん征圧月間などは例外〕

せいいく
＝生育〔主に植物に〕稲の生育状態、樹木の生育
＝成育〔主に動物に〕子どもの成育、稚魚の成育、豚の成育
↪「せいちょう」の項

せいいっぱい ㊀(精一杯)→精いっぱい

せいかく (精確)→正確

せいかん (精悍△)→たくましい、精強、精悍(せいかん)

せいがん
＝請願〔役所などに願い出る〕国会に請願する、条約改定を求める請願、請願権、請願デモ
＝誓願〔神仏に事の成就を願う〕神に誓願

せいき (制規、成規)→正規

せいき
＝生気〔生き生きとした気分、活気〕生気がみなぎる、生気はつらつ、生気を取り戻す
＝精気〔精神と気力、生命根源の力〕精気を奮い起こす、万物の精気

せいきょ 逝去

せいぎょ (制馭△、制禦△)→制御

せいぎょう
＝生業〔生活費を得るための仕事〕生業に励む、文筆を生業とする↪「なりわい」の項
＝正業〔堅気の職業〕正業に就く

せいくらべ (背較べ)→背比べ

せいけい
＝成形〔形をつくる〕陶器の成形、プラスチックの成形加工
＝成型〔型にはめて作る〕規格成型、成型品、成型肉
＝整形〔形を整える〕整形外科〔やけど痕の治療は形成外科〕、整形手術、美容整形

せいごう (斉合)→整合(性)
出力回路の整合、二つの地層が整合、法律と政策の整合性

せいこく (正鵠△)→急所、要点、核心 正鵠(せいこく)を射る(得る)

せいこん
＝精根〔心身の精力と根気〕精根尽きる
＝精魂〔たましい〕精魂を込めて

せいさい
＝(生彩)→㊀精彩〔生き生きとし

た元気なさま、美しい彩り〕精彩に富む、精彩を欠く、精彩を放つ

＝精細〔くわしく細かい〕高精細度テレビ、精細な筆致、精細に描写

せいさく

＝制作〔主に芸術的・ソフト的なもの〕絵画・工芸品の制作

＝製作〔主に具体的・実用的なもの。量産する場合〕機械・器具の製作

〔注〕放送番組は「制作」、映画は「製作」が一般的。「○○製作（制作）委員会」など固有名詞は名称通り書く。

せいさん（凄惨）→むごたらしい、陰惨、悲惨、凄惨（せいさん）

せいさん

＝清算〔きまりをつける〕過去を清算、借金の清算、清算会社、清算取引

＝精算〔詳しい計算をする〕運賃の精算、経費を精算する

せいさんざい（生産材）▲→生産財

せいし（世嗣）→世子

せいしき（清拭）→清拭（せいしき）

せいじけっしゃ（政事結社）→政治結社

せいじしきんきせいほう

＝政治資金規正法〔日本〕

＝政治資金規制法〔外国〕

ぜいじゃく（脆弱）→もろい、弱い、脆弱（ぜいじゃく）

せいじゅく（生熟）→成熟

せいしょう（整唱）→斉唱

せいじょう

＝性状〔性質と行状・状態〕粗野な性状、物質の性状

＝性情〔性質と心情、きだて〕温和な性情

せいじょう（政状）→政情

せいしんいじょう・せいしんびょう（精神異常、精神病）→精神障害（者）

〔注〕精神異常（者）、精神病（者）は使わない。例外的に通院歴・病名などを書く場合は病気への偏見を招かないよう注意が必要。

せいしんはくじゃく（精神薄弱）→知的障害、知的発達の遅れ、精神遅滞

せいじんびょう（成人病）→生活習慣病

せいしんびょういん（精神病

院)↓精神科(病院)、神経科(病院)

せいしんぶんれつびょう (精神分裂病)↓統合失調症〔病名〕

せいする

‖制する〔制定、制御、支配〕機先を制する、先んずれば人を制す、毒をもって毒を制す、発言を制する、はやる気持ちを制する

‖征する〔征伐〕悪を征する

せいぜい ㊀(精々)↓せいぜい

せいぜつ (凄絶)↓すさまじい、ものすごい、壮絶、凄絶(せいぜつ)

せいそ (清楚△)↓清らか、すっきり、清楚

せいそう

‖正装〔正式の服装〕正装に威儀を正す

‖盛装〔華やかに着飾る、晴れ着〕振り袖姿に盛装して

せいそう (凄愴△、悽愴△)↓痛ましい、すさまじい、むごたらしい、悲惨

せいそく (棲息△)↓生息

せいたい

‖生体〔生きているままの体〕生体解剖、生体肝移植、生体実験、生体染色、生体反応

‖生態〔生物が生活している状態〕生態系、生態写真、野鳥の生態調査

ぜいたく (贅△)↓ぜいたく

せいち 精緻

せいちゅう (掣△肘・制肘)↓制約、拘束、干渉

せいちょう (生長)↓㊀成長〔動植物〕稲の成長、草木の成長、子どもの成長 ㊁「せいいく」の項

せいちょう

‖清聴〔相手が聞いてくれる〕ご清聴を感謝します

‖静聴〔静かに聞く〕ご静聴願います

せいてん

‖晴天〔よい天気〕晴天に恵まれる、晴天乱気流

‖青天〔晴れ渡った昼空〕青天のへきれき、昼天白日

せいと 生徒〔中学、高校、専修・各種学校〕㊁「じどう」の項

〔注〕専修・各種学校の場合、文脈に応じて「学生」も使う。

せいとう

‖正当〔道理にかなう、不当の対

語〕主張の正当性、正当化する、正当行為、正当な理由、正当防衛

＝**正統**〔正しい系統、異端の対語〕政権の正統性、正統学派、正統主義、正統な後継者、正統派

せいとう

＝**製糖**〔砂糖の製造〕

＝**精糖**〔粗糖から精製した白砂糖、精製の工程〕

せいとん 整頓

ぜいにく（贅△肉）→ぜい肉

せいばい 成敗　けんか両成敗

せいはん（整版）→製版

せいひ

＝**正否**〔正しいか否か〕事の正否は分からない、正否を明らかにする、正否を問う

＝**成否**〔成功と失敗〕事の成否を占う、作戦の成否を待つ、成否の鍵を握る、成否は問わない

せいひつ（静謐△）→静かで穏やか、平穏

せいふく（征伏）→征服

せいもく（井目、正目、聖目）→星目〔囲碁〕

せいゆじょ（精油所）→製油所

せいらい（性来）→生来〔「しょうらい」とも〕

せいらん（＊脊嵐・せいらん）→背嵐

せいれい

＝**制令**〔制度法令〕

＝**政令**〔憲法・法律を実施するために内閣が定める命令〕政令指定都市 S法令関連用語（608ページ）

せいれつ（清冽△）→清らか

せいれん

＝**精練**〔繊維から混じり物を取り除く〕生糸を精練する

＝**精錬**〔粗金属の純度を高める〕粗鋼を精錬する

＝**製錬**〔鉱石から金属を取り出す〕製錬所〔工程によって精錬所とも〕

せいれん 清廉　清廉潔白

ぜかひか（是か▲否か）→是か非か

ぜがひでも 是が非でも S「ぜひ」の項

せき（堰△）→せき　せきを切ったように、洗い・河口・可動堰（ぜき）

せきがく（碩△学）→大家、権威、大学者

せきずい 脊髄〔身体器官〕

せきつい 脊椎〔身体器官〕
せきとして 寂として
せきとめる (塞き止める、堰き止める)→せき止める
せきとり 関取〔相撲〕
せきねん ‖昔年〔昔日、昔時〕昔年の思い出話、昔年の面影 ‖積年〔過去の長い年月〕積年の恨み、積年の努力が実を結ぶ、積年の不摂生がたたる
せきばく (寂寞)→寂しさ、ひっそり
せきりょう (寂寥)→わびしい、物寂しい、ひっそり
せきわけ ㊒関脇〔相撲〕
せけんてい (世間態)→世間体
せこ (勢子)→勢子
せこう 施行・施工 ⇄「しこう」の項

せし・せっし (摂氏)→セ氏〔注〕一般に温度を表すとき「セ氏」は不要。⇄「かし」の項
せたい 世帯〔役所に届けてある一家の人的構成〕世帯数、世帯調査、世帯主、被災世帯 ⇄「しょたい」の項
せたけ (脊丈)→背丈
せちえ 節会
せちがらい (世智辛い)→世知辛い
せっかく ㊒(折角)→せっかく
せっかん (折檻)→せっかん
せっき ‖節気〔季節の区分〕二十四節気 ‖(節期)→節季〔盆・暮れなど商店の経理の区切りの時期〕節季大売り出し

せっきょう ‖説教〔教訓をたれる、宗教上の教え〕おやじに説教された ‖説経〔経文の講釈〕説経語り、説経節
せっく (節供)→節句
せっけん (石鹸)→せっけん
せっけん (席捲)→㊒席巻(する)
せっけん 接見 弁護士が被告と接見、ローマ法王が接見する
せっこう (石膏)→㊒石こう
せっさたくま (切磋琢磨)→鍛錬、互いに鍛える、修練、切磋琢磨
ぜっさん (絶讃)→絶賛
せっしょう 殺生 無益な殺生
せっしょう 摂政
せっしょう (接衝、折渉)→折

せっせい
＝摂生〔養生〕摂生に努める、不摂生

せっせん（切線、截線△）→㊐接線

ぜったい（絶体）→絶対　㊒絶対に、絶対反対

ぜったいぜつめい（絶対▲絶命）→絶体絶命

せつだん（截△断）→切断、裁断

せっちゅう（折中）→折衷　和洋折衷

せつな　刹那　刹那的
〔注〕「刹那的」以外はなるべく「一瞬、瞬間」などとする。

せつない　切ない

せつに　㊒切に

せっぱく（接迫）→切迫

せっぱつまる（切端▲詰まる）→切羽詰まる

せっぱん（切半）→折半

せっぴ（雪△庇）→雪庇（せっぴ）

せっぷく（説服）→説伏、説得、説き伏せる

せっぷん（接吻△）→キス、くちづけ・口づけ

ぜっぽう（舌鉄△）→弁舌、舌鋒（ぜっぽう）

せつり
＝節理〔物事の筋道、岩石の割れ目〕柱状節理
＝摂理〔自然界を支配している理法〕自然の摂理

せとぎわ　瀬戸際

ぜに　銭　小銭入れ

せばまる　狭まる　狭める

ぜひ　㊒(是非)→ぜひ　ぜひとも

ぜひ（是否▲）→是非、可否、賛否　是々非々、是非もない、是非を問う、是非を論じる

せぶみ　瀬踏み

せまい　狭い　狭き門、狭苦しい

せみ（蟬△）→セミ〔動物〕せみ時雨

せめぐ（閧△ぐ）→せめぐ　せめぎ合い

せめる
＝攻める〔攻撃〕握手攻め、質問攻めにする、攻めあぐむ、攻め込む
＝責める〔拷問、せっかん、非難〕落ち度・失敗を責める、責めさいなむ、責めを負う、非を責める

せりふ（＊台詞、＊科白）→せりふ

せる

＝競る　小競り合い、競り合い〔つばぜり合いは例外〕、競り市、競り売り、競り落とす、競り勝つ、値を競り上げる、初競り

＝(迫る)→せる　(舞台の)せり、せり上げる、せり出し、腹がせり出す

ぜろ（零）→ゼロ　ゼロ歳児〔0歳児とも〕、ゼロ成長、ゼロ戦〔零式艦上戦闘機。零＝れい＝戦とも〕、ゼロメートル地帯

ぜん　膳　一膳飯、陰膳、食膳、据え膳、配膳、薬膳

せんい

＝繊維〔一般用語〕合成繊維、食物・植物繊維

＝線維〔医学用語〕神経線維

せんえい（尖鋭）→先鋭

せんえつ（僭越）→思い上がり、出過ぎ、せんえつ

せんか

＝戦火〔戦争による火災、戦闘〕　戦火が広がる、戦火を交える

＝戦禍〔戦争による災い・被害〕　戦禍を被る、戦禍を免れる

＝戦渦〔戦争による混乱〕戦渦に巻き込まれる

＝戦果〔戦争で得た成果〕戦果を報告する

ぜんかい（全潰）→全壊

せんきょ（船渠）→㊐ドック

せんぎり（繊切り）→千切り

せんきん

＝千金　千金、千金に値する

＝(千鈞)→千鈞〔とても重い〕千鈞の重み

せんけつ

＝先決〔先に決める〕先決問題

＝専決〔その人の考えだけで決める〕専決処分、独断専決

せんけつ

＝鮮血〔真っ赤な血〕鮮血が飛び散る

＝潜血〔微量の出血。潜出血とも〕　潜血反応、潜血便

せんこう

＝潜行〔一般用語〕地下に潜行する

＝潜航〔艦船〕潜航艇

せんこう

＝先行〔他より先に行く〕時代に先行する、先行指標〔株価な

ど）、先行車・馬、2点を先行、理屈が先行

＝先攻〔スポーツの先攻め〕先攻後攻

せんこう（閃光△）→閃光（せんこう）

ぜんごさく（前後策△）→善後策

せんざいいちぐう（千歳一遇）→千載一遇

せんさく（穿鑿△△）→詮索

ぜんじ（漸時▲△）→漸次

せんしょう（僭称）→自称、誇称

せんじょう（洗濯△）→洗浄

せんじょう（煽情）→扇情

せんじょうこん（旋条痕、綫△条痕）→線条痕

ぜんしょうせん　前哨戦

せんしょく

＝染色〔糸・布などの着色〕染色家、染色糸、染色体、染色法

＝染織〔染め物・織物の技法、製品〕染織家、染織工芸

せんじる　煎じる〔「せんずる」とも〕煎じ薬、煎じ詰める

ぜんしん

＝前進〔前に進む〕一歩前進

＝漸進〔段階を経て徐々に進む〕政治改革が漸進、漸進主義、漸進的に拡大

ぜんじんみとう（前人未踏）→前人未到（の記録）㊟「じんせきみとう」の項

せんす　扇子

せんすいふ　⊗（潜水夫）→潜水作業員、潜水士〔公的資格〕

せんせい（撰△制、専政）→専制専制君主、専制政治

せんせき

＝戦績〔試合などの成績・結果〕輝かしい戦績を残す、戦績を振り返る

＝戦跡〔戦争の行われた跡〕戦跡にある慰霊碑、戦跡を訪ねる

ぜんぜん（副）全然〔注〕「全然美しい、全然楽しい」など肯定的には使わない。

せんせんきょうきょう（戦々△兢々）→戦々恐々

ぜんそく（喘△息）→ぜんそく〔病名〕

せんだって（先立って、先達て）→せんだって

せんたん（尖△端）→先端

ぜんち（全智△）→全知（全能）

せんちゃ　煎茶

ぜんちょう（前徴）→前兆

せんてい（剪定）→枝切り、刈り込み、剪定（せんてい）

せんてつ（銑鉄）→特銑鉄

せんとう（尖塔）→尖塔（せんとう）

せんどう（煽動）→扇動

せんにゅうかん（先入感）→先入観

せんにん
＝専任〔一つの仕事を担当〕専任講師
＝先任〔任務にその人より先に就く〕先任権、先任将校
＝選任〔選び出して任命〕理事を選任

せんばづる 千羽鶴

せんびょうしつ 腺病質

せんべい 煎餅・せんべい

せんぺい（尖兵）→先兵

せんべつ（餞別）→はなむけ、餞別（せんべつ）

せんべんいちりつ（千篇一律）→千編一律

せんべんをつける（先鞭をつける）→先駆ける、先手を取る、先んじる、先鞭（せんべん）をつける

せんぼう（羨望）→うらやむ、羨望（せんぼう）

せんぽう（先鋒）→先頭、先陣、先駆け、先鋒（せんぽう）

ぜんぼう 全貌

せんぼつ（戦歿）→戦没

ぜんまい（薇）→ゼンマイ〔植物〕ぜんまい織り

ぜんまい（＊発条、撥条）→ぜんまい　ぜんまい仕掛け

せんめつ（殲滅）→全滅（させる）、壊滅（させる）

ぜんめん
＝全面〔あらゆる方向、全体〕全面解決を図る、全面広告、全面降伏、全面支援、全面戦争、全面対決
＝前面〔前・表の方〕政策を前面に打ち出す、闘志を前面に出す、要求を前面に押し出す

せんゆう
＝占有〔自分のものにする〕占有権、占有の意思、占有離脱物横領罪
＝専有〔共有の対語、ひとり占めにする〕経営権を専有、専有物・部分・面積

せんよう
＝占用〔自分のものにして使う〕占用許可、土地の占用
＝専用〔ある目的またはある人や

団体だけで使う〕自動車専用道路

せんりつ（戦慄）→おののく、震え上がる、戦慄（せんりつ）

【そ】

そう

＝沿う〔つたって行く〕意・期待・希望・方針に沿う、海沿いの町、川に沿う、線路に沿って行く

＝添う〔付き加わる〕添い遂げる、添い寝、付き添う、長年連れ添った夫婦、寄り添う、

付添【人】

そう

＝壮　強壮、広壮、豪壮、少壮、壮観、壮挙、壮健、壮絶、壮大、壮年、壮烈、大言壮語、悲壮、勇壮

＝荘　山荘、荘重、別荘

ぞう　ゾウ・象〔動物〕アジアゾウ、アフリカゾウ

〔注〕インドゾウはアジアゾウの亜種。なるべく「アジアゾウ」とする。

そうい（相異）→㊒相違

そうい（創痍）→痛手、傷　満身創痍（まんしんそうい）

そうそうつびょう（躁鬱病）→そううつ病〔病名〕

ぞうお　憎悪

そうおん（噪音）→騒音

そうかい

＝爽快〔精神的に〕気分爽快、爽快な目覚め

＝壮快〔肉体的に〕健康を取り戻し壮快だ、壮快なスポーツ

そうかい（捜海）→掃海（艇）

そうかつ（総轄）→総括

ぞうがん（象嵌）→象眼

そうきょく（箏曲）→㊒箏曲

ぞうきん　雑巾

そうく（走狗）→手先

そうくつ　巣窟

ぞうげ　象牙

ぞうけい（造型）→㊒造形

〔注〕鋳型を作る「造型機」は例外。

ぞうけい　造詣（が深い）

そうこう（奏効）→㊒奏功

そうごう　相好　相好を崩す

そうごう（綜合）→総合

そうこく（相剋）→相克、争い

そうごん（荘厳）→荘厳

ぞうさ（雑作）→㊒造作〔面倒、もてなし〕無造作に

そうさい　相殺　過失相殺

そうざい (惣菜△)→総菜、おかず

ぞうさく (雑作)→造作〔建築用語。顔のつくり〕家の造作に凝る、顔の造作

そうさくねがい 捜索願

そうし (草子、双紙、冊子)→草紙

そうじふ ⊗(掃除夫・婦)→清掃作業員、清掃従業員

そうじゅうかん (操縦桿△)→操縦かん

そうしょ (蒼△)→双書、シリーズ

そうじょう (騒擾△)→騒乱

そうじょう (僧上▲)→僧正　大僧正

そうしん (喪神)→喪心

そうしん (痩身)→痩身(そうしん)

ぞうすい 雑炊

そうせい ＝創世〔世界のはじめ〕創世記〔旧約聖書〕、創世神話

そうせい ＝創成〔初めて出来上がる〕民俗学の創成期

そうせい ＝創製〔初めてつくりだす〕先代の創製した銘菓

そうせい (早逝)→早世〔早死に〕

そうそうたる (錚々△たる)→立派な、一流の、そうそうたる

そうそふ 曽祖父

そうそぼ 曽祖母

そうそん 曽孫

そうだ (操舵△)→操舵(そうだ)　操舵室・手

そうちょう (壮重)→荘重

そうてい (装幀△、装釘)→装丁

そうてい (漕艇△)→ボート

そうてん (装塡)→装塡(そうてん)

そうと ＝壮図〔壮大な企画〕ヒマラヤ征服の壮図を抱く

そうと ＝壮途〔勇ましい門出〕南極探検の壮途に就く

そうとう (掃蕩△)→掃討、掃滅

ぞうに 雑煮

そうはく (蒼△白)→青白い、青ざめた　顔面蒼白(そうはく)

そうばん ㊀早晩

ぞうぶつ (贓△物)→盗品、横領品

〔注〕犯罪の種類によって適宜言い換える。

そうへき (双壁▲)→双璧

そうほう (相方)→双方

そうぼう (僧房)→僧坊

そうまとう 走馬灯

そうめい (聡明)→賢明、賢い、聡明(さとい)

そうめん (素麺)→そうめん

そうらん

＝騒乱〔治安の乱れ〕各地で騒乱が起こる、騒乱罪

＝争乱〔争いによる世の中の乱れ〕争乱の世

ぞうり ㊥草履

そうりょ 僧侶

そうりょう (惣領)→総領

そうれい (荘麗)→壮麗

そうろう 候 居候、候文

そえる 添える 添え乳＝そえぢ、添え物

そえん (粗遠)→疎遠

そーだ (曹達)→㊐ソーダ カセイソーダ〔工業製品〕

そがい

＝(阻碍)→阻害〔さまたげる〕文明の発達を阻害する

＝疎外〔のけものにする〕疎外感、仲間から疎外される

そきゅう (遡及)→さかのぼる、遡及

そく

＝即 即応、即座、即時、即日、即席、即物的、即妙、即興、即金、即効(薬)、即刻

＝速 早速、迅速、拙速、速射、速達、速報、速乾性、速記、速攻、速効性(肥料)、敏速

そぐ (殺ぐ、削ぐ)→そぐ 気勢をそがれる、竹をそぐ

そくしんき (測深器)→㊐測深機

そくする

＝即する〔ぴったりつく、適応する〕事実に即する、自然に即して暮らす

＝則する〔のっとる、従う〕権利に則した対応、法に則する

そくせい

＝促成〔人工的に成長を促す〕促成栽培

＝速成〔速やかに成し遂げる〕速成教育、速成講座、速成醸造

＝即製〔その場でつくり上げる〕即製即売

＝即成〔その場で成立〕即成犯〔刑法用語。殺人罪など〕

ぞくせい (簇生)→群生、族生

そくせんそっけつ (速戦速決)→速戦即決

ぞくぞく ㊐続々

そくだん
＝即断〔たちどころに決める〕即断即決
＝速断〔早まった判断〕速断を避ける

そくとう（速答）→即答

そくぶん（仄聞）→側聞

そげき　狙撃

そこ　底　底上げ、底意地、底打ち、底堅い、底知れない、底力、底土、底積み、底抜け、底値、底冷え、底割れ

そご（齟齬）→食い違い、手違い、齟齬

そこう（遡行、遡航）→さかのぼる、遡行、遡航〔船〕

そこう　素行　素行が悪い

そこなう　損なう

そこびきあみ　底引き網

そさい（蔬菜）→野菜

そしゃく（咀嚼）→かみ砕く、かみこなす、消化、よく理解する、そしゃく

そじょう（俎上）→まな板の上、俎上

そじょう（遡上）→さかのぼる、遡上

そじょうにのせる（俎上に載せる）→話題・問題にする、俎上に載せる

そしらぬ　素知らぬ

そすい（疏水）→疎水
〔注〕「琵琶湖疏水」など、固有名詞は名称通り疏く。

そせい（蘇生、甦生）→㊚蘇生

そそう
＝（沮喪）→阻喪〔気力がくじける〕意気阻喪

＝粗相〔しくじり〕粗相する

そぞう　塑像

そそぐ
＝注ぐ〔流し込む、集中する〕コップに水を注ぐ、全力を注ぐ、火に油を注ぐ
＝（濯ぐ、雪ぐ）→そそぐ〔洗い落とす。「すすぐ」とも〕汚名・恥をそそぐ、口をそそぐ

そそのかす　唆す

そつ
＝卒〔にわかに、おわる、兵士〕卒業、卒中、卒倒、兵卒
＝率〔率いる、軽はずみ〕引率、軽率、率先、率直、統率

そつう（疏通）→疎通　意思疎通

そっくりかえる　反っくり返る

そっけつ（速決）→即決

そっけない 素っ気ない
そっこう ＝(速行)→即行〔すぐ行う〕
＝速攻〔素早い攻め〕
＝(速効)→即効〔一般用語。すぐに効く〕即効性、即効薬
＝速効〔薬学・歯学・農学〕速効性作用、速効性肥料
そっこく (速刻)→即刻
そで 袖 袖にする、袖の下、留め袖、舞台の袖、振り袖
そと 外 外歩き、外掛け、外構え、外づら、外回り
そとうば・そとば ㊥卒塔婆
そとぼり (外濠)→外堀
そなえる
＝供える〔提供、供進〕お供え、お神酒を供える、供え物
＝備える〔準備、具備〕備えあれば憂いなし、台風に備える、老後の備え
そなわる 備わる 気品が備わる
その (苑)→園
その (其の)→その その上、その代わり、そのくせ、その中、その辺、そのまま
そば (傍、側)→そば
そば (蕎麦)→ソバ〔植物〕、そば〔食品〕かけそば、そば打ち、そばがき、そば殻、そば粉
そばかす (雀斑)→そばかす
そばだてる (欹てる、側立てる)→そばだてる 耳をそばだてる
そびょう
＝素描〔デッサン、簡潔にまとめた文章〕人物を素描する
＝粗描〔大まかに描く〕概要を粗描する、情景を粗描する
そぶり (素振り)→そぶり
そほう (疎放)→粗放
そほうか 素封家、金持ち、資産家
そぼく (素樸)→素朴
そまる・そめる 染まる・染める 悪事に手を染める、染め上がり、染め付け、染め物、血に染まる、染物【師】
そむく 背く 背ける
…ぞめ
＝染め〔一般用語〕藍染め、浅黄染め、墨染め、ろうけつ染め
＝染〔伝統的または地名を冠した染織〕型絵染、京染、草木染、友禅染

そめい（疏明△）→疎明
そめる 初める　咲き初める、見初める
そら 空　上の空、絵空事、空恐ろしい、空覚え、空事〔つくり事〕、空言〔虚言〕、空々しい、空とぼけ、空涙、空似、空念仏〔「からねんぶつ」とも〕、空耳、空夢
〔注〕「そらで言う」は平仮名書き。
そらす
＝反らす〔弓なり〕身・胸を反らす
＝(逸らす)→そらす〔他方へ向ける〕球をそらす、話をそらす、目をそらす
そらまめ（蚕豆•）→ソラマメ・空豆〔植物〕
〔注〕市況・料理記事では「ソラ豆」も使う。
そらんじる（諳△んじる、空んじる）→そらんじる
そりゃく（疎略）→粗略
そる（剃△る）→そる　ひげそり
そる 反る　反っくり返る、反りが合わない、反り橋、反り身、のけ反る、踏ん反り返る
そろう（揃△う）→そろう
そろう（粗漏）→疎漏（なく）
そろばん（＊算盤•）→そろばん
ぞんがい ㊀存外
そんきょ（蹲踞△△）→そんきょ〔相撲〕、うずくまる
ぞんじ（存知）→存じ　ご存じですか、存じません
そんしょく 遜色
そんぞく（尊族▲）→尊属
そんたく（忖度△）→推量、推測、推察、忖度（そんたく）
そんのう 尊王、尊皇
ぞんぶん ㊀存分
そんもう（損亡、損毛）→損耗

【た】

だ 駄　駄菓子、駄作、駄じゃれ、駄賃、無駄
たい
＝体　遺体、解体、肢体、実体、死に体、重体、生体、体得、体面、本体、容体、裸体
＝態　奇態、擬態、狂態、形態、姿態、事態、失態、実態、酔態、生態、態様、本態
たい（鯛△）→タイ〔動物〕たい焼き

だい
＝代〔歴史上の期間、家督の順、年齢の範囲など〕30〔歳〕代、2000年代、8代将軍
＝台〔数量の大体の範囲〕1万円の大台に乗る、午後5時台、70㌔台、平均寿命は80歳台

たいあんきちじつ 大安吉日〔…きちにち、…きつじつとも〕

たいいんれき 〔大陰暦〕→太陰暦

だいおんじょう 大音声

たいか 〔滞荷〕→滞貨

たいがい 〔副〕大概・たいがい

だいかぐら 〔大神楽〕→〔補〕太神楽 太太神楽＝だいだいかぐら

だいがわり
＝代替わり〔君主・経営者・年代などがかわる〕王の代替わり、商店主の代替わり、2000年代に代替わり
＝台替わり〔主に経済用語。数字の単位がかわる〕平均株価の大台替わり

たいかんしき 戴冠式

たいき 〔待期〕→待機

たいぎ
＝大義〔最高の道義〕大義にもとる
＝大儀〔重大な儀式、骨が折れる〕即位の大儀、大儀な仕事

だいぎし 〔代議士〕→衆院議員
〔注〕「○○代議士会」など固有名詞は名称通り可。

たいぎめいぶん 〔大義明文、大義名文〕→大義名分

たいきょくけん 太極拳

だいきん 代金 代金支払い、代金取り立て手形、代金引換

たいく 〔体躯〕→体格、体

たいくう
＝対空〔空からの攻撃に対抗〕対空射撃・砲火、対空ミサイル
＝滞空〔航空機などが飛び続ける〕滞空記録、滞空時間
＝耐空〔安全に飛行できる〕耐空証明〔航空機の強度・構造・性能の安全基準に用いる〕、耐空性改善通報・命令、耐空性基準

たいけい
＝〔体型〕→体形〔体のかたち〕体形に合った服、痩せた体形
＝隊形〔メンバーの配置〕戦闘隊

形、隊形を組む

たいけい
＝大系〔シリーズ〕文学大系
＝体系〔系統的な組織・システム〕診療報酬体系、体系的学説、哲学体系、理論体系

たいこ（大古）→太古

たいこ（大鼓）→太鼓
〔注〕大鼓＝おおつづみ、大鼓は能楽などで使う大きめの鼓。幇間の言い換え語「たいこ持ち」は平仮名書き。

たいご（隊伍）→隊列、隊

たいこう
＝対抗〔競い合い〕学校対抗、強敵に対抗する、対抗意識、対抗馬、対抗力
＝対向〔向き合う〕対向車(線)
＝対校〔学校同士の競争〕対校試合

たいこうぼう（大公望）→太公望

だいごみ（醍醐味）→妙味、面白さ、醍醐味

だいこん ダイコン・大根〔植物〕大根おろし

たいざんめいどう（泰山鳴動）→大山鳴動(してネズミ一匹)

たいじ（対峙）→対抗、にらみ合い、相対する、対峙

だいしきょう・だいしゅきょう
＝大司教〔カトリック教会〕
＝大主教〔聖公会、英国国教会、東方正教会〕

たいして ㊟大して

たいしゃ 代謝 新陳代謝

たいしょう
＝対称〔つり合っている〕左右対称、対称点、対称律
＝対象〔相手、目標〕調査の対象、読者対象
＝対照〔比較、取り合わせ〕Aと B を対照、貸借対照表、対照的な存在

だいじょうぶ 大丈夫

たいしょうりょうほう 対症療法〔対処療法は誤り〕

たいしょく（褪色）→退色

たいしん（対震）→耐震 耐震構造建築
〔注〕対震自動消火装置付きストーブなどでは「対震」を使う。

だいず ダイズ・大豆〔植物〕大豆かす、大豆油

たいせい

＝体制〔恒久的・長期的な仕組み・様式、システム化〕旧体制、教育体制、強権体制、挙党体制〔長期的〕、現体制、資本主義体制、社会体制、新体制、生産体制、責任体制、戦時体制、体制内、独裁体制、反体制、有事即応体制

＝態勢〔特定の物事に対応する(身)構え、一時的・部分的〕受け入れ態勢、挙党態勢〔一時的〕、厳戒態勢、出動態勢、準備態勢、スト態勢、選挙態勢、増産態勢、独走態勢、逃げ切り態勢、臨戦態勢

〔注〕「警備体制・態勢、体制・態勢づくり、24時間体制・態勢」などは内容によって書き分ける。

＝体勢〔体の勢い、姿勢〕体勢が崩れる〔相撲など〕、得意な体勢に持ち込む、飛行機が着陸体勢に入る

＝(頽勢△)→退勢〔衰えるさま〕退勢を挽回する

＝大勢〔物事の成り行き〕大勢に影響がない、大勢に従う、大勢を決する

たいせいよう（太西洋▲）→大西洋

たいせき

＝滞積〔滞ってつかえる〕案件・貨物・郵便物が滞積する

＝堆積〔積み重なる〕堆積岩、堆積作用、土砂が堆積

たいそう ㊀大層

だいたい ㊀大体・だいたい

だいたい（大腿△）→太もも、大腿(だい)(筋・骨)

だいだい（橙△）→ダイダイ〔植物〕だいだい色

たいてい ㊀大抵・たいてい並大抵

たいとう（擡△頭）→台頭

たいとう（駘△蕩△）→のどか、うらら(たいとう)か 春風駘蕩

だいどうしょうい 大同小異

だいなし 台無し

たいのう（怠△納）→滞納

たいはい（頽△廃）→退廃

たいひ

＝退避〔一般用語〕安全な場所に退避する、屋内退避、退避訓練、退避命令

＝待避〔鉄道、交通〕待避所、待避線

たいひ 堆肥

たいふ 大夫
〔注〕東宮大夫は「だいぶ」と読む。
だいぶ・だいぶん ㊀(大分)→だいぶ・だいぶん
たいへい (大平、泰平)→太平
たいへいよう (大平洋)→太平洋
たいへん ㊁大変
たいぼうしき 戴帽式
たいまつ (*松明)→たいまつ
たいよう (体様)→態様
たいよう ＝耐用〔使用に耐える〕耐用年数
＝耐容〔人体に〕(ダイオキシンの)耐容1日摂取量
たいようしゅう (太▲洋洲△)→大洋州、オセアニア
たいら 平ら 平らか、平らげる
だいり 内裏 内裏びな
たいりん 大輪〔「だいりん」とも〕大輪の菊
だえき 唾液
たえず ㊁絶えず
たえて ㊁絶えて
たえなる (妙なる)→たえなる
たえなる笛の音
たえる ＝耐える〔こらえる〕悲しみに耐えられない、困苦欠乏に耐える、重圧に耐える、耐え切れぬ苦痛、耐え忍ぶ、批判に耐えて頑張る、風雪に耐える
＝堪える〔抑える・値するなど限定的に〕遺憾に堪えない、鑑賞に堪える、感に堪えない、聞く・見るに堪えない、ざんきに堪えない、任に堪える、…の念に堪えない、憤慨に堪えない、喜びに堪えない
＝絶える〔きれる〕息が絶える、消息・通信・連絡が絶える、送金が途絶える、絶え絶え、絶え間、補給が絶える
だえん (楕△円)→長円、楕円
たか ＝高〔程度〕高が知れる、高をくくる
＝多寡〔数量の多少〕金額の多寡
たか (鷹△)→タカ〔動物〕一富士二タカ三ナスビ、タカ派、鷹匠
たか… 高鳴る、高値引け、高望み、高らかに、高笑い
たがい 互い お互い、㊁互いに
たがう (違う)→たがう うわさにたがわず、期待にたがわぬ活躍、仲たがい

たかが 副(高が)→たかが(100円)

たかだか ＝高々〔高さが際立つ〕高々と掲げる、鼻高々

＝たかだか〔副詞、せいぜい〕出席者はたかだか10人

たかとび ＝高飛び〔逃走〕容疑者が国外に高飛び

＝高跳び〔陸上競技〕走り高跳び、棒高跳び

たかねのはな (高嶺の花)→高根の花

たかぶる (昂る)→高ぶる　おごり高ぶる、神経が高ぶる

たかみのけんぶつ (高処の見物、高見の見物)→高みの見物

だかん (兌換)→兌換(だかん)　兌換券・紙幣

たき 滝　滝つぼ、滝登り

たきぎ 薪　薪能

たきび (焚き火)→たき火

たく ＝炊く〔食べ物を煮る〕炊き込みご飯、炊き出し、煮炊き

＝(炷く)→たく〔香をくゆらせる〕香をたく、線香をたく

＝(焚く)→たく〔火を燃やす〕摩擦をたく、火をたく、風呂の追いだき

だく 抱く　抱き合わせ、抱き起こす、抱きかかえる、抱き込む、抱き締める、抱き付く、抱き留める、抱き寄せる

たくあん (沢庵)→たくあん(漬け)

たぐい 類い　類いまれな秀才

たくさん 副(沢山)→たくさん

たくす (托す)→託す

たくはつ (托鉢)→托鉢

たくましい (逞しい)→たくましい

たくみ ＝巧み〔上手、企て〕巧みな技、悪巧み

＝(匠、工)→匠(たくみ)〔職人〕匠の技

たくむ (工む、巧む)→たくむ　たくまざる、たくまずして

たくらむ (企む、謀む)→たくらむ

たぐる 手繰る

たくわえる (貯える)→蓄える

たけ 丈　思いの丈、首っ丈、袖丈、丈比べ、身の丈

たけ タケ・竹〔植物〕竹筒、竹鉄砲、竹とんぼ、竹みつ、竹

やぶ、竹やり

たけだけしい（猛々しい）→たけだけしい

たけのこ（筍）→タケノコ〔植物〕雨後のたけのこ、たけのこご飯

たげん・たごん＝他言〔内緒事を他人に話す。読みは「たごん」が普通〕他言は無用＝多言〔口数が多い。読みは「たげん」が普通〕多言を要しない

たこ（蛸、鮹）→タコ〔動物〕酢だこ、たこ足配線、たこつぼ〔比喩的に〕、タコつぼ漁、たこ焼き、引っ張りだこ、ゆでだこ

たこ（凧、紙鳶）→たこ　たこ揚げ

たこ（胼胝）→たこ　座りだこ、ペンだこ、耳にたこ

たざんのいし　他山の石〔注〕他人の立派な言行を良い手本にする意味では使わない。

だし　㊥山車

だし（出し、出汁）→だし　だし汁、人をだしに使う

たしか　確か〔副詞にも〕確かだ、確かに

たしせいせい　㊥多士済々〔「たしさいさい」とも〕

だしもの（演し物）→出し物

だじゃく（懦弱）→惰弱、㊥意気地なし

たしょう　多少〔副詞にも〕

たしょう＝他生〔今生に対する仏教用語、他の原因によって生じる〕＝多生〔何度も生まれ変わる意味の仏教用語、多数を生かす〕一殺多生、袖すり（振り、触れ）合うも多生の縁〔他生の縁とも〕

だす　出す　思い出す、滑り出し、出し投げ、出し抜く、出し抜けに、逃げ出す〔外へ逃げる〕

…だす〔…し始める〕動きだす、泣きだす、走りだす、逃げだす〔逃げ始める〕、笑いだす

たすける（救ける、援ける、扶ける）→助ける　助け合い、助け舟〔比喩的に〕

たずさえる　携える　携わる

たずねる＝訪ねる〔おとずれる〕史跡を訪ねる、訪ねて来る、友を訪ね

＝(訊ねる)→尋ねる〔問い求める〕
お尋ね者、証人に尋ねる、尋ね人、道を尋ねる、由来を尋ねる

たぜい 多勢　多勢に無勢

だせい 惰性

たそがれ (黄昏)→たそがれ

ただ (唯、只)→ただ

だだ 駄々　駄々っ子、駄々をこねる

ただいま (只今、唯今)→ただ今、ただいま〔あいさつ〕

たたえる (讃える、賛える、称える)→たたえる〔褒める〕
栄誉をたたえる

たたえる (湛える)→たたえる
〔満たす〕笑み・水をたたえる

たたかう
＝戦う〔一般用語、勝ち負けや優劣を争う〕意見を戦わせる、言論の戦い、告示前の戦い〔選挙〕、戦わずして勝つ
＝闘う〔闘争、格闘、利害の対立で争う、困難などにうち勝とうと努める〕基地返還の闘い、時間との闘い、自然との闘い、精神と肉体との闘い、病魔と闘う、暴漢と闘う、要求を闘い取る、労使の闘い
〔注〕使い分けに迷う場合は「戦」を使う。

たたく (叩く)→たたく　たたき上げ、たたき売り、たたき台、たたきのめす

ただし (但し)→ただし　ただし書き

ただす
＝正す〔誤りを正しくする〕襟を正す、姿勢を正す
＝(質す)→ただす〔質問する〕疑問・真偽・問題点をただす
＝(糺す、糾す)→ただす〔罪の有無などを調べる〕罪をただす

ただちに 副直ちに

たたみ 畳　畳いわし、畳表、畳替え、畳敷き

たたむ 畳む　畳み掛ける、畳み込む、店を畳む

ただよう 漂う　漂わす

たたる (祟る)→たたる　たたり、弱り目にたたり目

たち (質)→たち　たちの悪いたずら・風邪、涙もろいたち

たち 他太刀　太刀持ち
〔注〕奈良時代までの直刀は「大刀（たち）」、

環頭大刀(たち)」など。

たち… 立ち居振る舞い、立ち入り〔禁止〕、立ち往生、立ち泳ぎ、立ち消え、立ち食い、立ちくらみ、立ちづめ、立ち話、立ち番、立ち回り〔先〕、立ち見〔席〕、立ち技、立ちん坊、**立役**

…たち 〔達〕→たち 子どもたち、〔あの〕人たち、友人たち

〔注〕「㊟友達」は例外。

たちあい

＝**立ち会い** 〔同席、列席〕お立ち会い、市場の立ち会い、立ち会い中止・停止・終了、**立会人**、**立会演説** ㊐経済複合語(102ページ)

＝**立ち合い** 〔互いに立つ〕剣道・相撲の立ち合い

たちうち 〔太刀討ち〕→㊟太刀打ち

たちおくれ 〔立ち後れ〕→立ち遅れ

たちかえる 〔立ち帰る〕→立ち返る

たちき 立ち木 立ち木トラスト ㊐「りゅうぼく」の項

たちこめる 〔立ち籠める〕→立ち込める 煙が立ち込める

たちどころに ㊟〔立ち所に〕→たちどころに

たちならぶ 〔建ち並ぶ〕→〔家・人が〕立ち並ぶ

たちのく ㊟立ち退く

たちば 立場

たつ

＝**断つ** 〔打ち切る、分断する、遮る、統の対語〕思いを断つ、絆を断つ、後続を断つ、国交を断つ、雑念を断つ、酒色を断つ、食事を断つ〔断食〕、退路・補給路を断たれる、断ち難い思い、断ち切る、通信線を断たれる、電源を断つ、〔電気・熱の〕伝導を断つ

＝**絶つ** 〔絶える、絶やす、途中で切れる、やめる、継の対語〕悪縁を絶つ、後が絶える、後を絶たない、跡を絶つ〔消息〕、命を絶つ、消息を絶つ、食事を絶つ〔絶食〕、接触を絶つ、通信・連絡を絶つ

〔注〕「関係・交際・望み・筆・夢を…」などは内容によって使い分ける。

＝**裁つ** 〔裁断〕裁ち方、裁ち台、裁ちばさみ、服地を裁つ

たつ（発つ）→たつ　都をたつ
たつ（経つ）→たつ　10年たつ
たつ・たてる
＝（起）→立〔一般用語〕うわさが立つ、演壇に立つ、顔を立てる、駆り立てる、窮境・苦境に立つ、計画・志を立てる、使者に立つ、席を立つ、立つ瀬、立て板に水、立て掛ける、立て看板、立て坑、（家・仕事が）立て込む、（障子の）立て付け、立て続け、立て膝、立て札、腹を立てる、見通しが立つ、身を立てる、民衆が立つ、大立者、脚立、献立、出立、立行司、立呼び出し
＝建〔主に建築する場合や経済用語など〕国を建てる、建てページ、建て増し、建株、建具、建値、建場、建面積 ☞送り仮名の付け方(99ページ)

〈使い分けに注意〉
▼家が立つ〔存在〕
▼家が建つ〔建築〕
〔注〕銅像や碑も同様。

たっかん（達観）→達観
だっきゅう　脱臼
たっけん（達見）→卓見
たっちゅう（塔頭）→塔頭（たっちゅう）
たっとい・たっとぶ　尊い・尊ぶ、貴い・貴ぶ ☞「とうとい・とうとぶ」の項
たつどし（辰年）→たつ年・辰（たつ）年
たづな　手綱
たつのおとしご　タツノオトシゴ・竜の落とし子〔動物〕
たつまき　竜巻

たて（楯）→盾　後ろ盾、盾突く
たて（竪、経）→縦　縦糸、縦苔き、縦組み、縦揺れ、縦割り（行政）
たて（＊殺陣）→㊐殺陣　殺陣師
…たて　生まれたて、出来たて、ペンキ塗りたて、焼きたて
…だて
＝立て　お膳立て、義理立て、邪魔立て、忠義立て、2頭立て、2本立て〔映画、答申など〕
＝建て　一戸建て、円・ドル建て、2階建て、2本建て〔価格〕、別建て、両建て預金
だて（伊達）→だて〔男・眼鏡〕
たてあな
＝（立て穴）→縦穴〔縦に掘った穴〕
＝（竪穴）→㊐竪穴〔遺跡〕竪穴式

石室、竪穴住居跡

たてあみ　(立て網)→建網

たてうり　建て売り(価格・販売・分譲)、建売【業者・住宅】

たておやま　㊒立女形

たてかえ　＝立て替え〔金銭〕立て替え金

＝建て替え〔家など〕

たてがみ　(鬣)→たてがみ〔馬、ライオンなど〕

たてこう　(竪坑、縦坑)→立て坑

たてごと　(竪琴)→たて琴

たてこむ　(立て混む、建て込む)→立て込む

たてこもる　(立て籠もる、立て込もる)→立てこもる

たてつけ　(建て付け)→立て付け

たてつぼ　建坪

たてなおす　＝立て直す〔一般用語〕経営を立て直す、計画を立て直す、体勢・態勢を立て直す

＝建て直す〔建築〕家を建て直す

たてまえ　(立て前)→建前

だてまき　(伊達巻き)→だて巻き〔帯、食品〕

たてまつる　奉る

たてもの　建物

たてや　建屋〔原発など〕

たてやくしゃ　立役者

たてる　(点てる)→たてる　お茶をたてる

たとい・たとえ　㊐(仮令、縦令、例い、例え)→たとい・たとえ(…しても)

たとえる　(譬える、喩える)→例える　㊐例えば、例え話

たどる　(辿る)→たどる

たどん　(炭団)→たどん

たな　棚　大陸棚、棚上げ、棚ざらえ、棚引く・たなびく

たなおろし　(店卸し)→棚卸し

たなこ　(店子)→借家人、店子

たなごころ　(掌)→たなごころ(を返す)

たなざらし　(店晒し、店曝し、棚晒し)→たなざらし

たなばた　㊒七夕　七夕祭り

たにあい　(＊谷間、谷合い)→谷あい

たにんず・たにんずう　多人数〔少人数の対語〕

たぬき　(狸)→タヌキ〔動物〕たぬきうどん・汁、たぬき寝入り、

捕らぬたぬきの皮算用、古だぬき

たね 種　変わり種、子種、種明かし、種油、種芋、種馬、種切れ、種付け、種本、菜種（油・梅雨）、話の種、一粒種

〔注〕「新聞ダネ、特ダネ、ひまダネ」などは片仮名書きが一般的。

たねまき （種蒔き△）→種まき

たのしい （愉しい）→楽しい

たのむ 頼む　頼みの綱

たのもしい （頼母しい）→頼もしい

たば 束　束になって、束ね髪、チームを束ねる

たばこ （煙草・）→タバコ〔植物〕、たばこ（製品）紙巻きたばこ、刻みたばこ、葉タバコ

〔注〕固有名詞の「葉たばこ審議会」は名称通り書く。

たはた （田畠△）→田畑

たび 度　度重なる

〔注〕「このたび、…するたび」などはなるべく平仮名書き。

たび 旅　旅がらす、旅心、旅路、旅支度、旅芝居、旅装束、旅する、旅立ち、旅回り

たび ㊀足袋

だび （茶毘△△）→火葬、茶毘（だび）

たびたび ㊁度々・たびたび

だぶる ダブる〔ダブルを動詞化した語〕試験日がダブる

たぶん ㊁多分・たぶん

たべる 食べる　食べ盛り、食べ過ぎ、食べ物

たほ （食△捕）→捕獲、拿捕（だほ）

たま ＝（珠）→玉〔一般用語〕替え玉、（取って置きの）隠し玉、くす玉、シャボン玉、掌中の玉、善玉悪玉、玉串、玉転がし、玉突き事故・衝突、玉手箱、玉にきず、玉の汗、玉のこしに乗る、玉乗り、鉄砲玉〔比喩〕、パチンコ玉、火の玉、目の玉

＝球〔球形、球体〕隠し球〔野球〕、決め球、くせ球、球足が速い、球遊び、電灯の球、ピンポン球、棒球

＝弾〔弾丸〕大砲の弾、流れ弾

たま （魂）→霊　言霊、霊送り、霊迎え、み霊

たまう （給う、賜う）→たまう

たまご （玉子）→卵　卵とじ、卵焼き

〔注〕玉子丼などでは「玉子」を使う。

たましい 魂　面魂、負けじ魂
だます (騙す)△→だます　だまし討ち、だましだまし
たまに ㊀(偶に)→たまに　たまの休みに、時たま
たまねぎ (玉葱)△→タマネギ　〔植物〕
〔注〕市況・料理記事では「玉ネギ」も使う。
たまむし タマムシ・玉虫　〔動物〕玉虫色、玉虫織り
たまもの (賜・賜物)→たまもの
たまや 霊屋　み霊屋
たまる (溜まる)△→たまる　たまり場、日だまり、吹きだまり、水たまり
たまわる 賜る　賜り物
だみごえ (*濁声)→だみ声
たむけ 手向け　手向ける
たむろ (屯)→たむろ　繁華街にたむろする
ため (為)→ため　…するため、ためにする、念のため
だめ 駄目　演出家の駄目出し、駄目押し、駄目になる、無理しては駄目
〔注〕スポーツでは「ダメ押し（点）」も。相撲は「駄目押し」。
ためいき (溜め息)△→ため息
ためいけ (溜め池)△→ため池
ためし ＝(例)→ためし　〔先例〕勝ったためしがない
＝試し　〔こころみ〕試しにやってみる、物は試し
ためす (験す)→試す　運試し
ためる (溜める、貯める)△→ためる　金をためる
ためる 矯める　角を矯めて牛を殺す
たやす 絶やす　根絶やし
たやすい (容易い)→たやすい
たゆう (*大夫)→㊀太夫・大夫　義太夫、若太夫
たよう ＝多様　〔いろいろある様子〕多種多様、多様化、多様な生き方
＝多用　〔多忙、多く用いる〕片仮名語を多用する、薬を多用する、ご多用中に恐れ入ります
＝他用　〔ほかの使い道、用事〕他用で外出、他用を禁ずる
たより 便り　風の便り、花便り
たよる 頼る　頼りがい
たら (鱈)△→タラ　〔動物〕スケト

ウダラ、タラコ、マダラ

たらす・たれる 垂らす・垂れる　雲が垂れ込める、垂れ下がる、垂れ流す、垂れ幕、野垂れ死に、前垂れ

〔注〕液状の合わせ調味料は「たれ」。「甘ったれ、しみったれ」は平仮名書き。

たりきほんがん 他力本願

〔注〕他の力を当てにする意味の比喩表現では使わない。C誤りやすい語句(485ページ)

だりょく (堕力)→惰力

たる (樽△)→たる　たる詰め

たる・たりる 足る・足りる　30分足らずで、舌足らず

たるき (垂△)→㊒垂木

だるま (達・磨△)→だるま　達磨(だるま)大師

だれ 誰　誰それ、誰々

たわいない (他愛・ない)→たわいない

たわごと (*戯言△)→たわ言

たわむ (撓△む)→たわむ　たわめる

たわむれる 戯れる

たわら 俵　米俵、俵詰め、徳俵

たわわ (撓△わ)→たわわ

たんか (担荷△)→担架

たんか (啖呵△)→たんか(を切る)

だんか (檀家△)→檀家(だんか)

だんがい 弾劾　弾劾裁判

たんがい 断崖

たんがん (歎願△)→嘆願

だんぎ ＝談義〔道理を説く〕談義僧、長談義、法話談義

＝談議〔話し合う〕ゴルフ談議、政治談議、談議に花を咲かす

たんきゅう ＝探求〔探し求める、探索〕真実を探求、平和の探求

＝探究〔見きわめる、研究〕真理の探究、美の本質を探究、歴史の探究

たんけん (探険△)→㊒探検

だんこ (断・乎△)→断固

だんご 団子、だんご〔比喩的〕だんごレース

たんこう ＝炭坑〔石炭を掘る穴〕炭坑記録画〔記憶遺産〕、炭坑節

＝(炭礦△)→炭鉱〔石炭の鉱山〕炭鉱のある町、炭鉱爆発、炭鉱労働者

＝探鉱〔鉱床を探り求める〕化学

探鉱、地質学的な探鉱

だんこう
＝断行〔思い切って行う〕行政改革を断行する、熟慮断行
＝断交〔国交などを断つ〕経済断交、隣国と断交する

だんこん　弾痕

たんざ（端坐）△→端座

たんざく　短冊

たんさんがす（炭酸ガス）△→二酸化炭素

だんじき　断食

だんじて　㊀断じて

たんしゅう（反収、単収）△→10㌃当たり収量

たんしょ（端初）△→端緒〔「たんちょ」とも〕

だんじり（楾尻、地車、＊山車）△→だんじり

たんじん（炭塵）△→炭じん

たんす（箪笥）△△→たんす

たんせい（丹誠）△→㊁丹精

たんせい（端整）△→端正

だんぜん　㊀断然　断然優勢だ

たんそ（炭疽）△→炭疽（たんそ）〔病名〕
炭疽菌、炭疽病〔植物の病気〕

たんだ
＝単打〔長打の対語〕単打で出塁
＝短打〔確実にヒットを狙う打法〕短打戦法
〔注〕長打と単打を合わせて得点する場合は「長短打」。

たんたん　淡々　淡々とした態度

たんたん（坦々）△→たんたん、平らな〔道〕、平穏な

だんだんと　㊀（段々と）→だんだんと

たんちょう
＝単調〔変化がない〕単調な生活・リズム
＝短調〔音楽用語〕イ短調

たんちょう（丹頂）→タンチョウ〔動物。タンチョウヅルとも〕

たんてき（単的、短的）▲→端的

たんでき（耽溺）△→溺れる、ふける、夢中になる

たんとうちょくにゅう（短刀直入）▲→単刀直入

たんどく（耽読）△→読みふける

だんな　旦那　旦那衆、若旦那

たんに　㊀単に

たんのう　㊁堪能　外国語に堪能、料理を堪能
〔注〕練達、上手の意味の本来の読みは「かんのう」。

たんぱく（淡白）→㊎淡泊
たんぱくしつ（蛋白質）→㊐タンパク質
たんぺいきゅう（単兵急）→短兵急
たんぺん（短篇）→短編
たんぼ（田圃）→田んぼ
だんぼーる 段ボール
だんまり（黙り）→だんまりを決め込む
たんもの 反物
だんらん（団欒）→だんらん
たんれい 端麗　容姿端麗
たんれん（鍛練）→㊎鍛錬
だんろ（煖炉）→暖炉

【ち】

ち 血　血合い、血潮、血染め、血走る、血祭り、血眼、血豆、血迷う、血道（を上げる）
ち 乳　乳首、乳飲み子、乳房
ちいさい 小さい　小さめ
ちえ（智慧、智恵）→知恵
ちかい 近い　近く〔副詞にも〕、近めに、近寄る
ちかう 誓う　誓い、㊎誓って
ちがう 違う　違える
ちかく
＝地核〔地球の中心、コア〕
＝地殻〔地球の外皮〕地殻変動
ちかしい（親しい）→近しい
ちかぢか ㊎近々
ちかづく（近付く）→近づく
ちから… 力いっぱい、力比べ、力ずく（で奪う）、力づける、力を付ける

〈使い分けに注意〉
▼力業〔一般用語〕
▼力技〔体操〕
ちぎる 契る　契り
ちぎる（千切る）→ちぎる　ちぎれちぎれ、褒めちぎる
ちぎれぐも 千切れ雲
ちくいち ㊎逐一
ちぐう（知偶）→知遇
ちくじ ㊎逐次
ちくようぎょ（畜養魚）→蓄養魚
〔注〕いけすには「畜養池、蓄養池」の両方がある。
ちくわ（竹輪）→ちくわ
ちご（稚子）→㊍稚児
ちしつ（知悉）→精通、熟知
ちじょく 恥辱
ちせいがく（地勢学）→地政学

ちぢ(に) ㊀千々(に)

ちぢこまる 縮こまる 縮かむ

…ちぢみ ＝縮み〔一般用語〕伸び縮み ＝縮〔染織〕小千谷縮

ちぢむ 縮む 縮まる、縮み上がる、縮み織り、縮める

ちぢれる 縮れる 縮らす、縮れ毛

ちっきょ (蟄居△)→閉居、閉じこもる 蟄居閉門

ちどり (街△)→チドリ・千鳥〔動物〕コチドリ、千鳥足

ちなまぐさい (血生臭い、血腥△い)→血なまぐさい

ちなむ (因む)→ちなむ 正月にちなむ行事

ちばなれ 乳離れ

ちほう (痴呆△)→認知症〔病名〕

ちまた (巷△)→ちまた

ちみつ 緻密

ちゃ 茶 茶請け、茶釜、茶巾(絞り・ずし)、茶さじ、茶せん、茶たく、茶断ち、茶漬け、茶摘み、茶番劇、茶瓶、茶坊主、茶わん(蒸し)

ちゃかす (茶化す)→ちゃかす

ちゃくし (嫡嗣)→嫡子

ちゃくちゃく ㊀着々 工事が着々と進む

ちゃち〔俗語。特に必要な場合以外は使わない〕

ちゃちゃ (茶々)→ちゃちゃ ちゃちゃを入れる

ちゃめ (茶目)→ちゃめ ちゃめっ気

ちゅうおし 中押し(勝ち)〔囲碁〕

ちゅうかい (註解△)→注解

ちゅうがえり (中返り)→宙返り

ちゅうかんしゅくしゅ 中間宿主〔寄生虫〕

ちゅうさつ (駐箚△、駐劄△)→駐在(大使)

ちゅうしゃく (註釈△)→注釈

ちゅうしゅう ＝中秋〔陰暦8月15日〕中秋の名月 ＝仲秋〔陰暦8月の異称、秋の盛り〕仲秋の紅葉

ちゅうしゅうのめいげつ (中秋の明月、仲秋の名月)→㊁中秋の名月

ちゅうしょく (中食)→昼食〔注〕市販の弁当や総菜を(家で)食べるのは「中食＝なかしょく」。

ちゅうせい
＝中世〔古代と近世の間〕中世史、中世文学
＝中生〔古生代と新生代の間〕中生層、中生代

ちゅうぜい 中背 中肉中背

ちゅうせき 沖積 沖積世、沖積層

ちゅうせん（抽籤）→抽選〔日本の宝くじ・くじ付きはがきは「抽せん」〕、くじ引き

ちゅうぞう 鋳造
〔注〕プレス加工では「硬貨の製造」。

ちゅうたい（紐帯）→つながり、連帯

ちゅうちょ（躊躇）→ちゅうちょ、ためらい

ちゅうづり（宙吊り、中吊り）→宙づり〔電車などのつり広告は中づり＝なかづり〕

ちゅうは 酎ハイ

ちゅうぶう 中風〔「ちゅうふう」とも〕

ちゅうぶらりん（宙ぶらりん）→㊟中ぶらりん

ちゅうぼう（厨房）→台所、調理室・場、厨房

ちゅうみつ（稠密）→密集

ちゅうもん（註文）→注文

ちょう（蝶）→チョウ〔動物〕
ちょうつがい、ちょうネクタイ、ちょう結び、チョウよ花よと育てられ

ちょう（挺）→丁 拳銃1丁

ちょうあい（寵愛）→かわいがる、お気に入り

ちょうい
＝弔意〔弔う哀悼の気持ち〕遺族に弔意を述べる、弔意を表す
＝弔慰〔弔い遺族を慰める〕弔慰金

ちょうか 釣果

ちょうかん（鳥瞰、鳥観）→見下ろす、鳥瞰

ちょうこう（徴候）→㊟兆候

ちょうこうぜつ（長口説）→長広舌〔広長舌とも〕

ちょうじ 弔辞〔国会関係は弔詞＝ちょうし〕

ちょうじ（寵児）→人気者、花形

ちょうじ（丁字）→丁子、クローブ〔植物、香辛料〕

ちょうしづく 調子づく

ちょうしゅう
＝徴収〔取り立てる〕会費・税を徴収

＝徴集〔呼び集める〕人員を徴集
ちょうしょう 嘲笑、あざ笑う
ちょうじり 帳尻
ちょうず (手水)→ちょうず
ちょうせい
＝調整〔調子や過不足などを整える〕意見を調整、エンジンの調整、時間を調整、成分調整
牛乳、調整池、年末調整
＝調製〔注文・好みに応じて作る〕調製豆乳、土産品の調製、名簿・目録の調製、洋服を調製
〔注〕一般用語の「調整品」、主に食品関係の「調製品」の使い分けに注意。
ちょうせき (潮汐△)→潮、干満
ちょうだい
＝頂戴〔もらう〕お小言を頂戴する、頂戴物
＝ちょうだい〔要求、依頼〕お菓子をちょうだい、待ってちょうだい
ちょうちょうはっし (打々発止)→丁々発止
ちょうちん (提灯)→ちょうちん
ちょうてい 調停 選手年俸の調停額、調停案、調停委員(会)、調停離婚
ちょうでんどう (超伝導)→超電導
〔注〕学術用語は「超伝導」だが、JIS用語の「超電導」を使う。
ちょうど 副(丁度)→ちょうど
ちょうどきゅう (超弩△級)→超ど級、超大型
ちょうな (手斧△)→ちょうな
ちょうふ 貼付〔「てんぷ」とも〕
ちょうふく (重復)→重複〔「じゅうふく」とも〕
ちょうへん (長篇△)→長編
ちょうほう
＝重宝〔貴重な宝、役に立つ〕お家の重宝〔「じゅうほう」とも〕、重宝な男
＝調法〔特別用語〕口が不調法で
ちょうほう (諜△報)→情報(機関)、秘密情報、諜報
ちょうぼう 眺望
ちょうもんかい (聴問会)→聴聞会
ちょうらく (凋△落)→衰退、衰微、没落、落ち目
ちょうりょう (跳梁△)→横行、はびこる、のさばる 跳梁跋扈(ちょうりょうばっこ)
ちょうろう (嘲弄)→あざける、

からかう、嘲弄

ちょくじょうけいこう (直情経行)→直情径行

ちょこ (猪口)→ちょこ〔「ちょく」とも〕

ちょすいち (貯水地)→貯水池

ちょっかん
＝直感〔瞬間的・感覚的に感じとる〕怪しいと直感、危険を直感、直感的
＝直観〔直接的に本質を捉える〕直観教育、直観主義、直観的

ちょっこう
＝直行〔一般用語〕現場に直行する、直行便〔トラック・航空機〕、直行列車
＝直航〔海運用語〕直航船、直航便〔船舶〕

ちょっと 副(*一寸)→ちょっと

ちょとつもうしん (猪突猛進)→無鉄砲、向こう見ず、猪突猛進

ちらす 散らす 散らかす、散らし書き、散らし模様
〔注〕「チラシ・ちらし広告、ちらしずし」は仮名書き。

ちり (塵)→ちり ちり紙、ちり取り

ちりぢり 散り散り

ちりばめる (鏤める、散りばめる)→ちりばめる

ちりめん (縮緬)→ちりめん

ちる 散る 散り際

ちん… 賃貸し、賃借り、賃金

ちんうつ (沈鬱)→沈痛、沈鬱

ちんじ (椿事)→珍事

ちんせい
＝沈静〔自然に落ち着く〕インフレが沈静する、沈静化、沈静した空気、値上げムードが沈静する、噴火が沈静した
＝鎮静〔人為的に抑える〕インフレ心理を鎮静させる、景気鎮静策、鎮静剤、暴動を鎮静する

ちんでん (沈澱)→沈殿

ちんとう (枕頭)→枕元、枕頭

ちんにゅう (闖入)→乱入、侵入、入り込む

ちんば ⊗(跛)→足が不自由な人・状態、(靴下の)左右がふぞろい

【つ】

つい　(終)↓ついつい　ついのすみか

ついえる
＝費える〔むだに使い少なくなる〕貴重な時間が費える、財産がほとんど費える
＝(潰える)↓ついえる〔崩れこわれる、敗れる〕計画・野望・夢がついえる

ついきゅう
＝追及〔追い詰める〕責任を追及、犯人を追及、余罪の追及
＝追求〔追い求める〕幸福の追求、真実の追求、目的を追求、利潤を追求、理想の追求
＝(追窮)↓追究〔追い究める〕学問を追究、原因を追究、真理を追究、本質を追究

ついげき　追撃
〔注〕「敵に追い打ちをかける」が本来の意味。優勢な方を追い上げる意味で使わない。

ついじべい　㊥築地塀

ついじゅう　追従〔そのまま従う〕

ついしょう　追従〔へつらう〕

ついたち　(朔、朔日△)↓㊥一日
〔通常は1日と書く〕

ついたて　(衝立)↓ついたて

ついで
＝次いで〔続いて〕彼に次いで3番目、ボルトに次いで2着
＝(序で)↓ついで〔折、機会〕買い物のついでに立ち寄る、ついでがあったら話しておく

ついては　(就いては)↓ついては〔接続詞の場合〕

ついに　㊥(終に、遂に、竟に△)↓ついに

ついやす　費やす

つうこう
＝通行〔一般用語〕通行税、通行止め、通行人
＝通航〔海運、航空〕スエズ運河を通航する

つうちょう　(通牒)↓通達、通告

つえ　(杖△)↓つえ　頬づえ、松葉づえ

つかい・つかう
＝使〔一般用語。主に動詞に〕上目を使う、お使いに行く、金の使い道(使途)、仮名を使う、気・心・神経を使う、剣術使い、子供の使い、声色を使う、大金を使い果たす、使い勝手、

使い込みが発覚、使い捨て、使い手、使いでのある金額、使い走り、使い古し、使い分け、二枚舌を使う、人形を使う〔人形浄瑠璃では「人形を遣う」〕、忍術使い、人使いが荒い、文使い、魔法使い、猛獣使い

＝遣〔特別用語。主に名詞に〕息遣い、上目遣い、仮名遣い、金遣い、気遣い、気遣う、心遣い、小遣い銭、言葉遣い、人形遣い〔人形浄瑠璃〕、筆遣い、無駄遣い、文字遣い、両刀遣い

〔注〕「遣」は名詞形、特に心の動き、技や金銭に関して「○○遣い」の形で使われる。使い分けに迷う場合は平仮名書き。➡「いろづかい」

の項

つがい（番）→つがい

つかいもの

＝使い物〔使って役に立つ〕古くて使い物にならない

＝遣い物〔進物〕お遣い物にする

つかえる

＝仕える〔奉仕する〕師匠に仕える、神仏に仕える

＝（支える、閊える）→つかえる〔先に進めなくなる、ふさがった感じになる〕演説がつかえる、車がつかえる、仕事がつかえる、喉・胸がつかえる

〔注〕「㊞差し支える」は例外。

つかさどる（司る、掌る）→つかさどる

つかす　尽かす　愛想を尽かす

つかのま（束の間）→つかの間

つかまる・つかまえる

＝捕まる・捕まえる〔取り押さえる、捕らえる〕鬼に捕まる、虫を捕まえる、容疑者が捕まる

＝（摑）→つかまる・つかまえる〔しっかり持つ、ひきとめる〕タクシーをつかまえる、チャンスをつかまえる、鉄棒につかまる

つかむ（摑む）→つかむ　つかみどころがない、手づかみ、わしづかみ

つかる（浸かる）→漬かる　家が水に漬かる、風呂に漬かる

つかれる　疲れる　気疲れ、疲れ目、湯疲れ

つかれる（憑かれる）→つかれる　悪霊に取りつかれる

つかわす 遣わす　使者を遣わす、許して遣わす

つき… 月明かり、月掛け(預金)、月替わり、月並み、月初め、月割り

つき… 突き当たり、突き合わせる、突き落とす、突き返す、突き刺す、突き倒す、突き付ける、突き詰める、突き止める、突き放す

…つき ＝付き〔一般用語〕座付き、賞金付き、役付き、**利付国債**、**利付債券**

＝**付**〔職分〕総務部付、〔役員〕付

つぎ 次　㊀次々(に)、次の通り、次の間、二の次

つきおくれ (月後れ)→月遅れ(盆)

つきぎめ (月極め)→月決め

つきそい 付き添い　付き添いの人、付き添う、**付添**【人】

つきやま ㊀築山

つきる 尽きる　運の尽き

つく (衝く、撞く)→突く　意表を突く、鐘を突く、急所・弱点を突く、底を突く、玉を突く、つえを突く、手・肘を突く、鼻を突く異臭

つく (舂く、搗く)→つく　五分づき、米・餅をつく

つく (吐く)→つく　悪態・うそ・ため息をつく

つく (憑く)→つく　悪霊がつく、つき物をはらう

つく ＝(附く)→**付く**〔くっつく、加わる〕追い付く、片付く、焦げ付く、仕事が手に付かない、付かず離れず、付き合い、付き人〔芸能界〕、付きまとう、手付かず、寝付き、飲み屋の付け、利息が付く

＝**着く**〔身にまとう・帯びる、とどく、行きつく、とりかかる、座を占める〕足が地に着かない、落ち着く先、交渉のテーブルに着く、住み着く、席に着く、手紙が着く、流れ着く、船が岸に着く

＝**就く**〔ある役目・任務を負う、おもむき従う、去るの対語〕(スポーツなどの)王座に就く、外野の守備に就く、帰途に就く、職に就く、知事の座に就く、緒に就く、任務に就く、配置に就く、病の床に就く

＝(点く)→つく〔点灯〕明かりがつく、ネオンがつく
＝(即く)→つく〔即位〕皇位につく
〔以下は慣用で平仮名書き〕
勢いづく、行きつけの店、板につく、色気づく、縁づく、顔つき、活気づく、傷つく、今日はついている、高くつく、近づく、調子づく、粘つく、弾みがつく、はねつける、踏ん切りがつく、まごつく、目つき、病みつき、横綱に土がつく
☞「つける」の項
…づく スポーツづく〔夢中になる〕、〔励ましに〕力づく、調子づく☞「…ずく」の項

つぐ
＝次ぐ〔順次〕相次ぐ事件、地震に次ぐ津波、取り次ぐ
＝接ぐ〔接続〕接ぎ木、接ぎ台、接ぎ穂、接ぎ目〔壁、タイル〕、骨接ぎ、割れ物を接ぎ合わせる
＝継ぐ〔継続〕後継ぎ〔社長・総裁・農業を継ぐ〕、跡継ぎ〔家元・家督・名跡を継ぐ〕、跡目を継ぐ、受け継ぐ、家業を継ぐ、血管・布を継ぎ合わす、〔言葉を〕継ぎ足す、継ぎ手、継ぎ歯、継ぎはぎ、継ぎ目〔管、レール〕、継ぎ物、継ぎを当てる、二の句が継げない、矢継ぎ早、世継ぎ、夜を日に継いで
＝(注ぐ)→つぐ〔そそぎ込む〕お茶・酒をつぐ、(酒を)つぎ足す、投手をつぎ込む
…づくし 尽くし〔同類の物を全て列挙〕国尽くし、花尽くし、無い無い尽くし
〔注〕「マツタケずくめの料理」など、その物・事ばかりを示す「…ずくめ」との混同に注意。
つくす 尽くす 立ち尽くす
つくだに (佃△煮)→つくだ煮
つぐなう 償う
つくり・つくる
＝作〔主に小規模のもの〕〔こしらえる。主に目に見える物〕糸作り、形作る、米作り、資料を作る、新聞を作る、田作り、作り付け、罪作り、手作り、人形を作る、盆栽作り、水割りを作る、料理を作る、

列を作る
〔決まり事など〕基準を作る、規則・ルールを作る、計画作り、試案を作る、制度を作る、法案を作る
〔成績・功績〕記録を作る、実績を作る、前例を作る
〔装う〕作り声、作り事、作り話、作り物の花、作り笑い、役作り、若作り
〔創作〕歌を作る、文を作る

＝造〔主に大規模のもの〕
〔こしらえる〕粗造り、家を造る、お造り〔刺し身〕、貨幣を造る、国造り、施設を造る、自動車を造る、宅地を造る、庭園を造る、荷造り、船を造る、兵器を造る
〔醸造〕寒造り、酒・しょうゆ・酢・みそを造る、造り酒屋
〔建築・ものづくりの様式や技法〕石造り、入り母屋造り、合掌造り、切り妻造り、寝殿造り、㊙数寄屋造り、寄せ木造り

＝創〔創造・独創を強調する場合〕新しい文化を創る、神が天地を創った

＝つくる〔主に抽象名詞に〕
〔社会、集団、人〕会社をつくる、組合をつくる、子どもをつくる、人脈をつくる、組織をつくる、態勢づくり、敵をつくる、友達をつくる、派閥をつくる、平和な世をつくる、歴史をつくる
〔金、時間〕赤字をつくる、裏金づくり、基金をつくる、財産をつくる、時間をつくる
〔気分、時機、ムード〕環境をつくる、機会・チャンスをつくる、空気をつくる、合意づくり、雰囲気をつくる、ペースをつくる
〔育成〕体力づくり、人づくり、街・町づくり
〔手段〕成功への基礎をつくる、逃げ道をつくる
〔注〕使い分けに迷う場合は平仮名書き。

つくろう 繕う　毛繕い、繕い物、取り繕う

…つけ

＝付け〔一般用語〕味付け、当て付け、位置付け、意味付け、格付け、門付け、義務付け、心付け、立て付け、帳付け、

名付け親、のり付け、火付け、吹き付け、節付け、焼き付け

＝**付**〔日付〕1日付人事、5日付の新聞

…づけ アルコール漬け、かす漬け、薬漬け〔診療〕、さけ茶漬け、塩漬け、接待漬け、ぬか漬け、白菜漬け、福神漬け、みそ漬け、わさび漬け、**奈良漬**

つけもの **漬物**

つける

＝付ける〔くっつく、加わる〕色付ける〔着色〕、色を付ける〔心遣い、おまけ〕、駆け付ける、片を付ける、気を付ける、仕事に手を付ける、条件を付ける、食事に手を付ける、タイヤチェーンを付ける、注文を付ける、帳面に付ける、付け合わせ、付け入る、付け足し、付け届け、付け人〔相撲など〕、付け目、付け焼き刃、手付け、投げ付ける、値段を付ける、火を付ける、味方に付ける、めどを付ける、目星を付ける、目を付ける、役を付ける、油断に付け込む、寄せ付けない、**奥付**、**〇〇気付**〔郵便、小包など〕、**手付金**、**番付**、**日付**

＝**着ける**〔身にまとう・帯びる、届く〕バッジ・腕章を着ける、船を港に着ける、まわしを着ける

〈使い分けに注意〉

▼**身に付ける**〔知識や技術〕

▼**身に着ける**〔衣装や装身具〕

＝**就ける**〔役目・任務を負わせる〕外部の人材を要職に就ける

＝(点ける)→**つける**〔点灯〕電灯をつける

＝(即ける)→**つける**〔即位〕先王は次男を王位につけた

〔以下は慣用で平仮名書き〕

言い掛かりをつける、嗅ぎつける、決まりをつける、けじめをつける、けちをつける、決着をつける、けりをつける、元気づける、差をつける、っけ上がる、見つける

☞「つく」の項

つげる **告げる** **告げ口**

つじ (辻)△→つじ つじ説法

つじつま (辻褄)△△→つじつま

つた (蔦)△→ツタ〔植物〕つたかずら〔つる草の総称〕

つたう・つたえる 伝う・伝え

る　川伝い、聞き伝え、伝わる

つたない　拙い　拙い技術、武運拙く

つち　土　土くれ、土煙、土つかず〔相撲〕、土に返る、土踏まず

つち（槌△、鎚△）→つち　つち音

つちかう　培う

つつ　筒　筒袖、筒抜け

つっ…　突っかい棒、突っ返す、突っ掛かる、突っ切る、突っ込む、突っ立つ、突っつく、突っ走る、突っ放す、突っぱねる、突っ張る、突っ伏す

つつうらうら　津々浦々〔「つづうらうら」とも〕

つつがむし（恙△虫）→ツツガムシ〔動物〕　つつが虫病〔病名〕

つづきがら　続き柄〔続柄＝ぞくがら＝とも〕

つづく（続く）→つつく

つづけざま（続け様）→続けざま

つっけんどん（突っ慳△貪）→つっけんどん

つつしむ
＝慎む〔抑制〕言葉を慎む、酒を慎む、慎み深い、身を慎む
＝謹む〔恭しくかしこまる〕謹んで聞く、謹んで祝意を表す

つつましい（慎ましい）→つつましい〔控えめ〕 ☞「つましい」の項

つづみ　鼓　小鼓、舌鼓、鼓打ち

つつむ　包む　包み紙、小包

つづら（葛籠）→つづら

つづらおり（葛折り、九十九折り）→つづら折り

つづる（綴△る）→つづる　つづり方、つづれ織り

つて（伝、伝手）→って　口づて、言づて、人づて

つど　都度　その都度

つどう　集う　一堂に集う、高齢者の集い

つとめる（力める、勉める）→努める〔努力〕解決に努める、完成に努める、㊀努めて、練習に努める

つとめる・つとまる
＝務〔任務〕議長の役が務まる、司会を務める、市民の務め、主役を務める、土俵を務める、兵役を務める
＝勤〔勤労〕朝のお勤め、会社に

勤める、勤め帰り、勤め先、勤め人

つな 綱 綱とり〔相撲〕、綱引き

つなぐ (繋ぐ△)→つなぐ 犬をつなぐ、つなぎ留める、手をつなぐ、船をつなぐ

つなみ (津浪・)→津波

つね 常 ㊞常々、㊞常に

つの 角 鹿の角突き合い、角隠し、角だる

つのる 募る 寄付を募る、募る思い、不安が募る

つば 唾〔「つばき」とも〕

つばき (椿△)→ツバキ〔植物〕 つばき油

つばぜりあい (鍔△・迫り合い、鍔△競り合い)→つばぜり合い

つばめ (燕△)→ツバメ〔動物〕 つばめ返し

つぶ 粒 粒ぞろい、粒より

つぶさに ㊞(具に・)→つぶさに

つぶす (潰す・)→つぶす

つぶら (円ら)→つぶら つぶらな瞳

つぼ (壺△)→つぼ 思うつぼ、肩凝りに効くつぼ、話のつぼ

つぼね (局)→つぼね

つま… 爪音、爪先、(ギターを)爪弾く

〔注〕「つまようじ」は平仮名書き。

つましい (倹しい・)→つましい〔倹約し質素〕 ➡「つつましい」の項

つまずく (躓く△)→つまずく

つまはじき (爪弾き・)→爪はじき〔仲間外れ、排斥〕

つまむ (摘む・、撮む・、抓む△)→つまむ 酒のつまみ、すしをつまむ、つまみ洗い、つまみ食い、つまみ出す、つまみ菜、ひとつまみ

つまる 詰まる 行き詰まり、金詰まり、気詰まり、寸詰まり、手詰まり、どん詰まり

つみ 罪 罪作り、罪滅ぼし

つみ… 積み替え、積み木、積み金、積み肥、積み出し港、積み荷、積み残し

つみたて 積み立て(開始、型・式、完了・終了、条件、手続き、方式・方法) **積立《金》、積立開始日、積立預金、積立分譲価格・地**

➡経済複合語(102ページ)

つむ 摘む 茶摘み、摘み菜

つむ・つめる 詰む・詰める

つむぎ (紬△)→つむぎ 結城紬(つむぎ)

つむぐ 紡ぐ　糸紡ぎ
つむじ（＊旋毛）→つむじ　つむじ曲がり
つむじかぜ（＊旋風）→つむじ風
つめ 爪　爪痕〔比喩的にも〕、爪切り、生爪
つめ ＝詰め…　詰め合わせ、詰め襟、詰め替え、詰め掛ける、詰め込み、詰め所、詰め将棋、詰め手、詰め腹、詰め寄る
＝…詰め　思い詰め、折り詰め〔弁当〕、缶詰め状態、食い詰め、重詰め、すし詰め、腸詰め、箱詰め・瓶詰め〔作業〕、膝詰め談判、袋詰め、〔橋の〕南詰め、４００字詰め、理詰め、江戸詰、缶詰・箱詰・瓶詰〔製品〕、国詰、支店詰、本省詰
…づめ 雨が降りづめ、歩きづめ、立ちづめ、鳴りづめ、乗りづめ、働きづめ
つめたい 冷たい
…つもり（＊心算）→積もり　腹積もり、見積もり、目積もり、**見積**《額》
…つもり 会うつもり、行くつもり、勝つつもり、死んだつもり
つもる 積もる　積もり積もって
つや（＊光沢）→艶　艶気、艶種、艶っぽい、艶めく
〔注〕「つや消し、つや出し」など光沢の意味や使い分けに迷う場合は平仮名書き。
つや 通夜　仮通夜
つゆ ㊞梅雨　梅雨寒、梅雨のはしり、梅雨冷え
つゆ 露　ツユクサ・露草〔植物〕、露霜、露払い
つゆ ㊞（露）→つゆ　つゆ知らず
つゆほど ㊞（露程）→つゆほど（も）
つよい 強い　力強い、強がる、強気、強含み、強み、強める
つよまる 強まる　強める
つら 面　上っ面、しかめっ面、字面、面当て、面構え、面魂、面憎い、面の皮、面汚し、泣き(っ)面、鼻(っ)面、仏頂面、横(っ)面
〔注〕内面＝ないめん＝と紛れるので「内づら」と書く。「外づら」も同様。
つらい（辛い）→つらい

…づらい 聞きづらい、しづらい、頼みづらい、見づらい、やりづらい
つらなる 連なる 連ねる
つらぬく 貫く 貫き通す
つらら (＊氷柱)→つらら
つる・つり ＝釣〔針・かぎなどで引っ掛けて上げる、誘い込む〕甘言で釣る、大魚を釣り上げる、釣り合い、釣り糸、釣り落とす、釣り鐘、釣り具、釣り込まれる、釣りざお、釣り銭、釣り場、釣り針、釣り人、釣り船・舟、釣り堀、釣具〔店〕
〔注〕野球の「つり球」は平仮名書き。
＝(吊)△→つる・つり〔ぶら下げる、引っ張るなど〕蚊帳をつる、宙づり、つり革、つり下げる、つり出し〔相撲〕、つり棚、つり橋、つり輪、天井からつる、中づり(広告)、物価・相場をつり上げる、目をつり上げる
〔注〕つり天井、つり花などには「釣・吊」の両方がある。使い分けに迷う場合は平仮名書き。
つる 弦 鍋の弦、弓の弦
つる (蔓)△→つる 芋づる、金づる、手づる、眼鏡のつる
つる ツル・鶴〔動物〕折り鶴、千羽鶴、鶴の一声、掃きだめに鶴、マナヅル
つるぎ 剣 剣の舞〔剣舞と同じ〕
つるす (吊す)△→つるす つるし上げ、つるし柿
つるはし (鶴嘴)△→つるはし
つるべ (釣瓶)→つるべ 秋の日はつるべ落とし
つれづれ (＊徒然)→つれづれ
つれる 連れる 連れ合い、連れ添う、連れ立つ、連れ弾き〔邦楽〕
つわもの (兵、＊強者)→つわもの
つわり (＊悪阻)△→つわり
つんざく (劈く)→つんざく 耳をつんざく爆音
つんぼ ⊗(聾)△→耳が不自由な人・状態 ⇨差別語、不快用語 (490ページ)

【て】

て… 手当たり次第、手厚い、手洗い(所)、手いっぱい、手負い、手踊り、手織り、

手蓋き、手掛ける、手柄、手切れ金、手心、手先、手探り、手触り、手締め、手付かず(の金)、手づかみ、手つき、手続き、手詰まり、手取り(額・金)、手直し、手投げ弾、手並み、手慣れる、手抜かり、手ぬるい、手はず、手ぶら、手ほどき、手彫り、手巻きずし、手間取る、手招き、手回り品、手持ち品、手盛り、手分け

で… 出入り口、出掛ける、出稼ぎ、出がらし、出しゃばる、出っ張り、出無精、出任せ、出迎える

…で (出)↓で〔接尾語。分量、かさ〕使いでがない、読みでがある

てあい
＝手合い〔相手、連中〕
＝手合〔囲碁・将棋の対局〕

であい・であう
＝出合い・出合う〔一般用語〕川と川が出合う〔合流〕、出合い頭、出合い茶屋、本・動物などとの出合い
＝出会い・出会う〔主に人と人との場合〕旧友との出会い
〔注〕「出遭う」は使わない。特別な思いを込める場合は人以外にも「出会い」を使ってよい。

てあき (手明き)↓手空き

てあて
＝手当て〔一般用語。治療、対策など〕応急手当て、傷の手当て、資金の手当て、手当てを施す
＝手当〔金銭〕お手当、家族手当、児童手当、年末手当、繁忙手当

てい (態)↓体 苦戦の体、世間体、体たらく、体のいい、風体、ほうほうの体

ていかいはつこく ⊗(低開発国)↓発展途上国

ていかん 諦観
〔注〕なるべく「諦め、達観」などとする。

ていけい
＝定形〔一定の形〕定形郵便物
＝定型〔決まった型〕定型詩

ていげん
＝逓減〔だんだん減る、逓増の対語〕収穫逓減の法則
＝低減〔減る〕価値が低減する

ていさい (態裁)↓体裁

ていじ (呈示)↓提示

ていじ 丁字〔漢字の丁の字〕丁字形、丁字帯

ていーじろ (T字路→)丁字路

ていしゅつ (呈出△→)提出

ていしょく (牴触、觝触△→)抵触

ていしん (挺身△→)捨て身　挺(てい)身隊(しんたい)

ていする ＝呈する〔差し出す、表す〕活況を呈する、苦言を呈する

＝(挺△する→)ていする〔先んじる、自ら差し出す〕身をていして捕球する、身をていして守る

ていせい (帝制→)帝政　第2帝政、帝政ロシア

ていそくすう (定則数▲→)定足数

ていだん (鼎△談→)(3人の)座談・話し合い、鼎談(ていだん)

ていちょう (郷△重→)丁重

ていねい (叮△嚀△→)丁寧

でいねい (泥△濘△→)ぬかるみ

ていねん (停年→)定年

ていのう ⊗(低能→)知的障害、知的発達の遅れ

ていはく (碇△泊△→)停泊

ていはつ (剃△髪→)髪をそる、落髪

ていへん (低辺▲→)底辺

ていほん ＝定本〔決定版とした本〕定本が完成する、定本万葉集

＝底本〔もとにする本〕初版本を底本とする、○○を底本として校訂

ていよく ㊟(態・よく→)体よく体よく断る

ていりつ ＝定律〔定まっている法則、仮説に対する〕倍数比例の定律

＝定率〔一定の割合〕関税定率、定率課税

てうち ＝手打ち〔手作り、和解〕手打ちうどん・そば、手打ち式

＝手討ち〔切り殺す〕お手討ち〔お手打ちとも〕

ておくれ (手後れ→)手遅れ

でか ⊗(デカ→)刑事

てがかり (手懸かり→)㊟手掛かり

てがたい (手固い→)手堅い

でき 出来〔主に名詞形、複合語〕上出来、出来合い、出来上がる、出来が良い、出来心、出来事、出来過ぎ、出来損な

う、出来高(払い)、出来たて、出来不出来、出来具合

できる　(出来る)→できる〔動詞、副詞など〕…することができる、できる限り、できるだけ、橋ができる、勉強がよくできる、用事ができる、理解できる、利用できる

できあい　溺愛

できがいしん　(敵愾心△)→敵意、敵対心

できかく
＝(適確)→㊎的確〔間違いがない〕情勢を的確につかむ、的確な指示・判断、的確に処理する

できかく
＝適格〔必要な資格を満たす〕代表選手として適格だ、適格検査・審査、適格者、適格手形

できざいできしょ　適材適所

できし　溺死

できしゅつ　(剔出△)→摘出

できじょう　(敵状)→敵情

できせい
＝適正〔適当で正しい〕適正価格、適正な評価、適正配置

できせい
＝適性〔それに適した性質〕教師の適性がある、適性検査

できせい
＝敵性〔敵と見なされる性質〕敵性外国人、敵性国家

できちゅう　(適中)→的中

できばえ　(出来映え)→㊎出来栄え

できめん　(靦△面)→てきめん
効果てきめん、天罰てきめん

できもの　(＊腫物、出来物)→できもの、おでき

てきよう
＝適用〔あてはめる〕法を適用

＝摘要〔要点の抜き書き〕摘要欄

てぐすね　(手薬煉△)→手ぐすね手ぐすね引く
〔注〕「手ぐすねを引く」としない。

てぐりあみ　(手操り網)→手繰り網

でくわす　(出会す、出食わす)→出くわす

てこ　(梃△子)→てこ

てこずる　(手古摺る、梃△子摺る△)→てこずる

てごたえ　(手答え)→手応え

でこぼこ　㊍凹凸・でこぼこ

てごわい　(手強い)→手ごわい

てさげ　手提げ(かばん)

でし　弟子　まな弟子

てじまい　(手仕舞い)→手じまい

でずいり　㊍手数入り〔相撲〕

てすき　(手透き、手空き)→手隙

てすき　(手漉き)→手すき　手すき和紙

でずっぱり　(出突っ張り、出づっ張り)→出ずっぱり、出続け

てすり　(手摺り)→手すり

でぞめしき　出初め式

でだし　(出出し)→出だし

でだて　(手立て)→手だて

でたらめ　(出鱈目)→でたらめ

てだれ　(手足れ、＊手練)→手だれ、腕利き

てぢか　手近

てちょう　(手帖)→手帳

てつ　＝徹〔貫き通す〕一徹、貫徹、徹底(的)、徹夜、冷徹

＝撤〔取り除く、引き揚げる〕撤回、撤去、撤収、撤退、撤廃

てつあれい　(鉄啞鈴)→鉄亜鈴、ダンベル

てづくり　(手造り)→手作り

てつけ　手付け(を打つ)　手付金

てっけん　鉄拳(制裁)

てっこう　＝鉄鉱〔鉄の原料となる鉱石〕鉄鉱石、鉄鉱の採掘

＝鉄鋼〔鉄とはがね〕鉄鋼業

＝鉄工〔鉄を用いた工作〕鉄工所

てつだう　㊥手伝う　手伝い

でっち　(丁稚)→でっち(奉公)

てっつい　(鉄槌)→鉄ついを下す)

てっとうてつび　㊦徹頭徹尾

てつめんぴ　鉄面皮

てづる　(手蔓)→手づる、縁故

てつをふむ　(轍を踏む)→失敗を繰り返す、(前車の)轍を踏む

でどころ　(出所、＊出処)→出どころ

てなずける　(手懐ける)→手なずける

てぬぐい　手拭い

てのひら　(掌、手の平)→手のひら

てはじめ　(手初め)→㊦手始め

ではな　(出端、出鼻)→出はな〔出ばなとも〕出はなを折る・くじく・たたく

でばな　＝出鼻〔突端〕半島・岬の出鼻

＝出花〔湯を注いだばかりの香りのいい茶〕番茶も出花

てばなす　(手離す)→手放す
　書画を手放す、手網を手放す、手放しでは喜べない　⇄「はなす・はなれる」の項
てばなれ　(手放れ)→手離れ
　子どもが手離れする
てばやい　(手速い)→手早い
てびき
＝手引き〔誘導〕手引きする
＝**手引**〔案内書、冊子〕手引書
てぶり　(手振り)→手ぶり
てみじか　手短　手短に話す
てもと　(手許)→手元
でもどり　出戻り〔不快用語。なるべく使わない〕
てもなく　㊒手もなく
てらこや　(寺小屋)→寺子屋
てる・てらす　照る・照らす
　照らし合わせ、照り返し、照り付ける、照り焼き
てるてるぼうず　(照る照る坊主)→てるてる坊主
てれる　照れる　照れ隠し、照れくさい、照れ屋
てんい
＝**転位**〔位置が変わる〕胎児の転位
＝**転移**〔他の場所に移る〕がんの転移
てんいむほう　天衣無縫
てんか
＝**転化**〔他の状態に変わる〕宅地に転化、転化糖
＝**転嫁**〔罪や責任を押し付ける〕
　消費税を価格に転嫁、責任を転嫁
てんかい
＝**転回**〔回って方向を変える〕コペルニクス的転回、方針を百八十度転回する
＝**展開**〔繰り広げる〕議論を展開、事態の急展開、目の前に展開する大パノラマ
てんがい　(天蓋)→天蓋(てんがい)
てんかん　(癲癇)→てんかん(病名)
てんき
＝(転期)→**転機**〔変わり目〕重大な転機を迎える、人生の転機
＝**転帰**〔病気の経過の行き着くところ〕死の転帰をとる
でんき
＝**電気**〔電力一般〕静電気、電気器具、電気製品、電気分解、(家庭用の)電気料金〔産業用は電力料金〕
＝**電器**〔主に日用器具〕家庭電器

＝電機〔電力を使った機械〕軽電機、弱電機、重電機

〔注〕取扱品が家庭用品の場合は「電器商・店」、生産用なら「電機商・店」、工事関係は「電気店」。秋葉原電気街など、固有名詞は名称通り書く。

でんき

＝伝記〔個人一生の記録〕偉人・英雄の伝記、伝記作家

＝伝奇〔怪奇や幻想に富んだ物語〕伝奇小説、伝奇的な生涯

てんぐ（天狗△）→てんぐ

てんぐさ テングサ・天草〔海藻〕

てんけい（添景）→点景

てんけい

＝天啓〔天の啓示〕天啓を受ける

＝天恵〔天の恵み〕豊かな天恵

でんげん（電原）→電源

てんさい（甜△菜）→テンサイ〔植物。砂糖大根、ビートとも〕

㊐てん菜糖

てんしゅかく（天主閣）→天守閣

てんしゅきょう（天守▲教）→天主教

てんしゅどう（天守▲堂）→天主堂

てんしん

＝転身〔職業・身分・考え方などを大きく変える〕歌手から実業家に転身

＝転進〔方向をかえて進む〕部隊・船が○○方面に転進する

てんしんらんまん（天心▲爛△漫）→天真らんまん

てんせい

＝転生〔生まれ変わる。「てんしょう」とも〕仏の転生

＝転成〔別の性質のものに変わる〕転成語、連用形から転成

てんせい 天性（の才能）

てんぜん（恬△然）→平然、超然

でんせん

＝伝染〔病原体や物事のある状態が他へうつる〕あくびが伝染する、伝染病〔動物。人は感染症〕

＝伝線〔靴下・ストッキングなどが縦方向にほころぶ〕

でんそう

＝伝送〔データ・パルス通信など〕

＝電送〔写真・ファクス送信など〕

〔注〕デジタル機器は「伝送」を使うことが多い。

てんたん（恬淡）→淡泊、あっさり、淡々と

てんちゅう（天誅）→天罰、天誅

てんてこまい（転手古舞い、天手古舞い）→てんてこ舞い

てんてん
＝転々〔ころがる〕球が転々と、転々と職業・住所を変える
＝点々〔点が続く、散らばる〕血の痕が点々と

でんどう
＝電動〔電力を動力とする〕電動工具、電動のこぎり、電動発電機
＝伝動〔動力を他の部分に伝える〕伝動装置、伝動ベルト
＝伝道〔教義などを広める〕宗教の伝道、伝道師、伝道の書
＝伝導〔伝わっていく現象〕伝導電子、熱・電気などの伝導
＝電導〔電気が伝わる〕超電導

↪「ちょうでんどう」の項

てんとうむし（瓢虫）→テントウムシ・天道虫〔動物〕

てんどん 天丼

てんねんとう 天然痘〔病名〕

でんぱ（伝播）→広がる、波及

てんぴ
＝天日〔太陽の光・熱〕天日干し
＝天火〔オーブン〕天火でパンを焼く

てんびき 天引き（預金）

てんびん（天秤）→㊐てんびん

てんぷ
＝添付〔付け添える〕添付ファイル、住民票を添付する
＝貼付〔のりなどで貼り付ける。本来の読みは「ちょうふ」〕切手を貼付する

でんぶ（臀部）→尻、臀部

てんぷく（顚覆）→転覆

てんぷら（天麩羅、天婦羅）→てんぷら・天ぷら

でんぷん（澱粉）→でんぷん

てんぺん
＝天変〔天空の異変〕天変地異
＝転変〔移り変わる〕有為転変

てんぽ（店舗）→店舗

てんません ㊐伝馬船

てんまつ（顚末）→いきさつ、経緯、始末、一部始終　顚末書

てんれい
＝典令〔法律や命令〕典令を重んじる
＝典礼〔一定の儀式・儀礼〕立太

子の典礼
＝典例〔よりどころとなる先例〕
法規典例

【と】

と 十 十人十色、十月十日＝とつきとおか〔妊娠期間〕

と 戸 戸締まり、戸障子、戸棚

ど… どえらい、どぎつい、ど根性、ど真ん中

どあい 度合い

とあみ ㊞投網

とい 問い 問い合わせ、問い返す、問い掛け、問いただす、問い直し
〔注〕一問一答やQ&A方式の記事、表では「問」「答」と送り仮名を省いてよい。

といし （砥石△）→砥石（といし）

とう ＝到〔いたる、行き届く〕殺到、周到、精神一到、到達、到着、到来、前人未到
＝倒〔たおす、さかさま〕一辺倒、傾倒、七転八倒、卒倒、転倒、倒産、抱腹絶倒

とう （籐△）→トウ〔植物〕とう椅子・籠・細工

どう… 胴締め、胴震い、胴巻き、胴回り

どうあげ （胴挙げ、胴揚げ）→胴上げ

とうか ＝灯火〔明かり〕灯火親しむ
＝灯下〔明かりの下〕灯下に書をひもとく

とうかい （倒潰）→倒壊

とうかつ （統轄）→統括

どうかつ （恫△喝）→脅す、どう喝

とうがらし トウガラシ・唐辛子〔植物〕七味唐辛子

とうかん （投函△）→投函（とうかん）

とうき （冬期）→㊟冬季
〔注〕「冬期講習」など、固有の名称や特に期間を表す場合は「冬期」を使う。

とうき ＝党規〔党の規則〕党規を改正
＝党紀〔党の規律〕党紀を乱す

どうき （動悸△）→動悸（どうき）

どうぎ （＊胴衣）→胴着
〔注〕救命用具は「救命胴衣＝どうい」。

どうきゅう （撞△球）→玉突き、ビリヤード

どうぎょうににん 同行二人〔「どうぎょうふたり」とも〕

どうくつ 洞窟

どうけ 道化(師・役者)

どうけい (憧憬)→憧れ、憧憬(しょうけい)〔注〕本来の読みは「しょうけい」。

とうげんきょう (桃源境)→桃源郷

どうこう 瞳孔〔身体器官〕

どうこういきょく 同工異曲

どうこく (慟哭△△)→号泣、泣き叫ぶ

とうさい
＝登載〔名簿に記載する〕候補者名簿に登載、土地台帳に登載
＝搭載〔積み込む〕核兵器を搭載

とうさん ㊢父さん

とうじ (杜氏△)→杜氏(とうじ)〔「とじ」とも〕

とうじ 冬至

とうじ 湯治 湯治場

どうし
＝同士〔仲間、種類〕男同士、恋人同士、仲間同士
＝同志〔志を同じくする者〕同志の人々、同志を集める

どうしうち (同士討ち)→㊙同士打ち

とうしゅう (踏襲△)→踏襲

とうしょ (島嶼△)→島々、諸島、島しょ

どうせい (同棲△)→同居、一緒に暮らす

どうせい (動勢)→動静

とうせん (当籤△)→当選〔日本の宝くじ・くじ付きはがき・サッカーくじは「当せん」〕

とうぜん ㊙当然

とうぜん 陶然

とうそう (痘瘡△)→天然痘〔病名〕

とうそつ (統卒▲)→統率

とうた (淘汰△)→整理、選別、淘汰(とうた)

とうだい 灯台 灯台下暗し、灯台守

どうたい
＝動態〔変動する状態〕人口動態
＝動体〔動いているもの〕動体視力

どうたく (銅鐸△)→銅鐸(どうたく)

どうちゃく (撞着△)→食い違い、矛盾

とうつう (疼痛△)→痛み、うずき

とうてい ㊙到底・とうてい

とうてき (投擲△)→投てき

とうてん 読点

とうとい・とうとぶ ＝尊（尊敬、大切にすべきもの）神仏・祖先を尊ぶ、尊い生き方・教え・犠牲、平和の尊さ ＝貴（貴重、価値がある）真実を貴ぶ、貴い資料、貴い税金、貴い体験、貴い身分、和をもって貴しとなす

〔注〕「たっとい・たっとぶ」とも。一般に「貴い人命」だが、尊敬の意を込めて「尊い人命」と書くなど意味によって使い分ける。

とうとう ㊐（到頭）→とうとう

とうとうと （滔々と）→とうとうと（流れる大河）

とうとり 頭取

どうにいる 堂に入る〔「どうにはいる」は誤った読み方〕

とうはん （登攀）→よじ登る、登山 登攀隊（員・長）〔「とはん」とも〕

とうはん 登坂〔「とはん」とも〕 登坂車線、登坂能力

とうびょう （投錨）→いかりを下ろす、停泊

どうひょう （導標）→道標

とうひょうばこ （投票函）→投票箱

とうふ 豆腐

とうぶん ㊐当分

どうほこ （銅鉾）→銅矛

どうもう （獰猛）→凶暴、どう猛

どうもく （瞠目）→目を見張る

とうや （陶冶）→鍛錬、錬成、陶冶

とうよう （登庸）→登用

どうり 道理 道理にかなう

どうりで ㊐道理で・どうりで

とうりゅう （逗留）→滞在

とうりゅうもん 登竜門

とうろう 灯籠

とえはたえ ㊐十重二十重

とおい 遠い ㊐遠からず、遠ざかる、遠ざける、遠回り

とおす 通す 通し切符、通し狂言、見通す

とおせんぼう とおせんぼう・通せん坊、とおせんぼ

とおのく （遠退く）→遠のく

とおる （透る、徹る）→通る 通り雨、通り一遍、通り掛かり、通りがけ、通りすがり、通り名、通り魔、通り道、光がガラスを通る

とがき ト書き

とかく 副(兎角)→とかく

とかす・とく (梳)→とかす・とく 髪をとかす

とかす・とける・とく ＝(熔、融)→溶〔とけ合う、加熱などで固体を液体にする〕アイスクリーム・チョコレートが溶ける、絵の具を溶く、砂糖を水に溶かす、卵を溶きほぐす、地域社会に溶け込む、鉄を溶かす ＝(融)→解〔とけてなくなる、緊張がゆるむ〕疑いが解ける、打ち解ける、絵解き、帯を解く、誤解を解く、心が解け合う、霜解け、解き明かす、解き放つ、解きほぐす、難問を解く、任を解く、ひもが解ける、包囲が解ける、結び目を解く、雪解け

〈使い分けに注意〉

▼雪・氷を溶かす〔人工的〕道路の雪を水で溶かす

▼雪・氷を解かす〔自然現象〕春の日差しが雪を解かす

どかた・どこう ⊗(土方、土工)→建設労働者・作業員

とがめる 他(咎める)→とがめる とがめ立て

とき ＝時〔名詞。主に時期・時間・時刻そのものを示すとき〕売り時、書き入れ時、実行の時が来た、梅雨時、時が解決する、時々、時として、時と場合、時ならぬ、時には〔たまには〕、時の権力、時の流れ、時の人、時は金なり、時を待つ、何時＝なんどき

＝とき〔形式名詞。主に「…の場合」〕行けないときは連絡する、いざというとき、(もしも)帰ってきたときは、事有るとき、困ったときの神頼み、事故が起こったとき、社員を採用するときは、衆院解散のときは、…しようとするとき(に)は、都合の悪いとき

〔注〕使い分けに迷う場合は平仮名書き。

ときおり 副時折

ときたま (時偶)→時たま

ときに 副時に〔接続詞にも〕

ときめく ＝時めく〔栄える〕今を時めく人気作家

＝ときめく〔心が躍る〕期待・喜び で胸がときめく

どぎも（度胆）→度肝（を抜く）

どきょう 度胸

どきょう ㊐読経

ときわず（常磐津）→㊐常磐津

ときん（鍍金）→㊐めっき・メッキ

とく

＝得〔損の対語〕お買い得、お得な品、50円の得、ごて・ごね得、得な点、得をする

＝徳〔仁徳、恩恵〕徳用、徳を施す、早起きは三文の徳

とく 説く 口説く、説き明かす、説き伏せる

とぐ 研ぐ 牙・包丁を研ぐ、研ぎ上げる、研ぎ澄ます、研ぎ物、研師〔職業〕

〔注〕「米をとぐ」は平仮名書き。

とくい 得意 お得意さま、得意顔、得意先、得意料理

どくが 毒牙

とくしか（特志家）→篤志家

とくしゅ

＝特殊〔一般用語〕特殊鋼、特殊作戦部隊、特殊撮影〔特撮〕、特殊自動車〔道路運送車両法、道交法〕、特殊法人

＝特種〔特殊な種類〕特種用途自動車〔8ナンバー〕

どくしゅう（独修）→独習

とくしゅがっきゅう（特殊学級）→特別支援学級

〔注〕学校教育法に従い、特殊教育も「特別支援教育」とする。

とくしゅぶらく ⊗特殊部落〔使用不可〕→差別語、不快用語（492ページ）

とくしょく（瀆職）→汚職

とくせい

＝特性〔特にすぐれた性質、特質〕個人の特性を生かす

＝特製〔特別の製品〕特製のパン

どくだんじょう 独壇場（どくだんじょう）〔本来は独擅場（どくせんじょう）〕

どくだんせんこう（独断先行）→独断専行

とくちょう

＝特徴〔特に目立つ点〕特徴のある顔、容疑者の特徴

＝特長〔特に優れた点〕特長を生かす

どくづく（毒突く）→毒づく

とくと ㊐（篤と）→とくと と

くとご覧あれ

どくとく（独得）→㊕独特

とくとくと 得々と 得々と話す

とくに ㊕特に

どくみ（毒見）→毒味

とくよう ＝（得用）→徳用〔割安〕徳用品・米

＝特用〔特別の用途〕特用作物〔タバコ、桑、茶など〕

とくり・とっくり（徳利）→とくり・とっくり

どくりつさいさんせい（独立採算性）→独立採算制

とげ（棘△、刺）→とげ とげとげしい、とげのある言葉

とけあう ＝溶け合う〔物がまじり合う〕絵の具が溶け合う、水とアルコールが溶け合う

＝解け合う〔仲良くなる〕心が解け合う

とけい ㊕時計

とけつ 吐血〔消化器系から出た血を吐くこと〕↪「かっけつ」の項

とげる 遂げる 仕遂げる、成し遂げる

とこ 床 床擦れ、床に就く、床の間、床離れ、床山

とこ 常 常しえ、常夏、常世

とこや（床屋）→理髪業・店、理容師

ところ ＝（処）→所〔位置、場所〕ある所、行く所、至る所、居所、勘所、所書き、所嫌わず、所狭し、所々、所払い、所番地

＝ところ〔位置・場所以外や誤読のおそれがある場合〕今のところ、腕の見せどころ、落としどころ、思うところ、考えどころ、このところ、米どころ、思案のしどころ、…したところが駄目だった、勝負どころ、…するどころの騒ぎではない、それは望むところだ、つかみどころ、つまるところ、出どころ、ところで、狙いどころ、非の打ちどころ、法律の定めるところ、役どころ

ところてん（心太、心天）→ところてん ところてん式

とさか（＊鶏冠）→とさか

とさつ（屠△殺）→食肉処理（場）、食肉解体（場）

〔注〕業務上の食肉処理でないものは「処分、粟殺」など文脈によって言い換える。

とざま ㊐外様

どさまわり ⊗(どさ回り)→地方巡業

どさんこ ㊐道産子〔人〕、ドサンコ〔馬〕

とし (歳)→年　年明け、年がいもなく、年かさ、年子、年越し、年端、年回り、年を取る

とじ (杜氏)→杜氏(とうじ)〔とうじ〕とも〕

とじこめる 閉じ込める

とじこもる (閉じ籠もる、閉じ込もる)→閉じこもる

としのいち (歳の市)→年の市

としのこう (年の劫)→年の功　亀の甲より年の功

としま ㊐年増

としゃ (吐瀉)→吐き下し　吐しゃ物

どしゃぶり 土砂降り

としゅくうけん 徒手空拳

どじょう (泥鰌)→ドジョウ〔動物〕二匹目のどじょう

どしょうぼね 土性骨

としより ＝年寄り〔一般用語〕お年寄り　＝**年寄**〔役職〕年寄(株)〔相撲〕、若年寄

とじる ＝閉じる〔開けるの対語〕会を閉じる、本を閉じる、幕を閉じる、店を閉じる、門を閉ざす　＝(綴じる)→とじる〔つづり合わせる〕書類をとじる、卵とじ、袋とじ、和とじ、割れ鍋にとじぶた

どじん ⊗(土人)→先住民(族)、現地人

とする 賭する

とぜつ (杜絶)→途絶

とそ (屠蘇)→とそ

どだい ㊐(土台)→どだい　どだい無理な話

とだえる (跡絶える、杜絶える)→途絶える

とたん 途端　㊐途端に

どたんば (土断場)→土壇場

とちかん (土地鑑、土地感)→

㊐土地勘

とちのき (栃の木、橡の木)→トチノキ〔植物。トチの木としない〕トチの実、とち餅

〔注〕「栃」は栃木県など固有名詞だけに使う。

とつ… 凸版、凸面(鏡)、凸レンズ

とっき (凸起)→突起

とつぐ 嫁ぐ 嫁ぎ先

とっさ (咄嗟、突差)→とっさとっさの機転

とつじょ ㊀突如

とつぜん ㊀突然

とっつき

＝取っ付き〔一番手前、糸口、手始め〕取っ付きの部屋

＝とっつき〔第一印象〕とっつきが悪い人、とっつきにくい

とって (*把手)→取っ手

とっぴ (突飛)→とっぴ

とっぴょうし 突拍子(もない)

とつべん (訥弁)→㊀口下手、とつ弁

どて (土堤)→土手

どどいつ ㊀都々逸

どとう (怒濤)→荒波、激浪、怒濤(どとう) 疾風怒濤(どとう)

ととけ

＝届け〔一般用語〕付け届け、届け(を出す)、届け先、届け書、届け済み、届け出、届け出る、無届け

＝届〔書式〕引退届、欠席届、婚姻届

ととこおる 滞る 滞りなく

ととのう・ととのえる

＝整〔整理、きちんとする〕足並みを整える、息を整える、形を整える、室内を整える、準備が整う、体調を整える、隊列を整える、整った顔立ち、整った文章、身なりを整える

＝調〔調達、まとまる〕味を調える、縁談・婚約が調う、音律を調える、家財道具が調う、協議が調う、資金を調える、商談が調う、晴れ着を調える、必需品を調える

とどまる・とどめる (止・留・停)→とどまる・とどめる 押しとどめる、書きとどめる、踏みとどまる

とどめ (止め)→とどめ とどめを刺す

どどめ 土留め(工事)

となえる

＝唱える〔言う、主張する〕異議・新説・反対を唱える、お題目・称名・念仏を唱える〔比喩では使わない〕、万歳を唱える、反戦平和を唱える

＝(称える)→となえる〔称する〕

出家して法然ととなえる

となり
＝隣〔名詞的な用法〕隣近所、隣組、隣に座る、隣町、両隣
＝隣り〔動詞的な用法〕隣り合う、隣り合わせ

どなる 怒鳴る 怒鳴り声

とにかく 副(兎に角△)→とにかく

との・どの 殿 殿方、殿様、湯殿

どのう (土嚢△)→土のう

とば 賭場

とばく 賭博

とはん 登坂 ☞「とうはん」の項

とび (鳶△)→トビ〔動物〕とび色、とび職、とんびだこ、廊下とんび
〔注〕「トンビ」はトビの俗な表現。

とび・とぶ
＝(翔△)→飛〔飛行、飛躍、広まる〕アフリカに飛ぶ、家を飛び出す、(飛び)板飛び込み、一足飛びに、うわさが飛ぶ、空飛ぶ円盤、高飛び込み、飛び掛かる、飛び切り上等、飛び出しナイフ、飛び付く、飛び道具、飛び抜ける、飛びのく、(泥が)飛び跳ねる〔飛び散る〕、(資金集めに)飛び回る、烏が飛ぶ、容疑者が高飛び〔順序通りでない〕飛び石〔連休〕、飛び入り、飛び級・入学、(先輩を)飛び越す、飛び地、飛び火
＝跳〔跳躍〕カエルが跳ぶ、三段跳び、跳び蹴り、(障害物・溝を)跳び越す〔馬術の障害飛越も〕、跳び箱、(子どもが)跳びはねる〔ジャンプ〕、(庭を)跳び回る、縄跳び、寝床から跳び起きる、走り高・幅跳び、棒高跳び、横(っ)跳び
〈使い分けに注意〉
▼**飛び上がる**〔飛行、比喩も〕 飛行機が飛び上がる
▼**跳び上がる**〔跳躍〕助走の後に跳び上がる、跳び上がって喜ぶ

とびうお トビウオ・飛び魚〔動物〕

とびおりる (飛び下りる)→統 飛び降りる 飛び降り自殺

とびとび 副(飛び飛び)→とびとび とびとびに

どぶろく (＊濁酒)→どぶろく

とほう 途方 途方に暮れる、途方もない

とぼしい 乏しい

とまどう (戸迷う、途惑う)→戸惑う

とまる・とめる

＝(停)→止〔一般用語。停止〕足止め、息を止める、射止める、受け止める、打ち止め、口止め(料)、消し止める、交通が止まる、差し止める、さび止め、準決勝止まり、高止まり、立ち止まる、通行止め、突き止める、止まり木、烏が木に止まる、流れを止める、歯止め、札止め、呼び止める

＝留〔とどまる、とどめる、留置〕一命を取り留める、駅留め、獲物を仕留める、帯留め、書き留める、気にも留めない、警察に留め置く、抱き留める、つなぎ留める、留め金、留め袖、引き留める、歩留まり、ボタンを留める、目・心に留まる、郵便局留め、書留

＝泊〔宿泊〕客を家に泊める、泊まりがけ、泊まり客、泊まり込み、船が港に泊まる

とみ 富 巨万の富、富くじ

とむ 富む 機知に富む

とむらう 弔う 弔い合戦

とめどない (止め処ない、止め度ない)→止めどない

とも 友 アユの友釣り、友引

とも ＝共〔一緒、同じ〕行動を共にする、自他共に認める、生死を共にする、共裏、共切れ、共食い、共倒れ、共働き、母と共に食事をする

〔注〕…と同時にの意味の「…ともに」は平仮名書き。

＝とも〔接尾語、全部〕今後とも、3人とも元気、送料とも5千円

＝供〔従者〕お供をする、供ぞろえ、供待ち、供回り

とも (鰹△)→とも、船尾

ともえ (巴△)→ともえ ともえ戦、ともえ投げ、三つどもえ

ともかく 副(兎も角△)→ともかく

ともかせぎ 共稼ぎ〔なるべく「共働き」に言い換える〕

ともしび (灯、＊灯火)→ともしび

ともす (点す、灯す)→ともす 希望の灯をともす、爪に火をともす、電気をともす、ろう

そくをともす

ともだち ㊥友達

ともづな （纜、艫綱）→ともづな

ともども ㊐（共々）→ともども

ともなう 伴う

どやがい ⊗（ドヤ街）→簡易宿泊所（の集まっている所）

とやかく ㊐（兎や角）→とやかく

どよう 土用　土用の丑の日

とら トラ・虎〔動物〕虎刈り、虎の子の金、虎の巻

とらえる

＝捉える〔つかむ、把握〕機会を捉える、言葉尻を捉えて、詩の意味を捉える、真相を捉える、電波を捉える、特徴を捉える、捉えどころがない人物、フォークボールを捉える、レーダーが捉えた台風の目

＝捕らえる〔取り押さえる〕動物・犯人を捕らえる、密漁船を捕らえる

とらどし （寅年）→とら年・寅年

とらわれる

＝捕らわれる〔つかまる〕敵に捕らわれる、捕らわれの身

＝（囚われる）→とらわれる〔こだわる〕因習・形式・不安・偏見にとらわれる

とり

＝（禽）→鳥〔一般用語〕地鳥（ニワトリ以外）、鳥インフルエンザ〔病名〕、鳥刺し、鳥肌、焼き鳥

＝鶏〔ニワトリ〕オナガドリ・尾長鶏、風見鶏、地鶏、鶏がら、鶏肉〔「けいにく」とも〕、鶏のささ身

〔注〕「風見鶏」以外は「鳥」を使ってもよい。

とり （酉）→とり・酉　お酉さま、酉の市

とり… 取り上げる、取り合わせ、取り押さえる、取り落とす、取り囲む、取り消し、取り越し苦労、取り込み詐欺、取り下げ、取り沙汰、取り仕切る、取り立て金、取り付く島もない、取り繕う、取り付け、取り逃がす、取り計らう、取り払う、取り巻き、取りまとめる、取り乱す、取り持つ

とりあえず ㊐（取り敢えず）→

取りあえず

とりあつかい 取り扱い（受け付け、禁止・中止、限度、実績、状況、担当、方式・方法、予定） 取扱受付日・人、取扱規則、取扱金融機関、取扱限度額・量、取扱説明書、取扱高、取扱担当者、取扱注意、取扱品目、取扱予定日・品目・物品 ☞経済複合語（102ページ）

とりいれ （穫り入れ）→取り入れ

とりうち 鳥撃ち

とりうちぼう 鳥打ち帽

とりえ （取り得、取り柄）→取りえ

とりかえ （取り替え）→取り換え 取っ換え引っ換え

とりきめ （取り極め）→取り決め

とりくみ 取り組み（方・方式・方法）、取組（相撲） 取組《残》、取組株数 ☞経済複合語（102ページ）

とりこ （虜・擒△）→とりこ

とりしまり 取り締まり（当局、方・方式・方法） 取締官、取締条約、取締船、取締法、取締本部、取締役

とりしらべ 取り調べ（当局、方・方式・方法） 取調官、取調室

とりつぎ 取り次ぎ（拒否、専門） 取次《店》、取次専門業者・店、取次代理業・業者・店 ☞経済複合語（102ページ）

とりで （砦△）→とりで

とりどし （酉△年）→とり年・酉年

とりとめ （取り留め、取り止め）→とりとめ（のない話）

とりとめる （取り止める）→取り留める 一命を取り留める

とりなす （執り成す）→とりなす

とりひき 取引 取引銀行、取引先、取引所、取引する

とりもの 捕物

とりやめ （取り止め）→取りやめ

とりわけ 副（取り分け）→とりわけ

とる ＝（獲る、穫る、盗る、摂る）→取る〔一般用語〕 （手に入れる、引き受ける）イニシアチブを取る、資格を取

る、責任を取る、つかみ取り、手に取って見る、年を取る、取る物も取りあえず、取れたて、満点を取る、メガホンを取る、メダルを取る

〔処理する、扱う〕会議で取り上げる、機嫌を取る、位取り、措置を取る、手続きを取る、取るに足りない、バランスを取る、拍子を取る、メモを取る、連絡を取る

〔除く〕着物の汚れを取る、邪魔物を取り除く、摘み取る

〔遊び・動作・競技をする〕かるた取り、相撲を取る、取り口、取りこぼし、取り直し

〔摂取する〕栄養を取る、食事を取る

〔奪う〕命取り、金を取る

〔注〕落語の「トリを務める」、相撲の「大関とり、綱とり」は仮名書き。

＝(獲る)→捕る〔つかまえる〕生け捕る、鯨を捕る〔捕鯨〕、捕り手、ネズミを捕る、飛球を捕る、分捕る、召し捕る

〈使い分けに注意〉

▼魚を取る〔一般用語。漁獲〕底引き網で魚を取る

▼魚を捕る〔つかまえる〕素潜りで魚を捕る

▼虫を取る〔駆除〕

▼虫を捕る〔捕獲〕

＝(穫る)→採る〔採取、採用〕貝を採る、キノコ・山菜採り、木の実を採る、血液を採る、決を採る、コンブ・昆布採り、指紋を採る、卒業生を採る、その説を採る、標本を採る

＝執る〔役目として事に当たる、手に持って使う〕式を執り行う、指揮を執る、事務を執る、筆を執る

＝撮る〔撮影〕映画を撮る、隠し撮り、写真・ビデオを撮る

＝(録る)→とる 録画予約でドラマをとる

〔注〕使い分けに迷う場合は平仮名書き。

どろじあい (泥試合)→**泥仕合**

どろどろ (泥々)→どろどろどろどろの道

どろぼう (泥坊)→泥棒

とわ (＊永久)→とわ とわの誓い・別れ

どわすれ 度忘れ

…どん 丼 うな丼、牛丼、玉子

丼、玉丼、天丼

とんきょう　(頓狂、頓興)→とんきょう　すっとんきょう

どんぐり　(団・栗)→ドングリ　〔植物〕どんぐりの背比べ、どんぐり目・眼

とんこれら　豚コレラ　〔「ぶたこれら」とは読まない〕

とんざ　頓挫

とんし　頓死

とんそう　(遁走)→逃走

とんち　(頓智)→頓知

とんちゃく　頓着　〔「とんじゃく」とも〕

とんちんかん　(頓珍漢)→とんちんかん

とんでんへい　屯田兵

とんぷく　頓服

どんぶり　丼　丼勘定、丼飯

とんぼ　(蜻蛉)→トンボ　〔動物〕　尻切れとんぼ、竹とんぼ、とんぼ眼鏡、とんぼを切る

とんぼがえり　(とんぼ帰り)→とんぼ返り(する・で帰る)

とんま　(頓馬)→とんま

どんま　＝鈍麻　〔感覚がにぶくなる〕順法精神の鈍麻、神経が鈍麻する　＝鈍磨　〔すり減ってにぶくなる〕刀の刃が鈍磨する

とんや　問屋　〔「といや」とも〕

どんよく　(貪慾)→貪欲

【な】

ない　＝亡い　〔存の対語〕亡きがら、亡き人をしのぶ、○○さんが亡くなった　＝無い　〔有の対語〕有ること無いこと、無くて七癖　〔注〕「無い」は平仮名書きを活用。　＝ない　〔助動詞・補助用言の場合〕行きたくない、…かもしれない、…しない、…でない

ないこう　＝内向　〔心の働きや思考が内に向く〕内向的な性格　＝内攻　〔内部にたまる〕病勢が内攻する、不満が内攻

ないし　(乃至)→ないしし

ないしょ　(内所、内証)→内緒　内緒事、内緒にする、内緒話

ないしょう　内証　〔仏教用語。心の内のさとり〕

ないじょう　(内状)→内情

ないぞう
＝**内蔵**〔内部に含み持つ〕危険を内蔵、内蔵電池
＝**内臓**〔器官。呼吸、消化、泌尿器など〕内臓疾患、内臓破裂

ないてい
＝**内定**〔内々に決定する〕採用内定の通知、人事が内定する
＝**内偵**〔内密に探る〕脱税を内偵、内偵を進める

ないぶん
＝**内分**〔内密〕内分に済ます
＝**内聞**〔非公式・内々に聞く〕ご内聞に願います

ないまぜ　（綯い交ぜ）→ない交ぜ

なえる　（萎える）→なえる　気持ちがなえる

なお　㊞（猶、尚）→なおなお　かつ、なおさら、なおのこと

なおざり　（＊等閑）→なおざり　〔すべきことをせず、おろそかにする〕法をなおざりにする　〔注〕その場しのぎでやる意味の「おざなり」との違いに注意。

なおす・なおる
＝**直**〔一般用語。正しくする〕曲がり直す、機嫌が直る、給金直し、故障を直す、言葉遣いを直す、立ち直る、出直す、服装を直す、焼き直し、ゆがみが直る、世直し、悪い癖を直す
＝**治**〔傷病〕傷を治す、病気が治る

なか
＝**中**〔外に対する〕家の中、演説の中、その中(で)、中折れ帽、中だるみ、中継ぎ、中づり広告、㊞中でも、中ほど、中休み、中を取る、両者の中に入る
＝**仲**〔主に対人関係〕犬猿の仲、仲卸、仲が良い、仲立ち(人)、仲直り、仲間、仲を取り持つ、夫婦の仲

ながい
＝**長い**〔一般用語。短の対語〕秋の夜長、気が長い、長雨、長い間、長生き、長い道中、長い年月、長い目で見る、長たらしい、長談義、長丁場、長続き、㊞長々と、長話、長引く、長め、長患い、細く長く
＝**永い**〔特別用語〕末永く契る、永い歳月〔常しえの意を強調する場合〕、永い眠りにつく、永くその名が残る、永の別れ、

春の日永〔永日との関連から〕
〔注〕使い分けに迷う場合は一般用語の「長」を使う。

ながうた 長唄

なかがい 仲買 仲買業者、仲買店、仲買人

ながし 流し 流しの歌手

なかす (中洲△)→中州〔福岡の地名は中洲〕

ながす 流す 浮名を流す、着流し、島流し、垂れ流し、流し網、流し台、流し目、吹き流し、横流し

なかたがい (仲違い)→仲たがい

なかなか 副(中々、仲々▲)→なかなか

ながねん (永年)→長年 ⇄「えいねん」の項

なかば (央ば、中ば)→半ば〔副詞にも〕

なかみ (中味)→中身

ながめる 眺める

ながもち 長持ち 長持ちする 電池、長持ち一さお

ながや (長家)→長屋

なかよし (仲好し)→仲良し

ながらえる (長らえる)→永らえる

ながらく 副(永らく)→長らく

ながれる 流れる 流れ弾、流れ星

なかんずく (就中)→なかんずく

なきがら (亡骸)→亡きがら

なきさ (渚△)→なぎさ

なぎなた (*長刀、薙刀△)→なぎなた

なく
＝泣く〔人間〕泣かせる話、泣き崩れる、泣き声、泣き言、泣き上戸、泣き付く、泣き(っ)面、泣きどころ〔弁慶の泣き所は例外〕、泣き寝入り、泣き腫らす、泣きべそ、泣き虫、泣き別れ、泣き笑い、泣く泣く、民主国家の看板が泣く
＝鳴く〔動物など〕鳴かず飛ばず、鳴き交わす、鳴き声、夜鳴きそば

なぐ (凪△ぐ)→(波・風・心が)なぐ (薙△ぐ)→(草を)なぐ なぎ倒す、なぎ払う

なぐさめる 慰める お慰み

なくす
＝亡くす 親を亡くす

＝無くす　金を無くす
〔注〕「無くす」は平仮名書きを活用。
なげうつ　(擲つ、抛つ)→なげうつ　全財産をなげうつ
なげく　嘆く　嘆かわしい
なげる　投げる　投げ売り、投げ掛ける、投げ込む、投げ付ける、投げ飛ばす、投げやり〔態度、武器〕、投げ技
なこうど　㊞仲人
なごむ・なごやか　和む・和やか
なごり　㊞名残
なさけ　情け　情け知らず、情けない、情け深い、情け容赦ない、深情け
なし　ナシ・梨〔植物〕なしのつぶて〔「梨」と「無し」の掛け言葉〕
なしくずし　(済し崩し)→なし崩し
なじみ　(馴染み)→なじみ
なす
＝成す〔仕上げる、つくる〕意味を成さない、重きを成す、形を成す、中核を成す、成し遂げる、群れを成す
＝(為す)→なす〔する、行う〕事をなす、なすすべがない、なすところなく、なせば成る
＝(生す)→なす〔産む〕子をなす、なさぬ仲
〔注〕「あやなす、色をなす、恐れをなす」などは平仮名書き。
なずむ　(泥む)→なずむ　暮れなずむ春の空
なする　(擦る)→なする　なすり合い、なすり付ける
なぜ　㊞(＊何故)→なぜ
なぞ　謎　謎掛け、謎解き
なぞなぞ　(謎々)→なぞなぞ
なだい
＝名代〔その名がよく知られている〕名代の桜餅、名代の老舗
＝名題〔歌舞伎・浄瑠璃の表題など〕歌舞伎の名題、名題看板、名題役者
なだたる　(名立たる)→名だたる
なたね　菜種　菜種油、菜種梅雨
なだれ　㊞雪崩　全層・表層雪崩、雪崩を打つ
なだれる　(雪崩る)→なだれる　なだれ落ちる、なだれ込む
なついん　(捺印)→押印
なつかしい　懐かしい　懐かしむ

なつく 懐く　犬が懐く
なっとう 納豆　甘納豆
なっとく 納得　納得ずく
なでしこ (撫子)↓ ナデシコ〔植物〕
なでる (撫でる)↓なでる　なで下ろす、なで肩、猫なで声
など (等)↓など
〔注〕人については「○○さんなど」とせず「○○さんら」とする。
なとり 名取
なな(つ) 七(つ)　親の七光、七重、七つ道具
ななくさ (七種)↓七草　七草がゆ、春・秋の七草
ななころびやおき 七転び八起き
なに・なん
＝何〔「なに」と読む場合〕何一つ、何びと、㊀何分・なにぶん、何ほど、何故・なにゆえ
＝何〔「なん」と読む場合〕何時＝なんじ・なんどき、何と・なんと、何となく・なんとなく、何とも・なんとも、何にも・なんにも、何人、何びと、何ら・なんら
なにがし (某、何某)↓なにがし
なにわ (浪花、浪速、浪華、難波)↓浪速〔地名〕浪速っ子、浪速の生まれ
なにわぶし ㊀浪花節
なべ 鍋　鍋敷き、鍋底、鍋物、鍋焼きうどん
なま… 生あくび、生暖かい、生意気、生菓子、生乾き、生臭い、生ごみ、生殺し、生爪、生々しい、生煮え、生ぬるい、生半可、生兵法、生焼け、生易しい
なまくら (鈍)↓なまくら
なまける 怠ける　怠け者
なまず (鯰)↓ナマズ〔動物〕なまずひげ
なまなか (生半、生中)↓なまなか
〔注〕並大抵の意で使うのは誤り。本来は中途半端、生半可の意味。
なまめかしい (艶めかしい)↓なまめかしい
なまもの (生物)↓生もの
なみ
＝並〔主に程度が普通である場合〕並足、並製、並大抵、並々ならぬ、並肉、並の人、並外れ
＝並み〔主に並んだもの。同じ程

度、同類の場合〕足並み、家並み、大人並み、毛並み、十人並み、世間並み、月並み、手並み、並み居る、人間並み、軒並み、人並み、平年並み、穂並み、街・町並み、山並み

〔注〕「並木（通り・道）」は例外。

なみ （浪）→波　波打ち際、波路、波立つ、波の花、波乗り

なみだ 涙　涙雨、涙ぐむ、涙もろい、涙をのむ

なみなみと ㊀なみなみと（酒をつぐ）

なめらか 滑らか

なめる （舐める）→なめる

なや 納屋

なやむ 悩む　悩ましい、悩ます、伸び悩み

ならう
＝習う〔習得〕習い覚えた技術、習い性、習うより慣れよ、習わぬ経を読む、世の習い
＝倣う〔模倣〕前例に倣う、ひそみに倣う、右へ倣え

ならく 奈落

ならす
＝慣らす〔なじませる、慣れさせる〕肩慣らし、寒さに慣らす、使い慣らす
＝（馴らす）△→ならす〔手なずける〕馬をならす、動物を飼いならす
＝（均す）→ならす〔平らにする〕地面をならす、土をならす

ならづけ 奈良漬

ならびに （並びに）→ならびに〔接続詞の場合〕

ならぶ 並ぶ　居並ぶ、並び大名、並び立つ、並びない、並べ替え、歯並び、横並び

ならわし （慣わし）→習わし　言い習わす

なり… 成り上がり、成り上がる、成り代わる、成り金、成り下がる、成り済ます、成り立ち、成り行き

なりふり （形振り）→なりふり（構わず）

なりわい （＊生業）→なりわい、仕事

なる 鳴る　腕が鳴る、高鳴る、鳴り物入り、鳴りを静める・潜める、鳴子

なる
＝成る〔仕上がる、できる〕なせば成る、成れの果て、ローマ

は一日にして成らず
＝(生・る)→なる〔実を結ぶ〕鈴なり、実がなる
＝(為・る)→なる〔ある状態から別の状態に変わる〕雨が雪になる、一緒になる、大きくなる、公になる、気になる、社会人になる
なるほど ㊀(成る程)→なるほど
なれあい (馴△れ合い)→なれ合い
なれそめ (馴△れ初め)→なれ初め・なれそめ
なれなれしい (馴△々しい、狎△々しい、慣れ慣れしい)→なれなれしい
なれる
＝慣れる〔習慣になる、習熟する、なじむ〕聞き慣れない、住み慣れた、使い慣れた筆、慣れっこ、場慣れした、見慣れる、世慣れる、察生活に慣れる
＝(馴△れる)→なれる〔なつく〕園児が新しい先生になれる、飼い主になれた犬
＝(狎△れる)→なれる〔親しくなりすぎて礼を欠く〕なれていい気になる
＝(熟・れる)→なれる〔熟成〕なれずし、ぬかみそがなれる
なわしろ 苗代〔「なえしろ」とも〕
なんぎ 難儀 急坂に難儀する
なんぎょうくぎょう (難業苦業)→難行苦行
なんこう (難行)→難航
なんこう (軟荷△)→軟こう
なんど 納戸
なんなく ㊀難なく
なんばーわん ナンバーワン〔2以下は洋数字〕➡数字の書き方(544ページ)
なんびょう 難病〔注〕安易に使わない。➡病名・身体諸器官(612ページ)
なんぴょうよう (南氷洋)→南極海〔南氷洋は旧称〕

【に】

に… 荷扱い(所)、荷送り(人)、荷降ろし・荷下ろし、荷造り、荷積み、荷厄介
にあげ
＝荷揚げ〔一般用語〕船の荷揚げ
＝荷上げ〔登山〕山小屋に荷上げ

にいさん ㊞兄さん
にいぼん 新盆
にうけ 荷受け〔業務、仕事〕荷受機関、荷受業者、荷受代金・手形・品目、荷受人 ☞経済複合語(102ページ)
にえる 煮える 煮え湯〔を飲まされる〕
におい・におう ＝匂〔よいにおい〕香ばしい匂い、匂い袋、花の匂い ＝臭〔不快なにおい〕嫌な臭い、ガスの臭い、生ごみが臭う〔注〕ほのめかす意味や、良い香りか不快な臭いか判別できない場合、「臭＝くさ＝いにおい」など漢字では紛らわしい場合は平仮名書き。
におう 仁王 仁王立ち
におわす 〔匂わす〕→におわす 犯行をにおわす
にがい 苦い 苦手、苦々しい、苦虫、苦笑い、ほろ苦い
にがす 逃がす 取り逃がす〔注〕「のがす」は「逃す」。
にがみ ＝苦み〔表情〕苦み走った顔 ＝苦味〔味覚〕ゴーヤーの苦味
にがり 〔＊苦塩、＊苦汁〕→にがり〔豆腐の凝固剤〕
にがる 苦る 苦り切る
にきさく 二期作〔同じ田畑で1年に同じ作物を2回収穫する〕 ☞「にもうさく」の項
にぎやか 〔賑やか〕→にぎやか
にぎる 握る すしを握る、握り拳・こぶし、握り締める、握りつぶす〔注〕「おにぎり、にぎりずし、にぎり飯」は平仮名書き。
にく 肉 肉親、肉離れ、肉筆
にくい 憎い 憎しみ、憎々しげに、憎らしい
…にくい 〔難い〕→にくい〔接尾語〕歩きにくい、書きにくい字、話しにくい事柄
にくはく 〔肉迫〕→㊞肉薄
にくむ 憎む 憎まれ口、憎まれ役、憎み合う
にげる 逃げる 逃げ足、逃げ脚〔競馬〕、逃げうせる、逃げ切る、逃げ口上、逃げ腰、逃げ延びる、逃げ水、逃げ道
にごす 濁す お茶を濁す
にごる 濁る 濁り酒、濁り水
にじ 虹 虹色、虹の懸け橋、ニジマス〔動物〕
にしき 錦 故郷に〔へ〕錦を飾る、

錦絵、ニシキゴイ〔動物〕

にしきのみはた ㊒錦の御旗

にじむ (滲む△)→にじむ　にじみ出る

にじる (躙る△)→にじる　にじり口、にじり寄る、踏みにじる

にしん (鰊△)→ニシン〔動物〕身欠きにしん

にせ (贋△)→偽　偽金、偽札、偽物、偽者

にせる　似せる　似せ絵

にそくさんもん　(二足三文)→二束三文

にちえい　日影〔建築基準法でいう日の当たらない部分〕日影基準、日影図

にちじょうさはんじ　日常茶飯事

にっけい　(肉桂△)→ニッケイ〔植物〕、にっけい〔香辛料、シナモン、にっき〕

にっしょく　(日蝕△)→日食

にっしんげっぽ　(日新月歩▲)→日進月歩

にっちもさっちも　(二進も三進も)→にっちもさっちも(いかない)

になう　(荷なう)→担う　重責を担う、担い手

にのまい
＝二の舞〔舞楽〕
＝二の舞い〔他人と同じ失敗を犯す〕二の舞いを演じる

にぶい　鈍い　鈍る

にほんだて
＝2本立て〔映画など〕
＝2本建て〔価格〕

にもうさく　二毛作〔同じ田畑で1年に2種の作物を収穫する〕㊟「にきさく」の項

にゅうぎょ　(入魚▲)→入漁(料)

にゅうしょく　(入殖▲)→入植

にゅうせき　入籍〔戸籍に籍を入れること〕
〔注〕男女とも初婚だと多くは新たに戸籍を作るので、なるべく「婚姻届を提出、結婚した」とする。

にょうぼう　女房

にらむ　(睨△)→にらむ　にらみ合い、にらみが利く、にらみ付ける、にらめっこ

にる　似る　似たり寄ったり

にる　煮る　煮しめる、煮炊き、煮付け、煮っ転がし

にわか　(俄△)→にわか　にわか雨、にわか仕込み

にわかきょうげん（俄狂言、仁輪加狂言）→にわか狂言
にわとり ニワトリ・鶏〔動物〕
にん 忍 忍従、忍の一字
にんぎょう 人形 人形浄瑠璃、人形を遣う〔人形浄瑠璃〕、人形を使う〔一般用語〕
にんしょう 認証 電子認証
にんじょう ㊟刃傷
にんじん（人参、人蔘）→ニンジン〔植物〕朝鮮ニンジン
にんぷ ⊗（人夫）→作業員
にんよう ＝任用〔任命し用いる〕要職に任用 ＝認容〔認め受け入れる〕認容額

【ぬ】

ぬう 縫う 雑踏を縫って進む、縫いぐるみ、縫い代＝しろ、縫い付ける、縫い針、縫い目
ぬか（糠）→ぬか 小ぬか雨、ぬか漬け、ぬかみそ、ぬか喜び
ぬかす・ぬかる 抜かす・抜かる 抜かり（がない）
ぬかずく（額ずく）→ぬかずく
ぬきうち（抜き討ち）→抜き打ち〔射撃は抜き撃ち〕
ぬきんでる（抽んでる、擢んでる）→抜きんでる〔抜きんじるは誤り〕
ぬく・ぬける 抜く・抜ける 抜き足差し足、抜き書き、抜き差し、抜き取り調査、抜け駆け、抜け替わる、抜け出す、抜け道、抜け目ない
ぬくい（温い）→ぬくい
ぬぐう 拭う 拭い去る、不安を拭い切れない
ぬくぬく ㊟（温々）→ぬくぬく
ぬけがら（脱け殻）→抜け殻
ぬけぬけ ㊟（抜け抜け）→ぬけぬけ
ぬすっと（＊盗人）→㊟盗っ人
ぬすびと 盗人
ぬすむ 盗む 盗み聞き
…ぬり ＝塗り〔一般用語〕漆塗り、上塗り ＝**塗**〔地名などを冠した工芸品〕春慶塗、輪島塗
ぬる 塗る 塗り絵、塗り替え、塗り薬、塗り込める、塗り箸、

塗り盆、塗り物、塗物師

ぬるい（温い、微温い）→ぬるい　生ぬるい、ぬるま湯、ぬるめ

ぬれぎぬ（濡れ衣）→ぬれぎぬ

ぬれてであわ（濡れ手で粟・泡）→ぬれ手で粟・あわ

ぬれる（濡れる）→ぬれる　ずぶぬれ、ぬれ縁、ぬれそぼつ、ぬれねずみ、ぬれ羽色

【ね】

ね　音　音色、音を上げる、初音、本音、虫の音、弱音

ね　寝　雑魚寝、添い寝、泣き寝入り、寝息、寝入りばな、寝返り、寝癖、寝首をかく、寝心地、寝込む、寝覚め、寝相、寝そべる、寝たきり、寝たばこ、寝違える、寝付き、寝冷え、寝坊、寝ぼける、寝物語

ね　根　息の根、舌の根、性根、付け根、根下ろし、根固め、根こそぎ、根挿し、根差す、根締め、根城、根絶やし、根付け〔細工〕、根強い、根深い、根回し、根も葉もない

ね　値　値上がり、値上げ幅、値動き、値打ち、値がさ、値切る、値崩れ、値下がり、値下げ交渉、値引き、値踏み

…ね　呼び値、寄り値、売値、**卸値**、**終値**、**買値**、**小売値**、**建値**、**始値**

ねあせ（盗汗）→寝汗

ねえさん　㊞姉さん

ねがい　＝願い〔一般用語〕平和の願い　＝願〔公式〕捜索願、退職願

ねがう　願う　願い事、願い下げ、願い出る、願わしい

ねがわくは　㊞願わくは〔願わくばとも〕

ねぎ（葱）→ネギ〔植物〕ねぎま鍋

ねぎ（禰宜）→神職、禰宜〔神職の階級〕

ねぎらう（労う）→ねぎらう　ねぎらいの言葉

ねぐら（塒、寝ぐら）→ねぐら

ねこ　ネコ・猫〔動物〕猫かわいがり、猫舌、猫背、猫なで声、猫ばば、ネコヤナギ・猫柳〔植物〕、野良猫、招き猫

ねじ（螺子、捩子）→ねじ　ね

じ回し

ねじる (捩る△、捻る)→ねじる　ねじ上げる、ねじ切る、ねじ込む、ねじ伏せる、ねじ曲げる、ねじり鉢巻き、ねじれる

ねずみ (鼠△)→ネズミ〔動物〕　ねずみ色、ねずみ算、ねずみ捕り器、ねずみ花火、袋のねずみ

ねたむ (妬む、嫉む)→ねたむ

ねつ 熱　熱気、熱血漢、熱冷まし、熱っぽい、熱闘、熱波、熱風、熱弁、熱涙、熱烈

ねっから 副根っから

ねづく 根付く

ねっこ (根っ子)→根っこ　首根っこ

ねつぞう (捏造△)→作り事、でっち上げ、捏造(ねつぞう)

ねどし (子年)→ね年・子年、ねずみ年

ねばねば (粘々)→ねばねば

ねばる 粘る　粘つく、粘り、粘り気、粘り腰、粘り着く、粘り強い、粘り抜く

ねはん (涅槃△)→涅槃(ねはん)　涅槃会(ねはんえ)

ねほりはほり 副根掘り葉掘り

ねまき (寝巻き)→㊙寝間着

ねむい・ねむる 眠い・眠る　居眠り、眠気、眠たい、眠らす、眠り薬、眠り込む

ねもと (根許、根本)→㊙根元

ねらい・ねらう 狙い・狙う　空き巣狙い、この論文の狙い、付け狙う、狙いが狂う、狙い澄ます、狙いどころ、狙い目

ねらいうち ＝狙い打ち〔主に野球に〕カーブを狙い打ち　＝狙い撃ち〔主に射撃、比喩的にも〕銃で狙い撃ち、弱い者を狙い撃ちする

ねる 練る　練り歩く、練り製品、練り直す、練り物

ねわざ ＝寝技〔柔道など〕

ねんがらねんじゅう (年柄△年中)→年がら年中

ねんき ＝年季〔雇い人を使う約束の年限〕年季明け、年季の入った職人技、年季奉公　＝年期〔1年を単位とする期間〕年期小作

ねんぐ 年貢　年貢の納め時

ねんごろ 懇ろ

ねんざ 捻挫
ねんしゅつ 捻出
ねんしょう (年小)→年少
ねんど 年度 年度替わり、本年度、来年度、前年度、昨年度
☞日時の書き方(528ページ)
ねんぱい (年輩)→㊥年配
ねんぽう 年俸
ねんれい (年令)→年齢

【の】

の 野 野ざらし、野宿、野垂れ死に、野放し
のういっけつ (脳溢血)→㊥脳出血
のうがき 能書き
のうぎぐ (農器具)→農機具
のうこうそく 脳梗塞
のうしょう (脳漿)→脳みそ、脳漿
のうしんとう (脳振盪、脳震盪)→脳振とう
のうせいしょうにまひ (脳性小児麻痺)→脳性まひ〔病名〕
〔注〕小児まひは「ポリオ、ポリオ(小児まひ)」とする。
のうてんき (脳天気)→能天気
〔能転気とも。ノーテンキ、ノー天気とはしない〕
のうまくえん (脳膜炎)→髄膜炎〔病名〕
のうり (脳裡)→脳裏
のがす 逃す
〔注〕「にがす」は「逃がす」。
のがれる 逃れる 言い逃れ、責任逃れ、難を逃れる
のき 軒 軒先、軒下、軒並み、軒端、軒を連ねる
のく (退く)→のく 遠のく、飛びのく、跳ねのく
〔注〕「㊥立ち退く」は漢字書き。
のけぞる (仰け反る)→のけ反る
のけもの (除け者)→のけ者
のける (退ける、除ける)→のける 押しのける、はねのける、払いのける
のこぎり (鋸)→のこぎり
のせる 乗せる・載せる ☞「のる・のせる」の項
のぞく 除く 取り除く
のぞく (覗く、覘く)→のぞく のぞき見
のぞむ ‖望む〔希望〕多くを望まない、心から望む、成功を望む、高

望み、望みがない、望みをかなえる
〔遠くに眺める〕海を望む、対岸を望む、遠く富士を望む
＝臨む〔臨場、臨機〕機に臨み変に応じて、厳格な態度で部下に臨む、試合に臨む
〔…に面する〕海に臨む宿

のだて　（野点）→野だて〔茶道〕

のち　後〔先・前の対語〕昼り後晴れ、後添い、後々・のちのち、後の世、㊞後ほど

のっとる　（則る、法る）→のっとる　法にのっとる

のっとる　乗っ取る

のっぴき　（退っ引き）→のっぴき（ならない）

のど　（咽）→喉　喉が痛い、喉から手が出る、喉笛、喉仏、喉元過ぎれば、喉輪〔相撲〕
〔注〕「のど自慢」など慣用によって平仮名書きも。

のどか　（長閑）→のどか

ののしる　（罵る）→ののしる

のばす・のびる・のべる
＝伸〔縮の対語、そのものが長くなる〕髪を伸ばす、草木が伸びる、ゴムひもが伸びる、写真を引き伸ばす、身長が伸びる、伸び上がる、伸び縮み、日脚が伸びる
〔増す、良くなる〕学力が伸びる、記録を伸ばす、才能を伸ばす、GDP・平均寿命の伸び率、勢力が伸びる、伸び盛り、伸び悩み、販路を伸ばす、若手が伸びる
〔まっすぐにする〕腰を伸ばす、背伸び、手足を伸ばす、伸びをする、羽を伸ばす
〔差し出す、届く〕救いの手を差し伸べる、捜査の手が伸びる
〔本来の弾力を失う〕そばが伸びる
＝延〔つながって長くなる、先まで続く〕生き延びる、落ち延びる、航空路が延びる、(平均)寿命が延びる、線路を延ばす、地下鉄が郊外に延びる、遠くまで足を延ばす、逃げ延びる、延べざお、梅雨前線が延びる
〔所定の時刻・期限より遅くなる〕開会を延ばす、会期が延びる、期日が延びる、繰り延べ、決定を延ばす、出発を延

ばす、日程が延びる、延べ払い、日延べ、間延び
〔重複も認め合計する〕延べキロ数、延べ人員、延べ日数
〔広がる〕手延べそうめん、床を延べる、延べ板、パン生地を延ばす
〔注〕「絵の具をのばす、しわがのびる、疲れてのびちゃった、よくのびるクリーム」など両表記あるもの、紛らわしいものは平仮名書き。

のびのび
＝伸び伸び〔抑えるものがなく自由に〕伸び伸び育つ
＝延び延び〔期日が遅れる〕返事が延び延びになる

のべ　野辺　野辺の送り

のほうず　(野放途、野方図)→野放図

のぼせる
＝(逆上せる)→のぼせる〔上気する、夢中になる〕ゴルフにのぼせる、スターになってのぼせ上がる、長湯でのぼせる
＝上せる〔取り上げる、のせる〕食膳に上せる、話題に上せる

のぼり　(幟)△→のぼり　こいのぼり

のぼる
＝上る〔下るの対語、上方に向かう〕頭に血が上る、うなぎ上り、屋上に上る、階段を上る、川を上る、煙が立ち上る、坂を上る、社長に上り詰める、出世コースを上る、水銀柱が上る、攻め上る、上りアユ、上り口〔階段〕、上り坂、上り調子、上り列車、都に上る、屋根に上る
〔取り上げる、のせる〕神戸牛が食卓に上る、日程に上る、話題に上る
〔達する〕損害が1億円に上る
＝昇る〔一気に高くあがる、降の対語〕エレベーターで昇る、神殿に昇る〔昇殿〕、天に昇る、昇り竜、日が昇る
＝登る〔よじのぼる〕演壇に登る、木に登る、コイの滝登り、沢登り、山頂に登り詰める、天守閣に登る、登り窯、登り口〔山〕、マウンドに登る、山に登る

のみ　(蚤)△→ノミ〔動物〕のみの市

のむ
＝飲む〔主に液体〕お茶・酒・水

を飲む、がぶ飲み、薬・錠剤を飲む、酒飲み、煮え湯を飲まされる、飲み明かす、飲み食い、飲み干す、飲み物、飲み屋、飲んだくれ、湯飲み

＝(呑む)→のむ〔主に気体・固形物、抑える、受け入れる、隠し持つ〕あくび・息をのむ、うのみにする、恨みをのむ、固唾をのむ、声をのむ、こつをのみ込む、滑濁併せのむ、濁流にのまれる、たばこをのむ、敵をのむ、涙をのむ、波にのまれる、のみ込み〔嚥下、理解〕、万事のみ込んでいる、雰囲気にのまれる、蛇が卵をのみ込む、丸のみ、要求をのむ

のやき 野焼き〔早春に野の枯れ草を焼くこと〕

のら ㊐野良 野良犬・猫、野良着、野良仕事

のり (海苔)→ノリ〔海藻〕のり巻き、ノリ養殖、焼きのり

のり (糊)→のり のりしろ

のりかえ (乗り替え)→乗り換え 乗換駅、乗換券

のりと ㊐祝詞

のりめん (法面)→のり面 道路ののり面

のる・のせる

＝乗〔一般用語。主に行為・動作〕〔(乗り物に)のる〕客を船に乗せる、乗っ取り犯人、乗り合わす、乗り入れる、乗り移る、乗り降り、乗り換える、乗り掛かった船、乗り切る、乗り組む、乗り越す、乗り込む、乗り出す、乗りづめ、乗り手、乗り回す、乗り物、飛行機に乗る、乗合自動車、乗合船、乗組員

〔注〕「乗り合いタクシー・バス」など乗り物が仮名書きの場合は送り仮名が必要。

〔運ばれる〕風に乗る、電波に乗せる

〔上に乗せられる、達する〕(猫を)膝に乗せる、株価が2万円の大台に乗る

〔応じる〕誘いに乗る、相談に乗る、一口乗る

〔だます〕口車に乗る、計略に乗せる

〔勢いづく〕興に乗る、図に乗る、乗り気

＝載〔掲載、積載〕網棚に荷物を

載せる、家畜を列車に載せて運ぶ、車に荷物を載せる、新聞に広告を載せる、新聞に載った事件、俎上に載せる、まな板に載せる

〔注〕「料理を皿にのせる」など使い分けに迷う場合は平仮名書き。

のるかそるか（伸るか反るか、乗るかそるか）→のるかそるか

のれん（暖簾）→のれん

のろい（鈍い）→のろい　動作がのろい

のろう（詛う）→呪う

のろし（狼火、狼煙、烽火）→のろし

のんき（呑気、暢気、暖気）→のんき

【は】

は　把　10把、十把ひとからげ

は　刃　㊙替え刃、刃渡り、もろ刃の剣

は　羽　羽アリ、羽織い、羽二重

は　歯　くしの歯、差し歯、歯がゆい、歯茎、歯触り、虫歯

は　端　口の端、木っ端みじん、下っ端、年端、端株、端役

ばあい　場合

ばあさん（婆さん）→ばあさん

はい　灰　灰落とし、灰神楽

はい　胚　胚性幹細胞

はいえき
＝排液〔排出された液〕
＝廃液〔役に立たなくなって捨てられる液〕工場廃液

ばいえん（煤煙）→ばい煙

はいか（陛下）→配下

はいが　胚芽

はいかい　俳諧

はいかい（徘徊）→うろつく、ぶらつく、徘徊

はいき　排気〔中の気体を取り除く〕排気口・坑、排気弁

はいきがす（排気ガス）→排ガス、排出ガス

〔注〕石油精製などでは「廃ガス」。

はいきょ（廃墟）→廃虚

はいぎょう　廃業

ばいきん（黴菌）→病（原）菌、細菌、ばい菌

はいぐう（配遇）→配偶（者）

はいけつしょう　敗血症〔病名〕

はいこう
＝廃坑〔廃止された坑道〕

＝廃鉱〔閉鎖された鉱山・炭鉱〕

はいざん

＝敗残〔戦に負けて生き残る〕人生の敗残者、敗残兵

＝廃残〔すたれそこなわれる、おちぶれる〕廃残の古代都市

ばいしゃく（媒妁）→媒酌

はいしゅつ

＝排出〔外へ押し出す〕汚水を排出

＝輩出〔人材が続々世に出る〕多くのプロ選手を輩出した学校

ばいしゅん

＝売春　売春防止法、買売春

＝買春　買春ツアー　↪「かいしゅん」の項

はいじょ

＝排除〔取り除く〕障害物を排除

＝廃除〔相続権を失わせる。民法〕推定相続人の廃除

ばいしん（倍審）→陪審（員）

ばいじん（煤塵、煤煙）→ばいじん

はいすい

＝配水〔水道などで水を配る〕配水管、配水工事、配水する

＝排水〔排出された水、水を排出する〕温排水、生活排水、排水基準、排水権、排水溝・口・坑、排水する、排水トン、排水ポンプ

＝廃水〔使用後の汚れた水〕廃水処理装置

〔注〕「工場排水・廃水」などは内容に応じて使い分ける。

はいする

＝排する〔しりぞける〕万難を排する

＝廃する〔廃止する〕虚礼を廃する

＝配する〔配置する〕要所要所に人を配する

〔注〕いずれも文語的表現。なるべく「排除、廃止、配置」などに言い換える。

はいせつ（排泄）→排出、排せつ

はいぜん　配膳

はいとく（悖徳）→背徳

はいねつ

＝排熱〔熱を外に出す、放出された熱〕エアコンの排熱

＝廃熱〔副次的に発生した熱、余熱〕ごみ処理施設の廃熱

〔注〕全て「排熱」とする慣用が広がっている。家庭用燃料電池や火力発電所などは「排熱利用」でよい。

はいふ　(配付)→㊒配布
はいぶつきしゃく　(排仏毀釈)→廃仏毀釈(排仏棄釈とも)
はいり　=(悖理)→背理〔道理に背く〕常識に背理した説
はいり　=背離〔背き離れる〕人心が背離する、本音と建前が背離する
はいれつ　(排列)→㊒配列
はうた　端唄
はえ　(蠅)→ハエ〔動物〕ハエたたき
はえ・はえる　=栄〔繁栄や栄光を表す〕栄えある勝利、見事な出来栄え、見栄えがする
はえ　=映〔主に光線関係や美的な調和を表す〕朝日に映える、代わり映えがしない、紅葉が映える、夕映え、和服が映える人
はえなわ　(延縄)→はえ縄
はえる　生える　生え替わる、生え際、生えそろう、生え抜き、芽生える
はおり　羽織　陣羽織、羽織はかま
はおる　羽織る　コートを羽織る
ばか　(馬鹿、莫迦)→ばか　火事場のばか力、ばかげた、ばか正直、ばかにする、ばかばかしい、ばか笑い
〔注〕「ばかでもチョンでも、ばかの一つ覚え」などの表現は使わない。
はがいじめ　羽交い締め
はがき　(端書、葉書)→はがき
はがす　剝がす　剝がれる
ばかす　化かす　化かし合い
はかせ　㊒博士
はがた　=歯形〔歯でかんだあと〕歯形が残る
はがた　=歯型〔歯並びを写し取ったもの〕歯型を取る
はかどる　(捗る)→はかどる
はかない　(儚い、果敢ない)→はかない
はがね　鋼　玉鋼
はかま　(袴)→はかま
はかまいり　(墓詣り)→墓参り
はかもり　墓守
はからう　計らう　取り計らう、計らい、見計らう
はからずも　㊒図らずも
はかり　(秤)→はかり　はかりに掛ける
はかりごと　(謀)→はかりごと

はかる
＝計る〔計算、計画〕国の将来を計る、時間・タイミングを計る、計り知れない、まんまと計られる
＝図る〔意図、企図〕解決を図る、合理化を図る、詐欺を図る、自殺を図る、将来の繁栄を図る、便宜を図る、身の安全を図る
＝量る〔計量、推量〕推し量る、体重・目方を量る、量り売り、升で量る、容積を量る
＝測る〔物事の広狭・深浅・長短・遠近・高低・大小などをはかる、測定、測量、推測〕距離を測る、血圧・身長・体温を測る、真意を測る、心底を測りかねる、人物の才能を測る、水深・速度を測る、政治動向を測る、度合いを測る、標高を測る、面積を測る
〔注〕身長と体重をはかる場合は「測る」。
＝謀る〔謀議、謀略〕悪事を謀る、暗殺を謀る
＝諮る〔たずね相談する〕審議会に諮る

はき　(破毀)→破棄

はきもの　履物

はぎれ　歯切れ(が悪い)

はぎれ　端切れ〔半端な布切れ〕

はく(箔)△→箔　アルミ箔、金箔、箔が付く

はく　吐く　吐き気、吐き捨てる(ように言う)、吐き出す、吐き散らす

はく　掃く　すす掃き、掃き溜め、落ち葉を掃き捨てる、掃きだめ

はく
＝履く〔足に着ける〕上履き、靴・スリッパを履く、げた履き、下履き、スキーを履く、(靴・意味を)履き違える
＝(穿く△)→はく〔下半身に着ける〕靴下・スカート・ズボン・はかまをはく
＝(佩く△)→はく〔腰に着ける〕刀・剣・サーベルをはく

はぐ
＝剝ぐ〔むきとる〕追い剝ぎ、剝ぎ取る
＝(接ぐ)→はぐ〔つぎ合わせる〕継ぎはぎ、はぎ合わす

はくあ　(白堊△)→白亜

はぐくむ　育む

はくさい ハクサイ・白菜〔植物〕
ばくしん (驀△進)→突進、猛進、まっしぐら
はくせい 剝製 虎の剝製
ばくぜん 漠然
ばくだい (莫△大)→膨大、多大、莫大(ばくだい)
はくだつ 剝奪 メダルを剝奪
はくだつ 剝脱 ペンキが剝脱
〔注〕なるべく「剝げ落ちる」などとする。
ばくち (博打、博奕△)→ばくち
はくちゅう 伯仲 実力伯仲
はくちょう ハクチョウ・白鳥〔動物〕
ばくとして 漠として
はくないしょう (白内症▲)→白内障〔病名〕
はくはん 白斑
はくび 白眉
〔注〕なるべく「出色、最高、随一、傑出した」などとする。
ばくふ (瀑△布)→滝
はくらく 剝落
〔注〕なるべく「剝げる、剝げ落ちる」などとする。
はくらく 伯楽 名伯楽
はくり 剝離 網膜剝離〔病名〕
ばくろ (曝△露)→暴露
ばくろう (*伯・楽、馬喰△)→博労、馬・牛の仲買人
はくろうびょう ⊗(白蠟△病)→振動障害〔病名〕
はけ (刷毛)→はけ、ブラシ
はげしい (劇・しい、烈・しい)→激しい
はげむ 励む 励ます
はける (捌△ける)→はける 在庫がはける、水はけ
はげる =剝げる〔取れて離れる〕のりが剝げる、メッキが剝げる =(禿△げる)→はげる〔抜けて落ちる〕はげ山
ばける 化ける 化け猫、化けの皮、化け物
はこ (函△)→箱 投票箱、跳び箱、箱入り娘、箱書き、箱詰め(作業)、箱庭、箱詰(製品)
はこう (跛△行)→ちぐはぐ、不均衡(状態)
はごたえ 歯応え
はこぶね (箱船、方・舟)→箱舟 ノアの箱舟
はざかいき 端境期
はざま (狭・間)→はざま
はさみ (鋏△)→はさみ〔器具〕

はさみうち (挟み打ち)→挟み撃ち

はさむ 挟む　板挟みになる、疑問を挟む、言葉を差し挟む、小耳に挟む、洗濯挟み、挟み将棋、歯に挟まる

はし 端　片っ端、端書き、端くれ、端っこ、端々、両端

はし 橋　橋桁、橋詰め、橋渡し

はし 箸　菜箸、塗り箸、箸置き、箸にも棒にも掛からない、箸休め、割り箸

はじ 恥　生き恥、恥さらし、恥知らず、恥をかく

はじき (土師器)→土師器(はじ)

はじく (弾く)→はじく　はじき飛ばす、笑い声がはじける

はしご (梯子△)→はしご　縄ばしご、はしごを外される

はしたがね (端金)→はした金

はじまる・はじめる 始まる・始める　怒っても始まらない、式が始まる、仕事を始める、…の始まり

はじめ ＝始め〔主に動詞、または物事に関連する名詞に。起源、開始〕国・人類の始め、稽古始め、事始め、仕事始め、㊥手始め、年始め〔正月〕、始めと終わり、歌会始、講義始

＝初め〔主に時間に関連する名詞に。最初〕秋の初め、今年の初め、月初め、初めからやり直す、初めに思っていたこと、初めの日、初めまして〔あいさつ〕、物事の初め

…(を)はじめ (始め)→(を)はじめ〔主たるもの〕首相をはじめ10人出席

はじめて ㊥初めて

はじめね 始値

はしゅ (播種△)→㊥種まき　〔注〕医学用語では「播種(はしゅ)」を使う。

はじらう (羞じらう)→恥じらう

はしり (走り)→はしり〔初物、物事の初めの場合〕梅雨のはしり、マツタケのはしり

はしる 走る　走り書き、走り高・幅跳び、走り使い

はじる (羞じる、愧じる△)→恥じる　恥じ入る

はす (斜)→はす　はすに構える、はす向かい

はす (蓮△)→ハス〔植物〕ハスの花、はすっぱな口の利き方

はず (筈△)→はず　…するはず、そこにあるはず、手はず、はず押し

はずかしい 恥ずかしい

はずかしめる 辱める

はずす 外す　席を外す

はずみ 弾み　弾みがつく、ボールの弾みが悪い、ものの弾み

はずむ 弾む　息が弾む、祝儀を弾む、話が弾む

はずれる 外れる　狙い・ピント・予想が外れる、町外れ

ばせい 罵声

はせる (馳△せる)→はせる　思いをはせる、はせ参じる

はた 旗　旗色、旗頭、旗ざお、旗印、旗振り役、旗本

はた ‖端〔へり、ふち〕井戸端、道端

‖(側、傍)→はた〔かたわら〕はたから見る、はた目、はた迷惑

はた・はたけ (畠△)→畑　畑違い、畑作

はだ (膚)→肌　岩肌、学者肌、素肌、肌合い、肌触り、一肌脱ぐ、柔肌

はたあげ (旗上げ、旗挙げ)→㊙旗揚げ

はたおり 機織り

はだか 裸　裸踊り、裸電球、裸の付き合い、裸祭り

はだし (裸足)→はだし

はたして ㊐果たして

はたす 果たす　大役を果たす、果たし合い、果たし状

はたち ㊒二十・二十歳〔通常は20歳と昏く〕20歳の誕生日

ばたや ⊗(バタ屋)→再生資源回収業

はたらく 働く　知恵を働かせる、働き掛け、働き盛り

はたん 破綻

はち ハチ・蜂〔動物〕スズメバチ、泣き面に蜂、働き蜂、蜂の子、蜂の巣

はち… 鉢合わせ、鉢植え、鉢巻き、鉢物

ばち 罰　罰当たり

はちみつ 蜂蜜

はちめんろっぴ (八面六臂△)→縦横無尽、八面六臂

はちゅうるい (爬△虫類)→爬虫類

はつ 初　初午、初恋、初仕事、初競り、初舞台、初参り

はつえんとう
＝発炎筒〔煙と火を噴き出すもの。車・列車などの緊急用〕
＝発煙筒〔煙だけを出すもの。消防演習、農家の霜よけ用〕

はつか ㊐二十日〔通常は20日と書く〕

はっか ハッカ・薄荷〔植物〕

はつかねずみ (二十日鼠△)→ハツカネズミ〔動物〕

ばつがわるい (罰△が悪い)→ばつが悪い

ばっこ (跋扈△△)→横行、はびこる、のさばる 跳梁跋扈(ちょうりょうばっこ)

はっこう (薄倖△)→薄幸

はっこう (醗酵)→発酵

はっしと ㊐(発止と)→はっしと はっしと打つ

はっしん 発疹〔「ほっしん」とも〕

ばっすい (抜萃△)→抜粋

ばってき (抜擢)→(特に)登用、(特に)起用、抜てき

はっと 法度 ご法度

はっとうしん (八等身)→8頭身

はっぱ 発破 岩盤に発破を掛ける、部下にハッパを掛ける

はっぴ (半・被)→法被

はっぷ
＝発布〔法令などを世間に広く知らせる〕憲法を発布する
＝発付〔刑事訴訟法〕逮捕状発付

はっぷん (発憤)→発奮

はっぽう
＝発砲〔銃・砲弾などの発射〕発砲事件
＝発泡〔泡が発生する〕発泡剤、発泡酒、発泡スチロール

はつもうで 初詣

はつらつ (溌△剌、潑△△溂)→はつらつ、活発

はで 派手 派手好み、派手やか

ばてい ⊗(馬丁)→厩務員(きゅうむいん)、馬取扱人〔馬術〕

ばていけい (馬蹄△形)→U字形、馬てい形

はてる 果てる 疲れ果てる、成れの果て、果てしない

はてんこう (破天候▲)→破天荒

はと (鳩△)→ハト〔動物〕伝書バト、ハトに豆鉄砲、ハト派、ハトムギ〔植物〕、はと時計、はと笛、はと胸

はとう (波濤△)→大波、荒波

ばとう 罵倒

はとば ㊥波止場

はな
＝鼻〔器官、比喩的にも〕鼻息が荒い、鼻歌、鼻が利く、鼻風邪、鼻が高い、鼻紙、鼻白む、鼻っぱし、鼻っ柱・鼻柱、鼻つまみ、鼻であしらう、鼻水、鼻持ちならない、鼻を明かす
＝(洟△)→はな〔鼻から出る液〕はな垂れ小僧、はなも引っ掛けない、はなをかむ・すする

はな
＝花〔一般用語。植物〕生け花、言わぬが花、傘の花が開く、死んで花実が咲くものか・なるものか、花形選手・役者、花盛り、花の5人衆、花の都、花祭り、花道、花を添える、花を持たせる、一花咲かせる
＝華〔主に形容表現、限定的に〕火事とけんかは江戸の華、大会の華、華々しい、華やか、華やぐ、文化の華

はな (端)→はな 初っぱな、寝入りばな、はなから疑う

はなお (花緒)→鼻緒

はなし
＝話〔話される内容、名詞〕打ち明け話、おとぎ話、立ち話、茶飲み話、作り話、…という話だ、話がまとまる、(お)話にならない〔問題にならない〕、話半分、話を伺いたい、(お)話をする、昔話
＝話し〔話す、動詞的〕お話しする〔謙譲表現〕、お話しになる〔尊敬表現〕、話し合い、話し相手、話し合う、話し掛ける、話し方、話し言葉、話し込む、話し上手、話し好き、話し手

はなしか (噺家△、咄家△)→はなし家、落語家

はなす・はなれる
＝放〔解放、放棄〕開け放す、言いっ放し、家を手放す、勝ちっ放し、突き放す、手放しで喜ぶ、鳥を放す、野放し、放し飼い、放れ馬・駒、見放す、矢は弦を放れた、やりっ放し
＝離〔距離関係、分離〕浮世離れ、駅から離れた町、競争相手を引き離す、切り離す、職を離れる、巣離れ、手離れした子、握った手を離す、肉離れ、日本人離れ、肌身離さず持つ、離れ駒〔将棋〕、離れ座敷、離れ島、離れ離れ、離れ家、人

里離れた場所、目を離す

はなつ 放つ 開け放つ、言い放つ、追い放つ、解き放つ

はなはだ ㊞甚だ・はなはだ 甚だ迷惑

はなはだしい 甚だしい

はなむけ (餞、贐、鼻向け)→はなむけ はなむけの言葉

〔注〕別れの場面以外には使わない。

誤りやすい語句(487ページ)

はなれわざ =(放れ技)→離れ業〔一般用語〕=離れ技〔体操〕

はなわ (花環)→花輪

はにわ (埴輪)→埴輪(はにわ)

はね =羽〔主につばさ、昆虫のはね。比喩的にも〕風切り羽、トンボの羽、羽が生えたように、羽を伸ばす、羽を広げる、飛行機の羽〔翼〕=羽根〔バラバラにした鳥のはね、羽根形の器具・部品〕赤い羽根〔共同募金〕、追い羽根、タービンの羽根車、羽根突き、羽根布団、風車・扇風機・竹とんぼ・プロペラ・スクリューの羽根、ヘリコプターの羽根〔回転翼〕、矢羽根

ばね (*発条)→ばね

はねる =跳ねる〔とびあがる、とびちる、はじける。主に自動詞〕油・水が跳ねる、馬が跳ねる、芝居が跳ねる、(泥が)飛び跳ねる、跳ね上がる、跳ね起きる、跳ね(つ)返り、跳ね返る、跳ね腰、跳ね橋

〔注〕「(子どもが)跳びはねる」は平仮名書き。

=(撥ねる)→はねる〔はじきとばす、かすめとる、拒絶する。主に他動詞〕上前をはねる、車が人をはねる、検査ではねられる、泥水をはね上げる、はね返す、はねのける、要求をはねつける

=(刎ねる)→はねる〔切り落とす〕首をはねる

はば (巾)→幅 口幅ったい、幅が広い、幅跳び、幅寄せする、幅を利かせる

はばかる (憚る)→はばかる

はばたく (羽搏く、羽撃く)→羽ばたく

はふ 破風 破風造り

はぶ (波布)→ハブ〔動物〕

はぶり　羽振り　羽振りがいい
はまき　葉巻
はまぐり（蛤△）→ハマグリ〔動物〕焼きはまぐり
はまや（浜矢）→破魔矢
はまる・はめる（嵌△、填）→はまる・はめる　当てはまる、はまり役、はめ込む、深みにはまる、指輪をはめる
はむかう（刃向かう）→歯向かう　親・権力に歯向かう
はめ（破目、端目）→㊙羽目　苦しい羽目に陥った、羽目板、羽目を外す
はや　㊙(早)→はや　はや3年
はやい・はやまる・はやめる　＝早〔主に時間関係〕〔時期や時刻が前である〕いち早く、遅かれ早かれ、気が早い、時期が早過ぎる、投票の出足が早い、早い者勝ち、早起き、早帰り、㊙早くも、早咲き、早死に、早場米、早引け、耳が早い〔時間が短い〕変わり身が早い、素早い、手っ取り早い、手早い、時がたつのは早い、早い話が、(ビデオなどの)早送り、早変わり、早食い、早口、早指し将棋、早回り競争、火の回りが早い、矢継ぎ早、理解が早い〔予定より前になる〕開会が早まる、期日が早まる、時刻を早める、出発を早める、早めに来る　＝速〔主に速度関係〕頭の回転が速い、車の速さ、決断が速い、呼吸が速い、下げ足を速める、台風が速度を速める、球が速い、出足が速い車、テンポが速い、流れが速くなる、速足、速い動作、船脚が速まる、ペースが速い
はやし（囃子△、囃△）→はやし　五人ばやし、はやし方、はやし言葉、祭りばやし
はやす（囃す△）→はやす　言いはやす、もてはやす
はやす　生やす　ひげを生やす
はやて（＊疾風）→はやて
はやばやと　㊙早々と
はやる（流行る）→はやる　風邪がはやる、はやり廃り
はやる（逸る）→はやる　血気にはやる、はやる心

はやわざ　(早技)→早業

はら　腹　腹いせ、腹いっぱい、腹固め、腹ごしらえ、腹ごなし、腹立ち紛れ、腹鼓、腹積もり、腹の虫が治まらない、腹ばい、腹巻き

ばら　(薔薇)△△→バラ〔植物〕ばら色の人生、バラ園

はらい…　払い下げ(品)、払い出し(人)、払い渡し

はらいこみ　払い込み(受け付け、延期、開始、指定、終了、状況、証明、済み、中止・猶予、方式・方法、予定)　払込〈金〉、払込一時金、払込開始日・終了日、払込指定銀行・機関、払込指定日・期日、払込証明書、払込予定日・額　→経済複合語(102ページ)

はらいもどし　払い戻し(決定、限度、指定、状況、請求、中止・停止、手続き、方式・方法、申し入れ、予定)　払戻〈金〉、払戻決定額、払戻指定銀行、払戻請求額・人・書、払戻申込書、払戻予定額・日・期日　→経済複合語(102ページ)

はらう
＝払う〔取り除く、支払う、心を向ける〕辺りを払う、一時払い、枝を払う、敬意を払う、すす払い、厄介払い
＝(祓う)△→はらう〔神に祈って災いを除く〕おはらい、はらい清める

〔注〕「悪魔払い、お払い箱、厄払い」は慣用で「払い」を使う。

はらす・はれる　晴らす・晴れる　疑いが晴れる、鬱憤を晴らす、恨みを晴らす、気晴らし、霧が晴れる

はらす・はれる　腫らす・腫れる　泣き腫らす、寝不足で目を腫らす、歯茎が腫れる、腫れが引く

はらわた　(腸)•→はらわた

はらん　(波瀾)△→波乱　波乱含み

はらんばんじょう　(波瀾万丈)△→波瀾万丈

はり　針　釣り針、縫い針、針のむしろ、針箱、待ち針

はり　(鍼)△→はり　はり・きゅう、はり師、はり麻酔　→「しんきゅう」の項

はり　(梁)△→はり・梁

はり…　張り合い、張り子、張

り込み、張り倒す、張り出し、張り手、張り番

ばり（罵詈）△→悪口、ののしり　罵詈雑言（ばりぞうごん）

はる

＝張る〔一般用語。取り付ける、広がる〕氷が張る、タイル張りの壁、テントを張る、根が張る、張り出す、張りのある声、張り巡らす、ふすま・障子を張る、ポスターを張る〔掲示〕

＝貼る〔特別用語。のりなどで付ける、付着〕切手を貼る、貼り薬、貼り付ける〔貼付〕、ポスターを接着剤で貼る、レッテルを貼る

〔注〕「タイルをはる」など取り付ける意味では「張る」を使う。貼付する工法を強調した「タイルの貼り方」との表現もある。「切りばり、はり替える、はり紙、はり付ける」などは、接着剤や電子データの場合は「貼」、迷う場合は「張」を使う。

はるか（遥か）△→はるか　はるかかなた、はるか昔の話

はるさめ　春雨　春雨サラダ

はるばる　㊀（遥々）△→はるばる

はれ　晴れ、晴〔表・記号の場合〕　晴れがましい、晴れ着、晴れ姿、晴れ晴れしい、晴れ間、晴れやか

ばれいしょ（馬鈴薯）△→ジャガイモ〔植物〕、バレイショ

〔注〕市況・料理記事では「ジャガ芋」も使う。

はれて　㊀晴れて　晴れて夫婦になる

はれんち　破廉恥

はん

＝判〔用紙・書籍・写真などの規格、印判〕謄け判、サービス判、三文判、四六判、新書判、太鼓判、タブロイド判、判で押したような、B5判

＝版〔印刷関係、バージョン〕オフセット版、海賊版、劇場版、決定版、豪華版、縮刷版、製版、絶版、第3版

はん…（汎）→汎（はん）〔全体にわたる〕　汎アジア主義

はんえい（反影）→反映

はんが（板画）→版画〔棟方板画は例外〕

ばんか（挽歌）△→哀悼歌、挽歌（ばんか）

ばんかい（挽回）△→㊀挽回

はんき
＝(叛△旗)→反旗〔謀反〕反旗を翻す
＝半旗〔弔意〕半旗を掲げる
はんぎ（板木）→版木
はんぎゃく（叛△逆）→反逆
ばんぐみ 番組
はんこ（判子）→はんこ
はんこう
＝反抗〔逆らう〕反抗的な態度
＝反攻〔反撃〕反攻に転じる
はんごう（飯△盒）→飯ごう
はんさ（煩瑣）→煩雑
ばんざい（万才）→万歳
はんざつ（繁雑）→㊟煩雑
ばんさん（晩餐△）→夕食 夕食会
〔注〕皇室・王室関係は「晩さん会」。
☞「ごさん」の項

ばんじきゅうす（万事窮▲す）→万事休す
ばんじゃく（磐△石）→盤石
はんじょう（繁△昌）→繁盛
はんしょく（蕃△殖）→繁殖
はんしんふずい（半身不▲髄）→半身不随
はんすう（反芻△）→㊟反すう
はんせきほうかん（藩▲籍奉還）→版籍奉還
はんせつ（半截△）→半切
ばんぜん（万▲善）→万全(の策)
ばんそうこう（絆•創膏△）→ばんそうこう
はんそく
＝反則〔一般用語〕
＝犯則〔国税犯則取締法、関税法、地方税法など〕

はんだ（半田）→㊟はんだ・ハンダ付け
はんちゅう（範△疇）→範囲、カテゴリー、部類、枠
ばんづけ 番付
はんてん 斑点
はんてん（半纏△）→はんてん
はんと（叛△徒）→反徒
はんにゃ ㊟般若
ばんねん 晩年
〔注〕一生の終わりの時期のこと。スポーツ選手の現役時代の終わりの時期の意味では使わない。
はんぱ 半端 中途半端
はんばく（反駁△）→反論
はんぷ 頒布
はんぺん（半片、半平•）→はんぺん
はんぼう（煩忙）→繁忙

はんめん
＝半面〔表面の半分、対立する片一方の面〕隠れた半面、盾の半面、半面の真理、便利な半面危険性も
＝反面〔限定用語〕反面教師、反面調査
はんもん 斑紋
はんよう（汎用）→汎用（はんよう）
ばんらい 万雷　万雷の拍手
ばんらい 万来　千客万来
はんらん 氾濫　河川の氾濫、片仮名語の氾濫
はんらん（叛乱△）→反乱
はんりょ 伴侶
はんれい
＝凡例〔書物の編集方針・使い方など〕
＝判例〔判決の実例〕
＝範例〔模範になる例〕

【ひ】

ひ
＝火〔燃える火〕火遊び、火入れ（式）、火打ち石、火攻め〔攻撃〕、火責め〔拷問〕、火付け役、火に油を注ぐ、火の消えたような、火の粉、火鉢、火膨れ、火をおこす、火を付ける〔点火、放火〕、火を吐く勢い、火を見るよりも明らか
＝灯〔ともしび〕伝統の灯を絶やさない、灯をつける〔点灯〕、灯をともす
ひ（陽）→日　日当たり、日傘、日暮れ、日焼け、日よけ
ひ…　干上がる、干潟、干から びる
ひあし
＝（陽足）→日脚〔昼間の時間など〕　日脚が伸びる
＝火脚〔火の燃え広がりのはやさ〕火脚が早い
＝日足〔市場用語〕
ひいき（贔屓△△）→ひいき
ひいては（副）（延いては、引いては）→ひいては
ひいでる　秀でる　一芸に秀でる
ひうん
＝（否運）→非運〔つきがない、不運〕
＝悲運〔悲しい運命〕
ひえしょう　冷え性〔冷え症とも〕
ひえる　冷える　底冷え、花冷

え、冷え込む、冷え冷え

びおんてき（微穏的）→微温的

ひかえ… 控え投手、控えめ、控室

ひかげ

＝（日蔭）→**日陰**〔日の当たらない場所〕涼しい日陰、日陰になる

＝**日影**〔日の光〕明るい日影、日影を浴びて

〔注〕日照権関係では「日影＝にちえい」。⇨「にちえい」の項

ひがけ 日掛け 日掛け金融

ひかり

＝**光り**〔光る、動詞的〕黒光り、底光り、光り物

＝**光**〔光線、名詞〕稲光、親の光は七光、希望の光、金の光、月・日の光

ひかる 光る 光らす、光り輝く

ひがんざくら・ひかんざくら

＝ヒガンザクラ・彼岸桜〔植物。本州中部以西に自生、春の彼岸のころ咲く〕

＝（緋寒桜）→**ヒカンザクラ**〔植物。沖縄・台湾・中国南部などに自生、2月ごろ咲く。カンヒザクラ、ヒザクラとも〕

ひき… 引き合い、引き合わせ、引き受ける、引き起こす、引き落とし、引き金、引き込み線、引きこもる、引き下げ、引き算、引き潮、引き継ぎ、㊒引き続き、引き出物、引き留める、引き取り（人）、引き払う、引き船、引き分け、引き渡し

…ひき 駆け引き、くじ引き、差し引き、網引き、手引き〔誘導〕、天引き、棒引き、置引、忌引、差引《勘定》、字引、手引〔案内書、冊子〕、友引、取引、福引、万引、水引

ひきあげる

＝**引き上げる**〔引っ張り上げる、程度を上げる〕川・線路に落ちた人を引き上げる〔救出〕、出資金を引き上げる〔増額〕、水準を引き上げる、ボートを岸に引き上げる

＝**引き揚げる**〔元の所に戻す・戻る、水から陸や上方に移す〕委員の総引き揚げ、軍隊を引き揚げる、出資金を引き揚げる〔回収〕、水死体を引き揚げる〔収容〕、沈没船を引き揚げる、花道を引き揚げる、引き

揚げ船、ベンチに引き揚げる

ひきあて 引き当て（準備、予定）引当《金》、引当準備金・積立金 ☞経済複合語（102ページ）

ひきいる 率いる

ひきうけ 引き受け（契約、限度、募集） 銀行引き受け、引受《人》、引受金融機関、引受契約額・書・期間、引受限度額、新株引受権 ☞経済複合語（102ページ）

ひきかえ 引き換え（開始、期間、条件、方法） 命・現金と引き換えに、それに引き換え、引換係、引換券・証、引換所、代金引換、代金引換郵便

ひきぎわ （退き際）→引き際〔人の進退など〕

ひきこもごも 悲喜こもごも〔注〕1人の感情・心境についての表現。複数の人では「明暗を分ける」など別の表現にする。

ひきだし （抽き出し、抽斗）→引き出し

ひきどき （退き時）→引き時 身の引き時

ひきにげ （引き逃げ、轢き逃げ）→ひき逃げ

ひきのばす ＝引き伸ばす〔回答、写真など〕＝引き延ばす〔回答、日限など〕

ひきもきらず 側引きも切らず

ひきょう （卑怯）→卑劣、ひきょう

ひきょう 秘境 秘境探検

ひぎょう 罷業〔注〕原則「ストライキ」とする。

ひきんぞく ＝卑金属〔空気中で酸化しやすい金属の総称、貴金属の対語。亜鉛、鉄、銅、鉛など〕＝非金属〔金属の性質を持たない物質の総称、金属の対語〕非金属元素

ひく ＝（曳く、牽く、惹く、退く、抽く）→引く〔一般用語〕網を引く、くじを引く、車を引く、辞書を引く、網を引く、手ぐすね引く、同情を引く、引く手あまた、引け目、人目を引く、身を引く〔注〕「風邪をひく」は平仮名書き。

＝弾く〔弾奏〕爪弾く、ピアノを弾く、弾き語り

＝(挽く)→ひく〔刃物などで〕のこぎりでひく、ひき肉
＝(碾く)→ひく〔臼ですり砕く〕臼をひく、ひき割り麦
＝(轢く)→ひく〔車輪で〕車にひかれる
ひくい 低い 低め
ひげ (髭、鬚、髯)→ひげ ひげ面、無精ひげ
ひけぎわ (退け際)→引け際〔終了間際など〕
ひけつ (秘訣)→奥の手、こつ、秘策、秘訣
ひけどき (退け時)→引け時 会社の引け時
ひけね 引値〔一般的には終値を使う〕
ひご (庇護)→保護、かばう、擁護
びこう
＝鼻孔〔鼻の穴〕
＝(鼻腔)→鼻腔〔鼻の中の空所、医学用語は鼻腔〕⇄「こうこう」
「ふくこう」の項
ひこうにん (否公認)→非公認
ひごとに (日毎に)→日ごとに
ひこぼし (彦星)→ひこ星
ひざ 膝 膝詰め談判
ひさい (非才)→非才、浅才
ひざし (陽射し)→日差し
ひさしい 久しい 久しぶり
ひさびさ 副久々
ひざまずく (跪く)→ひざまずく
ひさめ 氷雨
ひざもと (膝下)→類膝元
ひし (菱)→ヒシ〔植物〕ひし形、ひし餅
ひじ (肱、臂)→肘 肩肘張る、肘鉄砲
ひしめく (犇めく)→ひしめく
ひじゅん (批準)→批准
ひしょう (飛翔)→飛行 飛翔体
びしょう
＝微小〔極めて小さい〕微小動物
＝微少〔極めて少ない〕微少量
ひじょうに 副非常に
ひずみ (歪み)→ひずみ
ひせん (卑賤)→卑しい
ひそ (砒素)→学ヒ素 ガリウムヒ素
ひそう
＝悲壮〔悲しくも勇ましい〕悲壮感にあふれる、悲壮な覚悟・決意
＝(悲愴)→悲愴〔悲しく痛ましい〕

悲愴感が漂う、悲愴な面持ち

ひそう（皮想）→皮相

ひぞう（脾臓）→脾臓〔身体器官〕

ひそかに（密かに、秘かに）→ひそかに

ひぞっこ ㊀秘蔵っ子

ひそみにならう ひそみに倣う

〔注〕むやみに人のまねをする意味。他人に見習うことを謙遜していう。

ひそめる

＝潜める〔かくれる〕息を潜める、豪放さの中に潜む気弱さ、声を潜めて話す、鳴りを潜める、物陰に身を潜める

＝(顰める)→ひそめる〔しかめる〕眉をひそめる

ひた（直）→ひた ひた押し、ひた隠し、ひた走る、ひた向き

びたい（媚態）→こび、色っぽさ

ひたすら（只管）→ひたすら〔副詞にも〕

ひだち（日立ち）→肥立ち

ひだまり（陽溜まり）→日だまり

ひたる・ひたす 浸る・浸す 入り浸る、水浸し、喜びに浸る

ひっ…

＝引っ… 引っ掛かる、引っかく、引っ担いで、引っ越し、引っこ抜く、引っ込み思案、引っ込める、引っ提げる、引っ立てる、引っ剝がす、引っ張りだこ

＝ひっ… ひっきりなし、ひっくくる、ひっくり返る、ひっくるめて、ひったくり、ひったくる

ひつぎ（柩、棺）→ひつぎ

ひっきょう（畢竟）→結局、つまり、つまるところは

びっくり（吃驚）→びっくり

ひづけ 日付 日付変更線

びっこ ⊗(跛)→足が不自由な人・状態 差別語、不快用語（490ページ）

ひっし

＝必死〔全力を尽くす〕必死に逃げる

＝必至〔必ずそうなる〕スト突入は必至、総辞職は必至だ

ひつじ ヒツジ・羊〔動物〕羊飼い

ひつじどし（未年）→ひつじ年・未年

ひっしゅうかもく（必修課目）→必修科目

ひっす 必須 必須アミノ酸
ひっせき (筆蹟△)→筆跡
ひってき (匹適△)→匹敵
ひっぱく (逼迫△)→窮迫、切迫、行き詰まり、逼迫(ひっぱく)
ひづめ (蹄△)→ひづめ
びていこつ (尾骶骨△)→㊒尾骨
ひと
＝人〔一般用語〕人当たり、人垣、人聞き、人混み、人さし指、人騒がせ、人擦れ、人だかり、人だま、人付き合い、人っ子一人いない、人となり、人泣かせ、人懐こい、人払い、人減らし、人任せ、人見知り
＝ヒト〔種としての人類〕ヒトクローン、ヒトゲノム
ひと…
＝一〔主に漢字に続く場合〕一汗、一荒れ、一打ち、一思い、一声、一言、一塩(魚・野菜に塩をふりかける)、一筋、一続き、一(っ)飛び、一握り、一寝入り、一眠り、一昔、一休み
〔注〕文脈によって「ひと汗、ひと思い、ひと声、ひと言、ひと昔」などと平仮名書きを活用。
＝ひと〔主に平仮名に続く場合、副詞〕ひとくさり、ひとしきり、ひとたび、ひとたまり、ひとつまみ、ひととせ、ひとまとめ、ひともうけ
＝1〔数を示す場合〕1株当たり、1桁の成長率、1こま漫画
☞数字の書き方(544ページ)
ひどい (非道い、酷い)→ひどい
ひといきれ (人熱れ)→人いきれ
ひとえ 一重 紙一重の差、一重まぶた
ひとえ (単、＊単衣)→ひとえ
〔十二単は例外〕
ひとえに ㊀(偏に)→ひとえに
ひとおもいに ㊀一思いに〔思い切って〕
ひとかた (一方)→ひとかた
ひとかたならず
ひとかど (一廉)→ひとかど
ひときわ ㊀(一際)→ひときわ
ひとけ (人気)→人け
ひとごこち (一心地)→㊒人心地(がっく)
ひとごと (他人事、人事)→人ごと・ひとごと(ではない)
〔注〕「他人事＝たにんごと」は使わない。

ひとごみ（人込み）→㊍人混み
ひとさしゆび（人指し指、人差し指）→人さし指
ひとしお 副（一入）→ひとしお
ひとつ 一つ 一つずつ、一つ一つ、もう一つ（の○○）
〔注〕副詞的に「いまひとつ、もうひとつ」と使う場合は平仮名書き。
ひとづて（人伝）→人づて（に）
ひとで（海星、人手）→ヒトデ
〔動物〕
ひととき（一時）→ひととき
ひとなみ
＝人並み〔世間と同程度〕人並みの生活
＝人波〔群衆〕人波が続く
ひとはだ（人肌）→人肌 人肌が恋しい、人肌のぬくもり
ひとまず 副（一先ず）→ひとまず
ひとみ（眸）△→瞳
ひとみごくう 慣人身御供
ひとり
＝慣一人〔成句、慣用句、決まり文句など〕人っ子一人いない、一人口は食えない、一人子＝ひとりご、一人芝居、一人旅、一人っ子、一人天下、一人息子・娘、娘一人に婿八人
＝1人〔人数を示す場合〕1人死亡2人重傷、4人のうち1人
＝独り〔孤独、独断、独占、単独〕独り占い、独り勝ち、独り合点、独り決め、独り言、独り占め、独り相撲〔比喩的〕、独り立ちできる収入、独り旅、独りで決める、独り寝、独り舞台〔比喩的〕、独りぼっち、独り身、独り者、独り善がり
〔注〕「一人・独り」は内容によって使い分け、迷う場合は「一人」とする。☞数字の書き方（547ページ）
ひとりあるき
＝一人歩き〔一般用語〕暗い夜道の一人歩きは危険
＝独り歩き〔独立、勝手に動く〕赤ちゃんが独り歩き、言葉の独り歩き、法律の独り歩き
ひとりぐらし
＝1人暮らし〔一般用語〕気楽な1人暮らし、下宿で1人暮らし
＝独り暮らし〔孤独を強調〕寂しい独り暮らし
〔注〕使い分けに迷う場合は「1人暮らし」を使う。

ひとりでに ㊀(独りでに)→ひとりでに

ひとりひとり・ひとりびとり 一人一人　一人一人の個性を生かす、一人一人呼び出す

ひな (雛)△→ひな　ひな型、ヒナギク〔植物〕、ひな壇、ひな祭り

ひなが (日長)→日永　春の日永〔秋の夜長〕

ひなた (日向)→日なた　陰日なたなく、日なたぼっこ

ひなん (批難)→非難

ひにく 皮肉　皮肉な言い方、皮肉屋、皮肉る

ひにち (日日)→日にち

ひにひに ㊀日に日に

ひにん (非認▲)→否認

ひねる (捻る、拈△る、撚△る)→ひねる

ひのき (檜△)→ヒノキ〔植物〕　ひのき舞台、ひのき造り

ひばく ＝(被曝△)→被ばく〔放射線など〕(原発事故・原水爆実験の)被ばく者、被ばく線量

＝被爆〔爆弾、原水爆など〕広島・長崎の被爆者

〔注〕第五福竜丸は「被ばく」。

ひぶ ＝日歩〔100円に対する1日の利息〕日歩1銭

＝日賦〔負債を日々に割り当てて払う〕日賦の支払い

ひほう (秘方)→秘法〔薬の調合では秘方〕

ひぼう (誹謗△△)→中傷、そしる、悪口　誹謗中傷

びぼう 美貌

ひぼし ＝(日乾し)→日干し〔日光に干す〕　魚の日干し

＝(干乾し)→干ぼし〔飢えて痩せ衰える〕妻子を干ぼしにさせられない

ひま 暇　手間暇、暇人、暇つぶし、暇に飽かす

ひまく ＝皮膜〔皮のような薄い膜、皮膚と粘膜〕虚実皮膜、皮膜を切る

＝被膜〔おおい包んでいる膜〕電線の被膜、被膜を取り除く

ひまご (*曽孫)→ひ孫、ひい孫、曽孫＝そうそん

ひまつ (飛沫△)→しぶき　飛沫

感染

びまんせい (瀰漫性)→びまん性 びまん性外耳道炎(病名)

ひむろ 氷室

ひめ 姫 乙姫、織り姫、ヒメユリ(植物)、舞姫

ひめる 秘める 秘め事

ひめん 罷免

ひも (紐)→ひも 靴ひも、組みひも、ひも革、ひもかわ(うどん)、ひも付き援助・融資

ひもち ＝(日保ち)→日持ち 日持ちのいい菓子

＝(火保ち)→火持ち 火持ちのいい炭

ひもとく (繙く、紐解く)→ひもとく

ひもの (*乾物)→干物

ひやかす 冷やかす

ひゃくしょう ⊗(百姓)→農民、農家の人、農業従事者 ⇔差別語、不快用語(491ページ)

ひやす 冷やす 頭を冷やす、年寄りの冷や水、冷や汗、冷や酒、冷や麦、冷や飯、冷ややか、冷やっこ

ひやとい 日雇い(労働者)

ひやり ㊙(冷やり)→ひやり ひやりと、ひやひやする

ひゆ (譬喩)→比喩

ひょう 表 運賃表、換算表、関数表、計算表、時刻表、正誤表、成績表、調査結果を表にする、日計表、早見表、乱数表

ひょう 票〔紙片〕軍票、源泉徴収票、住民票、証票、船籍票、認識票、票を投じる、浮動票

ひょう 標〔しるし〕耳標、商標

ひょう (雹)→ひょう(雪)

ひょう (豹)→ヒョウ〔動物〕

びょう (鋲)→びょう 画びょう

びょう (廟)→み霊屋、霊堂、霊殿、廟

ひょうき ＝表記〔書きあらわす〕国語の表記、表記の住所、表記法

＝標記〔表題〕標記の件について

ひょうきん (剽軽)→ひょうきん

びょうく (病躯)→病気の体、病体、病身

ひょうけつ ＝(票決)→表決〔議案に賛否の意思表示をする〕投票による表

決、表決権
＝評決〔評議して採決する〕合議制裁判の評決、陪審員の評決

びょうげん（病源）→病原（体）

びょうさつ（標札）→表札
〔注〕公選法では「標札」。

ひょうし 拍子 手拍子、突拍子（もない）、拍子木、拍子抜け

ひょうじ（標示）→表示 意思表示、製造日表示、成分表示
〔注〕道交法では「道路標示」。

ひょうせつ（剽窃△）→盗作、盗用

ひょうぜん（飄然△）→ふらりと

ひょうだい
＝表題〔一般用語。書名・演説などの題目〕
＝標題〔特別用語〕標題音楽

ひょうたん（瓢箪△△）→ヒョウタン〔植物〕ひょうたんから駒

ひょうてんか 氷点下〔気象用語。気象以外は零下〕

ひょうはく
＝漂白〔白くする〕漂白剤
＝漂泊〔さすらう〕他国を漂泊、漂泊の詩人、漂泊の旅
＝表白〔述べあらわす〕思うところを表白する

ひょうひょう（飄々△）→ひょうひょう

びょうぶ（屏風△）→びょうぶ

ひょうへん（豹変△）→一変、急変、変節 君子豹変（ひょうへん）

びょうほ（苗圃△）→苗床、苗畑

ひょうぼう（標榜△）→掲げる、旗印

びょうぼつ（病歿△）→病没、病死

ひょうろう（兵粮△）→兵糧

ひよく（肥沃）→肥えた、豊かな、肥沃（ひよく）

ひよこ（雛△）→ひよこ

ひより ㊥日和

ひよわ（卑▲弱）→ひ弱

ひら 平 平謝り、平打ち、平織り、平仮名、平たい、平べったい

ひらく（拓・く）→開く 荒野を開く、悟りを開く、開き戸、開き直る

ひらめ（鮃△）→ヒラメ・平目

ひらめく〔動物〕
（閃△く）→ひらめく ひらめかす、ひらめき

ひらや（平家△△）→㊥平屋

びらん（糜爛△）→ただれ、びら

ん　びらん性ガス

びりょう（鼻梁）→鼻筋

ひるがえる　翻る　翻す、㊐翻って

ひれき（披瀝）→披歴

ひれふす（平伏す）→ひれ伏す

ひろい　広い　㊐広々と

ひろがる（拡がる）→広がる　広げる、広まる、広める

びわ（琵琶）→㊎琵琶〔楽器〕

びわい（卑猥）→みだら、下品、いやらしい

ひわだ（檜皮）→檜皮　檜皮ぶき

ひわり　日割り　日割り計算

びん（甁）→瓶　火炎瓶、花瓶、茶瓶、鉄瓶、土瓶、ビール瓶

ひんし（瀕死）→死にそう(な)、致命的、瀕死

ひんしゅく（顰蹙）→顔をしかめる、苦々しく思う、ひんしゅく(を買う)

びんしょう（敏捷）→機敏、素早い、敏しょう

ひんする　＝貧する〔貧乏する〕貧すれば鈍する

＝（瀕する）→ひんする〔よくない事態が間近に迫る〕壊滅にひんする、絶滅の危機にひんする

びんせん　便箋

びんづめ　瓶詰め(作業)、瓶詰〔製品〕

ひんば（牝馬）→㊎牝馬

びんぼう　貧乏　貧乏くじ、貧乏性、貧乏揺すり

【ふ】

ふ（附）→付　付加、付則、付属、付帯、付録

ふ（斑）→ふ〔まだら〕ふ入りの葉

ふ（腑）→ふ〔内臓〕ふに落ちない、ふ抜け、五臓六腑

ふ…　不幸せ、不届き、不慣れ

ぶ　＝分〔優劣の度合い〕分がある、分が悪い

＝歩〔利益の割合、歩合〕歩留まり、歩に合わない

ぶ…　＝不〔否定〕不格好、㊍不気味、㊍不器用、不細工、㊍不作法、不祝儀、㊍不調法、㊍不用心

＝無〔…がない、有の対語〕無愛想、無遠慮、㊙無精(者)、無粋、無勢、無難、無礼

ぶあい 歩合

ぶあつい (部厚い)→分厚い

ふい

＝ふい〔無駄〕チャンスをふいにする、努力がふいになる

＝不意〔突然〕不意に現れる

ふいうち (不意討ち)→不意打ち

ふいちょう ㊐吹聴

ふう… 風合い、風雲児、風変わり、風紀、風穴、風車、風洞(実験)、風鈴

…ふう 今風、上方風、芸風、山小屋風、洋風、和風

〔注〕「こんなふうに、知らないふうを装う」などは平仮名書き。

ふうき 富貴

ふうきり 封切り 封切り映画、封切る、封切館

ふうこうめいび (風光明媚△、風光明媚)→風光明媚(めいび)

ふうさい 風采 風采が上がらない

ふうし (諷刺△)→風刺

ふうじる 封じる〔封ずるとも〕封じ込める、封じ手

ふうぜんのともしび (風前の灯、風前の灯火)→風前のともしび

ふうてい (風態)→風体

ふうび (風靡△)→なびかせる、(一世を)風靡(ふうび)

ふうふ 夫婦 夫婦連れ

ふうぶつし (風物誌▲)→風物詩

ふうぼう 風貌

ふえる・ふやす

＝増〔一般用語。減の対語〕会員が増える、失業者が増える、借金が増える、庭木を増やす、人数を増やす、予算が増える

＝殖〔限定用語。利殖、繁殖〕家畜を殖やす、財産が殖える

〔注〕利殖、繁殖に関する言葉でも「増」を使ってよい。

ふえん (敷衍△、敷延)→敷衍(ふえん)

ふか (孵△化)→かえす、かえる、㊐ふ化(器)

ふか

＝(附△加)→付加〔付け加える〕付加価値、付加金

＝負荷〔仕事の責任・負担〕負荷に耐える

＝賦課〔課税〕関税賦課、賦課金

ぶがある (歩がある)→分があ

る

ふかい 深い　うたぐり深い、慎み深い、悟け深い、深入り、深追い、深々、深みにはまる、深める

ふがいない（腑甲斐ない、不甲斐ない）→ふがいない

ふかす 吹かす　エンジンを吹かす、たばこを吹かす、一泡吹かせる

ふかす（蒸す）→ふかす　芋をふかす

ぶかっこう（無恰好）→不格好

ふかで（深傷）→深手、重傷

ぶがわるい（歩が悪い）→分が悪い

ふき（蕗）→フキ（植物）フキノトウ

ぶきみ（無気味）→㊕不気味

ふきゅう
＝不朽（後世に長く残る）不朽の名作
＝腐朽（朽ち果てる）家屋の腐朽が目立つ

ぶきよう（無器用）→㊕不器用

ぶぎょう 奉行

ふきん 布巾

ふく
＝吹く（空気が流れ動く）風が吹く、吹きさらし、吹きすさぶ、（クーラーの）吹き出し口、吹きだまり、吹き付ける、吹き流し、吹き抜け、吹き降り、吹き寄せる、吹っ飛ぶ
（息を出す）鯨の潮吹き、火を吹いておこす、笛を吹く、吹き替え、吹き掛ける、（漫画の）吹き出し、吹き矢、ほらを吹く
（表面に表れる）粉を吹いた干し柿、吹き出物、芽吹く
＝噴く（外に勢いよく出る）悪感悟が噴き出る、汗が噴き出る、エンジンが火を噴く、おかしくて噴き出す、火山弾が噴き上がる、蒸気を噴き上げる、汁が噴きこぼれる、鉄管から水が噴き出す、火を噴く山、不満が噴き出す

ふく 拭く　汗を拭く、から拭き、拭き掃除

ふぐ（*河豚）→フグ（動物）ふぐ刺し、ふぐちり

ふぐ ⊗（不具）→身体障害（者）、体が不自由な人・状態 ⇔差別語、不快用語（490ページ）

ふくげん（復原）→㊕復元　壁

画の復元

ふくげんりょく

＝**復元力**〔一般用語。物理学、建築学、土木工学〕心の復元力、ゴム・ばねの復元力

＝**復原力**〔航空工学、船舶工学、地震学〕船舶・航空機の復原力

ふくこう（腹腔△）→**腹腔**（ふくくう）

〔注〕医学用語は「腹腔」。☞「こうこう」「びこう」の項

ふくしきこきゅう（複式呼吸▲）→**腹式呼吸**

ふくしゃ（輻射△）→㊐**放射**

ふくしゅう（復讐△）→**報復**、仕返し、敵討ち、**復讐**（ふくしゅう）

ふくしん（腹臣▲）→**腹心**

ふくすい

＝**復水**〔蒸気を水に戻す〕復水器

＝**腹水**〔腹腔（ふくこう）内にたまる水〕

＝**覆水**〔こぼれた水〕覆水盆に返らず

ふくする

＝**服する**〔他に従う〕命令に服する、喪に服する

＝**伏する**〔屈服する〕権力・武力に伏する

＝**復する**〔もとの状態に戻る〕正常に復する

ふくそう（輻輳△△、輻湊△△）→**集中**、混雑、混乱

ふくぞうなく（腹臓▲なく）→**腹蔵なく**

ふくそうひん（複葬▲品）→**副葬品**

ふくびき　福引（券）

ふくほん

＝**副本**〔正本を写した文書〕副本

2通を添え

＝**複本**〔複製した文書〕古文書・住民票の複本

ふくむ　含む　言い含める、含み声、含み資産、含み笑い

ふくらはぎ（腹脛△）→**ふくらはぎ**

ふくらむ・ふくれる　膨らむ・膨れる　育膨れ、着膨れ、下膨れ、火膨れ、膨らみ、膨れ上がる、膨れ(っ)面、水膨れ

ふくろ（嚢△）→**袋**　大入り袋、袋帯、袋織り、袋小路、袋だたき、袋とじ、袋縫い

ふけいかい　⊗（父兄会）→**保護者会**〔保護者の意味で父兄は使わない〕

ふける

＝**老ける**〔年を取る〕老け込む、

老けて見える、老け役

ふけ ＝更ける〔深くなる〕夜が更ける ＝(耽る)→ふける〔熱中する〕読書にふける ＝(蒸ける)→ふける〔むれる〕芋がふける

ふごう ＝符号〔しるし、記号〕符号を付ける、モールス符号 ＝符合〔一致〕偶然の符合、事実と符合する

ふこくざい (誣告罪)→虚偽告訴罪

ぶこつ (無骨)→㊕武骨(者)

ふさ (総)→房

ぶさいく (無細工)→不細工

ふさぐ (塞ぐ、鬱ぐ)→ふさぐ穴をふさぐ、ふさぎ込む

ぶさた 無沙汰 ご無沙汰、手持ち無沙汰〔注〕慣用や読みやすさによって平仮名書きも。

ぶさほう (無作法)→㊕不作法

ぶざま (無様、不様)→ぶざま

ふさわしい (相応しい)→ふさわしい

ふし 節 腕っ節、思い当たる節がある、削り節、節穴、節くれ立つ、節付け、節々、節回し、節目、骨っ節

ふじ フジ・藤〔植物〕藤色、フジ・藤棚、ヤマフジ

ぶしつけ (不躾)→ぶしつけ

ふじのやまい ⊗不治の病〔使用不可。治療が難しい病気など表現を工夫する〕

ふしまつ (不仕末)→不始末

ふしゅ 浮腫

ぶしょ (部所、部処)→部署

ふしょう ＝不祥〔よくない〕不祥事 ＝不詳〔はっきりしない〕作者不詳、氏名・年齢不詳

ぶしょう (不精)→㊕無精 無精者

ふしょうぶしょう ㊒(不請不請、不精不精)→不承不承

ふしょく ＝(腐蝕)→腐食〔腐って物の形が崩れる〕腐食剤、腐食する ＝腐植〔土中有機物が分解してできた黒褐色の物質〕腐植栄養湖、腐植質、腐植土

ぶじょく 侮辱

ふじょし (婦女子)→女性と子ども

ぶしょ (部所、部処)→部署

ふしょう ＝不祥〔よくない〕不祥事 ＝不詳〔はっきりしない〕作者不詳、氏名・年齢不詳

ぶしょう (不精)→㊕無精 無精者

ふしょうぶしょう ㊒(不請不請、不精不精)→不承不承

ふしょく ＝(腐蝕)→腐食〔腐って物の形が崩れる〕腐食剤、腐食する ＝腐植〔土中有機物が分解してできた黒褐色の物質〕腐植栄養湖、腐植質、腐植土

ぶじょく 侮辱

ふじょし (婦女子)→女性と子ども

ふしん
＝不審〔疑わしく思う〕挙動不審な男、不審尋問、不審火
＝不信〔信用しない〕政治不信、不信が募る、不信感、不信の念を抱く、不信を招く
＝不振〔勢いが振るわない〕経営不振に陥る、食欲不振、打撃不振
ふしん 普請 安普請
ふす・ふせる 〔臥〕→伏す・伏せる ひれ伏す、伏し目〔がち〕〔編み物は伏せ目〕、伏せ字、身を伏せる、病で伏せる
ふずい 不随 半身不随
ぶすい 〔不粋〕→無粋
ふぜい 風情
ふせつ
＝〔布設〕→敷設〔設備・装置を設ける〕海底ケーブルの敷設、鉄道を敷設する
＝〔附設〕→付設〔付属させて設ける〕大学に研究所を付設する、付設の図書館
ふせん 〔附箋〕→付箋
ぶぜん 〔憮然〕→ぶぜん、暗然〔注〕腹を立て、むっとする意味に使うのは誤り。本来は失望や不満で、むなしく、やりきれない思いでいるさまのこと。
ふぞく 〔附属〕→付属〔固有名詞でも附属は使わない〕
ふそくのじたい 〔不即の事態〕→不測の事態
ふそくふり 〔不則不離、不測不離〕→不即不離
ふぞろい 〔不揃い〕→ふぞろい
ふそん 不遜 傲岸不遜

ふた 〔蓋〕→ふた 火ぶたを切る、ふたを開ける、割れ鍋にとじぶた
ふた…
＝二〔一般用語〕二重まぶた、二心を抱く、二言三言、二筋道、二手に分かれる、二股、二目と見られない
＝双〔特別用語〕双子、双葉
ふだ 札 お守り札、切り札、立て札、札付き、札止め、合札
ぶた ブタ・豚〔動物〕黒豚、酢豚、焼き豚
ふたく
＝付託〔議会用語〕委員会に付託
＝負託〔責任を持たせ任せる〕国民の負託に応える
ふたたび ㊞再び
ふたつ 二つ 二つ折り、二つな

がら、二つ返事、二つ目

ぶたばこ ⊗(ブタ箱)→留置場

ふたり ＝㊐二人〔成句、慣用句など〕お二人 ＝2人〔人数を示す場合〕3人のうち2人が賛成 ↗数字の書き方(547ページ)

ふだん ＝普段〔日常、平生〕普段着、普段は火の気のない場所 ＝不断〔絶え間ない、決断が鈍い〕不断の努力、優柔不断

ふち ＝淵〔瀬の対語、深み、苦境〕悲しみの淵に、死の淵、絶望の淵に沈む、淵にはまる ＝縁〔へり〕池の縁、額縁、金縁の眼鏡、縁取り〔注〕「崖っぷち、川っぷち」は平仮名書き。

ぶち(斑)→ぶち **ぶちの犬**

ぶち・ぶっ…(打)→ぶち・ぶっ **ぶち上げる、ぶちかます、ぶち壊す、ぶちのめす、ぶっ倒れる、ぶった切る、ぶっつけ本番、ぶっ通し**〔注〕意味を強めたり、乱暴にしたりするさまを表す接頭語。乱用しない。「ぶん殴る」も同じ用法。

ふちょう(符牒、符帳)→符丁、符号、隠語

ぶちょうほう(無調法、不重宝)→㊍不調法

ふつか ㊐二日〔通常は2日と書く〕↗数字の書き方(544ページ)

ふつかよい(＊宿酔)→二日酔い

ぶつぎ 物議 **物議を醸す**

ぶつぎり ぶつ切り〔料理〕

ふっきる 吹っ切る 吹っ切れる

ぶっけん ＝物件〔品物。事務処理・契約などの対象としての物〕証拠物件、物件費、不動産業者が扱う物件 ＝物権〔財産権の一つ。所有権、占有権、地上権、先取特権、質権、抵当権など〕物権行為、物権証券、物権的請求権

ふっこく(覆刻、複刻)→㊍復刻(版)

ふっしょく(払拭)→拭い去る、払拭

ふっそ(弗素)→㊍フッ素

ぶっだ(仏陀)→仏陀・ブッダ

ぶっちょうづら 仏頂面
ふつつか (不束)→ふつつか
ふで 筆 筆入れ、筆遣い、筆無精、筆まめ
ふてぎわ 不手際
ふてる (不貞る)→ふてる ふてくされる、ふて寝
ふとい 太い 太っ腹、太巻き、太め、太もも
ふとう (埠頭)→岸壁、㊥波止場、突堤、埠頭
〔注〕「本牧ふ頭」など、固有名詞は名称通り書く。
ぶどう (葡萄)→ブドウ〔植物〕 ぶどう色、ブドウ球菌、ぶどう酒、㊐ブドウ糖
ふどき 風土記
ふところ 懐 懐刀、懐具合、懐手
ぶどまり (歩止まり)→歩留まり
ふとる (肥る)→太る
ふとん (蒲団)→布団 貸布団
ふなあし (船足)→㊥船脚
ふなうた (舟唄)→舟歌
ふね・ふな
＝船〔一般的なもの〕大船に乗った気持ち、親船、船会社、船路、船大工、船旅、船溜まり場、船積み、船出、船乗り、船酔い、湯船、渡りに船
＝舟〔主に小型で素朴なもの〕小舟、さざ舟、刺し身を入れた舟、助け舟〔比喩的〕、泥舟、ノアの箱舟、舟板塀、舟券、舟をこぐ、丸木舟、浮舟
〔注〕「舟・船遊び、舟・船下り、舟・船底、舟・船べり、釣り舟・船、渡し舟・船」などは大きさに応じて使い分ける。
ふびん (不愍、不憫)→ふびん
ふぶき ㊥吹雪
ふぶく (吹雪く)→ふぶく
ぶべつ 侮蔑
〔注〕なるべく「侮辱、侮る」などとする。
ふへん
＝不偏〔一方に偏らない〕不偏不党
＝普遍〔一般性がある、全てのものに共通〕普遍概念、普遍的
＝不変〔変化しない〕永久不変、不変の法則
ふほう 訃報
ふむ 踏む 踏まえる、踏み絵、踏み切り(板＝ばん)、踏み切る、踏み込み、踏み台、踏み

倒す、踏みにじる、踏み外す、踏ん切り、踏んづける、踏ん張る、踏切〔鉄道〕

ふもと 麓　麓の村

ふやす 増やす・殖やす ⇄「ふえる・ふやす」の項

ふゆう (富有)→富裕

ふゆうがき 富有柿

ふゆきとどき 不行き届き

ふよ (附与、賦与△)→付与

ふよう ＝不用〔使われない〕予算の不用額

＝不要〔必要でない〕不要不急

〔注〕使い分けに迷う場合は「不要」を使う。

ぶようじん (無用心)→㊀不用心

ふらち (不埒△)→不都合、不届き、ふらち

ふらん (腐爛△)→腐乱

ふらんき (孵卵器△)→ふ卵器

ふり・ふる・ふれる 振り・振る・振れる　円高に振れる、采配を振る、地位を棒に振る、人形振り〔歌舞伎〕、2振りの刀、振り落とす、振り返る、振りかざす、振り仮名、振りかぶる、振り切る、振り子、振り絞る、振り付ける、振りまく、振り回す、振り乱す、振り向く、振り分け、振る舞い(酒)、木刀の素振り、身の振り方、割り振る

ふり (振り、風)→ぶり〔様子、調子〕知らぬふり・知らんぶり、なりふり、人のふり見てわがふり直せ、見て見ぬふり

…ぶり (振り)→ぶり〔接尾語。様子、時間の経過など〕歌いぶり、枝ぶり、大・小ぶりの魚、お国ぶり、男ぶり・男っぷり、思わせぶり、口ぶり、3年ぶり、そぶり、熱狂ぶり、飲みっぷり、話しぶり、久しぶり、身ぶり手ぶり

ふりかえ 振り替え(休日、輸送)、振替〔口座間の金銭などの移動〕振替《金》、口座振替 ⇄経済複合語(102ページ)

ふりこみ 振り込み(受け付け、順、申し込み)　銀行振り込み、振込《金》、振込申込書 ⇄経済複合語(102ページ)

ふりそで 振り袖

ふりだし 振り出し　手形振り出し、振り出しに戻る、振出

《人》、振出手形 ⇨経済複合語（102ページ）

ふりつけ 振り付け 踊りの振り付け、振付【師】

ふりょ （俘虜△）→捕虜

ぶりょう （無聊△）→退屈

…ぶる （振る）→ぶる〔接尾語。気取る、てらう、それらしく振る舞う〕いい子ぶる、偉ぶる、上品ぶる、もったいぶる

ふるう ＝（揮う）→振るう〔振り回す、活気づく〕腕を振るう、大なたを振るう、権力を振るう、事業・成績が振るわない、熱弁を振るう、蛮勇を振るう、筆を振るう、猛威を振るう ＝奮う〔かきたてる〕気を奮い立たせる、籾神を奮い起こす、勇気を奮って立ち向かう ＝震う〔ふるえる〕声を震わせる、大地が震い動く、身震い、武者震い ＝（篩△）→ふるう〔選別〕土をふるって分ける、ふるい分ける

《使い分けに注意》

▼振るい落とす〔揺すって落とす〕柿を振るい落とす

▼ふるい落とす〔選別〕代表候補をふるい落とす

ふるえる 震える 体が震える、震え上がる、震え声

ふるさと （故里、＊故郷）→古里・ふるさと

ふるす （旧す）→古す 言い古す、使い古す

ふるって ㊀奮って 奮って参加

ふるまう 振る舞う 明るく振る舞う、大盤振る舞い

ふれる 触れる 先触れ、触れ合い、触れ込み、触れ太鼓、触れ回る、前触れ

ふろ 風呂

ふろしき 風呂敷 大風呂敷、風呂敷包み

ふわたり 不渡り 不渡り手形

ふわらいどう （附和雷同△、不和雷動△）→付和雷同

ふん ＝粉 粉砕、粉飾、粉本、粉末 ＝紛 紛糾、紛失、紛争

ふん ＝噴 噴煙、噴火、噴射、噴出、噴飯、噴霧(機・器)、噴門 ＝憤 義憤、公憤、痛憤、悲憤、憤慨、憤激、憤死、憤怒

＝奮　感奮、興奮、発奮、奮戦、奮闘、奮発、奮励
＝墳　古墳、墳墓
ふん（△糞）→ふん　馬ふん
ぶんか
＝文化〔学問・芸術・宗教など精神的活動の成果〕生活文化、文化遺産、文化勲章、文化功労者、文化財
＝文科〔学問分野で理科の対語〕文科系の学部
ぶんか
＝分化〔単純から複雑化する〕二極分化、分化現象、未分化
＝分科〔専門に分ける〕分科会
ふんき（憤起）→奮起
ぶんけつ（分△蘖）→分けつ〔「分げつ」とも〕、株張り
ふんこつさいしん（粉骨砕心）▲→粉骨砕身
ふんしょく（扮△飾）→粉飾（決算）
ふんじん（粉△塵）→ちり、ほこり、粉じん
ぶんすいれい（分水△嶺）→分岐点、分水△嶺
ふんする（扮△する）→装う、扮（ふん）する
ふんぜん
＝憤然〔激しく憤る〕憤然として席を立つ
＝奮然〔奮い立つ〕奮然として戦う
ふんそう（扮△装）→装い、こしらえ、扮装（ふんそう）
ふんどし（褌）→ふんどし　人のふんどしで相撲を取る
ぶんどる（分取る）→分捕る

ふんにょう（糞△尿）→汚物、大小便、ふん尿
ふんぬ（忿△怒）→憤怒〔「ふんど」とも〕
ふんぷん
＝紛々〔入り乱れる〕諸説紛々
＝（芬△々）→ふんぷん〔香りが強い〕香気ふんぷん
ぶんべん（分娩）→出産、お産、分娩（ぶんべん）
ふんまん（忿△懣、憤懣△）→憤慨、憤まん
ぶんめいかいか　文明開化
ぶんれつ
＝分裂〔分かれる〕細胞分裂、組織の分裂
＝分列〔分かれて並ぶ〕分列行進、分列飛行

【へ】

へい
＝幣〔ぬさ、宝、通貨〕貨幣、(旧)官幣大社、御幣担ぎ、紙幣、造幣
＝弊〔破れる、疲れる、拙い、悪い〕悪弊、旧弊、語弊、通弊、疲弊、弊害、弊社、弊店、弊風
へい
＝並〔並ぶ〕並進、並列
＝併〔併せる〕併科、併記、併合、併殺、併設、併置、併読、併発
へい　塀　板塀、築地塀、土塀、練り塀、舟板塀
へいこう
＝平行〔どこまで行っても相交わらない〕議論が平行線をたどる、平行移動、平行滑走路、平行四辺形、平行棒
＝(併行)→並行〔相並んで行う〕電車とバスが並行して走る、並行審議、並行輸入
＝平衡〔釣り合いがとれている〕体の平衡を失う、動的平衡、平衡感覚、平衡を保つ
べいごま　(貝独楽)→べいごま〔ベーゴマとも〕
へいそう　(併走)→並走(競馬の調教では併走)
へいそく　(閉塞)→閉塞(へいそく)
へいそん　(並存)→併存〔「へいぞん」とも〕
へいたん　(平坦△)→平ら、平地、起伏がない、平たん
へいたん　(兵站△)→(軍需)補給、後方支援、兵たん(基地)
へいべい　(平米)→平方メートル
へいよう　(並用)→併用
へいりつ　(併立)→並立
ページ　(頁△)→ページ　青春・歴史の一ページ、本の3ページ目
…べき　〔文をこの活用形で止めず、「べきだ、べきである」などとする〕誤りやすい語句(487ページ)
へきえき　(辟易△)→尻込み、閉口、へきえき
へきち　(僻△地)→辺地、へき地
へきとう　(劈△頭)→初め、最初、冒頭
へきれき　(霹△靂△)→雷鳴、(青天の)へきれき
へこおび　(兵児帯)→へこ帯
へこむ　(凹む)→へこむ
へさき　(舳、艫先)→へさき、

船首

へし… (圧し)→へし (押し合い)へし合い、へし折る、へし曲げる

へそ (臍)→へそ へそくり、へその緒、へそ曲がり

へた (物)下手

べた (総)→べた べたなぎ、べた褒め、べたぼれ

へだてる 隔てる 隔たる

へちま (糸瓜)→へチマ〔植物〕

へちま襟、へちま水

べっこう (鼈甲)→べっ甲

べっし 蔑視

べっしょう 蔑称

べつじょう (別状)→(略)別条

べつどうたい (別働隊)→別動隊

へど (反吐)→へど

べに 紅 紅しょうが、ベニバナ・紅花〔植物〕、頬紅

へび ヘビ・蛇〔動物〕蛇の生殺し

へや (物)部屋

へり (縁)→へり 川べり、船べり

へりくだる (遜る、謙る)→へりくだる

へる 減る 減らず口

へる 経る 年を経る、経巡る

へんい

‖変位〔物理学用語。物体が位置を変える〕物体の変位、変位電流

‖変異〔異種のものに変わる〕突然変異

‖変移〔移り変わる〕世相の変移

へんきょう (辺疆)→辺境

へんくつ (偏窟)→偏屈

へんけい

‖変形〔形が変わる〕熱して変形する、変形性関節症

‖変型〔変わった型式や規格〕A5判変型の本

へんざい

‖偏在〔かたよっている〕一地方に偏在する、富の偏在

‖遍在〔どこにでも広くある〕神の遍在、全国に遍在する

へんさん (編纂)→編集、編さん

へんしゅう (編輯)→編集

へんずつう (偏頭痛)→(学)片頭痛

へんせい

‖(編制)→編成〔一般用語〕学級編成、教育課程の編成、10両

編成の電車、戦時編成、番組編成、部隊編成、予算編成

〔注〕法律・軍事用語の組制も一般記事では編成とする。

‖編製（限定用語）戸籍の編製、選挙人名簿の編製

へんたい

‖変体（形・体裁などが変わっている）変体仮名、変体詩

‖変態（形態を変える、異常な性状）昆虫の変態、変態性欲

へんとうせん（扁桃腺）→へんとう（身体器官。へんとう腺は旧称）へんとう炎（病名）

へんぴ（辺鄙）→辺地、㊟片田舎、辺ぴ

へんぺい（扁平）→平ら、平たい、扁平（へんぺい）足

へんぼう 変貌

へんりん（片鱗）→一端、片りん

へんれいきん 返戻金

へんれき（偏歴）→遍歴

へんろ 遍路

【ほ】

ほ 帆 帆掛け船・舟、ホタテガイ・帆立て貝〔動物〕、帆柱

ほ 穂 落ち穂拾い、接ぎ穂、穂波、穂並み

ほいく（哺育）→保育（所・園）

保育器、保育士

〔注〕飲食物を与え育てる意味では「哺育」も。

ぼいん（拇印）→指印、母印、爪印

ほう 方 その方がいい

ほうおう

‖法王（ローマ・カトリック教会の最高位）ローマ法王

〔注〕カトリック中央協議会は教皇としているが原則「法王」とする。

‖法皇（仏門に入った上皇）後白河法皇

ほうが（萌芽）→芽生え、兆し、始まり、萌芽（ほうが）

ほうかい（崩潰）→崩壊

ほうがちょう（奉賀帳）→奉加帳

ほうかつ（抱括）→包括

ほうかん（幇間）→たいこ持ち

ほうがんびいき（判官贔屓）→㊟判官びいき

ほうき（抛棄）→放棄

ほうき 蜂起

ほうきてんれい（法規典令、法規典礼）→法規典例

ぼうぎょ（防禦）→防御

ぼうくうごう（防空壕）→防空壕

ほうける（惚ける、呆ける）→ほうける　遊びほうける

ぼうげん
＝妄言〔でまかせの言葉、「もうげん」とも〕妄言で惑わす
＝暴言〔乱暴な言葉〕暴言を吐く

ほうこ（豊庫）→宝庫

ほうこう（彷徨）→さまよう、うろつく

ほうこう（咆哮）→ほえる、たけり叫ぶ

ぼうこう（膀胱）→ぼうこう〔身体器官〕

ほうさん（硼酸）→㊛ホウ酸（水）

ほうじ（捧持）→奉持

ぼうじゃくぶじん（暴若無尽）→傍若無人

ほうじゅう（放従）→放縦

ほうじゅん
＝豊潤〔豊かでみずみずしい〕豊潤な土地、豊潤な音色
＝〔芳醇〕→芳醇（ほうじゅん）〔香り高く味がよい〕芳醇なワイン

ほうじょ（幇助）→補助、手助け、ほう助

ほうしょう
＝褒章〔栄典の記章〕㊛紅綬・緑綬・黄綬・紫綬・藍綬・紺綬褒章
＝褒賞〔ほめたたえる、褒美〕功労者を褒賞
＝報奨〔報い奨励する、奨励を目的とする〕完納を報奨
＝報償〔損害を償う〕会社更生法・文化財保護法などの報償金
〔使い分けに注意〕
▼褒賞金〔大相撲など〕
▼報奨金〔地方税、JOCなど〕

ほうじょう（豊穣、豊饒）→豊かな、豊作　五穀豊穣（ほうじょう）

ぼうじん（防塵）→防じん

ぼうず（坊主）→僧、僧侶、坊さん
〔注〕「てるてる坊主、三日坊主」など比喩的用法以外は使わない。坊主頭、坊主刈りは「丸刈り」とする。

ぼうせん
＝傍線〔サイドライン〕重要な箇所に傍線を引く
＝棒線〔直線〕棒線で字を消す

ぼうぜん（茫然、呆然）→ぼうぜん（自失）、ぼんやり

ほうそ（硼素）→㊐ホウ素
ほうそう（疱瘡）→天然痘〔病名〕
ほうたい（繃帯）→包帯
…ほうだい　言いたい放題、したい放題、食べ放題
ぼうだい（厖大）→膨大
ぼうたかとび　棒高跳び
ほうちゃく（逢着）→出合う、出くわす、ぶつかる、直面する
ほうちょう（庖丁）→包丁
ぼうちょう（膨脹）→㊐膨張
ぼうちょう（防諜）→スパイ防止、防諜
ほうてい
＝法定〔法律で定める〕法定選挙費用、法定代理人、法定得票数、法定利息
＝法廷〔裁判を行うところ〕法廷秩序維持法、法廷闘争、法廷侮辱
ほうてい（捧呈）→奉呈
ほうてん
＝法典〔体系的な法令集〕ハムラビ法典
＝宝典〔便利にまとめた本〕育児宝典、家庭医学宝典
ほうとう（放蕩）→道楽、不身持ち、放蕩
ぼうとく（冒瀆）→侵害、汚す、冒瀆
ほうねんまんさく（豊年万作）→豊年満作
ほうばい（朋輩、傍輩）→同僚、仲間
ぼうばく（茫漠）→漠然、広漠、漠として
ほうふつ（彷彿、髣髴）→ほうふつ、まざまざ
ほうぶつせん（抛物線）→放物線
ぼうふら（子子、棒振）→ボウフラ〔動物〕
ほうほうのてい（這う這うの態）→ほうほうの体
ほうまつ（泡沫）→あぶく、泡、泡沫
ほうまん（放慢）→放漫
ほうむる　葬る　葬り去る
ほうゆう（朋友）→友人
ほうよう
＝包容〔包み入れる〕包容力
＝抱擁〔抱きかかえる〕熱い抱擁
ほうらつ（放埒）→放縦、放逸
ほうる（抛る）→放る　球を放る、放っておく、放り出す
〔注〕「ほったらかし、ほっぽり出

す、ほっぽり投げる」などは平仮名書き。

ほうるい（堡塁）→防塁、とりで

ほうれい
＝法令〔法律・命令の総称〕
＝法例〔通則。法の適用に関する規定〕

ほうれつ（砲列）→放列　カメラの放列、放列を敷く

ほうれんそう（菠薐草）→ホウレンソウ〔植物〕

〔注〕市況・料理記事では「ホウレン草」も使う。

ほうろう（琺瑯）→ほうろう（鍋）

ほえる（吠える）→ほえる

ほお　頬〔「ほほ」とも〕頬かぶり・頬かむり、頬づえ、頬張る、頬紅

ほおずき（酸漿、鬼灯）→ホオズキ〔植物〕ほおずきぢょうちん、ほおずき市〔浅草寺〕

ほおのき（朴の木、厚朴）→ホオノキ、ホオ〔植物〕ほお歯のげた

ほか
＝外〔範囲のそと〕思いの外、もっての外
＝他〔それ以外〕その他、…他5人、他に道がない、他の意見
〔注〕一般的には平仮名書きも使われている。使い分けに迷うときは平仮名書き。

ほかく（捕穫）→捕獲

ほかげ（灯影）→火影

ぼくし　牧師〔一般にプロテスタント系の聖職者をいう。カトリック系や正教会は神父〕

ぼくたく（木鐸）→指導者、木鐸

ぼくとつ（朴訥）→実直、素朴

ほくろ（＊黒子）→ほくろ

ぼける（惚ける、呆ける、昼ける）→ぼける　時差ぼけ、寝ぼける、ピンぼけ

ほけん
＝保険〔事故・災害などで一定の給付を受ける制度〕介護・火災・生命保険、健康保険証、保険医、保険適用薬
＝保健〔健康を保つ〕保健衛生、保健所、保健薬〔滋養強壮剤〕、老人保健施設・制度・法

ほこ（鉾）→矛　矛先、矛を収める　☞「やまほこ」の項

ほご（反故、反古）→ほご

ほごかんさつ (保護監察▲)→保護観察

ほこる 誇る 誇らしげ、誇り

ほころびる (綻びる)→ほころびる

ほさ (輔佐△)→補佐

ほさつ
＝捕殺〔捕まえて殺す〕毒蛇を捕殺する

ほさつ
＝補殺〔野球用語。送球で走者をアウトにする〕

ほさにん
＝保佐人〔成年後見制度〕

ほさにん
＝(輔佐△人)→補佐人〔当事者を助けて訴訟行為ができる者〕
法令関連用語(601ページ)

ほし 星 星明かり、星占い、星影、星くず、星回り、星取表

ほし ⊗(ホシ)→犯人、容疑者

ほし・ほす (乾)→干し・干す 梅干し、切り干し大根、煮干し、日干し、干し柿、干し草、干しぶどう

ぼし (拇指△)→親指、母指

ほしい
＝欲しい〔自分のものにしたい〕金が欲しい、水が欲しい、物欲しげ、物を欲しがる

ほしい
＝ほしい〔補助形容詞、…(て)ほしいの形の場合〕返してほしい、買ってほしい、来てほしい、見てほしい、やめてほしい

ほしいまま (欲しいまま、恣)→ほしいまま

ほしゅう
＝補修〔補い繕う〕補修工事

ほしゅう
＝補習〔正規の学習の不足を補う〕補習授業

ほしょう 歩哨

ほしょう
＝保証〔請け合う、損害の賠償を負う〕命の保証、債務保証、…という保証はない、日給8千円を保証する、根保証、品質の保証、保証期間〔家電など〕、(保釈)保証金、保証債、保証書、保証責任、保証付きの商品、保証人、保証保険、身の安全を保証する、身元を保証する、連帯保証

ほしょう
＝保障〔立場・権利などが侵されないよう守る〕安全保障、言論の自由の保障、最低生活を保障する、社会保障、人権を保障する、保障期間〔生保など〕、保障条約、身分保障〔法

律用語〕

＝補償〔与えた損害を補い償う〕遺族補償、刑事補償、損害補償、補償金、労災補償

〔注〕「自動車損害賠償保障法」など固有名詞に注意。➡「しょとくほしょう」の項

ほじょう（圃場△）→水田、農地

ほぞ（臍△）→ほそ　ほぞを固める・かむ

ほそい　細い　か細い声、心細い、細い管、細長い、細引き、細巻き、細め、細目を開ける

ほそう（鋪装△）→舗装

ほそく

＝補足〔不足を補う〕説明を補足する、補足事項

＝捕捉〔捕らえる〕要点を捕捉する、レーダーで捕捉

ほそぼそ　㊞（細々）→ほそぼそ

ぼたい

＝母体〔妊娠中・出産後の母の体、もとになるもの〕選挙母体、母体保護法〔旧優生保護法〕

＝母胎〔母親の胎内〕

ぼだい（菩提△）→菩提（ぼだい）寺、ボダイジュ・菩提樹（ぼだいじゅ）〔植物〕

ほたる　ホタル・蛍〔動物〕ゲンジボタル、蛍狩り、蛍火

ぼたん（牡丹△）→ボタン〔植物〕　ぼたん雪

ぼたん（釦△）→ボタン

ほっき（発企）→発起（人）

ぼつご（歿後△）→死後、没後

ぼっこう　勃興

〔注〕なるべく「興隆、台頭」などとする。

ぼっこん　墨痕

ほっしん（法心）→発心

ほっしん　発疹〔「はっしん」とも〕

ほっす　法主〔宗派の長、法会の主宰者。「ほうしゅ、ほっしゅ」とも〕

ぼったてごや　掘っ立て小屋

ぼっちゃん　坊ちゃん

〔注〕漱石の小説は「坊っちゃん」。

ぼっぱつ　勃発

ほっぴょうよう（北氷洋）→北極海〔北氷洋は旧称〕

ほてる（熱る）→火照る　顔が火照る

ほてん（補塡）→穴埋め、補塡（ほてん）

ほど

＝程〔度合い・限度・距離・時分など、名詞・形容詞のほか副詞にも〕程がよい、程遠い、㊞程なく、程よく、身の程

〔注〕「先ほど、中ほど、何ほど、後ほど、ほどほど、よほど」などは平仮名書き。

＝ほど〔ぐらい、…につれてます ます―など主に助詞の場合〕多ければ多いほど、おまえほど、彼ほど、感覚がなくなるほどの寒さ、このほど、これほど、さほど、地震ほど怖いものはない、…するほどのことではない、それほど、つゆほども、10日ほど前、なるほど、飲むほどに、見れば見るほど、私ほど

ほどう
＝歩道〔人道〕横断歩道、歩道橋
＝(舗道)→舗道〔舗装した道路〕

ほどく (解く)→ほどく

ほどこす 施す 施し物

ほどほど (程々)→ほどほど

ほとんど 図(殆ど△)→ほとんど

ほなみ
＝穂波〔波のように揺らぐ穂〕穂波が揺れる
＝穂並み〔穂の出そろったようす〕見事な穂並み

ほにゅう 哺乳〔動物・瓶・類〕
〔注〕人間の場合は一般に「授乳」。

ほね 骨 骨惜しみ、骨折り、骨組み、骨接ぎ、骨っ節、骨っぽい、骨抜き、骨張る、骨身、骨休め

ほのお (焔△)→炎

ぼば (牡馬△)→特牡馬

ほふく (匍匐△△)→はう、ほふく

ほほ 頬 ほお の項

ほぼ (保母)→保育士〔資格名。幼稚園は教諭〕

ほほえむ (微笑む、頬笑む)→ほほ笑む

ほまれ 誉れ

ほめる (賛める、誉める、賞める)→褒める べた褒め、褒め言葉、褒め上手、褒めそやす、褒めたたえる、褒め立てる、褒めちぎる
〔注〕「ほめ殺し」は平仮名書き。

ぼや (＊小火)→ぼや

ほら 洞 洞穴、洞が峠(を決め込む)

ほら (法螺△)→ほら ほら貝(楽器)、ホラガイ〔動物〕、ほら吹き

ほり 堀 外堀、釣り堀、堀端

ほり… 掘り起こす、掘りごたつ、掘り下げる、掘り出し物、掘り抜き井戸

…ほり
＝彫り〔一般用語〕浮き彫り、木彫り、毛彫り、透かし彫り

＝**彫**〔工芸品〕一刀彫、鎌倉彫

ほりわり　(堀割)→掘割

ほる　彫る　彫り上げる、彫り込む、彫りの深い顔立ち、彫り物、彫師、彫物師

ほれる　(惚れる、恍れる)→ほれる ぅぬぼれる、聞きほれる、ほれ込む、㊞ほれぼれ

ほろ　(幌)→ほろ　ほろ馬車

ぼろ　(襤褸)→ぼろ　おんぼろ、ぼろ切れ、ぼろくそ、ぼろぼろ、ぼろ家

ほろびる　(亡びる)→滅びる
滅ぶ、滅ぼす

ほん…　本決まり、本昼り、本立て、本降り、本祭り

ぼん　盆　盂蘭盆、盆踊り、盆景れ、盆栽、盆地、盆ぢょうちん

ほんい
＝**本意**〔本来の意思・希望〕自分の本意、本意を伝える

＝**本位**〔元の位置。名詞に付けて考えや行動の中心にする意〕お客さま本位の商売、興味本位、実力本位、自分本位の考え、本位貨幣、本位に復する

ほんい　翻意　翻意を促す

ぼんしょう　(梵鐘)→釣り鐘

ほんせん
＝**本戦**〔試合、競技〕

＝**本選**〔選考、選挙〕

ほんたい
＝**本体**〔本当の形、正体、実体、本尊、機械の主要部分〕パソコンの本体

＝**本態**〔本当の状態・様子〕病気の本態

ぼんのう　煩悩　子煩悩

ぼんぼり　(雪洞)→ぼんぼり

ほんまつてんとう　(本末顚倒)→本末転倒

ほんもの　本物

ほんろう　(翻弄)→手玉に取る、踊らされる、翻弄

ほんわり　本割〔相撲〕

【ま】

ま
＝**摩**〔こする、近づく、せまる〕摩擦、摩天楼、摩滅、摩耗

＝**磨**〔みがく〕研磨、鈍磨、百戦錬磨、磨崖仏、㊞錬磨

ま 間　間合い、間貸し、間借り（人）、間が悪い、間延び、㊀間もなく

ま… 真新しい、真一文字、真顔、真心、真に受ける、真人間、真向かい、真夜中、真ん中、真ん前、真ん丸・円 ⇨「まる・まるい」の項

まっ… ㊀真っ赤、真っ暗、真っ向、真っ最中、㊀真っ青、真っ逆さま、真っ盛り、真っ先、真っさら、真っ白、真っただ中、真っ裸、真っ昼間、真っ二つ

まーじゃん（麻雀）→マージャン

まーぼーどうふ（麻婆豆腐）→マーボー豆腐

まい＝舞（名詞の場合）華麗な舞、幸若舞、地唄舞、㊀獅子舞、仕舞〔能楽〕、剣の舞を舞う、手古舞〔祭礼の練り行列〕、二の舞〔舞楽〕、舞扇、舞姫

＝舞い〔動作を示す場合、動詞、比喩の場合〕大盤振る舞い、お見舞い、きりきり舞い、暑中見舞い、立ち居振る舞い、てんてこ舞い、二の舞い〔他人と同じ失敗を犯す〕、振る舞い酒、舞い上がる、舞い降りる、舞い込む、舞い戻る

まいこ（舞妓）→舞子、舞妓

まいご ㊀迷子

まいしん（邁進）→突き進む、まい進

まいる（詣る）→参る　お参り、お礼参り、彼は彼女に参っている、寝不足で体が参る、墓参り

〔注〕「見てまいります」など補助動詞は平仮名書き。

まえ… 前祝い、前受け金、前売り（券）、前置き、前かがみ、前書き、前掛け、前貸し、前借り、前倒し、前払い（金・制度）、前触れ、前向き、前渡し（金）

まかす・まかせる（委）→任す・任せる　あなた任せ、力任せ、出任せ

まがたま（勾玉）→勾玉

まかなう　賄う　賄い（人）

まかる（罷る）→まかる　まかり通る、まかり間違うと

まがる　曲がる　つむじ曲がり、

ひん曲がる、曲がり角、㊀曲がりなりにも

まき　(薪)→まき　まき割り

まき　＝巻き〔一般用語〕巻きが甘い　＝巻〔書物の1冊または1章〕虎の巻、夕顔の巻

まき…　巻き上げ機、巻き網(漁船)、巻き起こす、巻き貝、巻き替え、巻き返し、巻き紙(ロール紙)、巻き髪、巻き狩り、巻き雲、巻き毛、巻き舌、巻き尺、巻きずし、巻き添え、巻き取り(紙)、巻紙〔手紙〕、巻物

…まき　㊀新巻き(ザケ)、糸巻き、渦巻き、襟巻き、腰巻き、だて巻き、鉄火巻き、手巻き、取り巻き、のり巻き、鉢巻き、腹巻き、春巻き、絵巻、竜巻、葉巻

まきえ　(蒔絵)→蒔絵

まぎれる　紛れる　悔し紛れ、苦し紛れ、どさくさ紛れ、腹立ち紛れ、紛らす、紛らわしい、紛れもない

まぎわ　(真際)→間際

まく　巻く　管を巻く、けむに巻く、舌を巻く、とぐろを巻く、ねじを巻く

まく　＝(撒く)→まく〔あちこちに散らす〕尾行をまく、ビラをまく、振りまく、まき餌、まき散らす、豆まき(節分)、水をまく、話題をまく　＝(蒔く、播く)→まく〔植物の種を地に埋める〕遅まきながら、種まき、豆まき(畑)、麦まき

まくあい　(幕間、幕合い)→幕あい

まくあき　(幕明き)→幕開き〔主に演劇〕

まくあけ　(幕明け)→幕開け〔物事の始まり〕

まくら　枕　枕木、枕元、枕を高くして寝る

まくらことば　(枕詞)→枕ことば　〔注〕和歌では「枕詞」としてもよい。

まぐれ　(紛れ)→まぐれ　気まぐれ、まぐれ当たり

まげ　(髷)→まげ　ちょんまげ、まげ物〔映画〕、丸まげ

まける　(敗ける)→負ける　顔負け、根負け、亙負け、負け

戦、負け犬、負け惜しみ、負けず嫌い、負けん気

まける（負ける）→まける〔値段を安くする〕おまけ、９８０円にまける

まげる 曲げる 曲げ物

まご 孫 ひ孫、孫請け、孫弟子、孫の手、孫引き

まごうた 馬子唄

まごつく（間誤つく）→まごつく

まことしやか（実しやか、真しやか）→まことしやか

まことに ㊇誠に

まさご（真砂）→まさご

まさしく・まさに ㊇(正しく、正に)→まさしく・まさに

まさめ（柾目△）→正目

まさる（優る）→勝る〔優れる、長じる〕聞きしに勝る、勝るとも劣らない

まざる・まじる・まぜる ＝交〔とけ合わないまじり方〕アジにサバが交ざる、入り交じる、片言交じり、漢字仮名交じり文、白髪交じり、ため息交じり、トランプを交ぜる、鼻歌交じり、皮肉交じり、ベテランに若手が交じって、交ぜ織り、雪交じりの雨 ＝(雑)→混〔とけ合うまじり方〕異物が混じる、絵の具を混ぜる、香りが混じり合う、ごちゃ混ぜ、酒に水が混ざる、雑音が混ざる、セメントに砂を混ぜる、煮物をかき混ぜる、混ざり物、混じり気がない、混ぜっ返す、見分けがつかぬほど混ざり合う〔注〕「まぜご飯」など㊟書き分けが難しい場合は平仮名㊟書き。

まし（増し）→まし〔やや良い〕その方がまし

まじえる・まじわる 交える・交わる 冗談を交える、膝を交える、人の交わり

まして ＝㊇(況して)→まして〔なおさら〕まして親なら ＝増して〔一層〕以前にも増して

まじない（呪い）→まじない

まじめ ㊇真面目 大真面目、生真面目、不真面目

ましん 麻疹〔病名。通常は「はしか」とする〕

ます（枡、桝△）→升 升酒、升席、升目

ます 増す　建て増し、日増しに、増し刷り、水増し、焼き増し、割り増し、割増《金》

まず 副(先ず)→まず

ますい (痲酔、麻睡)→麻酔

まずい (下手い、拙い、不味い)→まずい

ますます 副(益々)→ますます

また (又、亦)→また　また聞き、またしても、または

また (叉、胯)→股　内股、世界を股に掛ける、二股、股旅、刺股

〔注〕「三つまた、四つまた」は平仮名書き。

まだ (未だ)→まだ　まだしも、まだまだ

またたく 瞬く　瞬き、瞬く間に

またない (俟たない)→(言・論を)またない

まだら (斑)→まだら　まだら模様

まち
＝町〔主に人家の集まっているところ、地域、行政区画〕裏町、下町、城下町、町おこし、町ぐるみの運動、町と村、町並み〔伝統的建造物群保存地区など〕、町外れ、門前町

＝街〔主に店などが並んでいるところ、街路〕学生の街、街角、街筋、街並み、街の声、街の灯、街行く人々

〔注〕「町(街)づくり、町(街)並み」などは内容によって使い分ける。

まち… 待ち合わせる、待ちかねる、待ち構える、待ち焦がれる、待ち時間、待ち遠しい、待ち望む、待ち人、待ち伏せ、待ちぼうけ、待ちわびる、**待合**〔貸席業〕、**待合【室】**、**待合政治**

まぢか (真近、目近)→間近

まちがう 間違う　間違い、間違える

まちまち (＊区々)→まちまち　意見がまちまち

まつ マツ・松〔植物〕松飾り、松並木、松の内、松ぼっくり、マツムシ・松虫〔動物〕

まつ
＝待つ〔待機〕バスを待つ

＝(俟つ)→まつ〔望みを託す〕今後の研究にまつ、本人の自覚にまつ

まつえい 末裔(まつえい)　(末裔)→子孫、末孫、

まっか ㊒真っ赤
まつかさ (松毬、松笠△)→松かさ
まっき 末期〔初期の対語〕末期的症状
まつくいむし 松くい虫〔森林病害虫等防除法による〕
まつげ (睫毛、睫△)→まつげ
まつご 末期〔死に際〕末期の水
まっこう 抹香 抹香臭い、マッコウクジラ〔動物〕
まっさお ㊒真っ青
まっしぐら (驀地△、真っしぐら▲)→まっしぐら
まっしょう (末梢△)→末節、末端、末梢(まっしょう)
まっすぐ (真っ直ぐ)→真っすぐ
まったく ㊐全く・まったく
まったけ (松茸△)→マツタケ〔菌類〕まったけご飯
まっとう (真っ当)→まっとう(な話)、まとも
まっとうする (完うする)→全うする
まつばづえ (松葉杖△)→松葉づえ
まっぴら ㊐真っ平・まっぴら
まつよいぐさ マツヨイグサ・待宵草〔植物〕
まつり 祭り 後の祭り、お祭り騒ぎ、七夕祭り、血祭り、火祭り、祭りばやし、宵祭り、夜祭り
〔注〕「葵祭、祇園祭、三社祭」など、一般に仮名を送らないものは慣用に従う。
まつる (祀△る)→祭る 氏神を祭る、祭り上げる
まつる (奉・る、献・る)→まつるささげまつる
まつわる (纏△わる)→まつわる 犬がまつわりつく、平家にまつわる伝説
まてんろう (魔天楼▲)→摩天楼
まとう (纏う)→まとう 足手まとい、付きまとう、身にまとう
まどう 惑う 思い惑う、戸惑う、逃げ惑う、惑わす
まな… (愛△)→まな まな弟子、まな娘
まないた (俎△、俎板、真魚・板)→まな板
まなこ 眼 寝ぼけ眼
まなざし (眼・差し)→まなざし
まなじり (眦△、まな尻▲)→まな

じり

まなびや　(＊学舎)→学校、学びや

まぬかれる　免れる〔「まぬがれる」とも〕

まね　(真似)→まね　口まね、人まね、まね事、まねる、見よう見まね、物まね

まのあたり　(眼の辺り)→目の当たり

まばたく　(瞬く)→まばたく

まばら　(疎ら)→まばら　まばらな人影

まひ　(麻痺)→まひ、しびれ　交通まひ、心臓まひ

まぶか　(眼深、真深)→目深

まぶしい　(眩しい)→まぶしい

まぶた　(目蓋、眼瞼、瞼)→まぶた　まぶたに浮かぶ

まほうじん　(魔法陣)→魔方陣

まま　(儘)→まま　裕の身裕のまま、ままならぬ人の世、昔のままの家

まま　間々　失敗も間々ある

ままはは　(＊継母)→継母＝けいぼ

〔注〕「まま母」は使わない。

まみえる　(見える、目見える)→まみえる

まむし　(蝮)→マムシ〔動物〕　むし酒

まめ　マメ・豆〔植物〕血豆、豆絞り、豆鉄砲、豆まき

まめ　(＊忠実)→まめ　足まめに、筆まめ、まめに働く、まめまめしい

まめ　(肉刺)→まめ　足のまめ

まめつ　(磨滅)→摩滅

まもう　(磨耗)→摩耗

まもなく　(間)間もなく

まもる　(護る)→守る　お守り、守り神、守り札、守り本尊

まゆ　繭　繭玉

まゆ　眉　眉毛、眉墨、眉唾

まよう　迷う　気迷い、血迷う

〔注〕「さまよう」は平仮名書き。

まり　(毬、鞠)→まり　ゴムまり、まりつき、蹴鞠

まりも　(毬藻)→マリモ〔植物〕

まる・まるい　＝丸〔一般用語〕頭を丸める、背中を丸くする、二重丸、丸い玉、丸い輪、丸写し、丸顔、丸木舟、丸く収まる、丸腰、丸ごと、丸3年、丸染め、丸太、丸出し、丸太ん棒、丸投げ、丸裸、丸干し、丸々10年、丸々手に入れる、

丸見え、丸もうけ、丸焼け、真ん丸

＝円〔特別用語。円形、円満〕円い月、円い人柄、円がんな・円のみ〔大工道具〕、円天井、円盆、円窓、円屋根、真ん円〔主に平面的、幾何学的〕

まるきり 副(丸切り)→まるきり〔「まるっきり」とも〕

まるで 副(丸で)→まるで まるで夢のようだ

まるまると 副丸々と(太る)

まるめる 丸める 丸め込む

まれ (稀、希)→まれ

まろやか (丸やか、円やか)→まろやか

まわし・まわす 回し・回す 後回し、回覧板を回す、狂言回し、たらい回し、手回し、根回し、乗り回す、回し者〔注〕相撲の「(化粧)まわし」は平仮名書き。

まわり

＝回り〔一般用語。巡回、回転、円筒形の周囲の寸法〕近所を一回りする、首回り40㌢のワイシャツ、火の回りが早い、回りくどい、回り舞台、回り道、回り持ち、幹回り、水回り、身の回り(の世話・品)

＝周り〔周辺、名詞形だけ〕家の周り、池の周りを回る、地球の周り、周りがうるさい、周りの人

まわる (周る、廻る)→回る

まん

＝慢〔怠る、おごり高ぶる〕我慢、緩慢、自慢、怠慢、慢心

＝漫〔そぞろに、とりとめがない〕散漫、冗漫、放漫、漫画、漫談、漫筆、漫歩、漫遊、漫録

まんいち 副万一 万が一

まんえん (蔓延)→はびこる、流行、横行、まん延

まんかんしょく (万艦色)→満艦飾

まんげきょう 万華鏡

まんざ (万座)→満座(の中で)

まんざい

＝(万才)→漫才〔寄席演芸〕上方漫才

＝万歳〔民俗芸能〕三河万歳

まんざいらく 万歳楽〔雅楽〕

まんざら 副(満更)→まんざら

まんじゅう (饅頭)→まんじゅう

まんしんそうい (満身創痍)→

満身創痍(そうい)

まんせい（漫性▲）→慢性

まんぜん（慢然）→漫然

まんだら（曼荼羅、曼陀羅△△△）→まんだら・曼荼羅（曼陀羅(まんだら)とも）

まんぱい（満配▲）→満杯

まんびき 万引

まんべんなく 副（万遍なく）→満遍なく

まんまん

＝満々〔満ちあふれている〕杯に満々と注ぐ、自信満々、満々たる水

＝漫々〔果てしなく広々としている〕漫々たる大海

まんをじす（万を持す▲）→満を持す

【み】

み

＝実 実入り〔穀物の成熟・収穫、仕事の収入〕、実入りがよい、実が入る〔実が熟す、大きくなる〕、実のない話、実を結ぶ

＝身 知識が身に付く、身が入る〔一生懸命になる〕、身が持たない、身から出たさび、身なり、身に余る、身に覚え、身の上、身の毛がよだつ、身の振り方、身の程、身の回り〔の世話・品〕、身ぶり手ぶり、身震い、身持ち、身もふたもない、身を入れる〔心を込める〕、身を任せる、身を持ち崩す、身をもって〔体験・模範〕、身を寄せる、身勝手

み（御）→み み心、み霊、み仏

み… 見合い（結婚）、見合わせる、見落とす、見覚え、見下ろす、見掛け（倒し）、（人を）見掛ける、見かねる、見切り（発車・品）、見下す、見越す、見込み（額）、見境なく、見下げる、見透かす、見損なう、見出し、見立て、見つかる、見繕う、見つける、見積もる、見慣れる、見逃す、秘見栄え、見晴らし、見張り、見舞う、見よう見まね

…み

＝味〔音読みの語などと結合して名詞を作る〕円熟味、甘味＝かんみ＝料、吟味、けれん味、

酸味、地味、滋味、正味、真剣味、真実味、新鮮味、新味、珍味、人間味、人情味、美味、風味、妙味、薬味

＝み〔形容詞の語幹や訓読みの語に続く場合〕赤み、明るみ、厚み、ありがたみ、嫌み、うまみ(のある話)、面白み、重み、勝ちみ、臭み、茂み、渋み(のある芸)、高み、苦み(走る)、深み、丸み、弱み

〔注〕味覚の場合は「うま味、渋味、苦味」と漢字書き。

みいだす　(見出す)→見いだす

みいり　(身入り)→実入り

みいる

＝見入る〔注視する〕一挙手一投足に見入る、工芸品に見入る

＝魅入る〔とりつく、魂を奪う〕悪魔に魅入られる

みえ　(見栄、見得)→見え　見えっ張り、見え坊、見えを切る

みおさめ　(見収め)→見納め

みかえし　(身返し)→見返し〔製本、洋裁など〕

みかえり　見返り〔担保や保証、代償として差し出すもの〕見返り資金・物資

みがきにしん　(磨きにしん)→身欠きにしん

みがく　磨く　靴磨き、磨き粉

みかぐら　御神楽〔皇室関連〕

㊟「かぐら」の項

みかげいし　㊞御影石〔㊟花こう岩とも〕

みかた　(身方、御方)→味方

みかど　(帝、御門)→みかど

みがわり　(身替わり)→身代わり

みかん　(蜜柑)→ミカン〔植物〕　温州ミカン、みかんジュース

みきわめる　(見究める)→見極める

みくだりはん　(三行半、三下り半)→三くだり半

みくびる　(見縊る)→見くびる

みけん　眉間

みこ　(巫女、神子)→みこ

みこし　(御輿、神輿)→みこし

みごたえ　見応え

みごと　(美事)→見事

みごもる　(身籠もる)→身ごもる

みじかい　短い　気短、手短、短め

みじめ　惨め

みじん　(微塵)→みじん

みず…　水揚げ畳、水浴び、水あめ、水掛け論、水枯れ、水際、水煙、水攻め〔攻撃〕、水責め〔拷問〕、水炊き、水っぱな、水浸し、水膨れ、水まき、水増し、水回り、水漏れ、水割り

みずおち　(鳩尾)→みずおち〔「みぞおち」とも〕

みずかき　(水掻き、蹼)→水かき

みずかさ　(水嵩)→水かさ、水畳

みずから　㊞自ら

みずごり　(水垢離)→水ごり

みずさし　(水指し)→水差し〔茶道具は水指〕

みずひき　水引

みずみずしい　(瑞々しい)→みずみずしい

みする　魅する　魅せられる

〔注〕「魅せる」は文法的に誤り。

誤りやすい語句（488ページ）

みせじまい　(店閉まい、店仕舞い、店終い)→店じまい

みせもの　(見世物)→見せ物

みせる　見せる　医者に見せる、興味を見せる、見せ金、見せしめ、見せつける、見せ場、見せびらかす、目に物見せる

〔注〕「…してみせる、やってみせる」など、主に「て」が加わった補助動詞の場合は平仮名書き。

みそ　(味噌)→みそ　手前みそ、みそ汁、みそっかす、みそ漉け、みそを付ける

みぞう　未曽有

みそか　(晦日)→みそか　大みそか

みそぎ　(禊ぎ)→みそぎ

みそじ　(三十路)→三十路

みそめる　(見染める)→見初める

みぞれ　(霙)→みぞれ

〔注〕みぞれは雪と雨の交ざった状態。「みぞれ交じり」は誤り。

みたす・みちる　(充)→満たす・満ちる　満ち欠け、満ち潮、満ち足りる、満ち干、要求を満たす

みだす・みだれる　乱す・乱れる　乱れ打ち、乱れ髪

みたま　(御霊)→み霊

みだら　(淫ら、猥ら)→みだら

みち　(路、途、径)→道　道草、㊞道すがら、道筋、道連れ、

道端、㊞道々、道行き

みぢか 身近

みちしるべ （＊道標）→道しるべ

みちのり （＊道程）→道のり

みちびく 導く

みつ 蜜 蜂蜜、蜜豆

みつ 三つ 三つ編み、三つ折り、三つ子の魂、三つぞろい、三つ葉、三つまた

みつぐ 貢ぐ 貢ぎ物

みつげつ （密月▲）→蜜月

みっつ 三つ

みつどもえ （三つ巴△）→三つどもえ

みつばち ミツバチ・蜜蜂〔動物〕

みつまた （三椏△）→ミツマタ〔植物〕

みつもり 見積もり（計算、超過、面積） 見積《額》、見積計算書 ㊟経済複合語（102ペ）

みつりょう
＝密猟〔不法な猟〕カモの密猟
＝密漁〔不法な漁〕サケの密漁

みてとる 見て取る 相手の弱点を見て取る

みとう
＝未到〔まだ到達しない、主に業績・記録に〕前人未到の記録
＝未踏〔まだ足を踏み入れない、主に土地に〕人跡未踏の地・山、未踏峰に挑む

みとおし （見透し）→見通し

みどころ （見所、見処）→見どころ

みどし （巳年△）→み年・巳年、へび年

みとめる 認める 認め印

みどり （翠△）→緑 薄緑、黄緑、深緑、緑の黒髪
〔注〕祝日は「みどりの日」。

みとりず 見取り図

みとる
＝見取る〔状況を見る〕
＝（看取る）→みとる〔（死期まで）看病する〕母親の最期をみとる

みとれる （見蕩れる△、見惚れる△）→見とれる 絵に見とれる

みな 皆 皆殺し、皆さま、皆さん、皆々
〔注〕「みんな」は平仮名書き。

みなす （看做す△）→見なす
〔注〕「みなし公務員、みなし仕入れ率」などは平仮名書き。

みなづき （水無月）→水無月（みなづき）

みなも （＊水面）→水面（みなも）〔水面（みのも）と

も）

みならい
＝見習い〔一般用語〕行儀見習い
＝**見習**〔地位、身分〕【社員】見習、見習【社員】

みならう（見倣う）→見習う

みね（嶺）△→峰　峰打ち、峰伝い、峰続き

みの（蓑）△→みの　隠れみの、みのかさ、ミノムシ〔動物〕

みのしろきん　㊥身代金

みばえ（見映え）→㊎見栄え　見栄えがする

みはからう　見計らう

みはなす（見離す）→見放す

みはらい　未払い　未払い金

みぶり（身振り）→身ぶり

みぼうじん　⊗未亡人〔使わない〕

〔注〕「故○○氏の妻、○○夫人、○○さん」などと具体的に表記し、一般的には「夫を亡くした女性」などとする。

みまい　見舞い　暑中見舞い、見舞いはがき、見舞《金》、見舞客、見舞状

みみ　耳　耳新しい、耳打ち、耳かき、耳飾り、耳ざとい、耳遠い、耳鳴り、耳慣れる、耳元、耳寄り

みみざわり（耳触り）→耳障り
〔注〕「耳障りの良い」は誤り。㊐誤りやすい語句（488㌻）

みみず（蚯蚓）△△→ミミズ〔動物〕　みみず腫れ

みみずく（木菟）△→ミミズク〔動物〕

みもと（身許）→身元　身元不明・保証、身元を引き受ける、身元引受人

みもの（見物）→見もの

みゃくはく（脈搏）△→脈拍、脈

みやげ　㊥土産　置き土産

みやこ　都　都落ち、都育ち、都をどり〔固有名詞〕

みやび（雅）→みやび　みやびた琴の音、みやびやかな衣装

みょうが（茗荷）△→ミョウガ〔植物〕

みょうじ（苗字）→名字

みょうじょう　明星　明け・宵の明星

みょうだい　名代

みょうねんど（明年度）→来年度　㊐日時の書き方（528㌻）

みょうばん（明礬）→㊎ミョウバン

みょうり（冥利）→冥利（みょうり）　冥利（みょうり）

に尽きる

みりん　(味醂△、味淋△)→みりん

みる　(観る、看る、視る)→見る〔一般用語〕足元を見る、憂き目を見る、映画・テレビを見る、大目に見る、景気の動向を見る、隙を見る、調子を見る、疲れが見える、手相を見る、被災現場を見る、人を見る目がある、日の目を見る、見え見え、㊀見るからに、㊀見る見る(うちに)、面倒を見る、様子を見る

＝**みる**〔補助動詞、主に動詞の連用形に「て」の付いた形を受ける場合〕朝起きてみると、意見を聞いてみる、Aさんが亡くなってみると、考えてみる、食べてみる、試してみる、私としてみれば

〔推測、予測〕可能性が高いとみて、容疑者とみられる

〔来るの尊敬語〕先生がこちらにみえる

＝**診る**〔診察〕医者に診てもらう、患者を診る、脈を診る

〔注〕「診せる」は使わない。

みんじょう　民情(視察)

みんせい

＝**民生**〔国民の生活〕民生委員、民生技術、民生を安定させる

＝**民政**〔文官による政治、軍政の対語〕民政移管

みんぞく

＝**民俗**〔民間の風俗や伝承〕国立歴史民俗博物館、民俗学〔フォークロア〕、民俗信仰、民俗文化財〔文化財保護法〕

＝**民族**〔人種・地域などを同じくする集団〕国立民族学博物館、多民族国家、民族解放、民族学〔エスノロジー〕、民族自決、民族宗教

〔注〕衣装、音楽、楽器、芸術、芸能、服、舞踊、料理などは内容によって使い分ける。

みんな　(皆)→みんな

【む】

むいむかん　無位無官(無位無冠は比喩的用法)

むかう　向かう　向かい合わせ、向かい風、面と向かって

むかえる　迎える　迎え入れる、迎え撃つ、迎え酒、迎え火

むかっぱら　(向かっ腹)→むか

っ腹

むかで　(＊百足)→ムカデ〔動物〕むかで競走

むがむちゅう　(無我無中)→無我夢中

むぎ　ムギ・麦〔植物〕大麦、小麦、麦焦がし、麦とろ、麦踏み、麦まき、麦わら帽子

むきになる　(向きになる)→むきになる

むく　向く　向き合う、向き直る、向き不向き

むく　(剝く)→むく　芋をむく、牙をむく、むき出しの感悄、目をむく

むく　(無垢)→清浄、汚れない、純粋、無垢　白無垢

むくいる　(酬いる)→報いる　報われる

むくのき　(椋の木)→ムクノキ〔植物。ムクの木としない〕

むげに　㊞(無下に、無気に、無碍に)→むげに

むげんじごく　(無限地獄)→無間地獄〔「むけん」とも〕

むこ　(無辜)→罪のない、善良な

むごい　(酷い、惨い)→むごい　むごたらしい

むこう　向こう　向こう意気、向こう側、向こう傷、向こう隣、向こう鉢巻き、向こう見ず、向正面(相撲、競馬)

むさぼる　(貪る)→むさぼる

むざん　(無惨)→㊙無残

むし　虫　腹の虫が治まらない、虫送り、虫がいい、虫が好かない、虫が付く、虫食い、虫けら、虫の息、虫の知らせ、虫干し、虫眼鏡、虫よけ

むし…　蒸し暑い、蒸し返す、蒸し菓子、蒸し器、蒸し風呂、蒸し焼き

むじ　無地

むしず　(虫酸、虫唾)→むしず

むじな　(狢、貉)→ムジナ〔動物〕同じ穴のむじな

むしば　(齲歯)→虫歯

むしばむ　(虫食む、蝕む)→むしばむ

むしゃ　武者　落ち武者、武者修行、武者震い

むじゃき　無邪気

むしゃぶりつく　(武者振り付く)→むしゃぶりつく

むじょう　＝無情〔思いやりがない〕無惨な仕打ち、無惨の雨

＝無常〔はかない〕諸行無常、無常観・感、無常な世の中
＝無上〔この上もない〕無上の光栄、無上の喜び
むしょうに 副無性に
むしろ 副(寧ろ)→むしろ
むしろ (筵、蓆)→むしろ　針のむしろ、むしろ旗
むす　蒸す　茶わん蒸し
むずかしい　難しい〔「むつかしい」とも〕気難しい、小難しい、難しさ
むずかる　(憤る)→むずかる
むすこ 他息子
むすぶ　結ぶ　縁結び、係り結び、実を結ぶ、結び付き、結びの一番、結び目、小結(相撲)
〔注〕「おむすび」は平仮名書き。
むすめむこ　娘婿〔女婿＝じょせい＝とも〕
むせぶ・むせる　(咽、噎)→むせぶ・むせる　煙にむせる、涙にむせぶ、むせ返る、むせび泣く
むそう
＝夢想〔夢見る〕明るい未来を夢想、夢想家、夢想だにしない
＝無想〔何も考えない〕無想の境地、無念無想
むぞうさ　(無雑作)→形無造作
むだ　無駄　無駄死に、無駄遣い、無駄話
むち
＝(無智)→無知〔知識がない〕無知蒙昧
＝無恥〔恥知らず〕厚顔無恥
むち　(鞭、笞)→むち　アメとムチ、老骨にむち打つ
むちうちしょう　(鞭打ち症)→頸椎捻挫、むち打ち損傷
むちゃ　(無茶)→むちゃ　むちゃくちゃ
むつ　六つ　尋れ六つ
むつき　(睦月)→睦月
むっつ　六つ
むつまじい　(睦まじい)→むつまじい
むとんちゃく　無頓着〔「むとんじゃく」とも〕
むな…　胸板、胸くそ、胸ぐら、胸苦しい、胸騒ぎ、胸算用、胸突き八丁、胸元
むなぎ　棟木
むなしい　(空しい、虚しい)→むなしい
むね　胸　胸三寸に納める、胸焼け

むね 棟　棟上げ式、棟割り長屋
むぼう（無暴）→無謀
むほん（謀叛）→謀反
むやみ（無暗、無闇）→むやみ
むら 村　村おこし、村時雨、村芝居
むら（斑）→むら　色むら、成績にむらがある、染めむら、むら(っ)気、むらのある気質
むらがる 群がる
むらさき 紫(色)、ムラサキ・紫(植物)ムラサキツユクサ
むらさめ（叢雨）→村雨
むらす 蒸らす　蒸れる
むりじい 無理強い
むりやり 副(無理矢理)→無理やり
むれ・むれる 群れ・群れる
むろん 副無論・むろん

【め】

め（眼）→目　目新しい、目当て、目移り、目が据わる、目が出る(賭け事)、目が離せない、目利き、目くじらを立てる、目くるめく、目刺し(干物)、目ざとい、目障り、(タイルの)目地、目じゃない、目印、目つき、目と鼻の先、目の子、目盛り、目をかける、目を付ける、目を見張る

め ＝目 (数詞に接続して順序を表す、生物の目に関連あるもの、状況、境遇、体験、区別、境目など)編み目、網目、合わせ目、色目を使う、憂き目、薄目を開く、裏目、運命の分かれ目、落ち目、お披露目、折り目、織り目、掛け目、勝ち目、金目の物、効き目、利き目、切れ目、焦げ目、境目、3番目、時候の変わり目、死に目に会う、芝目を読む、尻目、筋目、台風の目、付け目、天下分け目、遠目が利く、とんだ目に遭う、長い目で見る、縫い目、抜け目、引け目を感じる、人目につく、日の目を見る、二つ目、細目を開ける、升目、結び目、弱り目にたたり目、割れ目

め ＝め (主に形容詞語幹の接尾語として度合い・加減・性質・傾向の意を示す)厚め、薄めの色、大きめ、抑えめ、遅め、硬め、辛め、濃いめ、少なめ、

高め、近めのボール、遠めの球、長めのズボン、早め、控えめな態度、低め、広め、太め、細めの糸、短め、安め

め 芽　木の芽、新芽、芽が出ない有望新人、芽が出る〔新芽、チャンスが巡ってくる〕、芽生え、芽吹く、芽を摘む

め… 雌牛、雌花

めい

＝**名**〔呼び名、すぐれている〕名案、名鑑、名手、名目

＝**銘**〔記す、上等のもの〕銘打つ、銘柄、銘仙、銘茶

めい（姪）△→めい

めいおうせい 冥王星

めいか 銘菓〔名菓とも〕

めいかい

＝**明快**〔筋道が明らかですっきりしている〕単純明快、明快な解説・答弁・判断・理論

＝**明解**〔はっきりした解釈〕字義が明解、明解な注釈

めいき

＝**明記**〔はっきりと書く〕憲法に明記された権利、理由を明記する

＝**銘記**〔心に刻んで忘れない〕歴史の教訓を銘記する

めいぎ（名儀）▲→名義

めいげつ

＝**明月**〔一般用語。明るい月〕明月の夜

＝**名月**〔特別用語〕栗名月〔豆名月とも。陰暦9月13日の月〕、中秋の名月〔芋名月とも。陰暦8月15日の月〕

めいげん

＝**名言**〔すぐれた言葉〕名言集、名言を吐く

＝**明言**〔はっきり言う〕明言を避ける

めいさい 明細　給与明細

めいさい 迷彩　迷彩建造物・テント・服

めいさつ（名刹）→名高い寺、由緒ある寺、名刹（めいさつ）

めいしゅ 銘酒〔名酒とも〕

めいじる

＝**命じる**〔任命する、命令する〕課長を命じる、感慨の命じるまま、退場を命じる

＝**銘じる**〔心に深く刻みつける〕肝に銘じる

〔注〕「命ずる、銘する△」とも。

めいせき（明晰）△→はっきり、

明敏、明晰(めいせき)

めいそう(瞑想△)→沈思、黙想、瞑想(めいそう)

めいっぱい(目一杯)→目いっぱい

めいてい(酩酊△△)→深酔い、酔っぱらう、酩酊(めいてい)

めいど(冥途)→冥土

めいとう
＝名答〔すぐれた答え〕
＝明答〔はっきり答える〕

めいとう
＝名刀〔すぐれた刀、有名な刀〕
＝銘刀〔銘の入った刀〕

めいふく 冥福

めいぶん
＝名文〔すぐれた文章〕天下の名文、名文家
＝明文〔はっきりと文章・条文に書き示す〕法に明文化する、明文の規定
＝銘文〔金属や石などにしるした文章〕碑の銘文、仏像の銘文

めいぶん(明分▲)→名分 大義名分

めいぼく
＝名木〔名高い木、優れた香木〕
＝銘木〔床柱などに使う趣のある材木〕

めいめい
＝銘々〔名詞〕銘々皿
＝めいめい〔副詞〕めいめい(で)行く

めいもく(瞑目△)→目をつぶる、安らかに死ぬ

めいよきそん(名誉毀損、名誉棄損)→名誉毀損(きそん)

めいりょう 明瞭

めいる(滅入る)→めいる

めうし(牝牛△)→雌牛

めおと(＊夫婦)→めおと〔「みょうと」とも〕めおと茶わん

めがね ㊞眼鏡

めくばせ 目配せ

めくら ⊗(盲)→目の見えない人・状態
☞差別語、不快用語(490ページ)

めくらうち ⊗(盲撃ち、盲打ち)→目標も定めず・むやみに撃つ・打つ

めくらばん ⊗(盲判)→内容を確かめもせず・いいかげんに・よく調べずに判を押す

めくらめっぽう ⊗(盲滅法)→やみくも、でたらめ

めぐる 巡る〔回る、囲む〕池を巡る、堂々巡り、名所巡り、

巡り合い、巡り歩く、巡り合わせ、巡り巡って

〔…について、関連する〕彼を巡るうわさ、…問題を巡り紛糾

めざす (目差す)→目指す

めざましい 目覚ましい

めざめる 目覚める

めし 飯 一膳飯、にぎり飯

めしべ (雌蕊△)→㊒めしべ・雌しべ

めしゅうど ㊒召人〔宮内庁では「めしうど」と読む〕

めじり (眦△)→目尻

めじろおし (目白押し)→めじろ押し

めす 召す お気に召す、召し上がる、召し抱える、召し捕る

めす (牝△)→雌、㊒牝〔競馬〕

めずらしい 珍しい

めちゃ (滅茶、目茶)→めちゃめちゃくちゃ

めっき (鍍金△)→㊒めっき・メッキ

めつけ 目付け(役)、**目付**〔歴史用語〕大目付

めっそう (滅相)→めっそう

めった (滅多)→めった めった打ち・撃ち、㊒めったに

めっぽう ㊒(滅法)→めっぽう

めでたい (芽出度い、目出度い)→めでたい

めど (目処、＊目途)→めど めどが立つ、めどを付ける

〔注〕「目途＝もくと」とも。

めぬき ＝目抜き〔繁華な場所〕目抜き通り

＝(目貫き)→目ぬき〔刀身をつかに留めるくぎ、それを覆う金具〕黄金の目ぬき

めばり (目貼り)→目張り

めびな (女雛△)→女びな

めぼし 目星 目星を付ける

めぼしい (目星い)→めぼしい

めまい (目眩、眩暈△)→目まい

めまぐるしい (目紛しい)→目まぐるしい

めもと (目許)→目元

めやす 目安 目安箱

めりはり (減り張り)→めりはり めりはりが利く

めん 麺 つけ麺、麺つゆ、麺類

めんか (棉花△)→綿花

めんくらう (面喰らう△)→面食らう

めんこ (面子)→めんこ・メン

コ

めんたいこ　(明太子)→めんたいこ　辛子めんたいこ

めんつ　(面子)→メンツ、面目

めんどう　面倒　面倒がる、面倒くさい、面倒見がいい

めんどり　(雌鳥、*雌鶏)→めんどり

めんぼう　面貌

〔注〕なるべく「顔つき、面ざし」などとする。

めんぼく　面目(「めんもく」とも)　面目ない、面目をつぶす・施す

めんよう　(綿羊△)→綿羊

【も】

もう　＝妄(節度がない、でたらめ)虚妄、迷妄、妄言(「ぼうげん」とも)、妄執、妄信、妄想、(軽挙)妄動、妄念　＝盲(目が見えない、ふさがる)　盲腸、盲点、盲導犬、盲目

〔注〕不快用語的な表現とされる「盲愛、盲従、盲目的」は「溺愛、何も分からずに従う、むやみに」などと言い換える。

もうかる・もうける　(儲△)→もうかる・もうける　1男1女をもうける、株でもうける、5万円もうかる

もうし…　申し合わせ、申し入れ、申し入れ書、申し受ける、申し送り、申し付ける、申し出＝で、申し開き、申し分、申し渡し

もうしいで　(申し出で)→申しいで

もうしこみ　申し込み(受け付け、開始・終了、契約・解約、状況、条件、済み、増加、手続き、方法、予定)　**申込《書》**、**申込受付期日・銀行、申込開始日・終了日、申込契約金・期日、申込締め切り日、申込証拠金、申込増加額、申込予定日・額** ㊟経済複合語(102ページ)

もうしたて　申し立て(権限、事項、手続き、方式・方法、予定)　**申立《人》** ㊟経済複合語

（102ページ）

もうじゃ（妄者）→亡者　金の亡者、我利我利亡者

もうしわけ（申し分け）→申し訳　申し訳ない、申し訳ばかりの謝礼

もうでる　詣でる　熊野詣で、神社に詣でる、初詣

もうとう　㊞毛頭

もうどう（盲動）→（軽挙）妄動

もうまい（蒙昧）→無知、暗愚　無知蒙昧

もうろう（朦朧）→もうろう、ぼんやり

もうろく（耄碌）→もうろく、老いて衰える

もえぎ（萌黄、萌葱）→もえぎ

もえる　＝燃える　希望に燃える、燃えさし、燃え尽きる　＝（萌える）→もえる〔芽ぐむ〕新緑・若草がもえる

もくず（藻屑）→藻くず

もくと　目途　㊟「めど」の項

もくとう（黙禱）→祈念、祈り、黙とう

もくひ（黙否）→黙秘　黙秘権

もくよく（沐浴）→水浴、湯あみ、身を清める、沐浴（もくよく）

もぐら（＊土竜）→モグラ〔動物〕もぐらたたき

もくれい　＝目礼〔目で会釈する〕　＝黙礼〔無言でお辞儀する〕

もくろみ（目論見）→もくろみ　もくろむ

もくろみしょ　㊞目論見書

もけい（模形）→模型

もこ（模糊）→ぼんやり、曖昧・あいまい　曖昧模糊（もこ）

もさ　㊞猛者

もさく（摸索）→模索

もし　㊞（若し）→もし

もしくは（若しくは）→もしくは

もじどおり　㊞文字通り

もじる（捩る）→もじる

もす・もやす　燃す・燃やす

もたれる（凭れる）→もたれる　胃がもたれる、壁にもたれる、もたれ合い、もたれ掛かる

もち　餅　ひし餅、餅菓子

〔注〕食品以外の「尻もち、もち肌、焼きもち」などは平仮名書き。

もち…　持ち味、持ち合わせ、持ち替える、持ち掛ける、持ち崩す、持ち越し、持ち

時間、持ち直す、持ち分、持ち前、持ち回り〔閣議〕、持ち寄る

もちあい
＝持ち合い〔互いに持つ〕株式の持ち合い、費用はみんなで持ち合う、持ち合い所帯
＝(保ち合い)→もちあい〔動きがない、均衡〕この碁はもちあいだ、高値でもちあう、もちあい相場

もちかぶ 持ち株 社員持ち株会、持ち株会社

もちごま 持ち駒

もちごめ (糯、糯米)→もち米

もちつき (餅搗き)→餅つき

もちろん 副(勿論)→もちろん、無論・むろん

もつ (保つ)→持つ 肩を持つ、気を持たせる、座を持たす、日持ちする缶詰、身が持たない、持ちつ持たれつ

もったい (勿体)→もったい もったいない、もったいぶる

もって
＝持って〔持つ〕持って生まれた性格、持って回った言い方
＝(以て)→もって〔…によって、…の理由で〕これをもって閉会とする、碁をもって毒を制す、もっての外

もってこい (持って来い)→もってこい(の仕事)

もっとも
＝最も〔一番〕最もうれしい贈り物、最も活躍した選手
＝(尤も)→もっとも〔道理にかなう、ただし〕ごもっともな意見、もっとも今は無理だ、もっともらしい話

もっぱら 副専ら・もっぱら

もてあそぶ (玩ぶ、弄ぶ、持て遊ぶ)→もてあそぶ

もてあます 持て余す

もてなす (持て成す)→もてなす

もてはやす (持て囃す)→もてはやす

もと
＝(許)→元〔一般用語。以前、物事の始まり〕㊙足元、家元、親元、彼の元に急ぐ、口元、国元、混乱の元、出版元、手元、㊙根元、喉元過ぎれば、発売元、㊙膝元、火の元、本家本元、枕元、身元、目元、元受け(保険)、元請け(業者)、元売り、元卸、元から

やり直す、元金、元肥、元栓、元帳、元手、元通り、元のもくあみ、元も子もない、元を取る、元締(職分)、(髪の)元結

‖下(支配下、手段など)一撃の下に倒す、一定の条件の下で成立する、彼の下で働く、幸運の星の下に生まれる、白日の下にさらす、旗の下に集まる、法の下に平等、命令の下に動く、勇将の下に弱卒なし

‖本(末の対語、本来)本と末、本を正す、本をただせば(本はといえば)、本を絶つ

‖基(基本、基礎)基になる資料

‖(因、素)→もと(原因、原料)

口は災いのもと、元気のもと、スープのもと

もとうた 元歌(替え歌のもと。和歌・連歌などは本歌(取り))

もとづく 基づく 資料に基づく

もとめて 副求めて 求めて困難に立ち向かう

もともと 副元々・もともと

もとより 副(固より、素より、元より、本より)→もとより

もなか (最中)→もなか

もぬけのから (蛻の殻、藻抜けの殻)→もぬけの殻

もの

‖物(一般用語)背物、組み物、縁起物、(政界の)大物、贈り物、近海物、壊れ物、死に物狂い、人悄物、年代物、拾い物、物言い、物忌み、物入り、物憂い、物おじしない、物惜しみ、物音、物覚え、物思い、物堅い、物語る、物悲しい、物乞い、物心、物腰、物事、物静か、物知り、物好き、物する、物足りない、物になる、物の見事、物は試し、物干し、物欲しげ、物まね、物見高い、物見遊山、物珍しい、物々しい、物柔らか、物分かり、物忘れ、物笑い、焼き物、汚れ物、割れ物、物置、物語

(注)「もの憂い、もの悲しい」など接頭語は平仮名書きも。

‖もの(形式名詞など)親の言うことは聞くものだ、比べものにならない、こういうもの、…したものだ、(返事は)したものの、出題そのものが間違っている、切腹もの、そうしたいものだ、その解答は正しいものと認める、人悄という

ものは、冷や汗もの、ものの1分もすれば、ものの弾み

…もの 臆病者、愚か者、変わり者、剛の者、極道者、若造者、怠け者、のけ者

ものかげ ＝物陰〔物に隠れて見えない所〕物陰から飛び出す、物陰に身を隠す

＝物影〔何かの姿・形〕不気味な物影、物影が動く

ものぐさ 〔物臭、懶△〕→ものぐさ

ものさし 〔物指し〕→物差し

ものすごい 〔物凄い〕→ものすごい

ものわかれ 〔物分かれ〕→物別れ

ものをいう ＝物を言う〔口出し〕臆測で物を言う

＝ものをいう〔役立つ〕経験がものをいう

もはや 副〔最早・〕→もはや

もほう 〔摸△倣〕→模倣

もみ 〔籾△〕→もみ もみ殻

もみじ 副紅葉 もみじおろし、紅葉狩り

もむ・もめる 〔揉△〕→もむ・もめる 内輪もめ、きりもみ、塩もみ、もみ合い、もみ上げ、もみくちゃ、もみ消す、もみ手、もみほぐす、もめ事

もめん 副木綿

もも モモ・桃〔植物〕桃の節句、桃割れ

もやし 〔萌△やし、藥△〕→モヤシ

もよう ＝模様〔柄、様子〕荒れ模様、会議の模様を中継、唐草模様、人生模様、裾模様、空模様、模様替え、模様眺め 🔊あめもよう」の項

＝もよう〔推測〕決着したもようだ、犠牲者は増えるもよう

もよおす 催す 催し物

もより 副最寄り

もらう 〔貰△う〕→もらう

もり 〔杜△〕→森 鎮守の森

〔注〕仙台の「杜の都」などは名称通り杜く。

もり ＝守り〔一般用語〕お守り、守りをする

＝**守**〔役割、職分〕子守、桜守、関守、灯台守、墓守、宮守、渡守

もり 盛り 大盛り、切り盛り、酒盛り、目盛り、盛り合わせ、

盛り返す、盛り塩、盛り付け、盛り土、盛り花、泡盛

もりあがる 盛り上がる

もりたてる (守り立てる、盛りたてる)→もり立てる

もる・もらす・もれる (洩)△→漏る・漏らす・漏れる 雨漏り、聞き漏らす、木漏れ日、水漏れ、漏れ聞く、㊞漏れなく

もろざし (双差し)→もろ差し

もろて (諸手、*双手)→もろ手 もろ手突き、もろ手を挙げる

もろとも (諸共)→もろとも

もろは (双刃、諸刃、*両刃)→もろ刃(の剣＝つるぎ)

もろはだ (双肌、諸肌、*両肌)→もろ肌

もろみ (諸味、醪△)→もろみ

もろもろ (諸々)→もろもろ

もん 紋 紋切り型、紋付き

もんし (悶死△)→もだえ死に

もんじゅ (文珠)→文殊(の知恵)

もんぜつ (悶絶△)→気絶、もんぜつ

もんちゃく (悶着△)→騒動、ごたごた、もめ事

もんめ (匁△)→匁(もんめ)

もんもう ⊗(文盲)→読み書きのできない人、非識字者
〔注〕文盲率は「非識字率」とする。

もんよう (紋様)→文様
〔注〕「紋」を使う慣用のあるチョウの羽、小紋などでは「紋様」を使う。

【や】

や ＝家 (主に住居関係に) 空き家、あばら家、一軒家、売り家、大家、借家、離れ家、家賃、家並み、家鳴り、家主、貸家

＝屋 (建物、職業、性質) ㊞母屋、㊞数寄屋、総会屋、長屋、納屋、二階屋、㊞平屋、曲がり屋、屋形船、屋根、分からず屋、建屋

や 矢 矢印、矢継ぎ早

やいば (刃)→やいば

やおちょう ㊞八百長

やおもて (矢表)→矢面

やおや ㊞八百屋

やおよろず (八百万)→やおよろず(の神々)

やかた
＝館〔邸宅〕白亜の館
＝屋形〔屋根の形の覆い〕屋形船
やから（族、輩）→やから
やかん（薬缶）→やかん
やき… 焼き芋、焼き印、焼き魚、焼きそば、焼き鳥、焼き直し、焼き肉、焼き畑〔農業〕、焼き餅〔焼いた餅〕、焼きもち〔嫉妬〕、焼き物
…やき
＝焼き〔一般用語〕お好み焼き、かば焼き、素焼き、照り焼き、どら焼き、野焼き、目玉焼き
＝**焼**〔地名などを冠した工芸品〕有田焼、九谷焼、七宝焼
やぎ（山羊）→ヤギ〔動物〕やぎひげ
やきうち（焼き討ち）→焼き打ち
やきん（冶金）→冶金（やきん）
やく 厄 厄落とし、厄年、厄払い、厄日、厄よけ
やく
＝焼く〔一般用語〕海辺で肌を焼く、魚を焼く、世話を焼く、対策に手を焼く、焼きもちを焼く
＝（妬く）→やく〔ねたむ、うらやむ〕
やく… 2人の仲をやく
役替え、役立てる、役付き、役どころ、役回り
やくさつ（扼殺）→絞殺
やくじ
＝薬事〔医薬品、薬剤師、調剤など〕薬事行政
＝薬餌〔薬となる食品〕薬餌療法
やくびょうがみ（厄病神）→疫病神
やくぶそく 役不足
〔注〕大役過ぎる、力不足の意に使うのは誤り。誤りやすい語句（489ページ）
やくわり 役割
やけ（＊自棄）→やけ やけくそ、やけ酒、やけっぱち
やけ… 焼け跡、焼け石、焼け焦げ、焼け野原、焼け火箸、焼け太り
やけど（＊火傷）→やけど
〔注〕植物の病気は「火傷病＝かしょうびょう」。
やごう（家号）→屋号
やこうせい（夜向性）→夜行性
やさがし 家捜し
〔注〕住む家を探すのは「家探し＝いえさがし」。

やさき　矢先
〔注〕何かが始まろうとする直前の意。直後の意味で使わない。⇔誤りやすい語句（489ページ）

やさしい
＝易しい〔たやすい〕生易しい、易しい問題
＝優しい〔思いやりがある、柔らか〕優しい人、優しい表情

やし　（椰子）△→ヤシ〔植物〕ヤシの実、やし油

やじ　（野次、弥次）→やじ（馬）

やしき　（家敷、邸）→屋敷

やしなう　養う　養い親

やしゃご　（＊玄孫）→やしゃご

やじり　（鏃）△→矢尻

やすい
＝（廉い）→安い〔値段が低い、気軽、穏やか〕お安いご用、気安い、心安い、物価が安い、安上がり、安請け合い、安売り、安っぽい
＝（易い）→やすい〔容易〕扱いやすい、言うはやすし、くみしやすい、親しみやすい、…しやすい、読みやすい、分かりやすい

やすまる　（安まる）→休まる

やすみやすみ　㊜休み休み

やすやす
＝㊜（易々）→やすやす〔容易〕やすやすとだまされる、やすやすと難問を解く
＝安々〔いかにも平穏〕安々と老後を送る

やすらか　安らか　安らぐ

やすんじる　安んじる〔「安んずる」とも〕

やせい
＝野生〔動植物が自然に山野で生きる・育つ〕野生化する、野生児〔野生で育った子〕、野生動物、〔育てたトキを〕野生に返す、野生の狼、野生のバラ
＝野性〔自然・本能のままの性質〕野性児〔野性的な人〕、野性的、野性に返る、野性味

やせる　（痩せる）△→痩せる　着痩せ、夏痩せ、痩せ我慢、痩せっぽち、痩せ細る

やつ　八つ　八つ当たり、八つ切り、八つ裂き、ヤツデ〔植物〕、ヤツメウナギ〔動物〕

やつ　（奴）→やつ

やっかい　厄介　厄介払い

やっき　（躍気）△→躍起

やっきょう　（薬莢）△→薬きょう

やっこ（奴）→やっこ　冷やっこ、やっこだこ

やっつ　八つ

やとう（傭う）→雇う　雇い止め、雇い主

やどりぎ（宿木、＊寄生木）→ヤドリギ・宿り木〔植物〕

やなぎ　ヤナギ・柳〔植物〕ユキヤナギ・雪柳

やなぎばぼうちょう（柳葉包丁）→柳刃包丁

やに（脂）→やに　松やに、やに下がる

やにわに　㊀（矢庭に）→やにわに

やはり　㊀（矢張り）→やはり

やひ（野鄙）→野卑

やぶ（薮）→やぶ　やぶ蚊・やぶっ蚊、やぶから棒、やぶ蛇

やぶさめ（流鏑馬）→流鏑馬（やぶさめ）

やぶにらみ　⊗（藪睨み）→斜視、見当違い

やぶる　破る　記録を破る、証文を破る、平幕が横綱を破った、約束を破る

やぶれる
＝破れる〔一般用語。壊れる、裂ける〕均衡が破れる、国破れて山河あり、計画が破れる、事が破れる、障子が破れる、平和が破れる、破れかぶれ、破れ紙、破れ目、夢が破れる
＝敗れる〔敗戦、敗北〕試合・人生・選挙・戦いに敗れる、敗れ去る

やぼ（野暮）→やぼ　やぼったい、やぼ用

やま　山　山嵐〔風〕、ヤマアラシ〔動物〕、山狩り、山越え、山沿い、山積み、山なり（のスローボール）、山鳴り、山の手、山開き、山焼き、山分け
〔以下は慣用で片仮名書き〕
試合のヤマ、ヤマ勘、ヤマ師、ヤマ場、ヤマをかける、（仕事が）ヤマを越す、ヤマを張る

やまあい（＊山間、山合い）→山あい

やまごもり（山籠もり）→山ごもり

やますそ　山裾

やまと　㊀大和　大和絵、大和なでしこ

やまなみ（＊山脈、山波）→山並み

やまびこ（山彦）→山びこ

やまぶき　ヤマブキ・山吹〔植

物〕山吹色

やまぶし　山伏

やまほこ（山鉾△）→山鉾（やまぼこ）〔「やまぼこ」とも〕

やまやま　㊀（山々）→やまやま

やみ　闇　闇市、闇討ち、闇カルテル、闇献金、闇将軍、闇屋、闇夜、闇取引

〔注〕「ヤミ金融」は慣用で片仮名書き。

やみくも　（闇雲）→やみくも　やみくもに頑張る

やむ　病む　病み上がり、病みつき、病める

やむ　（止む、已む△）→やむ　小やみなく降る、沙汰やみ、降りやむ、やむなく、やむにやまれず、やむを得ない

やめる　＝（罷める）→辞める〔職・地位などをしりぞく〕会社・社長を辞める　＝（止める）→やめる〔ストップする〕たばこをやめる、取りやめ、勉強をやめる

やもり　（＊守宮、家守）→ヤモリ〔動物〕

やゆ　（揶揄△）→からかう、冷やかす、やゆ（する）

やよい　㊀弥生　弥生時代・土器、弥生の空

やり　（槍、鑓△）→やり　やり玉（に挙げる）、やり投げ

やり…　（遣り）→やり　やり合う、やり返す、やりきれない、やり口、やりくり、やり込める、やり過ごす、やり手、やり遂げる、やり直す、やり抜く、やり場がない、やり水

やりとり　（遣り取り）→やりとり

やるせない　（遣る瀬ない）→やるせない

やわら　柔ら〔柔道〕柔らの道

やわらか・やわらかい　＝柔〔主に剛の対語、しなやか、おだやか〕お手柔らかに、事を柔らかに運ぶ、身のこなしが柔らかい、物柔らかな態度、柔らかい明かり、柔らかい茎・葉・実・芽・布地・皮革、柔らかい日差し、柔らかな考え、柔らかな心、柔らかな手触り、柔らかな表情　＝軟〔主に硬の対語、手応えがない、緊張や硬さがない〕ご飯を軟らかく炊く、土質が軟らかい、文章・表現が軟らかい、軟らか

い炭・木材、軟らかい話

〔注〕食べ物は調理前の素材（肉や果実など）自体の性質は「柔」、調理の結果は「軟」だが、どちらかはっきりしない場合も多いので、平仮名書きでよい。

やわらぐ・やわらげる（柔らぐ、柔らげる）→和らぐ・和らげる　硬さが和らぐ、気持ちが和らぐ、声を和らげる、寒さが和らぐ、ショックを和らげる、日差しが和らぐ

【ゆ】

ゆあみ（湯浴み）→湯あみ

ゆいごん　遺言〔「いごん」とも〕

ゆいしょ　由緒

ゆいのう　結納

ゆう　悠　悠久、悠然、悠長、悠々（自適）、悠揚

ゆう　結う　髪結い、元結

ゆう…　夕暮れ、夕涼み、夕なぎ、夕映え、夕べ

ゆういん
＝誘因〔ある作用・状態を引き起こす原因〕過労が誘因となって倒れた、戦争の誘因となった暗殺事件
＝誘引〔誘い入れる〕客を誘引する、誘引剤

ゆううつ（憂鬱）→憂鬱（ゆううつ）

ゆうえん
＝悠遠〔はるかに遠い〕悠遠の昔
＝幽遠〔奥深い〕幽遠な真理、幽遠の趣

ゆうがお　ユウガオ・夕顔〔植物〕

ゆうかく（遊廓）→遊郭

ゆうがとう（誘蛾灯）→誘蛾灯（ゆうがとう）

ゆうぎ（友誼）→友好、友情

ゆうぎ
＝遊技〔許可営業の娯楽など〕遊技場〔パチンコ、ビリヤード、ボウリング、マージャンなど〕
＝遊戯〔一般の遊びごと〕（遊園地の）遊戯機械、幼稚園のお遊戯会

ゆうげん（幽幻）→幽玄

ゆうこう（友交）→友好

ゆうこん（雄渾）→雄大、力強い

ゆうし
＝雄姿〔堂々とした姿、女性にも使う〕選手団の雄姿、富士山の雄姿
＝勇姿〔いさましい姿、人に限定〕みこし担ぎの勇姿

ゆうしゅう（幽愁）→憂愁
ゆうしゅつ　湧出　湧出量
ゆうすい　湧水
ゆうすいち
＝遊水池〔池や沼を活用する場合〕
＝遊水地〔通常は田畑だが大雨などの際に水をためる場所。事業対象とする場合に使用する〕
渡良瀬遊水地〔貯水池＝谷中湖、調整池を含む〕
ゆうずう　融通　融通無碍（むげ）
ゆうせい
＝優生〔医学用語〕旧優生保護法〔現在は母体保護法〕
＝優性〔遺伝学用語。劣性の対語〕
優性遺伝
＝優勢〔勢力が勝る〕優勢勝ち
ゆうぜい　遊説
ゆうぜん（友染▲）→友禅　友禅染
ゆうそくこじつ（有職・故実）→有職（ゆうそく）故実
ゆうたいるい　有袋類
ゆうだち　夕立
ゆうと
＝雄図〔雄大な計画〕南極探検の雄図を抱く、雄図むなしく
＝（勇途）→雄途〔雄々しい門出〕ヒマラヤ征服の雄途に就く
ゆうとう（遊蕩）→道楽、不身持ち
ゆうに　副優に
ゆうひ（夕陽）→夕日
ゆうひ（勇飛）→雄飛
ゆうふく（有福）→裕福
ゆうべ・
＝（＊昨夜）→ゆうべ〔前夜〕ゆうべは眠れなかった
＝タベ〔夕方〕音楽のタベ
ゆうめい
＝有名　有名人、有名無実
＝勇名　勇名をはせる
ゆうもう（雄猛）→勇猛
ゆうやけ　夕焼け〔童謡の題名は夕焼小焼〕
ゆうよ（猶余、裕余▲▲）→猶予
ゆうわ（宥和）→融和
〔注〕歴史用語の「宥和政策」は例外。
ゆえ　故　それ故、何故・なにゆえ、故あって、故なく、故に
ゆえん
＝（所以）→ゆえん〔いわれ、理由〕天才と呼ばれるゆえん、人の人たるゆえん
＝由縁〔由来、ゆかり〕地名の由縁、何の由縁もない
ゆか　床　床下、床張り

ゆかしい（床しい）→ゆかしい
奥ゆかしい、古式ゆかしく
ゆかた ㊥△浴衣
ゆがむ（歪む）→ゆがむ　ゆがみ、ゆがめる
ゆき 雪　雪明かり、雪下ろし、雪靴、雪ぐつ〔わらぐつ〕、雪化粧、雪煙、雪解け、ユキノシタ・雪の下〔植物〕、雪晴れ、雪交じり、雪祭り、ユキワリソウ・雪割草〔植物〕
…ゆき 売れ行き、奥行き、先行き、東京行き
ゆく
＝逝く〔人が死んだ場合〕
＝行く〔動詞〕行き交う、行き過ぎ、行きずり、行く末、行く手、行く春
＝ゆく〔補助動詞、「行く」の意味が薄れた場合〕合点がゆく、消えてゆく、実施してゆく、減ってゆく、満足がゆく
㊟「いく」の項
ゆくえ ㊥行方　行方不明
ゆくゆく ㊐(行く行く)→ゆく
ゆく
ゆさぶる 揺さぶる　揺すぶる
ゆさん △遊山　物見遊山
ゆず（柚、柚子）→ユズ〔植物〕
ゆずこしょう、ゆず湯
ゆすぐ（濯ぐ）→ゆすぐ
ゆすり（＊強請）→ゆすり
ゆする 揺する　巨体を揺すって歩く、貧乏揺すり
ゆずる 譲る　親譲り、譲り合い、譲り受け(人)、譲り渡す
ゆそう
＝油送〔石油などを送る〕油送管・パイプ
＝油槽〔石油などを貯蔵する大きな入れ物〕油槽基地
ゆだねる 委ねる
ゆだる・ゆでる（茹）△→ゆだる・ゆでる　固ゆで、釜ゆで、野菜がゆだる、ゆでだこ
ゆだん 油断　油断大敵
ゆのみ（湯呑み）△→湯飲み
ゆび 指　指折り、指切り、指さし、指ぬき、指輪
ゆびさす（指差す、指指す）→指さす　指さし確認
ゆぶね（湯舟）→湯船、浴槽
ゆみ… 弓折れ矢尽きる、弓弦、弓取り式、弓なり、弓張り月
ゆめ 夢　正夢、夢うつつ、夢占い、夢心地、㊐夢にも、夢見が悪い、夢見る、夢物語

ゆめゆめ ㊒(努々)→ゆめゆめ(忘れるな)
ゆゆしい 由々しい
ゆらぐ・ゆる・ゆるぐ・ゆれる 揺らぐ・揺る・揺るぐ・揺れる　大揺れ、揺らぐ心、揺らめく、揺り上げる、揺り動かす、揺り起こす、揺り返し、揺り戻し、揺るがす、揺るぎない、揺れ動く
ゆりかご (揺り籠△)→揺り籠
ゆるい 緩い　緩やか
ゆるがせ (忽△せ、揺▲るがせ)→ゆるがせ(にできない)
ゆるす 許す　許し難い
ゆるむ 緩む　緩める
ゆわえる 結わえる

【よ】

よ 夜　夜通し、夜泣き、夜鳴きそば、夜な夜な、夜逃げ、夜更かし、夜更け、夜祭り
よい 宵　宵越し、宵っ張り、宵の口、宵の明星、宵宮
よい ＝(好い)→良い〔一般用語〕頭が良い、感じが良い、気分が良い、経過が良い、成績が良い、都合が良い、手際が良い、仲が良い、人が良い〔お人よしは平仮名書き〕、人柄が良い、品質が良い、良い機会、良い子、良い作品、良い習慣、良い友達
＝善い〔特別用語。徳性〕気性が善い、行儀が善い、善い行い、善い政治、善い人、世のため人のために善いことをする
＝よい〔補助用言、接尾語など〕…してよい、住みよい、それでよい、もうよい
〔注〕「良い・善い」の終止形・連体形は、多く「いい」が使われる。使い分けに迷う場合は「よい、いい」などと平仮名書き。
よいやみ 宵闇
よいん (余音)→余韻
よう ＝様〔主に熟語に〕一様(に)、ハンマー様の凶器、様式、様子
＝よう〔主に形式名詞、接尾語〕明日は雨のようだ、言いようがない、君のような人には、早く来るように、夢のようだ

よう　酔う　酔い心地、酔いざめ、酔いしれる、酔いつぶれる

ようえん　妖艶

〔注〕なるべく「なまめかしい、あでやかな」などとする。

ようかい　妖怪　妖怪変化＝へんげ

ようかい　(鎔△解、熔△解)→溶解

ようかん　(羊△羹)→ようかん

ようがん　(熔△岩)→溶岩

ようぎょう　窯業

ようげき　(邀△撃、要撃)→迎撃

〔注〕邀撃は迎え撃つ、要撃は待ち伏せ攻撃の意味。防衛省が邀撃の意味で使う要撃も「迎撃」と言い換える。

ようけん　用件〔用向きの事柄〕用件を済ます、用件を話す＝要件〔必要な事柄〕資格要件、要件を備える、要件を満たす

ようご　養護〔特別の保護の下に世話をする〕特別養護老人ホーム、養護教諭・施設＝擁護〔かばい守る〕人権擁護

ようこう　要項〔必要な事柄〕入試要項、募集要項、要項を抜粋＝要綱〔根本となる大事な事柄〕法案の要綱

ようこうろ　(熔△鉱炉)→溶鉱炉

ようごがっこう　(養護学校)→特別支援学校

〔注〕設置法上は特別支援学校だが「○○養護学校」の校名もある。

ようさい　(要塞)→とりで、要塞(さい)

ようじ　＝幼児〔幼い子〕幼児期、幼児教育＝幼時〔幼い頃〕幼時体験

ようじ　(楊△枝、楊△子)→ようじつまようじ

ようしゃ　容赦　情け容赦なく

ようじん　(要心)→用心　用心棒

ようする　＝要する〔必要とする〕急を要する、検討を要する＝擁する〔抱く、持つ、率いる〕切り札を擁する、大軍を擁する

ようせい　妖精

ようせつ　(夭△折)→早世、早死に、若死に

ようせつ　(熔△接)→溶接

ようせん　(傭△船)→用船、チャーター船

ようそ（沃素）→㊒ヨウ素
ようだい（容態）→容体〔「ようたい」とも〕
ようだん
＝用談〔用向きの話〕
＝要談〔大切な話〕
ようち　夜討ち　夜討ち朝駆け
ようてい　要諦
〔注〕なるべく「眼目、要点」などとする。
ようひん
＝用品〔何かの用途に使う品物〕
スポーツ用品、台所用品
＝洋品〔西洋風の品物〕洋品雑貨類、洋品店
ようへい（傭兵）→雇い兵
ようほう　養蜂　養蜂業
ようぼう　容貌
ようむ
＝用務〔なすべき仕事〕会社の用務で外出
〔注〕（学校）用務員は地域によって「学校主事、技能員、校務員」などの呼び方がある。
＝要務〔大事な職務〕要務を帯びて着任する
ようやく　㊐（漸く）→ようやく
ようりょう
＝用量〔使用する分量〕低用量ピル、用量を守って使う
＝容量〔中に入る分量〕記憶容量、容量が大きい
よかれあしかれ　㊐（善かれ悪しかれ）→善かれあしかれ
よぎない（余儀ない）→余儀ない
よきにつけあしきにつけ（善きにつけ悪しきにつけ）→善きにつけあしきにつけ
よく（慾）→欲　意欲、食欲、欲得ずく、欲の皮、欲張り
よく　㊐（良く、善く、好く、能く）→よく　折よく、首尾よく、体よく、よく似ている、よく平気だ、よく学びよく遊べ、よく分かる
よくうつ（抑鬱）→㊒抑うつ
よくど（沃土）→肥えた土地、沃土
よくや（沃野）→豊かな土地、沃野
よけいに　㊐余計に
よける（避ける、除ける）→よける　雨よけ、風よけ、泥よけ、日よけ、魔よけ

よげん
＝予言〔未来を予測して言う〕ノストラダムスの予言
＝預言〔神から預かった言葉を伝える〕預言者ムハンマド

よこ 横　横書き、横組み、横(っ面、横(っ)跳び、横殴り、横ばい、横やり

よご (汚▲後)→予後、(治療後の)経過・見通し

よこす (寄越す、遣す)→よこす

よごす・よごれる 汚す・汚れる　薄汚れる、汚れ物、汚れ役

よこちょう (横丁)→横町
〔注〕東京・上野の「アメヤ横丁」など、固有名詞は名称通り書く。

よし (因、縁)→由　知る由もない

よし (葦△、蘆△、葭△)→ヨシ〔植物〕
よしず張り

よしあし
＝(良し悪し)→良しあし〔品質など〕鮮度の良しあし
＝(善し悪し)→善しあし〔性格・行為など、一長一短の意にも〕行いの善しあし、真面目なのも善しあしだ

よじる (捩△る)→よじる　よじれる

よしん 余震〔揺り返し〕

よせ 囲寄席

よせい (余世)→余生

よせる 寄せる　寄せ集め、寄せ書き、寄せ木細工、寄せ木造り、寄せ付けない、寄せ鍋

よそ (余所、＊他所)→よそよ　よそ見、よそ者、よそ行き、よそよそしい

よそおう 装う　客を装う

よだん (余▲断)→予断　予断を許さない

よつ 四つ　がっぷり四つ、四つ角、四つ切り、四つんばい

よっつ 四つ

よっぱらい (酔っ払い)→酔っぱらい

よどむ (淀△む、澱△む)→よどむ
川のよどみ、よどみない

よなが 夜長　秋の夜長〔春の日永〕

よなべ (夜鍋、＊夜業)→夜なべ

よねつ
＝余熱〔冷めきらない熱〕感動・興奮の余熱が冷めない、原子炉の余熱除去、余熱を利用す

る
＝予熱〔前もって加熱する〕オーブンを150度に予熱

よび・よぶ　呼び・呼ぶ　疑惑・人気・波紋を呼ぶ、呼び掛け、呼び子、呼び声、呼び捨て、呼び出し(状)、呼び名、呼び値、呼び鈴

よほど　㊎(余程)→よほど

よまいごと　(世迷い言)→世まい言

よみ・よむ
＝読〔一般用語〕経を読む、さばを読む、人の心を読み取る、読みが深い
＝詠〔詩歌を作る〕歌に詠まれた名所、俳句・和歌を詠む

よみ…　読みあさる、読み書き、読み切り、読み応え、読みづらい、読み手

よみがえる　(蘇る、甦る)→よみがえる

よもやま　(四方山)→よもやま(話)

より…　寄り合い、寄り掛かる、寄り切り、寄り添う、寄り倒し、寄り付き(値)、寄り値、寄り身、寄り道

より…　(選り)→より　より好み、よりすぐり、(いいものを)より出す、より取り見取り、より抜き、より分ける

よりどころ　(拠り所、拠)→よりどころ

よる
＝(凭る、頼る)→寄る〔接近、もたれかかる〕思いも寄らない、寄らば大樹の陰、寄ると触ると、寄る年波、寄る辺
＝(因る、由る、依る、拠る、縁る)→よる〔もとづく、根拠〕過労による病、前例によると、時と場合による、何事によらず、よって来るところ、よって立つ基盤

よる　(選る)→よる〔選ぶ〕粒より、よりによって

よる　(撚る、縒る)→よる〔ねじり曲げる〕こよりをよる、より糸、よりを戻す

よろい　(鎧)→よろい(戸)

よろく　(余禄)→余得

よろこぶ　(歓ぶ、慶ぶ、欣ぶ、悦ぶ)→喜ぶ　喜ばしい

よろしい　(宜しい)→よろしい

よろず　(万)→よろず

よろん　(輿論、与論)→世論〔せ

ろん」とも）

よわい　弱い　か弱い、ひ弱な、弱気、弱腰、弱音、弱含み、弱めに、弱々しい、弱り目にたたり目

よわい　（齢）→よわい〔年齢〕よわい80を数える

よわみ　（弱味）→弱み

【ら】

ら　（等）→ら　彼ら、これら、われら、○○さんら

〔注〕人や代名詞にだけ使う。人の場合、丁寧な表現に「○○さんをはじめ」がある。

らーめん　（拉麺）→ラーメン

らいさん　（礼讃）→礼賛

らいちょう　ライチョウ・雷鳥〔動物〕

らいはい　礼拝〔主に神仏。キリスト教では「れいはい」〕

らいびょう　⊗（癩病）→ハンセン病

らいめい　＝雷鳴〔雷の音〕雷鳴がとどろく　＝雷名〔世間に鳴り響く評判〕雷名を天下にとどろかす

らくいん　（烙印）→レッテルを貼る、烙印　烙印を押される

らくがき　（楽書き）→落書き

らくご　（落伍）→落後、脱落

らくだ　（駱駝）→ラクダ〔動物〕　らくだのシャツ

らくばん　（落盤）→落盤

らくやき　楽焼

らくらしんばん　羅針盤

らくらせん　（螺旋）→らせん

らち　拉致

らち　（埒）→らち　らちが明かない、らちもない

らちがい　（埒外）→範囲外、枠外、圏外

らっかせい　ラッカセイ・落花生〔植物〕

らっきょう　（辣韮）→ラッキョウ〔植物〕らっきょう漬け

らっぱ　（喇叭）→らっぱ・ラッパ　らっぱ飲み

らつわん　（辣腕）→すご腕、腕利き、敏腕、辣腕

…られる　着られる、来られる、食べられる、出られる、見られる

られつ　羅列

〔注〕「着れる、来れる、食べれる、出れる、見れる」など、いわゆる

「ら抜き言葉」は使わない。

らん（濫）→乱　乱獲、乱造、乱伐、乱発、乱費、乱用、乱立

〔注〕「氾濫」は例外。

らんかん（欄杆）△→欄干

らんぐいば（乱杭歯）△→乱ぐい歯

らんしょう（濫觴）△→始まり、起源

らんちきさわぎ（乱痴気騒ぎ）→らんちき騒ぎ

らんまん（爛漫）△→らんまん　天真らんまん、春らんまん

【り】

り…　利上げ、利付き、利払い（制度）、利回り、利付国債、利付債券

…り（裡）△→裏　暗々裏、禁裏、庫裏、成功裏、脳裏、秘密裏、平和裏

りうまち　リウマチ（病名）　リウマチ性疾患、リウマチ熱

〔注〕「リューマチ」としない。

りえん（梨園）→歌舞伎界、演劇界、梨園

りかん（罹患）△→罹患（りかん）　罹患率（りかんりつ）

りき　力　力み返る、力む

りきりょう（力倆）△→力量

りくせい（陸棲）△→陸生　陸生動物

りくつ　（理窟）→理屈

りくとう　陸稲　「おかぼ」の項

りこう（悧巧）△、利巧）→利口（者）

りさい（罹災）→被災　罹災（りさい）証明（書）

りしゅう（履習）▲→履修（科目）

りちぎ（律儀）→実律義（者）

りっすい（立錐）△→立すい　立すいの余地もない

りつぜん（慄然）→ぞっとする、慄然（りつぜん）　血の気が引く、慄然

りっぱ　立派

りづめ　理詰め

りつりょう（律令）→律令（りつりょう）

りはつ（悧発）△→利発

りはん（離叛）△→離反

りびょう（罹病）△→病気にかかる、発病

りゃくだつ（掠奪）△→略奪

りゅう（龍）→竜　竜骨、竜神、竜頭（時計）、竜頭蛇尾

りゅういん（溜飲）→留飲（を下げる）

りゅうげんひご（流言蜚語）△→流言飛語、デマ

りゅうしつ 流失〔橋、家屋、田畑、船舶、線路の道床など〕

りゅうしゅつ 流出〔石油、汚水、ガス、土砂、文化財、頭脳など〕

りゅうだん (榴弾)→りゅう弾(砲)

りゅうちじょう 留置場〔警察。留置所としない〕S法令関連用語(599ページ)

りゅうちょう (流暢)→すらすら、よどみなく、滑らか、流ちょう

りゅうべい (立米)→立方メートル

りゅうぼく ‖**立木**〔法令用語。土地に生育する樹木の集団。立ち木ではない〕立木入札、立木法 ‖**流木**〔海や川に流れ出て漂う木、山で切り出して川に流して運ぶ木〕流木権

りゅうりゅう ‖**隆々**〔勢いが盛ん〕筋骨隆々 ‖**流々**〔いろいろな仕方・方法〕細工は流々 ‖**粒々**〔一粒一粒〕粒々辛苦

りょう (俚謡)→里謡

りょう (輛)→両 車両、10両編成

りょう… 両切り、両建て(預金)、両てんびん、両刀遣い、両隣、両端

りょうえん (遼遠)→程遠い 前途遼遠

りょうが (凌駕)→しのぐ、追い越す、上回る、勝る

りょうかい (諒解)→了解

りょうがえ 両替 外貨に両替する、両替所・商

りょうき (猟季)→猟期

りょうき 猟奇(的な事件)

りょうぎゃく (凌虐)→陵虐(罪)

りょうけん (了簡、料簡)→了見

りょうじ 療治 荒療治

りょうしゅう (領袖)→領袖

りょうじょく (凌辱)→陵辱、乱暴、暴行、辱め

りょうせいるい (両棲類)→㊐両生類

りょうせん 稜線(稜線)→尾根(筋)、稜線

りょうち ‖**領地**〔所有している土地、領土〕大名の領地、領地を没収 ‖**料地**〔ある目的に使用する土地〕皇室の御料地

りょうよう
＝**両用**〔両方に使う〕遠近両用、水陸両用
＝**両様**〔2通り〕両様の意味がある、和戦両様の構え
りょうらん（繚乱）→咲き乱れる　百花繚乱
りょうりょう（寥々）→寂しい、ごくわずか、ひっそり
りょくないしょう（緑内症）▲→緑内障〔病名〕
りりしい（凛々しい）→りりしい
りん（燐）→リン　黄リン、リン光、㊐リン酸
りんかい
＝**臨海**〔海に面しているところ〕臨海学校、臨海工業地帯
＝**臨界**〔境界〕原子炉が臨界に達する、臨界温度、臨界状態
りんかく（輪廓）→輪郭
りんぎ（稟議）→稟議　稟議書
りんご（林檎）→リンゴ〔植物〕
　りんごジャム、りんご酒
りんしょく（吝嗇）→けち、物惜しみ
りんね（輪廻）→輪廻　輪廻転生
りんぱせん（淋巴腺）→リンパ節〔リンパ腺は旧称〕

【る】

るい
＝**類**〔仲間、類い〕他に類を見ない事件、類のない話、類は友を呼ぶ
＝**累**〔関わりあい〕累を及ぼす
るいけい（類形）→類型
るいせん　涙腺　涙腺が緩む
るけい　流刑〔「りゅうけい」とも〕、島流し、流罪
るす　留守　居留守、留守番
るつぼ（坩堝）→るつぼ
るふ　流布
るり　瑠璃（色）
るる（縷々）→こまごま、綿々、くどくど、詳しく

【れ】

れいか　零下〔気象以外に使う。気象では氷点下〕
れいぎ（礼義）→礼儀
れいきゅうしゃ（霊柩車）→霊きゅう車

れいぐう
＝冷遇〔冷ややかに扱う〕少数派なので冷遇された
＝礼遇〔礼儀を尽くしてもてなす〕国賓として礼遇する

れいげん（霊顕）→霊験　霊験あらたか

れいじょう
＝礼状〔お礼の手紙〕礼状を書く
＝令状〔命令を書き記した書状〕捜索令状

れいぞく　隷属

れいはい　礼拝〔キリスト教。神仏では「らいはい」〕

れいびょう（霊廟）→霊堂、霊屋、霊廟

れいめい（黎明）→夜明け、あけぼの、黎明　黎明期

れいれいしい　麗々しい　麗々しく飾り立てる

れきし（轢死）→れき死（体）

れきど（礫土）→㊥砂利土

れきねん
＝暦年〔暦上の1年〕暦年ごとの統計
＝歴年〔年月を経る〕歴年の研究が実を結ぶ

れっきとした（歴・とした）→れっきとした（証拠）

れっせい
＝劣性〔遺伝学用語。優性の対語〕劣性遺伝
＝劣勢〔勢力が劣る〕劣勢を盛り返す

れん　廉　廉価、廉直

れん
＝練　㊥修練、試練、精練（繊維）、練習、練炭、練乳、練兵
＝錬　精錬・製錬（金属）、㊥鍛錬、錬土（剣道）

れん（聯）→連　連合、連想、連盟、連邦、連立
〔注〕韓国の「聯合ニュース」、パソコンの「聯想（レノボ）」など、固有名詞は名称通り書く。

れんが（煉瓦）→れんが　れんが造り

れんきんじゅつ（錬金術）→錬金術

れんげ（蓮華）→ハスの花、れんげ〔さじ〕　レンゲツツジ〔植物〕

れんけい
＝連携〔連絡、協力〕会社同士の連携プレー、両者連携で推進
＝（連繋）→連係〔切れ目なく続く〕連係動作、連係プレー〔運動用

語〕

れんげそう (蓮華草)△→レンゲソウ〔植物。レンゲ、ゲンゲとも〕

れんこん (蓮根)△→レンコン

からしれんこん

れんざ (連坐)△→連座(制)

れんせい (練成)→㊒錬成

れんとげんぎし (レントゲン技師)→診療放射線技師〔一部は診療エックス線技師〕

〔注〕レントゲン検査は「エックス線検査・撮影」とする。

れんぱ

‖連覇〔続けて優勝する〕全国大会で3連覇、連覇の夢がついえる

‖連破〔相手を続けて破る〕上位陣を連破する、連戦連破

れんま (練磨)→㊒錬磨 百戦錬磨

【ろ】

ろう (蠟)△→ろう ろう石、ろう人形

ろうあ (聾唖)△△→ろうあ

ろうえい (漏洩)△→漏らす、漏れる、漏出、漏えい

ろうおく (陋屋)△→あばら家

ろうかい (老獪)△→悪賢い、ずるい、老練

ろうがい (労咳)△→肺結核〔病名〕

ろうきゅう 老朽 老朽家屋

ろうく (老軀)△→老体、老身

ろうけつぞめ (蝋纈)△△染め、蠟纈△染め)→ろうけつ染め

ろうこ (牢固)△→確固、動じない、頑として

ろうこう (老功)→老巧

ろうごく (牢獄)△→獄舎、刑務所、監獄

ろうし 労使〔労働者と使用者〕労使関係、労使協調〔労資協調を使う場合も〕、労使交渉

ろうしゅう (陋習)△→悪習、因習、悪弊

ろうじょう 籠城

ろうする (弄する)→弄する(ろう) 甘言を弄する、策を弄する(ろう)

ろうぜき (狼藉)△→乱暴、乱雑、乱行

ろうそく (蠟燭)△△→ろうそく

ろうとう (郎等)→郎党〔「ろうどう」とも〕一族郎党

ろうにゃくなんにょ 老若男女

ろうば　(老婆)→老婦人
〔注〕年齢を具体的に書くなど工夫する。「老女」もなるべく避ける。「老婆心」は使う。

ろうばい　(狼狽)→慌てる、慌てふためく、うろたえる、取り乱す　ろうばい売り

ろうらく　籠絡
〔注〕なるべく「丸め込む、言いくるめる、口説き落とす」などとする。

ろか　(濾過)→こす、浄化、ろ過

ろくしょう　緑青

ろくだか　(△禄高)→禄高(ろくだか)

ろくまく　(肋膜)→㊐胸膜〔身体器官〕胸膜炎

ろくろ　(轆轤)→ろくろ

ろくろく　㊐(碌々、陸々)→ろくろく　ろくろく食べずに

ろけん　(露顕)→露見

ろじ
＝路地〔裏町の狭い通り、門内・庭内の通路〕路地裏、路地口
＝露地〔茶室の庭・通路、屋根のない地面〕茶室の露地、露地栽培

ろっこつ　(肋骨)→あばら骨、肋骨(ろっこつ)〔身体器官〕

ろっこんしょうじょう　六根清浄

ろてん
＝露天〔屋根がない、屋外〕露天市場、露天商、露天風呂、露天掘り
＝露店〔屋外に設けた店〕朝市に露店が並ぶ、縁日の露店

ろばた　炉端　炉端焼き

ろれつ　(呂律)→ろれつ

ろんきゅう
＝論及〔議論が及ぶ〕個人的な問題には論及しない
＝論究〔十分に論じる〕選挙の敗因を論究する

ろんこうこうしょう　論功行賞

ろんばく　(論駁)→反論、抗論

ろんぽう　論法　三段論法

【わ】

わ　(環)→輪　腕輪、土星の輪、輪飾り、輪切り

わいきょく　(歪曲)→ゆがめる、ねじ曲げる、歪曲(わいきょく)

わいしょう　(矮小)→小柄、矮小(わいしょう)

わいせつ　(猥褻)→わいせつ

わいろ　賄賂

わが・われ　わが・われ　わが国、わが身、わが物顔、わが家、われ関せず、われ先に、われながら、われに返る、われら

〔注〕慣用で平仮名書きするが、見出しなどで必要なときは「我が、我、我々」と漢字書きしてよい。

わかい　若い　若気の過ち、若死に、若作り、若向き

わかぞう　(若僧)→若造

わかつ　分かつ　たもとを分かつ、分かち書き

わがまま　(我が儘△)→わがまま

わかる　(解る、判る)→分かる　原因が分かる、早分かり、物分かりが良い、分かりやすい

わかれる　＝分かれる〔分岐〕意見が分かれる、勝敗の分かれ目、生死の分かれ目、道が二つに分かれる、分かれ道〔岐路〕

わかれる　＝別れる〔別離〕生き別れ、駅前で友達と別れる、けんか別れ、子別れ、永の別れ、仲間と別れ別れになる、泣き別れ、夫婦別れ、物別れ、別れ際、別れ路〔人と別れる道〕、別れ話

わき　脇、ワキ〔能〕脇毛、脇差し、脇の下、脇腹、脇見、脇道、脇目、脇役

わきあいあい　(和気藹々△)→和気あいあい、和やか

わきが　(腋臭、狐臭△)→わきが

わく　枠　別枠、枠組み

わく　＝沸く〔沸騰、熱狂する〕議論が沸く、市場が沸き立つ、場内が歓声で沸く、大記録に沸き返る、人気が沸く、風呂が沸く、湯沸かし器

わく　＝湧く〔わき出る、生じる〕温泉が湧く、希望が湧く、雲が湧き立つ、実感が湧く、場内に歓声が湧く、石油が湧く、血湧き肉躍る、拍手が湧く、降って湧いた災難、勇気が湧く、湧き出る涙、湧き水

〔注〕「喜びが湧き上がる」「会場が沸き上がる」など複合動詞も意味によって使い分ける。

わけ　＝訳〔道理、事情、理由〕言い訳、内訳、どういう訳だ、深い訳がある、申し訳ない、訳ありげ、訳が分からない、訳知り顔、訳の分からない人

＝わけ〔形式名詞の場合〕承知するわけにはいかない、…するわけだ

〔注〕使い分けに迷う場合は平仮名書き。

わけても ㊀(別けても、分けても)→わけても

わけない (訳無い)→わけない〔簡単〕わけない仕事、わけなく見つかる

わける 分ける 遺産を分ける、草の根を分けても、草分け、天下分け目、分け取り、分け隔て、分け前

わこうど ㊁若人

わざ ＝技〔技術、手並み〕足技・荒技・寝技〔柔道など〕、合わせ技、大技、返し技、小技、立ち技、力技・離れ技〔体操〕、投げ技、技あり、技が決まる、技を磨く ＝業〔動き、仕事、行為〕足業〔曲芸〕、荒業、神業、軽業、至難の業、仕業、力業、人間業とも思われない、寝業、離れ業、早業、業師、業物

S「ちから…」「ねわざ」「はなれわざ」の項

わさび (山葵△)→ワサビ〔植物〕

わざわい (禍)→災い 災いを転じて福となす

わし (鷲△)→ワシ〔動物〕イヌワシ、わしづかみ、わし鼻

わずか (僅か)→わずか ㊀わずかに

わずらう ＝患う〔病気〕病を患う、長患い ＝煩う〔思い悩む、込み入る〕思い煩う、恋煩い、人手を煩わす、煩わしい交渉

わすれなぐさ (勿忘△草)→ワスレナグサ・忘れな草〔植物〕

わすれる 忘れる 忘れ形見、忘れっぽい、忘れ物

わせ (*早稲、*早生)→わせ

わた ワタ・綿〔植物〕綿あめ、綿入れ、綿打ち、綿織り、綿繰り、綿帽子、綿雪

わたくし・わたし 私

わたす 渡す 瀬渡し船、渡し込み〔相撲〕、渡し場、渡し舟・船、渡守

わだち (轍△、輪▲立ち▲)→わだち

わたる ＝渡る〔移動する、生活する、広がる〕川を渡る、暗れ渡る、

刃渡り、人手に渡る、不渡り手形、世渡り、渡り合う、渡り歩く、渡りに船、渡り廊下

＝(亘る、亙る)△→わたる〔ある期間・範囲に及ぶ〕細部にわたって、私事にわたる、数日にわたる、全てにわたって、全科目にわたる、3日間にわたる交渉

わな　(罠△)→わな

わに　(鰐△)→ワニ〔動物〕わに革

わび　(侘△)→わび　わび住まい、わびとさび

わびる　(詫びる△)→わびる〔謝る〕無礼をわびる、わび状

わびる　(侘びる△)→わびる〔わびしくなる、気をもむ〕思いわびる、待ちわびる

わぼく　和睦

わら　(藁△)→わら　わらくず、わらぐつ、わら細工、わら包み、わら縄、わら人形、わら半紙

わらい・わらう　笑い・笑う　お笑い草、忍び笑い、苦笑い、福笑い、物笑い、笑いこける、笑い上戸、笑い話、笑いもの

わらじ　(草鞋△)→わらじ

わらぶき　(藁葺き△)→わらぶき(屋根)

わらべ　童　童歌・わらべ歌

わり

＝割り〔一般用語。動作〕頭割り、均等割り、区割り、部屋割り、水割り、均等割・所得割〔法令用語〕、時間割、本割〔相撲〕

＝割〔比率、比較〕3割5分、安い割に、割がいい・悪い、割高、割に合わない、割安

わり…　割り印、割り勘、割り切る、割り込む、割り算、割り下、割り出し、割り付け、割り箸、割り符、割り振り

わりあい　割合　㊞割合に

わりあて　割り当て〔権限、作付け、償却、増、方式・方法、申し込み、予定〕　割当《金》、割当増加額、割当面積、割当申込書・金・数量、割当予定額・量・日、株主・第三者割当増資　㊟経済複合語(102ページ)

わりかた　㊞割かた・わりかた

わりに　㊞割に・わりに　割に(と)安い

わりびき

＝割引〔名詞〕割引する、割引をする、学生割引、手形割引、割引価格、割引債券、割引セ

ール、割引率

＝割り引き（動詞、動詞の連用形）消費税分を割り引きます、話を割り引いて聞く

＝割引き（数字が付く場合）2割引きで売る、3割引きセール〔注〕30％割引きは「30％引き」とする。

わりまし 割り増し（償却、発行）割り増しする、割り増しをする、**割増**《金》→経済複合語（102ページ）

わりもどし 割り戻し（条件、請求）**割戻**《金》、**割戻開始・終了日、割戻請求額・書・日**→経済複合語（102ページ）

わる・われる 割る・割れる打ち割る、大台割れ、額面割れ、片割れ、地割れ、ひび割れ、桃割れ、割れ目

わる… 悪あがき、悪賢い、悪気、悪さ、悪擦れ、悪巧み、悪知恵、悪乗り、悪びれる、悪ふざけ、悪酔い

われ 我 →「わが・われ」の項

われなべ（破れ鍋）→割れ鍋

わん（椀、碗）→わん 茶わん

わんきょく（彎曲）→湾曲

わんにゅう（彎入）→湾入

わんぱく（腕白）→わんぱく

誤りやすい語句

誤用のほか、必ずしも誤りとはいえないが、新聞では統一して使うもの、適当でない言い方も載せた。また話し言葉では普通に使われるが、書き言葉では避けたい用例も挙げている。書き換え例は一例であり、表現を工夫する。

【あ】

愛想を振りまく↓愛嬌を振りまく、愛想がいい

合いの手を打つ↓合いの手を入れる

青田買い

〔注〕稲が実る前に収穫を見越して買い上げ予約することから転じて、会社などが卒業のはるか前に学生の採用を決めること。肥料・飼料用に作物を未成熟のうちに刈り取るのは「青刈り、青田刈り」。

明るみになる↓明るみに出る、明らかになる

悪評さくさく↓悪評高い

〔注〕「さくさく」は褒めそやすさま。「名声さくさく、好評さくさく」などと好評のときに使う。

足蹴りにする↓足蹴にする

足元をすくう↓足をすくう

頭ごなしの外交↓頭越しの外交

頭をかしげる↓首をかしげる、頭をひねる

(台風の)当たり年↓多い年

〔注〕「当たり年」は収穫や利益の多い年、転じて縁起の良い年。台風や地震など好ましくないことに使うのは不適切なので言い換える。

雨脚が途絶える↓雨がやむ

雨模様

〔注〕本来は雨が降りそうな空の状態のこと。最近は「降ったりやんだり」の意に使うことも多い。両様に解釈できる表現は使

わず「曇り空の下」「小雨が降る中で」などと具体的に描く。

あわや世界新↓もう一息で世界新

〔注〕「あわや」は何か良くないことが危うく起きそうな状態。

【い】

怒り心頭に達した↓怒り心頭に発した

いさめる

〔注〕「いさめる」は本来目下の者が目上に忠告すること。「娘は父の深酒をいさめた」のように使い、逆の場合には使わない。

石つぶて↓つぶて

〔注〕「紙つぶて」は可。

異存は出なかった↓異議は出なかった、異存はなかった

一同に会する↓一堂に会する

一生一代↓一世一代

〔注〕一生のうちただ一度の意味。転じて能、歌舞伎役者の舞台納め（の名演）。

一姫二太郎

〔注〕子育ては初めが女で2番目が男が理想的という意。女1人に男2人ということではない。

一抹の望み↓いちるの望み、一抹の不安

嫌気がする↓嫌気が差す、嫌気を起こす

【う】

上や下への大騒ぎ↓上を下への大騒ぎ

受けに入る↓有卦（うけ）に入る

後ろ髪を引かれる思い

〔注〕後に心を残しながら去る人の心境で、残る人の気持ちに使うのは誤り。

後ろから羽交い締め↓羽交い締め

薄皮を剝ぐように↓薄紙を剝ぐように

裏舞台での交渉↓舞台裏での交渉

恨み骨髄に達す↓恨み骨髄に徹す

上前をかすめる↓上前をはねる

【え】

笑顔がこぼれる↓笑みがこぼれる

【お】

屋上屋を重ねる↓屋上屋を架する

押しも押されぬ↓押しも押されもせぬ、押すに押されぬ

汚名挽回↓汚名返上、名誉挽回

汚名を晴らす↓汚名をすすぐ・そそぐ

重しを付けて沈める↓重りを付けて沈める

〔注〕重しは漬物石のように上から押さえ付けるために置くもの。

女手一人で育て上げる↓女手一つで育て上げる

【か】

垣間見せる↓のぞかせる、うかがわせる

〔注〕慣用句は「垣間見る」で、ものの隙間からちらっと見ること。

(酒だるの)鏡割り

〔注〕「鏡割り」は忌み言葉なので「鏡開き、鏡を抜く、酒だるを抜く」などとすることが多い。

佳境

〔注〕「佳境に入る・佳境を迎える」は最も興味深い、面白い場面になること。「佳」は「佳日・佳人」など「よい・美しい」の意なので「救援活動が佳境を迎えた」など単なるヤマ場の意では使わない。

確信犯

〔注〕本来は、宗教・政治・思想的確信のもと正しいと信じてなされる犯罪、それを行う人のこと。悪いことと分かっていながら行われた犯罪や行為、また、それを行った人のこともいうようになった。

風下にも置けぬ↓風上にも置けぬ

喝采を叫ぶ↓喝采を送る、快哉を叫ぶ

喝を入れる↓一喝する、喝を食らわす

〔注〕気絶した人をよみがえらせる、元気付けて励ます意味の「活を入れる」との誤用。

カトリックの牧師↓カトリックの神父

〔注〕牧師は一般にプロテスタント教会の聖職者。

過半数を超える↓半数を超える、過半数を占める、過半数に達する

髪を丸める↓頭を丸める

間一発↓間一髪

間髪を移さず↓間髪を入れず、時を移さず

還暦

〔注〕十干十二支が1回りの意味で、数えで61歳(満60歳)の祝い。「開校60周年」を「還暦」とする比喩的な使い方はいいが、年に1度のイベントの60回

目は開始から59年なので厳密には誤りになる。

【き】

気が置けない人
〔注〕遠慮・気兼ねの要らない人の意。油断できない、気が許せないの意に使うのは誤り。
キジも飛ばずば打たれまい
鳴かずば打たれまい→キジも
疑心暗鬼を抱く→疑心暗鬼を生じる、疑心暗鬼になる
期待倒れ→期待外れ
着の身着のまま
〔注〕現在着ているもの以外は無一物の状態を表す。着衣のままでの意に使うのは誤り。
肝に据えかねる→腹に据えかねる

【く】

くしの歯が抜けるように→くしの歯が欠ける(た)ように
口車を合わせる→口裏を合わせる、口車に乗る・乗せる
口先三寸→舌先三寸
口をつむる→口をつぐむ
国敗れて山河あり→国破れて山河あり
苦杯にまみれる→苦杯をなめる・喫する、一敗地にまみれる
クモを散らすように→クモの子を散らすように
暮れなずむ
〔注〕日が暮れそうでなかなか暮れない状態。「ようやく暮れなずんできた球場」などは誤り。

【け】

煙に巻く→けむに巻く
けんけんがくがく→かんかんがくがく、けんけんごうごう
〔注〕「けんけんごうごう(口やかましく騒ぎ立てるさま)」と「かんかんがくがく(正論を吐いて屈しないさま)」との混用。
剣もほろほろ→けんもほろろ

【こ】

公算が強い・弱い→公算が大きい・小さい
交通止め→通行止め
呉越同舟
〔注〕敵同士、仲の悪い者同士がたまたま同じ場所に居合わせる場合に使う言葉。単に異質の者

が一緒になる場合には使わない。
古式豊かに→古式ゆかしく
後手を踏む→後手に回る
古来から→古来
碁を指す→碁を打つ

【さ】

…さ（円熟さ、積極さ―など）
〔注〕接尾語の「さ」は形容詞、形容動詞の語幹などに付いて名詞をつくる。「円熟」や「積極」に付けるのは誤り。「円熟味、積極性」などとする。
酒を飲み交わす→酒を酌み交わす、杯を交わす
里帰り
〔注〕本来は、女性が結婚後実家に一時的に帰ること。夏休みなどに家族ぐるみで郷里に帰る場合は「帰省」などとする。美術品の永久返還などを「里帰り」とするのは誤り。
さわり
〔注〕音楽の聞かせどころ、劇や小説などの見せ場、中心、最も興味を引く部分の意。出だし、最初の部分の意で使うのは誤り。「触り」と漢字で書けるが慣用で平仮名書きする。
3タテ
〔注〕3連敗の意で「3タテを食う」と使う。3連勝したときは「○○に3タテを食らわす」のように表現し、見出しは「○○を3タテ」などとする。

【し】

Gパン→ジーパン
敷居が高い
〔注〕本来は、不義理をしたり面目ないことがあったりして、その人の家に行きにくいこと。最近の俗用として、高級・上品過ぎて手を出しにくい、ハードルが高いの意で使われることがある。
時機（時期）を得た→時宜を得た
私淑
〔注〕面識のない人を著作などを通じて師と仰ぐこと。直接指導を受けた人に使うのは誤り。
至上命題→至上命令、最重要課題
〔注〕絶対に従わなければならない命令や任務は「至上命令、重大使命」。どうしても達成しなければならない課題は「最重要（最大）課題」。

(バンダが)死亡
〔注〕人間の場合に使う語。原則として動物には使わない。
射程距離に入る↓射程(圏)内に入る
珠玉の大作↓大作
〔注〕「珠玉」は長編や大きな作品には使わない。
出血死↓失血死
将棋を打つ↓将棋を指す
照準を当てる↓照準を合わせる・定める
食指をそそる↓食指が動く、食欲をそそる
知らなさすぎる↓知らなすぎる
白羽の矢を当てる↓白羽の矢を立てる
素人はだし↓素人離れ、玄人はだし
死んで花見がなるものか↓死んで花実が咲く(なる)ものか

【す】
酸いも辛いもかみ分ける↓酸いも甘いもかみ分ける
姿をくらませた↓姿をくらました
住めば都
〔注〕住み慣れれば、どんな土地でも住み心地が良くなるの意。住むなら都会の意に使うのは誤り。
寸暇を惜しまず働く↓寸暇を惜しんで働く、骨身を惜しまず働く

【せ】
成功裏のうちに↓成功裏に
製薬メーカー↓製薬会社、薬品メーカー
ゼッケン番号(ナンバー)↓ゼッケン
雪辱を晴らす↓雪辱する、雪辱を果たす、屈辱を晴らす
背中が寒くなる↓背筋が寒くなる
前者の轍を踏む↓前車の轍を踏む
前門のオオカミ、後門のトラ↓前門のトラ、後門のオオカミ
前夜来の雨↓夜来の雨、前夜からの雨

【そ】
袖すり(振り、触れ)合うも多少の縁↓…多生の縁、…他生の縁

【た】
第1日目↓第1日、1日目
大寒の入り
〔注〕大寒(1月20日ごろ)は二十四節気の一つで1日だけをいうのが一般的。「大寒の入り」は使わない。「寒の入り(小寒＝1

月6日ごろ」は使ってよい。「寒中」は小寒から節分(立春の前)までをいう。

多寡をくくる↓高をくくる

他山の石

〔注〕他人のつまらない言行でも、自分の知徳を磨くための参考にするという意。他人の立派な言行を良い手本にする意では使わない。

縦穴式住居↓竪穴住居

縦穴式石室↓竪穴式石室

…たり…たり

〔注〕「飲んだり歌ったり」のように動作や状態を列挙する場合「たり」を重ねるのが基本。ただし「飲んだりして、大いに楽しむ」のように一つだけ挙げて例示する用法もある。

他力本願

〔注〕浄土門で阿弥陀仏の本願によって救済されるの意。比喩の他の力を当てにする意で使わない。

【ち】

駐日○○大使館↓在日○○大使館

【つ】

追撃

〔注〕敗走する・劣勢にある敵を追いかけてさらに攻めることが本来の意。逃げる・先行する相手を追い上げる場合は「猛追、追い上げ」などとする。

積み残し客↓乗り切れない客

【て】

(AはBの)敵ではない

〔注〕Bが強過ぎ、Aが弱過ぎるの意。逆の意で使うのは誤り。

デッドロックに乗り上げる↓行き詰まる、暗礁に乗り上げる

〔注〕「デッドロック」は行き詰まりの意。lock(錠)とrock(岩)との混同。

出るくぎは打たれる↓出るくいは打たれる

天罰が当たる↓天罰が下る

【と】

取り付く暇もない↓取り付く島もない

鳥肌が立つ

〔注〕恐ろしさや寒さのために皮

膚がざらつく状態を指すのが本来の意。感動の表現に使うのは好ましくない。

【な】

惰けは人のためならず

〔注〕善いことをすればよい報いがあるという意。惰けはその人のためにならないといった解釈は誤り。

成さぬ仲↓なさぬ仲

〔注〕義理の親子関係の意。

何物でもない↓以外の何物でもない

〔注〕「投高打低を示す何物でもない」など、「以外」を抜かして使うのは誤り。

名前負け

〔注〕名前が立派過ぎて実物が見劣りする意。相手の名前に圧倒される意で使うのは誤り。

【に】

苦虫をかんだような↓苦虫をかみつぶしたような

煮詰まる

〔注〕議論や意見が出尽くして結論を出す段階になること。行き詰まるの意ではない。

二の句が出ない↓二の句が継げない

二の舞いを繰り返す↓二の舞いを演じる、二の舞いになる

【ぬ】

ぬれ手で泡↓ぬれ手で粟・あわ

【ね】

熱にうなされる↓熱に浮かされる、夢にうなされる

眠気まなこで↓寝ぼけ眼で

念頭に入れる↓念頭に置く

【は】

排気ガス↓排ガス、排出ガス

敗戦の将、兵を語らず↓敗軍の将、兵を語らず

(…と)吐き捨てた↓吐き捨てるように言った

働きずくめ↓働きづめ

破天荒

〔注〕本来はこれまでなし得なかったことをすることで、未曽有と同義。近年意味が拡大し、豪快で大胆な人の様子を表す場合にも使われている。

鼻にもかけない↓歯牙にもかけない、はな(洟)も引っ掛けない

〔注〕まったく問題にしない、相

手にしない、無視する意の慣用句。「鼻にかける」は自慢するの意。

はなむけ

〔注〕卒業や旅立ちなど送別の際に贈る言葉や金品。「社長が新入社員にはなむけのあいさつ」「亡き父へはなむけのホームラン」などは誤り。

歯に絹着せぬ→歯に衣着せぬ

腹が煮えくり返る→はらわたが煮えくり返る

【ひ】

被害を被る→被害に遭う、損害を受ける

人質を釈放→人質を解放

ひと段落→一段落〔＝いちだんらく〕

人を借り(狩り)集める→人を駆り集める

微に入り細にわたって→微に入り細をうがって

火ぶたを切って落とす→火ぶたを切る

〔注〕「幕を切って落とす」との混用。

日を夜に継いで→夜を日に継いで、日に夜を継いで

貧すれば通ず→窮すれば通ず、貧すれば鈍する

【ふ】

不測の事態を予想して→万一の事態に備えて

符丁を合わせたように→符節を合わせたように

物議を呼ぶ→物議を醸す

フリーの客→ふりの客

〔注〕「ふり」は紹介や予約のないこと。

(バレエの)プリマドンナ→プリマバレリーナ

〔注〕「プリマドンナ」はオペラの女性主役。

【へ】

…べき

〔注〕「べき」は「べし」の連体形なので、文をこの形で止めない。「実行するべきとの考え」は「実行するべきだとの考え」とする。

下手な考え休むに似たり→下手の考え休むに似たり

【ほ】

(国会で)法案が成立→法が成立

募金

〔注〕金を募ること。募金に応える行為は「寄付・寄金、募金に応じる」。「募金を集める・呼びかける」は「寄付（金）を集める、寄付を呼びかける」が本来の使い方。募った金（名詞）の意で使う「募金を（まとめて）被災地へ送る」などは可。

凡ヘッド↓ボーンヘッド

【ま】

まだ未解決↓未解決、まだ解決していない

的を得た指摘↓的を射た指摘、当を得た指摘

まなじりをつり上げる↓まなじりを決する

眉をしかめる↓眉をひそめる、顔をしかめる

まんまと失敗

〔注〕「まんまと」は首尾よくの意で、単に失敗に用いるのは誤り。「まんまと計られて失敗」ならばよい。

満面に笑顔↓満面に笑み

【み】

見掛け倒れ↓見掛け倒し

水かさが高くなった川↓水かさが増した川、水位が高くなった川

魅せる

〔注〕「魅せるプレー」「羽生が魅せた」などは文法的に誤り。正しくは「魅する、魅した」だが、文語的なので「（観客を）魅了した、とりこにした」など表現を工夫する。

三日とあけず芝居見物↓三日にあげず芝居見物

耳触り・耳障りの良い

〔注〕「耳障りの良い」は「耳に優しい、聞こえがいい」などとする。「耳触りの良い」は発言の引用では可。

【む】

無実を晴らす↓無実の罪を晴らす、無実を証す

胸先三寸に納める↓胸三寸に納める

【め】

（密貿易の）メッカ↓（密貿易の）中心地

〔注〕比喩には使わない。

目をひそめる↓眉をひそめる

【も】

(著作を)物にする↓(著作を)物する

〔注〕「物する」はあることをする(特に文章、詩などを書く、作る)の意。

【や】

やおら飛び出す↓急に飛び出す

〔注〕「やおら」は「おもむろに、静かに」の意。

矢折れ刀尽きる↓刀(弓)折れ矢尽きる、矢尽き刀折れる

約10分ほど↓約10分、10分ほど

役不足

〔注〕本来、役者が自分の役を不足として不満を言う意。「荷が重い、大役過ぎる、力不足」などの意に使うのは誤り。

(…した)矢先↓(…した)直後、(…する、しようとする、しようとした)矢先

〔注〕「矢先」は事が始まろうとする直前の意。

【ゆ】

弓矢を引く↓弓を引く

ゆめゆめ思わなかった↓夢にも思わなかった

【よ】

善きにつけ悪きにつけ↓善きにつけあしきにつけ

余分なぜい肉↓余分な肉

寄る年には勝てぬ↓寄る年波には勝てぬ

弱気を吐く↓弱音を吐く

【り】

李下に冠を正す↓李下に冠を正さず

離発着↓離着陸、発着

留飲を晴らす↓留飲を下げる

【ろ】

老体にむち打つ↓老骨にむち打つ

論議を醸す↓物議を醸す、論議を呼ぶ

論戦を張る↓論陣を張る、論戦を挑む

論を待たない↓論をまたない

【わ】

Yシャツ↓ワイシャツ

わだちの跡↓車輪の跡、わだち

差別語、不快用語

性別、職業、身分、地位、境遇、信条、人種、民族、地域、心身の状態、病気、身体的な特徴などについて差別の観念を表す言葉、言い回しは使わない。基本的人権を守り、あらゆる差別をなくすため努力するのは報道に携わる者の責務だからだ。

使う側に差別意識がなくても、当事者にとっては重大な侮辱、精神的な苦痛、差別、いじめにつながることがある。使われた側の立場になって考えることが重要だ。ことわざ、成句の引用でも、その文言の歴史的な背景を考え、差別助長にならないような心遣いが必要になる。

特に気を付けたい言葉の主な例は次の通り。

1　心身の障害、病気

人権意識が薄かった時代の言葉が多く注意が必要だ。「障害を持つ」という表現には、望んで障害を持ったわけではないと当事者から批判があることに配慮し、「障害の(が)ある」と書く。

・めくら→目の見えない人、目が不自由な人・状態
・おし→口の利けない人、言葉が不自由な人・状態
・つんぼ→耳の聞こえない人、耳が不自由な人・状態
・びっこ、ちんば、いざり→足が不自由な人・状態、足に障害のある人、左右がふぞろい〔履物〕
・どもり→発音が不自由な人・状態、吃音(きつおん)
・気違い→精神障害者
・不具、かたわ→身体障害(者)、体が不自由な人・状態

〔注〕個人については不自由な部位、機能を具体的に書く。

・廃疾、業病、不治の病→使用不適切
・奇形児→肢体の不自由な子ども
・蒙古症→ダウン症候群
・文盲→読み書きのできない人、非識字者
・文盲率→非識字率
・色盲、色覚異常→色覚障害
・やぶにらみ→斜視

・ヨイヨイ→半身不随、中風
・知恵遅れ、低能→知的障害、知的発達の遅れた子(人)
・精神薄弱、精薄→知的障害、精神遅滞
・精神病院→精神科(病院)、神経科(病院)
・精神分裂病→統合失調症
・白痴→知的障害
・植物人間→植物状態(の患者)
〔注〕植物人間は人間の尊厳を損なう表現。
・白ろう病→振動障害
・らい病→ハンセン病
・アル中→アルコール依存症
〔注〕2度目からは「依存症」でよい。イッキ飲みなどで一過性の意識障害を起こす急性アルコール中毒を急性アル中としない。

【心身障害に関係する不適切表現】

あきめくら、つんぼ桟敷、めくら蛇におじず、めくら判、片目が開いた、片ちんば、片肺飛行、気違いに刃物、気違い沙汰、カーキチ(〇〇キチ)、群盲象を評す、自閉症的、自閉症ぎみ、盲目的

2 職業

特定の職業(職種)を見下したような表現は使わない。生活に苦労したことを「〇〇までして」と卑くのは当該職業の軽視だ。

インタビューや談話などで、例示の表記を当事者が意識的に使った場合はそのまま掲き、なぜそのように表現するのかが読者に伝わるようにする。

・人夫→作業員
・土方、土工→建設労働者・作業員
・炭鉱夫、坑夫→炭鉱作業員、坑内員
・潜水夫→潜水作業員
・漁夫→漁民、漁船員
・沖仲仕→港湾作業員・労働者
・馬丁→厩務員、馬取扱人(馬術)
・掃除婦(夫)→清掃作業員
・農婦→農家の女性、農村の女性
・百姓、農夫→農民、農家の人、農業従事者
・線路工夫→保線(係)員
・踏切番→踏切警手、踏切保安係
・床屋→理髪業・店、理容師
・バーテン→バーテンダー

・サラ金→消費者金融
・町医者→開業医
・坊主→僧、僧侶、坊さん
・小使い→校務員、校務主事
〔注〕「管理用務員、用務員」や、役所関係の「庁務員」もある。
・あんま→マッサージ師・業
・屠殺場→食肉処理場、食肉解体場
・バタ屋、くず屋→再生資源回収業
・労務者→○○作業員
・こじき→物乞い
〔注〕引用以外は言い換える。仏教用語の乞食は使う。
・浮浪者→ホームレス、路上生活者
・隠坊→火葬場職員
・犬捕り、犬殺し→衛生作業員、野犬捕獲員〔法律上は狂犬病予防技術員〕

【○○屋】

○○屋の形で職業・肩書を示すのは避ける。店舗を示す「駅前のパン屋」、愛称的な「八百屋さん、魚屋さん」などは構わない。

【歴史的記述】

次のような言葉は現在の事象では言い換えるが、過去の劣悪な労働環境や、その時代を示すため必要な場合は使用してもよい。
・女工→女性従業員
・女中→お手伝いさん
・女給→ウエートレス、(バー)従業員、ホステス
・産婆→助産師
・企業戦士→猛烈社員

3 身分など

・同和→単体では使用しない
〔注〕「同和教育、同和行政、同和女性問題」などとする。また二つの熟語が並ぶ場合も省略しないで「同和教育問題、同和女性問題」と書く。見出しでも単体で使用しない。
・特殊部落→被差別地区、被差別部落、同和地区
・部落→使用不適切
〔注〕被差別部落の意味のほか、一般語として村落の意味でも「部落」は使用しないで「村落、集落、地区」などとする。
・釣り書き(吊書)→使用不適切
〔注〕「生い立ちの記、自己紹介

「者」などにする。

4 人種、民族、地域の表記

少数民族の名称には、周囲の民族が付けたあだ名や蔑称、先進国・入植者が付けた俗称がある。そうした名称は使用しないで、その民族自身が名乗る呼称を使う。

【一般表記】

・土人→先住民(族)、現地人
・裸族、首狩り族、蛮族→正式の民族名を表記
・酋長→首長、集落の長
・後進国、未開国、低開発国→発展途上国
・黒んぼ、ニグロ、ニガー→黒人

〔注〕人種問題で明記の必要がある場合だけ黒人、白人と書く。

・毛唐→外国人、○○○人
・外人、外人部隊→外国人、外国人部隊
・外人墓地→外国人墓地

【民族表記】

○○族、○○部族の表記は原則として避け、○○人、○○民族、○○系、○○などとする。中国の民族名は現地表記に合わせ「漢族、チベット族、ウイグル族、チワン族、朝鮮族」などとする。

・アイヌ人→アイヌ(民族)

〔注〕初出は「アイヌ民族」とする。アイヌは人の意味。「アイヌ人、アイヌの人」は使わないが「アイヌの人々」は複数の表現として許容する。アイヌ犬は北海道犬とする。

・インディアン→使用可

〔注〕「インディアンうそつかない」など比喩的な表現は避ける。

・インディオ→使用可
・エスキモー→イヌイット〔カナダに暮らす人々の場合〕

〔注〕カナダ以外や全体を示す場合はエスキモーでよい。

・クルド族→クルド人
・ジプシー→ロマ、ロマ民族

〔注〕「流れ者、放浪者」の意味で「ジプシー選手」などとしない。「ツィゴイナー、ボヘミアン」も比喩的に使わない。ただし「ジプシー音楽」や音楽題名などは使用可。

・ツチ族、フツ族→ツチ人、ツ

チ、フツ人、フツ
・ピグミー族→ムブティ人、トワ人(―系、―民族)
・ブッシュマン→サン人など
・ホッテントット族→コイ人(―系、―民族)
・マオリ族→マオリ人、マオリ
・マサイ族→マサイ人、マサイ
・ラップ人→サーミ人

【アジアと日本】
・第三国人、三国人→使用不適切
〔注〕終戦直後に日本在住の朝鮮人、中国人に用いた「第三国人、三国人」は使わない。
・京城→ソウル
〔注〕略歴などで出身校を書く場合は「旧京城師範卒」とし、出身地の場合は「ソウル生まれ」とする。
・朝鮮征伐→朝鮮出兵
・帰化→(原則として)国籍取得
・帰化人→渡来人
〔注〕帰化は朝廷の支配下に入ることを意味する。教科書は中国、朝鮮から古来日本に渡ってきた人を「渡来人」としている。
・支那そば→中華そば
・支那竹→メンマ

5 性差別

女性を特別視する表現や、男性側に対語のない女性表現は原則として使わない。性別を理由にした社会的、制度的な差別につながらないよう注意する。

・女史→○○○さん
・女流→「女流名人」などの固有名詞以外は使わない。
・連れ子→差別的な意味では使わない。「○○さんの長男」などとする。
・内妻→使用を避ける。「内縁の妻」も「事実婚の妻、同居の○○さん」などになるべく言い換える。
・婦警、婦人警官→女性警官
・婦女子→女性と子ども
・未亡人、後家→「故○○氏(さん)の妻、○○夫人、○○さん」などと具体的に表記し、一般的には「夫を亡くした女性」などとする。
・めかけ、二号、愛婦→愛人

【女性を殊更に強調、特別扱いする不適切表現】

女傑、女丈夫、男勝り、女だてらに、女の戦い、職場の花、処女航海、処女作品、処女小説、処女峰、才媛、才女、才色兼備

【男性優位社会などを背景にした不適切表現】

女・男のくせに、夫唱婦随、女は愛嬌(あいきょう)、男は度胸、いかず後家、売れ残り、男いらず、オールドミス、出戻り、女の浅知恵、女々しい、女の腐ったような

6　子ども

「鍵っ子、ちびっ子」などレッテルを貼ることになりがちな表現を安易に使わない。

・登校拒否児→不登校の児童・生徒

・父兄(会)→保護者(会)

・片親、欠損家庭→使用不適切。「母子家庭、父子家庭」と具体的に書く。

・私生子、私生児→使用不適切。裁判など法律関係の記事では「(非)嫡出子」と書くが、それ以外は「○○さんの子」などと具体的に書く。歴史的な記述でも「私生児」は使用しない。

・混血児、合いの子→使用を避ける。「父が日本人で母がドイツ人」などと具体的に書くよう心掛ける。

7　俗語、隠語、不快用語

読者に不快感を与える言葉、品位の落ちる言葉や隠語類は記事中、特に必要とする場合以外は使わない。

・淫売、売女(ばいた)→使用不適切

・裏日本・表日本→日本海側・太平洋側

・鬼のような夫婦→使用不適切

・強姦(ごうかん)→女性暴行、性的暴行、乱暴

〔注〕被害者が特定される恐れがない場合に限り、罪名・容疑名は「強姦」を使ってもよい。

・ドヤ(街)→簡易宿泊所(の集まっている所)

・たこ部屋→劣悪な作業員宿舎

〔注〕比喩的に使用しない。北海

道開拓時代などの歴史的記述では使用してよい。

・飯場→(建設)作業員宿舎
・どさ回り→地方巡業
・足切り→二段階選抜、門前払い
・養老院→老人ホーム、老人養護施設、老人介護施設
・スキンヘッド→「頭をそり上げた」「そり頭」などと言い換える。ドイツのネオナチや白人至上主義者には使用可。
・バカチョンカメラ→簡易カメラ、軽量カメラ

【使用を避けたい隠語など】

いちゃもんをつける、落としまえ、ガサ入れ、ガンをつける、狂言強盗、けつをまくる、サツ、シマ、スケバン・助番、ずらかる、賊、タタキ、たれ込み、チャリンコ、デカ、ばくる、暴力団狩り、ホシ、ブタ箱、ムショ、ヤク、やばい

記事のフォーム

記事のフォーム ―― 498
日時の書き方 ―― 527
地名の書き方 ―― 532
人名、年齢の書き方 ―― 534
数字の書き方 ―― 543
　数字の表記例 ―― 553
運動記事の書き方 ―― 559
皇室用語について ―― 562
　皇室用語の表記例 ―― 564

記事のフォーム

【原則】

1　見出しの字数・本数基準は①主見出し、脇見出しとも〝〝「」読点などを含め12字以内、3本目は11字以内②3本以上（最多5本）の見出しはトップ候補、トップ級またはそれに準じた記事だけ―とする。

〔例〕◎岐路の70年、誓う平和
天皇陛下「深い反省」
◎新国立の整備計画決定
総工費上限1550億円
20年東京五輪で政府

2　見出しの要素は原則としてリード部分に書き込む。

3　記事の行数基準は、書き込むべき記事は書き込み、簡潔でよいものは簡潔にを前提に①各面トップ候補など主なニュース記事でも原則的に60行以内②大型サイド、企画、特集ものの本記は原則的に100行程度―に留意する。

4　「○…」「▽」「―」などで始まる項目別行替えも、1行目は1字下げ、2行目から11字にする。

〔例〕日銀総裁の記者会見のポイントは次の通り。
一、輸出と生産の鈍い動きは一時的。
一、雇用や所得の改善で消費は回復を示していく。

【箇条書き】

文中に箇条書きのある場合は①②…を使って追い込みにし、最後は「―」（長棒）で受ける。

〔例〕○○首相は○日、当面の政治課題について①景気の本格回復②金融システムの信頼回復③日米関係の再構築―を挙げた。

【発信地】

1　国内

(1)発信地（支社局名など）は見出しの後の【編注】に付記する。

〔例〕【編注】朝刊メモ（31）の（ア）本記、写真、地図、長崎発、広島注意

(2)「列島・北から南から」など一つの記事番号で2本以上の記事を送

る場合や「豆らんぶ」などの発信地は記事末尾のかっこに入れる。

〔例〕……。（名古屋）

……。（この項札幌）

2 海外

(1)記者電、外電の発信地・クレジットは、記事の初めに大がっこを付けて入れる。発信日は入れない。

【パリ共同＝共同太郎】…

【エルサレム共同】…

【香港AP＝共同】…

(2)発信地について記事中に記述がない場合は国名などを丸かっこで補うが、首都と総支局のある都市、著名な都市などでは省略する。

【ケープカナベラル（米フロリダ州）共同】…

【ラタキア（シリア北西部）共同】…

【北京共同】…

運動記事の場合、過去の五輪開催地と米大リーグの本拠地には国名を補わない。

【バルセロナ共同】…

【マイアミ共同】…

(3)発信地と通信社名がともに片仮名、漢字で読みにくい場合は読点を入れる。

【リマ、ロイター＝共同】…

【丹東、聯合＝共同】…

(4)東京発の外電およびRP、中国通信、朝鮮通信などの記事は【朝鮮通信＝共同】などとする。

(5)記者電の「解説」も記事冒頭に大がっこを付けて発信地・クレジットを入れる。加盟・契約社がどこで切っても記者電であることが分かるようにとの配慮からだ。見出し【編注】に「解説」と書く。

(6)企画や特集などではクレジットを記事末尾に丸かっこで入れる。

〔例〕……。（ワシントン共同）

……。（平壌共同＝共同花子）

……。（米コロラド州デンバーAP＝共同）

……。（広州、新華社＝共同）

(7)記者電以外の記事のクレジットは末尾に丸かっこで入れる。

〔例〕……。（共同）

(8)記者が帰国後に出稿する場合は取材地名などを記事中に明記し、末尾の丸かっこに記者名を入れる。

【解説、注、末尾編注】

1 海外発以外の解説は記事冒頭に【解説】と入れる。

〔例〕【解説】都道府県議会の4割が

乳幼児連れでの傍聴を原則禁止し、子どもに関わる政策を当事者不在の場で決めている。…

2 記事末尾に付ける注は、【注】と書いて本文に入れる。（外信の場合は末尾に「…。（共同）」とクレジットを入れる）

〔例〕【注】AP電によると○○○○補佐官の○○訪問は2月10日から13日まで。（共同）

3 末尾に付ける【編注】は、未成年者など記事中で匿名にした者の氏名や、死亡記事の県・市以下の出身地名、外国人や固有名詞のつづりなどを書く。

【読み仮名とつづり】

1 放送原稿や英文記事作成には、人名、会社・団体名など固有名詞の読み仮名やつづりは欠かせない。

2 人名、山・川の名前、会社名など固有名詞は参考ルビを付ける（韓国、北朝鮮の人名、地名は現地の読み方）。外国の人名、地名など固有名詞には末尾編注につづりを付ける。

【談話】

1 短い談話は文中に織り込む。インタビュー記事や長文の企画記事などで、その談話を強調したい場合は短くても別行にしてよい。長い談話は別行にするのが普通。硬派記事では、長い談話を別行、1字下げか「―」を使って箇条書きにすることもある。

〔例〕政府はこれに関連し「○○両国政府の紛争解決のための努力を高く評価する」との○○外相談話を発表した。

〔例〕【ニューヨーク共同】国連安全保障理事会が北朝鮮の中距離弾道ミサイル発射を非難した報道談話の要旨は次の通り。

一、発射は過去の四つの安保理決議に違反しており非難する。

一、安保理としての適切な対応を協議することで合意した。

〔例〕政治資金収支報告書に関する主な政党の談話は次の通り。

▽自民党（○○幹事長）経費削減に努め、党員の拡大などで自主財源強化を図りたい。

▽民主党　党財政は厳しい状況で、経費節減と財政基盤の拡充が引き続き課題だ。

2 談話者の使った言葉だけでは真意が伝わらない場合や誤解される恐れのあるときは（ ）で意味を補う。

〔例〕○○首相は…日本有事の際の日米共同作戦行動において「（公海上で）米軍が核を使うことを排除する立場にない」と表明した。

3 談話を記事末尾や別稿で出す場合は「▽」や「＝」を付けない。話す人物と内容の間は1字あけとする。

〔例〕作家○○氏の話　偉大な先覚を失ってショックを受けている。…

4 「 」を使わない場合の談話の後には文章を続けないようにする。（後の文章は談話の前にもってくるように工夫する）

〔例〕作業着の使い方について「ポケットは多いほうがいい。ただ、ポケットの位置が高いと、荷物を入れたときに腰に負担がかかる」

【一問一答、対談、座談会】

問い、答え、発言者名（または地名）は1字下げにし、その後1字あけて本文に入る。問いを「―」で示す場合は1字あけない。対談や座談会は姓（または名）だけにし「氏」や「さん」などの敬称は付けない。見出しなどではフルネームを明記し敬称を付ける。

〔例〕―会社ぐるみの犯罪ではないのか。

　田中　現時点では個人の話として認識している。…

〔例〕―日本新記録の感想は。

　「マラソンを走り切れたことにほっとしている。それに記録も出たのですごくうれしい」

―好記録が出た要因は。

　「栄養学の本を読んで食事に気を付けた。納豆をよく食べたし、それで粘れたのでしょうね」

〔例〕―北陸新幹線延伸への期待は。

　新潟　関西とのアクセスが改善する。多くの人に来てもらいたい。

　富山　ホテルや旅館の予約数が好調だ。

　石川　企業立地が増えている。新幹線効果を県全域に波及させたい。

【時の人】

1 11字詰め56行とする。

2 見出しの人名は必ずフルネームで書き、読み仮名と「さん」を付ける。

3 文中には年齢、出身地（都道府県まで）などを盛り込む。

4　記事末尾に【縮注】で筆者名、現住所または連絡先を付ける。

5　人柄がにじみ出るように多少ポーズをつけた上半身写真を添付する。必ず正面の顔写真を撮影しておく。

〔例〕

「時の人」

◎原爆証言の朗読劇を30年続ける俳優高田敏江（たかだ・としえ）さん

【ズーム】

難しい用語の解説、事件・会議などの内容を12行から25行程度に短くまとめる。見出しは「○○○○」と項目を書く。新聞社がゴシック文字にしたり〔　〕や「　」などで囲んだりしやすくするため、記事の初行は1字下げで見出しと同じにし、1字あけて本文を書く。

〔例〕

◎景況感

景況感　景気調査に対する回答者の全般的な判断のこと。日銀の生活意識に関するアンケートでは1年前に比べ景気が「良くなった」「変わらない」「悪くなった」の3段階で判断する。…

【国会関係】

1　本会議、委員会記事での議員の敬称は、原則として役職名を用いるほかは○○氏に統一し、○○代議士、○○議員、○○委員などは使わない。

2　政党名は自民、民主、公明などとし、自、民、公などと略さない。代表質問などの場合は所属政党名ではなく、院内会派の名称を記すことが多い。

3　その他の主な用語統一。（かっこ内のようにしない）

議運委（×議運）　農水委（×農林委）　継続審議（×継続審査）　政府、与党（×政府・与党）

4　予算委員会などの質疑は「基本的質疑」「集中審議」「締めくくり総括質疑」などとする。詳報については、衆参両院本会議は「詳報」（200～300行）「詳報コンパクト版」（100～150行）、委員会は「論戦の焦点」（200～300行）「論戦のポイント」（100～150行）とする。

本会議の「詳報」「詳報コンパクト版」は従来、質問者ごとに、

質問と答弁を対比する形で出稿してきたが、2009年通常国会以降は次のように改めた。

(1)詳報①から順に、質問者ごとに質問の要旨をまとめ、小見出しを1本取る。小見出しの字数は合わせる。議員名と（ ）内に所属会派、選挙区の都道府県名または比例ブロックを明示する。テーマごとには区切らない。

(2)首相らの政府答弁を一括してまとめ、詳報通し番号の最後の番号を割り当てる。小見出しを1本取り、テーマごとに【 】で区切る。

(3)「詳報コンパクト版」は(1)の質問者ごとの質問要旨コンパクト版と、(2)の答弁要旨コンパクト版を合わせて1本の記事とする。

予算委員会など委員会質疑の「論戦の焦点」「論戦のポイント」のスタイルは従来通りで、テーマごとに【 】で区切り、一問一答の対比形式とする。中見出しは字数をそろえる。

【例】本会議詳報・質問者

◎衆院代表質問の詳報①

民主・岡田克也氏

▽役略含めるか

岡田克也氏（民主・無所属クラブ、三重）

戦後50年の村山富市首相談話は60年の小泉純一郎首相談話に引き継がれ、日本政府の歴史認識、外交方針として国内外で広く認知されてきた。「植民地支配」や「侵略」などの言葉は70年談話にも必ず含めるべきだ。…。

【例】本会議詳報・答弁

◎衆院代表質問の詳報④

政府答弁

▽英知結集する

安倍晋三首相

【戦後70年談話】先の大戦への反省、戦後の平和国家としての歩み、今後、アジア太平洋地域や世界のためにどのような貢献を果たすのかについて、英知を結集して書き込む。（岡田克也氏への答弁）

【格差是正】経済再生に取り組み、子どもたちが家庭の経済事情に左右されることなく、希望する教育を受けられるようにしていく。誰にでもチャンスがある、頑張れば報われるという社会の実現に向け、尽力する。（岡田氏への答弁）

太田昭宏国土交通相

【外国人観光客】地酒や和食など各地の豊富な観光資源を世界に発信することが重要だ。地方での多言語対応など、受け入れ環境の整備に取り組む。（赤羽一嘉氏への答弁）

〔例〕本会議・詳報コンパクト版
◎詳報コンパクト版
▽代表質問
岡田克也氏（民主）
戦後50年の村山富市首相談話にある「植民地支配」や「侵略」などの言葉は70年談話にも含めるべきだ。安倍政権の経済政策の最大の問題は成長の果実をいかに分配するかという視点が欠落していることだ。
毅田恵二氏（共産）
東京電力福島第1原発事故はいまだに原因が究明されていない。原発の再稼働や海外輸出は許されない。
▽政府答弁
安倍晋三首相
【戦後70年談話】先の大戦への反省、戦後の平和国家としての歩み、今後アジア太平洋地域や世界のためどのように貢献するかについて英知を結集して書き込む。
【格差是正】誰にでもチャンスがある、頑張れば報われるという社会の実現に向け、尽力する。
【原発】安全性を最優先させ、地元の理解を得ながら再稼働を進める。輸出では安全性の高い原子力技術を提供する。

〔例〕委員会・論戦の焦点
◎衆院予算委論戦の焦点
民主・長妻昭氏
▽先の戦争の教訓は―長妻氏
▽惨禍繰り返さない―首相
長妻昭氏（民主、東京）
【戦後70年談話】
長妻氏　先の戦争の教訓をどう考えるか。
安倍晋三首相　多くの国民の命を失い、アジアの方々にも多大なご迷惑をお掛けした。戦争の惨禍を二度と繰り返してはならない。当然、さまざまな教訓がある。

〔例〕委員会・論戦のポイント
◎衆院予算委論戦のポイント
衆院予算委員会の論戦のポイントは次の通り。

【戦後70年談話】

長妻昭氏（民主）先の戦争の教訓は。

安倍晋三首相　多くの国民の命を失い、アジアの方々にも多大なご迷惑をお掛けした。戦争の惨禍を繰り返してはならない。

【労働者派遣法改正】

山井和則氏（民主）企業の受け入れ期間制限を撤廃すれば派遣労働者が増える。

首相　非正規労働からの正社員化を望む方には、その道を用意するための規則を設けている。

5

委員会などの単独記事では質問者を必ず書き、所属を氏名の前に書く。

〔例〕岸田文雄外相は31日の参院拉致問題特別委員会で、北朝鮮による日本人拉致被害者の再調査に関し、「（調査の）期限を区切り、駆け引きの基本方針を明らかにすることは交渉を行う上で適切とは考えていない」と述べた。民主党の白眞勲氏に対する答弁。

6

採決

以前は15字電文を使っていたが、現在は通常の字数（11字電文）で対応する。

〔例〕

◎首相指名選挙の結果

衆参両院本会議での首相指名選挙の結果は次の通り。（敬称略）

【衆院】

投票総数　470票
（過半数　236）

安倍晋三　328票
岡田克也　73票
江田憲司　41票
志位和夫　18票
平沼赳夫　3票
吉田忠智　2票
浅尾慶一郎　1票
仲里利信　1票
無効・白票　3票

【参院】

投票総数　240票
（過半数　121）

安倍晋三　135票
岡田克也　61票
江田憲司　11票
志位和夫　11票
平沼赳夫　6票
吉田忠智　4票
荒井広幸　2票
松田公太　2票

山田太郎　1票
山本太郎　1票
白票　6票

7

法案・条約・予算案など提出および通過、成立（条約は承認）は次の例による。

〔例〕

【法案】（27日）

▽通過　航空法改正案（衆院）

▽提出　公立義務教育諸学校学級編制・教職員定数標準法改正案（民主党、衆院へ）

〔例〕

【法案・条約】（3日）

▽成立　個人情報保護法・マイナンバー法改正（衆院）

▽通過　確定拠出年金法改正案、日カタール所得二重課税回避・脱税防止協定締結承認案件（以上衆院）

▽提出　公選法・国民投票法改正案（民主党、衆院へ）

〔例〕

【法案・条約】（11日）

▽成立　民間資金活用公共施設整備促進（PFI）法改正、独立行政法人改革推進のための農林水産省関係法整備法（以上参院）

▽承認　日カザフスタン投資促進・保護協定締結、日ルクセンブルク社会保障協定締結（以上参院）

8

詔書・お言葉

御名御璽、内閣総理大臣名を省略する。

〔例〕

◎天皇陛下のお言葉

通常国会開会式での天皇陛下のお言葉は次の通り。

本日、第189国会の開会式に臨み、全国民を代表する皆さんと一堂に会することは、私の深く喜びとするところであります。…その使命を十分に果たし、国民の信託に応えることを切に希望します。

【政治】

1

片言政句

(1)記事スタイルは次の例による。

(2)朝刊メモの枝に立てる。「片言政句（8時、20行、S）＝タイトルカット」

(3)土、日、祝日は出稿しない。年末年始やお盆前後は出稿しない（バタで出稿しない期間を案内する）。

〔例〕

◎片言政句

片言政句（5日）

▽自分もその一人
石破茂地方創生担当相　安倍晋三首相の自民党総裁再選で（任期は）あと3年。その後どうするか。いろいろな人が考えねばならないが、自分もその一人であるべきだ。（自民党石破派結成を巡りラジオ番組で）

▽暴走にブレーキ
細野豪志民主党政調会長　与党の暴走にブレーキをかけるのがわれわれの仕事だ。政権交代を目指す政党として安定感を示せるよう模索しなければならない。（名古屋市での会合で）

2　発言採録

毎週土曜日に出稿。有力政治家の発言を8～10行で紹介。全体で90行程度。コマごとに小見出しを付け、発言の日と場所または状況を記す。政党バランスに配慮。

〔例〕
◎発言採録（23日～29日）

▽確実に完成
安倍晋三首相　国民、アスリートの声に耳を傾けながら、精力的に検討を行い、決定した。2020年東京五輪・パラリンピックに間に合うよう、確実に完成させる必要がある。（28日、総工費の上限を1550億円とする新国立競技場の新整備計画について関係閣僚会議で）

3　首相動静

【午前】【午後】に分ける。夕方に出稿し、その後「追加」として送信。外遊中は（現地時間）と表記する。

〔例〕通常
首相動静（11日）
【午前】7時48分、公邸から官邸。8時2分、閣議。58分、世耕弘成官房副長官。…。
【午後】0時19分、国会。20分、衆院本会議。47分、太田昭宏国土交通相。1時1分、参院平和安全法制特別委員会。…。

〔例〕外遊中
首相動静（29日）＝現地時間
【午前】シンガポールのチャンギ国際空港。
【午後】シンガポール国立大学でリー・クアンユー初代首相の国葬に参列。政府専用機で同空港を出発。
（30日）＝日本時間
【午前】0時55分、羽田空港。1

時27分、東京・富ケ谷の私邸。

【叙位叙勲】

一般記事にするか定型の記事にするかはニュース価値に従いその都度判断する。「従四位に叙し」は使わない。既に贈られている位階勲等名は省く。春、秋の叙勲は別に扱う。

〔例〕

◎片山幽雪氏に正四位

政府は10日の閣議で、1月13日に84歳で死去した能楽観世流シテ方の人間国宝で文化功労者の片山幽雪（本名博太郎）氏＝京都市○○区○○1130＝に正四位と旭日重光章を贈ることを決めた。

▽勲章

大勲位菊花章頸飾　大勲位菊花大綬章　桐花大綬章　旭日大綬章　旭日重光章　旭日中綬章　旭日小綬章　旭日双光章　旭日単光章　瑞宝大綬章　瑞宝重光章　瑞宝中綬章　瑞宝小綬章　瑞宝双光章　瑞宝単光章　宝冠章　文化勲章

▽褒章

紅綬・緑綬・黄綬・紫綬・藍綬・紺綬

【選挙】

1　立候補、投開票

(1)立候補者名簿は、氏名、年齢、現職または代表的肩書、党派別、現前元新別の順で、1行（15字）とする。

(2)立候補者の氏名は届け出名の漢字表記を原則とする。一部または全部を片仮名や平仮名で届け出た場合は、本名に則した漢字で表記する。立候補者が氏名を異体字で届け出た場合は、漢字使用の原則に従って処理する。芸名やペンネーム、女性が一貫して使用している旧姓などの「通称」が広く知られ通用、定着している場合、通称で表記することがある。

(3)立候補者の年齢は、投票日を基準とした満年齢で、「年齢計算に関する法律」に基づき、投票日翌日生まれの者も満歳とする。

(4)肩書は6字以内。

〔例〕

◇選挙

◎宮崎県知事選届け出名簿

立候補者次の通り（届け出順）

川村秀三郎65　元衆院議員　無新

河野　俊嗣50　知事　無現

堀田　孝一66　元高校教諭　共新

(5)略歴は、氏名、読み仮名、年齢、党派別、現前元新別、当選回数、推薦・支持政党、現職か代表的な肩書、経歴、本籍地、最終学歴の順で4行（現職から最終学歴までのいわゆる略歴部分は28字以内）とする。推薦・支持政党が多い場合はその分行数が増えることがある。

(6)経歴は、新しいもの↓古いものの順。本籍地は、当該選挙区と同じ都道府県の場合は市区町村名、他の県なら都道府県名または政令指定都市名を書く。

(7)当選回数は、告示用では選挙前の当選回数を、当選用は1回増やした当選回数を入れる。

〔例〕

◇選挙

【●指定】

◎青森県知事選立候補者略歴

三村　申吾（みむら・しんご）59　無現③＝公推

知事（百石町長、新潮社社員、衆①）おいらせ町、東大

大竹　進（おおたけ・すすむ）64　無新＝共・社推

整形外科医、反原発核燃市民団体共同代表、北海道、弘前大

〔例〕

◇選挙

【●指定】

◎大津市長選当選者略歴

目片　信（めかた・まこと）70　無現③＝自・公推

市長（県議、衆①）大津市、比叡山高

越　直美（こし・なおみ）36　無新①＝民・社推

弁護士（早大非常勤講師）大阪市、米ハーバード大院

(8)立候補者名簿、略歴、開票速報、開票結果（選管最終）など、15字スタイルを崩してはならない記事には、第2主ヘッダーに「◇選挙」を表示する。

〔例〕

◇選挙

◎新潟市長選開票速報

▽新潟市長選　22時30分

当　94384篠田　昭　無現

86608吉田　孝志　無新

77646斎藤　裕　無新

（開票率99％）

(9)衆参両院選挙、統一地方選挙については別に定める。衆参補選は知事選に準拠する。

2　知事・政令市長選挙

(1)告示の1週間前に出稿内容、行数などの案内を出す。

(2)告示本記（別稿で届け出名簿）、投票本記、選挙本記、中間開票速報、選管最終、全候補者の顔写真、略歴（告示用、当選用）などを出稿する。選挙本記に投票率を挿入する。略歴は事前送信する。

(3)投票当日、本記などを事前送信する。政令市長選では、当確と判断したら定型も出稿する。

〔例〕

◎福岡市長に高島氏再選

福岡市長　16日投開票の結果、自民、公明推薦の高島宗一郎氏（40）＝無現＝が、吉田宏氏（58）＝無元＝ら5人を破り再選。投票率は38・73％。

(4)記事はメモ立てする。

3　県庁所在地市長選挙

(1)立候補届け出締め切り後、告示本記（別稿で届け出名簿）を朝刊用に出稿する。

(2)当選者用の略歴を事前送信する。

(3)投票当日、本記を事前送信する。本記に投票率を挿入し、中間開票速報、選管最終などを出稿する。当確と判断したら定型も出稿する。スタイルは政令市長選と同じ。

(4)記事はメモ立てする。

4　一般市長選挙・東京特別区長選挙

(1)当確と判断したら、定型記事を出稿する。選管最終が出た時点で全候補者の確定得票数を出稿する。

(2)定型記事もまとめてメモ立てする。

定型記事の選挙事由は「任期満了」の場合、省略する。前市長の死去、辞職、失職、新市発足などは明記する。推薦、支持政党は衆院勢力順に列記する。

候補者は得票順に並べる。候補者が非常に多い場合、本記では得票が下位の複数候補を省略できる。ただし確定得票数は全候補者分を出稿する。必ず投票率を盛り込む。本記出稿後、選管最終が非常に遅くなるときは中間開票速報を出稿する。

〔例〕無投票

名寄市長（北海道）6日届け出締め切りの結果、自民推薦の加藤

剛士氏（43）＝無現＝が無投票で再選。

〔例〕任期満了

多賀城市長（宮城県）3日投開票の結果、自民、公明推薦の菊地健次郎氏（67）＝無現＝が、共産推薦の元県職員中田定行氏（65）＝無新、元市議伊沢貞夫氏（68）＝無新＝を破り3選。投票率は38・62％で過去最低。

〔例〕選挙事由あり、候補者多数

台東区長（東京都）前区長死去のため、1日投開票の結果、自民、公明推薦の元都議の服部征夫氏（72）＝無新＝が、民主、維新推薦の元衆院議員の中山義活氏（70）＝無新＝ら5人を破り、初当選。投票率は35・73％で過去最低。

◇選挙

◎台東区長選開票速報

▽台東区長選開票結果

当　25559服部　征夫　無新
　　19876中山　義活　無新
　　4482小柳　茂　無新
　　1781鈴木　一郎　無新
　　1339垣内　常子　無新
　　345武田　完兵　無新
（選管最終）

(3)話題性が高いと判断すれば、県庁所在地以外の一般市長選でも定型に加え、長めの一般記事を出稿する。必要に応じて単独メモで出稿する。

【官庁人事】

1　人事異動の場合は①○○人事（発令日）新職名（現職名）氏名―の順序で書く②連記の切れ目は▽で区切る③日付の数字には「付」は付けない④省庁の人事は「省」「庁」を必ず付ける⑤「同」はどこを受けるのか曖昧になるため「（同局○○課）」などとしない⑥前書きのない一般人事記事の見出しは「◎○○人事」とする。

〔例〕法務省人事（15日）保護局長（最高検検事）○○○▽最高検公判部長（法務省民事局長）○○○

〔例〕防衛省人事（16日）飛行教育集団司令官・空将（空幕防衛部長・空将補）○○○▽自衛艦隊司令官（横須賀地方総監）海将○○○

2 兼務など人事異動でない場合は次の順序で書く。

(1)現職のまま特に任命された場合は次の順序で、現職名には丸かっこを付けない。

○○人事（発令日）特に任命された職名、現職名、氏名

(2)兼務または事務取扱の場合は次の順序で、本務の職名には丸かっこを付けない。

○○人事（発令日）兼務または事務取扱の職名、本務の職名、氏名

〔例〕外務省人事（28日）国際法局長事務取扱　外務次官○○○○

〔例〕財務省人事（1日）兼○○○局長　○○○局長○○○○

3 辞職または免職の場合は①○○人事（発令日）免、1字あけ、職名、氏名の順で書く②辞職、定年、任期満了による退職の場合は「免」を「辞職」または「定年退職」「任期満了」とする。

○○人事（発令日）免　その職名、氏名

〔例〕国土交通省人事（20日）辞職　道路局長○○○○、関東地方整備局長○○○○

4 審議会などの委員人事では①各委員会の区切りは▽でつける②同一委員会では新任が先、再任を後にする③新任は（新）、再任は（再）とし、2人以上のときは（同）とせず、それぞれまとめて（以上新）（以上再）とする。

〔例〕内閣府人事（23日）原子力委員会委員　東大教授○○○○（新）、元日本原燃社長○○○○（再）▽沖縄振興審議会委員　沖縄県知事○○○○、琉球大准教授○○○○（以上再）

【略歴】

姓と名の間は1字あけにし、丸かっこ内に平仮名で読み仮名を付ける。主な経歴、年齢、出身地または本籍を書く。官庁や企業の人事記事に付く短い略歴と受賞・表彰などの長めの略歴がある。短い略歴の年表記は初出から西暦の下2桁にする。

1 人事記事の略歴

(1)官界や経済界の人事異動に伴う略歴は学歴、入省・入社年次、主な経歴、年齢、出身地の順で書く。1行11字で原則6～7行。年表記は初出から98年、00年など2桁で

書く。名称が変わった官庁や企業は必要に応じて新名称を丸かっこで示す。

〔例〕武藤　敏郎氏（むとう・としろう）東大卒。66年大蔵省（現財務省）。事務次官などを経て03年日銀副総裁。08年大和総研理事長。14年から東京五輪・パラリンピック組織委員会事務総長。72歳。埼玉県出身。

〔例〕一宮　なほみ氏（いちみや・なほみ）中央大卒。74年判事補。仙台高裁長官などを経て13年6月から人事院人事官。65歳。東京都出身。

(2)複数の人事の場合、氏名の前に【　】で新職名を明記する。（単数の場合は不要）

〔例〕

【事務次官】

桜井　俊氏（さくらい・しゅん）東大卒。77年郵政省（現総務省）。情報通信国際戦略局長を経て13年6月から総務審議官。61歳。群馬県出身。

【自治財政局長】

安田　充氏（やすだ・みつる）…

(3)内閣や政党の人事に伴う略歴は次のフォームを基準にする。

閣僚名簿一覧では敬称を省く。閣僚後任、副大臣、党役員、委員会委員長などの略称は「氏」を付ける。当選回数が衆参両院にまたがる場合は、最近の所属議院を先に書く。

〔例〕

◎閣僚の略歴

菅　義偉　66

（すが・よしひで）

総務相、党選対総局長、幹事長代行。法大卒（無派閥）

衆⑦神奈川2区

◎党役員の略歴

谷垣　禎一氏（たにがき・さだかず）東大卒。弁護士、財務相、党政調会長、総裁、法相。70歳。京都5区、衆院当選12回（無派閥）

◎委員長の略歴

▽衆院常任委員長

【予算】竹下　亘氏（たけした・わたる）慶大卒。復興相。69歳。島根2区、衆院当選6回（額賀派）

▽特別委員長

【拉致問題】平沢　勝栄氏（ひらさわ・かつえい）…

◎副大臣の略歴

【復興】若松　謙維氏（わかまつ・かねしげ）中大卒。総務副大臣。60歳。比例、参院当選1回、衆院当選3回（公明党）

2　受賞・表彰などの略歴

(1)原則として初出は西暦4桁の年表記にする。受賞理由などに関連する経歴を盛り込み、必要な場合は出身校の学部・学科名を書く。

〔例〕大村　智氏（おおむら・さとし）1935年7月12日、山梨県韮崎市生まれ。山梨大を卒業後、都立墨田工業高で5年間教師を務めた。東京理科大大学院修士課程を経て、63年山梨大助手。東京大で薬学博士、東京理科大で理学博士を取得し、75年に北里大教授。2001年北里生命科学研究所長、13年北里大特別栄誉教授。89年上原賞、97年コッホ・ゴールドメダル、14年カナダ・ガードナー賞の国際保健賞などを受賞。文化功労者、80歳。

(2)文化勲章などで複数の人を列挙する場合、本記に記された現職名は氏名の後に再録するが年齢や敬称は省略してもよい。原則として自宅の所在地を書く。

〔例〕樋口　久子（ひぐち・ひさこ、本名大塚久子＝おおつか・ひさこ）プロゴルファー。海外メジャー大会で日本人初優勝を果たすなど国内外で通算72勝。69歳。埼玉県出身。東京都渋谷区。

〔例〕

◎人間国宝の略歴と業績

【歌舞伎立役】

片岡　仁左衛門（かたおか・にざえもん、本名片岡孝夫＝かたおか・たかお）後に人間国宝となる十三代目片岡仁左衛門の三男として生まれ、上方を中心に舞台経験を積んだ。複雑な内面表現が求められる役柄にも秀で、上方歌舞伎屈指の系統である片岡家の芸を高度に体現している。東京都品川区在住。

3　寄稿やインタビューなど見出しに氏名がある場合、文末に付ける略歴の氏名は読み仮名だけで表記してよい。

〔例〕せん・げんしつ　1923年京都市生まれ。64年、千利休から15代となる茶道裏千家家元を継承し、宗室を襲名した。97年に茶道界初の文化勲章。2002年に家

元を頒り、大宗匠・玄室に改名した。12年から国連教育科学文化機関（ユネスコ）親善大使。

【出身地、本籍地】

1 略歴（選挙を除く）や死亡記事では本人の出身地を確認のうえ記入するのを原則とする。本人と連絡が取れない場合、死亡記事で家族に問い合わせても不明の場合は本籍地を記入する。

2 一般記事、特に事件関係で、要素として必要な出身地が不明の場合は本籍地を書く。

3 合併で市町村名が変わったり、出身地と本籍地が一致しなかったりすることも多いので、注意が必要だ。

【責任者、所在地】

かっこ内に責任者、所在地などを示す場合は次の例による。

○○機械（本社東京・丸の内、○○○○社長）

○○化学（東京、資本金8億2500万円、○○○○社長、5千人）

〔注〕経済関係の記事では原則として「本社」の2文字を省く。

○○鉄鋼労組（○○○○委員長、1万5千人）

○○審議会（○○○○会長）

○○調査団（団長・○○○○国連大学学長）

○○使節団（団長テレシコワ・ロシア下院議員）、場合によっては（団長テレシコワ下院議員）

〔注〕団長の下に片仮名、イニシャルがくる場合は「・」を省略する。

【決算】

会社決算短信などフォーム原稿の場合は特例として「掘置」などと送り仮名を省略する。

〔例〕

◎決算

3月期連結決算　当期純利益・単位百万円、年間配当・円、かっこ内前期、総会（6月）の順（◆は単独のみ）

◇鹿島掘置　15、139（20、725）5　25日

◇旭化成増配　105、625（101、296）19（17）26日

◇ミサワホーム減配　3、30（9、400）20（25）26日

◇コスモ石油無配　損失７７、７２９（利益４、３４８）０（２）２３日
◇ユニチカ無配継続　損失２７、０３３（利益５８３）０　２６日
◆リード復配　２８６（損失１１）３（０）２６日

【会社人事】

1　人事フォームの一般原則（決算人事の場合も同じ）

取締役以上の役員と監査役、「指名委員会等設置会社」の「執行役」だけ省く。執行役員（業務役員）は記載しない。２０１５年５月の改正会社法施行で「委員会設置会社」の新形態として「監査等委員会設置会社」が設けられ、従来の委員会設置会社は指名委員会等設置会社と改称された。執行役を置くのは指名委員会等設置会社だけ。

代表取締役は原則として記載しないが、社長制度を取りやめた場合は代表取締役を記載する。最高経営責任者（ＣＥＯ）、最高執行責任者（ＣＯＯ）は原則として記載しない。

取締役でない名誉会長、最高顧問、名誉顧問、特別顧問、顧問などは記載せず、取締役、監査役などがこれら役職に就く場合は「退任」とする。

役員人事の記載は、会長、副会長、社長、副社長、専務、常務、取締役相談役、取締役名誉会長、取締役最高顧問、取締役顧問、取締役、監査役、仮監査役、相談役、退任の順。

ただ現職の取締役、常務、専務が取締役を退任して執行役員などに就任する場合「▽退任　取締役Ａ」とし、改行して「Ａ氏は執行役員」とする。

2　指名委員会等設置会社の人事

取締役は監督、執行役は業務遂行と役割が分かれている。原則、会社発表の肩書を使用するが、取締役と執行役を兼務する場合は「取締役兼執行役」とし、取締役を優先して記載する。「代表執行役」は、単に「執行役」とする。執行役の昇格・降格や、退任人事は記載する。

役員人事の記載は取締役会議長、取締役会長、取締役兼執行役社長、取締役兼執行役副社長、取

締役兼執行役専務、取締役兼執行役常務、取締役、執行役、退任の順。

〔例〕◇東西商事（6月26日）取締役会議長（会長）○○○▽取締役兼執行役社長（社長）○○○▽取締役兼執行役副社長（専務）○○○▽取締役兼執行役常務（取締役）○○○▽取締役（専務）○○○、（監査役）○○○▽執行役専務（常務）○○○▽執行役常務（取締役）○○○▽執行役　サービス事業本部長○○○○、総務部長○○○▽退任　取締役○○○、監査役○○○○、○○○

3 新任取締役の就任

(1)現職のまま、または新役職で就任する場合は現職名、新役職名はかっこで囲まない。総務部長兼経理部長のように、兼務職がある場合、兼務の方は記入せず、最初に記載されている「総務部長」で処理する。

〔例〕◇幸福建設（15日）取締役　総務部長○○○○

(2)現職を辞めて就任する場合は現職名をかっこで囲む。

〔例〕◇大陽電機（10日）取締役（大阪工場長）○○○○

(3)現職を辞めないで取締役に就任する場合はかっこで囲まない。

〔例〕◇骨太鉄工（15日）取締役　南北銀行取締役○○○○

(4)現職を辞めて就任（既に辞めている場合の前・元の役職を含む）の場合はかっこで囲む。

〔例〕◇健康薬品（10日）副社長（南北銀行取締役）○○○

4 2人以上が同一役職に昇格

氏名の間を「、」で区切って氏名を列記し、同一の前役職の「（同）」は省略する。

5 役員の担務変更は出稿しない。

6 各役職の区切りは最初の項を除き「▽」を付ける。ただ、決算短信に含まれる人事は最初の部分から「▽」を付ける。

7 監査役は「常勤」「非常勤」とも一括して「監査役」に統一する。

【新聞・放送・通信社人事】

1 局長（同等職を含む）以上を出稿、記載順は前記の会社人事の1に準じる。スポーツ紙にも配信する。

〔例〕
◎○○新聞社人事
　○○新聞社人事（16日）専務（常務）○○○○▽常務（取締役）○○○○

〔注〕代表取締役会長、代表取締役社長、専務・常務取締役は会長、社長、専務、常務とする。

2 加盟社、加盟社以外の全国紙、放送キー局、準キー局などの社長人事は、略歴と顔写真を付けた一般記事を出稿する。

3 新職名に担務が付く場合、新職名に中点で担務を続ける。前職の担務と変わらない場合、担務と氏名は続けて書く。

〔例〕専務・編集担当（常務）○○○
〔例〕専務（常務）編集担当○○○○

4 担務の変更だけの場合は、新担務（旧担務）肩書氏名の順で書く。

〔例〕編集担当（営業担当）専務○○
　○○

5 役員が一般職を兼務する場合の「委嘱」や、局長が別の局長を兼ねる「兼務」は、担務の変更と同表記する。「委嘱を解く」「兼務を解く」はその旨書く。

〔例〕総務局長 専務○○○○
〔例〕総務局長の委嘱を解く 専務○○○
〔例〕事業局長の兼務を解く 総務局長○○○○

6 複数が同一職に就任する場合、氏名の次を読点で切り、「同」を使わない。

〔例〕常務（取締役）○○○○、○○○▽取締役（経理局長）○○、（営業局長）○○○○

7 現職のまま取締役などに昇任した場合、次のように書く。

〔例〕取締役 経理局長○○○○

8 辞職、退任の場合、現職をかっこに入れない。

〔例〕辞職 取締役○○○○

【死亡記事】

基準　死亡記事に一律の出稿基準はないが、社会的地位、知名度、業績を基に、できるだけ幅広く積極的に記事にする。有名人、企業関係者だけでなく、学生時代に講義を受けた人が全国にいる大学教授、社会的に話題となった住民運動のリーダーなども死亡記事の対象となる。

関係者からの連絡や企業、官公庁の広報には間違いがあり得る。必ず自宅に電話し、記事フォームに従って盛り込むべき全項目を確認する。特に生年月日、自宅住所、出身地の確認を怠らないように。

有名人で1面に載るような場合や社会面で大きな扱いになると思われるケースは、一般記事スタイルで出稿する。有名人でなくても、話題性があると判断したら、一般記事スタイルのヒューマンストーリーに仕立てる工夫が必要だ。

新聞社によって扱いが分かれる可能性があり、一般記事を出した場合も定型記事を出稿する。

フォーム　死亡記事に盛り込む項目は、一般的に

①氏名（読み仮名、死亡時の主な肩書、縁故関係、大学教授・学者などの場合は専攻）
②死亡日時（分単位で書く）
③死因
④死亡場所、死亡事実（定型は病院名不要）
⑤年齢
⑥出身地または本籍
⑦自宅住所（病院などで死亡のケース）
⑧葬儀・告別式（特に必要ないときは葬儀を省略してよい）の日取り（30分は半とする）と場所、社葬などの場合はその様式
⑨喪主（同姓の場合は名だけ、異姓の場合は氏名を書き、読み仮名を付ける。平仮名、片仮名だけのときは読み仮名を省略する）

―の順とし、略歴が必要なケースは別行で書く。通夜の日取りは、末尾の【編注】に日時、場所の順で書く。

有名人の親、配偶者などニュース対象本人でない場合の死亡記事は、項目を絞り
①氏名
②死亡日（時間は不要）

③死亡事実（死因は不要）
④年齢
⑤出身地
⑥自宅住所
⑦葬儀・告別式の日取りと場所
⑧喪主

―の順とする。末尾の【編注】に通夜の日取りも入れる。

定型記事では振り仮名（文中ルビ）を使わない。行間を詰めて掲載されることが多いためで、読み仮名が必要な語句は丸かっこで示す。丸かっこ内で読み仮名が必要なら「（演繹＝えんえき＝学）」などとする。分かりにくい場合は〈 〉を使う。死因・病名は「すい臓がん」「肺そく栓」「誤えん性肺炎」のように振り仮名が必要な部分を平仮名書き（交ぜ書き）する。一般記事では「膵臓がん」「肺塞栓」「誤嚥性肺炎」と文中ルビを付ける。

定型記事の経歴の「年」は西暦の上2桁を省略して1マスに連数字で「09年」などと記す。

一般記事も死亡者、喪主の氏名の読みは丸かっこに入れる。敬称はかっこの後に付ける。

1 一般記事

〔例〕

◎田中一郎氏が死去

ツキノワグマ研究者

【編注】朝刊メモ（49）の（ア）、一般記事、定型記事（社会089S）も送信、顔、金沢発、福井、科学部注意

ツキノワグマの研究で数々の業績を残した動物生態学者で共同大名誉教授の田中一郎（たなか・いちろう）氏が1日午前7時47分、膵臓がんのため金沢市の○○病院で死去した。88歳。福井市出身。自宅は金沢市○○町5の22。葬儀・告別式は3日午後1時から金沢市○○町7の1、○○祭典金沢会館で。喪主は長男富雄（とみお）氏。

ツキノワグマの生態研究で知られ、○○研究所主任研究員や共同大教授を歴任、2005年に紫綬褒章。09年には「ツキノワグマと私」を出版した。

【編注】出身地は福井市、以下不詳、通夜は2日午後7時から○○祭典金沢会館で

2 定型記事（本人）

(1)標準的なケース

〔例〕

◎田中一郎氏死去

動物生態学者

【編注】朝刊メモ（49）の（イ）、定型記事、一般記事（社会088S）も送信、金沢発、福井、科学部注意

田中　一郎氏（たなか・いちろう＝動物生態学者、共同大名誉教授）1日午前7時47分、すい臓がんのため金沢市の病院で死去、88歳。福井市出身。自宅は金沢市○○町5の22。葬儀・告別式は3日午後1時から金沢市○○町7の1、○○祭典金沢会館で。喪主は長男富雄（とみお）氏。

ツキノワグマの生態研究者として知られ、05年に紫綬褒章。著書に「ツキノワグマと私」。

【編注】出身地は福井市、以下不詳、通夜は2日午後7時から○○祭典金沢会館で

(2)名が平仮名、片仮名のケース。本人が氏名とも仮名の場合は読み仮名を省略する。また喪主の名が平仮名、片仮名だけの場合も読み仮名を省略する。

〔例〕

◎たぬまヨウヘイさん死去

詩人

たぬま　ヨウヘイさん（詩人、本名田沼洋平＝たぬま・ようへい）5日午前5時、心筋梗塞のため北海道函館市の病院で死去、77歳。北海道出身。自宅は函館市○○町6の5。葬儀・告別式は…。喪主は妻テルさん。

(3)本人と喪主の名に仮名と漢字が交じる場合と「ゐ、ゑ、ゟ、ヿ」を含む場合は読み仮名を付ける。

〔例〕西川　右ヱ門氏（にしかわ・うえもん＝画家）

…喪主は妻み琴（みこと）さん。

…喪主は妻ぬゐ（ぬい）さん。

読み仮名の付け方（106ページ）

3　定型記事（本人以外）

ニュース対象者の親や配偶者の場合は、必要項目のうち原則として「死亡時間」「死因」「死亡場所」を省略する。

〔例〕

◎鈴木ミサコさん死去

○○電機取締役の母

鈴木　ミサコさん（すずき・みさこ＝鈴木三郎○○電機取締役の

母）6日死去、86歳。青森県出身。自宅は青森市旭町○の1。葬儀・告別式は8日午前11時から青森市西滝○の27、○○寺で。喪主は長男太郎（たろう）氏。

【編注】出身地は青森県鰺ケ沢町、以下不詳、通夜は7日午後6時から○○寺で

注意事項

(1)定型記事の本文文頭に書く本人名の姓と名の間は1字あける。

(2)敬称は男性が「氏」、女性は「さん」を原則とするが、男性でも経歴などによって「さん」がふさわしい場合は使ってよい。

(3)芸名やペンネームの方が通りのよい人はそちらを見出しとし、かっこ内の肩書・経歴の後に読点でつないで「本名○○＝読み仮名」を入れる。見出しに取った氏名と本名の姓が同じ場合、本名の姓は省略してよい。

〔例〕

◎武者次郎氏死去

俳優

武者　次郎氏（むしゃ・じろう＝俳優、本名孝夫＝たかお）2日午後4時20分、肺炎のため東京都○○区の病院で死去、95歳。秋田県出身。葬儀は近親者で行った。喪主は長男誠（まこと）氏。

(4)「尊父」「岳父」「母堂」「令室」「令息」「令嬢」などは使わず、父、母、養・義父（母）、長男、次女、養子（女）、パートナーなどとする。娘の夫は「女婿」。

(5)死亡時の肩書は二つを限度とし、現職を優先する。故人の肩書が旧社名の場合は、現社名を〈 〉で示す。大学教授らの専攻は（ ）内の肩書、縁故関係の後に入れる。必要に応じ三つ目の肩書を末尾の【編注】に記す。

〔例〕竹中　一郎氏（たけなか・いちろう＝元○○銀行〈現○○フィナンシャルグループ〉常務、元○○電工副社長）

〔例〕西川　英彦氏（にしかわ・ひでひこ＝○○大名誉教授、○○工大名誉教授、物性物理学）

(6)死亡者の肩書を縁故関係で紹介するとき、死亡者の肩書か縁故者の肩書かを判別できるよう句読点、中点（・）の付け方に注意する。

〔例〕橋本　恵子さん（はしもと・けいこ＝故橋本三郎元○○物産会

長・元参院議員の妻）

この例の場合「元○○物産会長、元参院議員、故橋本三郎氏の妻」とすると、死亡者が元○○物産会長で元参院議員のようにも読める。縁故者氏名を前に出し、中点を打つなどの方法で正確に記述する。

〔例〕市村　和子さん（いちむら・かずこ＝随筆家。作家市村剛氏の妻）

(7)月の末日に翌月1日付朝刊用で出稿する場合は、死亡日が出稿日と同じ月でも「○月○日…死去」と月を入れる。告別式などの日取りが掲載日と同じ月ならば「葬儀・告別式は○日」などとする。

(8)死亡場所の表記は、自宅以外の病院などのときは「市、区、町、村」にとどめる。東京都、政令市のときは原則として区まで入れる。「宮城県○○市の病院で」「東京都○○区の病院で」「静岡県○○町の病院で」など。

定型記事で死亡場所の病院名は不要。一般記事スタイルや、特に死亡場所に意味があるときは本文中に書く。「○○大学医学部付属病院」は「○○大病院」とする。

(9)地名は必ず都道府県名を表記するが、同じ市町村や特別区が出てくる場合は2度目から都道府県名を省く。道府県庁所在地と政令指定都市は初めから都市名とする。「同県」「同市」など「同」は混乱を招くので使わない。

(10)番地、マンション（名称は省略）の部屋の号数は平仮名「の」でつなぐ。

〔例〕東京都港区東新橋1の7の1の305

(11)死亡場所が自宅の場合は、出身地の後の自宅住所を省略する。

〔例〕江川　太助氏（えがわ・たすけ＝○○大名誉教授、体育教育学）15日午後0時17分、肺がんのため神奈川県横須賀市○○7の4の自宅で死去、65歳。鳥取県出身。葬儀・告別式は17日午後1時から横須賀市○○5の5の6、○○葬祭○○会館で。喪主は妻夏子（なつこ）さん。

(12)死亡場所が病院で、葬儀場所が自宅の場合も「…出身地、葬儀の日取りと場所、喪主」の順とし、出身地の後の自宅を省略する。

〔例〕神戸　巌郎氏（かんべ・よしろう＝能楽○○流シテ方、本名田川

和夫＝たがわ・かずお）8日午前5時25分、喉頭がんのため香川県観音寺市の病院で死去、84歳。大阪市出身。葬儀・告別式は10日午前11時から観音寺市○○55の自宅で。喪主は…

(13)出身地は、本文中は都道府県名とする。道府県庁所在地と政令指定都市の場合は市名でよい。記事の前段で出身地の市町村名が出てくるときは都道府県名を省き、単に「○○市出身」などとする。

〔例〕…大阪府岸和田市の病院で死去、68歳。岸和田市出身。…

(14)出身地が東京都以外のときは末尾の【編注】に「出身地は○○県○○町」と詳細に付記する。

〔例〕【編注】出身地は福島県富岡町

【編注】出身地は長野市、以下

不詳

(15)出身地名は合併などで変わっていることが多いので「全国市町村要覧」「日本行政区画便覧」などで確かめ、現在の地名を記載する。

本籍地と出身地が一致しないケースも多い。出身地は本来「生まれ育った土地」を指すが、遺族が「育った土地」を出身地とすることもある。原則として遺族の意向に従う。

遺族も本籍地しか分からないときは「○○県出身」の代わりに「本籍○○県」と書き、その理由を末尾の【編注】に記す。

(16)日本人で出生地が外国の場合は「出身」とせず「○○生まれ」と表記する。

〔例〕ソウル生まれ　中国ハルビン生まれ　中国・大連生まれ

(17)自宅などが非公表の場合は末尾の【編注】に「自宅は非公表」などと記す。

(18)葬儀・告別式は遺族が希望する場合、「お別れの会」（キリスト教）「葬場祭」（神道）などとしてもよい。近親者だけが出席する密葬は原則的には記事に書かないが、知名度などから必要と判断したら、密葬の日時、場所を入れてもよい。

〔例〕石川　智也氏（いしかわ・ともや＝元○○物産社長）15日午前9時12分、老衰のため東京都江戸川区内で死去、95歳。東京都出身。追悼ミサ・告別式は17日午後1時から江戸川区江戸川○の○の15、カトリック○○教会で。喪主は長

男洋介（ようすけ）氏。○○物産の主催でお別れの会を開くが、日時、場所は未定。

【編注】自宅住所、死亡場所は非公表、前夜祭は16日午後7時からカトリック○○教会で、出棺は経済部

(19)喪主の続柄と名前の間に「の」は入れない。死亡者と喪主の姓が異なる場合、喪主の姓にも読み仮名を付ける。

〔例〕金平　和夫氏（かねひら・かずお＝○○大教授、ロシア文学）6日午前4時9分、肺がんのため大阪府富田林市の病院で死去、57歳。大阪市出身。葬儀・告別式は8日正午から大阪市北区○○4の6の39、○○会館で。喪主は長女橋本曾子（はしもと・ゆきこ）さん。

(20)芸能人、作家などの場合は芸名、ペンネームのほか本名にも読み仮名を付ける。本名が冒頭に来ないあっても喪主の姓名に読み仮名を付ける（喪主にもペンネームや芸名があるときは両方書く）。著名人の親類縁者の死亡記事もこのフォーム。

〔例〕月影　遥香さん（つきかげ・はるか＝作家、本名佐藤春江＝さとう・はるえ、歌舞伎俳優の十代目中川半蔵氏の妻）10日午前0時55分、肺がんのため東京都港区の病院で死去、85歳。新潟県出身。葬儀・告別式は12日午後0時半から港区○○5の5の8、○○寺○○殿で。喪主は夫十代目中川半蔵（なかがわ・はんぞう、本名佐藤三郎＝さとう・さぶろう）氏。

(21)中国人の読み仮名は、日本式の読みにする。韓国・朝鮮人の読みは、原則として（可能な限り）原音で片仮名表記する。

(22)社葬、団体葬などで、葬儀委員長の氏名には読み仮名を付けない。

〔例〕山本　巌徳氏（やまもと・がんとく＝陶芸家、日本芸術院会員）…親族で密葬を行った。本葬は28日午後1時から京都市○○区○○町22の15、○○院で。葬儀委員長は陶芸家の吉田智正氏。喪主は長男巌多（がんた）氏。

(23)死亡記事の続報では、末尾の【編注】に、前に送信した記事の日付と記事番号、故人の読み仮名を記入する。出身地が東京都以外の場合は出身地も書く。

〔例〕

◎故佐々木太朗氏の社葬

○○電機相談役

故佐々木太朗氏（○○電機相談役、元社長、7月1日死去）の社葬　9月7日正午から東京都港区○○2の20、○○葬儀所で。一般会葬者のための告別式は午後1時から。葬儀委員長は斎藤和男○○電機社長。喪主は妻知子（ともこ）さん。

【編注】出身地は神戸市、以下不詳、7月1日社会033S参照、ささき・たろう

〔例〕

◎故小林文夫氏のお別れの会

囲碁棋士

故小林文夫氏（囲碁棋士九段、○○棋院相談役、15年11月2日死去）のお別れの会　2月25日午後2時から大阪市北区○○5の2の○○、○○ホテルで。実行委員長は山口十郎○○棋院理事長。

【編注】出身地は兵庫県、以下不詳、15年11月5日大社025S参照、こばやし・ふみお

㉔死亡者の経歴、業績

死亡記事中の経歴、業績の部分は略歴の書き方（512ページ）に準拠する。

〔例〕

◎町村信孝氏死去

前衆院議長、元官房長官

町村　信孝氏（まちむら・のぶたか＝前衆院議長、自民党衆院議員、元官房長官）1日午後2時15分、脳梗塞のため東京都内の病院で死去、70歳。北海道出身。自宅は東京都目黒区○○○1の28の13。葬儀は5日…。葬儀委員長は安倍晋三首相（党総裁）。

官僚出身で税財政に詳しく…消費税増税に道筋を付けた。…。

69年東大卒。通商産業省（現経済産業省）を経て83年衆院選で初当選し、12回当選。97年に第2次橋本改造内閣で文相として初入閣。04年に第2次小泉改造内閣で外相、07年に福田内閣で官房長官に就いた。…

日時の書き方

【年月日】

1 一般記事の「年」は原則的に西暦表記とし、国内記事の場合は必要に応じ日本の年号（元号）を丸かっこで付記する。

〔例〕2020年の東京五輪
1936（昭和11）年の二・二六事件

〔注〕現年号（平成）は原則として付記しない。

2 西暦の数字は原則として初出は4桁、次出以降は下2桁とする。「2000～04年」のように期間を示す連続した数字は2桁表記とする。

前出と西暦の100年代が異なるときは原則、4桁表記する。ただし読み間違えの恐れがないときに限り、次出を2桁表記してよい。

前出と年号が異なるときは初出に準じ、必要に応じて丸かっこで年号を付記する。

〔例〕1997年から米国に留学し、2004年に修士課程を修了した。99年、故国の母が重い病気になり…

〔例〕1906（明治39）年「坊っちゃん」をホトトギスに発表した。1895年、松山に英語教師として赴任した経験が作品の下敷きになっている。…英国留学中の1902年には正岡子規が死去、16（大正5）年に漱石も亡くなった。

3 年号を表記する際は、必ず西暦を付記する。

〔例〕文久3（1863）年

4 期間を示す場合と年代を書く場合は、年号付記を避ける。記事中に年号で年代を書く必要が生じたときは、年号単独で書く。

〔例〕1945～2010年
2005～08年

〔例〕1980年代　90年代
昭和30年代

5 世紀は西暦紀元による100年間の呼称で、20世紀は1901年から2000年まで、21世紀は2001年から2100年まで。

6 その年のニュースは「年」を略し「月」以下を書く。その月のニ

ユースは「月」を略してよい。
月初め、月末で混乱の恐れがあるときは「月」を明記する。

7 「昨日、今日、明日、今朝、昨夜、今夜」とすると、新聞では混乱の恐れがある。見出しその他で使用が適切なときを除き、原則としてその日の「日付」を書く。外国の場合は使い方に注意し、見出しは日本時間にする。

8 定型以外の死亡記事、受賞やインタビューなどの記事に付ける略歴、年表（経過）、通史、語録、写真説明、グラフィックスなどの西暦年は、原則として初出4桁、次出以降は下2桁を1マスに記す。必要に応じ初出に年号を付記する。

〔例〕1945（昭和20）年の終戦、47年の憲法施行…

〔注〕年号を全ての項目に付記する必要が生じた場合、前出と同じ年号は「同」とする。1903（明治36）年、09（同42）年など。

9 定型死亡記事、官庁や企業の人事記事に付ける略歴の西暦年は下2桁を1マスで記す。2000年も「00年」と表記する。

➡略歴（512ページ）

〔例〕
共同　太郎氏（きょうどう・たろう）○○大卒。72年検事に任官、法務省人事課長を経て00年4月から最高検検事。…

【年度】

1 年度の記し方は、原則として「2016年度」「17年度」と当該年数を表記する。「今年度」「明年度」は使わず、必要に応じ「本年度」「来年度」「昨年度」「前年度」を使用する。

〔注〕
▽1～3月は暦年と（会計）年度が異なるので、年数表記を厳守する。
▽文章を軟らかく書くときは「今年の予算」「来年の予算」「新年度入り」などとしてよい。
▽年号の付記は「年」表記に準ずる。

2 「会計年度」「翌年度」などは、その対象や国によって起算月日が異なるため注意が必要。

(1) **会計年度**
日本の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

外国の場合は期間を付記する。

例えば、米国の会計年度は前年10月1日から9月30日までで、終了する月の属する年で年度を呼称する。

〔例〕オバマ米大統領は、2016会計年度（15年10月～16年9月）の国防予算で…

(2)農業関係

日本では現在、生産物ごとの年度は使われていない。2016年に収穫されたものは「2016年産」のように暦年で書く。

〔例〕農林水産省は4日、2015年産水稲の全国の作況指数を発表した。

〔例〕14年産のそば粉の価格が上がり、そば店の経営を圧迫している。

〔注〕かつて使われた日本の米穀年度は前年11月1日から10月31日まで、麦年度は7月1日から翌年6月30日まで。

外国の場合は期間を付記する。年をまたぐときは2016～17年度などと書く。

〔例〕米農務省が発表した2015～16麦年度（15年6月～16年5月）の小麦需給見通しによると…

(3)業務関係

税務調査の事務年度、肥料の肥料年度など業種によって特殊な年度がある。必要に応じて期間を付記する。

〔例〕金融庁は大手行に対する2016事務年度（16年7月～17年6月）の監督方針を発表した。

【時間】

1 時刻は午前、午後をはっきり書く。5分刻みを原則とし、「ころ」「すぎ」を付ける。「30分」は「半」としてもよい。大事件・事故や地震の発生時刻、死亡記事の死亡時刻など厳密な時刻が必要なときは分単位で書く。

〔例〕午前10時15分ごろ　午後2時半すぎ　午後8時26分

2 秒以下の単位まで正確に示す必要があるときは「3月11日午後2時46分18秒＝東日本大震災＝」のように書く。

3 「12時」は「0時」で表す。

(1)昼の12時ちょうどは「正午」、夜の12時ちょうどは「午前0時」とする。「正午」を「午後0時」と

しない。

〔例〕1日午後0時15分（昼）、2日午前0時15分（未明）

(2)期限を表す場合は、例外として「午後6時から午後12時まで」のように「12時」を使ってよい。

4 24時間制をとっているものも、原則として12時間制に書き直す。

〔例〕午後4時20分上野発札幌行き寝台特急カシオペア（16時20分上野発とは書かない）

ただし鉄道時刻の表示や自然科学分野など、特殊な専門記事で24時間制が慣用されているものは、そのままでよい。

5 「○○時間ぶり」のように時間の経過を表す場合は、事件発生の1時間後から数える。数字の書き方（548ページ）

〔例〕人質は23時間ぶりに救出（午後5時に発生し翌日午後4時に救出）

6 外電記事の時刻は、現地時間で書き、日本に関係ある場合はかっこ内に日本時間を付記する。ただし見出しの「今日」「明日」「今夜」などは原則として日本時間で表す。

〔例〕

◎米大統領、今日記者会見
○○○○米大統領は10日午後8時（日本時間11日午前10時）から記者会見し、…について…

7 外国では夏時間を使っている所があるので、時差の換算に注意。

【その他】

1 曜日は特殊なときだけに使う。特定の週を表すときは上に「第」を付け、期間を表すときは下に「間」を付ける。

〔例〕毎週月曜日と木曜日の午後に開く。

8月の第2週に始まり、2週間で終わる。

〔注〕今週、来週の使い方には注意が必要。一週は日曜日に始まり土曜日に終わるから、日曜日付の新聞では本文中の来週、今週が食い違うことがある。特に見出しに気を付ける。

2 半期は1年を二つに分けたもの。四半期は半期をさらに二つに分けたもの。半期、四半期には暦年によるものと、年度によるものがあるので注意する。

半期は「上半期」「下半期」。四

半期は「第1四半期」「第2四半期」のように書く。

3 刑期は「懲役2年6月」と書き、「懲役2カ年」「懲役2年半」「禁錮6カ月」とは書かない。

4 「深夜」「未明」など一定の時間帯を指すときの表記ははっきりした基準がないが、放送原稿で本社は次を目安としている。ただし季節や地域によって変動があるので使い方に注意する。

未明（午前0時から夜が明けきらない午前5時ごろまで）
早朝（午前5時～午前7時）
朝（午前7時～午前9時）
夕方（日没の前後それぞれ1時間ぐらい）
夜（日没後暗くなってから午後10時まで）
深夜（午後10時～午前0時前）

5 陰暦月異名は次のように表記する。

睦月　如月　㊁弥生　卯月　皐月
水無月　文月　葉月　長月
神無月　霜月　㊁師走

6 十干、十二支は原則として「ひのえとら」「かのとひつじ」「うし」などと平仮名書きするが、必要に応じて漢字を使ってもよい。

〔例〕うま年・午年　さる年・申年　ひのえうま・丙午

十干

甲＝コウ、きのえ　乙＝オツ、きのと　丙＝ヘイ、ひのえ　丁＝テイ、ひのと　戊＝ボ、つちのえ　己＝キ、つちのと　庚＝コウ、かのえ　辛＝シン、かのと　壬＝ジン、みずのえ　癸＝キ、みずのと

十二支

子＝シ、ね　丑＝チュウ、うし　寅＝イン、とら　卯＝ボウ、う　辰＝シン、たつ　巳＝シ、み　午＝ゴ、うま　未＝ビ、ひつじ　申＝シン、さる　酉＝ユウ、とり　戌＝ジュツ、いぬ　亥＝ガイ、い

地名の書き方

1 所番地は原則として郡を省略し、次の順序・表記で書く。

都道府県―市―区―町（村）―丁目（大、小字）―番地

〔例〕東京都港区東新橋1の7の1

(1)番地は平仮名の「の」でつなぐ。「東京・港区東新橋…」としない。

(2)特に重要な意味のない場合は丁目、大字までにし、小字、番地以下を省略することもある。ただし「字」は使わず、「青森市大字浅虫」は「青森市浅虫」と表記する。特異なケースを除き、交通事故の発生場所は原則として「松山町1丁目で…」とする。番地を省略した場合「○丁目」を忘れないこと。

(3)**フル表記** 事件事故の当事者などの住所は小字・番地までフル表記を原則とする。ただし記事中の小字の文字は省略し、マンションやアパートの名前、部屋号数も記事中で必要がないと判断した場合は省略してよい。マンションの名前を省略して号数だけ記すときは番地と同様の「の」でつなぐ。

〔例〕東京都港区虎ノ門2の2の5の1012

(4)番地の数字が4桁以上の場合、千の位取りを示す点「,」を打たない。

2 次のような場合は地名の一部を省略する。

(1)道府県庁所在地、政令指定都市は道府県名を省く。

(2)一般に通用している書き方をした方が分かりやすい場合、近くに有名な目標物などがある場合。

〔例〕東京ドーム（東京都文京区後楽という所在地は不要）
東京・神田駅前（東京都千代田区鍛冶町2の1の5より分かりやすい）
札幌・ススキノ　東京・銀座
大阪・心斎橋

(3)全国的に有名な温泉、名所旧跡、湖沼、山岳、島、半島などは都道府県名を省いてもよい。

〔例〕東海村の日本原子力研究開発機構　別府温泉　日光東照宮
阿蘇山　関ケ原　佐渡島　後楽園　浜名湖　室戸岬　高野山

能登半島

(4)**団地の表記**　丁目、大字（記事中は大字の文字は省略）までで よい。

〔例〕横浜市港北区日吉本町1丁目、日吉団地1の10

〔注〕横浜市港北区日吉本町1の2の3、日吉団地1号10番（1ノ10、1―10）とはしない。

(5)町名、番地が重要でない場合。

〔例〕札幌市の円山競技場で練習

中卒倒…　大阪市のホテル日航大阪で関西財界人と懇談し…

3　「都下」「府下」「県下」など中央から見下した表現は使わない。

4　「来―」「帰―」「滞―」などは「在京」「上京」など分かりやすいものはよいが、分かりにくいものは地名をはっきり書く。

ただし地方で慣用されている場合は、その地方では使って差し支えない。

〔例〕（かっこ内のようにしない）

京都に来る（×入洛）

名古屋に滞在中（×滞名中）

神戸を出発（×離神）

福岡に来る（×来福）

5　読み方の難しい地名は、平仮名で読みを付ける。

〔例〕香川県・豊島（てしま）

6　地名に「ヶ」「ッ」など小文字は使わず、大文字の「ケ」「ツ」などとする。パソコンは小文字を表示することが多いので注意。

〔例〕霞ケ関駅　槍ケ岳　茅ケ崎

八ツ場ダム　一ツ橋

7　遭難、震源地などの位置を説明するのに、緯度、経度のほか、分かりやすい目標を書く。

〔例〕北緯45度、東経141度―利尻島南方15㌔の海上

震源地は北緯1・5度、東経126・3度のモルッカ海峡付近

8　地名を表す場合、「差別語、不快用語」の人種、身分、職業などの書き換え要領に従って差別観念を与えないよう注意する。☞差別語、不快用語（490㌻）

9　インターネットのURLや電子メールのアドレスは全角横打ち入力する。文章の末尾にくる場合は句点は付けない。

〔例〕http://www.kyodo.co.jp/

feedback@kyodonews.jp

人名、年齢の書き方

【姓名】

1　最初の姓名は略さずに書き、2度目から姓だけを書く。

2　同一文中に同姓の人が2人以上出てくるとき、2度目からは名だけを書くなど工夫する。近親者などの場合は、後から出てくる同姓は略す。

3　読み方の難しい姓名には平仮名で文中ルビを付ける。

〔例〕本告正（もとおりただし）

新内閣の顔ぶれ一覧、時の人、死亡記事の本人・喪主、略歴などは読み方の難易に関係なく丸かっこで読みを付ける。「ぢ・づ」「じ・ず」は使い分けるが、「ゐ（ヰ）・ゑ（ヱ）・を（ヲ）」の読み仮名は「い・え・お」とする。

〔例〕手塚千鶴子（てづか・ちづこ）

山田シズヱ（やまだ・しずえ）

4　姓に小文字の「ケ」「ツ」（「つ」と読む場合）「ノ」が付く場合は大文字表記する。学校名、企業名なども大文字表記を原則とする。

【肩書】

1　二つ以上の肩書を書く場合は①職名②官名③学位④位階⑤勲等—の順とする。

2　二つ以上の職名を肩書に書く必要のある場合は、そのニュースに直接関係のある肩書を初めに書き、2度目からは初めの肩書だけにする。

〔例〕県商工会議所副会頭、○○商事社長山田太郎氏は15日、会議所の定期総会で…と表明した。山田副会頭は…

次のように二つの肩書を姓の前後に分けて書いてもよい。

〔例〕自民党総裁○○○○首相

米国代表の○○○○大統領補佐官

3　肩書が姓名と絡み合う場合は次のように書く。

〔例〕（かっこ内のようにしない）

委員長・谷川一夫氏

（×委員長谷川一夫）「委員　長谷川」なのか「委員長　谷川」なのか分からず誤読の恐れがある。

元東大教授の中村清氏　中村清・元東大教授（×中村清元東大教授）

鈴木建設の鈴木一之介相談役　鈴木・鈴木建設相談役（×鈴木鈴木建設相談役）

4 団体の責任者をかっこ内に示すときは肩書と姓名の間に「・」を入れるか、肩書を後に書く。

〔例〕○○調査団（団長・岩瀬彰　NNA社長）

○○鉱業（東京、○○○社長）

○○委員会（委員長、ブラウン・ドイツ国連大使）

5 疑わしい肩書や事件で解職された人の肩書の書き方。

〔例〕自称東大生　東大の学生証を持つ男　○○会社○○課長と称する男　元○○会社○○課長

甲野乙吉

〔注〕旧所属を強調するときは「○○社元会長○○○容疑者」などと役職の前に「元」を入れてもよい。ただし関連記事を含めて表記を仮統一しておくこと。

6 列記するときは、次のように書く。

〔例〕席上、次の各市長から反対意見が出された。（かっこ内は市名）

小林香（福島）大森雅夫（岡山）秀島敏行（佐賀）…

肩書をかっこに入れて姓名の下に書くか、共通の肩書を一括して書いてもよい。

〔例〕法制審議会の刑事法特別部会委員は次の通り。

【刑法学者】　○○○○（東大教授）○○○○（京大教授）…

【裁判官】　○○○○（東京高裁判事）○○○○（最高裁総務局長）

〔注〕数が多く紛らわしいときは読点で区切る。

7 肩書に付ける「前」「元」「故」。

(1)「前」は、当人の直接の後任者が現職にある場合、または当人が辞任後まだ後任者が決まらない場合に使う。

〔例〕○○○○前首相

○○○○前ブラジル大統領

(2)「元」は①当人の直接の後任者が辞めている場合②副社長など同じ地位に複数の人物がいる役職の人が辞めた場合③称号、身分、制度などが変更された場合④当人があ

る職業を辞めた場合に使う。
〔例〕小泉純一郎元首相　元皇族
賀陽氏　元外相中曽根弘文氏
元教員

(3)「前」か「元」か不明の場合は「元」とする。社会記事などで「前」「元」の区別をしなくてもよい場合も「元」を使ってもよい。

(4)大相撲で、横綱が引退した場合や、大関や関脇、小結が降格後に最高位を表す場合は「元」を使う。親方も原則として「前」は用いず「元」とする。同一記事中に2人以上の同一名の「元親方」が混在する場合は「先代」「先々代」の表記を用いる。
〔例〕武蔵川親方（元横綱武蔵丸）
前頭7枚目の○○（元大関）
元高砂親方（元小結富士錦）
先代高砂親方（元小結富士錦）
と先々代高砂親方（元横綱朝潮）

(5)選挙記事の国会議員、地方議員、知事、市町村長などは、解散または任期満了や辞任後、後任が就任するまでは「前」、それ以降は「元」となる。

(6)「故」は死亡者の姓名の上に、肩書のある場合はその上に付ける。
〔例〕故大塚久雄氏
故東大名誉教授大塚久雄氏

8 大学の代表者について、北海道大、東京大、九州大などは内規で「総長」としているが、法律上は「学長」のため、本社は「学長」に統一する。私立大は「早稲田大総長」「中央大学長」など各大学の固有の名称に従う。

【敬称】

1 敬称は原則として「氏、さん、君、ちゃん」を使う。
子どもの敬称の原則は次の通り。
(1)男女とも中学生以上は「さん」。
(2)小学生の男子は「君」、女子は「さん」。
(3)「ちゃん」は主に小学校入学前に使う。小学生も事件の被害者や特別なケースでは適宜「ちゃん」を使用してよい。
(4)スポーツ関係の記事など内容によっては、男子中高生に「君」を使ってもよい。

2 受賞関係など同一記事では、なるべく敬称をそろえる。

3 外国の皇帝、王、法王、貴族の

位、称号、国名が重なる場合は次のように書く。

〔例〕英女王エリザベス2世　英国のエリザベス女王（陛下は付けない）　エディンバラ公フィリップ殿下（エリザベス女王夫君エディンバラ公と書くこともある）　サウジアラビアのサルマン国王

〔注〕英国の「サー」の称号を頭に付けたときは「氏」などの敬称は付けない。

4 姓の下に肩書が付く場合は敬称は要らない。

5 人名を列記する場合は各人に敬称を付けず、次のように書く。

〔例〕緒方貞子、鈴木美智雄、武田豊の各氏

6 死亡記事、略歴には「氏」「さん」の敬称を付ける。

7 本名や日本名を丸かっこで付け加えるときは、敬称はかっこの後に付ける。

〔例〕作家の津村節子（本名吉村節子）さん　ロッテ創業者の辛格浩（日本名重光武雄）氏

【敬称を付けない場合】

1 競技に則した1面、総合面、運動面のスポーツ選手、芸能欄の芸能人（ただし死亡、事件、事故、善行、訴訟などの場合は呼び捨てとしない）。→運動記事の書き方（559ページ）

2 辞令や立候補者一覧など。

3 歴史上の人物（歴史上の人物として定着したかどうかは没後30年をめどとする）。

4 座談会の発言者、続き物など企画記事の登場人物、起訴状、判決文などの要旨類など。ただし必ず「（敬称略）」を注記する。

【名前を伏せる場合】

【基本的な考え方】国民の知る権利に応えるためニュースは実名で報道するのが原則だ。しかし法律の規定がある場合や、書かれる人の名誉やプライバシーを傷つける恐れのある場合は例外的に匿名とする。

1 未成年者の犯行、非行

　少年法に基づき、20歳未満の非行少年などの氏名、写真を紙面や放送に出さない方針が確立されている。住所は市区町村までを原則とする。人口が少ない自治体の場合、さらにぼかすこともある。学

校名も原則として出さない。
犯罪発生時に少年だった者は、その後、逮捕、送検、起訴、裁判などの際、成年に達していても原則として匿名とする。
〔例〕○○事件で殺人罪に問われたA被告(25)＝事件当時(18)＝の判決公判が…
〔注〕少年法61条（記事等の掲載禁止）　家庭裁判所の審判に付された少年、または少年のとき犯した罪により公訴を提起された者については氏名、年齢、職業、住居、容貌等により、その者が当該事件の本人と推知できるような記事、または写真を新聞その他の出版物に掲載してはならない。

〔例外〕
(1)少年犯罪でも①逃走中で放火、殺人など凶悪な累犯が明白に予想される場合②指名手配中の容疑者捜査に協力する場合―など「本人の保護よりも社会的利益の擁護が強く優先する場合」は特例として名前や写真を出すことがある。ただし逮捕時から原則として匿名に戻す。
(2)少年犯罪の場合、家族も匿名とするが、家族または本人が有名人のときは実名とすることがある。
(3)未成年者による校内殺傷事件の場合、学校名は事件現場であるため明記し、被害者についても実名とすることがある。

2
精神障害者と家族の住所、氏名（重症のそううつ病も含む）
精神障害の可能性があり、刑事責任能力がないと判断される場合は容疑者を匿名にする。匿名の理由を読者に知らせるため、容疑者の精神状態や不審な行動を記事に盛り込んだ上で「○○署は刑事責任能力に問題があるとみて慎重に調べている」などと記述する。原則として精神科への入通院歴は書かない。
次の場合は原則として実名。
①精神障害者が逃走していて凶悪犯罪が予想され、早急な逮捕の必要がある場合。
②アルコール依存症、覚醒剤などの薬物中毒者。
③ノイローゼ、心身症の人。精神保健福祉法の「精神障害者」には

含まれず、誰でもそのような状態になり得る。「育児ノイローゼ」などと安易に書かず、できるだけ具体的に精神状態や事件前後の状況を書く。

3 性犯罪の被害者

性犯罪の被害者であると読者に伝わる記事では匿名にする。住所は市区町村までを原則とし、人口が少ない自治体では、さらにぼかすこともある。学校名も原則として出さない。

性犯罪で殺害された事件でも、死の事実を中心にし、一般の殺人事件として扱った記事では住所、氏名を原則として明記する。

4 感染症の患者など（防疫上、氏名公表が必要な場合や、本人・家族が公表を望む場合は例外）

5 参考人、任意調べ段階、別件逮捕の場合（内容の重大性または有名人などニュース価値によっては実名敬称・肩書もあり得る）

6 自殺未遂、心中未遂（通常は報道しないが、有名人などの場合は実名報道もあり得る）

7 暴力団事件や内部告発などで報復を受ける恐れのある場合

〔匿名にした場合の注意点〕

1 本人を推測できるような住所、肩書などを書くことは極力避ける。

2 親族は「妻(35)」「長男(15)」「中学生(14)」などと書く。

3 取材連絡上必要と思われる場合は、末尾の編注で「少女は大阪市中央区高麗橋1の4の2、共同花子」のように住所氏名を付記する。

4 加盟社の判断材料にするため、匿名や呼称について共同通信の判断を知らせる必要のある場合、末尾の編注や各社編集責任者宛てのバタで説明する。読者に知らせる必要のある場合は「おことわり」を送信する。

【事件、事故報道の呼称】

報道は実名を原則とし、被疑者の氏名の後に「容疑者」の呼称を付ける。被疑者の法律的立場を明確にするのが目的で、凶悪事件や現行犯逮捕についてもこの原則を適用する。犯罪の態様によっては「肩書」「敬称（さん・氏）」も併用する。

1 逮捕段階から起訴時点まで各記

事の初出時は、氏名の後に「容疑者」を付ける。ただし事件の内容などによって初出後は「肩書」の併用も可。

〔注〕犯罪被疑者（別の事件・事故の被告を含む）に逮捕状が出てから指名手配、逮捕、送検までは「容疑者」。しかし軽微な事件・事故、表現の自由に関わる事件、労働・公安事件などで摘発に政治的色彩の濃い場合などは各段階で「肩書」「敬称（さん・氏）」を使う。匿名で報道することもある。

2 実名を出す場合の任意調べ、書類送検、略式起訴、起訴猶予、不起訴処分は「肩書」または「敬称（さん・氏）」を原則とする。

3 起訴後から、公判段階は「被告」とする。「肩書」も使う。

〔注〕起訴本記は、通常「△△の罪で○○容疑者を起訴した。○○被告は…」とする。事件によっては起訴当日、同一人物の呼称は、雑観、サイドで「容疑者」「肩書」「被告」が混在する。

4 有罪確定後も呼び捨てはせず「受刑者」「死刑囚」「元被告」などを付ける。

5 無罪確定、刑期満了後は敬称を付ける。死刑執行後は「元死刑囚」とする。

6 再審開始の決定が出た場合は「元被告」を原則とする。決定と同時に刑や勾留の執行が停止されて釈放されたケースでは「さん」の敬称を付けることもある。

7 再審公判中は「被告」を原則とする。釈放されたケースでは敬称を付けることもある。

8 時効成立の場合は「敬称」「肩書」を付ける。

9 外国での事件・事故の被疑者も呼び捨てとはせず、前記の基準適用を原則とする。ただし政治犯などは当該国・地域の事情なども加味して判断する。

【年齢】

1 年齢は満年齢で表す。

年齢は発生日を基準とし、「時の人」や企画物では掲載日年齢とする。末尾の【編注】で生年月日を明記する。

〔注〕選挙の候補者一覧などは、投票日翌日現在の満年齢で示

す。→選挙（508ページ）

2 年齢は姓名、姓名敬称、姓名の下に付けた肩書の次に、かっこに入れた洋数字で示す。

〔例〕大林壮一氏(64)　平田たい子さん(59)　長男弘君(10)　次女和子ちゃん(6)　一郎ちゃん(11カ月)　亀千代さん(112)　山田太郎さん＝当時(39)＝

〔注〕

▽「大野一郎さん(21、京大4年)」とせず、「京大4年大野一郎さん(21)」「大野一郎さん(21)＝京大4年＝」と書く。

▽時の人、死亡記事などでは「58歳」「60歳」のように「歳」を付け、姓名と離して表記することがある。

▽死亡している人や長い間行方不明になっている人などの当時年齢の書き方は「山田花子さん＝当時(23)＝」とする。

3 世代は「代」を使い、30(歳)代、50(歳)代と書く。40(歳)台などと「台」は使わない。

【住所、職業、姓名、年齢の順序】

1 原則として住所―職業―姓名(敬称)―年齢の順序で書く。住所と職業の間には読点を打つ。

〔例〕東京都江東区○○4の11の28、和菓子店経営本間正雄さん(60)

2 勤務先、肩書などが入ったため住所と勤務先所在地が紛らわしいとき、住所を最初に書くと読みにくい場合は「姓名(敬称)―年齢」の後に「＝」を使って住所を書く。

〔例〕東京都渋谷区○○1の1、○○計器会社総務課長守屋嘉男さん(45)＝川崎市○○区○○8421＝ら3人

〔注〕勤務先と住所の両方を書く必要のある場合は、住所の前に「自宅」と書き入れてもよい。

3 記事中で数人を連記する場合。

(1)切れ目に「、」を使う書き方。

〔例〕…雪崩が発生、福岡山好会パーティー5人のうち、リーダーの会社員村田友一さん(30)＝福岡市中央区○○、同後藤一郎さん(28)＝同市博多区○○、福岡大2年西野隆さん(21)＝同市城南区○○＝の3人が巻き込まれ…

(2)切れ目に▽を入れる書き方。

〔例〕遭難したとみられるのは釧路市○○、会社員沢田俊一さん(30)▽同市○○○、同後藤太郎さん(25)▽札幌市北区…

4 多人数を列記する場合、事件・事故の被害者や犠牲者は敬称略にしない。

〔例〕○○事件の死者、入院患者は次の通り。(20日午後8時現在判明分、片仮名は字解不明)

【死亡】山本洋二さん(29)＝東京都足立区○○町▽高山正一さん(50)＝同区○○▽サトウ・ハジメさん(42)＝千葉県浦安市○○

【虎の門病院】土井栄子さん(49)＝東京都目黒区○○▽山下久江さん(24)＝文京区○○▽芥生(あざみ)恵子さん(46)＝横浜市港北区○○

敬称を付けない場合は「敬称略」と明記する。

〔例〕特定失踪者問題調査会が公表した失跡者は次の通り。(①名前、敬称略②住所③失跡時期④失跡場所⑤職業⑥失跡状況＝年齢、住所、職業は失跡当時)

①松本京子(29)②鳥取県米子市③1977年10月21日④米子市の自宅近く⑤家事手伝い⑥午後8時ごろ、自宅近くの編み物教室に行くと家を出たまま不明に。不審な複数の男の目撃情報もある

①金武川栄輝(26)ほか6人②…

数字の書き方

記事中の数字は、数量や順序などを示す場合は原則として洋数字、慣用句などは漢数字を用いる。見出しも本文と同様とする。

【表記の基準】

1　洋数字表記の仕方

(1) 2桁の数字は連数字とする。電話番号は除く。

〔例〕10月25日午後11時40分ごろ
汐留メディアタワー18階
12・34倍　42・195キロ

〔注〕3桁の連数字は「共同太郎さん(115)」のような丸かっこの中の年齢表記にだけ使う。

(2) 1万以上の数字には万、億、兆などの単位語を付ける。

〔例〕123億567万円
10兆4500億円　15万人

(3) 単位語の十、百、千は原則として使わない。「千」はきりのいい数字に限り使う。ただし株価指数やエンジンの排気量、スポーツの競技名など定着した表記は「千」を使わない。

〔例〕(かっこ内のようにしない)
700人(×7百人)
9870円(×9千870円)
1万5千円　3千メートル級の山々
2000ccのセダン

〔注〕1000ちょうどを表すときは、原則として単に「千個」「千本」などとし「1千」としない。上や下に「万、億、兆」などの単位語が付く場合は「5万1千人」「1千万ドル」などと「1」を入れる。

(4) 位取りを示す「,」は使用しない。小数点は中点「・」で示す。

〔例〕富士山の標高は3776メートル
0・09%

(5) 分数は「4分の3」「10分の1」のように表記する。「½」「¾」などの1マスの分数は料理記事などには使ってもよい。

(6) 「零時」とせず「0時」と書く。

(7) 株価指数、外為では、通常は不要な「0」を入れる。

〔例〕平均株価2万0925円71銭
1ドル＝121円08銭

2 数字の表記の注意点

(1)数字の範囲を表すには「～」を使う。「－」と紛らわしいので「―（長棒）」は使わない。

〔例〕2万～3万円　15～20人
　2006年9月～07年3月

〔注〕数字を含まない「月―土曜」「江戸時代中期―後期」などは「―（長棒）」。

(2)数の幅を示すときは、誤解を避けるため数字を省略しない。一般に数字は小さい方から書くが、複数被告の刑期や罰金、列車の遅れ、最大血圧と最小血圧などの幅は大きい方から書く。

〔例〕550～575円（×550～75円）
　50万～60万トン（×50～60万トン）

〔例外〕「2001～13年」「1ミリ＝1・1255～65インチ」のような場合だけは省略してもよい。

(3)四捨五入していないことや、大ざっぱな数字でないことを明示するときは小数点以下や「0」を省略しない。

〔例〕平均年齢52・0歳
　北緯17度00分

(4)大きな数字（予算、人口、面積など）をそのままの形で並べると、全体の印象がぼやけたり、煩雑になったりすることがあるので、適当な単位で打ち切ってよい。必要な場合は打ち切った単位名を明示する。

〔例〕千の位を四捨五入
　100万円未満切り捨て

(5)ローマ数字（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲなど）はなるべく使わない。

〔例〕ナポレオン3世
　START2

〔例外〕国家公務員採用Ⅰ種試験、競馬など公営競技のGⅠレース、絶滅危惧Ⅰ類はローマ数字。

(6)外来語として定着しているものは片仮名書きする。

〔例〕ナンバーワン　ツーバイフォー　ビッグスリー

〔例外〕「ナンバー2」以下や「ベスト8」などは洋数字。

3 洋数字を使うもの

(1)年月日、時間
(2)年齢、学年
(3)人数、件数、個数
(4)高さ、長さ、重さ、深さ、厚さ、距離、速度、温度、面積、体積
(5)角度、緯度、経度

(6)気象、地震関係
(7)代位、順位、番号
(8)頻度、回数
(9)資格、検定、階級、等級
(10)定員、議席数、票数
(11)丁目、番地、部屋番号
(12)百分率、割合、点数、指数
〔例〕5・36％　80点の出来
7、8割の力で投げる
〔例外〕
「99パーセント間違いない」など、比喩的な「パーセント」は片仮名書き。
「百点満点」は比喩的に使う場合に限り漢数字でもよい。
「三分咲き」「五分がゆ」「七分袖」など温度以外で10分の1を表す「分＝ぶ」は漢数字。
(13)郵便番号、振替口座番号
〔例〕105―7201（後に住所や名称が続く場合は読点を打つ）　00160―7―671
(14)電話番号
〔例〕03（6252）12××
04××（27）01××
090（3××7）86××
（0120）1234××
（0570）0××7××
国際電話＋49（69）9720 1××
(15)自動車番号
〔例〕足立300す59××
練馬53さ51××
(16)道路名、船の名称、航空機の機種名や型式
〔例〕国道33号　第2京阪　第9栄政丸
ボーイング737―700型
〔注〕航空機は通常、機種名だけ書き型式は入れない。「737型」としない。機種名は「―」を入れず「A350」「F35」。
(17)法令の条項・番号
〔例〕憲法第17条
昭和60年法律第185号（一第）は省略してもよい）
(18)金額、貨幣
〔例〕24万3千円　10円玉　25セン硬貨　100元紙幣　5千円札
〔例外〕「一分銀」など、円、銭、厘以外の単位の日本の貨幣は漢数字。
(19)他の数字に置き換えても同等の言葉がある場合
〔例〕1級建築士　2次試験　3等分　単3形乾電池　バルト3国　羽生4冠　東京23区　47都

道府県

(20)官公庁や団体・法人の下部組織名

〔例〕東証1部　警視庁捜査1課
営業第2部　第3管区海上保安本部　東京電力福島第1原発3号機　陸上自衛隊第2師団第25普通科連隊　番町小3年2組

4　漢数字使用の例

(1)団体・法人名、学校名、病院名、駅名などは固有名詞通りに書く

〔例〕第二東京弁護士会　東海大一高　市立第三中　京都第二赤十字病院　本郷三丁目駅

〔例外〕「羽田空港第2ビル駅」などは駅名の通り洋数字。

(2)熟語、故事、成句、慣用句

〔例〕一丁上がり　一日駅長　一人二役　第二の人生　三角形第三者　三権分立　五月雨

(3)順序や数量を示していても、語全体で特定の事物や概念を表す場合

〔例〕自動二輪（一輪車、三輪車なども）　二院制　二次災害　三審制（一審、二審も）　第三セクター　日本三景　非核三原則　防衛装備移転三原則　北方四島　伊豆七島

(4)数字としての意味が薄れた象徴的な用法で、かつ他の数字には置き換えられない表現

〔例〕一日も早く会いたい　一社員の不祥事　二度と繰り返さない　百八十度の方針転換

(5)「一」の繰り返し

〔例〕一人一人　一回一回

(6)数字に「大〇〇」が続くもの

〔例〕三大祭り　十大ニュース　テニス四大大会

(7)曖昧な数の表記で、洋数字では読み違いの恐れなどがある場合

〔例〕
十四、五歳（×14、5歳）
二、三百人（×2、300人）
二十数人（×20数人）
数十人（×数10人）
二千数百円（×2千数百円）
三十余年（×30余年）
五、六十万ﾄﾝ（×5、60万ﾄﾝ）
何百年（×何100年）

〔例外〕
「2、3人」「4、5千万円」「5、6億ドル」や「2万数千人」「12億数千万円」は洋数字でよい。
「30年余」「1年数カ月」は洋数字。

〔注〕「数人」の解釈は人によって

「2、3人」「5、6人」と分かれるので、できるだけ具体的に書く。「数百万円」なども同じ。

(8)「一つ、二つ、…九つ」

〔例〕心は一つ　二つ目の問題
　三つ星のレストラン

(9)「一人」「二人」が成句、慣用句、他の数字に置き換えられない表現に含まれる場合

〔例〕一人旅　一人っ子　一人娘
　自分一人　お二人

〔注〕「○○のひとり」は「首相候補に名前が挙がっている一人」のように「ある○○」「○○のメンバー」の意味のときは漢数字。「3人が財布を盗まれた。被害者の1人は」と内訳を示すときは洋数字。どちらとも解釈できるときは洋数字でよい。

(10)位階、仏事や日本の伝統文化に関わる語など、襲名の代位

〔例〕従三位　三回忌　ご三家・御三家　七代目菊五郎　七五三

〔例外〕「8代将軍吉宗」のように単に順位・代位を示す場合は洋数字。「ダライ・ラマ14世」など外国の場合は襲名でも洋数字。

(11)尺貫法のような現在は通常使われない計量単位を含んだ熟語など

〔例〕一升瓶　五寸くぎ

〔例外〕「1升は10合」など純粋に計量単位として使う場合は洋数字。

(12)歴史用語のうち日中韓の第2次世界大戦以前と、それ以外でも表記が定着している用語

〔例〕二・二六事件　五箇条の御誓文　三国干渉　前九年の役　三十年戦争　七年戦争　五・四運動

〔注〕「第1次国共合作」「第1次長州戦争」「第1次世界大戦」など順序、回数を示す語は洋数字。

(13)歴史的な事件に関連し、漢数字が定着しているもの

〔例〕第五福竜丸

(14)続き柄

〔例〕三女　四男

〔注〕子どもの数を表すときは「2男3女」。

(15)学術用語で表記が定まっている化合物名など

〔例〕一酸化炭素　六フッ化ウラン　六価クロム

〔注〕化学式は「H_2O」のように

書く。

(16)漢数字が慣例で定着している運動用語

〔例〕打者一巡　一塁　二盗　二塁手　三振　三冠王（プロ野球）　三重殺　三塁打　三塁塁審　三遊間　四球　四回表　序二段　三段目　三番稽古　一本背負い　三冠馬（クラシックレース）　囲碁・将棋四段　三段跳び　七種競技

これら以外の一般的な用語は洋数字。

〔例〕2軍監督　囲碁・将棋2級　3冠王（プロ野球以外）　男子100㍍　3000㍍障害　男子1500㍍自由形　女子1万㍍　柔道3段　前頭3枚目

5　漢・洋数字の混在

性格の異なる数字の表記は漢数字と洋数字に分かれる場合もある。

〔例〕一家4人　板橋区立第三小6年3組　北方四島の2島返還方式　四国八十八カ所の44番札所　地方自治法100条に基づく百条委員会

6　寄稿の表記も以上の原則に従うが、筆者の強い意向がある場合は例外的表記を認める。

【数え方の基準】

1　数字の範囲を示す語

(1)「未満」「超」は、その数字を含まない。

20歳未満、千円未満、千円を超える➡20歳、千円を含まない。

(2)「以上」「以下」「以内」「から」「まで」はその数字を含む。

20歳以上、10人以内、千円まで、20日以前、5月以降➡20歳、10人、千円、20日、5月を含む。

2　期間の経過を示す語

(1)満3年、3カ年、3周年、3年ぶり➡丸々3年経過。

2月14日から満1カ月は3月14日。「3年ぶりに解決」は事件が起きてから解決まで満3年経過したことを表す。「日」「月」も同じ。ただしスポーツ大会などでは満年数にならなくても「3年ぶりの祭典」などとしてよい。

〔注〕「○周年」は物事が始まってからその年が過ぎたことを表す語。「○年ぶり」は一般に望ましい状態の再現に使う。

(2)足かけ3年、3年越し、3年がか

り、3年目、3年来 ➡起算の年を含む。

3 数え方が紛らわしいもの

(1)3番目、5人目、9代目、10日目、2件目 ➡算定の基準は最初の人または事物。

(2)から ➡ABCDのうちAから3番目はC（起算はA）とD（起算はB）の両ケースがある。

4日から7日は4日間、4日から3日後は7日。

(3)あと3日、あと3年、3年先 ➡今日（起算の日）、今年（起算の年）を含まない。

1日付紙面で「あと3日」は4日。2021年の3年先は2024年。

(4)3軒先、10日先 ➡(3)の「あと」と同じ。

(5)10日前、3年前 ➡(3)(4)の「あと」「先」の反対語。

(6)田中氏ら10人、田中氏以下10人、田中氏はじめ10人 ➡10人に田中氏が含まれる。

(7)田中氏ほか10人 ➡田中氏を加えると11人。

〔注〕記事ではなるべく「…ら」とする。

(8)10回目の誕生日、第10回記念日 ➡誕生した年を含まず、満10年経過。

(9)一周忌は満1年の忌日。三回忌は満2年、七回忌は満6年、十三回忌は満12年、十七回忌は満16年の忌日を指す。

【助数詞適用の基準】

助数詞は原則として、日常一般に使われている易しいものを使う。

1 人間

人 人間は「人」で数える。「名」は使わない。ただし「2名連記」などは別。

〔例〕1人死亡　3人が重傷
5人委員会　300人が集合

2 動物

匹・羽・頭 動物は「匹」で数えるのを原則とする。ただし鳥類は「羽」で数え、大型の獣類は「頭」で数えることもある。同一記事中、成獣と子どもで使い分けない。魚類を数える「尾、本」はなるべく使わない。

〔例〕ウサギ2匹　99匹の羊　数百万匹のイナゴ　昆虫15匹　マダイ1匹　スズメ3羽　100羽の鶴　乳牛5頭　数十頭の象

の群れ
助数詞の選択に迷う場合、また助数詞が異なる動物を一括して数える場合は「匹」を使う。
〔例〕牛、豚、鶏など家畜十数匹　鳥獣100匹を捕獲

3 物品・物体

個 物品・物体は「個」で数えるのを原則とする。
〔例〕茶わん5個　10個のリンゴ
助数詞の選択に迷う物品・物体は原則として「個」で数える。
〔例〕眼鏡、財布、たばこケース各1個　数百個の大腸菌を発見

粒 極めて小型の物品・物体には「粒」を使ってもよい。
〔例〕真珠5粒　丸薬20粒

本 形の長い物品・物体は「本」で数えるのを原則とする。
〔例〕うちわ1本　扇子2本　3本の橋　十数本の立ち木

枚・面 平面的な物品・物体は「枚」または「面」で数える。
〔例〕1枚の地図　むしろ、ござなど10枚　ざるそば3枚　碁盤1面　テニスコート4面　養殖池8面

台・基・両 機械・器具・車両・固定した施設などは「台」または「基」で数える。鉄道車両、軍用車両は「両」で数えることが多い。
〔例〕カメラ2台　2基のクレーン　ガスタンク3基　スキーリフト2基　ピアノ1台　原子炉1基　8両編成の列車　戦車30両

隻・機 船舶は「隻」、航空機（飛行船を含む）は「機」で数える。

丁 主として手に持って使う器具・銃器などは「丁」で数える。
〔例〕のみ1丁　すき、くわなど5丁　小銃10丁

把・束 束ねたものを数える。
〔例〕ホウレンソウ1把、ニラ1束

発 銃弾などの数。

棟・戸・軒 建物は「棟・戸」で数える。住居の単位としては「戸」または「軒」を使う。
〔例〕倉庫1棟　工場など5棟　100戸が立ち退き　精肉店、果物店など4軒　3軒長屋

点・件 種類の異なる物品・物体を一括して数える場合は「点」または「件」を使う。
〔例〕テーブル、テレビ、カメラなど20点　衣類、時計、宝石な

ど十数点　土地、建物を含め7件

品目　商品の種類を数える場合は「品目」などを使う。

〔例〕低脂肪乳、チーズなど13品目

ポイント　%で表された数字の比較や増減には「ポイント」を使う。ただし金利や税率などでは%を慣行として使用。

4　その他の助数詞

あ

アドバルーン＝本・個
いかだ＝枚・床
遺骨＝柱・体
位牌＝柱
帯＝本・筋

か

絵画＝点・枚・幅
鏡餅＝重ね
額＝面・枚
掛け軸＝幅・軸
刀＝本・振り
紙＝枚・締め・連
ギター＝本・台・丁
記念碑＝基
草花＝本・株・輪・鉢
くし＝枚・本
薬（粉薬・散剤）＝服・包
薬（錠剤・丸薬）＝錠・粒
こいのぼり＝本・匹・枚
香炉＝基
琴＝張り・面

さ

三味線＝さお・丁
重箱＝重ね
数珠＝連
樹木＝本・株
書画＝幅
神体＝体・柱
スキー＝台・本
すずり＝面・個
すだれ＝張り
滑り台＝基・台
扇子＝本
そろばん＝面・丁

た

太鼓＝張り
たこ〔凧〕＝枚・連
たんす＝さお・本
ちょうちん＝張り・個
机＝脚・台・卓
手袋＝（左右一組で）組・対・双
テント＝張り
トロフィー＝本

な

なぎなた＝振り
のぼり＝本・りゅう
のれん＝垂れ・枚
バイオリン＝本・丁

は

墓石＝基

はかま＝腰
箸＝膳
旗＝本・枚・りゅう
ひも・綱＝本・筋
びょうぶ＝架・双（2架で1双になる）
琵琶＝面
笛＝本・管
ベッド＝台・床（病院は「床」を使う）
宝石＝石・粒
包丁＝本・丁
巻物＝軸
幕＝張り・枚
やり＝本・筋
弓＝張り
養殖池＝面
よろい＝領

【数字の表記例】

0歳児
零敗〔点を取れずに負けること〕
一にも二にも
一、二を争う
日本一
一院制〔二院制も〕
一円起業
一円たりとも
県警捜査1課
一回表の攻撃
単1形乾電池
1学期
一眼レフ
一級の人物、一級品
1級河川
1級建築士
心に染みる一曲、一冊
一句ひねる
一軍の将
1軍登録
一軒家
例の一件
一元化
木枯らし1号
第1号被保険者
一国二制度
一札入れる
一酸化炭素
1次産業
1次試験
一日の長
一社員の不祥事
果物の一種
一周忌
世界一周旅行
一汁一菜
季節が一巡する
一升瓶
白一色
一審〔二審も〕
1親等
歌の一節
第一線で活躍
伝統の一戦
一村一品運動
両首脳が一対一で会談
キーパーと1対1になる
一大イベント
一代限り
一昼夜〔丸1日の意〕
一丁目一番地の政策
地獄の一丁目
左右一対〔対になっているの意〕
次の一手
一滴も飲めない
一度家に帰って〔いったんの意の場合〕
一度行ってみたい〔いつかはの意で回数を意味しない場合〕
一度に〔同時にの意の場合〕
一度もない
一度や二度失敗しても
もう一度〔再びの意〕
4年に1度の五輪
一投一打
一党一派
一党支配
一等地
勲一等〔勲章〕
1等星
1等陸佐
一日駅長
一日も早く会いたい
寒い一日だった〔朝から晩までの意〕
1日当たり
丸1日
一人称〔二人称、三人称も〕
一人前の働き

ギョーザ1人前
1人区
一年を通じて〔ずっとの意〕
一杯食わせる
軽く一杯
1泊旅行
一発で決める
会心の一発
一番上
一番弟子
一番乗り
一番星
春一番
1番手
学校で1番の成績
一匹おおかみ
1票の格差
一品料理
一分の隙もない
一分一秒を争う
東証1部

歴史の一ページ
一歩前進二歩後退
一歩リード
いま一歩
歴史的一報
一本勝ち〔柔道〕
1本勝ち〔剣道〕
一本勝負
一枚上手
一枚看板
一面の銀世界〔見渡す限りの意〕
1面トップ
一問一答
一文無し
一夜明けて
一卵性双生児
一里塚
一流〔二流、三流も〕
一輪挿し
一輪車〔二輪車、三輪車も〕

一塁
横一列に並ぶ
1列縦隊
1浪
一抱え
一株株主
一口で言うと
3人一組で行動
1桁の成長率
青春の一こま
1こま漫画
一坪地主
一通りやってみた
一晩中
一筆書き
一回りも二回りも成長した
近所を一回りする
1回り目は順調
一人旅〔2人旅は洋数字〕
一人娘
自分一人

1人当たり
第一に…、第二に…
第一関門は突破
第一声
酸化第一鉄
第1管区海上保安本部
第1子
第1次世界大戦
第1四半期
第1種郵便
第1番記
第1弾
野党第1党
二の舞、二の舞い
二・二六事件
二院制
二階屋
2階建て
二期作
二極化
二元化

二酸化炭素
二次感染・災害・使用・損失・利用〔派生したものの意〕
2次会
2次試験
二者択一
2択問題
二重構造
二重三重
二重唱
二重丸
包帯を2重に巻く
二正面作戦
2進法
2世議員
2層構造
二足歩行
二大勢力
2代目社長
二段階選抜〔入試〕

二段構え
2昼夜
二度手間
二度とない
2度の挑戦
二等辺三角形
2等分
二刀流
二人三脚
二番煎じ
二匹目のどじょう
二部合唱
2部作
世論を二分する
二枚貝
二枚看板
2枚重ね
二面性
自動二輪
二股を掛ける
二日酔い

週休2日制
第二の人生
第二組合
第二地銀
第二東京弁護士会
第2帝政
三すくみ
三回忌
三角形
三冠王〔プロ野球打者〕
三冠馬〔クラシックレース〕
羽生が3冠奪取
3強
3極関係
陸海空3軍
日本三景
維新の三傑
上位3傑
三権分立
労働三権
三原色

非核三原則
バルト3国
三差路
3次元
三者三様
三者凡退
3者会談
第三者
法曹三者
3種混合ワクチン
三重苦
3重衝突
三賞〔相撲〕
三色旗
三審制
三大祭り
藤原三代
鎌倉第3代将軍
三段跳び
三段論法
三度目の正直

三男〔続き柄〕
三杯酢
3番勝負
三拍子そろった選手
3拍子のリズム
三分がゆ〔五分、七分も〕
三分咲きの桜
労働3法
三本締め
3本柱
魚を三枚におろす
前頭3枚目
三位一体
三面記事
三面鏡
三役〔相撲や政党。四役も〕
三輪車
3割打者
三日坊主
第三極
第三国

第三セクター
第三のビール
第3京浜
四捨五入
四重奏団
四足歩行
四斗だる
四半期
四半世紀
四分音符
正四面体
四字熟語
4畳半
四年制大学
テニス四大大会
世界の四大文明
北方四島の2島返還方式
四輪駆動、4WD
黒四ダム
黒部川第4発電所
ベスト4

五・一五事件
五街道
五箇条の御誓文
五月人形
五月病
富士山5合目
五指に余る
近代五種
五重の塔
五寸くぎ
五線紙
五大陸
五段活用
5段階評価
五分五分
五分刈り
五分咲き
第五福竜丸
第5共和制
六三三四制
東京六大学

六価クロム
6カ国協議
六法全書
髪を七三に分ける
北斗七星
伊豆七島
七分づき〔精米〕
七色の虹
春の七草
七種競技
七代目菊五郎
徳川7代目将軍
七不思議
七曲がり
初七日
8頭身
腹八分
八分咲き
8割方完成
九分九厘達成した
九分通り

憲法第9条
ベートーベンの第9
十の位
十干十二支
十種競技
10進法
十台〔位取り〕
十大ニュース
10(歳)代
十中八九
十人十色
十年一昔
苦節10年
10年に一人の逸材
十五年戦争
十七条憲法〔日本史〕
十八番〔おはこ〕
弱冠20歳
東京23区
二十四節気
24時間体制

24金
30人31脚
32型テレビ
三六協定
38度線
40日抗争
47都道府県
四十九日
五十音
五十肩
50パーセントぐらいの出来
五十歩百歩
東海道五十三次
55年体制
六十の手習い
人のうわさも七十五日
四国八十八カ所霊場
試合は95点の出来
99パーセント確実
百の位
100円ショップ

百条委員会
地方自治法100条
百戦百勝
名水百選
百台〔位取り〕
テストで100点取った
百日裁判
百人力
百年戦争
生誕100年
100パーセントの出来
100%子会社
百分率
日本百名山
百八つの鐘
110番
百八十度の方針転換
180度向きを変える
360度のパノラマ
400字詰め原稿用紙
3000メートル障害

百万長者
加賀百万石
石高は100万石

【参考】漢数字主体の表記

漢数字主体の記事を書いていた当時の基準は次の通り。

1 漢数字には原則として単位語（十、百、千、万、億、兆）を付ける。次の場合は単位語を省略する。

①**所番地**　東京都港区東新橋一ノ七ノ一

②**西暦年**　二〇二〇年　一九九〇年代

③**法令の条項・番号**　憲法（第）一七条（かっこ内の「第」は省略してもよい）　国連決議二四二

④**小数点を含む数字**　平均年齢三五・四歳

⑤**船のトン数**　ぼりびあ丸（一三五、五〇〇〇㌧）

⑥**緯度、経度**　北緯一七度、東経一三五度二〇分

⑦**角度、勾配**　六〇度のカーブ　三六度の斜面

〔注〕「三百六十度のパノラマ」「百八十度の方針転換」などは別。

⑧**温度、濃度、アルコール度など**　二五度　一五〇ppm

⑨**山の標高、水深**　槍ケ岳（三、一八〇㍍）　五六㍍の湖底

〔注〕概数は「七千五百㍍付近」「八千㍍級の山」とする。

⑩**気象**　上空五〇〇〇㍍　雨量八〇㍉　積雪一五㌢　高知の気温は三四・二度　水温一二度　九三〇㌔㍱、震源の深さ二五㌔

⑪**地震**　震源地は野島沖五〇㌔、震源

⑫**数字の列記**　死者一四▽行方不明一〇▽重軽傷三七　応募総数一、四五二通（男性五九四、女性八五六、不明二）

⑬**得票数、議員定数**　賛成二五六、反対一九九　沖縄県議選（定数四八）

〔注〕助数詞を入れずに書く場合「賛成二五六、反対一九九」とするが「人・票」などが付くときは「賛成二百五十六人」と単位語を付ける。議員数も数字だけを表記するときは「自民党二九、民主党・維新・無所属クラブ九三」とするが、助数詞の「議席」が付くときは「二百六十五議席」と表記する。

⑭**為替レート、平均株価など**　一㌦＝一二〇円一五銭　二万〇九五二円七一銭（「万」だけ入れる）

⑮**身長、体重、血圧、脈拍など人体関係**（動物も準用）　身長一六五㌢、体重六〇㌔

このほか⑯**公害の騒音、ダイオキシン量**⑰**放射線量**⑱**車の排気量**⑲**銃、大砲の口径**⑳**周波数**など。

2 次の場合は洋数字。

①パーセントとそれを比較するポイント②横書きのとき③台風の号数④震度、マグニチュード⑤特殊な記号など⑥選挙区⑦数字を目立たせたいとき

運動記事の書き方

運動記事は記録に基づく記述が多いため、数字や人名、団体名などの固有名詞を表記する頻度が極めて高い。いずれも記事の根幹をなす要素で、誤りがないよう細心の注意が必要である。→運動用語仮名表記（733ページ）

【運動選手の呼称】

競技そのもの、および競技に関わる事象を扱う1面、総合面、運動面の記事では現役選手に対する「…選手」「…さん」などの敬称は不要。同様の記事を社会面用や「時の人」用に書く場合は全てに敬称を付ける。野球はポジションを明確にした方が親切なため「○○投手」「○○内野手」などとすることもある。

事件、事故、結婚などの私生活、善行、表彰、薬物違反などによる処分など競技を離れた記事は1面用、社会面用とも敬称を付ける。競技に関わっているか、離れているかの判断が難しい場合は敬称を付ける。被疑者の場合は氏名の後に「容疑者」を付ける。

運動面ではスポーツ選手を扱うため基本的に敬称を省くが、当事者が現役引退後の場合は原則として「元選手」「氏」「さん」などを付ける。

【運動記事のフォーム】

運動記事には①前書き②戦評③雑観④サイド（1面用、メインサイド、大型サイド）⑤囲みもの⑥「海外スポーツ短信」⑦「海外サッカー短信」⑧「曲走路」⑨「スポーツメモ」⑩プロ野球、Jリーグの試合関連以外の雑観、短信である「球界だより」「球音」「Jリーグだより」⑪コメント集⑫記録メモ⑬大相撲「手さばき」⑭○日のスポーツ⑮○日のプロ野球⑯○日のJリーグーなどがある。

①前書きは通常記事体だが、サッカーのJリーグ、大相撲の場所中の各日前書き、国内男女プロゴルフのトーナメント中の各日前書き、競馬の予想と結果に限り、書き出しをフ

オーム化したスタイルとする。

③雑観の末尾に、海外はクレジット、国内は複数の会場で同一競技会が行われている場合だけ会場名または会場地を入れる。

⑤囲みものには、「ヒーロー」「ヒロイン」「焦点」「ハイライト」「さじき席」「ロッカールーム」「グリーンサイド」「記者の目」「ぎんさん」「聖火台」などがある。

③雑観⑧「曲走路」⑩プロ野球、Jリーグ雑観、短信は本文冒頭に「○…」「⑩…」が必要だが、⑥「海外スポーツ短信」⑦「海外サッカー短信」と⑨「スポーツメモ」は不要で、本文から書き始める。

【各競技の新記録】

陸上、水泳など各競技を統括する国際競技連盟が公認した種目で、規定された最も優秀な記録を世界記録、日本人による同様の記録を日本記録としている。世界記録を上回れば世界新記録となり、同じ記録を出せばタイ記録となる。

【世界新記録・日本新記録】

世界新の表記は、その時点の世界記録を上回った場合だけ。日本新もこれに準じる。

1　陸上トラック、ロード種目、水泳（競泳）

(1)陸上男子100㍍予選で9秒58の世界新。決勝で従来の世界記録9秒65を破ったが、予選の世界新を下回る9秒60だった。
↓世界新とはしない。

(2)競泳男子100㍍予選1組で46秒91の世界新。予選2組で従来の世界記録46秒97を上回ったが、1組の記録を下回る46秒95だった。
↓2組の記録は世界新とはしない。

(3)競泳男子100㍍予選1組で46秒92の世界新、予選2組でも46秒92、予選3組で46秒91。
↓3組の記録が世界新。

(4)1レースで2人以上が従来の世界記録を上回った。
↓1位（最上位）だけが世界新。ただし同タイムの場合（陸上で写真判定の結果、1、2位などと順位が分かれても）いずれも世界新。

〔注〕マラソンなどではコースの

設定（高低差、形状など）により世界記録と認められない大会があるので注意が必要。ボストンが代表例。

2　陸上フィールド種目

(1)男子走り幅跳び決勝1回目で選手Aが8㍍95の世界新、4回目に選手Bが8㍍94、5回目に選手Aが9㍍10を跳び、追い風参考となった。

↓成績出稿は①A9㍍10＝追い風参考②B8㍍94…。このままでは世界新を表記できないため、このケースでは記録末尾に改行して（Aは1回目に8㍍95の世界新）を書き込む。

(2)男子棒高跳びで選手Aが1回目に6㍍16の世界新、選手Bが3回目に6㍍16の同記録。

↓成績出稿は①A、②Bだが、ともに世界新。

3　その他の競技

国際連盟の記録公認規則に従う。射撃、重量挙げなど競技によっては、世界新は各大陸大会以上の規模でないと認められず、国内大会で出された記録は世界記録とは公認されないケースがある。外国通信社が国内大会で出た記録を世界新と打電しても世界新とは扱わないなど注意が必要。

アジア新記録

原則的に出稿しない。陸上、水泳などで「アジア新記録」としてニュース価値が高い場合は記事化するケースもある。

皇室用語について

【皇室用語の扱い方】

1 皇室に対しては原則として敬語を使う。ただし過剰にならないよう注意し、特に二重敬語は使わない。敬語が多いと読みにくいので、第1文の最後の述語1カ所だけに使用する。長文の場合はケース・バイ・ケースで判断する。主語が未成年皇族の場合、敬語を使う必要はない。

「お着きになる」「ご覧になる」など、お○○になる、ご○○になる―という敬語表現は使わない。

〔例〕天皇陛下は美術館にお着きになり、所蔵の名画をご覧になった。引き続き工場をご視察され、社長から製造工程の説明をお受けになった。

↓天皇陛下は美術館に到着し、所蔵の名画を鑑賞された。引き続き工場を視察し、社長から製造工程の説明を受けた。

2 皇室に対する敬称として皇室典範は天皇、皇后、皇太后、太皇太后は「陛下」、それ以外の皇族は「殿下」とすると定めているが、記事上、「陛下」は天皇だけに使う。天皇、皇后と併記する際は「両陛下」とする。「殿下」はできるだけ使用せず、皇后や皇太子など皇族は「さま」を使う。夫婦や家族単位で主語になる際は敬称を省いて「ご夫妻」「ご一家」などとする。「皇太子さまご夫妻」とはしない。

〔例〕天皇陛下　天皇、皇后両陛下　皇后さま　皇太子ご夫妻　雅子さま　秋篠宮さま　秋篠宮ご一家

3 歴代の天皇、皇后、皇太后、太皇太后を贈り名（死後に付けられる名前）で呼ぶ場合や法制上の地位を表す場合、故人となった皇族には敬語、敬称は付けない。

〔例〕昭和天皇　香淳皇后

故秩父宮　天皇の国事行為

〔注〕贈り名と誤解されるので「平成天皇」は絶対に使わない。

4 見出しでは敬語、敬称を省略してよい。

〔例〕◎秋篠宮ご一家が葉山でご

静養
↓◎秋篠宮一家が葉山で静養

5 皇室だけに使われる特別な用語は、平易な言葉に言い換える。

〔例〕行幸、行幸啓、行啓、お成り↓訪問、出掛けられる
お召し列車↓特別列車

〔注〕JR東日本が所有する皇室専用列車を指す場合は、かぎかっこ付きで「お召し列車」とすることもある。

供奉員↓随行員、随員
祭粢料↓供物料

6 皇室用語は、儀式のスケジュールなどは発表通りの文字を使う場合もあるが、一般記事では表外字を使わず、やさしい言葉に言い換える。儀式、固有名詞などで言い換え、書き換えの困難なものは読み方を示したり、意味を注記したりする。

〔例〕皇霊殿神殿に謁するの儀〔公式日程など特別の場合〕
皇霊殿神殿に拝礼された〔記事の場合〕
皇室の最重要祭儀である大嘗祭〔固有名詞の場合〕

7 「御」は固有名詞以外はなるべく「お」「ご」と平仮名書きにするが、基本的に不要。

〔例〕皇太子ご夫妻
御視察↓視察
東宮御所　葉山御用邸

8 外国王室は原則として肩書敬称とし、敬語は使わない。

〔例〕エリザベス女王陛下
↓エリザベス女王

皇室用語の表記例

使う用語	使わない用語	備考
天皇陛下	天皇さま	夫婦なら「皇太子ご夫妻」、家族一緒なら「皇太子ご一家」。他の皇族も同様。
皇后さま	皇后宮	
皇太子さま	東宮殿下	
皇太子妃雅子さま		
雅子さま		
愛子さま	愛子内親王殿下	
秋篠宮さま	秋篠宮文仁殿下	
秋篠宮妃紀子さま	秋篠宮紀子妃殿下	
紀子さま		
眞子さま	眞子内親王殿下	
佳子さま	佳子内親王殿下	
悠仁さま	悠仁親王殿下	

訪問、出掛けられる	行幸、行啓、お成り	行幸は天皇、行啓は皇后、皇太子、同妃、お成りはその他の皇族の場合。
あいさつ	ご会釈	
お言葉（国会開会式以外はできるだけ使わない）	勅語	「『 』とお言葉を述べられた」は「『 』とあいさつされた」とすることが多い。
お歌、歌	御製、御歌	「御製＝ぎょせい」は天皇の和歌、「御歌＝みうた」は皇后の和歌。
話す、説明する	上奏、奏上、言上	
宮中晩さん会	宮中茶会	皇室・王室関係の「晩さん会」以外は「夕食会」と言い換える。
昼食会	午餐会	
（飲み物を手にした）懇談会		
首相の任命式	首相の親任式	閣僚などは認証式

資料編1

全国の市名・区名 566
政令指定都市の区名 576
紛らわしい地名 579
紛らわしい会社名 590
登録商標と言い換え 593
紛らわしい法令関連用語 597
病名・身体諸器官の表記例 612

全国の市名・区名

○は各道府県庁所在地、●は政令指定都市、◉は政令指定都市で道府県庁所在地を示し、全国地方公共団体コード順に記載した。（2016年3月1日現在）

【北海道】

◉札幌 さっぽろ
函館 はこだて
小樽 おたる
旭川 あさひかわ
室蘭 むろらん
釧路 くしろ
帯広 おびひろ
北見 きたみ
夕張 ゆうばり
岩見沢 いわみざわ
網走 あばしり
留萌 るもい
苫小牧 とまこまい
稚内 わっかない
美唄 びばい
芦別 あしべつ
江別 えべつ
赤平 あかびら
紋別 もんべつ
士別 しべつ
名寄 なよろ
三笠 みかさ
根室 ねむろ
千歳 ちとせ
滝川 たきかわ
砂川 すながわ
歌志内 うたしない
深川 ふかがわ
富良野 ふらの
登別 のぼりべつ
恵庭 えにわ
伊達 だて
北広島 きたひろしま
石狩 いしかり
北斗 ほくと

【青森県】

○青森 あおもり
弘前 ひろさき
八戸 はちのへ
黒石 くろいし
五所川原 ごしょがわら
十和田 とわだ
三沢 みさわ
むつ
つがる
平川 ひらかわ

【岩手県】

○盛岡 もりおか
宮古 みやこ
大船渡 おおふなと
花巻 はなまき
北上 きたかみ
久慈 くじ
遠野 とおの
一関 いちのせき
陸前高田 りくぜんたかた
釜石 かまいし
二戸 にのへ
八幡平 はちまんたい
奥州 おうしゅう
滝沢 たきざわ

【宮城県】

◉仙台 せんだい

石巻 いしのまき
塩釜 しおがま
気仙沼 けせんぬま
白石 しろいし
名取 なとり
角田 かくだ
多賀城 たがじょう
岩沼 いわぬま
登米 とめ
栗原 くりはら
東松島 ひがしまつしま
大崎 おおさき

【秋田県】

○秋田 あきた
能代 のしろ
横手 よこて
大館 おおだて
男鹿 おが
湯沢 ゆざわ
鹿角 かづの
由利本荘 ゆりほんじょう
潟上 かたがみ
大仙 だいせん
北秋田 きたあきた
にかほ
仙北 せんぼく

【山形県】

○山形 やまがた
米沢 よねざわ
鶴岡 つるおか
酒田 さかた
新庄 しんじょう
寒河江 さがえ
上山 かみのやま
村山 むらやま
長井 ながい
天童 てんどう
東根 ひがしね
尾花沢 おばなざわ
南陽 なんよう

【福島県】

○福島 ふくしま
会津若松 あいづわかまつ
郡山 こおりやま
いわき
白河 しらかわ
須賀川 すかがわ
喜多方 きたかた
相馬 そうま
二本松 にほんまつ
田村 たむら
南相馬 みなみそうま
伊達 だて
本宮 もとみや

【茨城県】

○水戸 みと
日立 ひたち
土浦 つちうら
古河 こが
石岡 いしおか
結城 ゆうき
龍ケ崎 りゅうがさき
下妻 しもつま
常総 じょうそう
常陸太田 ひたちおおた
高萩 たかはぎ
北茨城 きたいばらき
笠間 かさま
取手 とりで
牛久 うしく
つくば
ひたちなか
鹿嶋 かしま
潮来 いたこ
守谷 もりや
常陸大宮 ひたちおおみや
那珂 なか
筑西 ちくせい
坂東 ばんどう
稲敷 いなしき
かすみがうら
桜川 さくらがわ
神栖 かみす
行方 なめがた

鉾田 ほこた
つくばみらい
小美玉 おみたま
【栃木県】
○宇都宮 うつのみや
足利 あしかが
栃木 とちぎ
佐野 さの
鹿沼 かぬま
日光 にっこう
小山 おやま
真岡 もおか
大田原 おおたわら
矢板 やいた
那須塩原 なすしおばら
さくら
那須烏山 なすからすやま
下野 しもつけ
【群馬県】
○前橋 まえばし
高崎 たかさき

桐生 きりゅう
伊勢崎 いせさき
太田 おおた
沼田 ぬまた
館林 たてばやし
渋川 しぶかわ
藤岡 ふじおか
富岡 とみおか
安中 あんなか
みどり
【埼玉県】
◉さいたま
川越 かわごえ
熊谷 くまがや
川口 かわぐち
行田 ぎょうだ
秩父 ちちぶ
所沢 ところざわ
飯能 はんのう
加須 かぞ
本庄 ほんじょう

東松山 ひがしまつやま
春日部 かすかべ
狭山 さやま
羽生 はにゅう
鴻巣 こうのす
深谷 ふかや
上尾 あげお
草加 そうか
越谷 こしがや
蕨 わらび
戸田 とだ
入間 いるま
朝霞 あさか
志木 しき
和光 わこう
新座 にいざ
桶川 おけがわ
久喜 くき
北本 きたもと
八潮 やしお
富士見 ふじみ

三郷 みさと
蓮田 はすだ
坂戸 さかど
幸手 さって
鶴ケ島 つるがしま
日高 ひだか
吉川 よしかわ
ふじみ野 ふじみの
白岡 しらおか
【千葉県】
◉千葉 ちば
銚子 ちょうし
市川 いちかわ
船橋 ふなばし
館山 たてやま
木更津 きさらづ
松戸 まつど
野田 のだ
茂原 もばら
成田 なりた
佐倉 さくら

東金 とうがね
旭 あさひ
習志野 ならしの
柏 かしわ
勝浦 かつうら
市原 いちはら
流山 ながれやま
八千代 やちよ
我孫子 あびこ
鴨川 かもがわ
鎌ケ谷 かまがや
君津 きみつ
富津 ふっつ
浦安 うらやす
四街道 よつかいどう
袖ケ浦 そでがうら
八街 やちまた
印西 いんざい
白井 しろい
富里 とみさと
南房総 みなみぼうそう

匝瑳 そうさ
香取 かとり
山武 さんむ
いすみ
大網白里 おおあみしらさと

【東京都】

八王子 はちおうじ
立川 たちかわ
武蔵野 むさしの
三鷹 みたか
青梅 おうめ
府中 ふちゅう
昭島 あきしま
調布 ちょうふ
町田 まちだ
小金井 こがねい
小平 こだいら
日野 ひの
東村山 ひがしむらやま
国分寺 こくぶんじ
国立 くにたち

福生 ふっさ
狛江 こまえ
東大和 ひがしやまと
清瀬 きよせ
東久留米 ひがしくるめ
武蔵村山 むさしむらやま
多摩 たま
稲城 いなぎ
羽村 はむら
あきる野 あきるの
西東京 にしとうきょう

【神奈川県】

◉横浜 よこはま
●川崎 かわさき
●相模原 さがみはら
横須賀 よこすか
平塚 ひらつか
鎌倉 かまくら
藤沢 ふじさわ
小田原 おだわら
茅ケ崎 ちがさき

逗子 ずし
三浦 みうら
秦野 はだの
厚木 あつぎ
大和 やまと
伊勢原 いせはら
海老名 えびな
座間 ざま
南足柄 みなみあしがら
綾瀬 あやせ

【新潟県】

◉新潟 にいがた
長岡 ながおか
三条 さんじょう
柏崎 かしわざき
新発田 しばた
小千谷 おぢや
加茂 かも
十日町 とおかまち
見附 みつけ
村上 むらかみ

燕 つばめ
糸魚川 いといがわ
妙高 みょうこう
五泉 ごせん
上越 じょうえつ
阿賀野 あがの
佐渡 さど
魚沼 うおぬま
南魚沼 みなみうおぬま
胎内 たいない

【富山県】

○富山 とやま
高岡 たかおか
魚津 うおづ
氷見 ひみ
滑川 なめりかわ
黒部 くろべ
砺波 となみ
小矢部 おやべ
南砺 なんと
射水 いみず

【石川県】

○金沢 かなざわ
七尾 ななお
小松 こまつ
輪島 わじま
珠洲 すず
加賀 かが
羽咋 はくい
かほく
白山 はくさん
能美 のみ
野々市 ののいち

【福井県】

○福井 ふくい
敦賀 つるが
小浜 おばま
大野 おおの
勝山 かつやま
鯖江 さばえ
あわら
越前 えちぜん

坂井 さかい

【山梨県】

○甲府 こうふ
富士吉田 ふじよしだ
都留 つる
山梨 やまなし
大月 おおつき
韮崎 にらさき
南アルプス みなみあるぷす
北杜 ほくと
甲斐 かい
笛吹 ふえふき
上野原 うえのはら
甲州 こうしゅう
中央 ちゅうおう

【長野県】

○長野 ながの
松本 まつもと
上田 うえだ
岡谷 おかや
飯田 いいだ

諏訪 すわ
須坂 すざか
小諸 こもろ
伊那 いな
駒ケ根 こまがね
中野 なかの
大町 おおまち
飯山 いいやま
茅野 ちの
塩尻 しおじり
佐久 さく
千曲 ちくま
東御 とうみ
安曇野 あづみの

【岐阜県】

○岐阜 ぎふ
大垣 おおがき
高山 たかやま
多治見 たじみ
関 せき
中津川 なかつがわ

美濃 みの
瑞浪 みずなみ
羽島 はしま
恵那 えな
美濃加茂 みのかも
土岐 とき
各務原 かかみがはら
可児 かに
山県 やまがた
瑞穂 みずほ
飛騨 ひだ
本巣 もとす
郡上 ぐじょう
下呂 げろ
海津 かいづ

【静岡県】

◉静岡 しずおか
●浜松 はままつ
沼津 ぬまづ
熱海 あたみ
三島 みしま
富士宮 ふじのみや
伊東 いとう
島田 しまだ
富士 ふじ
磐田 いわた
焼津 やいづ
掛川 かけがわ
藤枝 ふじえだ
御殿場 ごてんば
袋井 ふくろい
下田 しもだ
裾野 すその
湖西 こさい
伊豆 いず
御前崎 おまえざき
菊川 きくがわ
伊豆の国 いずのくに
牧之原 まきのはら

【愛知県】

◉名古屋 なごや
豊橋 とよはし
岡崎 おかざき
一宮 いちのみや
瀬戸 せと
半田 はんだ
春日井 かすがい
豊川 とよかわ
津島 つしま
碧南 へきなん
刈谷 かりや
豊田 とよた
安城 あんじょう
西尾 にしお
蒲郡 がまごおり
犬山 いぬやま
常滑 とこなめ
江南 こうなん
小牧 こまき
稲沢 いなざわ
新城 しんしろ
東海 とうかい
大府 おおぶ
知多 ちた
知立 ちりゅう
尾張旭 おわりあさひ
高浜 たかはま
岩倉 いわくら
豊明 とよあけ
日進 にっしん
田原 たはら
愛西 あいさい
清須 きよす
北名古屋 きたなごや
弥富 やとみ
みよし
あま
長久手 ながくて

【三重県】

○津 つ
四日市 よっかいち
伊勢 いせ
松阪 まつさか
桑名 くわな

鈴鹿 すずか
名張 なばり
尾鷲 おわせ
亀山 かめやま
鳥羽 とば
熊野 くまの
いなべ
志摩 しま
伊賀 いが
【滋賀県】
○大津 おおつ
彦根 ひこね
長浜 ながはま
近江八幡 おうみはちまん
草津 くさつ
守山 もりやま
栗東 りっとう
甲賀 こうか
野洲 やす
湖南 こなん
高島 たかしま

東近江 ひがしおうみ
米原 まいばら
【京都府】
◉京都 きょうと
福知山 ふくちやま
舞鶴 まいづる
綾部 あやべ
宇治 うじ
宮津 みやづ
亀岡 かめおか
城陽 じょうよう
向日 むこう
長岡京 ながおかきょう
八幡 やわた
京田辺 きょうたなべ
京丹後 きょうたんご
南丹 なんたん
木津川 きづがわ
【大阪府】
◉大阪 おおさか
●堺 さかい

岸和田 きしわだ
豊中 とよなか
池田 いけだ
吹田 すいた
泉大津 いずみおおつ
高槻 たかつき
貝塚 かいづか
守口 もりぐち
枚方 ひらかた
茨木 いばらき
八尾 やお
泉佐野 いずみさの
富田林 とんだばやし
寝屋川 ねやがわ
河内長野 かわちながの
松原 まつばら
大東 だいとう
和泉 いずみ
箕面 みのお
柏原 かしわら
羽曳野 はびきの

門真 かどま
摂津 せっつ
高石 たかいし
藤井寺 ふじいでら
東大阪 ひがしおおさか
泉南 せんなん
四條畷 しじょうなわて
交野 かたの
大阪狭山 おおさかさやま
阪南 はんなん
【兵庫県】
◉神戸 こうべ
姫路 ひめじ
尼崎 あまがさき
明石 あかし
西宮 にしのみや
洲本 すもと
芦屋 あしや
伊丹 いたみ
相生 あいおい
豊岡 とよおか

加古川 かこがわ
赤穂 あこう
西脇 にしわき
宝塚 たからづか
三木 みき
高砂 たかさご
川西 かわにし
小野 おの
三田 さんだ
加西 かさい
篠山 ささやま
養父 やぶ
丹波 たんば
南あわじ みなみあわじ
朝来 あさご
淡路 あわじ
宍粟 しそう
加東 かとう
たつの

○奈良 なら
【奈良県】

大和高田 やまとたかだ
大和郡山 やまとこおりやま
天理 てんり
橿原 かしはら
桜井 さくらい
五條 ごじょう
御所 ごせ
生駒 いこま
香芝 かしば
葛城 かつらぎ
宇陀 うだ

○和歌山 わかやま
【和歌山県】
海南 かいなん
橋本 はしもと
有田 ありだ
御坊 ごぼう
田辺 たなべ
新宮 しんぐう
紀の川 きのかわ
岩出 いわで

【鳥取県】
○鳥取 とっとり
米子 よなご
倉吉 くらよし
境港 さかいみなと

【島根県】
○松江 まつえ
浜田 はまだ
出雲 いずも
益田 ますだ
大田 おおだ
安来 やすぎ
江津 ごうつ
雲南 うんなん

【岡山県】
◉岡山 おかやま
倉敷 くらしき
津山 つやま
玉野 たまの
笠岡 かさおか
井原 いばら

総社 そうじゃ
高梁 たかはし
新見 にいみ
備前 びぜん
瀬戸内 せとうち
赤磐 あかいわ
真庭 まにわ
美作 みまさか
浅口 あさくち

【広島県】
◉広島 ひろしま
呉 くれ
竹原 たけはら
三原 みはら
尾道 おのみち
福山 ふくやま
府中 ふちゅう
三次 みよし
庄原 しょうばら
大竹 おおたけ
東広島 ひがしひろしま

廿日市 はつかいち
安芸高田 あきたかた
江田島 えたじま

【山口県】

下関 しものせき
宇部 うべ
○山口 やまぐち
萩 はぎ
防府 ほうふ
下松 くだまつ
岩国 いわくに
光 ひかり
長門 ながと
柳井 やない
美祢 みね
周南 しゅうなん
山陽小野田 さんようおのだ

【徳島県】

○徳島 とくしま
鳴門 なると
小松島 こまつしま

阿南 あなん
吉野川 よしのがわ
阿波 あわ
美馬 みま
三好 みよし

【香川県】

○高松 たかまつ
丸亀 まるがめ
坂出 さかいで
善通寺 ぜんつうじ
観音寺 かんおんじ
さぬき
東かがわ ひがしかがわ
三豊 みとよ

【愛媛県】

○松山 まつやま
今治 いまばり
宇和島 うわじま
八幡浜 やわたはま
新居浜 にいはま
西条 さいじょう

大洲 おおず
伊予 いよ
四国中央 しこくちゅうおう
西予 せいよ
東温 とうおん

【高知県】

○高知 こうち
室戸 むろと
安芸 あき
南国 なんこく
土佐 とさ
須崎 すさき
宿毛 すくも
土佐清水 とさしみず
四万十 しまんと
香南 こうなん
香美 かみ

【福岡県】

●北九州 きたきゅうしゅう
◉福岡 ふくおか
大牟田 おおむた

久留米 くるめ
直方 のおがた
飯塚 いいづか
田川 たがわ
柳川 やながわ
八女 やめ
筑後 ちくご
大川 おおかわ
行橋 ゆくはし
豊前 ぶぜん
中間 なかま
小郡 おごおり
筑紫野 ちくしの
春日 かすが
大野城 おおのじょう
宗像 むなかた
太宰府 だざいふ
古賀 こが
福津 ふくつ
うきは
宮若 みやわか

嘉麻 かま
朝倉 あさくら
みやま
糸島 いとしま
【佐賀県】
○佐賀 さが
唐津 からつ
鳥栖 とす
多久 たく
伊万里 いまり
武雄 たけお
鹿島 かしま
小城 おぎ
嬉野 うれしの
神埼 かんざき
【長崎県】
○長崎 ながさき
佐世保 させぼ
島原 しまばら
諫早 いさはや
大村 おおむら

平戸 ひらど
松浦 まつうら
対馬 つしま
壱岐 いき
五島 ごとう
西海 さいかい
雲仙 うんぜん
南島原 みなみしまばら
【熊本県】
◉熊本 くまもと
八代 やつしろ
人吉 ひとよし
荒尾 あらお
水俣 みなまた
玉名 たまな
山鹿 やまが
菊池 きくち
宇土 うと
上天草 かみあまくさ
宇城 うき
阿蘇 あそ

天草 あまくさ
合志 こうし
【大分県】
○大分 おおいた
別府 べっぷ
中津 なかつ
日田 ひた
佐伯 さいき
臼杵 うすき
津久見 つくみ
竹田 たけた
豊後高田 ぶんごたかだ
杵築 きつき
宇佐 うさ
豊後大野 ぶんごおおの
由布 ゆふ
国東 くにさき
【宮崎県】
○宮崎 みやざき
都城 みやこのじょう
延岡 のべおか

日南 にちなん
小林 こばやし
日向 ひゅうが
串間 くしま
西都 さいと
えびの
【鹿児島県】
○鹿児島 かごしま
鹿屋 かのや
枕崎 まくらざき
阿久根 あくね
出水 いずみ
指宿 いぶすき
西之表 にしのおもて
垂水 たるみず
薩摩川内 さつませんだい
日置 ひおき
曽於 そお
霧島 きりしま
いちき串木野 いちきくしきの

南さつま　みなみさつま
志布志　しぶし
奄美　あまみ
南九州　みなみきゅうしゅう
伊佐　いさ
姶良　あいら

【沖縄県】

○那覇　なは
宜野湾　ぎのわん
石垣　いしがき
浦添　うらそえ
名護　なご
糸満　いとまん
沖縄　おきなわ
豊見城　とみぐすく
うるま
宮古島　みやこじま
南城　なんじょう

【東京特別区】

千代田　ちよだ
中央　ちゅうおう
港　みなと
新宿　しんじゅく
文京　ぶんきょう
台東　たいとう
墨田　すみだ
江東　こうとう
品川　しながわ
目黒　めぐろ
大田　おおた
世田谷　せたがや
渋谷　しぶや
中野　なかの
杉並　すぎなみ
豊島　としま
北　きた
荒川　あらかわ
板橋　いたばし
練馬　ねりま
足立　あだち
葛飾　かつしか
江戸川　えどがわ

◎政令指定都市の区名

【札幌市】

中央　ちゅうおう
北　きた
東　ひがし
白石　しろいし
豊平　とよひら
南　みなみ
西　にし
厚別　あつべつ
手稲　ていね
清田　きよた

【仙台市】

青葉　あおば
宮城野　みやぎの
若林　わかばやし
太白　たいはく
泉　いずみ

【さいたま市】

西　にし
北　きた
大宮　おおみや
見沼　みぬま
中央　ちゅうおう
桜　さくら
浦和　うらわ
南　みなみ
緑　みどり
岩槻　いわつき

【千葉市】

中央　ちゅうおう
花見川　はなみがわ
稲毛　いなげ
若葉　わかば
緑　みどり
美浜　みはま

【横浜市】

鶴見　つるみ
神奈川　かながわ
西　にし
中　なか

南（みなみ）
保土ケ谷（ほどがや）
磯子（いそご）
金沢（かなざわ）
港北（こうほく）
戸塚（とつか）
港南（こうなん）
旭（あさひ）
緑（みどり）
瀬谷（せや）
栄（さかえ）
泉（いずみ）
青葉（あおば）
都筑（つづき）

【川崎市】

川崎（かわさき）
幸（さいわい）
中原（なかはら）
高津（たかつ）
多摩（たま）
宮前（みやまえ）
麻生（あさお）

【相模原市】

緑（みどり）
中央（ちゅうおう）
南（みなみ）

【新潟市】

北（きた）
東（ひがし）
中央（ちゅうおう）
江南（こうなん）
秋葉（あきは）
南（みなみ）
西（にし）
西蒲（にしかん）

【静岡市】

葵（あおい）
駿河（するが）
清水（しみず）

【浜松市】

中（なか）
東（ひがし）
西（にし）
南（みなみ）
北（きた）
浜北（はまきた）
天竜（てんりゅう）

【名古屋市】

千種（ちくさ）
東（ひがし）
北（きた）
西（にし）
中村（なかむら）
中（なか）
昭和（しょうわ）
瑞穂（みずほ）
熱田（あつた）
中川（なかがわ）
港（みなと）
南（みなみ）
守山（もりやま）
緑（みどり）
名東（めいとう）
天白（てんぱく）

【京都市】

北（きた）
上京（かみぎょう）
左京（さきょう）
中京（なかぎょう）
東山（ひがしやま）
下京（しもぎょう）
南（みなみ）
右京（うきょう）
伏見（ふしみ）
山科（やましな）
西京（にしきょう）

【大阪市】

都島（みやこじま）
福島（ふくしま）
此花（このはな）
西（にし）
港（みなと）
大正（たいしょう）
天王寺（てんのうじ）

浪速　なにわ
西淀川　にしよどがわ
東淀川　ひがしよどがわ
東成　ひがしなり
生野　いくの
旭　あさひ
城東　じょうとう
阿倍野　あべの
住吉　すみよし
東住吉　ひがしすみよし
西成　にしなり
淀川　よどがわ
鶴見　つるみ
住之江　すみのえ
平野　ひらの
北　きた
中央　ちゅうおう

【堺市】

堺　さかい
中　なか
東　ひがし
西　にし
南　みなみ
北　きた
美原　みはら

【神戸市】

東灘　ひがしなだ
灘　なだ
兵庫　ひょうご
長田　ながた
須磨　すま
垂水　たるみ
北　きた
中央　ちゅうおう
西　にし

【岡山市】

北　きた
中　なか
東　ひがし
南　みなみ

【広島市】

中　なか
東　ひがし
南　みなみ
西　にし
南　みなみ
北　きた
安佐南　あさみなみ
安佐北　あさきた
安芸　あき
佐伯　さえき

【北九州市】

門司　もじ
若松　わかまつ
戸畑　とばた
小倉北　こくらきた
小倉南　こくらみなみ
八幡東　やはたひがし
八幡西　やはたにし

【福岡市】

東　ひがし
博多　はかた
中央　ちゅうおう
南　みなみ
西　にし
城南　じょうなん
早良　さわら

【熊本市】

中央　ちゅうおう
東　ひがし
西　にし
南　みなみ
北　きた

紛らわしい地名

自然地名で「正式」とあるのは、国土地理院と海上保安庁海洋情報部が協議決定したもので、教科書もこれに従うことになっている。「統一」は共同通信が表記を統一しているもの。

【北海道】

Ⓐ内浦湾　Ⓑ噴火湾
Ⓐ正式　Ⓑ通称

Ⓐ江差　Ⓑ枝幸（ⒶⒷとも「えさし」）
Ⓐ「江差追分」で知られる道南地方の町　Ⓑオホーツク海沿岸の町
「江刺・江差」の項

Ⓐクッチャロ湖　Ⓑ屈斜路湖（くっしゃろこ）　**Ⓒ倶多楽湖**（くったらこ）
Ⓐ宗谷地方のオホーツク海沿岸にある　Ⓑ釧路地方の阿寒国立公園にある　Ⓒ道南西部の胆振地方にある

Ⓐ士別　Ⓑ標津（ⒶⒷとも「しべつ」）
Ⓐ道北地方の市　Ⓑ国後島を対岸に望む町

Ⓐススキノ　Ⓑ薄野　Ⓒすすきの
Ⓐ歓楽街としての呼称。「札幌・ススキノ」と書く　Ⓑ地域の総称、交番名（薄野交番）　Ⓒ地下鉄の駅名〔ⒶⒷⒸとも行政上の地名としては存在しない〕

Ⓐ納沙布岬　Ⓑノシャップ岬
Ⓐ根室半島の突端　Ⓑ宗谷海峡に面する岬

Ⓐ紋別　Ⓑ門別（ⒶⒷとも「もんべつ」）
Ⓐオホーツク海沿岸の市　Ⓑ日高町の地名

Ⓐえりも　Ⓑ襟裳
Ⓐ町名　Ⓑ岬名

Ⓐ佐呂間　Ⓑサロマ
Ⓐ町名　Ⓑ湖名

【青森県】
Ⓐ奥入瀬川　Ⓑ追良瀬川
Ⓐ十和田八幡平国立公園を流れる川　Ⓑ西津軽郡の川
Ⓐ竜飛崎　Ⓑ竜飛埼　Ⓒ竜飛岬
Ⓐ正式　Ⓑ灯台名　Ⓒ俗称
Ⓐ六ケ所村　Ⓑ六ヶ所村　Ⓒ六か所村
Ⓐ統一
【秋田・岩手県】
Ⓐ駒ケ岳　Ⓑ秋田駒ケ岳
Ⓐ統一　Ⓑ通称（略称は秋田駒）
Ⓐ烏帽子岳　Ⓑ乳頭山
Ⓐ正式、岩手県側の呼称　Ⓑ秋田県側の呼称
Ⓐ和賀岳　Ⓑ阿弥陀岳
Ⓐ正式　Ⓑ俗称
【岩手県】
Ⓐ一関　Ⓑ一ノ関
Ⓐ統一　ⒷＪＲの駅名

【岩手県・北海道】
Ⓐ江刺　Ⓑ江差
Ⓐ岩手県奥州市の地名　Ⓑ北海道の町名
【岩手・秋田・宮城県】
Ⓐ栗駒山　Ⓑ須川岳　Ⓒ大日岳
Ⓐ統一　Ⓑ岩手県側の呼称　Ⓒ秋田県側の呼称
【宮城県】
Ⓐ江合川　Ⓑ荒雄川
Ⓐ河川法上の正式名称　Ⓑ上流部の通称
Ⓐ歌津崎　Ⓑ泊崎　Ⓒ尾崎
Ⓐ統一〔地元ではⒷⒸも使う〕
【山形・宮城県】
Ⓐ船形山　Ⓑ御所山
Ⓐ正式　Ⓑ山形県側の呼称
【福島県】
Ⓐ白河市　Ⓑ西白河郡　Ⓒ東白川郡

ⒶⒷⒸいずれも正式
【福島・新潟県】
Ⓐ阿賀川　Ⓑ阿賀野川
Ⓐ福島県内の呼称　Ⓑ新潟県内の呼称と全水系の名称
【茨城・石川・佐賀県】
Ⓐ鹿嶋　Ⓑ鹿島
Ⓐ茨城県の市名　Ⓑ茨城県の神宮名など、石川県の郡名、佐賀県の市名
【栃木県】
Ⓐ華厳の滝　Ⓑ華厳ノ滝　Ⓒ華厳滝
Ⓐ統一　ⒷⒸ一般には使われる
Ⓐ高原山　Ⓑ釈迦ケ岳
Ⓐ総称　Ⓑ主峰名
【千葉県】
Ⓐ犬吠埼　Ⓑ犬吠岬
Ⓐ岬名、灯台名　Ⓑ別称

【東京都】

Ⓐ青戸　Ⓑ青砥
Ⓐ葛飾区の地名　Ⓑ私鉄の駅名

Ⓐ赤坂見附　Ⓑ赤坂見付
Ⓐ地下鉄の駅名　Ⓑ使わない

Ⓐ阿佐谷　Ⓑ阿佐ケ谷
Ⓐ地名　Ⓑ JR・地下鉄の駅名、学校名など

Ⓐ吾妻橋（あづまばし）　Ⓑ吾嬬（あづま）
Ⓐ地名、橋名、地下鉄の駅名
Ⓑ小学校名

Ⓐ市谷　Ⓑ市ケ谷（Ⓐ Ⓑとも「いちがや」）
Ⓐ地名（市谷台町など）　Ⓑ JR・地下鉄の駅名〔学校名などはⒶⒷ混在〕

Ⓐ井の頭　Ⓑ井之頭　Ⓒ井ノ頭
Ⓐ地名、私鉄の線名・駅名、公園名　Ⓑ小学校名など　Ⓒ都道（一部区道）の通称

Ⓐお茶の水　Ⓑ御茶ノ水
Ⓐ大学・各種学校名、橋名など　Ⓑ JR・地下鉄の駅名

Ⓐ霞が関　Ⓑ霞ケ関
Ⓐ地名、ビル名　Ⓑ地下鉄の駅名

Ⓐ勝鬨橋　Ⓑ勝どき
Ⓐ橋名　Ⓑ地名、地下鉄の駅名

Ⓐ自由が丘　Ⓑ自由ケ丘
Ⓐ地名、私鉄の駅名　Ⓑ私立学校名ほか

Ⓐ陣馬山　Ⓑ陣場山
Ⓐ正式

Ⓐ墨田　Ⓑ隅田
Ⓐ区名　Ⓑ河川名、公園名、学校名など

Ⓐ千住　Ⓑ千寿
Ⓐ駅名、地名　Ⓑ小学校名など

Ⓐ千束　Ⓑ洗足
Ⓐ台東区の地名（大田区の地名は北千束、南千束）　Ⓑ目黒区の地名、大田区の池・公園名など〔私鉄の駅名はⒶⒷともある〕

Ⓐ雑司が谷　Ⓑ雑司ケ谷
Ⓐ地名、地下鉄の駅名　Ⓑ霊園名、都電の停留所名

Ⓐ田園調布　Ⓑ玉川田園調布
Ⓐ大田区の地名、私鉄の駅名　Ⓑ世田谷区の地名

Ⓐ虎ノ門　Ⓑ虎の門
Ⓐ地名、地下鉄の駅名　Ⓑ病院名

Ⓐ一ツ橋　Ⓑ一橋
Ⓐ千代田区の地名　Ⓑ中学・高校・大学名

Ⓐ丸の内　Ⓑ丸ノ内
Ⓐ地名、警察署名　Ⓑ地下鉄の線名〔他はⒶⒷ混在〕

Ⓐ山の手　Ⓑ山手
〔正式の地名はなくⒶⒷ混在。JRの線名は山手線＝やまのてせん〕
Ⓐ四つ木　Ⓑ四ツ木
Ⓐ地名　Ⓑ私鉄の駅名、中学校名など
Ⓐ四谷　Ⓑ四ツ谷
Ⓐ地名、小学校名、警察署名　Ⓑ JR・地下鉄の駅名
【東京都・神奈川県】
Ⓐ多摩　Ⓑ多磨
Ⓐ市名、川崎市の区名、JRの駅名、ニュータウン名・同付近の私鉄の駅名、動物公園名、河川名、湖名　Ⓑ府中市の地名、霊園名・同付近の私鉄の駅名
【神奈川県】
Ⓐ芦ノ湖　Ⓑ芦の湖　Ⓒ芦之湖
Ⓐ正式（Ⓑの表記もある）　Ⓒ漁業協同組合の名前
Ⓐ江の島　Ⓑ江ノ島　Ⓒ江島
Ⓐ統一、藤沢市の地名　Ⓑ鉄道会社・路線・駅名　Ⓒ神社名、古称
Ⓐ大山　Ⓑ雨降山　Ⓒ阿夫利山
Ⓐ正式　ⒷⒸ別称〔読みは「あふり、あぶり」〕
Ⓐ七里ケ浜　Ⓑ七里ガ浜
Ⓐ海岸名、私鉄の駅名　Ⓑ住所表示
Ⓐ潟口　Ⓑ武蔵潟ノ口　Ⓒ潟の口
Ⓐ地名　ⒷJRの駅名　Ⓒ私鉄の駅名
Ⓐ由比ケ浜　Ⓑ由比ガ浜
Ⓐ海岸名、私鉄の駅名　Ⓑ住所表示、海水浴場名
【新潟県】
Ⓐ国中平野　Ⓑ国仲平野
Ⓐ統一　Ⓑ歴史的表記
Ⓐ佐渡　Ⓑ佐渡島（さどがしま）
ⒶⒷいずれも正式（一般にはⒶを使う）〔佐渡が島などは例外〕
Ⓐ佐渡海峡　Ⓑ越佐海峡
Ⓐ統一　Ⓑ古称
Ⓐ大河津分水　Ⓑ大河津分水路
Ⓐ統一　Ⓑ国土地理院など〔新信濃川は使わない〕
Ⓐ越後平野　Ⓑ新潟平野　Ⓒ蒲原平野
Ⓐ統一（Ⓑも使う）　Ⓒ古称
【富山県】
Ⓐ小矢部　Ⓑ石動（いするぎ）
Ⓐ市名　Ⓑ小矢部市の町名、駅名など
Ⓐ立山　Ⓑ雄山
Ⓐ連峰名、町名　Ⓑ立山連峰の代表的な山の名称（連峰の最高峰ではない）、神社名

Ⓐ剣岳　Ⓑ劔岳　Ⓒ劒岳
Ⓐを使う〔ⒷⒸの表記もある〕
【富山・岐阜県】
Ⓐ神通川　Ⓑ宮川
Ⓐ富山県内の呼称と全水系の名称
Ⓑ岐阜県内の呼称
【石川県】
Ⓐ兼六園　Ⓑ兼六公園
Ⓐ正式　Ⓑ俗称
Ⓐ能登　Ⓑのと
Ⓐ半島・島名、町名　Ⓑ鉄道会社名
【福井県】
Ⓐ越前　Ⓑえちぜん
Ⓐ岬名、市・町名　Ⓑ鉄道会社名
【長野・新潟県】
Ⓐ信濃川　Ⓑ千曲川
Ⓐ新潟県内の呼称と全水系の名称
Ⓑ長野県内の呼称

【長野県】
Ⓐ飯縄山　Ⓑ飯綱高原（ⒶⒷとも「いいづな…」）
Ⓐ山名　Ⓑ地域名
Ⓐ冠着山　Ⓑ姨捨山　Ⓒ姥捨山
Ⓐ正式　ⒷⒸ観光、伝説など
Ⓐ木曽　Ⓑ木祖
Ⓐ郡・町名、河川名、街道名など
Ⓑ木曽郡の村
Ⓐ木曽駒ケ岳　Ⓑ西駒ケ岳　Ⓒ中央アルプス駒ケ岳
ⒶⒷ地元で使われる　Ⓒ本社で使う（略称は中ア駒ケ岳）〔正式名の「駒ケ岳」は同名の山が各地にあるため使用を避ける〕
Ⓐ佐久盆地　Ⓑ佐久平
Ⓐ地図の表記　Ⓑ長野県での慣用〔本社もⒷを使う〕
Ⓐ島々　Ⓑ島島（ⒶⒷとも「しまし

ま」）
Ⓐ正式
Ⓐ中山道　Ⓑ中仙道
〔ⒶⒷとも歴史的根拠があるため統一困難〕
【長野・富山県】
Ⓐ鹿島槍ケ岳　Ⓑ鹿島鎗ケ岳
Ⓐ正式（略称は鹿島槍）　Ⓑ使用例少ない
Ⓐ黒部ダム　Ⓑ黒四（ダム）
Ⓐ正式　Ⓑ黒部川第4発電所の略
Ⓐ白馬鎗ケ岳　Ⓑ鎗ケ岳
Ⓐ一般表記（本社は略称「白馬鎗＝はくばやり」を使う）　Ⓑ正式〔「やり」の付く他の山と区別するため使用を避ける〕
【長野・富山・岐阜県】
Ⓐ北アルプス　Ⓑ飛騨山脈
Ⓐ本社が使う一般表記（略称は北

ア）　Ⓑ正式〔Ⓐと同様に木曽山脈は中央アルプス（中ア）、赤石山脈は南アルプス（南ア）を使う〕

【長野・岐阜県】

Ⓐ槍ケ岳　Ⓑ鎗ケ岳

Ⓐ正式（俗称「やり」）　Ⓑ誤り

【山梨・長野県】

Ⓐ甲斐駒ケ岳　Ⓑ東駒ケ岳　Ⓒ南アルプス駒ケ岳

Ⓐ山梨県側の呼称　Ⓑ長野県側の呼称　Ⓒ本社で使う（略称は南ア駒ケ岳）〔同名の山が各地にあるため「駒ケ岳」だけでの使用は避ける〕

【静岡県】

Ⓐ石廊崎　Ⓑ石廊埼　Ⓒ石室崎

Ⓐ岬名　Ⓑ灯台名　Ⓒ古称

Ⓐ田子の浦　Ⓑ田子ノ浦

Ⓐ統一、港名　Ⓑ海岸名〔ＪＲの駅名は東田子の浦〕

Ⓐ三方原　Ⓑ三方ケ原

Ⓐ浜松市北区の地名、用水名　Ⓑ地図の表記

【愛知県】

Ⓐ三河湾　Ⓑ渥美湾　Ⓒ知多湾

Ⓐ正式　Ⓑ◎使用例少ない

【岐阜県】

Ⓐ各務原（かかみがはら）　Ⓑ各務ケ原（かがみがはら）

Ⓐ正式　Ⓑ ＪＲの駅名

【三重県】

Ⓐ朝熊ケ岳　Ⓑ朝熊山

Ⓐ統一　Ⓑ通称

Ⓐ二見浦（ふたみうら）　Ⓑ二見ケ浦　Ⓒ二見が浦

Ⓐ統一　Ⓑ◎俗称〔ＪＲの駅名は二見浦＝ふたみのうら〕

【滋賀県】

Ⓐ醒井　Ⓑ醒ケ井（Ⓐ◎とも「さめがい」）

Ⓐ米原市の地名　Ⓑ ＪＲの駅名

Ⓐ伊崎寮　Ⓑ紫香楽（Ⓐ◎とも「しがらき」）

Ⓐ甲賀市の地名　Ⓑ聖武天皇の宮跡

Ⓐ賤ケ岳　Ⓑ賤が岳

Ⓐ統一（Ⓑも使う）

Ⓐ瀬田川洗堰（あらいぜき）　Ⓑ南郷洗堰（あらいぜき）

Ⓐ正式　Ⓑ地元の通称

Ⓐ琵琶湖　Ⓑびわ湖

Ⓐ正式　Ⓑ観光案内、地元の表記

【京都府】

Ⓐ天橋立　Ⓑ天ノ橋立　Ⓒ天の橋立

Ⓐ正式　Ⓑ◎地図などの表記

Ⓐ賀茂　Ⓑ加茂　Ⓒ鴨

Ⓐ上賀茂（京都市北区）、賀茂大

橋　Ⓑ加茂街道　Ⓒ下鴨（同市左京区）〔歴史的にはⒶが多く使われⒷⒸが次ぐ〕

Ⓐ賀茂川　Ⓑ加茂川　Ⓒ鴨川

Ⓒ統一表記〔ⒶⒷⒸの区別が長く続いたが京都府が統一〕

Ⓐ賀茂神社　Ⓑ加茂神社　Ⓒ鴨神社

Ⓐ総称　ⒷⒸ使わない〔俗称は上賀茂神社、下鴨神社。賀茂祭の俗称は葵祭〕

Ⓐ花宵　Ⓑ花背

Ⓐ正式　Ⓑ慣用、峠名

Ⓐ比叡山　Ⓑ叡山

Ⓐ正式　Ⓑ略称

【奈良県】

Ⓐ大神神社　Ⓑ大三輪神社（ⒶⒷとも「おおみわじんじゃ」）

Ⓐ正式　Ⓑ古称〔山名、地名は三輪〕

Ⓐ香久山　Ⓑ香具山

Ⓐ統一　Ⓑ歴史的表記

Ⓐ山上ケ岳　Ⓑ山上が岳

Ⓐ正式　Ⓑ使用例極めて少ない

Ⓐ初瀬　Ⓑ長谷（寺）（ⒶⒷとも「はせ」）

Ⓐ桜井市の地名、河川名　Ⓑ寺名

Ⓐ八剣山　Ⓑ仏経ケ岳　Ⓒ八経ケ岳

ⒶⒷⒸいずれも地元で使う〔地図の表記はⒶが多い〕

【奈良県・大阪府】

Ⓐ橿原市（かしはらし）　**Ⓑ柏原市**（かしわら）

Ⓐ奈良県の市名　Ⓑ大阪府の市名

【和歌山県】

Ⓐ紀の川　Ⓑ紀ノ川

Ⓐ市名、行政上の河川名　Ⓑ国土地理院の表記、私鉄の駅名

Ⓐ潮岬　Ⓑ潮の岬

Ⓐ統一

【大阪府】

Ⓐ阿倍野　Ⓑ阿部野

Ⓐ区名、地下鉄の駅名　Ⓑ神社名、私鉄の駅名（大阪阿部野橋駅）

Ⓐ浪速　Ⓑ浪花

Ⓐ一般的な大阪の総称、区名〔地名はⒶⒷともある〕

【兵庫県】

Ⓐ三宮　Ⓑ三ノ宮

Ⓐ統一　ⒷＪＲの駅名

Ⓐ播磨平野　Ⓑ播州平野　Ⓒ姫路平野

Ⓐ統一　Ⓑ別称　Ⓒ使用例極めて少ない

【兵庫・鳥取県】

Ⓐ氷ノ山　Ⓑ須賀ノ山　Ⓒ四賀ノ山

Ⓐ総称　Ⓑ主峰　Ⓒ旧称

【鳥取県】

Ⓐ鳥取砂丘　Ⓑ浜坂砂丘

Ⓐ総称　Ⓑ鳥取砂丘の一部の呼称

【島根・広島県】

Ⓐ江の川（こうのかわ）　Ⓑ江川（ごうがわ）

Ⓐ統一（Ⓑも地図や一般で使う）

【島根県】

Ⓐ簸川　Ⓑ斐川　Ⓒ斐伊川

Ⓐ旧郡名　Ⓑ出雲市の地名　Ⓒ河川名

【岡山県】

Ⓐ弥高山　Ⓑ飯山（いいのやま）

Ⓐ統一　Ⓑ地元・高梁市での別称

【広島・愛媛県】

Ⓐ備後灘　Ⓑ燧灘

Ⓐ広島県側の呼称　Ⓑ愛媛県側の呼称

【山口県】

Ⓐ秋芳洞　Ⓑ秋芳町　Ⓒ秋吉台

Ⓐ鍾乳洞名　Ⓑ美祢市の地名　Ⓒ鍾乳洞上の台地名

Ⓐ屋代島　Ⓑ周防大島

Ⓐ正式　Ⓑ一般表記

Ⓐ塩の浦　Ⓑ塩ノ浦　Ⓒ塩之浦

Ⓐ一般表記　Ⓑ一部で使う　Ⓒ古い表記

【香川県】

Ⓐ琴平町　Ⓑ金刀比羅宮

Ⓐ町名　Ⓑ神社名

Ⓐ女木島　Ⓑ鬼ケ島

Ⓐ正式　Ⓑ俗称

【香川・徳島県】

Ⓐ讃岐山脈　Ⓑ阿讃山脈

Ⓐ正式　Ⓑ徳島県側の呼称

【徳島県】

Ⓐ蒲生田岬　Ⓑ蒲生田崎

Ⓐ統一　Ⓑ俗称

【愛媛県】

Ⓐ佐田岬半島　Ⓑ三崎半島

Ⓐ統一　Ⓑ地元の呼称

Ⓐ新居浜平野　Ⓑ道前平野

Ⓐ東予地方一円の平野の総称　Ⓑ地元の正式名（Ⓐの8割を占める）

Ⓐ松山平野　Ⓑ道後平野

Ⓐ統一

【愛媛・鹿児島県】

Ⓐ佐田岬（さだみさき）　Ⓑ佐多岬（さたみさき）

Ⓐ愛媛県最西端の岬　Ⓑ鹿児島県大隅半島南部の岬

【福岡県】

Ⓐ玄界灘　Ⓑ玄海灘

Ⓐ統一表記　Ⓑ使わない〔国定公園などは玄海〕

Ⓐ太宰府　Ⓑ大宰府

Ⓐ市名、天満宮名　Ⓑ史跡名

Ⓐ大刀洗　Ⓑ太刀洗

Ⓐ町名、河川名　Ⓑ私鉄の駅名

Ⓐ粕屋郡　Ⓑ糟屋郡
Ⓐ統一　Ⓑ正式名
【福岡・大分県】
Ⓐ彦山　Ⓑ英彦山
ⒶＪＲの駅名　Ⓑ山名、国定公園名
【大分県】
Ⓐくじゅう　Ⓑ久住　Ⓒ九重（ここのえ）
Ⓐ山系の総称（国立公園は阿蘇くじゅう。一部地域・官庁では九重山、九重連山も使う）　Ⓑ山系の一峰　Ⓒ町名
Ⓐ関埼　Ⓑ地蔵崎
Ⓐ灯台名　Ⓑ岬名
Ⓐ湯布院　Ⓑ由布院
Ⓐ由布市の地名、高速インター名　Ⓑ盆地名、ＪＲの駅名、温泉名

【福岡・佐賀県】
Ⓐ脊振山　Ⓑ背振山
Ⓐ本社が使う表記（自治体などで使う場合もある）　Ⓑを使う場合もある）
Ⓐ筑紫平野　Ⓑ筑後平野　Ⓒ佐賀平野
Ⓐ総称　Ⓑ福岡県側の呼称　Ⓒ佐賀県側の呼称
【福岡・佐賀・長崎・熊本県】
Ⓐ有明海　Ⓑ筑紫海
Ⓐ統一　Ⓑ古称
【長崎県】
Ⓐ浅茅湾　Ⓑ浅海湾（ⒶⒷとも「あそうわん」）
Ⓐ統一　Ⓑ別称
Ⓐ諫早湾　Ⓑ泉水海
Ⓐ統一　Ⓑ地元の呼称
Ⓐ大村湾　Ⓑ琴ノ海
Ⓐ全体の名称　Ⓑ大村湾の一部の名称

Ⓐ針尾瀬戸　Ⓑ伊ノ浦瀬戸
Ⓐ正式　Ⓑ地元の呼称
Ⓐ橘湾　Ⓑ千々石湾
Ⓐ正式　Ⓑ旧称
Ⓐ長崎半島　Ⓑ野母半島
Ⓐ正式　Ⓑ俗称
Ⓐ端島　Ⓑ軍艦島
Ⓐ正式　Ⓑ俗称
【熊本県】
Ⓐ芦北郡　Ⓑ葦北郡
Ⓐ統一　Ⓑ正式名
Ⓐ角山　Ⓑ角岳
Ⓐ地図の表記　Ⓑ地元の俗称
Ⓐ五家荘　Ⓑ五箇荘
Ⓐ統一　Ⓑ古称
Ⓐ八代海　Ⓑ不知火海
Ⓐ統一（八代海の中に不知火海区がある）　Ⓑ別称

【宮崎県】
Ⓐ島浦　Ⓑ島野浦
Ⓐ延岡市の地名、島名　Ⓑ別称
【鹿児島・宮崎県】
Ⓐ志布志湾　Ⓑ有明湾
Ⓐ正式　Ⓑ古称
【鹿児島県】
Ⓐ鹿児島湾　Ⓑ錦江湾
Ⓐ正式　Ⓑ観光名
Ⓐ肝属郡　Ⓑ肝付郡
Ⓐ正式（Ⓑも便宜的に使う）〔郡内の町名は肝付町〕
Ⓐ中甑島（なかこしきしま）　Ⓑ平良島
Ⓐ正式　Ⓑ俗称
【鹿児島・沖縄県】
Ⓐ西之表市（にしのおもてし）
Ⓑ西表島（いりおもてじま）
Ⓐ鹿児島県種子島の市名　Ⓑ沖縄県八重山諸島の島名

主な岬、崎、埼、碕

〔注〕「・埼」は灯台名

北海道　恵山岬（えさんみさき）　襟裳岬（えりもみさき）　落石岬（おちいしみさき）　神威岬（かむいみさき）　積丹岬（しゃこたんみさき）　白神岬（しらかみみさき）　尻羽岬（しれぱみさき）　知床岬（しれとこみさき）　宗谷岬（そうやみさき）　チキウ岬〔別称、地球岬（ちきゅうみさき）〕　湯沸岬（とうふつみさき）　納沙布岬（のさっぷみさき）　ノシャップ岬（のしゃっぷみさき）　花咲岬（はなさきみさき）

青森県　大間崎・埼（おおまざき）　小泊岬（こどまりみさき）　尻屋崎・埼（しりやざき）　竜飛崎・埼（たっぴざき）　艫作崎・埼（へなしざき）
岩手県　北山崎（きたやまざき）　首崎（こうべざき）　錺ケ崎・埼（とどがさき）　綾里崎・埼（りょうりざき）
宮城県　鮑荒崎（あわびあらさき）　竜舞崎（たつまいざき）
秋田県　入道崎・埼（にゅうどうざき）
福島県　塩屋崎・埼（しおやざき）
千葉県　犬吠埼（いぬぼうさき）　洲崎・埼（すのさき）　太東崎・埼（たいとうざき）　野島崎・埼（のじまざき）　八幡岬（はちまんみさき）

東京都　乳ケ崎（ちがさき）
神奈川県　観音崎・埼（かんのんざき）　剣崎・埼（けんざき）　真鶴岬（まなづるみさき）
新潟県　沢崎鼻（さわさきはな）
石川県　弾崎・埼（はじきさき）
福井県　越前岬（えちぜんみさき）　立石岬（たていしみさき）　常神岬（つねかみみさき）
静岡県　石廊崎・埼（いろうざき）　御前崎・埼（おまえざき）　波勝岬（はがちざき）
愛知県　伊良湖岬（いらごみさき）
三重県　大王崎・埼（だいおうざき）
和歌山県　樫野崎・埼（かしのざき）　潮岬（しおのみさき）　瀬戸崎（せとざき）　日ノ御埼（ひのみさき）
島根県　地蔵崎（じぞうざき）　日御碕（ひのみさき）
山口県　川尻岬（かわしりみさき）　高山岬（こうやまみさき）
徳島県　蒲生田岬（かもだみさき）
愛媛県　佐田岬（さだみさき）　鼻面岬（はなづらみさき）
高知県　足摺岬（あしずりみさき）　興津崎・埼（おきつざき）　室戸岬（むろとざき〔「むろとみさき」とも〕）　竜頭岬（りゅうずみさき）
福岡県　鐘ノ岬（かねのみさき）
長崎県　大瀬崎・埼（おおせざき）　郷崎（ごうざき）　棹崎（さおざき）　志々伎崎（ししきざき）　野母崎（のもざき）
大分県　地蔵崎（じぞうざき）　鶴御崎・埼（つるみさき）
宮崎県　都井岬（といみさき）
鹿児島県　佐多岬（さたみさき）　坊ノ岬（ぼうのみさき）
沖縄県　喜屋武岬・埼（きゃんみさき・さき）　辺戸岬（へどみさき）

紛らわしい会社名

上場企業または非上場の大型、準大型企業から抽出した。新聞表記は次の通り。

1　間違えやすい会社名

〔注〕（　）内は誤り。

IHI（石川島播磨重工業）
味の素ゼネラルフーヅ（味の素ゼネラルフーズ）
アメリカン・エキスプレス（アメリカン・エクスプレス）
いすゞ自動車（いすず自動車）
ウエザーニューズ（ウエザーニュース）
ANAホールディングス（全日空ホールディングス）
※子会社の正式名称は全日本空輸
キャノン（キャノン）
キユーピー（キユーピー）
三和シャッター工業（三和シャッター工業）
シヤチハタ（シャチハタ）
蛇の目ミシン工業（蛇ノ目ミシン工業）
太平電業（大平電業）
大平洋金属（太平洋金属）
大陽日酸（太陽日酸）
大和総研（大和総合研究所）
椿本チエイン（椿本チェーン）
テーオーシー（TOC）
東京製綱（東京製鋼）
東洋鋼鈑（東洋鋼板）
東洋シヤッター（東洋シャッター）
特種東海製紙（特殊東海製紙）
ドンキホーテホールディングス（ドン・キホーテホールディングス）
ニッカウヰスキー（ニッカウイスキー）
日本コロムビア（日本コロンビア）
日本コンベヤ（日本コンベア）
日本トイザらス（日本トイザラス）
富士フイルム（富士フィルム）
ブリヂストン（ブリジストン）
ブルドックソース（ブルドッグソース）

ス）
文化シャッター（文化シャッター）
三井住友トラスト・ホールディングス（三井住友トラストホールディングス）
三菱東京ＵＦＪ銀行（三菱ＵＦＪ銀行）
三菱ＵＦＪフィナンシャル・グループ（三菱ＵＦＪフィナンシャルグループ）
三菱レイヨン（三菱レーヨン）

2　登記・登録通りに書かない会社

（注）（　）内は正式名。

安藤ハザマ（安藤・間）
エスビー食品（エスビー食品）
ＮＥＣ（日本電気）
ＮＴＴ（日本電信電話）
ＮＴＴ西日本（西日本電信電話）
ＮＴＴ東日本（東日本電信電話）
ＭＳ＆ＡＤホールディングス（ＭＳ＆ＡＤインシュアランスグループホールディングス）
鹿島（鹿島建設）
キリンビール（麒麟麦酒）
クラボウ（倉敷紡績）
ＫＯＡ（コーア〔電機・抵抗器〕）
コマツ（小松製作所）
桜ゴム（櫻護謨）
ＴＯＫＡＩ（ザ・トーカイ〔ＬＰガス〕）
ＪＦＥホールディングス（ジェイエフ　イー　ホールディングス）
Ｊ・フロントリテイリング（Ｊ.フロント　リテイリング）
ＪＣＢ（ジェーシービー）
ＪＲ東日本（東日本旅客鉄道）
※北海道、東海、西日本、四国、九州、貨物、系列バス会社も同じ
ＪＴＢ（ジェイティービー）
新日鉄住金（新日鐵住金）
※東京製鐵、東京鐵鋼などの鐵も同じ
損保ジャパン日本興亜（損害保険ジャパン日本興亜）
ダイワボウ（大和紡績）
中央発条（中央発條〔スプリング〕）
ＴＢＳホールディングス（東京放送ホールディングス）
鉄建（鉄建建設）
天竜木材（天龍木材）
※天龍製鋸も同じ
東京会館（東京會舘〔レストラン〕）
東京ガス（東京瓦斯）
※北海道、京葉、東邦、中部、北陸、大阪、西部の瓦斯も同じ

東京メトロ（東京地下鉄）
東洋製缶（東洋製罐）
※北海製罐、日本製罐も同じ
日東紡（日東紡績）
ニッパツ（日本発条）
日本ＩＢＭ（日本アイ・ビー・エム）
日本ガイシ（日本碍子）
日本車両製造（日本車輌製造）
※近畿車輛も同じ
日本ルツボ（日本坩堝）
ネツレン（高周波熱錬）
乃村工芸社（乃村工藝社（ディスプレー））
野村証券（野村證券）
ホンダ（本田技研工業）
ＭｒＭａｘ（ミスターマックス（量販店））
ミズノ（美津濃）
三井金属（三井金属鉱業）
三菱自動車（三菱自動車工業）
ヨコレイ（横浜冷凍）

3　流通関連企業で会社名と店名などの表記が異なる例

（注）（　）内は店名。会社名と使い分ける。

イトーヨーカ堂（イトーヨーカドー）
サークルＫサンクス（サークルＫ、サンクス）
セブン－イレブン・ジャパン（セブン－イレブン）
ドンキホーテホールディングス（ドン・キホーテ）
※店舗運営子会社はドン・キホーテ
ファーストリテイリング（ユニクロ）

登録商標と言い換え

原則として登録商標は使わず、言い換え例に示した一般名称に言い換える。ただし商品の紹介記事やその商品が問題となっている場合は登録商標を掛く。登録商標が一般名称化しているケースでは、商品イメージを損なわない限り柔軟に対応できる。登録商標は、特許庁に登録され、商標権者が独占的に使用できる商品名などの標識を指す。一般名称のように使うと①商標権の価値低下②その商品を宣伝することによる同類の他商品への損害―を招くこともある。

登録商標→言い換え例

アートフラワー〔使用可〕
アイスノン→冷却枕、保冷剤
アクアラング→簡易潜水具、スキューバ
味の素→うま味調味料
アロンアルファ→瞬間接着剤
いかめし〔使用可〕
糸ようじ→糸式ようじ、デンタルフロス
ウイークリーマンション、ウィークリーマンション→短期賃貸マンション
ウォークマン→携帯音楽プレーヤー
ウォシュレット→温水洗浄便座
写ルンです→レンズ付きフィルム、使い切りカメラ
うどんすき〔使用可〕
エアーシューター→気送管、シューター
エアロバイク→自転車型トレーニング器具
えびせん〔使用可〕
エリアメール→緊急速報メール
〔注〕エリアメールはNTTドコモの商標。緊急速報メールはソフトバンク、KDDI（au）のサービス名だが、一般名詞として使用する。
エレクトーン→電子オルガン

オービス↓速度違反取り締まり装置
オーロラビジョン↓大型スクリーン
オキシフル↓オキシドール
オセロゲーム↓オセロ風ゲーム、リバーシ
カッター（シャツ）↓ワイシャツ
カップヌードル↓カップ麺
亀の子たわし↓たわし
カラーコーン↓コーン標識、パイロン
カルピス↓乳酸飲料
感圧紙↓ノーカーボン紙
カンパリ↓リキュール
キックボード↓キックスケーター
〔注〕「キックボード」は商標権失効で使用可だが、一般名称をできるだけ使用する。
キャタピラー↓無限軌道、走行用ベルト
クッキングホイル↓アルミ箔、アルミホイル
〔注〕「クッキングホイル」は商標権失効で使用可だが、一般名称をできるだけ使用する。
クラリーノ↓人工皮革
クリープ↓インスタントクリーム、粉末クリーム
クリーンヒーター↓温風ヒーター
クリネックス↓ティッシュペーパー
クレパス↓オイルパステル
クレラップ↓ラップ
形状記憶シャツ↓形態安定シャツ
コカ・コーラ、コーク↓コーラ飲料、清涼飲料
サランラップ↓ラップ
サンキスト↓主にカリフォルニア産の（オレンジ、レモン、グレープフルーツなど）
サンプラ、サンプラチナ↓ニッケルクロム合金（歯科用）
シーチキン↓ツナ缶
ジープ↓ジープ型の車、小型四輪駆動車
ジェットスキー↓水上バイク
シッカロール↓汗止めパウダー
ジッパー（使用可）
ジャグジー↓ジェットバス、気泡風呂
シャワートイレ↓温水洗浄便座
シュガーカット↓（還元糖、転化糖）甘味料
少林寺拳法↓中国武術、少林武術
〔注〕日本発祥の少林寺拳法は別。
信州味噌↓信州のみそ
スコッチテープ↓接着テープ、録音テープ
スコッティ↓ティッシュペーパー

スノーモビル→スノーモービル、小型雪上車
スミチオン→有機リン系殺虫剤
セスナ→軽飛行機
セメダイン→接着剤
ゼロックス→複写機
セロテープ→セロハンテープ
ダスキン→化学雑巾
宅急便→宅配便
タッパー、タッパーウェア→（プラスチックの）食品保存容器
タバスコ→ペッパーソース
弾丸ツアー→弾丸旅行
チキンラーメン→即席ラーメン
着メロ→着信メロディー
チャッカマン→（使い切り）多目的ライター
チャック〔使用可〕
デジカメ〔使用可〕
テトラパック→飲料用紙容器
テトラポッド→消波ブロック
テトロン→ポリエステル繊維
テフロン→フッ素樹脂（加工）
デンキブラン→リキュール
ドライミルク〔使用可〕
トランポリン→跳躍器具
〔注〕競技・運動名としては使用可。
トリックアート→だまし絵、目の錯覚を利用した作品
ナップザック〔使用可〕
猫イラズ→（リン系）殺鼠剤
バスクリン→浴用剤
ハモンドオルガン→電子オルガン
パラゾール→防虫剤
ハルシオン→睡眠導入剤
パンタロン〔使用可〕
バンドエイド→ガーゼ付きばんそうこう
パンパース→紙おむつ
ピアニカ→鍵盤ハーモニカ
ピップエレキバン→磁気ばんそうこう
ヒロポン→覚醒剤
ファミコン→（家庭用）テレビゲーム機
ファンタ→清涼飲料
ブイシネマ、Vシネマ→ビデオ専用映画
ブッシュクリーナー〔使用可〕
プラスタイル→プラスチックタイル
プラモデル〔使用可〕
フラワーデザイナー→生花デザイナー
プリクラ→写真シール（作製機）
フリスビー→フライングディスク
ペットシュガー→分包シュガー

ペンテル↓フェルトペン
ホーバークラフト〔使用可〕
ポカリスエット↓スポーツドリンク
ホカロン↓使い切りカイロ
ホッチキス↓書類とじ器〔ホチキスは使用可〕
ポラロイド（カメラ）↓インスタントカメラ・写真
ポリタライ↓プラスチックのたらい
ポリタンク〔使用可〕
ポリバケツ↓プラスチックのバケツ
ポリバス〔使用可〕
ほんだし↓風味調味料
ボンド↓接着剤
マジック（インキ、ペン）↓フェルトペン
マジックテープ↓面ファスナー
マリンジェット↓水上バイク
万歩メーター、万歩計↓歩数計、歩数メーター
ムース↓泡状整髪剤
メロディオン↓鍵盤ハーモニカ
ヤクルト↓乳酸菌飲料
UFOキャッチャー↓クレーンゲーム機
ユンボ↓パワーショベル
ラジコン↓無線操縦（装置）
ランドクルーザー（ランクル）↓オフロード型四輪駆動車
リズムボックス↓電子リズム楽器
リバノール〔使用可〕
ルービックキューブ↓六面立体パズル
ループタイ↓つけネクタイ
〔注〕ひも状ネクタイとは別個の商品名。ひも状ネクタイの呼称には「ひもタイ」「ロープタイ」を使う。
ルゴール液〔使用可〕
レーザーディスク〔使用可〕
レゴ↓（プラスチック製）ブロック玩具
ローラーブレード↓インラインスケート
ロボットスーツ↓パワードスーツ
〔注〕マッスルスーツも登録商標。
ワンカップ↓カップ酒

紛らわしい法令関連用語

違法・不法・不当　違法と不法はほぼ同義。違法は具体的な法規に違反したり、公の秩序など法の理念に反したりする場合も含め広い意味で使われるのに対し、合法の反対の不法は「**不法行為**（故意・過失で他人に生じた損害を賠償する責任がある行為）」のように、違法より狭い意味で使われることが多い。不当は法に違反していないものの、制度の目的からみて適切でないこと。例えば裁量内だが、不適切な行為をした場合など。

恩赦・大赦・特赦　恩赦は確定した刑の全部または一部を消滅させ、犯罪者を許す制度。政令で罪や刑の種類を定め一律実施する**政令恩赦**と、特定の人に審査を経て実施する個別恩赦があり、どちらも内閣が決定する。政令恩赦は①有罪判決の効力を失わせ、公判中の被告には免訴判決を言い渡す大赦②確定判決の刑やその刑の執行を減軽する減刑③確定判決で喪失・停止した権利（選挙権など）を回復させる復権―の3種類で、戦後は新憲法施行（1947年）、サンフランシスコ講和条約発効（52年）、国連加盟（56年）、昭和天皇大喪（89年）などのときに実施されている。一方、個別恩赦で有罪判決の効力を失わせることを特赦と呼ぶ。個別恩赦には減刑や復権、**刑の執行の免除**もある。

「各自」「各」「連帯して」（民事判決の主文）「各自」は判決が命じた支払額（認容額）を複数の被告が合同して払えばいいという意味。原告は1人の被告に全額請求してもいいし、ある被告には○○万円、ほかの被告には△△万円というように分けて請求してもいい。「各」は複数の被告の支払額、複数の原告の受取額がそれぞれ同額の場合に「それぞれ」という意味で使われる。金額が異なるときは「被告Aは○○万円、被告Bは△

△万円…」と個々に示される。「連帯して」は「各自」とほぼ同じだが、法律上、連帯責任を明示する場合に使われる。これらは紛らわしい専門用語なので記事では使わない。その都度確認しないと間違うことが多く、特に「各自」と「各」を取り違えると、認容額の解釈で大失敗する。

仮処分・仮差し押さえ・仮執行　仮処分は民事訴訟に先立ち、対象となる権利を保全する手続き。①係争物に関する仮処分②仮の地位を定める仮処分―があり①は金銭以外の権利を対象に現状維持を命じる。②は訴訟確定まで仮の状態を定めるもので、原則として口頭弁論か審尋（裁判所が当事者に対し、書面や口頭で主張する機会を与えること）を経る。仮差し押さえは金銭の強制執行を保全するため、財産の処分を禁じる手続き。一方、確定前でも判決に基づく執行を許すことを「仮執行宣言」といい、これが認められた判決による強制執行を仮執行と呼ぶ。

監護・観護　監護は親権者などが未成年者を監督し、守ること。観護は少年事件の捜査や少年審判のために少年の身柄を保全する手段で、少年鑑別所送致（成人の勾留に当たる）などがある。

監置・留置　監置は法廷などの秩序を乱したとして、裁判所が科す制裁で、刑事施設に付設される監置場に収容する。期間は20日以内。刑事訴訟法上の留置は、人を特定の場所に拘禁すること。逮捕された容疑者が警察の施設に留置されるほか、精神状態を調べるための鑑定留置や罰金が払えない場合の労役場留置などがある。

棄却・却下　刑事裁判で「理由がない」「不適法」などとして控訴や上告、付審判請求、再審請求などを退けるときは棄却。裁判官忌避や保釈請求などの手続き上の申し立てを退けるときは却下。異議申し立ては理由なしか不適法かで棄却と却下を使い分ける。起訴自体が不適法として「公訴棄却」の判決や決定もある。民事・行政訴訟では、請求や申し立てに理由がないときは棄却し、不適法の場合は、理由の有無を判断せずに却下する。いわゆる「門前払い」。記事では「請求を棄却した」「訴え

を却下した」と書き分ける。請求を一部棄却、一部却下したときは「請求（訴え）を退けた」。

起訴・不起訴・起訴猶予　捜査の結果、検察官が裁判所に事件の審判を求めることを起訴という。法律上は「**公訴の提起**」「**公判請求**」。記事では「○○罪（容疑ではない）で起訴」と書く。同一被告が別の事件で新たに起訴されたときは「追起訴」。起訴後、容疑者は被告になるので「△△容疑者を○○罪で起訴した。△△被告は…」とする。起訴の際、容疑者が勾留されていない場合は**在宅起訴**。一方、捜査の結果①容疑者死亡や時効成立など訴訟の要件を欠く②嫌疑がないか不十分③心神喪失で罪に問えない―などの場合、検察官は不起訴処分とする。検察官には、犯罪の証明が十分でも容疑者の年齢や境遇、罪の軽重や情状などにより、起訴しない裁量があり、この場合の不起訴は起訴猶予処分。記事では、不起訴と起訴猶予を極力区分けして書く。

脅迫・強迫　脅迫は刑法上、人に危害を加えるようなことを言ったり、態度で示したりして脅すこと。一方の強迫は民法上、他人に危害を加えるような言動を示して恐怖心を生じさせ、無理に意思決定させること。

許可・認可　特定の人や特定のケースについて、法令で一般的に禁止される行為を解禁し、適法に行うことを可能にする行政措置が許可で、例えば営業許可や起債の許可など。認可は法律行為が公の機関の同意を得なければ有効に成立しない場合に同意を与える行政措置。例えば学校法人の認可など。

虚偽文書・偽造文書　公務員など権限を持つ人が作成した文書で内容が真実に反するものを虚偽文書とし、権限のない人が名義を偽って作成した文書は偽造文書と使い分けている。偽造文書は内容が真実に合致するか否かは問わない。

刑事施設・留置施設・代用監獄　刑事施設は①受刑者を収容し作業させる刑務所②うち26歳未満が対象の少年刑務所③裁判所が勾留を認めた容疑者や被告、死刑確定者らを収容する拘置所―の総称。一方の留置施設は、逮捕された容疑者らを一時拘束するため警察などが

設置している。警察の留置場は刑事施設に代えて容疑者を収容できることから「代用監獄」と呼ばれ、日弁連などは長時間の取り調べを可能とする「冤罪の温床」と批判している。

検挙・摘発　警察が認知した犯罪について容疑者を特定し、送検・送付・微罪処分に必要な捜査を遂げることを検挙というが、統計記事以外は原則として「摘発」に言い換える。

検察官・検事　検察官は公益の代表者としてあらゆる犯罪を捜査することができ、容疑者を起訴する権限を持つ。警察官に捜査に必要な指示をすることもできる。また裁判の一方の当事者として犯罪の立証に当たり、正当と考える刑を裁判所に求めるほか、死刑に立ち会うなど確定した刑の執行を監督する。検察官には①検事総長②次長検事③高検検事長④検事長⑤副検事—の5種類の官職がある。

検察審査会・付審判請求　検察審査会は不起訴処分の当否を審査する機関で、有権者からくじで選ばれた11人の検察審査員（任期6カ月）で構成。被害者や告発人らから申し立てを受け①不起訴相当②不起訴不当③起訴相当—のいずれかを議決する。①と②は過半数、③は11人中8人以上の多数決。検察官は②や③の議決を受けて再捜査する。②の議決に拘束力はないが、③の議決を受けても検察官が起訴しない場合、検察審は再審査し、11人中8人以上の多数決で「起訴すべきだ」と議決すると、容疑者の強制起訴が決まる。一方、特別公務員暴行陵虐致死傷罪などの不起訴処分に対し、告訴・告発人は地裁に事件を「審判に付する（付審判）」よう求めることができる。地裁が付審判を決定すると、起訴と同じ効果が生じる。権力犯罪が恣意的に不起訴とされるのを防ぐ制度。検察審の議決に基づく強制起訴やその後の公判、付審判決定後の公判では、地裁が指定する弁護士が検察官役を務める。

減刑・減軽　減刑は恩赦の一つで、刑を軽くすることは減軽という。弁護側が求刑より軽い刑を主張したときは「減刑」としないが、控訴審・上告審で刑が軽くなったと

きは「減刑」を使ってもいい。

現場検証・実況見分　どちらも捜査機関が犯罪が起きた場所の状態などを調べて確認することだが、現場検証には原則として令状が必要。実況見分は現場の所有者などの承諾を得て令状なしの任意捜査として実施する。

後見人・保佐人・補助人・補佐人　知的障害、精神障害、認知症などで判断能力の十分でない人が不利益を受けないよう、家裁は本人、親族、検察官らから申し立てを受け財産に関する法律行為などを支援する人を選任する（**成年後見制度**）。選任されるのは判断能力に応じて、ほとんどない人に**成年後見人**、著しく不十分な人に保佐人、不十分な人には補助人。親権者のいない未成年者には**未成年後見人**が選任される。補佐人は裁判で当事者を補助する人で、刑事は被告の法定代理人、配偶者、直系親族など。民事は資格に制限はないが、裁判所の許可が必要。

抗告・異議　裁判所の決定や命令を不服として上訴することを抗告という。刑事裁判は一般抗告と最高裁に申し立てる**特別抗告**があり、一般抗告はさらに通常抗告と、法律に特に規定がある**即時抗告**に分かれる。高裁の決定には抗告できないが、異議を申し立てることができる。特別抗告はほかに不服申し立ての手段がない決定、命令に対し、憲法違反や判例違反を理由に申し立てる。一方、民事訴訟でも抗告できるが、法律で認められた場合に限られる。刑事と異なり「**再抗告**」の手続きがある。また判例違反を理由に特別抗告できないが、判例と相反する判断がある場合や法令解釈に関する重要な事項を含む場合、高裁に「**許可抗告**」を申し立て、高裁が許可した場合、最高裁で審理される。

高裁一審の事件・訴訟　刑法の内乱罪、公選法の選挙・当選の効力に関する訴訟、選挙犯罪による当選無効訴訟（いわゆる連座制）、地方自治法のリコール関係の訴訟など。独禁法（公正取引委員会の審決取り消し請求、損害賠償請求など）、海難審判法（海難審判所の裁決に対する訴え）、弁護士法（懲戒処分取り消し請求）などに関する訴訟は、東京高裁が一審の

裁判所となる。

公示・告示　ともに公の機関が広く一般に知らせることだが、公選法は衆院議員の総選挙、参院議員の通常選挙の施行通知を「公示」と定めている。衆参両院議員の再選挙や補欠選挙、地方自治体の首長・議員の選挙、最高裁裁判官の国民審査は「告示」。外国の選挙は全て告示を使う。

公訴時効・刑の時効　刑事訴訟法は、犯罪行為が終わった時点から一定の期間が経過すると証拠が散逸し、公正な裁判ができないことなどから、容疑者の起訴を許さない公訴時効を定めている。容疑者が国外にいた期間や、共犯者が起訴され判決が確定するまでの期間は時効の進行が停止する。犯罪被害者の要望を受け2010年4月27日に刑事訴訟法が改正、即日施行され「人を死亡させた罪」の公訴時効は法定刑に応じて次のように廃止、期間延長された。同日までに公訴時効が成立していない事件にも適用される。

▽死刑を含む罪（殺人、強盗殺人、強盗強姦致死、汽車転覆致死など）25年→廃止

▽無期懲役・禁錮を含む罪（強制わいせつ致死、強姦致死、集団強姦致死など）15年→30年

▽有期刑上限の20年までの懲役・禁錮が定められている罪（傷害致死、自動車運転処罰法の危険運転致死、逮捕監禁致死など）10年→20年

▽右記以外の人を死亡させた罪（自動車運転処罰法の過失運転致死、業務上過失致死など）3年または5年→10年

〈「人を死亡させた罪」以外の公訴時効は、法定刑に応じて、死刑25年、無期懲役・禁錮15年、15年以上の懲役・禁錮10年、15年未満の懲役・禁錮7年、10年未満の懲役・禁錮5年、5年未満の懲役・禁錮と罰金3年など〉

一方、刑の時効は刑が確定後、逃亡などで執行を受けずに一定期間が経過した場合、執行を免除する制度で刑法に規定されている。刑訴法改正による公訴時効の廃止・期間延長と同時に刑法も改正され、死刑に時効はなくなった。また無期懲役・禁錮は20年から30年に、10年以上の懲役・禁錮は15

年から20年にそれぞれ期間が延長された。3年以上10年未満の懲役・禁錮10年、3年未満の懲役・禁錮5年、罰金3年などは従来通り。

公判・口頭弁論　公判は広い意味では、検察官の起訴から審理を経て裁判が終結するまでの手続き全般だが、法廷での審理も「公判」と呼ぶ。民事・行政訴訟で公判は使わず、法廷審理は「口頭弁論」。刑事、民事を問わず、弁論は審理手続きを指すこともある（例えば弁論の再開・併合など）。

公判前整理手続き　裁判所が初公判前に検察側、被告・弁護側に立証・主張内容を明らかにさせ、争点を絞り、証拠を厳選し、審理日程も決める手続き。裁判員裁判の対象事件に義務付けられ、対象外でも裁判所の決定で適用される。裁判官、検察官、弁護人が集まるときは「第○回期日」と呼ばれるが、記事は「第○回協議」とする。被告が出席することもある。協議は公開が定められておらず、非公開で実施されている。協議外での書類のやりとりなども多く、協議だけが公判前整理手続きではない。公判開始後、公判前整理手続きで決定された証拠以外はやむを得ない場合しか請求できない。公判と公判の間に実施する同様の手続きが「期日間整理手続き」。

勾留・勾留理由開示手続き・拘留　勾留は逮捕・送検された容疑者や起訴された被告を刑事施設などに収容すること。罪を犯したと疑う相当な理由に加え、証拠隠滅や逃亡の恐れがある場合などに限られる。容疑者の場合は検察官が請求し、裁判所が決定する。被告は裁判所が職権で行う。勾留理由開示手続きは容疑者・被告や弁護人の請求により、裁判所が法廷で勾留を認めた理由を説明する手続き。容疑者・被告側は意見を述べることができる。拘留は刑罰の一つで主として軽犯罪に科される。1日以上30日未満の期間、拘留場（通常は代用監獄としての警察の留置場）に収容される。

告訴・告発　どちらも捜査の端緒となる手続きで、告訴は犯罪の被害者や遺族、法定代理人らが捜査機関に被害を申し出て犯人の処罰を求めること。強姦（ごうかん）罪など事件を公

にすると逆に被害者の不利益となる恐れがある犯罪は、告訴がないと容疑者を起訴できない（**親告罪**）。一方の告発も同様に犯罪があったことを告げ、犯人の処罰を求める手続きで、告訴できる人と自首できる犯人を除き、誰でも告発人となれる。

裁判員　裁判官と一緒に、重大事件の被告が有罪かどうかを判断し、有罪の場合は刑も決める非常勤の裁判所職員。有権者から無作為に選ばれる。ただ禁錮以上の前科がある人などは裁判員になる資格がない（欠格事由＝**事由**は直接の原因・理由となっている事実）。また国会議員、中央省庁の幹部職員、裁判官、検察官、弁護士、警察職員、法学専攻の大学教授・准教授、自衛官らは裁判員になれない（**就職禁止事由**）。70歳以上や学生、重病の人のほか①介護や養育の必要がある②親族の結婚式や葬式など社会生活上の重要な用務がある③重要な仕事で自分がやらなければ大きな損害が出る④自分や第三者に身体上、精神上、経済上、重大な不利益が生じる―などの事情がある人は辞退できる（**辞退事由**）。裁判員は公判や評議で裁判官と同等の権限を持ち（法令解釈などは裁判官だけの権限）、証人尋問や被告人質問などもできる。評議の内容などには、守秘義務が課される。病気などによる裁判員の欠員に備えて「**補充裁判員**」も選任される。

裁判官・判事・判事補　裁判官は国家公務員の特別職で、憲法は「良心に従い、独立して職権を行う」と定めている。国会の弾劾裁判によらなければ罷免されず、意に反する停職や減給もなく、身分が保障されている。裁判官には①最高裁長官②最高裁判事③高裁長官④判事⑤判事補⑥簡裁判事―の6種類の官職がある。地裁の裁判は民事、刑事とも合議（通常は裁判官3人、裁判員裁判は原則裁判員6人、裁判官3人）と単独（裁判官1人）があり、記事は合議が「○○地裁（△△裁判長）」、単独は「○○地裁（□□裁判官）」。

自首・出頭・**首服**　自首は捜査機関が犯罪事実または犯人が誰であるかを知る前に、犯人が進んで捜査機関に自分の犯罪を申告し、その

処分を求めること。刑の減軽事由となる。他人を通じて申告した場合も有効だが、容疑者として特定され、手配されるなどした後に名乗り出ても「出頭」にとどまる。首服は自首とほぼ同じだが、申告相手が捜査機関ではなく、告訴権者（多くは被害者）。親告罪の場合には刑の減軽事由となる。

執行猶予・保護観察　刑の執行猶予は、判決で刑は言い渡すものの、情状により1～5年の一定期間は科さず、その期間が無事経過した場合、刑の言い渡しを失効させる制度。期間中に再び罪を犯すなどしたときは猶予を取り消し、刑を執行する。執行猶予を付けられる刑は3年以下の懲役・禁錮か50万円以下の罰金で、これまでに禁錮以上の刑に処せられたことがないか、あっても刑の執行終了後5年以上経過していることが条件。保護観察は罪を犯した人や非行少年・少女が社会の中で更生するよう、保護観察官や保護司が指導、監督する制度。保護司らは定期的に面談し、生活状況を聞きながら就職などの助言もする。

質問・尋問・供述・証言　刑事事件の被告には「質問（人定質問、被告人質問）」し、民事訴訟の当事者には「尋問（原告本人尋問など）」する。刑事、民事を問わず、証人は「尋問」。証人尋問では、その証人を申請した側が「主尋問」した後、相手方が「反対尋問」する。被告人質問への回答は「供述」、証人尋問で話した内容は「証言」。民事訴訟の当事者尋問は「…と述べた」などでいい。

釈放・保釈・仮釈放　勾留されていた容疑者が処分保留や不起訴処分などで拘束を解かれたときは釈放、起訴後に裁判所の許可を得て拘束を解かれたときは保釈。一方、懲役・禁錮の受刑者は改悛（かいしゅん）の情があり、有期刑は刑期の3分の1を、無期刑は10年をそれぞれ経過後、地方更生保護委員が許可すれば、刑期満了前に仮釈放される。残りの刑期（無期刑受刑者は死亡するまで）は保護観察となり、国の監督下に置かれる。

住民訴訟・住民監査請求　住民訴訟は地域の住民が個人の利益と関わりなく、地方自治体や職員の財務会計上の違法行為や不作為の是正

を求めて争う訴訟。違法支出などで生じた損害は結局のところ納税者の住民が負担するので、訴訟を起こす権利がある。訴訟は①違法支出などの差し止め請求②財務会計に関わる行政処分の取り消し・無効確認請求③財務会計上の違法確認請求④違法行為者の職員や、自治体に損失を与えた相手方などに損害賠償や不当利得返還を求めるよう首長などに求める訴え―の4種類ある。まず違法支出などから1年以内に住民監査請求（自治体の監査委員に財務会計上の違法・不当な行為などの防止・是正を求める手続き）し、その結果に不服がある場合に提訴する。

取得時効・消滅時効・除斥期間　民事の時効には、長期間にわたって他人の物を占有する人に権利（例えば所有権）を与える取得時効と、一定期間行使されない権利（例えば債権）を失わせる消滅時効の二つがある。占有や権利不行使など時効の基礎となる状態と相反する事実があると、時効は中断する。また時効の利益を受ける当事者が主張しなければ、裁判所は時効を根拠にした判決を言い渡せない。一方、除斥期間は法律が定めた権利の存続期間で、中断することなく、当事者の主張にかかわらず、期間が経過すると権利が消滅する点で消滅時効と異なる。

守秘義務・秘密漏示罪　公務員、医師、薬剤師、弁護士、宗教者などには、職務上・業務上知ることのできた秘密を漏らしてはならないという守秘義務が課されている。職を離れた後も同様の義務を負う。違反すると、秘密漏示罪に問われ、国家公務員は1年以下の懲役または50万円以下の罰金、医師や弁護士などは6月以下の懲役または10万円以下の罰金（罰則は守秘義務が規定されている法律によって異なる）。裁判員や裁判官も守秘義務を負うが、違反しても裁判官に罰則はない。裁判員（経験者）には6月以下の懲役または50万円以下の罰金が科される。

証拠・証拠能力　事実の有無を判断するための材料が証拠。証人や物証、書類（書証）などがあり、自白や目撃証言などの「直接証拠」と、例えば凶器に付着した指紋や被告が被害者を憎んでいたとする

関係者証言などの「間接（状況）証拠」に分けられる。証拠能力は法廷で証拠として採用し、調べることができる適格性。被告が有罪かどうかは、証拠能力のある証拠のみで判断しなければならない。憲法や刑事訴訟法は、強制された自白や反対尋問を経ていない供述には、原則として証拠能力を認めず、令状なしに押収された物証なども証拠から除外される。

証拠開示　訴訟当事者が手持ち証拠を見せ合うこと。従来の刑事訴訟法は検察側・弁護側が法廷で調べるよう請求した証拠だけ開示を定めていたが、公判前整理手続きを新設した改正で、弁護側は検察側に「類型証拠（被告や証人予定者の供述調書、取り調べ状況の記録など）」や弁護側の主張に関連する証拠（例えばアリバイを主張する場合の携帯通話記録の捜査報告書など）も開示請求できるようになった。検察側が開示に応じない場合、裁判所が裁定する。証拠開示が拡大される一方、被告や弁護人には、開示証拠を裁判やその準備以外に使用すると最高懲役1年の罰則を科す規定も定められた。日弁連や日本新聞協会は「被告の防御権を制約する」「取材制限につながる」と批判している。

上訴・控訴・上告　未確定の裁判に対して上級裁判所に再審査を求める訴えが上訴で、控訴、上告、抗告の3種類ある。控訴は一審判決を不服として、その取り消しや変更を上級裁判所に求める手続き。民事の簡裁判決に対する控訴は地裁に、地裁・家裁の判決に対する控訴は高裁に提起する。刑事は全て高裁に控訴する。民事の上告は控訴審判決に対する憲法違反や重大な手続き違反を理由とする上訴で、裁判所は一審が簡裁のときは高裁、地裁の場合は最高裁。上告理由はないが、判例に相反する判断や法令解釈に関する重要な事項があるとして、**上告受理申し立て**の手続きがある。刑事の上告は高裁判決に対し憲法違反、判例違反を理由に最高裁に申し立てる。

証人・参考人　証人は裁判所から、宣誓した上で経験した事実を述べるよう命じられた人。述べた内容が証言。正当な理由なく裁判所に行かなかったり、宣誓や証言を拒

んだりすると、過料や刑罰が科されることがある。虚偽を証言すると、偽証罪に問われる。衆参両院や地方議会も証人を喚問し、証言を求めることができる。一方、参考人は犯罪捜査のため、捜査機関から事情を聴取される容疑者以外の人で、例えば目撃者や被害者など。あくまで任意で、供述を強制されることはない。国会の委員会で意見を述べる人も参考人といい、陳述を拒むことができる。

心神喪失・心神耗弱　刑事責任を問うには、事件当時、やっていいことと悪いことを区別し、悪いことはしないと判断することが可能で、自分の行動に責任を負える精神状態になければならない。精神障害に支配され、こうした**刑事責任能力**がない状態のときは、心神喪失として罰しない。精神障害の影響は受けたが、病気と関係なく判断した部分があれば、責任能力を一部欠く心神耗弱とされ、刑が減軽される。責任能力は法律判断とされ、裁判所が精神鑑定結果などを基に①動機が理解可能か②違法性を認識していたか③行為の一貫性―などの点を検討して認定する。心神喪失、心神耗弱を理由に殺人などの重大事件で不起訴処分や無罪になったり、刑を減軽されたりした人は**心神喪失者等医療観察法**に基づき、地裁が審判で入院や通院を決定する。

政令・省令　国会で制定する法律に対し、政令は内閣が制定する命令。各省庁の大臣がその主任事務について法律や政令を施行するため、または法律や政令の委任に基づいて発する命令が省令。内閣府令も法律上は省令と同じ。

前科・前歴　前科は刑の言い渡しを受け、その裁判が確定したこと。罰金以上の刑を言い渡された人は裁判所と市区町村役場の犯罪人名簿に記載される。記事には原則として入れない。警察は検挙歴のことを前歴ということがあるが、これも記事には入れない。

捜査・捜索　容疑者を捜し出し、取り調べるとともに、証拠を収集して確保する活動を捜査という。刑事訴訟法は任意捜査を基本とし、強制捜査は法律に規定がある場合に限られ、原則として裁判所の令状に基づく。捜索は証拠を押収し

たり、容疑者を発見したりする目的で関係先に立ち入る強制捜査。

逮捕・送検　逮捕は容疑者を拘束する手続きで①通常逮捕②緊急逮捕③現行犯逮捕―の3種類ある。①は捜査機関が罪を犯した相当の理由があるとして、裁判所に令状（逮捕状）を請求し、発付を受けなければならない。②は法定刑が懲役・禁錮3年以上の罪を犯したと疑う十分な理由があり、直ちに拘束しなければならない場合、令状なしで逮捕し、直後に令状を請求する。③は現に犯罪を実行、終了した容疑者を取り押さえる場合、誰でも逮捕できるが、すぐ捜査機関に引き渡す。民間人が現行犯逮捕した場合、「○○が男を取り押さえ、△△署が強盗の疑いで現行犯逮捕した」などとする。送検は警察などが逮捕した容疑者や関係書類・証拠を検察官に送る手続き。逮捕した容疑者は48時間以内に送検しない限り、釈放しなければならない。

中間判決・部分判決　中間判決は民事訴訟の途中で、裁判所が審理を整理するため、特定の争点（原告適格や請求原因の有無など）について判断を示すもので、部分判決は同じ被告が複数の事件で起訴された裁判員裁判で、事件ごとに選任された裁判員と全事件共通の裁判官が有罪かどうかを決め、言い渡す。最後に審理する事件は「**全体判決**」と呼ばれ、有罪の部分判決が1件以上あれば、それらを踏まえ量刑を決める。

調停・仲裁　どちらも第三者（裁判所の調停委員会や仲裁人など）が仲介し、私人間の紛争解決を目指す裁判外の手続き。調停が成立すると、裁判上の和解と同一の効力が認められる。不動産賃借料の増減請求や離婚などは訴訟前に調停が義務付けられている。一方、仲裁の判断には確定判決と同一の効力があり、当事者を拘束する。

提訴・申し立て・申請　裁判所に民事・行政訴訟を起こすことを提訴という。仮処分など訴訟以外の裁判手続きでは申し立て。申請は行政庁に許認可などの行政行為・措置を求めることで、裁判手続きでは原則として使わないが、仮処分申し立ての記事の見出しなどには使うこともある。

取り調べ・事情聴取　捜査機関は事件について容疑者や参考人を取り調べ、供述を求める。容疑者や参考人には供述を拒む権利があり、逮捕・勾留中の容疑者以外は取り調べに応じなくてもいい。記事で「取り調べ」は原則として容疑者で、参考人は「事情聴取」。

破棄・取り消し・変更　刑事の控訴審は一審判決の当否を審査する「事後審」で、控訴に理由があると判断したときは一審判決を破棄する。一方、民事の控訴審は不服の当否について一審の資料に二審で提出された資料を加え、改めて再審査する「続審」なので、一審判決を取り消したり、変更したりする。上告審は法律問題の事後審なので、下級審の判決を否定するときは、刑事も民事も破棄。

罰金・科料・追徴金・過料　罰金は1万円以上、科料は千円以上1万円未満を支払わせる刑罰（懲役・禁錮・拘留の自由刑に対し、財産刑と呼ばれる）。追徴金は没収と同様、判決で刑と一体のものとして扱われるが、刑罰ではなく、付加的に強制する処分。犯罪で得た金品などを没収できない場合、その物に相当する価格の支払いを求める。過料は規律や義務に違反する行為などに対し、金銭を徴収する制裁で、刑罰ではない。

判決・決定・命令　裁判の結論はこの三つのいずれかで示される。判決は口頭弁論や証拠調べなどを経て、法廷で言い渡される。決定は刑事の保釈、証拠採否、民事の仮処分など手続きに関するものが多く必ずしも口頭弁論を経なくてもいい。郵送のケースが多く、当事者に送達された時点で決定の効力が発生する。命令は裁判長・裁判官による強制的な指示で、例えば退廷命令や弁論の制限など訴訟指揮に関わるものが多い。

評議・評決　合議の裁判の場合、非公開の評議で判決内容などを話し合い、原則として過半数の意見による評決で結論を出す。裁判員裁判の有罪や量刑は裁判官1人以上を含む過半数の意見で決まる。

弁護士・弁護人・訴訟代理人　弁護士の使命は基本的人権の擁護と社会正義の実現とされ、刑事事件で容疑者・被告の権利を守り、防御を助ける弁護人となる。法定刑が

死刑や無期、3年を超える懲役・禁錮の事件は弁護人が出廷しないと公判を開けない（**必要的弁護事件**）。民事訴訟では、当事者から委任され、訴訟代理人を務める。

容疑者・被告　捜査機関から罪を犯したのではないかと疑いをかけられている人が容疑者で、法律上は「被疑者」。容疑者が起訴されると、被告（法律上は「被告人」）となる。記事では原則として容疑者と被告を使う。また任意調べの段階は容疑者を使わない。容疑者と被告は有罪が確定するまで無罪と推定される。一方、民事訴訟で原告から訴えられた側は報道用語も法律上も被告。

略式起訴・微罪処分　略式起訴は「略式命令の請求」の通称で、検察官が簡裁に対し、公判を開かずに関係書類などの審査で刑を言い渡す簡易な刑事裁判手続き（**略式手続き**）を請求すること。検察官は関係書類のほか、証拠物や刑に関する意見書を提出する。罰金100万円以下の事件で、容疑者が同意した場合に限られる。簡裁は**略式命令**を出す。一方、微罪処分は検察官があらかじめ指定した軽微で訴追の必要のない事件について、警察で注意するなどして刑事手続きを終了させること。窃盗などで被害が少額にとどまっていること、前科がないことなどが基準で、微罪処分は定期的に検察官へ報告されている。

和解・示談　民事上の紛争で当事者が互いに譲歩し、争いをやめることを約束する契約を和解という。裁判所の勧告などによる「**裁判上の和解**」では、確定判決と同一の効力を持つ和解調書が作成される。示談は民事上の紛争を当事者の話し合いによって解決することで、互いに譲歩した内容ならば、事実上、裁判外の和解。

病名・身体諸器官の表記例

【注意点】

1　一般名詞と異なり、読み仮名を付けずに表記する病名、身体諸器官がある。

〔例〕広汎性発達障害　心筋梗塞　脳梗塞　頭蓋骨

2　平仮名書きする病名、身体諸器官がある。

〔例〕うつ病　おたふくかぜ　がん　けいれん　胆のう　てんかん　ぼうこう

3　人名に由来する病名の場合、「氏」は使わない。

〔例〕バセドー氏病 → バセドー病

4　表外字・表外音訓に読み仮名を付けている病名でも、定型死亡記事では読み仮名が必要な部分を平仮名書き（交ぜ書き）にする。☞死亡記事（519ページ）

〔例〕急性すい炎（通常は急性膵炎）

5　難病医療法に基づく指定難病を中心に「難病」と表記し、安易に拡大使用しない。同法は難病の要件を①原因不明②治療法がない③患者数が少ない④長期療養が必要―としている。

6　一般に使われる病名は「俗称」として示した。

7　記号の意味は次の通り。（無印は一般病名）

＊　厚生労働省指定難病

①　感染症法の1類感染症（危険性が高い。入院、消毒などの措置）

②　同2類感染症（1類に次いで危険性が高く入院、消毒など）

③　同3類感染症（特定業種の就業制限、消毒など）

④　同4類感染症（動物などを介し感染。消毒などの措置）

⑤　同5類感染症（発生状況の把握）

【病名】

1p36欠失症候群＊
22q11・2欠失症候群＊
4p欠失症候群＊
5p欠失症候群＊
ATRX症候群＊
A型肝炎④
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎⑤
Bウイルス病④
CFC症候群＊
E型肝炎④
HTLV1関連脊髄症＊
IgA腎症＊
IgG4関連疾患＊
PCDH19関連症候群＊
Q熱④
RSウイルス感染症⑤
TNF受容体関連周期性症候群＊
VATER症候群＊
α1アンチトリプシン欠乏症＊

【あ】

アイカルディ症候群＊
アイザックス症候群＊
亜急性硬化性全脳炎＊
悪性関節リウマチ＊
悪性黒色腫〔メラノーマのこと〕
悪性絨毛上皮腫
悪性腫瘍〔通常は「がん」と言い換える。脳だけは脳腫瘍〕
悪性肉芽腫
悪性リンパ腫
アジソン病＊
アスペルガー症候群
アッシャー症候群＊
アトピー性脊髄炎＊
アトピー性皮膚炎
アナフィラキシー〔―ショック〕
アニサキス症
アフタ性口内炎
アペール症候群＊
アミロイドーシス
アメーバ赤痢⑤
アラジール症候群＊
有馬症候群＊
アルコール依存症
アルツハイマー病、アルツハイマー型認知症
アルポート症候群＊
アレキサンダー病＊
アンジェルマン症候群＊
アントレー・ビクスラー症候群＊

【い】

胃がん
胃けいれん
移植片対宿主病(GVHD)
胃穿孔
イソ吉草酸血症＊
一次性ネフローゼ症候群＊
一次性膜性増殖性糸球体腎炎＊
一過性脳虚血
遺伝性ジストニア＊
遺伝性周期性四肢まひ＊
遺伝性膵炎＊
遺伝性鉄芽球性貧血＊
異物塞栓症
イレウス〔腸閉塞、腸捻転のこと〕
咽頭結膜熱⑤〔俗称 プール熱〕
インフルエンザ⑤

【う】

ウィーバー症候群＊
ウィリアムズ症候群＊
ウイルス性肝炎〔A型、E型除く〕⑤
ウィルソン病＊
ウエスト症候群＊
ウェルナー症候群＊
ウォルフラム症候群＊
うっ血性心不全
うつ病
ウルリッヒ病＊

【え】

エイズ⑤
エーラス・ダンロス症候群＊
エキノコックス症④
エコノミークラス症候群〔俗称。旅行者血栓症など。正式には静脈血栓塞栓症〕
壊疽
エプスタイン症候群＊
エプスタイン病＊
エボラ出血熱①
エマヌエル症候群＊
遠位型ミオパチー＊
円形脱毛症
嚥下障害

【お】

横隔膜ヘルニア
黄色靱帯骨化症＊
黄疸
黄熱④
黄斑ジストロフィー＊
オウム病④
横紋筋肉腫
大田原症候群＊
オクシピタル・ホーン症候群＊
オスラー病＊
オムスク出血熱④

【か】

カーニー複合＊
回帰熱④
外耳炎〔中耳炎など〕
疥癬
海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん＊
外反母趾
潰瘍性大腸炎＊
解離性大動脈瘤
化学物質過敏症
顎関節症
学習障害（LD）
拡張型心筋症
角膜炎
鵞口瘡〔別名 口腔カンジダ症〕
過呼吸症候群〔別名 過換気症候群〕
過食症
下垂体性ADH分泌異常症＊
下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症＊
下垂体性成長ホルモン分泌亢進症＊
下垂体性TSH分泌亢進症＊
下垂体性PRL分泌亢進症＊
下垂体前葉機能低下症＊
風邪
家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）＊
家族性地中海熱＊
家族性突然死症候群〔別名 QT延長症候群〕
家族性大腸ポリポーシス

家族性良性慢性天疱瘡＊
かっけ
化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群＊
過敏性腸症候群（IBS）
歌舞伎症候群＊
花粉症〔スギ―〕
鎌型赤血球貧血症
仮面うつ病
ガラクトース1リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症＊
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症⑤
加齢黄斑変性
川崎病
肝炎
肝外門脈閉塞症
肝型糖原病＊
ガングリオン
肝硬変
間質性ぼうこう炎＊
環状20番染色体症候群＊
がん性胸膜炎
肝性昏睡
眼精疲労
関節リウマチ
乾癬
肝線維症
感染性胃腸炎⑤
完全大血管転位症＊
肝臓がん
冠動脈硬化症〔脳動脈―、大動脈―〕
冠動脈塞栓症
冠動脈れん縮〔脳動脈―、大動脈―〕
かんとんヘルニア
肝内結石症
肝内胆管障害
肝膿瘍〔肺―〕
眼皮膚白皮症＊
肝不全
【き】
気管狭窄〔視野―〕
気管支炎〔―拡張症〕
偽性低アルドステロン症
偽性副甲状腺機能低下症＊
キャサヌル森林病④
ギャロウェイ・モワト症候群＊
急性冠症候群（ACS）
急性出血性結膜炎⑤
急性腎不全〔―心不全、―肝不全〕
急性膵炎〔―胃炎、―肝炎〕
急性脳炎⑤
球脊髄性筋萎縮症＊
急速進行性糸球体腎炎＊
狂犬病④
狭心症
強直性脊椎炎＊
強皮症
胸膜炎〔ろく膜炎としない〕
虚血性心疾患
巨細胞性動脈炎＊
拒食症
巨大静脈奇形＊
巨大動静脈奇形＊
巨大ぼうこう短小結腸腸管蠕動不全症＊
巨大リンパ管奇形＊
ギラン・バレー症候群
筋萎縮性側索硬化症（ALS）＊
筋型糖原病＊
筋ジストロフィー＊
筋無力症

【く】

クッシング病＊
くも膜下出血
クラミジア肺炎⑤
クリオピリン関連周期熱症候群＊
クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群＊
クリプトスポリジウム症⑤
クリミア・コンゴ出血熱①
クルーゾン症候群＊
グルコーストランスポーター1欠損症＊
グルココルチコイド抵抗症
グルタル酸血症1型〔—2型〕＊
クロイツフェルト・ヤコブ病(CJD)⑤
クロウ・深瀬症候群＊
クローン病＊
クロンカイト・カナダ症候群＊

【け】

頸肩腕症候群
頸椎捻挫〔むち打ち損傷とも。むち打ち症は使わない〕
軽度認知障害(MCI)
けいれん
けいれん重積型(二相性)急性脳症＊
劇症型溶血性レンサ球菌感染症⑤
劇症肝炎
結核②
結核性髄膜炎
血清肝炎
結節性硬化症＊
結節性多発動脈炎＊
血栓性血小板減少性紫斑病＊
血栓性静脈炎
結腸がん〔大腸—〕
結膜炎
血友病
限局性皮質異形成＊
けんしょう炎
原発性アルドステロン症
原発性高カイロミクロン血症＊
原発性硬化性胆管炎＊
原発性抗リン脂質抗体症候群＊
原発性側索硬化症＊
原発性胆汁性肝硬変＊
原発性免疫不全症候群＊
顕微鏡的多発血管炎＊

【こ】

高IgD症候群＊
硬化性萎縮性苔癬
高血圧症
膠原病
好酸球性筋膜炎
好酸球性消化管疾患＊
好酸球性多発血管炎性肉芽腫症＊
好酸球性副鼻腔炎＊
高脂血症
抗糸球体基底膜腎炎＊
後縦靱帯骨化症＊
甲状腺ホルモン不応症＊
拘束型心筋症＊
高チロシン血症1型〔—2型、—3型〕＊
後天性赤芽球癆＊
口内炎
更年期障害
広範脊柱管狭窄症＊
広汎性発達障害
硬膜下血腫

ゴーシェ病
股関節脱臼
コクシジオイデス症④
コケイン症候群＊
コステロ症候群＊
骨形成不全症＊
骨髄炎
骨髄線維症
骨粗しょう症
骨肉腫
コフィン・シリス症候群＊
コフィン・ローリー症候群＊
コレラ③
混合性結合組織病＊

【さ】

細菌性髄膜炎⑤
細菌性赤痢③
鰓耳腎症候群＊
再生不良性貧血＊
臍帯ヘルニア
再発性多発軟骨炎＊
座骨神経痛
左心低形成症候群＊
サルコイドーシス＊
サル痘④
三叉神経痛
産褥熱
三尖弁閉鎖症＊

【し】

ジアルジア症⑤
シェーグレン症候群＊
痔核〔外―、内―〕
耳下腺炎〔流行性はおたふくかぜ〕
ジカ熱④
色覚障害
色素性乾皮症＊
子宮筋腫
子宮頸がん〔―体がん〕
糸球体腎炎
子宮内膜症
自己貪食空胞性ミオパチー＊
自己免疫疾患
自己免疫性肝炎＊
自己免疫性出血病13＊
自己免疫性溶血性貧血＊
脂質異常症
歯周病
ジストニア
シトステロール血症＊
歯槽膿漏
シックハウス症候群
湿疹
歯肉炎〔歯周―、歯髄―〕
紫斑病性腎炎＊
ジフテリア②
自閉症
脂肪萎縮症＊
脂肪肝
若年性認知症
若年発症型両側性感音難聴＊
シャルコー・マリー・トゥース病＊
重症急性呼吸器症候群(SARS)②
重症筋無力症＊
重症熱性血小板減少症候群(SFTS)④
修正大血管転位症＊
シュワルツ・ヤンペル症候群＊
しょうこう熱
食道静脈瘤
徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症＊
自律神経失調症
心因性アレルギー
腎盂腎炎
腎炎

新型インフルエンザ
心筋梗塞
心筋症
神経芽細胞腫
神経細胞移動異常症＊
神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症＊
神経線維腫症＊
神経フェリチン症＊
神経有棘赤血球症＊
進行性核上性まひ＊
進行性骨化性線維異形成症＊
進行性多巣性白質脳症＊
心室細動
心室中隔欠損症〔心房―〕
心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症＊
心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症＊
侵襲性インフルエンザ菌感染症⑤
侵襲性髄膜炎菌感染症⑤
侵襲性肺炎球菌感染症⑤
滲出性中耳炎
腎症候性出血熱④
心身症
腎臓結石
心臓弁膜症
心的外傷後ストレス障害（PTSD）
振動障害〔白ろう病は使わない〕
じん肺、じん肺症
心房細動〔―粗動〕
じんましん

【す】

水痘⑤〔俗称 水ぼうそう〕
水疱〔俗称 水膨れ〕
髄膜炎〔脳膜炎としない〕
睡眠時無呼吸症候群（SAS）
睡眠障害
スタージ・ウェーバー症候群＊
スティーブンス・ジョンソン症候群＊
スミス・マギニス症候群＊
スモン〔亜急性脊髄視神経末梢神経障害の頭文字。スモン病としない〕

【せ】

生活習慣病〔成人病としない。高血圧、糖尿病など〕
性感染症（STD）
性器クラミジア感染症⑤
性器ヘルペスウイルス感染症⑤
脆弱X症候群＊
脆弱X症候群関連疾患＊
正常圧水頭症
成人スチル病＊
成人T細胞白血病（ATL）
成長ホルモン分泌不全性低身長症（GHD）〔下垂体性小人症は使わない〕
性同一性障害〔手術は性別適合手術。性転換手術としない〕
西部ウマ脳炎④
脊髄空洞症＊
脊髄小脳変性症＊
脊髄髄膜瘤＊
脊髄性筋萎縮症＊
脊椎すべり症〔―分離症〕
線維筋痛症
尖圭コンジローマ⑤
全身型若年性特発性関節炎＊
全身性アミロイドーシス＊
全身性エリテマトーデス＊

全身性強皮症＊
ぜんそく〔小児―、心臓―、気管支―〕
先端巨大症
先天性横隔膜ヘルニア＊
先天性核上性球まひ＊
先天性魚鱗癬＊
先天性魚鱗癬様紅皮症
先天性筋無力症候群＊
先天性腎性尿崩症＊
先天性赤血球形成異常性貧血＊
先天性大脳白質形成不全症＊
先天性風疹症候群⑤
先天性副腎低形成症＊
先天性副腎皮質酵素欠損症＊
先天性ミオパチー＊
先天性無痛無汗症＊
先天性葉酸吸収不全＊
前頭側頭型認知症
前頭側頭葉変性症＊
前立腺肥大

【そ】

早期ミオクロニー脳症＊
総胆管拡張症
総胆管結石症
総動脈幹遺残症＊
総排泄腔遺残＊
総排泄腔外反症＊
僧帽弁閉鎖不全症〔大動脈弁―〕
粟粒結核
側彎症
ソトス症候群＊

【た】

ダイアモンド・ブラックファン貧血＊
第14番染色体父親性ダイソミー症候群＊
帯状疱疹〔帯状ヘルペスも可〕
大腸憩室炎〔小腸―、食道―〕
大動脈瘤破裂
大脳皮質基底核変性症＊
ダウン症、ダウン症候群〔蔑古症は使わない〕
高安動脈炎＊
多系統萎縮症＊
多重人格
多臓器不全
タナトフォリック骨異形成症＊
ダニ媒介脳炎④
たばこ依存症
多発血管炎性肉芽腫症＊
多発神経炎
多発性硬化症／視神経脊髄炎＊
多発性骨髄腫
多発性嚢胞腎＊
多脾症候群＊
タンジール病＊
単心室症＊
弾性線維性仮性黄色腫＊
胆石症
炭疽④
胆道閉鎖症＊
胆のう炎

【ち】

チクングニア熱④
遅発性内リンパ水腫＊
チャージ症候群＊
注意欠陥多動性障害〔ADHD〕
中隔視神経形成異常症／ドモルシア症候群＊
虫垂炎〔俗称の盲腸炎としない〕

中東呼吸器症候群（MERS）②
中毒性表皮壊死症＊
中皮腫
腸炎ビブリオ
腸管出血性大腸菌感染症③
腸管神経節細胞僅少症＊
腸重積（症）
腸チフス③
腸捻転
腸閉塞

【つ】

椎間板ヘルニア
痛風
つつが虫病④〔ツツガムシが媒介〕

【て】

手足口病⑤
低身長症〔小人症は使わない〕
低ホスファターゼ症＊
適応障害
てんかん
デング熱④
伝染性紅斑⑤〔俗称 リンゴ病〕
天然痘①〔痘瘡のこと〕
天疱瘡＊

【と】

洞不全症候群
統合失調症〔精神分裂病は使わない〕
東部ウマ脳炎④
動脈硬化症
トウレット症候群
トキソプラズマ症
禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症＊
特発性拡張型心筋症＊
特発性間質性肺炎＊
特発性基底核石灰化症＊
特発性血小板減少性紫斑病＊
特発性血栓症
特発性後天性全身性無汗症＊
特発性大腿骨頭壊死症＊
特発性門脈圧亢進症＊
突発性難聴
突発性発疹⑤
ドライアイ〔―マウス〕
トラコーマ〔トラホームとしない〕
ドラベ症候群＊
鳥インフルエンザ（H5N1、H7N9）②
鳥インフルエンザ〔H5N1とH7N9を除く〕④
トリソミー

【な】

中條・西村症候群＊
那須・ハコラ病＊
ナルコレプシー〔俗称 居眠り病〕
軟骨無形成症＊
難治頻回部分発作重積型急性脳炎＊
南米出血熱①

【に】

肉芽腫
西ナイル熱④〔ウエストナイル熱のこと〕
日射病
ニパウイルス感染症④
二分脊椎症
日本紅斑熱④
日本脳炎④
乳腺炎

乳幼児肝巨大血管腫＊
乳幼児突然死症候群（SIDS）
乳幼児揺さぶられ症候群（SBS）
尿失禁
尿素サイクル異常症＊
尿毒症
尿崩症
認知症

【ぬ】

ヌーナン症候群＊

【ね】

熱射病
熱中症
ネフローゼ症候群

【の】

脳炎
膿胸
脳血管性認知症
脳血栓
脳腱黄色腫症＊
脳梗塞
脳挫傷
脳出血
脳腫瘍
脳症
脳塞栓
脳卒中
脳表ヘモジデリン沈着症＊
脳脊髄性乾癬＊
嚢胞性線維症＊

【は】

パーキンソン病＊
バージャー病＊
肺炎
肺気腫
敗血症
肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症＊
肺真菌症
肺水腫
肺性心
肺線維症
肺動脈性肺高血圧症＊
梅毒⑤
肺胞タンパク症＊
肺胞低換気症候群＊
白内障
麦粒腫〔俗称 ものもらい〕
はしか⑤〔別名 麻疹〕
播種性クリプトコックス症
播種性血管内凝固症候群⑤（DIC）
破傷風⑤
バセドー病
白血病〔急性〔慢性〕リンパ性〔骨髄性〕白血病〕
発疹
発疹チフス④
バッド・キアリ症候群＊
パニック障害
パラチフス③
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症⑤
バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）感染症⑤
ハンセン病〔らい病は使わない〕
ハンタウイルス肺症候群④
ハンチントン病＊

【ひ】

肥厚性皮膚骨膜症＊
非ジストロフィー性ミオトニー症候群＊
皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症＊

鼻疽④
肥大型心筋症＊
ビタミンD依存性くる病／骨軟化症＊
ビタミンD抵抗性くる病／骨軟化症＊
ビッカースタッフ脳幹脳炎＊
ピック病
非典型溶血性尿毒症症候群＊
非特異性多発性小腸潰瘍症＊
皮膚筋炎／多発性筋炎＊
飛蚊症
びまん性汎細気管支炎
肥満低換気症候群
百日ぜき⑤
瘭疽
表皮水疱症＊
日和見感染症
非淋菌性尿道炎
ヒルシュスプルング病＊
頻拍（別名 頻脈）

【ふ】

ファイファー症候群＊
ファロー四徴症＊
ファンコニ貧血＊
不安障害
フィッシャー症候群
風疹⑤
封入体筋炎＊
フェニルケトン尿症＊
不応性貧血（骨髄異形成症候群）
複合カルボキシラーゼ欠損症＊
副睾丸炎
副甲状腺機能低下症＊
副腎白質ジストロフィー＊
副腎皮質刺激ホルモン不応症＊
不整脈
ぶどう膜炎
ブラウ症候群＊
プラダー・ウィリ症候群＊
プリオン病＊
ブルセラ症④
プロピオン酸血症＊

【へ】

閉塞性細気管支炎＊
ベーチェット病＊
ペスト①
ベスレムミオパチー＊
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症⑤
ベネズエラウマ脳炎④
ベリー症候群＊
ペルオキシソーム病＊
ヘルパンギーナ⑤
ヘルペス
片頭痛
片側巨脳症＊
片側けいれん・片まひ・てんかん症候群＊
へんとう炎
ヘンドラウイルス感染症④

【ほ】

蜂窩織炎（別名 蜂巣織炎）
ぼうこう炎
房室ブロック
胞状奇胎
発作性夜間ヘモグロビン尿症＊
ポツリヌス症④
ポリオ（ポリオ（小児まひ）も可）②
ポルフィリン症＊
本態性高血圧（症）

【ま】

マールブルグ病①
マイコプラズマ肺炎⑤
マラリア④
マリネスコ・シェーグレン症候群＊
マルファン症候群＊
慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー＊
慢性血栓塞栓性肺高血圧症＊
慢性再発性多発性骨髄炎＊
慢性腎臓病（CKD）
慢性膵炎
慢性特発性偽性腸閉塞症＊
慢性疲労症候群（CFS）
慢性副鼻腔炎〔俗称 蓄膿症〕
慢性閉塞性肺疾患（COPD）

【み】

ミオクロニー欠神てんかん＊
ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん＊
未熟児網膜症
ミトコンドリア病＊

【む】

無菌性髄膜炎⑤
ムコ多糖症〔ライソゾーム病（蓄積病）の一種〕
虫歯
無症候性脳梗塞〔別名 微小脳梗塞〕
無脾症候群＊
無βリポタンパク血症＊

【め】

メープルシロップ尿症＊
メタボリック症候群〔メタボリックシンドロームとしない〕
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）感染症⑤
メチルマロン酸血症＊
メニエール病
メビウス症候群＊
メンケス病＊

【も】

網膜色素変性症＊
網膜剝離
燃え尽き症候群
もやもや病＊
モワット・ウィルソン症候群＊

【や】

薬剤耐性アシネトバクター感染症⑤
薬剤耐性緑膿菌感染症⑤
野兎病④
夜尿症
ヤング・シンプソン症候群＊

【ゆ】

遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん＊
幽門狭窄症
輸入感染症

【よ】

溶血性尿毒症症候群（HUS）
溶血性貧血

【ら】

ライソゾーム病＊
ライム病④
ラスムッセン脳炎＊
ラッサ熱①
ランゲルハンス細胞組織球症
ランドウ・クレフナー症候群＊

【り】

リウマチ性疾患
リジン尿性タンパク不耐症＊
リッサウイルス感染症④
リフトバレー熱④
流行性角結膜炎⑤
流行性耳下腺炎⑤〔別名 おたふくかぜ〕
両大血管右室起始症＊
緑内障
淋菌感染症⑤〔別名 淋病〕
リンパ管腫症／ゴーハム病＊
リンパ脈管筋腫症＊

【る】

類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む）＊
類皮腫④
ルビンシュタイン・テイビ症候群＊

【れ】

レーベル遺伝性視神経症＊
レジオネラ症④
レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症＊
レット症候群＊
レノックス・ガストー症候群＊
レビー小体型認知症
レプトスピラ症④

【ろ】

ロスムンド・トムソン症候群＊
肋間神経痛
ロッキー山紅斑熱④
肋骨異常を伴う先天性側彎症＊

微生物名

カンピロバクター菌
サルモネラ菌
腸炎ビブリオ菌
腸管出血性大腸菌O157（O26など）
肺炎球菌
バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）
ヒトパピローマウイルス（HPV）
ピロリ菌〔ヘリコバクターピロリと同じ〕
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）
緑膿菌

動物病名

牛海綿状脳症（BSE）
口蹄疫
スクレイピー（羊のプリオン病）

スポーツ障害、けが

アキレス腱断裂
インピンジメント症候群〔衝突症候群とも〕
回旋腱板損傷
鷲足炎
ぎっくり腰
頸椎損傷
肩甲下筋腱炎
股関節捻挫
骨膜炎
こむら返り
膝蓋靱帯炎〔別名 ジャンパー膝〕
舟状骨骨折
上腕二頭筋断裂
靱帯損傷
足底筋膜炎
脱臼
タナ障害〔膝関節滑膜ひだの障害〕
チャーリーホース〔大腿部前面の挫傷〕
テニス肘〔野球―、病名は上顆炎〕
内転筋損傷
肉離れ
捻挫
半月板損傷
疲労骨折
変形性膝関節症

【身体諸器官】

アキレス腱
咽喉
咽頭〔喉の後部〕
喉頭〔喉の前部。喉仏の部分〕
延髄
横隔膜
横紋筋
海馬〔大脳の一部分〕
下垂体
冠動脈
顔面神経
脛骨
頸椎
肩甲骨
交感神経〔副―〕
後頭葉〔前―、側―〕
硬膜
肛門
股関節〔膝―〕
臍帯
鎖骨
三叉神経
三尖弁
三半規管
視床下部
尺骨
硝子体＝しょうしたい
上腕骨
食道静脈〔―動脈〕
神経線維
腎臓
靱帯
水晶体
膵臓
髄膜
頭蓋骨
脊髄
脊椎
前立腺

総胆管
僧帽弁
大腿骨
大腿四頭筋
大脳皮質
大脳辺縁系
胎盤
胆のう
瞳孔
橈骨
頭頂骨
動脈管
内分泌腺
乳頭
脳幹
肺動脈
半月板
反射中枢
皮下脂肪
鼻腔〔びこう・びくう〕
腓骨

尾骨
脾臓
鼻中隔
泌尿器
副腎皮質
噴門
閉鎖動脈
へんとう
房室弁〔半月弁〕
末梢神経
迷走神経
毛細管〔毛細血管と毛細リンパ管がある〕
毛様体〔眼球〕
網様体〔脳幹〕
門脈
幽門
腰椎
ランゲルハンス島
リンパ節〔一球〕
涙腺

肋骨

主客転倒・由香

【三六〇】

主な建造物・山岳

【建造物】

霞が関ビル（高さ）147㍍　　（容積）約50万立方㍍
東京ドーム(建築面積)46,755平方㍍　(容積)約124万立方㍍
大阪・あべのハルカス（高さ）300㍍
横浜・ランドマークタワー（高さ）296㍍
国会議事堂（高さ＝中央塔）65㍍
東京スカイツリー（高さ）634㍍
東京タワー（高さ）333㍍
青函トンネル（総延長）53.85㌔㍍
東北新幹線・八甲田トンネル（全長）26.455㌔㍍
本州四国連絡橋・瀬戸大橋（総延長＝海峡部分）9.4㌔㍍
明石海峡大橋（２主塔間の長さ）1,991㍍
東大寺の大仏（高さ）14.9㍍

【山岳】〔注〕①②③は順位。☆は順不同

日本の主な山（標高：㍍）
①富士山（静岡、山梨)3,776　②北岳（山梨)3,193　③奥穂高岳（長野、岐阜)3,190　③間ノ岳（山梨、静岡)3,190　☆槍ケ岳（長野)3,180　☆大雪山（北海道)2,291　☆立山（富山)3,015　☆浅間山（群馬、長野)2,568　☆大山（鳥取)1,729　☆阿蘇山（熊本）1,592
世界の主な山（標高：㍍）
①エベレスト（中国、ネパール)8,848　②K2（カシミール地方)8,611　③カンチェンジュンガ（インド、ネパール)8,586　☆チョーオユー（中国、ネパール)8,201　☆ダウラギリ（ネパール)8,167　☆マナスル（ネパール)8,163　☆アンナプルナ（ネパール)8,091　☆モンブラン（フランス、イタリア)4,810　☆マッターホルン（イタリア、スイス)4,478　☆キリマンジャロ（タンザニア)5,895　☆デナリ（マッキンリー）（米アラスカ)6,190

で、実行に要する時間は命令によって異なるため、MIPSはその平均を示す。科学技術計算用以外のコンピューターの能力を表すのに使われる。

ラド　(rad) グレイを使う。

ルクス　(lx) 照度(明るさ)の単位。

レム　(rem) シーベルトを使う。

レントゲン　(R) クーロン毎キログラムを使う。

ロット　(lot) 工業製品の製造単位。同一原料、同一工程、同一時期に生産された製品を1ロットとする。

ワット　電力、工率(仕事率)の単位。1ボルトの電圧で1アンペアの電流によって毎秒消費される電力。

ワット時　エネルギーの単位の一種。1ワットの電力が1時間にする仕事を表す。1ワット時＝3600ジュール。

【通貨単位語などの表示】

(1) 各国の通貨呼称を文中で表示する場合、国名が片仮名のときは、国名と単位語の間に中点「・」を入れ、単位語もドル、フランと記入する。ただし国名・地域が漢字の場合は中点「・」を入れない。

〔例〕スイス・フラン　カナダ・ドル　香港ドル　豪ドル

(2) 通貨単位語を表示する場合、単位語は1字処理する。1字処理した単位語の前に国名が付くときは、国名・地域と単位語の間に中点「・」は入れない。

〔例〕23ドル　35ユーロ　125ポンド　130スイスフラン　87香港ドル
10ドル札　2千豪ドル

(3) 通貨単位およびその他の単位語で、記号にあるものは1字処理の形で書く。ただし、記号にないものは1字処理せず「リヤル」「チャット」のように記入する。

〔例〕30ブル　50クウェート・ディナール

(4) 単位語で数字の付かない場合は記号扱いしない。

〔例〕キロリットル当たり
トン当たり(1キロ当たり、1トン当たりはよい)

通常は100万回の演算を実行可能なことを示すMFLOPSが使われる。科学技術計算用コンピューターでは「浮動小数点数値」計算が中心となるため、MFLOPSによる表示が一般的。

ヘクトパスカル（hPa） 圧力の単位。気象関係では気圧表示にヘクトパスカルを使う。従来の単位のミリバールから変更された。1ヘクトパスカル＝1ミリバール、1013.25ヘクトパスカル＝1気圧。

ベクレル（Bq） 放射性物質の放射能の量を表す単位。1ベクレルは放射性原子核が1秒間に1個崩壊するときの放射能の強さ。従来使われていた1キュリーは370億ベクレル、1ベクレルは27ピコキュリー。

ヘルツ（Hz） 振動数および周波数の単位。キロヘルツ（kHz）。メガヘルツ（MHz）。人間の可聴音はおよそ50～2万ヘルツ。

ホン 音の大きさの単位。1997年9月末に法定計量単位から削除。1フォン＝1デシベル。

マイクロメートル（μm） 1ミリメートルの千分の1。1マイクロメートル＝1ミクロン（ミクロンは旧単位）。

マイル（Mまたはnm） ヤード・ポンド法による距離の単位。陸上では1マイル＝1609メートル、海上と航空関係では1マイル＝1852メートル。

MPH 速度の単位。マイル毎時。KPHはキロ毎時。

マグニチュード（M） 地震の規模の大きさを表す単位。

〔例〕マグニチュード（M）7、見出しや本文2度目からM7

〔地震の大きさによる分類〕

大地震＝M7以上
中地震＝M5以上7未満
小地震＝M3以上5未満
微小地震＝M1以上3未満
極微小地震＝M1未満

マッハ（Mまたはマッハ） 航空機やロケットなど高速飛行体の速度を音速との比率で表した数で、音速(海面で毎時1225キロ)を1とする。

ミクロン（μ） 1ミリメートルの千分の1。1997年9月末に法定計量単位から削除。1ミクロン＝1マイクロメートル。

ミップス（MIPS） コンピューターが1秒間に何回の命令を実行できるかという処理速度を表す単位。1MIPSは100万回の命令を実行可能。ここでいう命令とは基本命令（機械語）

半減期　放射性物質の持つ放射能の強さがもとの半分になるまでの時間。トリウム232のように141億年のものから100万分の1秒というものまである。

BOD　生物化学的酸素要求量。水の汚染度、特に有機物による汚濁の度合いを表す。水中の好気性微生物の増殖あるいは呼吸作用で消費される酸素量のことで、一般にセ氏20度で5日間に消費された溶存酸素のppmで表す。

ppm　比率、百万分率。

ppb　比率、十億分率。

ppt　比率、一兆分率。

ビット　(bit)　情報量を測る単位。コンピューターで扱う最小の単位で「オン」か「オフ」かの二つに一つの状態のいずれかを示すとき、その情報量は1ビットという。8ビットを1バイト (byte) という。アルファベットは1文字を1バイトで表せるが、文字数の多い日本語などは1文字につき2バイト必要となる。

bps　(bits per second)　1秒間に送れるビット数。

俵　米穀などを数える語。1俵は4斗 (72.156リットル)、現在は米、小麦1俵60キログラム。

秒　マイクロ秒 (μs)　100万分の1秒。
ナノ秒 (nsec)　10億分の1秒。
ピコ秒 (psec)　1兆分の1秒。

不快指数　(discomfort index, DI)　蒸し暑さを示す指数。日本人の統計では、不快指数74以下では不快を訴える人はまれだが75～77では半数が、85ではほとんどの人が不快を訴える。

ブッシェル　(bu)　ヤード・ポンド法の体積単位。1英ブッシェル＝36.37リットル。1米ブッシェル＝35.24リットル。米国で穀物の重量単位として使うことがある。穀物の種類によって異なり、小麦の場合1ブッシェルは27キログラム。

プルーフ　アルコールの含有量を表す単位。アメリカンプルーフはアルコール度 (容量パーセント) を2倍にして表す。ブリティッシュプルーフはアルコール度57.1度の蒸留酒を100プルーフとして表す。

フロップス　(FLOPS)　コンピューターが1秒間に何回の浮動小数点演算をすることができるかという処理速度を表す単位。

トン　(t) メートルトンのこと。1トンは千キログラム。

ショートトン　(tn) 米トン。1ショートトンは907キログラム。

ロングトン　(Ltn) 英トン。米国ではグロストン。1ロングトンは1016キログラム。

船舶のトン数

総トン　船の大きさを表す容積の単位。100立方フィートを1トンとする。国内で使われる総トンと国際総トンは計算方法が異なる。

純トン　総トンから機関室など客・貨を積めない部分を引いた容積の単位。100立方フィートを1トンとする。国内と国際で計算方法が異なる。

容積トン　重さの割にかさが張る貨物の運賃を計算するための容積の単位。1トンは40立方フィートの場合と、1立方メートルの場合がある。

排水トン（排水量）　船そのものの重さを表す。メートルトンを使う。軍艦でよく使われる。自衛隊が使う基準排水量と、外国で使われる満載排水量は計算方法が異なる。

載貨重量トン（単に重量トンとも）　燃料や食料を含め船に積める物の最大量を表す重さの単位。メートルトンを使うことが多いが、英トンの場合も。タンカーなどでよく使われる。

ニュートン　(N) 力の単位。質量1キログラムの物体に1メートル毎秒毎秒の加速度を生じさせる力が1ニュートン。

人キロ　(にんキロ) 旅客の輸送量を表す単位。20人が20キロメートル乗車すれば400人キロ。

人シーベルト　人数と放射線被ばく線量の積をシーベルト単位で表した集団被ばく線量の表示法。2万人が0.1ミリシーベルト、2千人が1シーベルトの放射線を浴びた場合、いずれも2千人シーベルトになる。

ノット　(KtまたはKn)　1ノットは毎時1カイリ（1852メートル）の速さ。

パーセク　(Pc)　天文学で使われる星の距離を表す単位。1パーセクは3.26光年、20万6千天文単位に等しい。

パーセント　(%)　比率、百分率。

パーミル　(‰)　比率、千分率。

パスカル　(Pa)　圧力の単位。1平方メートルの面積に1ニュートンの力が作用するときの圧力が1パスカルで、1ヘクトパスカルは100パスカル。

バレル　(barrel)　1バレルは石油で159リットル。

震度5強＝物につかまらないと歩けない。自動車の運転が困難となる。補強されていないブロック塀が崩れることがある。

震度6弱＝立っていることが困難。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものも。山間部で地割れや山崩れが起こる。

震度6強＝立っていることができず、はわないと動けない。耐震性の低い木造建物は倒れるものが多くなる。

震度7＝固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶことも。耐震性の高い木造建物、鉄筋コンクリートの建物もまれに傾くことがある。

水素イオン指数　（pH＝ピーエイチ）　酸性、アルカリ性の度合いを表すために一般的に使われる指数。中性が7で、0に近づくほど酸性度が強く、14に近づくほどアルカリ度が強い。

デシベル　（dB）　電力の比較や、音の強さなどを表す単位。騒音の場合、騒音計で測った音の大きさの単位で、旧単位のホンと同じ。1デシベル＝1ホン。

〔騒音レベルの目安〕

100デシベル＝電車が通るときのガード下
90デシベル＝騒々しい工場
80デシベル＝電車の中、普通の工場
70デシベル＝騒々しい事務所、静かな工場
60デシベル＝普通の会話、静かな乗用車
50デシベル＝静かな事務所
40デシベル＝図書館、深夜の市内
30デシベル＝放送局のスタジオ、深夜の郊外、ささやき声
20デシベル＝木の葉のそよぎ

テスラ　磁束密度の単位。1平方メートル当たり1ウェーバの磁束密度に等しい。1ウェーバは1回巻きのコイルに1秒間で1ボルトの起電力を生じさせる磁束。1テスラは1万ガウス。

電子ボルト　（eV）　エネルギーの大きさを示す単位。原子や素粒子の研究で使われる。MeV（メブ）は100万電子ボルト、GeV（ジェブ）は10億電子ボルト、TeV（テブ）は1兆電子ボルト。

天文単位　（AU）　天文学上の距離で、太陽と地球との平均距離をいい、約1億4960万キロメートル。

トロイ・ポンド　（lbt）　1トロイポンドは373.24グラム。

界温度の単位によく用いる。

光年　光が1年間に進む距離。約9兆4600億キロメートル。

石　玄米1石は150キログラム、小麦1石は136.875キログラム、木材1石は（1尺×1尺×10尺＝10立方尺）で0.2783立方メートル。

G　加速度の単位。大きな加速度を表す場合に使われる。地球の重力による加速度（9.80665メートル毎秒毎秒）を1Gとして、その倍数で加速度を表す。

COD　化学的酸素要求量。水中の有機物の汚染度を表す尺度の一つ。ppmで表す。

シーシー　（cc）　1立方デシメートルの略。千ccは1キロリットル。

シーベルト　（Sv）　放射線を浴びた場合、吸収線量が同じでも放射線の種類やエネルギーが違うと人体への影響が違う。この違いを考慮に入れた線量当量の単位。従来の単位のレムから変更され、1シーベルトは100レムに相当。

ジュール　（J）　仕事、熱量の単位。物体に1ニュートンの力を及ぼして1メートルだけ動かしたときの仕事が1ジュール。熱量でいうと4.186ジュールが1カロリー（cal）になる。

震度　地震で人間の受ける感覚や建物に与える被害の程度に応じて表した地震の強さの尺度。国際的には12段階の改正メルカリ震度階が使われるが、日本では気象庁が1996年に震度計の観測値を決定基準として定めた10段階の「気象庁震度階級」を使う。微震、軽震、烈震、激震など各震度の名称は廃止されたので使わない。ただし一般用語として使うことはできる。

〔各震度階級で起きる現象〕

震度0＝揺れを感じない。

震度1＝屋内で静止している一部の人がわずかに揺れを感じる。

震度2＝屋内で静止している人の大半が揺れを感じる。

震度3＝屋内にいるほとんどの人が揺れを感じる。棚の食器類が音を立てることがある。

震度4＝電線が大きく揺れ、かなり多くの人が驚く。眠っている人のほとんどが目を覚ます。

震度5弱＝大半の人が恐怖感を覚える。棚の食器類や本が落ちることがあり、固定していない家具が移動することがある。

トロイ、薬用オンスは31.103グラム。

カイリ　(nmまたはM)　1カイリ＝1852メートル。海上および航空関係の1ノットは1カイリと同じ。200カイリは約370.4キロメートル。

ガウス　磁束密度の単位。1ガウスは1万分の1テスラ。1997年9月末に法定計量単位から削除。テスラに統一。

カウント　(cpm)　放射線量を測定する際に使われる単位。普通毎分のカウント数で表す。〔例〕毎分50カウント

カラット　(宝石＝carまたはct、金＝KまたはKt)　宝石の質量としての1カラットは200ミリグラム、金の純度としては、純金を24K、18Kは24分の18。また1カラット以下のダイヤの重量を表すのにポイントを使う。1ポイントは100分の1カラット。48ポイントのダイヤは0.48カラット。

ガル　(Gal)　加速度の単位。1ガルは1センチメートル毎秒毎秒。地震動の強さを加速度の大きさで表す場合によく用いられる。

ガロン　(gal)　米ガロンは3.785リットル、英ガロンは4.546リットル。

カンデラ　(cd)　光源の光度の基本単位。

ギガワット　(GW)　10億ワット(100万キロワット)のこと。原発の設備容量などに使われるが、本社はキロワット(kW)を使う。

キュリー　(Ci)　ベクレルを使う。➡「ベクレル」の項

キロカロリー　(Kcal)　熱量の単位。1キログラムは1気圧のもとで純水千グラムの温度をセ氏14.5度から15.5度まで1度上げるのに要する熱量。1999年9月末に法定計量単位から削除(栄養関係では使う。1キログラムを表す大カロリーは使わない)。1キログラムは4186ジュール。

クーロン毎キログラム　(C／kg)　どのくらいの放射線が出ているかを表す照射線量の単位。エックス線とガンマ線に使う。照射線量は放射線が空気を電離して電気を帯びさせる強さで、1クーロン／キログラムは、空気1キログラム中に1クーロンの電気を帯びさせる線量。従来の単位のレントゲンから変更された。1クーロン／キログラムは3876レントゲンに相当。

グレイ　(Gy)　放射線に照射された物質(例えば体の組織)が吸収したエネルギーの量を表す吸収線量の単位。1グレイは物質1キログラムに1ジュールのエネルギーを与える線量。従来の単位のラドから変更され、1グレイは100ラドに相当。

ケルビン　(K)　絶対温度の単位。0Kはセ氏零下273.15度に当たり、これより低い温度は存在しない。高温超電導物質の臨

主な計量単位と種類

【単位の接頭語】（かっこ内は記号）

エクサ（E）100京倍　**ペタ**（P）1千兆倍　**テラ**（T）1兆倍　**ギガ**（G）10億倍　**メガ**（M）100万倍　**キロ**（k）千倍　**ヘクト**（h）100倍　**デカ**（da）10倍　**デシ**（d）10分の1　**センチ**（c）100分の1　**ミリ**（m）千分の1　**マイクロ**（μ）100万分の1　**ナノ**（n）10億分の1　**ピコ**（p）1兆分の1　**フェムト**（f）1千兆分の1　**アト**（a）100京分の1

【計量単位】（かっこ内は記号）

アール　（a）メートル法による単位。100平方㍍。

アイユー　（I.U.）ビタミン、ホルモンの効力を表す国際単位。ビタミンAに使われる場合が多い。ビタミンB、Cなどはミリグラム。

アンペア　（A）電流の大きさの単位。

エーカー　（ac）ヤード・ポンド法の単位。40.469㌃。

液量オンス　（floz）1米液量㌔は29.57㍉㍑、1英液量㌔は28.41㍉㍑。

LD50　半数致死量のこと。薬剤の毒性、致死量を表す単位。被験動物（マウス、ラット、ウサギ、モルモット）の50%を殺す薬剤の量を、被験動物の体重1㌔㌘当たりの薬剤のミリグラム数で表す。数値が大きいほど毒性は低く、薬剤の与え方（経口、経皮）によって異なる。経口で劇薬は300㍉㌘／㌔㌘以下、毒薬は30㍉㌘／㌔㌘以下。

オーム　（Ω）電気抵抗の単位。1㌾の電圧で1㍄の電流が流れるときの抵抗が1オーム。

オングストローム　（Å）1㍍の100億分の1。原子や分子の大きさや光の波長などを表す単位。

オンス　（oz）ヤード・ポンド法による質量単位。常用オンス、貴金属や宝石に用いられるトロイオンス、薬品の計量に使われる薬用オンスの3種類がある。常用オンスは28.349㌘、

【重さ】

1オンス＝28.3495グラム（1グラム＝0.03527オンス）
1ポンド＝0.45359キログラム（1キログラム＝2.20462ポンド）
1斤＝600グラム（1グラム＝0.0016斤）
1匁＝3.75グラム（1グラム＝0.26667匁）
1貫＝3.75キログラム（1キログラム＝0.26667貫）
1石（玄米）＝150キログラム（1キログラム＝0.0066石）
1石（小麦）＝136.875キログラム（1キログラム＝0.0073石）

1トン＝1000キログラム　　1メガトン＝100万トン
1ポンド＝16オンス　　1斤＝160匁
1貫＝1000匁　　1匁＝10分＝100厘

【体積】

1升＝1.80386リットル（1リットル＝0.55437升）
1ガロン＝3.78541リットル（1リットル＝0.26417ガロン）
1バレル＝158.987リットル（1リットル＝0.0063バレル）
1バレル＝42.0044ガロン（1ガロン＝0.0238バレル）

1リットル＝10デシリットル
　　＝1000立方センチメートル
1cc＝1立方センチメートル
1升＝10合＝100勺　1斗＝10升　1石＝10斗＝100升

【温度】

カ氏(F)→セ氏(C)　　セ氏(C)→カ氏(F)

$C=\frac{5}{9}(F-32)$　　$F=\frac{9}{5}C+32$

32°F＝0°C　　90°F＝32.2°C
100°F＝37.8°C　　212°F＝100°C

計量単位換算表

【長さ】

1インチ＝2.54センチメートル（1センチメートル＝0.3937インチ）
1フィート＝0.3048メートル（1メートル＝3.28084フィート）
1ヤード＝0.9144メートル（1メートル＝1.09361ヤード）
1マイル＝1.60934キロメートル（1キロメートル＝0.621371マイル）
1分＝3.03ミリメートル（1ミリメートル＝0.33分）
1寸＝3.03センチメートル（1センチメートル＝0.33寸）
1尺＝0.303メートル（1メートル＝3.30尺）
1丈＝3.03メートル（1メートル＝0.33丈）
1間＝1.81818メートル（1メートル＝0.550間）
1町＝109.091メートル（1メートル＝0.0091町）
1里＝3.9273キロメートル（1キロメートル＝0.2546里）
1カイリ＝1.8520キロメートル（1キロメートル＝0.539957カイリ）

1ヤード＝3フィート	1ヤード＝36インチ
1マイル＝1760ヤード	1尺＝10寸＝100分
1丈＝10尺　1間＝6尺　1町＝60間　1里＝36町	

【面積】

1エーカー＝40.469アール（1アール＝0.0247エーカー）
1平方フィート＝0.0929平方メートル
（1平方メートル＝10.7639平方フィート）
1坪＝3.30579平方メートル（1平方メートル＝0.3025坪）
1畝＝0.99174アール（1アール＝1.00833畝）
1町＝0.99174ヘクタール（1ヘクタール＝1.00833町）

1アール＝100平方メートル	1反＝300歩(坪)
1ヘクタール＝100アール	1町＝10反

ロワット時で表す。

(7)**流量**（一定時間に一定箇所を流れる水の量） 立方メートル毎秒、立方メートル毎分、立方メートル毎時（以上容積単位）、キログラム毎秒、トン毎時（以上重量単位）

(8)**光度**（光源の明るさ） カンデラ

(9)**照度**（光を受けている面の明るさ） ルクス

(10)**周波数** メガヘルツ、キロヘルツ、ヘルツ（メガサイクル、キロサイクル、サイクル＝ヘルツに統一）

(11)**騒音** デシベル

(12)**宝石** カラット

(13)**真珠** 匁 1匁は3.75g

(14)**電流** アンペア

(15)**放射能** ベクレル

(16)**線量当量** シーベルト

(17)**照射線量** クーロン毎キログラム

(18)**吸収線量** グレイ

(19)**繊度** デニール

6. 温度のカ氏はセ氏に直す。特殊な場合のほかは「C、F」の記号は使用しない。

7. ローマ字略号
特に必要な場合は一般に使われているローマ字略号（m、cm、km、g、kg、cc、W、kW）を使ってもよい。

(4)船の速度、航行距離、領海などに使うノット、カイリはそのまま使う。海上距離はキロメートルで表記する。

〔例〕領海12カイリ　200カイリの経済水域　犬吠埼東方100キロの海上

〔注〕時速20トンの「時速」は重複。

(5)航空機の運航関係はメートル法で表記する。ただし必要な場合はもとの単位を併記する。

(6)メートル法によらない数値そのものが、重大なニュース要素である場合は、そのまま使用する。ただし必要に応じてメートル法による数値を併記する。

〔注〕メートル法による表記だけでは理解されにくいと思われる特別の記事は、メートル法以外の計量単位を併記してもよい。

4. メートル法による表記は、原則として単一の単位を使う。

〔例〕1.72メートル、1メートル72、172センチ(メートル)（×1メートル72センチ）

1.5キロメートル、1500メートル（×1キロ500メートル）

6.5キロ(グラム)、6キロ500、6500グラム（×6キロ500グラム）

〔注〕人の身長・体重は172センチ、67.5キロ、乳児は3200グラムとする。

紛らわしくない場合は、かっこ内のメートルやグラムなどを省く。

〔例〕体重60キロ　時速270キロ

5. 主に使う単位

(1)**長さ**　キロメートル、メートル、センチメートル、ミリメートル、マイクロメートル、オングストローム、カイリ

(2)**速さ**　時速50キロ、キロメートル毎時、メートル毎秒、キロメートル毎秒、ノット

(3)**重さ**　トン、キログラム、グラム、ミリグラム、カラット

(4)**容・体積**　キロリットル、リットル、ミリリットル、立方メートル、立方センチメートル、立方ミリメートル、容積トン

(5)**面積**　平方キロメートル、平方メートル、平方センチメートル、平方ミリメートル、ヘクタール、アール

(6)**工率（仕事率）**　キロワット、ワット、馬力。1馬力は、国により違い746ワットは英馬力。日本で認められている仏馬力は735.5ワット。

〔注〕発電所の設備容量はキロワット（kW）で、電力の生産実績はキ

計量単位の使い方

メートル法表記の基準

1. 国際的にメートル法を再統一した国際単位系（ＳＩ）の採用が進む中、日本も1993年11月１日から新計量法を施行、ＳＩに統一する方向を打ち出した。非ＳＩ単位については、カイリやカラットのように用途を限定して使用を認めるものと、一定の猶予期間の後、法定計量単位から削除したものがある。計量法は取引・証明に際して法定計量単位の使用を義務付けている。記事ではなるべく法定計量単位を使うが、必要に応じそれ以外の単位も活用する。

〔注〕長さ、質量、時間の単位に、アンペア（電流）、ケルビン（熱力学温度）、モル（物質量）、カンデラ（光度）を加えた七つを基本単位とし、これから組み立てた単位系を国際単位系という。

2. 放射能や放射線の単位はベクレル（キュリー）、グレイ（ラド）、シーベルト（レム）、クーロン毎キログラム（レントゲン）に原則として統一するが、換算が難しい場合は旧単位も使う。

〔注〕（ ）は従来使われていた単位。

3. 計量単位はメートル法を使う。ただし次のようなものは例外とする。

（1）ことわざ、史実、慣用句、成句に使う場合。

〔例〕一寸の虫にも五分の魂　五十歩百歩　白髪三千丈　加賀百万石　土一升金一升　千里眼（「50歩100歩」などとしない）

（2）陸上競技の種目名、ゴルフ、アメリカンフットボールの距離表示など。

〔例〕100㍍・1㌔・10㌔レース　500㍎のロングホール　75㍎の独走

〔注〕ただし経過記事などはできるだけメートル法で表記する。

（3）メートル法以外の計量単位による輸出入貨物も、原則としてメートル法に換算表記する。そのまま使う場合はメートル法を丸かっこで併記する。

世界のメディア

【通信社】
AAP通信＝オーストラリア
ANSA通信＝イタリア
AP通信＝米
DPA通信＝ドイツ
PA通信＝英
PTI通信＝インド
UPI通信＝米
インタファクス通信＝ロシア
ゲッティ＝米
新華社＝中国
〔注〕正式名称は新華通訊社
スペイン通信（EFE）
ダウ・ジョーンズ通信（DJ）＝米
タス通信＝ロシア
中央通信社＝台湾
中国新聞社
中東通信（MENA）＝エジプト
朝鮮中央通信＝北朝鮮
フランス通信（AFP）
ベトナム通信（VNA）
ベルナマ通信＝マレーシア
聯合ニュース＝韓国
ロイター通信＝英
ロシア通信

【新　聞】
USAトゥデー＝米
アルアハラム＝エジプト
インディペンデント＝英
ウェルト＝ドイツ
ウォールストリート・ジャーナル＝米
ガーディアン＝英
環球時報＝中国
コメルサント＝ロシア
コンパス＝インドネシア
人民日報＝中国
ストレーツ・タイムズ＝シンガポール
タイムズ＝英
チャイナ・デーリー＝中国
朝鮮日報＝韓国
東亜日報＝韓国
ニューヨーク・タイムズ＝米
フィガロ＝フランス
フィナンシャル・タイムズ＝英
フランクフルター・アルゲマイネ＝ドイツ
ルモンド＝フランス
労働新聞＝北朝鮮
ワシントン・ポスト＝米

【テレビ・ラジオ】
ABCテレビ＝米
BBC放送＝英
CBSテレビ＝米
CNNテレビ＝米
NBCテレビ＝米
アルジャジーラ＝カタール
（国営中国）中央テレビ
フランス公共ラジオ

International Development

USTR 米通商代表部 (Office of) the United States Trade Representative

USW 全米鉄鋼労働組合 United Steelworkers (of America)

UV 紫外線 Ultraviolet Rays

VDT 画像表示装置 Video(またはVisual)Display Terminal

***VHF** 超短波 Very High Frequency

VTOL 垂直離着陸機 Vertical Takeoff and Landing Aircraft

WADA 世界反ドーピング機関 World Anti-Doping Agency

WAN-IFRA 世界新聞・ニュース発行者協会 World Association of Newspapers and News Publishers

WBA 世界ボクシング協会 World Boxing Association

WBC 世界ボクシング評議会 World Boxing Council

WBO 世界ボクシング機構 World Boxing Organization

WFP 世界食糧計画(国連) World Food Programme

WHO 世界保健機関(国連) World Health Organization

***Wi-Fi** ワイファイ Wireless Fidelity

〔注〕無線LANの規格で商標。

WIPO 世界知的所有権機関(国連) World Intellectual Property Organization

WMO 世界気象機関(国連) World Meteorological Organization

WTA 女子テニス協会 Women's Tennis Association

WTO 世界貿易機関 World Trade Organization

WWF 世界自然保護基金 World Wide Fund for Nature

YMCA キリスト教青年会 Young Men's Christian Association

YWCA キリスト教女子青年会 Young Women's Christian Association

Strategic Arms Reduction Treaty

STOL 短距離離着陸機
Short Takeoff and Landing Aircraft

SUV スポーツタイプ多目的車 Sport Utility Vehicle

TCAS (航空機)衝突防止装置
Traffic alert and Collision Avoidance System

TFT 薄膜トランジスタ Thin Film Transistor

THAAD 高高度防衛ミサイル
Terminal High Altitude Area Defense

TMD 戦域ミサイル防衛 Theater Missile Defense

TOB 株式公開買い付け Takeover Bid

TOPIX 東証株価指数 Tokyo Stock Price Index

TPP 環太平洋連携協定 Trans-Pacific Partnership

UAW 全米自動車労働組合 United Auto Workers

UEFA 欧州サッカー連盟 Union des Associations Européennes de Football

UFO 未確認飛行物体 Unidentified Flying Object

***UHF** 極超短波 Ultra High Frequency

UNCTAD 国連貿易開発会議 United Nations Conference on Trade and Development

UNDOF 国連兵力引き離し監視軍 United Nations Disengagement Observer Force

UNDP 国連開発計画
United Nations Development Programme

UNEP 国連環境計画
United Nations Environment Programme

UNFPA 国連人口基金 United Nations Population Fund

UNHCR 国連難民高等弁務官事務所 Office of the United Nations High Commissioner for Refugees

UNIDO 国連工業開発機関 United Nations Industrial Development Organization

UNTAC (旧)国連カンボジア暫定統治機構 United Nations Transitional Authority in Cambodia

UPU 万国郵便連合(国連) Universal Postal Union

UR 都市再生機構 Urban Renaissance Agency

USAID 米国際開発局 United States Agency for

PWR	加圧水型軽水炉 Pressurized Water Reactor
*QC	品質管理 Quality Control
*RAM	随時書き込み可能なメモリー Random Access Memory
RCEP	東アジア地域包括的経済連携 Regional Comprehensive Economic Partnership
ROE	株主資本利益率 Return on Equity
*ROM	読み出し専用メモリー Read Only Memory
*RV	多目的レジャー車 Recreational Vehicle
SAARC	南アジア地域協力連合 South Asian Association for Regional Cooperation
SALT	戦略兵器制限条約 Strategic Arms Limitation Treaty
SAM	地対空ミサイル Surface-to-Air Missile
SAS	特殊空挺部隊(英国) Special Air Service
SDI	戦略防衛構想 Strategic Defense Initiative
SDR	特別引き出し権(IMF) Special Drawing Rights
SE	システムエンジニア Systems Engineer
SEC	証券取引委員会(米国) Securities and Exchange Commission
SIPRI	ストックホルム国際平和研究所 Stockholm International Peace Research Institute
SLBM	潜水艦発射弾道ミサイル Submarine-Launched Ballistic Missile
SLCM	海洋発射巡航ミサイル Sea-Launched Cruise Missile
SNF	短距離核戦力 Short-range Nuclear Force
SNS	会員制交流サイト Social Networking Site
SOx	硫黄酸化物 Sulfur Oxides
SRAM	記憶保持動作が不要な随時書き込み読み出しメモリー Static Random Access Memory
SS	浮遊物質 Suspended Solids
SSBN	弾道ミサイル搭載原子力潜水艦 Ballistic Missile Submarine Nuclear-Powered
SST	超音速旅客機 Supersonic Transport
START	戦略兵器削減条約

Cooperation and Development

OEM 相手先ブランドによる生産
Original Equipment Manufacturing

OIC イスラム協力機構
Organization of Islamic Cooperation

OPEC 石油輸出国機構 Organization of the Petroleum Exporting Countries

OS 基本ソフト Operating System

OSCE 欧州安保協力機構 Organization for Security and Cooperation in Europe

PB プライベートブランド Private Brand

PCB ポリ塩化ビフェニール Polychlorinated Biphenyl

PER 株価収益率 Price Earnings Ratio

PFI 民間資金活用による社会資本整備
Private Finance Initiative

PFLP パレスチナ解放人民戦線
Popular Front for the Liberation of Palestine

PFLP・GC パレスチナ解放人民戦線総司令部派
Popular Front for the Liberation of Palestine-General Command

PFP 平和のためのパートナーシップ
Partnership for Peace

PGA 米プロゴルフ協会 Professional Golfers' Association (of America)

＊PHS 簡易型携帯電話 Personal Handyphone System

PIF 太平洋諸島フォーラム Pacific Islands Forum

PKF 国連平和維持軍 Peace-Keeping Forces

PKO 国連平和維持活動 Peace-Keeping Operations

PL(法) 製造物責任(法) Product Liability

PLO パレスチナ解放機構
Palestine Liberation Organization

PM 粒子状物質 Particulate Matter

PNC パレスチナ民族評議会
Palestine National Council

POS 販売時点情報管理 Point of Sale

PPP 汚染者負担の原則 Polluter Pays Principle

NIOC 国営イラン石油公社
National Iranian Oil Company
NLP 夜間離着陸訓練 Night Landing Practice
NMD 米本土ミサイル防衛 National Missile Defense
NOAA 海洋大気局(米国) National Oceanic and Atmospheric Administration
NOC 国内オリンピック委員会
National Olympic Committee
NORAD 北米航空宇宙防衛司令部 North American Aerospace Defense Command
NOx 窒素酸化物 Nitrogen Oxides
*NPO 民間非営利団体 Non-profit Organization
NPT 核拡散防止条約 Treaty on the Non-Proliferation of Nuclear Weapons
NRA 全米ライフル協会 National Rifle Association
NRC 原子力規制委員会(米国)
Nuclear Regulatory Commission
NSA 国家安全保障局(米国) National Security Agency
NSC 国家安全保障会議(米国)
National Security Council
NYMEX ニューヨーク・マーカンタイル取引所(米国)
New York Mercantile Exchange
NYSE ニューヨーク証券取引所(米国)
New York Stock Exchange
*OA オフィスオートメーション Office Automation
OANA アジア太平洋通信社機構
Organization of Asia-Pacific News Agencies
OAPEC アラブ石油輸出国機構 Organization of Arab Petroleum Exporting Countries
OAS 米州機構 Organization of American States
OCA アジア・オリンピック評議会
Olympic Council of Asia
OCR 光学式文字読み取り装置
Optical Character Reader
ODA 政府開発援助 Official Development Assistance
OECD 経済協力開発機構 Organisation for Economic

LSI 高密度集積回路 Large-Scale Integration
M&A 企業の合併・買収 Mergers and Acquisitions
***MD** ミニディスク Mini Disc
MD ミサイル防衛 Missile Defense
MIRV 複数目標弾頭 Multiple Independently-targetable Reentry Vehicle
MO 光磁気ディスク Magneto-optical Disk
MOX燃料 混合酸化物(MOX)燃料 Mixed Oxide Fuel
MPU 超小型演算処理装置 Micro Processing Unit
MRI 磁気共鳴画像装置 Magnetic Resonance Imaging
MVNO 仮想移動体通信事業者
Mobile Virtual Network Operator
NAACP 全米黒人地位向上協会 National Association for the Advancement of Colored People
NAFTA 北米自由貿易協定
North American Free Trade Agreement
NASA 航空宇宙局(米国) National Aeronautics and Space Administration
NASD 全米証券業協会
National Association of Securities Dealers
NATO 北大西洋条約機構
North Atlantic Treaty Organization
NBC(兵器) 核・生物・化学(兵器)
Nuclear, Biological, Chemical (Weapons)
NC 数値制御 Numerical Control
NEA OECD原子力機関
OECD Nuclear Energy Agency
NEDO 新エネルギー・産業技術総合開発機構
New Energy and Industrial Technology Development Organization
NGO 非政府組織 Non-Governmental Organization
NICU 新生児集中治療室 Neonatal Intensive Care Unit
NIES 新興工業国・地域
Newly Industrializing Economies
NIH 国立衛生研究所(米国)
National Institutes of Health

JC　青年会議所　Junior Chamber
JFL　日本フットボールリーグ　Japan Football League
JICA　国際協力機構
Japan International Cooperation Agency
*JIS　日本工業規格　Japanese Industrial Standards
JOC　日本オリンピック委員会
Japanese Olympic Committee
JPC　日本パラリンピック委員会
Japan Paralympic Committee
JRA　日本中央競馬会　Japan Racing Association
JSAA　日本スポーツ仲裁機構
Japan Sports Arbitration Agency
JT　日本たばこ産業　Japan Tobacco Inc.
KEDO　朝鮮半島エネルギー開発機構　Korean Peninsula Energy Development Organization
KGB　(旧)国家保安委員会(旧ソ連)
Komitet Gosudarstvennoi Bezopasnosti
KKK　クー・クラックス・クラン(米白人優越主義秘密結社)
Ku Klux Klan
*LAN　構内情報通信網　Local Area Network
〔注〕企業内情報通信網も使える。
LBO　レバレッジド・バイアウト　Leveraged Buyout
〔注〕買収先の将来収益などを担保に調達した資金での買収。
LCC　格安航空会社　Low-cost Carrier
LDC　後発発展途上国　Least Developed Country
LED　発光ダイオード　Light-Emitting Diode
LIBOR　ロンドン銀行間取引金利
London Interbank Offered Rate
LME　ロンドン金属取引所　London Metal Exchange
LNG　液化天然ガス　Liquefied Natural Gas
LPG　液化石油ガス　Liquefied Petroleum Gas
LPGA　日本女子プロゴルフ協会　Ladies Professional Golfers' Association of Japan
LPGA　米女子プロゴルフ協会
(US) Ladies Professional Golf Association
LRT　次世代型路面電車　Light Rail Transit

IS 「イスラム国」 Islamic State
ISAF 国際治安支援部隊
International Security Assistance Force
ISDN 総合デジタル通信網
Integrated Services Digital Network
ISDS (投資家と国家の)紛争解決手続き
Investor-State Dispute Settlement
ISO 国際標準化機構
International Organization for Standardization
ISU 国際スケート連盟 International Skating Union
***IT** 情報技術 Information Technology
ITC 国際貿易委員会(米国)
International Trade Commission
ITER 国際熱核融合実験炉 International Thermonuclear Experimental Reactor
ITS 高度道路交通システム
Intelligent Transport Systems
ITTF 国際卓球連盟
International Table Tennis Federation
ITU 国際電気通信連合(国連)
International Telecommunication Union
ITUC 国際労働組合総連合
International Trade Union Confederation
IUCN 国際自然保護連合
International Union for Conservation of Nature and Natural Resources
IWC 国際捕鯨委員会
International Whaling Commission
JADA 日本アンチ・ドーピング機構
Japan Anti-Doping Agency
JAF 日本自動車連盟 Japan Automobile Federation
JAS 日本農林規格 Japanese Agricultural Standard
JASRAC 日本音楽著作権協会 Japanese Society for Rights of Authors, Composers and Publishers
JAXA 宇宙航空研究開発機構
Japan Aerospace Exploration Agency

IFC	国際金融公社 International Finance Corporation
IFJ	国際ジャーナリスト連盟 International Federation of Journalists
IFRC	国際赤十字・赤新月社連盟 International Federation of Red Cross and Red Crescent Societies
IJF	国際柔道連盟 International Judo Federation
ILO	国際労働機関(国連) International Labour Organization
ILS	計器着陸装置 Instrument Landing System
IMF	国際通貨基金(国連) International Monetary Fund
IMO	国際海事機関(国連) International Maritime Organization
INF	中距離核戦力 Intermediate-Range Nuclear Force
INS	慣性航法装置 Inertial Navigation System
IOC	国際オリンピック委員会 International Olympic Committee
IOM	国際移住機関 International Organization for Migration
IPC	国際パラリンピック委員会 International Paralympic Committee
IPCC	気候変動に関する政府間パネル Intergovernmental Panel on Climate Change
IPI	国際新聞編集者協会 International Press Institute
IPPF	国際家族計画連盟 International Planned Parenthood Federation
IPPNW	核戦争防止国際医師会議 International Physicians for the Prevention of Nuclear War
IPU	列国議会同盟 Inter-Parliamentary Union
IQ	知能指数 Intelligence Quotient
IR	投資家向け情報提供 Investor Relations
IRA	アイルランド共和軍 Irish Republican Army
IRBM	中距離弾道ミサイル Intermediate-Range Ballistic Missile

HFC　ハイドロフルオロカーボン　Hydrofluorocarbon
HIV　エイズウイルス　Human Immunodeficiency Virus
HP　ホームページ　Home Page
IAAF　国際陸上競技連盟　International Association of Athletics Federations
IAEA　国際原子力機関(国連)
International Atomic Energy Agency
IATA　国際航空運送協会
International Air Transport Association
IBF　国際ボクシング連盟
International Boxing Federation
IC　集積回路　Integrated Circuit
ICAO　国際民間航空機関(国連)
International Civil Aviation Organization
ICBM　大陸間弾道ミサイル
Intercontinental Ballistic Missile
ICC　国際刑事裁判所　International Criminal Court
ICJ　国際司法裁判所(国連)
International Court of Justice
ICPO　国際刑事警察機構
International Criminal Police Organization
ICRC　赤十字国際委員会
International Committee of the Red Cross
ICRP　国際放射線防護委員会　International Commission on Radiological Protection
ICSU　国際科学会議　International Council for Science
ICU　集中治療室　Intensive Care Unit
*IDカード　身分証明書　Identification Card
IDA　国際開発協会(第二世銀)
International Development Association
IDB　米州開発銀行
Inter-American Development Bank
IEA　国際エネルギー機関
International Energy Agency
IFAD　国際農業開発基金(国連)　International Fund for Agricultural Development

FIG 国際体操連盟
Fédération Internationale de Gymnastique

FINA 国際水泳連盟
Fédération Internationale de Natation

FIS 国際スキー連盟
Fédération Internationale de Ski

FISU 国際大学スポーツ連盟 Fédération Internationale du Sport Universitaire

＊FM 周波数変調(方式) Frequency Modulation

FOMC 連邦公開市場委員会(米国)
Federal Open Market Committee

FRB 連邦準備制度理事会(米国)
Federal Reserve Board

FRP 繊維強化プラスチック Fiber Reinforced Plastics

FTA 自由貿易協定 Free Trade Agreement

FTC 連邦取引委員会(米国)
Federal Trade Commission

G7 先進7カ国 Group of Seven

G20 20カ国・地域(首脳会合など) Group of Twenty

GCC 湾岸協力会議 Gulf Cooperation Council

GDP 国内総生産 Gross Domestic Product

GHQ 連合国軍総司令部
General Headquarters(of the Allied Forces)

GLCM 地上発射巡航ミサイル
Ground Launched Cruise Missile

GMT グリニッジ標準時 Greenwich Mean Time

GNP 国民総生産 Gross National Product

GPIF 年金積立金管理運用独立行政法人
Government Pension Investment Fund

GPS 衛星利用測位システム Global Positioning System

HCB ヘキサクロロベンゼン Hexachlorobenzene

HCFC ハイドロクロロフルオロカーボン
Hydrochlorofluorocarbon

HD ハードディスク Hard Disk

HDTV 高精細度テレビ High-definition Television
〔注〕ハイビジョンはNHKが付けた愛称だが使用可。

EFTA 欧州自由貿易連合
European Free Trade Association
*EL エレクトロルミネッセンス Electroluminescence
EMU 欧州経済通貨同盟
Economic and Monetary Union
EPA 環境保護局(米国)
Environmental Protection Agency
EPA 経済連携協定 Economic Partnership Agreement
ESA 欧州宇宙機関 European Space Agency
ETC 自動料金収受システム
Electronic Toll Collection System
EU 欧州連合 European Union
EURATOM 欧州原子力共同体
European Atomic Energy Community
*F1 フォーミュラワン Formula 1
FA フリーエージェント Free Agent
FAA 連邦航空局(米国)
Federal Aviation Administration
FAI 国際航空連盟
Fédération Aéronautique Internationale
FAO 国連食糧農業機関
Food and Agriculture Organization
FBI 連邦捜査局(米国)
Federal Bureau of Investigation
FBR 高速増殖炉 Fast Breeder Reactor
FCC 連邦通信委員会(米国)
Federal Communications Commission
FDA 食品医薬品局(米国)
Food and Drug Administration
FEMA 連邦緊急事態管理局(米国)
Federal Emergency Management Agency
FF金利 フェデラルファンド金利 Federal Funds Rate
FIA 国際自動車連盟
Fédération Internationale de l'Automobile
FIFA 国際サッカー連盟 Fédération Internationale de Football Association

COP 締約国会議 Conference of the Parties
〔注〕国連気候変動枠組み条約第○回締約国会議(COP○)の形で使う。
CPI 消費者物価指数 Consumer Price Index
CPU 中央演算処理装置 Central Processing Unit
***CS** 通信衛星 Communication Satellite
CT コンピューター断層撮影(装置)
Computed Tomography
CTBT 包括的核実験禁止条約
Comprehensive Nuclear Test Ban Treaty
CTC 列車集中制御装置 Centralized Traffic Control
CWC 化学兵器禁止条約
Chemical Weapons Convention
DAC 開発援助委員会(OECDの下部機構)
Development Assistance Committee
***DDT** ジクロロジフェニルトリクロロエタン
Dichlorodiphenyltrichloroethane
DEP ディーゼル排気微粒子 Diesel Exhaust Particles
DHA ドコサヘキサエン酸 Docosahexaenoic Acid
DMZ 非武装地帯 Demilitarized Zone
***DNA** デオキシリボ核酸 Deoxyribonucleic acid
DRAM 記憶保持動作が必要な随時書き込み読み出しメモリー
Dynamic RAM
DSL デジタル加入者線 Digital Subscriber Line
***DVD** デジタル多用途ディスク Digital Versatile Disc
デジタル・ビデオディスク Digital Videodisc
EBRD 欧州復興開発銀行 European Bank for
Reconstruction and Development
EBU 欧州放送連合 European Broadcasting Union
ECA 国連アフリカ経済委員会
Economic Commission for Africa
ECB 欧州中央銀行 European Central Bank
ECCS 緊急炉心冷却装置
Emergency Core Cooling System
EDF フランス電力 Électricité de France
EEA 欧州経済地域 European Economic Area
EEZ 排他的経済水域 Exclusive Economic Zone

CD-R　書き込み可能なCD　Compact Disc-Recordable
*CD-ROM　CD利用の読み出し専用メモリー
Compact Disc-ROM
CDC　疾病対策センター(米国)
Centers for Disease Control and Prevention
CDM　クリーン開発メカニズム
Clean Development Mechanism
CDU　キリスト教民主同盟(ドイツ)
Christlich-Demokratische Union Deutschlands
CEA　経済諮問委員会(米国)
Council of Economic Advisers
CEA　原子力庁(フランス)
Commissariat à l'énergie atomique et aux énergies alternatives
CEO　最高経営責任者　Chief Executive Officer
CERN　欧州合同原子核研究所　Conseil Européen (現Organisation Européenne) pour la Recherche Nucléaire
CFC　クロロフルオロカーボン　Chlorofluorocarbon
〔注〕一般的にはフロン。
CFE　欧州通常戦力(条約)　(Treaty on) Conventional Armed Forces in Europe
CFO　最高財務責任者　Chief Financial Officer
CFRP　炭素繊維強化プラスチック
Carbon Fiber Reinforced Plastic
*CG　コンピューターグラフィックス
Computer Graphics
CGT　労働総同盟(フランス)
Confédération Générale du Travail
CIA　中央情報局(米国)　Central Intelligence Agency
CIS　独立国家共同体
Commonwealth of Independent States
CMOS　相補型金属酸化膜半導体
Complementary Metal Oxide Semiconductor
COD　化学的酸素要求量　Chemical Oxygen Demand
COO　最高執行責任者　Chief Operating Officer

ATO	自動列車運転装置 Automatic Train Operation
ATP	プロテニス選手協会 Association of Tennis Professionals
ATS	自動列車停止装置 Automatic Train Stop
AU	アフリカ連合 African Union
AV	オーディオビジュアル Audio-visual
AWACS	空中警戒管制機 Airborne Warning and Control System
BBS	電子掲示板 Bulletin Board System
BC兵器	生物・化学兵器 Biological and Chemical Weapons
BIE	博覧会国際事務局 Bureau International des Expositions
BIS	国際決済銀行 Bank for International Settlements
BMD	弾道ミサイル防衛 Ballistic Missile Defense
BMI	体格指数 Body Mass Index
BOD	生物化学的酸素要求量 Biochemical Oxygen Demand
BPO	放送倫理・番組向上機構 Broadcasting Ethics & Program Improvement Organization
*BS	放送衛星 Broadcasting Satellite
BWC	生物兵器禁止条約 Biological Weapons Convention
BWR	沸騰水型軽水炉 Boiling Water Reactor
CAD	コンピューター利用設計システム Computer Aided Design
CAS	スポーツ仲裁裁判所 Court of Arbitration for Sport
CATV	ケーブルテレビ Cable Television (Community Antenna Television 共同聴視アンテナテレビ)
CCD	電荷結合素子 Charge Coupled Device
CCU	冠疾患集中治療室 Coronary Care Unit
CD	譲渡性預金 Certificate of Deposit
CD	現金自動支払機 Cash Dispenser
*CD	コンパクトディスク Compact Disc

ASEAN Economic Community

AED 自動体外式除細動器
Automated External Defibrillator

AFC アジア・サッカー連盟
Asian Football Confederation

AFL・CIO 米労働総同盟産別会議 American Federation of Labor-Congress of Industrial Organizations

AFN 米軍放送網 American Forces Network

AFTA ASEAN自由貿易地域 ASEAN Free Trade Area

AI 人工知能 Artificial Intelligence

AID 非配偶者間人工授精
Artificial Insemination by Donor

AIH 配偶者間人工授精
Artificial Insemination by Husband

AIIB アジアインフラ投資銀行
Asian Infrastructure Investment Bank

ALBM 空中発射弾道ミサイル
Air-Launched Ballistic Missile

ALCM 空中発射巡航ミサイル
Air-Launched Cruise Missile

＊AM 振幅変調(方式) Amplitude Modulation

ANC アフリカ民族会議 African National Congress

AOSIS 小島しょ国連合 Alliance of Small Island States

APEC アジア太平洋経済協力会議
Asia Pacific Economic Cooperation

API 米国石油協会 American Petroleum Institute

APWR 改良型加圧水型軽水炉
Advanced Pressurized Water Reactor

ARF ASEAN地域フォーラム ASEAN Regional Forum

ASAT 衛星攻撃兵器 Anti-Satellite Weapon

ASEAN 東南アジア諸国連合
Association of South-East Asian Nations

ASEM アジア欧州会議 Asia-Europe Meeting

ASM 空対地ミサイル Air-to-Surface Missile

ATC 自動列車制御装置 Automatic Train Control

ATM 現金自動預払機 Automatic Teller Machine

【ろ】

＊労災保険　労働者災害補償保険

労働3法　労働組合法(労組法)・労働基準法(労基法)・労働関係調整法(労調法)の労働基本3法

＊労働者派遣法　労働者派遣事業の適正な運営の確保および派遣労働者の保護等に関する法律

【わ】

＊ワシントン条約　絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約

〔注〕正式名に国名を表す言葉が含まれないときは「戦略空軍司令部(米国)」のように( )で国名を示す。( )内は参考。文中では「米戦略空軍司令部は…」「米○○大統領は戦略空軍司令部に対し…」などと表記する。

＊3D　3次元　Three Dimension

AAAS　米科学振興協会　American Association for the Advancement of Science

AAM　空対空ミサイル　Air-to-Air Missile

ABC(兵器)　原子・生物・化学(兵器)
Atomic, Biological, Chemical (Weapons)

ABM　弾道弾迎撃ミサイル　Anti-Ballistic Missile

ABU　アジア太平洋放送連合
Asia-Pacific Broadcasting Union

ABWR　改良型沸騰水型軽水炉
Advanced Boiling Water Reactor

ACSA　物品役務相互提供協定
Acquisition and Cross-Servicing Agreement

ADB　アジア開発銀行　Asian Development Bank

ADF　アジア開発基金　Asian Development Fund

ADR　米国預託証券　American Depositary Receipt

ADR　裁判外紛争解決手続き
Alternative Dispute Resolution

ADSL　非対称デジタル加入者線
Asymmetric Digital Subscriber Line

AEC　ASEAN経済共同体

本四連絡橋　本州四国連絡橋

【ま】

＊マイナンバー法　行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律

＊麻薬特例法　国際的な協力の下に規制薬物に係る不正行為を助長する行為等の防止を図るための麻薬および向精神薬取締法等の特例等に関する法律

＊麻薬取締法　麻薬および向精神薬取締法

＊マル優　少額貯蓄非課税制度

【み】

民医連　全日本民主医療機関連合会

民青　日本民主青年同盟

民団　在日本大韓民国民団

民鉄協　日本民営鉄道協会

＊民放連　日本民間放送連盟

＊民放労連　日本民間放送労働組合連合会

【め】

＊迷惑メール防止法　特定電子メールの送信の適正化等に関する法律

【ゆ】

＊UAゼンセン　全国繊維化学食品流通サービス一般労働組合同盟

ユニセフ　国連児童基金

ユネスコ　国連教育科学文化機関

【よ】

＊容器包装リサイクル法　容器包装に係る分別収集および再商品化の促進等に関する法律

＊酔っぱらい防止法　酒に酔って公衆に迷惑をかける行為の防止等に関する法律

読響　読売日本交響楽団

【り】

陸(海・空)幕　陸上(海上・航空)幕僚監部

理研　理化学研究所

＊リゾート法　総合保養地域整備法

リムパック　環太平洋合同演習

【れ】

＊連合　日本労働組合総連合会

＊犯罪被害者保護法　犯罪被害者等の権利利益の保護を図るための刑事手続きに付随する措置に関する法律

【ひ】

ＰＫＯ協力法　国連平和維持活動（ＰＫＯ）協力法

被団協　日本原水爆被害者団体協議会

＊ピッキング防止法　特殊開錠用具の所持の禁止等に関する法律

百条委　地方自治法100条に基づく調査委員会

＊被用者保険　協会けんぽ・組合管掌健康保険・船員保険・各種共済組合（国家公務員共済組合、地方公務員共済組合、私立学校教職員共済組合）の６保険

【ふ】

＊風営法　風俗営業等の規制および業務の適正化等に関する法律

＊不正アクセス禁止法　不正アクセス行為の禁止等に関する法律

婦団連　日本婦人団体連合会

＊武力攻撃事態法　武力攻撃事態等および存立危機事態における我が国の平和と独立ならびに国および国民の安全の確保に関する法律

＊プロバイダー責任法　特定電気通信役務提供者の損害賠償責任の制限および発信者情報の開示に関する法律

＊フロン排出抑制法　フロン類の使用の合理化および管理の適正化に関する法律

噴火予知連　火山噴火予知連絡会

【へ】

＊米軍用地特別措置法　日米地位協定の実施に伴う土地等の使用等に関する特別措置法

【ほ】

放医研　放射線医学総合研究所

放影研　放射線影響研究所

防災科研　防災科学技術研究所

＊放射線障害防止法　放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律

法制審　法制審議会

暴対法　暴力団対策法

＊暴力行為法　暴力行為等処罰に関する法律

保団連　全国保険医団体連合会

本四高速　本州四国連絡高速道路会社

＊日弁連　日本弁護士連合会
＊日教組　日本教職員組合
＊日経連(旧)　日本経営者団体連盟
日高教　日本高等学校教職員組合
日産婦　日本産科婦人科学会
日商　日本商工会議所
日消協　日本消費者協会
日証協　日本証券業協会
日証金　日本証券金融
日商連　日本商店商業組合連合会
日青協　日本青年団協議会
日政連　日本民主教育政治連盟
＊日赤　日本赤十字社
＊日展　日本美術展覧会
日放労　日本放送労働組合
＊日本医労連　日本医療労働組合連合会
日本公庫　日本政策金融公庫
＊日本高野連　日本高等学校野球連盟
日本生協連　日本生活協同組合連合会
＊日本体協　日本体育協会
日本中体連　日本中学校体育連盟
入管　法務省入国管理局
＊入管難民法　出入国管理および難民認定法
【ね】
＊ねずみ講防止法　無限連鎖講の防止に関する法律
【の】
農基法　食料・農業・農村基本法
農災法　農業災害補償法
農林中金　農林中央金庫
【は】
＊廃棄物処理法　廃棄物の処理および清掃に関する法律
＊ハイジャック防止法　航空機の強取等の処罰に関する法律
爆取罰則　爆発物取締罰則
＊破産特別措置法　特定破産法人の破産財団に属すべき財産の回復に関する特別措置法
＊破防法　破壊活動防止法

＊電力総連　全国電力関連産業労働組合総連合

【と】

統一家庭連合　世界平和統一家庭連合

〔注〕旧統一教会。

統一教会(旧)　世界基督教統一神霊協会

東響　東京交響楽団

＊道交法　道路交通法

投信協会　投資信託協会

東大医科研　東京大学医科学研究所

統幕　防衛省統合幕僚監部

東フィル　東京フィルハーモニー交響楽団

＊同盟(旧)　全日本労働総同盟

同友会　経済同友会

＊動労(旧)　国鉄動力車労働組合

＊動労千葉　国鉄千葉動力車労働組合

都響　東京都交響楽団

＊特定商取引法　特定商取引に関する法律＝旧訪問販売法

＊特定秘密保護法　特定秘密の保護に関する法律

＊毒劇物法　毒物および劇物取締法

＊土砂災害防止法　土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律

＊独禁法　私的独占の禁止および公正取引の確保に関する法律

＊ドメスティックバイオレンス(DV)防止法　配偶者からの暴力の防止および被害者の保護等に関する法律

都労連　東京都労働組合連合会

【な】

内調　内閣情報調査室

＊成田新法　成田国際空港の安全確保に関する緊急措置法

＊難病医療法　難病の患者に対する医療等に関する法律

【に】

21世紀臨調　新しい日本をつくる国民会議

日医　日本医師会

日フィル　日本フィルハーモニー交響楽団

＊日米地位協定　日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力および安全保障条約第６条に基づく施設および区域ならびに日本国における合衆国軍隊の地位に関する協定

待遇の確保等に関する法律
＊団体規制法　無差別大量殺人行為を行った団体の規制に関する法律
【ち】
地球サミット　国連環境開発会議
地銀協　全国地方銀行協会
地公労法　地方公営企業労働関係法
地制調　地方制度調査会
地婦連　全国地域婦人団体連絡協議会
＊地方分権一括法　地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律
＊地方６団体　全国知事会・全国都道府県議会議長会・全国市長会・全国市議会議長会・全国町村会・全国町村議会議長会
中医協　中央社会保険医療協議会
中央会　農業協同組合中央会
中央選管　中央選挙管理会
＊中核派　革命的共産主義者同盟全国委員会
中環審　中央環境審議会
中期防　中期防衛力整備計画
＊中教審　中央教育審議会
中経連　中部経済連合会
中更審　中央更生保護審査会
＊中労委　中央労働委員会
朝鮮総連　在日本朝鮮人総連合会
【つ】
＊通信傍受法　犯罪捜査のための通信傍受に関する法律
【て】
＊出会い系サイト規制法　インターネット異性紹介事業を利用して児童を誘引する行為の規制等に関する法律
鉄道・運輸機構　鉄道建設・運輸施設整備支援機構＝旧鉄建公団
鉄道総研　鉄道総合技術研究所
鉄連　日本鉄鋼連盟
＊電機連合　全日本電機・電子・情報関連産業労働組合連合会
＊電子投票法　地方公共団体の議会の議員および長の選挙に係る電磁的記録式投票機を用いて行う投票方法等の特例に関する法律
電事連　電気事業連合会

全国農政連　全国農業者農政運動組織連盟
全国ユニオン　全国コミュニティ・ユニオン連合会
全自交労連　全国自動車交通労働組合連合会
全柔連　全日本柔道連盟
全信協　全国信用金庫協会
全腎協　全国腎臓病協議会
全信組連　全国信用協同組合連合会
全信中協　全国信用組合中央協会
全信保連　全国信用保証協会連合会
＊全駐労　全駐留軍労働組合
全動労(旧)　全国鉄動力車労働組合
全日教連　全日本教職員連盟
全日仏　全日本仏教会
全日遊連　全日本遊技事業協同組合連合会
全農林　全農林労働組合
全抑協　全国強制抑留者協会
全酪連　全国酪農業協同組合連合会
全労協　全国労働組合連絡協議会
全労済　全国労働者共済生活協同組合連合会
＊全労連　全国労働組合総連合
＊全労連自治労連　日本自治体労働組合総連合

【そ】

＊臓器移植法　臓器の移植に関する法律
総定員法　行政機関の職員の定員に関する法律
＊総評(旧)　日本労働組合総評議会
＊組織犯罪処罰法　組織的な犯罪の処罰および犯罪収益の規制等に関する法律
訴追委　裁判官訴追委員会
損保協会　日本損害保険協会

【た】

大検(旧)　大学入学資格検定
大震法　大規模地震対策特別措置法
大店立地法　大規模小売店舗立地法
宅建業法　宅地建物取引業法
(日銀)短観　企業短期経済観測調査
＊男女雇用機会均等法　雇用の分野における男女の均等な機会および

書協　日本書籍出版協会
＊食品リサイクル法　食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律
＊食糧法　主要食糧の需給および価格の安定に関する法律
食管会計(旧)　食糧管理特別会計
初中局　文部科学省初等中等教育局
信金中金　信金中央金庫
新宗連　新日本宗教団体連合会
身障法　身体障害者福祉法
＊信書便法　民間事業者による信書の送達に関する法律
新日フィル　新日本フィルハーモニー交響楽団
＊新聞労連　日本新聞労働組合連合
信連　信用農業協同組合連合会

【す】

＊ストーカー規制法　ストーカー行為等の規制等に関する法律

【せ】

＊静穏保持法　国会議事堂等周辺地域および外国公館等周辺地域の静穏の保持に関する法律
政管健保(旧)　政府管掌健康保険
＊生協　(消費)生活協同組合
＊精神保健福祉法　精神保健および精神障害者福祉に関する法律
税調　税制調査会
政投銀　日本政策投資銀行
＊政党法人化法　政党交付金の交付を受ける政党等に対する法人格の付与に関する法律
政倫審　政治倫理審査会
世銀　世界銀行(正式名は国際復興開発銀行)
全医労　全日本国立医療労働組合
全学連　全日本学生自治会総連合
全教　全日本教職員組合
全漁連　全国漁業協同組合連合会
全銀協　全国銀行協会
全原協　全国原子力発電所所在市町村協議会
＊全建総連　全国建設労働組合総連合
＊全港湾　全日本港湾労働組合
全国高体連　全国高等学校体育連盟
＊全国港湾　全国港湾労働組合連合会

ＪＰ労組　日本郵政グループ労働組合
＊Ｊリーグ　日本プロサッカーリーグ
ジェトロ　日本貿易振興機構
＊私学助成法　私立学校振興助成法
次期防　次期中期防衛力整備計画
＊資源有効利用促進法　資源の有効な利用の促進に関する法律
自工会　日本自動車工業会
事故調委(旧)　国土交通省航空・鉄道事故調査委員会
地震予知連　地震予知連絡会
私大協　日本私立大学協会
私大連　日本私立大学連盟
＊自治労　全日本自治団体労働組合
＊私鉄総連　日本私鉄労働組合総連合会
＊児童買春・ポルノ禁止法　児童買春、児童ポルノに係る行為等の規制および処罰ならびに児童の保護等に関する法律
＊児童虐待防止法　児童虐待の防止等に関する法律
＊自動車総連　全日本自動車産業労働組合総連合会
＊自動車リサイクル法　使用済み自動車の再資源化等に関する法律
自賠責(保険)　自動車損害賠償責任保険
住基ネット　住民基本台帳ネットワーク
住専　住宅金融専門会社
住宅品質法　住宅品質確保促進法
＊銃刀法　銃砲刀剣類所持等取締法
重文　重要文化財
＊周辺事態法(旧)　周辺事態に際して我が国の平和および安全を確保するための措置に関する法律
＊重要影響事態法　重要影響事態に際して我が国の平和および安全を確保するための措置に関する法律
＊種の保存法　絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律
主婦連　主婦連合会
消安法　消費生活用製品安全法
＊省エネ法　エネルギーの使用の合理化等に関する法律
＊商工中金　商工組合中央金庫
消団連　全国消費者団体連絡会
＊情報労連　情報産業労働組合連合会

＊更生特例法　金融機関等の更生手続きの特例等に関する法律
＊公選法　公職選挙法
公団自治協　全国公団住宅自治会協議会
公調委　公害等調整委員会
公取委　公正取引委員会
高認　高等学校卒業程度認定試験
＊公務員共闘(旧)　日本公務員労働組合共闘会議
＊公務労協　公務公共サービス労働組合協議会
公労協(旧)　国営企業等労働組合協議会
国幹会議　国土開発幹線自動車道建設会議
国公総連　日本国家公務員労働組合総連合会
国公連合　国公関連労働組合連合会
国公労連　日本国家公務員労働組合連合会
＊国体　国民体育大会
国保　国民健康保険
＊国民保護法　武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律
＊国労　国鉄労働組合
＊湖沼法　湖沼水質保全特別措置法
＊古都保存法　古都における歴史的風土の保存に関する特別措置法
【さ】
財革法　財政構造改革の推進に関する特別措置法
最賃法　最低賃金法
＊再販制度　再販売価格維持制度
＊サッカーくじ法　スポーツ振興投票の実施等に関する法律
雑協　日本雑誌協会
産構審　産業構造審議会
産総研　産業技術総合研究所
【し】
Ｊアラート　全国瞬時警報システム
＊ＪＲ総連　全日本鉄道労働組合総連合会
＊ＪＲ連合　日本鉄道労働組合連合会
ＪＡ共済連　全国共済農業協同組合連合会
ＪＡ全中　全国農業協同組合中央会
ＪＡ全農　全国農業協同組合連合会
Ｊパワー　電源開発

＊教研集会　日教組・全日本教職員組合教育研究全国集会
極地研　国立極地研究所
金商法　金融商品取引法
＊金属労協　全日本金属産業労働組合協議会
＊金融再生法　金融機能の再生のための緊急措置に関する法律
金融審　金融審議会

【く】

＊グリーン購入法　国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律
＊クローン技術規制法　ヒトに関するクローン技術等の規制に関する法律

【け】

経済連　経済農業協同組合連合会
警職法　警察官職務執行法
芸団協　日本芸能実演家団体協議会
＊経団連　日本経済団体連合会（旧経団連は経済団体連合会）
刑事特別法　日米地位協定の実施に伴う刑事特別法
＊景品表示法　不当景品類および不当表示防止法
＊圏央道　首都圏中央連絡自動車道
原環機構　原子力発電環境整備機構
建交労　全日本建設交運一般労働組合
原産協会　日本原子力産業協会
原子力機構　日本原子力研究開発機構
＊原子炉等規制法　核原料物質、核燃料物質および原子炉の規制に関する法律
原水協　原水爆禁止日本協議会
原水禁　原水爆禁止日本国民会議
＊建設リサイクル法　建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律
検定審　教科用図書検定調査審議会
原電　日本原子力発電
健保法　健康保険法
健保連　健康保険組合連合会

【こ】

交運共闘　交通運輸労働組合共闘会議
交運労協　全日本交通運輸産業労働組合協議会
高エネ研　高エネルギー加速器研究機構

ＮＰＯ法　特定非営利活動促進法
＊ＮＰＯ法人　特定非営利活動法人

【か】

海員組合　全日本海員組合
＊外為法　外国為替および外国貿易法
外為令　外国為替令
海洋機構　海洋研究開発機構
＊外来種被害防止法　特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律
＊火炎瓶処罰法　火炎びんの使用等の処罰に関する法律
＊革マル派　日本革命的共産主義者同盟革命的マルクス主義派
＊革労協　革命的労働者協会(革労協主流派、反主流派)
科警研　警察庁科学警察研究所
化繊協会　日本化学繊維協会
科捜研　科学捜査研究所
＊過疎法　過疎地域自立促進特別措置法
ガット(旧)　関税貿易一般協定
＊家電リサイクル法　特定家庭用機器再商品化法
関経連　関西経済連合会
＊がん研　がん研究会（国立がん研究センターを「がん研」としない）
＊関西空港　関西国際空港
関西経協(旧)　関西経営者協会
＊官製談合防止法　入札談合等関与行為の排除および防止ならびに職員による入札等の公正を害すべき行為の処罰に関する法律
＊感染症法　感染症の予防および感染症の患者に対する医療に関する法律

【き】

＊議院証言法　議院における証人の宣誓および証言等に関する法律
議運委　議院運営委員会
＊基幹労連　日本基幹産業労働組合連合会
＊技能五輪国際大会　国際技能競技大会
＊牛肉トレーサビリティー法　牛の個体識別のための情報の管理および伝達に関する特別措置法
給与法　一般職の職員の給与に関する法律
協会けんぽ　全国健康保険協会

新聞略語集

以下の略語は、原則として単独で用いることはできない。略語は右側の全表記の後になるべくかっこして示し、2回目以後はかっこ内の略語を表記する。ただし略語に＊を付したものは、最初から全表記を省略して略語単独で使用できる。略語の次の(旧)は通常外して表記する。片仮名の略称がある場合はこれを使う。

【あ】

＊あっせん利得処罰法　公職にある者等のあっせん行為による利得等の処罰に関する法律

アメダス　地域気象観測システム

アンザス条約　オーストラリア・ニュージーランド・米国相互安全保障条約

＊(日米)安保(条約)　日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力および安全保障条約

【い】

＊育児・介護休業法　育児休業、介護休業等育児または家族介護を行う労働者の福祉に関する法律

遺伝研　国立遺伝学研究所

＊医薬品医療機器法　医薬品、医療機器等の品質、有効性および安全性の確保等に関する法律

＊院展　日本美術院展覧会

【う】

＊運輸労連　全日本運輸産業労働組合連合会

【え】

＊英検　実用英語技能検定

＊映倫　映画倫理委員会

映連　日本映画製作者連盟

N響　NHK交響楽団

＊NTT法　日本電信電話株式会社等に関する法律

＊NTT労組　NTT労働組合

枣〔棗〕
奋〔奮〕
态〔態〕
轰〔轟〕
胁〔脅〕
岭〔嶺〕
图〔図〕
制〔制〕
〃〔製〕
凭〔憑〕
征〔征〕
〃〔徵〕
肤〔膚〕
变〔変〕
庙〔廟〕
卷〔巻〕
〃〔捲〕
怜〔憐〕
帘〔簾〕
实〔実〕
隶〔隷〕
艰〔艱〕
杰〔傑〕
泪〔涙〕

9 画

帮〔幇〕
赵〔趙〕
药〔薬〕
标〔標〕
栏〔欄〕
树〔樹〕
面〔面〕
〃〔麵〕
牵〔牽〕
战〔戦〕
临〔臨〕
显〔顕〕
虾〔蝦〕
虽〔雖〕
响〔響〕
钟〔鐘〕
〃〔鍾〕
选〔選〕
适〔適〕
种〔種〕
复〔復〕
〃〔複〕
〃〔覆〕
胜〔勝〕
奖〔奨〕
养〔養〕
类〔類〕
总〔総〕
洼〔窪〕
洁〔潔〕
浊〔濁〕
恼〔悩〕
宪〔憲〕
垦〔墾〕
哄〔閧〕
垒〔塁〕
脉〔脈〕
迹〔跡〕
〃〔蹟〕
挂〔掛〕

10 画

艳〔艶〕
盐〔塩〕
热〔熱〕
壶〔壺〕
获〔獲〕
〃〔穫〕
恶〔悪〕
样〔様〕
础〔礎〕
致〔致〕
〃〔緻〕
顾〔顧〕
钻〔鑽〕
牺〔犠〕
敌〔敵〕
积〔積〕
脏〔臓〕
脑〔脳〕
胶〔膠〕
斋〔斎〕
准〔準〕
竞〔競〕
烛〔燭〕
递〔逓〕
涂〔塗〕
恳〔懇〕
剧〔劇〕
绣〔繍〕
涌〔湧〕

11 画

据〔据〕
〃〔拠〕
梦〔夢〕
悬〔懸〕
跃〔躍〕
偿〔償〕
盘〔盤〕
象〔象〕
〃〔像〕
猎〔猟〕
盖〔蓋〕
兽〔獣〕
惧〔懼〕
惊〔驚〕

12 画

琼〔瓊〕
联〔聯〕
硷〔鹸〕
确〔確〕
筑〔築〕
惩〔懲〕
腊〔臘〕
粪〔糞〕

13 画

碍〔礙〕
蒙〔蒙〕
〃〔濛〕
雾〔霧〕
签〔簽〕
酱〔醤〕
粮〔糧〕
辟〔闢〕
缠〔纏〕
韵〔韻〕

14 画

酿〔醸〕
愿〔願〕
稳〔穏〕

15 画

聪〔聡〕
毵〔繊〕

〔注〕本表は中国の文字改革出版社発行の「簡化字総表検字」などを参考にして共同通信社が作成した。

新略字

2 画
办〔辦〕
厂〔廠〕
邓〔鄧〕
卜〔卜〕
劝〔勸〕
〃〔蔔〕
书〔書〕
儿〔兒〕
升〔升〕
了〔了〕
〃〔昇〕
〃〔瞭〕

3 画
干〔干〕
击〔擊〕
〃〔幹〕
术〔術〕
〃〔乾〕
灭〔滅〕
亏〔虧〕
帅〔帥〕
于〔于〕
叶〔葉〕
〃〔於〕
电〔電〕
才〔才〕
只〔只〕
〃〔纔〕
〃〔隻〕
亿〔億〕
叹〔嘆〕
卫〔衛〕
丛〔叢〕
飞〔飛〕
处〔処〕
习〔習〕
务〔務〕

4 画
开〔開〕
头〔頭〕
厅〔庁〕
汉〔漢〕
仆〔僕〕
让〔讓〕
币〔幣〕
辽〔遼〕
仅〔僅〕
台〔台〕
凤〔鳳〕
〃〔颱〕
斗〔斗〕
〃〔擡〕
〃〔鬪〕

5 画
忆〔憶〕
击〔擊〕
认〔認〕
术〔術〕
丑〔醜〕
灭〔滅〕
帅〔帥〕
叶〔葉〕
电〔電〕
只〔只〕
〃〔隻〕
叹〔嘆〕
丛〔叢〕
处〔処〕
务〔務〕
头〔頭〕
汉〔漢〕
让〔讓〕
辽〔遼〕
台〔台〕
〃〔颱〕
〃〔擡〕

6 画
巩〔鞏〕
扫〔掃〕
权〔権〕
协〔協〕
夺〔奪〕
夸〔誇〕
划〔劃〕
尘〔塵〕
团〔団〕
网〔網〕
优〔優〕
伤〔傷〕
价〔価〕
后〔后〕
〃〔後〕
众〔衆〕
爷〔爺〕
伞〔傘〕
杂〔雜〕
冲〔衝〕
庄〔庄〕
〃〔荘〕
庆〔慶〕
关〔関〕
兴〔興〕
讲〔講〕
导〔導〕
阳〔陽〕
阶〔階〕
妇〔婦〕
戏〔戯〕
观〔観〕
欢〔歓〕
纤〔繊〕
异〔異〕
并〔並〕
〃〔併〕

7 画
远〔遠〕
运〔運〕
坛〔壇〕
坏〔壊〕
护〔護〕
块〔塊〕
报〔報〕
拟〔擬〕
芦〔芦〕
〃〔蘆〕
苏〔蘇〕
极〔極〕
还〔還〕
县〔県〕
里〔里〕
〃〔裏〕
园〔園〕
邮〔郵〕
听〔聴〕
佣〔傭〕
彻〔徹〕
谷〔谷〕
〃〔穀〕
邻〔隣〕
系〔系〕
〃〔係〕
〃〔繋〕
这〔這〕
应〔応〕
庐〔廬〕
疗〔療〕
灿〔燦〕
沟〔溝〕
沪〔滬〕
沈〔沈〕
〃〔瀋〕
怀〔懐〕
忧〔憂〕
启〔啓〕
补〔補〕
层〔層〕
迟〔遅〕
际〔際〕
陆〔陸〕
鸡〔鶏〕
弃〔棄〕
驴〔驢〕
灾〔災〕

8 画
环〔環〕
拥〔擁〕
势〔勢〕
苹〔蘋〕
范〔范〕
〃〔範〕
柜〔櫃〕
松〔松〕
〃〔鬆〕
构〔構〕
丧〔喪〕
购〔購〕
郁〔鬱〕
练〔練〕

へんとつくりに使用

讠〔言〕　钅〔金〕　饣〔食〕　纟〔糸〕　艹〔艸・**〕

巛〔巛・川〕　亦〔亦・腋〕　欠〔欧〕　収〔収〕　吊〔弔〕

圣〔尺・罩〕　勿〔易〕　只〔戠〕　圣〔圣・堅〕

へんとつくりおよび略字に使用

2 画

几〔幾〕
3 画
与〔与〕
广〔広〕
门〔門〕
义〔義〕
马〔馬〕
乡〔郷〕
4 画
丰〔豊〕
无〔無〕
韦〔韋〕
专〔専〕
云〔雲〕
艺〔芸〕
历〔歴〕
〃〔暦〕
车〔車〕
冈〔岡〕
贝〔貝〕
见〔見〕
气〔気〕
长〔長〕
从〔従〕

仑〔侖〕
仓〔倉〕
风〔風〕
乌〔烏〕
为〔為〕
队〔隊〕
5 画
戋〔戔〕
节〔節〕
龙〔竜〕
东〔東〕
卢〔盧〕
业〔業〕
归〔帰〕
尔〔爾〕
乐〔楽〕
鸟〔鳥〕
刍〔芻〕
汇〔匯〕
宁〔寧〕
边〔辺〕
发〔発〕
〃〔髪〕
圣〔聖〕
对〔対〕

兰〔蘭〕
〃〔蘭〕
6 画
动〔動〕
执〔執〕
亚〔亜〕
过〔過〕
厌〔厭〕
页〔頁〕
达〔達〕
尧〔堯〕
毕〔畢〕
〃〔卒〕
师〔師〕
岁〔歳〕
岂〔豈〕
迁〔遷〕
乔〔喬〕
华〔華〕
杀〔殺〕
刘〔劉〕
齐〔斉〕
产〔産〕
农〔農〕
寻〔尋〕

孙〔孫〕
阴〔陰〕
买〔買〕
吕〔呂〕
7 画
进〔進〕
壳〔殻〕
严〔厳〕
两〔両〕
丽〔麗〕
时〔時〕
金〔僉〕
龟〔亀〕
犹〔猶〕
穷〔窮〕
灵〔霊〕
吴〔呉〕
奂〔奐〕
岛〔島〕
8 画
齿〔歯〕
卖〔売〕
虏〔虜〕
罗〔羅〕
鱼〔魚〕

备〔備〕
郑〔鄭〕
单〔単〕
审〔審〕
肃〔粛〕
录〔録〕
画〔画〕
9画以上
荐〔薦〕
带〔帯〕
尝〔嘗〕
将〔将〕
亲〔親〕
举〔挙〕
聂〔聶〕
虑〔慮〕
监〔監〕
笔〔筆〕
爱〔愛〕
离〔離〕
宾〔賓〕
难〔難〕
隐〔隠〕
窜〔竄〕

人名等に使われる中国略字表

中国の人名や地名に使われる簡体字(略字)は、漢字表や表外漢字字体表などの共同通信が使用する日本の字体に書き換える。

略字の大半は「へんとつくり」のどちらか、または両方を簡略化している。例えば「识」は讠(言)と只(戠)を組み合わせた「識」の略字。それ以外に、漢字の一部または全体を簡略化した「新略字」がある。書き換えの便宜のための対照表では、人名等にほとんど使われない漢字のほか、書き換える必要のない日本と同形の略字(会、万、当など)は原則的に省いた。

略字を書き換える際、特に注意すべき点は次の通り(かっこ内は本社で使用する字体)。

①日本字と同形だが原字が異なり、書き換えが必要なもの
〔例〕叶(葉)——姓に使う。葉選平、葉剣英
云(雲)——地名(雲南省、連雲港)や名の一部に使う
机(機)——名の一部などに使用

②中国語で同音の異なる漢字を一つの簡体字にくくったものがあり、書き分ける必要がある。特に注意すべき字は次の通り
〔例〕沈(沈・瀋)——姓は「沈」、地名は「瀋」(瀋陽)
庄(庄・荘)——普通「荘」を使う。石家荘、荘則棟
谷(谷・穀)——姓は「谷」、「穀」は名に使うことがある
钟(鍾・鐘)——姓は「鍾」、名も「鍾」が普通
范(范・範)——姓は「范」、「範」は名の一部に使用
干(干、乾、幹)——姓は「干」、名は「幹」が普通

③頻出する簡体字の一字姓

马(馬)	齐(斉)	刘(劉)	邓(鄧)	罗(羅)	华(華)	
赵(趙)	孙(孫)	杨(楊)	郑(鄭)	严(厳)	韩(韓)	
冯(馮)	陈(陳)	许(許)	吴(呉)	苏(蘇)	龚(龔)	
吕(呂)	习(習)	卢(盧)	张(張)	陆(陸)	迟(遅)	
关(関)	邹(鄒)	顾(顧)	肃(粛)	钟(鍾)	谭(譚)	

モナリザ	Mona Lisa	ダビンチの肖像画に描かれた女性
ヤスパース（カール）	Karl Jaspers	ドイツ医学者・哲学者
ヤナーチェク（レオシュ）	Leoš Janáček	チェコ作曲家
ユゴー（ビクトル）	Victor Hugo	フランス詩人・小説家・劇作家
ラートブルフ（グスタフ）	Gustav Radbruch	ドイツ哲学者
ライシャワー（エドウィン）	Edwin Reischauer	米歴史学者・元駐日大使
ラシュディ（サルマン）	Rushdie Salman	英作家
リプマン（ウォルター）	Walter Lippmann	米評論家
リムスキーコルサコフ（ニコライ）	Nikolai Rimsky-Korsakov	ロシア作曲家
リンカーン（エーブラハム）	Abraham Lincoln	16代米大統領
ルーズベルト（フランクリン）	Franklin Roosevelt	32代米大統領
ルノワール（オーギュスト）	Auguste Renoir	フランス画家
ルビンシュタイン（アルトゥール）	Artur Rubinstein	ポーランド出身の米ピアニスト
レーニン（ウラジーミル）	Vladimir Lenin	ロシアの革命家
レマルク（エーリヒ）	Erich Remarque	ドイツ出身の米作家
ロイドジョージ（デービッド）	David Lloyd George	元英首相
ローランサン（マリー）	Marie Laurencin	フランス画家
ロラン（ロマン）	Romain Rolland	フランス作家・思想家・劇作家
ロン（マルグリット）	Marguerite Long	フランスのピアニスト
ワーグナー（リヒャルト）	Richard Wagner	ドイツ作曲家
ワイツマン（ハイム）	Chaim Weizmann	初代イスラエル大統領
ワルター（ブルーノ）	Bruno Walter	ドイツ出身の米指揮者

ブリナー（ユル）	Yul Brynner	米映画俳優
フルシチョフ（ニキタ）	Nikita S. Khrushchev	元ソ連首相
フルトベングラー（ウィルヘルム）	Wilhelm Furtwängler	ドイツ指揮者
フロイト（ジークムント）	Sigmund Freud	オーストリア精神科医
プロコフィエフ（セルゲイ）	Sergei S. Prokofiev	ロシアの作曲家
ベイティ（ウォーレン）	Warren Beatty	米映画俳優
ベートーベン（ルートウィヒ）	Ludwig van Beethoven	ドイツ作曲家
ヘプバーン（オードリー）	Audrey Hepburn	ベルギー生まれの映画女優
ヘミングウェー（アーネスト）	Ernest Hemingway	米作家
ベルイマン（イングマル）	Ingmar Bergman	スウェーデン映画監督
ベルグソン（アンリ）	Henri Bergson	フランス哲学者
ボーア（ニールス）	Niels Bohr	デンマーク物理学者
ボガート（ハンフリー）	Humphrey Bogart	米映画俳優
ボッカチオ（ジョバンニ）	Giovanni Boccaccio	イタリア文学者
ボッティチェリ（アレサンドロ）	Alessandro Botticelli	イタリア画家
ボロディン（アレクサンドル）	Aleksandr Borodin	ロシア作曲家
ポンピドー（ジョルジュ）	Georges Pompidou	元フランス大統領
マチス（アンリ）	Henri Matisse	フランス画家
マルコ・ポーロ	Marco Polo	イタリア旅行家
マルタンデュガール（ロジェ）	Roger Martin du Gard	フランス作家
マルロー（アンドレ）	André Malraux	フランス作家
ミレー（ジャン）	Jean Millet	フランス画家
ムソリーニ（ベニト）	Benito Mussolini	元イタリア首相
ムンク（エドバルト）	Edvard Munch	ノルウェー画家
メッテルニヒ（クレメンス）	Klemens Metternich	オーストリア政治家
モーツァルト（ウォルフガング・アマデウス）	Wolfgang Amadeus Mozart	オーストリア作曲家
モーム（サマセット）	Somerset Maugham	英作家
モーロワ（アンドレ）	André Maurois	フランス作家
モディリアニ（アメデオ）	Amedeo Modigliani	イタリア画家

ドゴール（シャルル）	Charles de Gaulle	元フランス大統領
ドビュッシー（クロード）	Claude Debussy	フランス作曲家
ドボルザーク（アントニン）	Antonin Dvořák	チェコ作曲家
ドライザー（セオドア）	Theodore Dreiser	米作家
ドラクロワ（ウジェーヌ）	Eugène Delacroix	フランス画家
トリアッチ（パルミロ）	Palmiro Togliatti	元イタリア共産党書記長
トリュフォー（フランソワ）	François Truffaut	フランス映画監督
トロツキー（レフ）	Lev Trotsky	ロシアの革命家
ドンキホーテ	Don Quijote	騎士物語の主人公
ナイチンゲール（フローレンス）	Florence Nightingale	英看護婦
ニーチェ（フリードリヒ）	Friedrich Nietzsche	ドイツ哲学者
ニクラウス（ジャック）	Jack Nicklaus	米プロゴルファー
ネール（ジャワハルラル）	Jawaharlal Nehru	元インド首相
ノエルベーカー（フィリップ）	Philip Noel-Baker	英政治家
ノーベル（アルフレド）	Alfred Nobel	スウェーデンのダイナマイト発明者
バーグマン（イングリッド）	Ingrid Bergman	スウェーデン出身の映画女優
バーンスタイン（レナード）	Leonard Bernstein	米指揮者
ハイデッガー（マルティン）	Martin Heidegger	ドイツ哲学者
ハクスリー（オルダス）	Aldous Huxley	英作家
パスツール（ルイ）	Louis Pasteur	フランス細菌学者
パステルナーク（ボリス）	Boris Pasternak	ロシアの詩人・作家
ハチャトリアン（アラム）	Aram Khachaturyan	ロシアの作曲家
バルトーク（ベーラ）	Bartók Béla	ハンガリー作曲家
バルドー（ブリジット）	Brigitte Bardot	フランス映画女優
ハワース（ウォルター）	Walter Haworth	英化学者
ヒチコック（アルフレド）	Alfred Hitchcock	英国の映画監督
ヒトラー（アドルフ）	Adolf Hitler	ナチス・ドイツ総統
ビバルディ（アントニオ）	Antonio Vivaldi	イタリア作曲家
ヒューム（アレクサンダー）	Alexander Douglas-Home	元英首相
ピュリツァー（ジョゼフ）	Joseph Pulitzer	米新聞人
フェノロサ（アーネスト）	Ernest Fenollosa	米美術史家
フォスター（スティーブン）	Stephen Foster	米作曲家
ブラック（ジョルジュ）	Georges Braque	フランス画家

シュペングラー（オスワルト）	Oswald Spengler	ドイツ哲学者
シュワルツェネッガー（アーノルド）	Arnold Schwarzenegger	オーストリア出身の米映画俳優、政治家
ショーペンハウアー（アルトゥール）	Arthur Schopenhauer	ドイツ思想家
ショスタコービッチ（ドミトリ）	Dmitry Shostakovich	ロシアの作曲家
スカルノ	Soekarno	初代インドネシア大統領
スタインベック（ジョン）	John Steinbeck	米作家
スタンリー（ヘンリー）	Henry Stanley	米探検家
スティーブンソン（ジョージ）	George Stephenson	英発明家
ストラディバリ（アントニオ）	Antonio Stradivari（ラテン語 Stradivarius）	イタリアの弦楽器製作者
ストラビンスキー（イーゴリ）	Igor Stravinsky	ロシア出身の米作曲家
ストリンドベリ（アウグスト）	August Strindberg	スウェーデン作家
スピルバーグ（スティーブン）	Steven Spielberg	米映画監督
ソルジェニーツィン（アレクサンドル）	Aleksandr Solzhenitsyn	ロシアの作家
ダビンチ（レオナルド）	Leonardo da Vinci	イタリア画家
ダリ（サルバドル）	Salvador Dali	スペイン画家
チェーホフ（アントン）	Anton Chekhov	ロシアの劇作家
チャーチル（ウィンストン）	Sir Winston Churchill	元英首相
チャプリン（チャールズ）	Charles Chaplin	英映画俳優・製作者
チンギスハン	Chinggis Khaan（成吉思汗）	モンゴル帝国初代皇帝
ツェッペリン（フェルディナント）	Ferdinand Zeppelin	ドイツ飛行船発明者
ツルゲーネフ（イワン）	Ivan Turgenev	ロシアの作家
ディートリヒ（マレーネ）	Marlene Dietrich	ドイツ出身の米映画女優
ディーン（ジェームズ）	James Dean	米映画俳優
ディケンズ（チャールズ）	Charles Dickens	英作家
ディズレーリ（ベンジャミン）	Benjamin Disraeli	元英首相
テーラー（エリザベス[リズ]）	Elizabeth Taylor	米映画女優
デュナン（アンリ）	Henri Dunant	スイスの赤十字創設者
デュビビエ（ジュリアン）	Julien Duvivier	フランス映画監督
デュマ（アレクサンドル）	Alexandre Dumas	フランス作家
トウェイン（マーク）	Mark Twain	米作家

キルケゴール（セーレン）	Sören Kierkegaard	デンマーク哲学者
キンゼー（アルフレド）	Alfred Kinsey	米性科学者・動物学者
グーテンベルク（ヨハネス）	Johannes Gutenberg	活版印刷技術発明者
クーパー（ゲーリー）	Gary Cooper	米映画俳優
クーベルタン（ピエール）	Pierre Coubertin	フランスの近代五輪創始者
グリーグ（エドバルド）	Edvard Grieg	ノルウェー作曲家
グリーン（グレアム）	Graham Greene	英作家
クリスティ（アガサ）	Agatha Christie	英推理作家
グリュミオー（アルテュール）	Arthur Grumiaux	ベルギーのバイオリニスト
ケインズ（ジョン・メイナード）	John Maynard Keynes	英経済学者
ゲーテ（ヨハン）	Johann Goethe	ドイツ詩人・作家
ゲッベルス（ヨゼフ）	Joseph Goebbels	ナチス・ドイツ宣伝相
ケネディ（ジョン）	John F. Kennedy	35代米大統領
ゴーギャン（ポール）	Paul Gauguin	フランス画家
ゴーゴリ（ニコライ）	Nikolai Gogol'	ロシアの作家
コープランド（アーロン）	Aaron Copland	米作曲家
ゴーリキー（マクシム）	Maksim Gor'kii	ロシアの作家
ゴッホ（ビンセント・バン）	Vincent van Gogh	オランダ画家
サハロフ（アンドレイ）	Andrei Sakharov	ロシアの物理学者
サルトル（ジャンポール）	Jean-Paul Sartre	フランス作家・思想家
サンサーンス（カミーユ）	Camille Saint-Saëns	フランス作曲家
サンテグジュペリ（アントワーヌ）	Antoine de Saint-Exupéry	フランス作家
ジード（アンドレ）	André Gide	フランス作家
シェークスピア（ウィリアム）	William Shakespeare	英劇作家
シェーンベルク（アーノルト）	Arnold Schönberg	オーストリア作曲家
ジェファソン（トーマス）	Thomas Jefferson	3代米大統領
シベリウス（ヤン）	Jean Sibelius	フィンランド作曲家
シャガール（マルク）	Marc Chagall	ロシア出身のフランス画家
ジャクソン（アンドルー）	Andrew Jackson	7代米大統領
ジャンヌ・ダルク	Jeanne d'Arc	フランス女性愛国者
シュトラウス（リヒャルト）	Richard Strauss	ドイツ作曲家
シュバイツァー（アルベルト）	Albert Schweitzer	アフリカで医療活動のフランス医師・神学者

外国人名表記例

表記が乱れやすい外国人名を、歴史上の人物、作家、芸術家、俳優らを中心に例示する。現役政治家は「世界年鑑」参照。

アインシュタイン（アルバート）	Albert Einstein	ドイツ出身の米理論物理学者
アウン・サン	Aung San	ミャンマー独立の英雄
アジェンデ（サルバドル）	Salvador Allende	元チリ大統領
アデナウアー（コンラート）	Konrad Adenauer	初代西ドイツ首相
アリ（ムハマド）	Muhammad Ali	米国の元ボクサー
イエーツ（ウィリアム）	William Yeats	アイルランド詩人
イプセン（ヘンリク）	Henrik Ibsen	ノルウェー劇作家
ウィリアム・テル	William Tell	スイスの伝説の英雄
ウィルソン（ウッドロー）	Woodrow Wilson	28代米大統領
ウィンザー公	Duke of Windsor	英国王エドワード8世
ウェーバー（マックス）	Max Weber	ドイツ社会学者
ウェストン（ウォルター）	Walter Weston	英登山家
ウォーホル（アンディ）	Andy Warhol	米画家
ウ・タント	U Thant	元国連事務総長（ミャンマー出身）
エバンズ（アーサー）	Arthur Evans	英考古学者
エマソン（ラルフ）	Ralph Emerson	米思想家・詩人
オッペンハイマー（ロバート）	Robert Oppenheimer	米理論物理学者
オニール（ユージン）	Eugene O'Neill	米劇作家
ガーシュイン（ジョージ）	George Gershwin	米作曲家
カピツァ（ピョートル）	Pyotr Kapitsa	ロシアの物理学者
カミュ（アルベール）	Albert Camus	フランス作家
カラヤン（ヘルベルト・フォン）	Herbert von Karajan	オーストリア指揮者
ガンジー（マハトマ）	Mahatma Gandhi	インド政治家、本名はモハンダス
カンジンスキー（ワシリ）	Vasily Kandinsky	ロシアの画家

樺太、千島の地名の書き方

【北方領土・千島列島】

列島名は「千島列島」と書く。北方領土は千島列島に含まれないという日本政府の立場と矛盾しないよう注意する。ロシア側の呼び名を書く際は「クリール諸島（北方領土と千島列島）」などとする。個々の島名、地名は次の区別をする。

1. 日本が領土権を主張しているものは漢字書きにし、必要ならば読みを付ける。
   歯舞　色丹　国後　択捉　紗那（ロシアの呼び名はクリーリスク）古釜布（ロシア名はユジノクリーリスク）
2. 領土権を主張していないものは、ロシアの呼び方を片仮名書きにし、旧日本名を丸かっこに入れる。
   シュムシュ島（占守島）パラムシル島（幌筵島）シャシコタン島（捨子古丹島）シムシル島（新知島）ウルップ島（得撫島）トコタン（床丹）

【樺太】

全島名、個々の地名いずれもロシアの呼び名を片仮名で書き、必要ならば丸かっこに漢字で旧日本名を入れる。ただし「樺太」は旧名のまま使ってもよい。

サハリン（樺太）アニワ湾（亜庭湾）ウグレゴルスク（恵須取）コルサコフ（大泊）ドリンスク（落合）モネロン島（海馬島）チュレニ島（海豹島）イリインスキー（久春内）ポロナイスク（敷香）チェルペニア湾（多来加湾）トマリ（泊居）ユジノサハリンスク（豊原）ゴルノザボツク（内幌）アニワ岬（中知床岬）クリリオン岬（西能登呂岬）ポロナイ川（幌内川）ネベリスク（本斗）ホルムスク（真岡）タタール海峡（間宮海峡）

◎ ルワンダ	Rwanda	アフリカ
【レ】		
○ レイキャビク	Reykjavik	アイスランド
レイテ島	Leyte I.	フィリピン
レークプラシッド	Lake Placid	米国
レシフェ	Recife	ブラジル
レスター	Leicester	英国
◎ レソト	Lesotho	アフリカ
レッジョディカラブリア	Reggio di Calabria	イタリア
レッジョネレミリア	Reggio nell'Emilia	イタリア
◎ レバノン	Lebanon	中東
レユニオン	Reunion	インド洋(フランス領)
【ロ】		
ローザンヌ	Lausanne	スイス
○ ローマ	Rome	イタリア
ロサリオ	Rosario	アルゼンチン
ロサンゼルス	Los Angeles	米国
◎ ロシア	Russia	欧州・アジア
ロゼッタ	Rosetta	エジプト
○ ロゾー	Roseau	ドミニカ
ロッテルダム	Rotterdam	オランダ
ロビト	Lobito	アンゴラ
ロプノル	Lop Nor	中国
○ ロメ	Lome	トーゴ
ロレーヌ	Lorraine	フランス
○ ロンドン	London	英国
ロンドンデリー	Londonderry	英国
ロンボク〈海峡、島〉	Lombok	インドネシア
【ワ】		
ワイオミング州	Wyoming : State	米国
○ ワガドゥグ	Ouagadougou	ブルキナファソ
○ ワシントン (正式名称は District of Columbia=D.C. コロンビア特別区)	Washington	米国
ワシントン州	Washington : State	米国
ワディハルファ	Wadi Halfa	スーダン
○ ワルシャワ	Warsaw	ポーランド

リエージュ	Liege	ベルギー
リエカ	Rijeka	クロアチア
リオデジャネイロ	Rio de Janeiro	ブラジル
○ リガ	Riga	ラトビア
○ リスボン	Lisbon	ポルトガル
リッチモンド	Richmond	米国
◎ リトアニア	Lithuania	欧州
リバプール	Liverpool	英国
◎ リビア	Libya	アフリカ
◎ リヒテンシュタイン	Liechtenstein	欧州
リビングストン	Livingstone	ザンビア
◎ リベリア	Liberia	アフリカ
リボルノ	Livorno	イタリア
○ リマ	Lima	ペルー
リモージュ	Limoges	フランス
○ リヤド	Riyadh	サウジアラビア
○ リュブリャナ	Ljubljana	スロベニア
リヨン	Lyon	フランス
リレハンメル	Lillehammer	ノルウェー
○ リロングウェ	Lilongwe	マラウイ
リンガエン湾	Lingayen Gulf	フィリピン
リンツ	Linz	オーストリア

【ル】

ルアーブル	Le Havre	フランス
○ ルアンダ	Luanda	アンゴラ
ルアンプラバン	Luang Prabang	ラオス
ルイビル	Louisville	米国
ルイビンスク	Rybinsk	ロシア
ルーアン	Rouen	フランス
◎ ルーマニア	Romania	欧州
ルガンスク	Lugansk	ウクライナ
◎ ルクセンブルク	Luxembourg	欧州
ルクソール	Luxor	エジプト
○ ルサカ	Lusaka	ザンビア
ルソン島	Luzon I.	フィリピン
ルブンバシ	Lubumbashi	コンゴ（旧ザイール）

○ モンロビア	Monrovia	リベリア
【ヤ】		
○ ヤウンデ	Yaounde	カメルーン
ヤクーツク	Yakutsk	ロシア
○ ヤムスクロ	Yamoussoukro	コートジボワール
ヤンゴン（旧ラングーン）	Yangon	ミャンマー
【ユ】		
ユーコン川	Yukon R.	カナダ・アラスカ
ユーフラテス川	Euphrates R.	トルコ・シリア・イラク
ユカタン半島	Yucatan Pen.	メキシコ
ユタ州	Utah : State	米国
ユングフラウ〈山〉	Jungfrau	スイス
【ヨ】		
ヨークシャー	Yorkshire	英国
ヨハネスブルク	Johannesburg	南アフリカ共和国
◎ ヨルダン	Jordan	中東
【ラ】		
ライデン	Leiden	オランダ
ライプチヒ	Leipzig	ドイツ
ラインラント	Rheinland	ドイツ
◎ ラオス	Laos	東南アジア
ラゴス	Lagos	ナイジェリア
ラサ	Lhasa	チベット
ラスベガス	Las Vegas	米国
◎ ラトビア	Latvia	欧州
ラパス	La Paz	ボリビア
○ ラバト	Rabat	モロッコ
ラプラタ	La Plata	アルゼンチン
ラホール	Lahore	パキスタン
ラワルピンディ	Rawalpindi	パキスタン
ランカシャー	Lancashire	英国
ランソン	Lang Song	ベトナム
【リ】		
リーズ	Leeds	英国
○ リーブルビル	Libreville	ガボン
リール	Lille	フランス

ムルロア環礁	Mururoa Atoll	オセアニア（フランス領）
ムンバイ（旧ボンベイ）	Mumbai	インド
【メ】		
メーン州	Maine : State	米国
◎メキシコ	Mexico	中米
○メキシコ市	Mexico City	メキシコ
メクネス	Meknes	モロッコ
メッカ	Mecca	サウジアラビア
メデジン	Medellin	コロンビア
メルボルン	Melbourne	オーストラリア
メンドサ	Mendoza	アルゼンチン
【モ】		
◎モーリシャス	Mauritius	インド洋
◎モーリタニア	Mauritania	アフリカ
モカ	Mocha	イエメン
○モガディシオ	Mogadishu	ソマリア
◎モザンビーク	Mozambique	アフリカ
モシ	Moshi	タンザニア
○モスクワ	Moscow	ロシア
モスル	Mosul	イラク
◎モナコ	Monaco	欧州
モラビア	Moravia	チェコ
モルッカ海峡	Moluccas, Str. of	インドネシア
◎モルディブ	Maldives	インド洋
◎モルドバ	Moldova	欧州
◎モロッコ	Morocco	アフリカ
○モロニ	Moroni	コモロ
◎モンゴル	Mongolia	アジア
モンテカルロ	Monte Carlo	モナコ
◎モンテネグロ	Montenegro	欧州
○モンテビデオ	Montevideo	ウルグアイ
モンテレイ	Monterrey	メキシコ
モントピリア	Montpelier	米国
モントリオール	Montreal	カナダ
モンバサ	Mombasa	ケニア
モンペリエ	Montpellier	フランス

◎ マラウイ	Malawi	アフリカ
マラケシュ	Marrakech	モロッコ
マラッカ海峡	Malacca, Str. of	東南アジア
○ マラボ	Malabo	赤道ギニア
マランジェ	Malanje	アンゴラ
◎ マリ	Mali	アフリカ
マリウポリ	Mariupol	ウクライナ
○ マルキョク	Melekeok	パラオ
マルク〈諸島、州〉	Maluku (マルク諸島は Moluccas とも)	インドネシア
マルセイユ	Marseille	フランス
◎ マルタ	Malta	地中海
マルティニク	Martinique	カリブ海(フランス領)
○ マレ	Male	モルディブ
◎ マレーシア	Malaysia	東南アジア
マンダレー	Mandalay	ミャンマー
マンチェスター	Manchester	英国
【ミ】		
◎ ミクロネシア連邦	Micronesia	オセアニア
ミシガン州	Michigan : State	米国
ミシシッピ州	Mississippi : State	米国
ミズーリ州	Missouri : State	米国
ミッドウェー諸島	Midway Is.	北太平洋（米領）
◎ 南アフリカ共和国	Republic of South Africa	アフリカ
◎ 南スーダン	South Sudan	アフリカ
◎ ミャンマー（旧ビルマ）	Myanmar	東南アジア
ミュンヘン	Munich	ドイツ
ミラノ	Milan	イタリア
ミルウォーキー	Milwaukee	米国
○ ミンスク	Minsk	ベラルーシ
ミンダナオ島	Mindanao I.	フィリピン
ミンドロ島	Mindoro I.	フィリピン
【ム】		
○ ムババーネ	Mbabane	スワジランド
ムバンダカ	Mbandaka	コンゴ（旧ザイール）

ボルゴグラード	Volgograd	ロシア
ボルティモア	Baltimore	米国
ボルドー	Bordeaux	フランス
○ ポルトープランス	Port-au-Prince	ハイチ
◎ ポルトガル	Portugal	欧州
○ ポルトノボ	Porto-Novo	ベナン
ボルネオ島（インドネシア名カリマンタン島）	Borneo I.	マレーシア、ブルネイ
ホルムズ海峡	Hormuz, Str. of	中東
ボローニャ	Bologna	イタリア
ホロ島	Jolo I.	フィリピン
ボロネジ	Voronezh	ロシア
ポワントノワール	Pointe-Noire	コンゴ共和国
ボン	Bonn	ドイツ
◎ ホンジュラス	Honduras	中米
ポンペイ島	Pohnpei I.	ミクロネシア連邦

【マ】

◎ マーシャル諸島	Marshall Is.	オセアニア
マカオ	Macao	中国
マカッサル〈海峡〉	Makassar	インドネシア
◎ マケドニア	Macedonia	欧州
マサチューセッツ州	Massachusetts : State	米国
マシャド	Mashhad	イラン
○ マジュロ	Majuro	マーシャル諸島
マジョルカ（マヨルカとも）島	Mallorca I.	スペイン
○ マスカット	Muscat	オマーン
マゼラン海峡	Magellan, Str. of	南米南端
○ マセル	Maseru	レソト
◎ マダガスカル	Madagascar	アフリカ
マッターホルン	Matterhorn	イタリア・スイス国境の山
○ マドリード	Madrid	スペイン
○ マナグア	Managua	ニカラグア
○ マナマ	Manama	バーレーン
○ マニラ	Manila	フィリピン
○ マプト	Maputo	モザンビーク

ベレン	Belem	ブラジル
ベロオリゾンテ	Belo Horizonte	ブラジル
ベンガジ	Benghazi	リビア
ベンガル湾	Bengal, Bay of	アジア
ベンゲラ	Benguela	アンゴラ
ペンシルベニア州	Pennsylvania : State	米国
ヘント	Ghent	ベルギー
【ホ】		
ホイットニー山	Whitney, M.	米国
ホーチミン（旧サイゴン）	Ho Chi Minh	ベトナム
ポーツマス	Portsmouth	英国、米国
ポートエリザベス	Port Elizabeth	南アフリカ共和国
○ ポートオブスペイン	Port of Spain	トリニダード・トバゴ
ポートサイド	Port Said	エジプト
○ ポートビラ	Port Vila	バヌアツ
○ ポートモレスビー	Port Moresby	パプアニューギニア
○ ポートルイス	Port Louis	モーリシャス
◎ ポーランド	Poland	欧州
ボーンホルム島	Bornholm I.	デンマーク
○ ボゴタ	Bogota	コロンビア
ポズナニ	Poznan	ポーランド
◎ ボスニア・ヘルツェゴビナ	Bosnia and Herzegovina	欧州
ボスニア湾	Bothnia, Gulf of	スウェーデンとフィンランドの間
ポツダム	Potsdam	ドイツ
◎ ボツワナ	Botswana	アフリカ
ホデイダ	Hodeida	イエメン
○ ポドゴリツァ	Podgorica	モンテネグロ
○ ホニアラ	Honiara	ソロモン諸島
ホノルル	Honolulu	ハワイ
ホバート	Hobart	オーストラリア
ボヘミア	Bohemia	チェコ
ホムス	Homs	シリア
ホラムシャハル	Khorramshahr	イラン
◎ ボリビア	Bolivia	南米

ブローニュ	Boulogne	パリ
プロブディフ	Plovdiv	ブルガリア

【ヘ】

ベイダ	Beida	リビア
ベイラ	Beira	モザンビーク
○ ベイルート	Beirut	レバノン
○ ベオグラード	Belgrade	セルビア
ベカー〈平原〉	Bekaa	レバノン
ペシャワル	Peshawar	パキスタン
ベズビオ〈山〉	Vesuvius	イタリア
ベスレヘム	Bethlehem	米国
ヘッセン州	Hesse : State	ドイツ
ベツレヘム	Bethlehem	ヨルダン川西岸
◎ ベトナム	Vietnam	東南アジア
ペトロザボーツク	Petrozavodsk	ロシア
ペトロパブロフスク	Petropavlovsk	カザフスタン
ペトロパブロフスクカムチャツキー	Petropavlovsk-Kamchatsky	ロシア
◎ ベナン	Benin	アフリカ
◎ ベネズエラ	Venezuela	南米
ベネチア	Venice	イタリア
ヘラート	Herat	アフガニスタン
ベラクルス	Veracruz	メキシコ
◎ ベラルーシ	Belarus	欧州
◎ ベリーズ	Belize	中米
◎ ペルー	Peru	南米
◎ ベルギー	Belgium	欧州
ベルゲン	Bergen	ノルウェー
ベルサイユ	Versailles	フランス
ペルシャ湾	Persian Gulf	中東
○ ヘルシンキ	Helsinki	フィンランド
ベルファスト	Belfast	英国
ベルベラ	Berbera	ソマリア
○ ベルモパン	Belmopan	ベリーズ
○ ベルリン	Berlin	ドイツ
○ ベルン	Bern	スイス

○ フナフティ	Funafuti	ツバル
○ プノンペン	Phnom Penh	カンボジア
○ プライア	Praia	カボベルデ
ブラゴベシチェンスク	Blagoveshchensk	ロシア
○ ブラザビル	Brazzaville	コンゴ共和国
○ ブラジリア	Brasilia	ブラジル
◎ ブラジル	Brazil	南米
○ ブラチスラバ	Bratislava	スロバキア
○ プラハ	Prague	チェコ
ブラワヨ	Bulawayo	ジンバブエ
◎ フランス	France	欧州
○ フリータウン	Freetown	シエラレオネ
○ プリシュティナ	Pristina	コソボ
ブリスベン	Brisbane	オーストラリア
○ ブリッジタウン	Bridgetown	バルバドス
プリマス	Plymouth	英国
フリマントル	Fremantle	オーストラリア
○ ブリュッセル	Brussels	ベルギー
ブルームフォンテーン	Bloemfontein	南アフリカ共和国
ブルガス	Burgas	ブルガリア
◎ ブルガリア	Bulgaria	欧州
◎ ブルキナファソ	Burkina Faso	アフリカ
プルゼニ（ドイツ語名ピルゼン）	Plzen(Pilsen)	チェコ
ブルタバ川（ドイツ語名モルダウ川）	Vltava(Moldau) R.	チェコ
ブルックリン	Brooklyn	米国
◎ ブルネイ	Brunei	東南アジア
◎ ブルンジ	Burundi	アフリカ
プレーク	Pleiku	ベトナム
ブレーメン	Bremen	ドイツ
ブレスト	Brest	フランス
○ プレトリア	Pretoria	南アフリカ共和国
プロイセン	Prussia	旧王国名、ドイツとポーランドの北部地域
プロエシュティ	Ploiesti	ルーマニア
ブロードウェー	Broadway	ニューヨーク

○ ビサウ	Bissau	ギニアビサウ
ビシー	Vichy	フランス
○ ビシケク	Bishkek	キルギス
ビスケー湾	Biscay, Bay of	フランス・スペイン
ビゼルト	Bizerte	チュニジア
ヒューストン	Houston	米国
ヒューロン湖	Huron, L.	米国・カナダ間
○ ビリニュス	Vilnius	リトアニア
ビルバオ	Bilbao	スペイン
ヒロ	Hilo	ハワイ
ヒンズークシ山脈	Hindu Kush Mts.	アフガニスタン
【フ】		
○ ファドゥーツ	Vaduz	リヒテンシュタイン
◎ フィジー	Fiji	オセアニア
フィラデルフィア	Philadelphia	米国
◎ フィリピン	Philippines	東南アジア
フィレンツェ	Florence	イタリア
◎ フィンランド	Finland	欧州
ブーゲンビル島	Bougainville I.	パプアニューギニア
◎ ブータン	Bhutan	アジア
フエ	Hue	ベトナム
フエゴ島	Fuego I.	アルゼンチン・チリ
フェス	Fez	モロッコ
○ ブエノスアイレス	Buenos Aires	アルゼンチン
プエルトプリンセサ	Puerto Princesa	フィリピン
◎ プエルトリコ	Puerto Rico	カリブ海（米自治領）
フォークランド諸島	Falkland Is.	南大西洋（英領）
フォルタレザ	Fortaleza	ブラジル
フォンテンブロー	Fontainebleau	フランス
ブカブ	Bukavu	コンゴ（旧ザイール）
○ ブカレスト	Bucharest	ルーマニア
ブシェール	Bushehr	イラン
○ ブジュンブラ	Bujumbura	ブルンジ
フゼスタン〈州〉	Khuzestan	イラン
○ ブダペスト	Budapest	ハンガリー
プナカ	Punakha	ブータン

○ パリキール	Palikir	ミクロネシア連邦
ハリコフ	Kharkiv	ウクライナ
バリ島	Bali I.	インドネシア
ハリファクス	Halifax	カナダ
ハルゲイサ	Hargeisa	ソマリア
バルセロナ	Barcelona	スペイン
○ ハルツーム	Khartoum	スーダン
バルト海	Baltic Sea	ロシア・バルト3国・スウェーデンなどの間
◎ バルバドス	Barbados	カリブ海
バルパライソ	Valparaiso	チリ
ハルビン	Harbin	中国
パレスチナ	Palestine	中東
○ バレッタ	Valletta	マルタ
バレンシア	Valencia	スペイン
ハロン〈湾〉	Halong	ベトナム
ハワイ州	Hawaii : State	米国
◎ ハンガリー	Hungary	欧州
○ バンギ	Bangui	中央アフリカ
バンクーバー	Vancouver	カナダ
◎ バングラデシュ	Bangladesh	アジア
○ バンコク	Bangkok	タイ
○ バンジュール	Banjul	ガンビア
バンダルアバス	Bandar Abbas	イラン
○ バンダルスリブガワン	Bandar Seri Begawan	ブルネイ
バンダルホメイニ	Bandar Khomeini	イラン
バンドン	Bandung	インドネシア
ハンブルク	Hamburg	ドイツ
【ヒ】		
ビーグル水道	Beagle, Channel	チリ・アルゼンチンの間
ビール	Biel	スイス
○ ビエンチャン	Vientiane	ラオス
◎ 東ティモール	East Timor	東南アジア
ビキニ環礁	Bikini Atoll	マーシャル諸島
○ ビクトリア	Victoria	セーシェル

○ バクー	Baku	アゼルバイジャン
○ バグダッド	Baghdad	イラク
バスチーユ	Bastille	パリ
○ バステール	Basseterre	セントクリストファー・ネビス
○ バステール	Basse Terre	グアドループ
バスラ	Basra	イラク
バターン〈半島、州〉	Bataan	フィリピン
バタンバン	Battambang	カンボジア
◎ バチカン（市国）	Vatican	欧州
バトゥーミ	Batumi	ジョージア
ハドソン川	Hudson R.	米国
パドバ	Padua	イタリア
◎ パナマ	Panama	中米
○ パナマ市	Panama City	パナマ
◎ バヌアツ	Vanuatu	オセアニア
○ ハノイ	Hanoi	ベトナム
ハノーバー	Hanover	ドイツ
○ ハバナ	Havana	キューバ
◎ バハマ〈諸島〉	Bahamas	カリブ海
ハバロフスク	Khabarovsk	ロシア
パプア州	Papua	インドネシア
◎ パプアニューギニア	Papua New Guinea	オセアニア
バファロー	Buffalo	米国
バフィン島	Baffin I.	カナダ
バベルマンデブ海峡	Bab el Mandeb	紅海入り口
○ ハボローネ	Gaborone	ボツワナ
○ バマコ	Bamako	マリ
ハマダン	Hamadan	イラン
バミューダ諸島	Bermuda Is.	北大西洋（英領）
◎ パラオ	Palau	オセアニア
◎ パラグアイ	Paraguay	南米
○ パラマリボ	Paramaribo	スリナム
○ ハラレ	Harare	ジンバブエ
パラワン島	Palawan I.	フィリピン
○ パリ	Paris	フランス
ハリウッド	Hollywood	米国

【ネ】

ネグロス島	Negros I.	フィリピン
◎ネパール	Nepal	アジア
ネバダ州	Nevada : State	米国
○ネピドー	Naypyitaw	ミャンマー

【ノ】

ノーサンプトン	Northampton	英国
ノースカロライナ州	North Carolina : State	米国
ノーススロープ	North Slope	アラスカ
ノースダコタ州	North Dakota : State	米国
ノバスコシア州	Nova Scotia : State	カナダ
ノバヤゼムリャ島	Novaya Zemlya I.	ロシア
ノボシビルスク	Novosibirsk	ロシア
◎ノルウェー	Norway	欧州
ノルマンディー	Normandy	フランス

【ハ】

ハーグ	The Hague	オランダ
バークリー	Berkeley	米国
パース	Perth	オーストラリア
バーゼル	Basel	スイス
バーミンガム	Birmingham	英国
バーミングハム	Birmingham	米国
バーモント州	Vermont : State	米国
◎バーレーン	Bahrain	中東
バイエルン州	Bavaria : State (サッカーなどでは Bayern も)	ドイツ
バイコヌール	Baikonur	カザフスタン
◎ハイチ	Haiti	カリブ海
ハイデラバード	Hyderabad	インド、パキスタン
ハイデルベルク	Heidelberg	ドイツ
ハイファ	Haifa	イスラエル
ハイフォン	Haiphong	ベトナム
ハガニャ（旧アガナ）	Hagatna	グアム
バギオ	Baguio	フィリピン
◎パキスタン	Pakistan	アジア

ナポリ	Naples (サッカーなどでは Napoli も)	イタリア
◎ナミビア	Namibia	アフリカ
ナルビク	Narvik	ノルウェー
ナント	Nantes	フランス
【ニ】		
○ニアメー	Niamey	ニジェール
ニース	Nice	フランス
◎ニウエ	Niue	オセアニア
◎ニカラグア	Nicaragua	中米
○ニコシア	Nicosia	キプロス
ニコラエフスクナアムーレ	Nikolaevsk na Amure	ロシア
西インド諸島	West Indies	カリブ海
◎ニジェール	Niger	アフリカ
西サハラ	Western Sahara	アフリカ
ニジニーノブゴロド	Nizhni Novgorod	ロシア
ニャチャン	Nha Trang	ベトナム
ニューオーリンズ	New Orleans	米国
ニューカッスル	Newcastle	英国
◎ニューカレドニア	New Caledonia	オセアニア（フランス領）
ニューギニア島	New Guinea I.	オセアニア
◎ニュージーランド	New Zealand	オセアニア
ニュージャージー州	New Jersey : State	米国
○ニューデリー	New Delhi	インド
ニューハンプシャー州	New Hampshire : State	米国
ニューファンドランド〈島〉	Newfoundland	カナダ
ニューヨーク〈州〉	New York	米国
ニュルンベルク	Nuremberg	ドイツ
【ヌ】		
○ヌアクショット	Nouakchott	モーリタニア
○ヌーク（旧ゴットホープ）	Nuuk	グリーンランド
○ヌクアロファ	Nuku'alofa	トンガ
○ヌジャメナ	N'Djamena	チャド
ヌビア砂漠	Nubian Desert	スーダン
○ヌメア	Noumea	ニューカレドニア

◎ トーゴ	Togo	アフリカ
○ ドーハ	Doha	カタール
ドーバー海峡	Dover, Str. of	英国・フランス間
トスカーナ	Tuscany	イタリア
○ ドドマ	Dodoma	タンザニア
ドナウ川	Danube R.	ドイツ南部に発し黒海に注ぐ
ドニエプル〈川〉	Dnepr (Dnieper とも)	ウクライナ
ドニエプロペトロフスク	Dnipropetrovsk	ウクライナ
ドバイ	Dubai	アラブ首長国連邦
○ トビリシ	Tbilisi	ジョージア
トブルク	Tobruk	リビア
ドブロブニク	Dubrovnik	クロアチア
トベリ	Tver	ロシア
◎ ドミニカ	Commonwealth of Dominica	カリブ海
◎ ドミニカ共和国	Dominican Republic	カリブ海
トランシルバニア	Transylvania	ルーマニア
トリエステ	Trieste	イタリア
◎ トリニダード・トバゴ	Trinidad and Tobago	カリブ海
トリノ	Turin (サッカーなどでは Torino も)	イタリア
○ トリポリ	Tripoli	リビア
トリポリ	Tripoli	レバノン
トリンコマリー	Trincomalee	スリランカ
◎ トルクメニスタン	Turkmenistan	中央アジア
◎ トルコ	Turkey	中東
ドレスデン	Dresden	ドイツ
◎ トンガ	Tonga	オセアニア
トンレサップ〈湖、川〉	Tonle Sap	カンボジア
【ナ】		
◎ ナイジェリア	Nigeria	アフリカ
○ ナイロビ	Nairobi	ケニア
◎ ナウル	Nauru	オセアニア
○ ナッソー	Nassau	バハマ
ナバホ〈山〉	Navajo	米国
ナホトカ	Nakhodka	ロシア

【テ】

ティール	Tyre	レバノン
ディエゴガルシア	Diego Garcia	インド洋（英領）
ディエンビエンフー	Dien Bien Phu	ベトナム
ティティカカ湖	Titicaca, L.	ペルー・ボリビア
ティフアナ	Tijuana	メキシコ
ティボリ	Tivoli	イタリア
ティミショアラ	Timisoara	ルーマニア
○ティラナ	Tirana	アルバニア
○ディリ	Dili	東ティモール
ティレニア海	Tyrrhenian Sea	地中海
○ティンプー	Thimphu	ブータン
テキサス州	Texas : State	米国
○テグシガルパ	Tegucigalpa	ホンジュラス
デズフル	Dezful	イラン
テトゥアン	Tetouan	モロッコ
デナリ〈国立公園、山〉	Denali	アラスカ
デブレツェン	Debrecen	ハンガリー
○テヘラン	Tehran	イラン
テムズ川	Thames R.	英国
デモイン	Des Moines	米国
デュイスブルク	Duisburg	ドイツ
デュッセルドルフ	Dusseldorf	ドイツ
デラウェア州	Delaware : State	米国
テルアビブ	Tel Aviv	イスラエル
デンパサール	Denpasar	バリ島（インドネシア）
◎デンマーク	Denmark	欧州

【ト】

◎ドイツ	Germany	欧州
ドゥアラ	Douala	カメルーン
トゥーソン	Tucson	米国
トゥール	Tours	フランス
トゥールーズ	Toulouse	フランス
トゥーロン	Toulon	フランス
○ドゥシャンベ	Dushanbe	タジキスタン
トゥルク	Turku	フィンランド

ダフラ	Dakhla	西サハラ
タブリーズ	Tabriz	イラン
○ ダブリン	Dublin	アイルランド
○ ダマスカス	Damascus	シリア
ダラス	Dallas	米国
ダラト	Dalat	ベトナム
ダラム	Durham	英国
○ タラワ	Tarawa	キリバス
○ タリン	Tallinn	エストニア
ダルース	Duluth	米国
ダルエスサラーム	Dar es Salaam	タンザニア
ダルムシュタット	Darmstadt	ドイツ
タンガニーカ	Tanganyika	タンザニア
◎ タンザニア	Tanzania	アフリカ
タンジール	Tangier	モロッコ
タンペレ	Tampere	フィンランド
タンルウィン川（旧サルウィン川）	Thanlwin R.	ミャンマー・中国

【チ】

◎ チェコ	Czech Republic	欧州
チェチェン	Chechnya	ロシア
チェリャビンスク	Chelyabinsk	ロシア
チェンナイ（旧マドラス）	Chennai	インド
チグリス川	Tigris R.	トルコ・イラク
チッタゴン	Chittagong	バングラデシュ
チベット	Tibet	中国
チャタヌーガ	Chattanooga	米国
◎ チャド	Chad	アフリカ
◎ 中央アフリカ	Central African Republic	アフリカ
チューリヒ	Zurich	スイス
◎ チュニジア	Tunisia	アフリカ
○ チュニス	Tunis	チュニジア
◎ チリ	Chile	南米

【ツ】

◎ ツバル	Tuvalu	オセアニア

◎セルビア	Serbia	欧州
◎セントクリストファー・ネビス	St. Christopher and Nevis (St. Kitts and Nevis とも)	カリブ海
○セントジョージズ	St. George's	グレナダ
○セントジョンズ	St. John's	アンティグア・バーブーダ
◎セントビンセント・グレナディーン	St. Vincent and the Grenadines	カリブ海
セントヘレナ島	St. Helena I.	南大西洋（英領）
◎セントルシア	Saint Lucia	カリブ海
【ソ】		
ソウェト	Soweto	南アフリカ共和国
○ソウル	Seoul	韓国
ゾーリンゲン	Solingen	ドイツ
ソチ	Sochi	ロシア
○ソフィア	Sofia	ブルガリア
◎ソマリア	Somalia	アフリカ
ソルトレークシティー	Salt Lake City	米国
◎ソロモン諸島	Solomon Is.	オセアニア
【タ】		
ダーウィン	Darwin	オーストラリア
ダージリン	Darjeeling	インド
ダーダネルス〈海峡〉	Dardanelles	トルコ
ダーバン	Durban	南アフリカ共和国
◎タイ	Thailand	東南アジア
大アンティル諸島	Greater Antilles	西インド諸島
タインホア	Thanh Hoa	ベトナム
○ダカール	Dakar	セネガル
タクロバン	Tacloban	フィリピン
◎タジキスタン	Tajikistan	中央アジア
○タシケント	Tashkent	ウズベキスタン
タスマニア	Tasmania	オーストラリア
○ダッカ	Dhaka	バングラデシュ
ダナン	Danang	ベトナム
ダバオ	Davao	フィリピン
タヒチ〈島〉	Tahiti	オセアニア（フランス領）

◎ スーダン	Sudan	アフリカ
スービック	Subic	フィリピン
スカンディナビア	Scandinavia	北欧
スキャグウェー	Skagway	米国
○ スクレ	Sucre	ボリビア
○ スコピエ	Skopje	マケドニア
○ ストックホルム	Stockholm	スウェーデン
ストラスブール	Strasbourg	フランス
○ スバ	Suva	フィジー
スバルバル諸島	Svalbard Is.	北極海(ノルウェー領)
スピッツベルゲン島	Spitsbergen I.	北極海(ノルウェー領)
◎ スペイン	Spain	欧州
スヘベニンゲン	Scheveningen	オランダ
スペリオル湖	Superior, L.	米国・カナダの国境
スボティツァ	Subotica	セルビア
スモレンスク	Smolensk	ロシア
スラウェシ〈島〉	Sulawesi	インドネシア
スリガオ	Surigao	フィリピン
○ スリジャヤワルデネプラ・コッテ	Sri Jayawardenepura Kotte	スリランカ
スリナガル	Srinagar	カシミール
◎ スリナム	Suriname	南米
◎ スリランカ	Sri Lanka	アジア
◎ スロバキア	Slovakia	欧州
◎ スロベニア	Slovenia	欧州
◎ スワジランド	Swaziland	アフリカ
スワトー	Shantou (Swatow とも)	中国

【セ】

◎ セーシェル	Seychelles	インド洋
◎ 赤道ギニア	Equatorial Guinea	アフリカ
セゲド	Szeged	ハンガリー
◎ セネガル	Senegal	アフリカ
セバストポリ	Sevastopol	クリミア半島
セビリア	Seville	スペイン
セブ〈島、市〉	Cebu	フィリピン

シカゴ	Chicago	米国
シチリア〈島〉	Sicily	イタリア
ジッダ	Jeddah	サウジアラビア
シドニー	Sydney	オーストラリア
シナイ半島	Sinai Pen.	中東
◎ジブチ	Djibouti	アフリカ
ジブラルタル	Gibraltar	イベリア半島（英領）
シベリア	Siberia	ロシア・極東
○ジャカルタ	Jakarta	インドネシア
ジャクソンビル	Jacksonville	米国
シャトルアラブ〈川〉	Shatt al Arab	イラク
ジャフナ	Jaffna	スリランカ
◎ジャマイカ	Jamaica	カリブ海
ジャララバード	Jalalabad	アフガニスタン
シャルルロワ	Charleroi	ベルギー
ジャワ〈島〉	Java	インドネシア
シャンゼリゼ	Champs-Elysees	パリ
シュツットガルト	Stuttgart	ドイツ
ジュネーブ	Geneva	スイス
ジュノー	Juneau	米国
○ジュバ	Juba	南スーダン
小アンティル諸島	Lesser Antilles	西インド諸島
◎ジョージア（グルジア）	Georgia	西アジア
ジョージア州	Georgia : State	米国
○ジョージタウン	Georgetown	ガイアナ
○ジョージタウン	George Town	ケイマン諸島
ジョクジャカルタ	Yogyakarta	インドネシア
ジョホール水道	Johor, Str. of	西マレーシア・シンガポールの間
シラーズ	Shiraz	イラン
◎シリア	Syria	中東
◎シンガポール	Singapore	東南アジア
シンシナティ	Cincinnati	米国
◎ジンバブエ	Zimbabwe	アフリカ
【ス】		
◎スイス	Switzerland, Swiss	欧州
◎スウェーデン	Sweden	欧州

◎サモア	Samoa	オセアニア
○サラエボ	Sarajevo	ボスニア・ヘルツェゴビナ
ザルツブルク	Salzburg	オーストリア
サルデーニャ〈島〉	Sardinia	イタリア
サンクトペテルブルク(旧レニングラード)	St. Petersburg	ロシア
○サンサルバドル	San Salvador	エルサルバドル
ザンジバル	Zanzibar	タンザニア
サンタフェ	Santa Fe	アルゼンチン、米国
○サンティアゴ	Santiago	チリ
サンティアゴ・デ・コンポステラ	Santiago de Compostela	スペイン
サンディエゴ	San Diego	米国
サンテティエンヌ	Saint-Etienne	フランス
○サントドミンゴ	Santo Domingo	ドミニカ共和国
サンドニ	Saint-Denis	フランス
○サントメ	Sao Tome	サントメ・プリンシペ
◎サントメ・プリンシペ	Sao Tome and Principe	アフリカ
サンノゼ	San Jose	米国
サンパウロ	Sao Paulo	ブラジル
◎ザンビア	Zambia	アフリカ
○サンフアン	San Juan	プエルトリコ
サンフランシスコ	San Francisco	米国
サンボアンガ	Zamboanga	フィリピン
○サンホセ	San Jose	コスタリカ
◎サンマリノ	San Marino	欧州
サンルイ	Saint-Louis	セネガル
【シ】		
シアトル	Seattle	米国
シアヌークビル(旧コンポンソム)	Sihanoukville	カンボジア
ジェノバ	Genoa	イタリア
シェフィールド	Sheffield	英国
シエラネバダ山脈	Sierra Nevada	米国
◎シエラレオネ	Sierra Leone	アフリカ

◎ コソボ	Kosovo	欧州
コタキナバル	Kota Kinabalu	マレーシア
○ コナクリ	Conakry	ギニア
コネティカット州	Connecticut : State	米国
○ コペンハーゲン	Copenhagen	デンマーク
コム	Qom	イラン
◎ コモロ	Comoros	アフリカ
コラート高原	Khorat Plat.	タイ
コラ半島	Kola Pen.	ロシア
ゴラン高原	Golan Heights	中東
コルカタ（旧カルカッタ）	Kolkata	インド
コルティナダンペッツォ	Cortina d'Ampezzo	イタリア
コルドバ	Cordoba	アルゼンチン、スペイン
コレヒドール島	Corregidor I.	フィリピン
コロール	Koror	パラオ
◎ コロンビア	Colombia	南米
コロンビア〈川、都市〉	Columbia	カナダ、米国
コロンボ	Colombo	スリランカ
◎ コンゴ（旧ザイール）	Democratic Republic of Congo	アフリカ
◎ コンゴ共和国	Republic of Congo	アフリカ

【サ】

ザイオン〈国立公園、峡谷〉	Zion	米国
サイダ	Saida	レバノン
サイパン島	Saipan I.	北マリアナ諸島
サウサンプトン	Southampton	英国
◎ サウジアラビア	Saudi Arabia	中東
サウスカロライナ州	South Carolina : State	米国
サウスダコタ州	South Dakota : State	米国
ザクセン	Saxony	ドイツ
○ ザグレブ	Zagreb	クロアチア
サスカチワン〈州、川〉	Saskatchewan	カナダ
○ サヌア	Sanaa	イエメン
サバナ	Savannah	米国
サマラ	Samara	ロシア
サマラ	Samarra	イラク

グラーツ	Graz	オーストリア
クライストチャーチ	Christchurch	ニュージーランド
クラクフ	Krakow	ポーランド
グラスゴー	Glasgow	英国
クラスノダール	Krasnodar	ロシア
クリーブランド	Cleveland	米国
グリーンランド	Greenland	北極圏（デンマーク領）
クリシュナ〈川〉	Krishna	インド
クリチバ	Curitiba	ブラジル
グリニッジ	Greenwich	英国
グリニッチビレッジ	Greenwich Village	米国
クルージュナポカ	Cluj-Napoca	ルーマニア
(旧)グルジア (2015年ジョージアに変更)	Gruziya	西アジア
グルノーブル	Grenoble	フランス
◎グレナダ	Grenada	カリブ海
◎クロアチア	Croatia	欧州
【ケ】		
ケイマン諸島	Cayman Is.	カリブ海（英領）
ケープカナベラル	Cape Canaveral	米国
ケープタウン	Cape Town	南アフリカ共和国
ケソン	Quezon	フィリピン
ゲッティンゲン	Gottingen	ドイツ
ゲティズバーグ	Gettysburg	米国
◎ケニア	Kenya	アフリカ
ケベック〈州〉	Quebec	カナダ
ケムニッツ	Chemnitz	ドイツ
ケルマン	Kerman	イラン
ケルマンシャー	Kermanshah	イラン
ケルン	Cologne	ドイツ
ケンタッキー州	Kentucky : State	米国
ケンブリッジ	Cambridge	英国
【コ】		
◎コートジボワール	Ivory Coast	アフリカ
コーンワル〈半島〉	Cornwall	英国
◎コスタリカ	Costa Rica	中米

◎ ギニアビサウ	Guinea-Bissau	アフリカ
◎ キプロス	Cyprus	地中海
キャンディ	Kandy	スリランカ
キャンプデービッド	Camp David	米国
○ キャンベラ	Canberra	オーストラリア
◎ キューバ	Cuba	カリブ海
キュラソー	Curacao	カリブ海(オランダ領)
キラウエア〈山〉	Kilauea	ハワイ
◎ ギリシャ	Greece	欧州
◎ キリバス	Kiribati	南太平洋
◎ キルギス	Kyrgyz	中央アジア
キルクーク	Kirkuk	イラク
○ キングスタウン	Kingstown	セントビンセント・グレナディーン
○ キングストン	Kingston	ジャマイカ
○ キンシャサ	Kinshasa	コンゴ（旧ザイール）
キンバリー	Kimberley	南アフリカ共和国

【ク】

◎ グアテマラ	Guatemala	中米
○ グアテマラ市	Guatemala City	グアテマラ
グアドループ	Guadeloupe	カリブ海(フランス領)
グアム島	Guam I.	マリアナ諸島（米領）
○ クアラルンプール	Kuala Lumpur	マレーシア
クアンガイ	Quang Ngai	ベトナム
グアンタナモ	Guantanamo	キューバ
クイーンズランド	Queensland	オーストラリア
クイニョン	Qui Nhon	ベトナム
◎ クウェート	Kuwait	中東
○ クウェート市	Kuwait City	クウェート
クスコ	Cuzco	ペルー
クズネツク	Kuznetsk	ロシア
グダニスク	Gdansk	ポーランド
クチン	Kuching	マレーシア
◎ クック諸島	Cook Is.	オセアニア
グディニア	Gdynia	ポーランド
クネイトラ	Quneitra	シリア

カラチ	Karachi	パキスタン
カラハリ砂漠	Kalahari Des.	アフリカ
カリーニングラード	Kaliningrad	ロシア
カリフォルニア州	California : State	米国
カリブ海	Caribbean Sea	西インド諸島と中米地峡、南米北岸の間の海域
カリマンタン〈島〉(マレーシア名ボルネオ島)	Kalimantan	インドネシア
カルガリー	Calgary	カナダ
カルティエラタン	Quartier Latin	パリ
カルパチア山脈	Carpathian Mts.	東欧
カルバラ	Karbala	イラク
カルロビバリ	Karlovy Vary	チェコ
カレー	Calais	フランス
カンクン	Cancun	メキシコ
カンザスシティー	Kansas City	米国
カンダハル	Kandahar	アフガニスタン
カンチェンジュンガ〈山〉	Kanchenjunga	ヒマラヤ
ガントク	Gangtok	インド
カンヌ	Cannes	フランス
カンパニア〈州、地方〉	Campania	イタリア
○ カンパラ	Kampala	ウガンダ
◎ ガンビア	Gambia	アフリカ
◎ カンボジア	Cambodia	東南アジア
【キ】		
ギアナ高地	Guiana Highlands	南米
キーウェスト	Key West	米国
キール	Kiel	ドイツ
○ キエフ	Kiev	ウクライナ
○ キガリ	Kigali	ルワンダ
キサンガニ	Kisangani	コンゴ（旧ザイール）
○ キシニョフ	Kishinev	モルドバ
キジルクム〈砂漠〉	Kyzyl Kum	中央アジア
◎ 北マリアナ諸島	Northern Mariana Is.	オセアニア(米自治領)
○ キト	Quito	エクアドル
◎ ギニア	Guinea	アフリカ

オルレアン	Orleans	フランス
【カ】		
カーグ島	Kharg I.	イラン
カーディフ	Cardiff	英国
◎ ガーナ	Ghana	アフリカ
カールスクルーナ	Karlskrona	スウェーデン
カールスタード	Karlstad	スウェーデン
カールスルーエ	Karlsruhe	ドイツ
◎ ガイアナ	Guyana	南米
カイバル峠	Khyber Pass	アフガニスタン・パキスタンの間
○ カイロ	Cairo	エジプト
ガザ	Gaza	パレスチナ
カザニ	Kazan	ロシア
◎ カザフスタン	Kazakhstan	中央アジア
カサブランカ	Casablanca	モロッコ
カシミール	Kashmir	インド・パキスタン
○ カストリーズ	Castries	セントルシア
カスピ海	Caspian Sea	独立国家共同体・イラン
◎ カタール	Qatar	中東
カタルーニャ	Catalonia	スペイン
カトウィツェ	Katowice	ポーランド
カドゥナ	Kaduna	ナイジェリア
ガトゥン湖	Gatun, L.	パナマ
○ カトマンズ	Kathmandu	ネパール
◎ カナダ	Canada	北米
カナリア諸島	Canary, Is.	北大西洋(スペイン領)
○ カブール	Kabul	アフガニスタン
カフカス〈地方、山脈〉(英語名コーカサス)	Caucasus	西アジア
◎ カボベルデ	Cape Verde	アフリカ
◎ ガボン	Gabon	アフリカ
カムチャツカ	Kamchatka	ロシア
カムラン〈湾〉	Cam Ranh	ベトナム
◎ カメルーン	Cameroon	アフリカ
○ カラカス	Caracas	ベネズエラ
カラガンダ	Karaganda	カザフスタン

◎ エルサルバドル	El Salvador	中米
エルサレム (イスラエルは首都としているが国際的には認められていない)	Jerusalem	イスラエル
エルパソ	El Paso	米国
エルブルズ山脈	Elburz Mts.	イラン
○ エレバン	Yerevan	アルメニア
エンテベ	Entebbe	ウガンダ
【オ】		
オーガスタ	Augusta	米国
オークランド	Oakland	米国
オークランド	Auckland	ニュージーランド
オークリッジ	Oak Ridge	米国
オースティン	Austin	米国
◎ オーストラリア	Australia	オセアニア
◎ オーストリア	Austria	欧州
オーフス	Aarhus	デンマーク
オールバニ	Albany	米国
オガデン	Ogaden	エチオピア
オクラホマシティー	Oklahoma City	米国
オシフィエンチム	Oswiecim	ポーランド
オストラバ	Ostrava	チェコ
○ オスロ	Oslo	ノルウェー
オセアニア	Oceania	オーストラリア大陸と太平洋中南部諸島の総称
○ オタワ	Ottawa	カナダ
オックスフォード	Oxford	英国
オデッサ	Odessa	ウクライナ
オハ	Okha	サハリン
オホーツク海	Okhotsk Sea	ロシア・日本
◎ オマーン	Oman	中東
オムドゥルマン	Omdurman	スーダン
オラン	Oran	アルジェリア
◎ オランダ	Netherlands(Holland)	欧州
オリンピア	Olympia	ギリシャ
オルシティン	Olsztyn	ポーランド
オルリ〈空港〉	Orly	フランス

ウェストバージニア州	West Virginia : State	米国
○ ウェリントン	Wellington	ニュージーランド
ウォール街	Wall Street	ニューヨーク
ウォリック	Warwick	英国
◎ ウガンダ	Uganda	アフリカ
◎ ウクライナ	Ukraine	欧州
ウスチクート	Ust-Kut	ロシア
◎ ウズベキスタン	Uzbekistan	中央アジア
ウスリー川	Ussuri R.	ロシア・中国
ウッジ	Lodz	ポーランド
ウプサラ	Uppsala	スウェーデン
ウラジオストク	Vladivostok	ロシア
ウラジカフカス	Vladikavkaz	ロシア
ウランウデ	Ulan Ude	ロシア
○ ウランバートル	Ulan Bator	モンゴル
◎ ウルグアイ	Uruguay	南米
ウロツワフ	Wroclaw	ポーランド
【エ】		
エア湖	Eyre, L.	オーストラリア
エイラート	Eilat	イスラエル
エカテリンブルク	Yekaterinburg	ロシア
◎ エクアドル	Ecuador	南米
◎ エジプト	Egypt	アフリカ
エステルスンド	Ostersund	スウェーデン
◎ エストニア	Estonia	欧州
◎ エチオピア	Ethiopia	アフリカ
エッセン	Essen	ドイツ
エディンバラ	Edinburgh	英国
エニウェトク環礁	Eniwetok Atoll	マーシャル諸島
エニセイ川	Yenisei R.	ロシア
エベレスト〈山〉 （中国名チョモランマ、ネパール名サガルマタ）	Everest	ネパール・中国の国境
エリコ	Jericho	ヨルダン川西岸
エリゼ宮	Elysee Palace	フランス
◎ エリトリア	Eritrea	アフリカ

◎イエメン	Yemen	中東
イエローストン	Yellowstone	米国
イオニア海	Ionian Sea	イタリア・ギリシャ間の地中海
イジェフスク	Izhevsk	ロシア
イスタンブール	Istanbul	トルコ
イスファハン	Isfahan	イラン
イスマイリア	Ismailia	エジプト
イズミル	Izmir	トルコ
◎イスラエル	Israel	中東
○イスラマバード	Islamabad	パキスタン
◎イタリア	Italy	欧州
イバダン	Ibadan	ナイジェリア
◎イラク	Iraq	中東
イラワジ川	Irrawaddy R.	ミャンマー
◎イラン	Iran	中東
イリノイ州	Illinois : State	米国
イルクーツク	Irkutsk	ロシア
インスブルック	Innsbruck	オーストリア
インディアナ州	Indiana : State	米国
◎インド	India	アジア
インドシナ〈半島〉	Indochina	東南アジア
◎インドネシア	Indonesia	東南アジア
インパール	Imphal	インド

【ウ】

ウィースバーデン	Wiesbaden	ドイツ
○ウィーン	Vienna	オーストリア
ウィスコンシン州	Wisconsin : State	米国
ウィスワ川	Vistula R.	ポーランド
ウィチタ	Wichita	米国
ウィッテンベルク	Wittenberg	ドイツ
○ウィントフーク	Windhoek	ナミビア
ウィンブルドン	Wimbledon	ロンドン
ウースター	Worcester	英国
ウェーク島	Wake I.	オセアニア（米領）
ウェーザー川	Weser R.	ドイツ

アルコバサ	Alcobaca	ポルトガル
アルザス	Alsace	フランス
○ アルジェ	Algiers	アルジェリア
◎ アルジェリア	Algeria	アフリカ
◎ アルゼンチン	Argentina	南米
アルデンヌ〈高地〉	Ardennes	フランス・ベルギー・ルクセンブルク
アルバータ〈州、山〉	Alberta	カナダ
アルバカーキ	Albuquerque	米国
◎ アルバニア	Albania	欧州
アルハンゲリスク	Arkhangelsk	ロシア
アルハンブラ〈宮殿〉	Alhambra	スペイン
アルプス	Alps	欧州
アルマトイ	Almaty	カザフスタン
◎ アルメニア	Armenia	西アジア
アレクサンドリア	Alexandria	エジプト
アレクサンドロフスク(・サハリンスキー)	Aleksandrovsk (Sakhalinsky)	サハリン
アレッポ	Aleppo	シリア
○ アロフィ	Alofi	ニウエ
○ アンカラ	Ankara	トルコ
アンカレジ	Anchorage	米国
アンコールワット〈遺跡〉	Angkor Wat	カンボジア
◎ アンゴラ	Angola	アフリカ
○ アンタナナリボ	Antananarivo	マダガスカル
アンダルシア	Andalusia	スペイン
◎ アンティグア・バーブーダ	Antigua and Barbuda	カリブ海
◎ アンドラ	Andorra	欧州
○ アンドララベリャ	Andorra la Vella	アンドラ
アンドルーズ〈空軍基地〉	Andrews	米国
アントワープ	Antwerp	ベルギー
○ アンマン	Amman	ヨルダン
【イ】		
イーストロンドン	East London	南アフリカ共和国
イエーテボリ	Gothenburg	スウェーデン

◎ アゼルバイジャン	Azerbaijan	西アジア
アセンション島	Ascension I.	南大西洋（英領）
アゾレス諸島	Azores Is.	北大西洋（ポルトガル領）
アダナ	Adana	トルコ
アッサム	Assam	インド
アッツ島	Attu I.	米国
○ アディスアベバ	Addis Ababa	エチオピア
○ アテネ	Athens	ギリシャ
アデレード	Adelaide	オーストラリア
アデン	Aden	イエメン
アトラス山脈	Atlas Mts.	アフリカ
アトランティックシティー	Atlantic City	米国
アバダン	Abadan	イラン
アバディーン	Aberdeen	英国、米国
アパラチア山脈	Appalachian Mts.	米国
○ アバルア	Avarua	クック諸島
○ アピア	Apia	サモア
アビジャン	Abidjan	コートジボワール
アビニョン	Avignon	フランス
◎ アフガニスタン	Afghanistan	アジア
○ アブジャ	Abuja	ナイジェリア
アブシンベル	Abu Simbel	エジプト
○ アブダビ	Abu Dhabi	アラブ首長国連邦
アブムサ島	Abu Musa I.	イラン
アフワズ	Ahvaz	イラン
○ アムステルダム	Amsterdam	オランダ
アムリツァル	Amritsar	インド
アモイ	Xiamen	中国
アユタヤ	Ayutthaya	タイ
アラスカ州	Alaska : State	米国
アラバマ州	Alabama : State	米国
アラビア半島	Arabian Pen.	中東
◎ アラブ首長国連邦	United Arab Emirates	中東
アリススプリングズ	Alice Springs	オーストラリア
アリューシャン列島	Aleutian Is.	米国

外国地名一覧

◎は国または特定行政区画
○は首都または政庁所在地
〈 〉は前記地名の付く行政区画、地形、建造物など
( )は補足説明。旧名、別名は必要に応じて入れる
アルファベットは共同通信の英文記事の表記

【ア】

アーカンザス川	Arkansas R.	米国
アーカンザスシティー	Arkansas City	米国
アーカンソー州	Arkansas : State	米国
アーヘン	Aachen	ドイツ
アイオワ州	Iowa : State	米国
◎ アイスランド	Iceland	欧州
アイゼナハ	Eisenach	ドイツ
アイセル〈湖、川〉	Ijssel	オランダ
◎ アイルランド	Ireland	欧州
アウクスブルク	Augsburg	ドイツ
アウシュビッツ〈強制収容所〉(所在地はオシフィエンチム)	Auschwitz	ポーランド
アカバ	Aqaba	ヨルダン
アカプルコ	Acapulco	メキシコ
○ アクラ	Accra	ガーナ
アクロン	Akron	米国
○ アシガバート	Ashgabat	トルクメニスタン
アシャンティ	Ashanti	ガーナ
○ アスタナ	Astana	カザフスタン
アストラハニ	Astrakhan	ロシア
○ アスマラ	Asmara	エリトリア
アスワン	Aswan	エジプト
○ アスンシオン	Asuncion	パラグアイ

(オ) 韓国と北朝鮮で発音が異なる場合は、現地の読みに従う。
〔例〕 李は韓国では「イ」、北朝鮮では「リ」と読む。

(カ) 当てはめる漢字が分からないときには、現地音を片仮名で書く。一部だけ分かる場合は、漢字と片仮名の交ぜ書きとする。
〔例〕 金ヨンジャ

(キ) 民族全体を表す場合は「朝鮮民族」と書く。南北に住む者の全てを指す場合は「韓国・朝鮮人」とする。国籍が明白な場合は「韓国人」「韓国民」「北朝鮮国民」などと書く。過去も含めた、より広い概念で「朝鮮人」を使うこともあり得る。
〔例〕 (韓国・)朝鮮人被爆者

在日の人々全体は「在日韓国・朝鮮人」「在日コリアン」とする。在日の人を「北朝鮮国籍」とするのは間違いなので特に注意が必要。

記事の内容により「在米韓国人」「韓国系ロシア人」などと書くこともある。

(11) **東南アジア**

(ア) ベトナム人の姓名は通常①父姓②男女を区別するミドルネーム(ない場合もある)③本人の名一の三つの部分からなる。記事の初めでは原則としてフル表記し、2回目以降および見出しでは最後の本人名を使う。
〔例〕 グエン・タン・ズン首相→ズン首相

(イ) タイやラオスでは通常①本人名②家族名一の順。略す際には最初の本人名をとるが、頭に尊称がつく場合はその次をとる。
〔例〕 アピシット・ウェチャチワ元首相→アピシット元首相
トンシン・タマウォン首相→トンシン首相
クンイン・スパトラ・マサディット首相府相→スパトラ首相府相(クンインは女性の尊称)

(12) **アフリカ**

語頭のはねる音「ン」は「ヌ」と書くが、慣用が固定しているものはそれに従う。
〔例〕 N'Djamena ヌジャメナ
Ngorongoro ヌゴロンゴロ
〔例外〕 Nkrumah エンクルマ

(エ) チベット、モンゴルなどの地名、人名は片仮名で書く。

〔例〕 チベット　ラサ　モンゴル　チャムス　ハルビン
チチハル　ハイラル　マカオ　アモイ　スワトー
ウランフ　アペイ・アワンジメイ　サイフジン
チンギスハン

(オ) 難しい漢字の場合は平仮名で読み方を示す。

〔例〕 邯鄲(かんたん)　王漢斌(おうかんぴん)

〔注〕 (1) 現地音が日本で慣用されている場合や、現地音で示す必要がある場合は片仮名で書く。

〔例〕 張芸謀(チャンイーモウ)

(2) 現地音が分かっていて漢字不明の場合は、発音通りの片仮名書きとする。

(カ) 中華人民共和国の略称は「中国」。「中共」は中国共産党の略称。台湾は「中華民国」としないで、地域名の「台湾」を用いる。国には数えない。

(10) **韓国語・朝鮮語**

(ア) 地名、人名とも漢字で書くことを原則とする。字体は本社の漢字使用の原則に従う。当てはめる字がないときは、現地音を片仮名で書く。必要があれば人名に現地音の読みを片仮名で付ける。

〔例〕 平壌　板門店　釜山　ソウル　黄海南道クワイル郡
金大中(キムデジュン)　金正日(キムジョンイル)

〔注〕 日本が植民地支配の過程で命名した「京城」は原則として使わず、「ソウル」と表記する。経歴などに出る「京城師範卒」は「旧京城師範卒」とする。

(イ) 国名は、南の「大韓民国」は「韓国」、北の「朝鮮民主主義人民共和国」は「北朝鮮」と略記する。

〔注〕 北朝鮮の政権党は「朝鮮労働党」(「北」がない)。

(ウ) 朝鮮の略称を「鮮」とはしない。

〔注〕 北鮮→北朝鮮　南鮮→南朝鮮
日鮮→日朝または日本・朝鮮

(エ) 朝鮮半島を「韓半島」とは書かない。韓国側当局者の発言を引用する場合も「北韓」は避け、「北側の主張では…」などと工夫する。

Mieczysław　ミエチスワフ
Suchocka　スホツカ
Skubiszewski　スクビシェフスキ
Jerzy　イエジ
Łódź　ウッジ
Cięstchowa　チェンストホワ

(ウ) チェコ、スロバキア

č は「チ」、š は「シュ」、ř は「ジュ」と書く。

〔例〕 Čalfa　チャルファ
Škoda　シュコダ
Jiři　イジ

(エ) ハンガリー

s は「シュ」、sz は「ス」の音。cs は「チ」。
c、cz、tz はいずれも「ツ」、gy、zs は「ジュ」と書く。

〔例〕 Janos　ヤーノシュ
Laszlo　ラースロ
Csaba　チャバ
Ferenc　フェレンツ
Göncz　ゲンツ
Gergatz　ゲルガーツ
Balazs　バラージュ

(9) **中国語** ➡人名等に使われる中国略字表（675ページ）

(ア) 地名、人名とも漢字で書くことを原則とする。

〔例〕 北京　広州　鄧小平　江沢民

(イ) 中国略字は、原則として日本字（常用漢字、人名漢字、表外字）に直して書く。

〔例〕 沈阳→瀋陽　刘→劉　叶→葉　陈云→陳雲
庄則棟→荘則棟

(ウ) 中国略字と同じ字体の漢字が日本字にもある場合、字義が異なっていても日本字を使う方が適切なときには、そうしてもよい。

〔例〕 井岡山（井崗山とはしない）
肖向前（蕭向前とはしないが、蕭は蕭を使う）
王炳于（王炳於とはしない）

(カ) 軟音符「'」は「イ」として扱う。対応するラテンつづりはない。外電などではしばしば軟音符が省略されるので要注意。

〔例〕 Astrakhan' アストラハニ
Kazan' カザニ
Arkhangel'sk アルハンゲリスク
Ol'ga オリガ
Gogol' ゴーゴリ

(キ) ë も外電などでは e になることが多いので要注意。

〔例〕 Gorbachev ゴルバチョフ
Khrushchev フルシチョフ

(ク) ti、di は「チ」「ジ」と書く。

〔例〕 Rasputin ラスプーチン
Kandinsky カンジンスキー
〔例外〕 Borodin ボロディン

(ケ) -ский (skiy)、-ний (niy) または-ный (nyy) を外電は-sky、ny と表記するが、片仮名では「スキー」「ニー」「ヌイ」とする。

〔例〕 Kerensky ケレンスキー
Nizhny ニジニー
Zhelezny ジェレーズヌイ

(8) **中・東欧語**

(ア) セルビア・クロアチア語

c は「ツ」、č は「チュ」、ć は「チ」と書く。
š は「シュ」と、ž は「ジュ」と書く。

〔例〕 Leskovac レスコバツ
Brčko ブルチュコ
Dušan ドゥシャン
Jože ヨジェ

(イ) ポーランド

c は「ツ」、cz は「チ」、ch は「フ」と書く。
ただし ci は「チ」。sz は「シュ」、rz、ż は「ジュ」。ę は「エン」、ą は「オン」、ó は「ウ」。ł は「ワ」行音となる。
人名の末尾の ski は「スキ」と書く。

〔例〕 Katowice カトウィツェ

Тт	Уу	Фф	Хх	Цц	Чч	Шш	Щщ	Ъъ
T	U	F	Kh	Ts	Ch	Sh	Shch	—

Ыы	Ьь	Ээ	Юю	Яя
Y	'	E	Yu	Ya

(ア) 語尾または澄んだ子音の前の濁音は清音となる。ただし慣用が固定したものを除く。

〔例〕 Khar'kov ハリコフ
Petropavlovsk ペトロパブロフスク
Sankt Peterburg サンクトペテルブルク
Nakhodka ナホトカ
Petrozavodsk ペトロザボーツク
Vitebsk ビテプスク
Kavkaz カフカス

〔例外〕 Kaliningrad カリーニングラード

(イ) v は原則として「ワ」行音で書くが、慣用が固定したものは「バ」行音で表記する。

〔例〕 Moskva モスクワ
Markova マルコワ
Voloshin ウォロシン
Vladimir ウラジーミル
Valentina ワレンチナ

〔例外〕 Valdai バルダイ
Volga ボルガ

(ウ) y は「ウイ」と書く。ただしий に対応する y については(ケ)を参照。

〔例〕 Kuibyshev (Kujbyshev) クイブイシェフ
Kozyrev コズイレフ

(エ) kh は「ハ」行音として表記する。

〔例〕 Sakhalin サハリン
Khrennikov フレンニコフ

(オ) zh は「ジャ」「ジ」「ジュ」「ジェ」「ジョ」と書く。

〔例〕 Voronezh ボロネジ
Zhukov ジューコフ

(カ) h は発音しない。
〔例〕 Bahia バイア
(キ) ブラジルでは語尾または音節末の l は「ウ」に近い発音になり、スポーツ記事などでそう表記する場合がある。
〔例〕 Ronaldo ロナウド
(ク) lh は「リャ」行、nh は「ニャ」行で表す。
〔例〕 Folha フォリャ
Garotinho ガロチニョ
(ケ) 語尾または音節末の m は「ン」と書く。
〔例〕 Belém ベレン
Samba サンバ
(コ) s は母音間では濁る。ss は常に清音。z は濁るが、語尾の場合は清音。
〔例〕 José ジョゼ
Mato Grosso マトグロソ
Cruz クルス
(サ) 人名はクリスチャンネームの後に母姓と父姓が続く。
〔例〕 ジョルジェ・フェルナンド（以上クリスチャンネーム）・ブランコ（母姓）・デ・サンパイオ（父姓）
(シ) ブラジルでは愛称で呼ばれることが多く、注意が要る。
〔例〕 ペレ（愛称）
＝エドソン・アランテス・ド・ナシメント（本名）

(7) ロシア語

ロシア語のアルファベットと、対応するラテン文字は以下の通り。Йは従来 J としてきたが、英語メディアで定着している Y に置き換える。（上段の左が大文字、右が小文字。下段は対応するラテンつづり）

Aa	Бб	Вв	Гг	Дд	Ее	Ёё	Жж	Зз
A	B	V	G	D	E(Ye)	Yo	Zh	Z

Ии	Йй	Кк	Лл	Мм	Нн	Оо	Пп	Рр	Сс
I	Y	K	L	M	N	O	P	R	S

Rodríguez ロドリゲス
Argüello アルグエジョ
Güido グイド

(キ) gi、ge は「ヒ」「ヘ」と書く。
〔例〕 Monge モンヘ
Gigante ヒガンテ

(ク) s、z は、全て「サ」行で書く。
〔例〕 González ゴンサレス
Serrano セラノ
Zedillo セディジョ

(ケ) ch は「チャ」「チ」「チュ」「チェ」「チョ」と書く。
〔例〕 Ache アチェ
Ochoa オチョア

(コ) 人名はクリスチャンネームの後に父姓と母姓が続く。クリスチャンネームは一つとは限らない。
〔例〕 フィデル（クリスチャンネーム）・カストロ（父姓）・ルス（母姓）→カストロ

(6) ポルトガル語

(ア) ão は「アン」と書く。
〔例〕 João ジョアン
São Paulo サンパウロ
〔例外〕 Pão de Açucar ポンジアスカル

(イ) ch は「シャ」行で表す。
〔例〕 Chaves シャベス

(ウ) ça、çu、ço は「サ」「ス」「ソ」と書く。
〔例〕 Iguaçú イグアス

(エ) gi、ge は「ジ」「ジェ」、gui、gue は「ギ」「ゲ」と書く。
〔例〕 Getúlio ジェトゥリオ
Guerreiro ゲレイロ

(オ) ブラジルでは ti と語尾の te は「チ」、di と語尾の de は「ジ」と発音される傾向があり、そう表記する。
〔例〕 Curitiba クリチバ
〔例外〕 Belo Horizonte ベロオリゾンテ

(エ) cia、ciu、ce、cio は「チャ」「チュ」「チェ」「チョ」と、gia、giu、ge、gio は「ジャ」「ジュ」「ジェ」「ジョ」と書く。

〔例〕 Ciano チャノ
Francesco フランチェスコ
Gianni ジャンニ
Giuliano ジュリアノ
Giorgio ジョルジョ

(5) **スペイン語**

(ア) ll はスペインでは「リャ」「リュ」「リョ」のように書く。中南米では「ヤ」行の音または「ジャ」「ジュ」「ジョ」の音になる。

〔例〕 Castilla カスティーリャ
Fontelles フォンテリェス
Medellín メデジン
Riviello リビエジョ
〔例外〕 Sevilla セビリア

(イ) j は「ハ」行音で書く。

〔例〕 Ojos del Salado (山) オホスデルサラド
Jiménez ヒメネス

(ウ) jua は「フア」と書く。

〔例〕 San Juan サンフアン

(エ) h は無音として扱う。

〔例〕 Anáhuac アナワク
Heredia エレディア
〔例外〕 Honduras ホンジュラス
O'Higgins オヒギンス

(オ) qui、que は「キ」「ケ」と書く。

〔例〕 Iquique イキケ
Vásquez バスケス

(カ) gua は「グア」、gui、gue は「ギ」「ゲ」、güi、güe は「グイ」「グエ」と書く。

〔例〕 Uruguay ウルグアイ
Guayaquil グアヤキル

Keiser　カイザー
〔例外〕Oder　オーデル

(3) フランス語

(ア) oi（oy）は「オワ」と書く。
〔例〕Poitiers　ポワチエ
Loire　ロワール
François　フランソワ
Voynet　ボワネ

(イ) 語尾の bourg は「ブール」と書く。
〔例〕Cherbourg　シェルブール
Strasbourg　ストラスブール

(ウ) ille、illes は「イユ」と書く。ただし「町」「都会」を意味する ville は「ビル」とする。
〔例〕Marseille　マルセイユ
Versailles　ベルサイユ
〔例外〕Charleville　シャルルビル

(エ) 語尾の gne は「ニュ」、ne は「ヌ」、annes は「アンヌ」と書く。
〔例〕Champagne　シャンパーニュ
Bourgogne　ブルゴーニュ
Seine　セーヌ
Catherine　カトリーヌ
Cannes　カンヌ

(4) イタリア語

(ア) 母音の前の gn は「ニ」と書く。
〔例〕Bologna　ボローニャ
Agnelli　アニェリ
Rognoni　ロニョーニ

(イ) 母音に挟まれた s の多くは濁音で書く。
〔例〕Vesuvio　ベズビオ
Siracusa　シラクーザ
〔例外〕Pisa　ピサ

(ウ) glia は「リャ」と書く。
〔例〕Cagliali　カリャリ

(オ) Lord は貴族に対する敬称で「卿」と訳す。
〔例〕 大法官アーバイン卿

(2) **ドイツ語**

(ア) 語頭の St、Sp の S は「シュ」と書く。
〔例〕 Spree シュプレー
Strauss シュトラウス

(イ) 語尾の nach、bach は「ナハ」「バハ」と書く。
〔例〕 Eisenach アイゼナハ
Sulzbach ズルツバハ
〔例外〕 Bach バッハ

(ウ) 語尾の berg、burg の g は「ク」、ng の g は「グ」、ig の g は「ヒ」と書く。
〔例〕 Heidelberg ハイデルベルク
Hamburg ハンブルク
Straubing シュトラウビング
Schilling シリング
Leipzig ライプチヒ

(エ) 語尾の d は「ト」と書く。
〔例〕 Rheinland ラインラント
Dortmund ドルトムント
Freud フロイト

(オ) 語頭の W は「ワ」「ウィ」「ウ」「ウェ」「ウォ」と書く。
〔例〕 Weimar ワイマール
Waigel ワイゲル
Wien ウィーン
Westfalen ウェストファーレン
Weber ウェーバー
Wolfgang ウォルフガング
〔例外〕 Wuppertal ブッパータール
Württemberg ビュルテンベルク

(カ) 語頭の V は「ハ」行で書く。
〔例〕 Vogelsberg フォーゲルスベルク

(キ) 語尾の er は「アー」と書く。
〔例〕 Hannover ハノーバー

〔慣用が固定したものの例〕

地中海、北海、黒海、紅海、太平洋、大西洋、北極海、南極海など。

14. ヨーロッパは原則として「欧州」と書く。イギリスは英国（英）、アメリカ合衆国は米国（米）、ラテンアメリカは中南米と表記する。

15. 外国名を見出しで略記するときは、仏、伊、独、豪、加、印、露〔一般的には片仮名の「ロ」を使う〕、比、越は使ってもよい。ただし本文中に使用する際は①仏、伊、独、豪＝「独仏首脳会談」などと列記に限り使ってよい②加、印、露、比、越＝慣用が定着している場合、列記で使うことができる—とする。

形容詞的に使う場合は慣用に従って使うことができる。

〔例〕 仏大使館　独首相　豪クイーンズランド州　比大統領

16. 主な外国語別の書き方は、以下の原則による。

(1) 英語

(ア) 語尾の ley は「リー」と書く。

〔例〕 McKinley　マッキンリー
Stanley　スタンリー

〔例外〕 Death Valley　デスバレー

(イ) 語尾の ry は、できるだけ「リ」とし、長音を付けない。ただし慣用が固定したものは除く。

〔例〕 Montgomery　モンゴメリ

〔例外〕 Henry　ヘンリー

(ウ) 語尾の son は「ソン」と書き、「スン」とはしない。

〔例〕 Edison　エジソン
Richardson　リチャードソン

(エ) Sir（サー）は准男爵（baronet）または勲爵士（knight）に対する敬称で、ファーストネームかフルネームに付ける。「サー」を付ける場合には「氏」などの敬称は不要だが、官職名は付記できる。叙勲自体がニュースになった場合や、横顔、死亡記事などで肩書の列記が必要な場合以外は使わない。

〔例〕 サー・ウィンストン（・チャーチル）
サー・W・チャーチル（サー・チャーチルは誤り）

りしたもの以外はできるだけ省略する。長音は長音符号「ー」で示し、母音字を重ねたり、「ウ」を用いることはしない。

〔例〕 Peloponnesos ペロポネソス
Philippines フィリピン
Lippmann リプマン
Ghana ガーナ

10. 二重母音「エイ」「オウ」は原則として長音符号で表す。

〔例〕 Adelaide アデレード
Baker ベーカー
Gold Coast ゴールドコースト

〔例外〕 Brady ブレイディ
Marseille マルセイユ

11. 2語以上からなるものも原則として「・」なしで表記する。

〔例〕 New York ニューヨーク
Dar es Salaam ダルエスサラーム
Giscard d'Estaing ジスカールデスタン
Jean-Paul Sartre ジャンポール・サルトル
Kohde-Kilsch コーデキルシュ

〔例外〕 Bosnia and Herzegovina ボスニア・ヘルツェゴビナ
St. Vincent and the Grenadines セントビンセント・グレナディーン
Sri Jayawardenepura Kotte スリジャヤワルデネプラ・コッテ

12. 姓と名を併記する場合は、間に「・」を入れる。

〔例〕 バラク・オバマ ウサイン・ボルト

13. 州・市・山・川・島・湾・東西南北などは必要に応じて日本語にする。その他は慣用が固定しているものを除き、できるだけ日本語に訳さない。

〔例〕 State of Illinois イリノイ州
Mexico City メキシコ市
the Hudson River ハドソン川
Western Samoa 西サモア
Queen Elizabeth Islands クイーンエリザベス諸島

Atlantic City　アトランティックシティー
Düsseldorf　デュッセルドルフ
Christie　クリスティ
Kennedy　ケネディ
Ouagadougou　ワガドゥグ
Turku　トゥルク
Dushanbe　ドゥシャンベ
〔例外〕Nightingale　ナイチンゲール
Argentina　アルゼンチン
Edison　エジソン
Honduras　ホンジュラス
Titov　チトフ

5. qua、qui、que、quo は「クア」「クイ」「クエ」「クオ」と書く。gua、gui、gue、guo などについても同じ（qui、que、gui、gue はスペイン語、ポルトガル語では「キ」「ケ」「ギ」「ゲ」となる）。
〔例〕Quang Ngai　クアンガイ
Nicaragua　ニカラグア
〔例外〕Basque　バスク

6. 「ジェ」の音で、慣用が固定したものは「ゼ」と書く。
〔例〕Magellan　マゼラン
Los Angeles　ロサンゼルス

7. Wi、We、Wo (Wa) は「ウィ」「ウェ」「ウォ」と書く。
〔例〕Wisconsin　ウィスコンシン
Wilson　ウィルソン
Wellington　ウェリントン
Warwick　ウォリック
Warren　ウォーレン

8. 語尾の ia (ya) は「ア」と書き、「ヤ」とはしない。
〔例〕Maria　マリア
California　カリフォルニア
Kenya　ケニア
〔例外〕Persia　ペルシャ

9. はねる音「ン」、つまる音「ツ」、のばす音「ー」ははっき

外国の地名・人名の書き方

1. 現地での呼称に基づく片仮名書きを原則とする。慣用が固定しているものは、それに従う。
   〔例〕 ベネチア（英語名ベニス）
   ブカレスト（慣用、現地ではブクレシュチ）
   アントワープ（慣用、現地ではアントベルペンまたはアンベル）
   ネール（慣用、現地ではネルー）
   ベートーベン（慣用、現地ではベートホーフェンまたはベートホーベン）
2. 「ヂ」「ヅ」「ヰ」「ヱ」「ヲ」「ヴ」は使わない。V 音の表記には「ヴ」ではなく B 音または W 音を用いる。
   〔例〕 Woodbridge ウッドブリッジ
   Zululand ズールーランド
   William ウィリアム
   Ivanovo イワノボ
   Vatican バチカン
   Vivaldi ビバルディ
3. Ye、Je は「イエ」または「エ」と書く。
   〔例〕 Yemen イエメン
   Yellowstone イエローストン
   Jerusalem エルサレム
4. t、d は「ト」「ド」、ti (ty)、di (dy) は「ティ」「ディ」、tu、du、tou、dou は「トゥ（テュ）」「ドゥ（デュ）」と書く。ただし慣用が固定したものには「チ」「ジ」「ツ」「ズ」などを用いる。ロシア語やブラジルのポルトガル語の ti、di も「チ」「ジ」と表記する。
   〔例〕 Tbilisi トビリシ
   Dnepr（川） ドニエプル
   Truman トルーマン

フォアボール
フォークボール
フォースアウト
ブルペン
ペナントレース
ホームスチール
ポスティングシステム
マジックナンバー
リードオフマン
レガーズ
ワンポイントリリーフ

【ラグビー】

インゴール
ゴールキック
シンビン〔一時退場〕
スクラム〈サイド、トライ〉
スローフォワード
セービング
タックル
タッチ〈キック、ジャッジ〉
トライ
ドロップゴール
ナンバー8
ノーサイド
ノータッチ
ノックオン
ノットストレート
ノットリリースザボール
パント
フェアキャッチ
フッカー
ブラインドサイド
フランカー
プレースキック
プロップ
フロントロー
モール
ラインアウト
ラック
リザーブ
ロック

【陸上競技】

オーバーゾーン
サブトラック
スターター
スターティングブロック
ストライド
スプリットタイム
セパレートコース
ハードリング
バック〈ホーム〉ストレート
フィールド
ペースメーカー

【レスリング】

グレコローマンスタイル
テクニカルフォール
ニアフォール
バック〈ポイント〉
フリースタイル
ブリッジ
ローリング

ン
ゾーン〈ディフェンス〉
ダンクシュート
トラベリング
バイオレーション
フリースローライン
プレス〈ディフェンス〉
ポストプレー
マンツーマンディフェンス
ミドル〈シュート〉
リバウンド

【バドミントン】

シャトル
トマス杯
ユーバー杯

【バレーボール】

クイック
コンビバレー
ジャンプサーブ
スパイク
セッター
センター
タッチネット、ネットタッチ
バックアタック
ブロック〈アウト〉
ラリーポイント
リベロ

【ボクシング】

アウトボクシング
アッパー
インファイト
ウイービング
ガード
カウントアウト
クリンチ〈ワーク〉
グローブ
グロッギー
サミング
サンドバッグ
ジャッジペーパー
シャドーボクシング
スエーバック
スパーリング
セコンド
ダッキング
トランクス
ノック〈アウト、ダウン〉
ヒットアンドアウェー
フットワーク
ヘッドギア
ボディーブロー
マッチメーカー
ラビットパンチ
レフェリーストップ
ロープダウン
ローブロー
ワンツー〈パンチ〉

【野球】

アンパイア
イースタン・リーグ
インフィールドフライ
ウエスタン・リーグ
ウエストボール
カットボール
グラブ〔ボクシングはグローブ〕
クリーンアップ〈トリオ〉
クリンチナンバー
コーチスボックス
コーナーワーク
コールドゲーム
サスペンデッドゲーム
ジャッグル
スイッチヒッター
スクイズ〈プレー〉
スクリューボール
スコアボード
スコアリングポジション
スライダー
スリークオーター
スローイング
セーフティーバント
ダッグアウト
タッチアップ
ダブルスチール
チェンジアップ
ディレードスチール
ナックル
ノーヒットノーラン
ヒットエンドラン、エンドラン
ファーム〈チーム〉
ファンブル
フィールディング

【サッカー】

イレブン
オウンゴール
オーバーヘッドキック
オフサイドトラップ
クロス
シューティングレンジ
スイーパー
ストライカー
スライディングタックル
スルーパス
センターバック
センターフォワード
センタリング
トラップ
ハットトリック
ピッチ
ヘディング
ホームアンドアウェー
ポジションチェンジ
ボランチ
リベロ

【重量挙げ】

クリーン
ジャーク
スナッチ
トータル
バー、シャフト
バーベル

【スキー】

アイスバーン
アルペン
エアリアル
クラシカル走法
グンダーセン
シャンツェ
スーパーG
スノーボード
ダウンヒル
ノーマルヒル〔旧70m級〕
ノルディック
ハーフパイプ
ヒルサイズ
V字ジャンプ
フライングヒル
フリー走法
モーグル
ラージヒル〔旧90m級〕
ランディングバーン

【スケート】

アウトエッジ
インエッジ
カーブ
ショートダンス（SD）
ショートプログラム（SP）
スラップスケート
ダブル、トリプル〈アクセル、サルコー、トーループ、フリップ、ループ、ルッツ〉
ブレード〔刃〕

【卓球】

カット
シェークハンド〈グリップ〉
ペンホルダー
ラバー

【テニス】

アドバンテージ
グラウンドストローク
グラスコート
クレーコート
サーブアンドボレー
タイブレーク
ダウンザライン
デ杯〔デビスカップ〕
トップスピン
ドロップショット
ハードコート
パッシングショット（パス）
フェド杯〔フェドカップ〕
ブレークポイント
ローンコート

【バスケットボール】

オーバーヘッドパス
カットイン
スリーポイントライ

フォールト
フリーエージェント
プレーオフ
プロテスト
ヘッドコーチ
ペナルティー〈ショット、エリア〉
ボイコット
ホームタウンデシジョン
ボーンヘッド
ポスト〈レギュラー〉シーズン
ボレー
マッチポイント
ラリー
リターン
リバウンド
ルーキー
レシーブ
ロスタイム
ロビング、ロブ
ワイルドカード

【アイスホッケー】

アイシング〈·ザ·パック〉
スラップショット
ニュートラルゾーン
パック
パワープレー
フェースオフ
フッキング
ブルーライン
ミスコンダクトペナルティー

【アメリカンフットボール】

エンドゾーン
オプションプレー
キックオフリターン
サック
スクリメージ〈ライン〉
ダウン
タッチバック
パサー
パスインターセプト
パント
ラン、ランニングプレー

【競泳、水球、シンクロ】

オープンウオーター
クイックターン
クロール
シンクロナイズド〈スイミング、ダイビング〉
ソロ
テクニカルルーティン
デュエット
ドルフィンキック
バサロ〈スタート〉
フリールーティン
メドレーリレー

【ゴルフ】

アイアン
アルバトロス
アンジュレーション
アンダーパー
アンプレアブル
イーグル
ウッド
カップイン
キャディー〈バッグ〉
キャリー
クリーク
グリーンエッジ
サンドウエッジ
ショートホール
スエー
スライス〈ライン〉
チップイン
チップショット
ティーショット
バーディー
バフィ
バンカー
ピッチエンドラン
ピッチングウエッジ
フェアウエー
フェード
フォアサム
フック〈ライン〉
ホールインワン
ボギー
マッチプレー
ユーティリティー
ランニングアプローチ
リカバリー〈ショット〉

運動用語仮名表記

使用頻度の高い一般的用語は外来語・片仮名語用例集に収めた。また二つ以上の競技で使われる共通語は全般の項に入れ、各競技の項では省いた。➡運動記事の書き方(559ページ)

【全般】

アウト
アシスト
アタック
アナボリックステロイド
アンカー
アンツーカー
イレギュラー〈バウンド〉
インターカレッジ
インターセプト
インターハイ
インターフェア
インパクト
ウイニング〈ショット、ボール〉
ウイング
ウエーバー
エッジ
オフサイド
オリンピアード
キック〈オフ〉
グランドスラム
グリップ
クロスカントリー〈レース〉
コーナー〈フラッグ〉
ゴールライン
コミッショナー
サーキットトレーニング
サービス〈ダッシュ〉
サービスエース
サドンデス
サポーター
シーズンオフ
ジュース
シュート、ショット
シングルス
シンボルマーク
スケーティング
ストローク
スピン
スプリンター
スプリント
スマッシュ
スライス
スラローム
ゼッケン
セットプレー
セットポイント
ゼネラルマネジャー
ターンオーバー
ダブルス
ディフェンス
ドーピング〈検査〉
トス
ドロー
バックスイング
バックハンド〈ストローク〉
バッティング〈ケージ〉
ピッチ〈走法、泳法〉
ファウル〈ボール〉
フィギュア
フィジカル
フェイント
フォアハンド〈ストローク〉
フォーメーション

【レ】

レア〈ケース〉
レイアウト
レイオフ
レインウエア
レイン〈コート〉
レインボー
レーザー
レート〔相場、遅い〕
レーバーデー
レーベル、ラベル
レームダック
レーヨン
レーン〔車線、航路〕
レオタード
レギュラー
レクイエム
レクチャー
レグホン
レクリエーション
レゲエ
レコーダー
レザー〔皮革、かみそり〕
レシーバー
レジオン・ドヌール
レシピ
レシピエント
レジャー
レジュメ
レスキュー
レズビアン〔「レズ」と省略しない〕
レスポンス
レセプション
レセプト〔診療報酬明細書〕
レッグウオーマー△
レディーファースト
レディーメード
レトルト
レトロ
レパートリー
レバレッジ
レビュー
レファレンス
レファレンダム
レフェリー
レプリカ
レボルバー
レリーフ
レンジャー
レンタカー
レンタル

【ロ】

ロイヤルティー
ロイヤルボックス
ロータリー
ローテーション
ロードショー
ロープウエー
ローブデコルテ
ローラースケート
ローリング
ロールプレーイング〈ゲーム〉*
ログイン
ログハウス
ロケ、ロケーション
ロゴ
ロックアウト
ロックンロール
ロビー
ロビイスト
ロマンスグレー
ロマンチシスト、ロマンチスト
ロマンチシズム
ロマンチック
ロンパース

【ワ】

ワーカホリック
ワークシェアリング
ワイシャツ
ワイヤ△
ワイヤレスマイク
ワゴン
ワセリン
ワックス
ワッフル
ワンサイドゲーム
ワンストップサービス*
ワンダーフォーゲル

【ラ】

ライセンス
ライトバン
ライフ〈サイクル、セーバー〉
ライブ
ライフライン
ライラック、リラ
ラインアップ
ラウンド
ラガービール
ラザニア、ラザーニャ
ラジアルタイヤ
ラジウム
ラジエーター
ラジカル
ラスパイレス指数
ラズベリー
ラニーニャ現象
ラフ
ラプソディー
ラフティング
ラブラドルレトリバー
ラ・フランス
ラベル、レーベル
ラボ、ラボラトリー
ラマルセイエーズ〔フランス国歌〕
ラミネート
ランジェリー
ランダム〈アクセス〉
ランタン
ランデブー
ランドリー

【リ】

リアシート
リアス海岸
リアリズム
リアリティー
リアルタイム
リウマチ
リキュール
リクエスト
リクルート
リケッチア
リコーダー〔縦笛〕
リコール
リスクヘッジ*
リストラ、リストラクチャリング
リスニング
リズム・アンド・ブルース
リゾート
リターナブル〈瓶〉
リタイア
リテール*
リテラシー*
リトグラフ
リトルリーグ
リニアモーターカー
リニューアル
リノリウム
リハーサル
リバーシブル
リバイバル
リハビリ、リハビリテーション
リピーター
リビングウイル*
リフォーム
リフレイン
リフレッシュ
リベット
リポーター
リポート
リボルビング
リムジン
リメーク
リモコン、リモートコントロール
リヤカー
リュックサック
リラ、ライラック
リラクセーション
リリース
リンク〔スケート場、連結〕
リング〔競技場、輪〕
リンケージ

【ル】

ルアー〈フィッシング〉
ルーズリーフ
ルーター
ルーツ
ルーティン
ルクス〔照度〕
ルックス〔容姿〕
ルネサンス△
ルバシカ
ルポ、ルポルタージュ

マリネ
マリファナ△
マリン〈スポーツ〉
マルチメディア
マンゴー
マンツーマン
マンモグラフィー＊

【ミ】

ミキサー〔混合機、音量調整者〕
ミックス
ミディアム
ミニチュア
ミニマムアクセス（最低輸入量）
ミュージアム
ミュージシャン
ミルクセーキ
ミルフィーユ
ミレニアム

【ム】

ムートン
ムームー
ムスリム、モスレム
ムニエル

【メ】

メイストーム
メイド〔お手伝い〕
メイフラワー
メイン〈イベント、スタンド、バンク〉
メーカー
メーキャップ
メーク
メークイン
メーデー
メード・イン・ジャパン
メープル〈シロップ〉
メール
メガホン
メジャー
メセナ
メゾソプラノ
メタセコイア
メタル
メダル
メチル〈アルコール〉
メッセージ
メッセンジャー
メディア
メドレー〈リレー〉
メヌエット
メモリー
メラニン色素
メリーゴーラウンド
メロディー
メンタル〈ヘルス〉
メンテナンス
メントール〔たばこはメンソール〕

【モ】

モーゲージ証券
モーション
モータリゼーション
モーテル
モービルハウス
モジュール
モスレム、ムスリム
モダン
モチーフ
モチベーション
モニター
モニタリング△
モニュメント
モバイル
モビール〔動く彫刻〕
モヘア
モラール〔士気〕
モラトリアム
モラル〔道徳〕
モラルハザード（倫理観の欠如）
モロヘイヤ
モンスーン

【ユ】

ユーザー
ユーティリティー〈プレーヤー〉
ユートピア
ユーロダラー
ユニット
ユニバーサルサービス＊
ユニバーシアード
ユニホーム
ユビキタス＊

【ヨ】

ヨード〈チンキ、ホルム〉
ヨガ

ベッドタウン
ペットボトル
ヘッドホン
ペッパー
ペディキュア
ベテラン
ペナルティー
ベニヤ板
ペパーミント
ベビー〈ブーム〉
ヘリウム
ベルトコンベヤー
ベルベット
ベンチャービジネス
ベンチレーター
ペンネーム

【ホ】

ホイールキャップ
ボイスレコーダー
ホイッスル
ホイップクリーム
ボイル
ボウリング〔球技〕
ボウル〔鉢、鉢形球技場〕
ホエールウオッチング
ポーカーフェース
ボーカル
ボーガン
ボーキサイト
ボージョレ・ヌーボー
ボーダーレス
ボードセーリング
ポートフォリオ
ポートレート
ホーバークラフト
ホームステイ△
ボーリング〔掘削〕
ボール〔球〕
ボキャブラリー
ポジティブ
ホスピス
ホチキス
ホットドッグ
ボディー〈ガード〉
ポトフ
ボトムアップ
ホバリング△
ポピュリズム
ホモセクシュアル〔ホモと省略しない〕
ボランティア
ポリープ
ボリューム
ボルシチ
ボルテージ
ホルマリン
ホワイトカラー

【マ】

マーケティング
マーボー豆腐
マーマレード
マイク、マイクロホン
マイクロウエーブ
マイノリティー
マイレージ
マウンテンバイク
マエストロ
マカダミアナッツ
マキシマム
マキャベリズム
マグネシウム
マジョリティー
マシン
マスカラ
マスコミ、マスコミュニケーション
マスタープラン〔基本計画〕
マタニティーウエア
マタニティーハラスメント＊
マチネー
マッシュポテト
マッシュルーム
マティーニ
マドモワゼル
マトリョーシカ
マニア
マニキュア
マニフェスト＊
マニュアル
マニュファクチャー
マネーサプライ
マネーロンダリング〔資金洗浄〕
マネキン、マヌカン
マネジメント
マネジャー△
マフィア
マホガニー
マラリア

フォーム
フォーラム
フォグランプ
フォルクローレ〔民謡、民族音楽〕
フォルテ
フォロー〈アップ〉
フォンデュ
フォント
ブッシェル
ブッシュホン
ブティック
プディング、プリン
フュージョン
フューチャー
フライトレコーダー
プライバシー
プライマリーバランス＊
フライング
ブラウザー
プラスアルファ
プラスチック
ブラックボックス
プラットフォーム〔基盤、ＩＴ〕
プラットホーム〔駅など〕
プラネタリウム
フランチャイズ
ブランデー
プランニング
フリージア
プリペイドカード
プリマドンナ〔オペラ〕
プリマバレリーナ〔バレエ〕
プリンター
フルート
ブルートレイン
ブルーレイ〈ディスク、レコーダー〉
ブルジョア、ブルジョアジー
ブルドーザー
プルトニウム
ブルマー
フレアスカート
プレイガイド△
ブレーカー
ブレーキ
ブレーク
プレートテクトニクス
プレーボーイ
プレーヤー
プレーリードッグ
ブレーン
プレーン〈ヨーグルト〉
フレキシブル
ブレザー〈コート〉
プレジャーボート
プレスコード
プレステージ
プレゼンテーション＊
プレタポルテ
フレックスタイム
プレッシャー
プレミア、プレミアム
プロ、プロフェッショナル
フロア
ブロードバンド
ブログ
プログラマー
ブロッコリー
プロテイン
プロデューサー
プロトコル
プロバイダー
プロフィル
プロマイド
プロモーター
フロン
フロントガラス

【へ】

ヘア〈スタイル〉
ベア、ベースアップ
ペアリング
ペイ・パー・ビュー方式
ペイント
ベーカリー
ベージュ
ベータ〈線〉
ベール
ヘゲモニー
ベゴニア
ベスト〈セラー、テン〉
ペチコート
ペチュニア
ヘッジファンド

【ヒ】

ビアガーデン
ヒアリング
ビーナス
ピーナツ
ヒエラルキー
ビオトープ、バイオトープ
ビオラ
ピクチャー
ピクルス
ピケ
ビザ
ピザ
ビジュアル
ヒスパニック
ビタミンＢ１
ピックアップ
ビッグイベント
ビッグスリー
ピッコロ
ビデオ〈ディスク〉
ビニール
ビバーク
ビフィズス菌
ビブラフォン
ヒヤシンス
ピュア〈モルト〉
ヒューズ
ビューティー
ヒューマニティー
ヒューマン〈エラー〉
ピューレ
ビュッフェ
ピュリツァー賞
ピラニア
ピラミッド
ピリオド
ヒレ〈肉〉
ピロティ
ヒンズー教
ヒンディー語
ピンナップ

【フ】

ファースト〈レディー〉
ファーニチャー
ファイアウオール
ファイナンス
ファイバー
ファイル
ファインダー
ファインプレー
ファクス、ファクシミリ
ファジー
ファシズム
ファストフード△
ファッショ
ファッション〈ショー〉
ファミリー〈レストラン〉
ファン
ファンタスティック
ファンダメンタルズ＊
ファンデーション
ファンド
フィアンセ
フィーチャー
フィーバー
フィールドアスレチックス
フィギュア
フィクション
フィナーレ
ブイヤベース
フィヨルド
ブイヨン
フィラメント
フィランスロピー、フィランソロピー
フィルター
フィルタリング＊
フィルム
フーリガン
フェアプレー
フェイク
フェイスブック〔商標〕
フェイルセーフ
フェース
フェーン現象
フェスティバル
フェデラルファンド〈・レート〉
フェミニスト
フェルト
フェンダー
フォアグラ
フォークロア〔民間伝承、民俗学〕
フォービスム、フォービズム
フォーミュラカー

バードウオッチング
パートナー
ハードボイルド
ハーフウエー
パーフェクト
バーベキュー
バイアス
ハイウエー
バイオテクノロジー
バイオトープ、ビオトープ
バイオニア
バイオマス＊
バイオリン
ハイジャック
バイタリティー
ハイテク
パイナップル
ハイビジョン
ハイブリッド
バイリンガル
ハウツー
バウムクーヘン
バエリア、バエリヤ
バカンス
バキュームカー
バグ△
バクテリア
バグパイプ
バゲット〔パン〕
バケットシート
バケット通信
バザー、バザール
ハザードマップ
ハシシュ
バジリコ、バジル
パソコン
ハッカー
パッキン、パッキング
バッグ
バックグラウンド
パッケージ
バッジ
パッセンジャー
バッテリー
ハッピーエンド
パティシエ
バトントワラー
バニラ
ハネムーン
パネリスト〔パネラーは使わない〕
パネルディスカッション
パパイア
パパラッチ
ババロア
パビリオン
ハブ〈空港〉
バファロー△
パフォーマンス
パプテスト
パブリシティー
パブリックコメント＊
パブリックビューイング
バブル
バラード
バラエティー
パラドックス
パラボラアンテナ
バリアー△
バリアフリー△
バリウム
バリエーション
パリクラブ△
ハリケーン
パリジェンヌ
パリジャン
バリュー
パルチザン
バルブ
バレー〔球技〕
バレエ〔舞踊〕
ハロウィーン△
パロディー
バロメーター
パワーショベル△
パワハラ、パワーハラスメント
バンアレン帯
ハンカチ
ハンググライダー
バンジージャンプ
ハンチング〔帽子〕
ハンディ〈キャップ〉
ハンディー〈タイプ〉
パンティーストッキング
ハンティング〔狩猟〕
パンデミック（世界的大流行）
ハンドバッグ
ハンマー

ドーナツ
ドッジボール
ドット
ドップラー効果
トトカルチョ
ドナー
トパーズ
トムヤムクン
ドメイン
ドメスティックバイオレンス
トライアル
トライアングル
ドライバー
ドライブウエー
ドライヤー
トラウマ〔心的外傷〕
ドラスチック
ドラッグストア
トラベラーズチェック
ドラマチック
トランシーバー
トランジスタ△
トランジット
トランスポンダ△
トリアージ＊
ドリアン
トリミング
トリュフ
トルティーヤ
トレー
トレーサビリティー＊
トレーナー
トレーニング
トレッキング
トレンディー
トロフィー
トロリーバス

【ナ】

ナーバス
ナチュラル
ナツメグ
ナトリウム
ナビゲーター
ナルシシスト
ナルシシズム
ナレーション
ナンバーワン、ナンバー2、3…
ナンバリング
ナンプラー

【ニ】

ニアミス
ニーズ
ニッカーボッカー
ニッカド電池
ニュアンス
ニュートラル
ニューフェース

【ヌ】

ヌーディスト
ヌードル
ヌーベルバーグ

【ネ】

ネイル〈アート〉△
ネーチャー〔英科学誌はネイチャー〕
ネーティブ
ネービーブルー
ネーブル
ネームバリュー
ネオコン、ネオコンサーバティブ
ネオナチ
ネガティブ
ネグリジェ
ネックレス

【ノ】

ノイローゼ
ノウハウ△
ノーマライゼーション＊
ノーモア・ヒロシマ
ノスタルジア、ノスタルジー
ノブ
ノミネート
ノンストップ
ノンフィクション

【ハ】

バーカ
バーコード
バージョン〈アップ〉
パーソナリティー
バーター
バーチャル〈リアリティー〉
パーティー
バードウィーク
ハードウエア

チャンネル
チューブ
チューンアップ

【ツ】

ツアー〈コース〉
ツァー〔帝政ロシアの皇帝〕
ツイード
ツイスト
ツイッター〔商標〕
ツイン〈ルーム〉
ツートンカラー
ツーバイフォー△
ツーピース
ツーリスト
ツール
ツェツェバエ
ツンドラ

【テ】

ティー〈バッグ〉
Tシャツ
ディーゼルエンジン
ディーラー
ティーンエージャー
デイケア△
デイサービス△
ディスインフレ
ディスカウント〈セール、ショップ〉
ディスカッション
ディスクジョッキー
ディスクロージャー
ディスコ
テイスティング△
テイスト△
ディスプレー
ディスポーザー
ティッシュペーパー
ディテール
デイトレード△
ディナー
デイパック〔軽リュック〕△
ディベート
ディレクター
ディレッタント
〇〇デー
テークアウト
テークオフ
デーゲーム
デージー
データ〈ベース〉
デート
テーブル
テープレコーダー
テーラー
デーリー
テキスト
テクニシャン
テクニック
テクノロジー
デコレーション〈ケーキ〉
テコンドー
デジタル〈ディバイド〉
デジャビュ(既視感)
デッサン
デッドヒート
デッドロック
テディベア
デノミ、デノミネーション
デファクト〈スタンダード〉*
デフォルト*
デフォルメ
デフレ、デフレーション
デベロッパー
デポジット
デミグラスソース
デモ、デモンストレーション
デモクラシー
デュアル・モード・ビークル*
デュエット
デラウェア
テラピア△
デリバティブ
デリバリー
デレゲーション
テレビン油
テレポート
テレホンカード
テロリスト

【ト】

ドア
トイレタリー
ドゥ・イット・ユアセルフ
トーシューズ
トーテムポール
トートバッグ

ゼネスト、ゼネラルストライキ
セピア
ゼミ、ゼミナール
セミナー
ゼラチン
ゼラニウム
セラミック〈ス〉
ゼリー
セルフサービス
セレナーデ、セレナード
ゼロエミッション＊
ゼロサム〈ゲーム〉
ゼロシーリング
セロハン
セロリ
センサー
センセーション
センチメンタル
セントラル〈キッチン、ヒーティング〉

【ソ】

ソウル〈ミュージック〉
ソーシャル〈ワーカー〉
ソーセージ
ソーラー〈カー〉
ソール〔靴底など〕
ソサエティー
ソファ
ソフトウエア
ソムリエ

【タ】

ダークホース
ターゲット
ダーティー
ターボ〈ジェット〉
ダイイン
ダイエット
ダイオード
ダイカスト
ダイジェスト
タイドローン＊
ダイニング〈ルーム〉
ダイビング
タイムラグ
タイヤ〈チェーン〉
ダイヤ、ダイヤグラム
ダイヤ、ダイヤモンド
ダイヤル〈イン〉
ダイレクトメール
ダウンロード
タキシード
ダクト
タグボート
タスクフォース＊
ダックスフント
タックスヘイブン（租税回避地）
タッグマッチ
タッチ・アンド・ゴー
ダッフルコート
タトゥー△
ダビング
タブロイド
タペストリー
ダミー
ダメージ
タラップ
ダリア
タンクローリー
ダンディー
タンバリン、タンブリン
ダンピング
ダンベル

【チ】

チアリーダー
チーム〈メート〉
チェア〈パーソン〉
チェーンストア
チェーンソー
チェック〈アウト〉
チェロ
チェンジ
チケット
チター
チヂミ△
チック〈症〉
チップ
チフス
チマ・チョゴリ
チャーシュー
チャーター
チャーハン
チャット
チャパティ
チャリティー
チャレンジ

スイミングプール
スイング
スエード
スエット〈スーツ〉
スカイダイビング
スカウト
スカッシュ
スカラシップ
スキーム
スキミング*
スキャナー
スキューバ〈ダイビング〉
スクエア〈ダンス〉
スクラップ・アンド・ビルド
スクランブル〈エッグ〉
スクリーニング*
スケートボード
スケープゴート
スケジュール
スケルツォ
スケルトン
スコア〈ボード〉
スコール
スタグフレーション
スタジアム
スタジオ
スタッドレスタイヤ
スタッフ
スタディー
スタンドプレー
スチーム
スチール
スチューデント
スチルカメラ
スツール
ズック
スティック
ステータス
ステートメント
ステッカー
ステッキ
ステップ・バイ・ステップ
ステディー
ステンドグラス
ステンレス
スト、ストライキ
ストア
ストーカー
ストーリー
ストック
ストックヤード*
ストップウオッチ
ストライプ
ストラテジスト
ストレス
ストレッチャー
ストロベリー
ストロンチウム
スニーカー
スノーモービル
スパゲティ
スパナ
スピーディー
スピードアップ
スピンオフ
スフィンクス
スプリンクラー
スプレー
スペア
スペース
スペクタクル
スポークスマン
スポーツマンシップ
スポーティー
スマートフォン〔略語はスマホ〕
スムーズ
スモック〔服〕
スモッグ〔ばい煙〕
スライス
スライディング
スリーブ
スリッパ
スリップ
スレート
スロープ
スローモーション

【セ】

セーター
セーフガード*
セーフティーネット*
セーラー
セカンドオピニオン*
セキュリティー
セクシー
セクター
セクハラ、セクシュアルハラスメント
セックス〈チェック〉
ゼネコン、ゼネラルコントラクター

シースルー〈ルック〉
ジーパン
シームレス〈パイプ〉
シーリング〔概算要求基準〕
シーレーン
ジーンズ
シェア
シェイプアップ△
シェーカー
シェード
シェービングクリーム
ジェスチャー
ジェット〈エンジン〉
ジェネレーション
ジェノサイド＊
シェパード
シェルター
ジェンダー
ジェントルマン
シオニズム
ジオラマ
ジグソーパズル
シシカバブ
システマチック
ジステンパー
シチュー
シチュエーション＊
シック
シティー
シニア
シネラリア、サイネリア
シビア
シビリアンコントロール
ジフテリア
シミュレーション
シミュレーター
ジャージー
ジャーナリスティック
ジャーナリズム
シャーマニズム
シャーマン
ジャカード
シャシー
シャッター
シャドーキャビネット
シャトル
シャベル
ジャポニスム
シャンデリア
ジャンパー
シャンパン
シュア
シュークリーム
シューマイ
シュールレアリスム
ジュエリー〈デザイン〉
ジュエル
ジュニア
シュノーケル
シュプール
シュプレヒコール
シュラフ
ジュラルミン
ジョイントベンチャー
ショー〈ウインドー〉
ショートステイ
ジョギング
ショッピング
ショベルカー
ショルダーバッグ
シリアス
シリアル
シリコーン〔ケイ素樹脂〕
シリコン〔元素〕
シルエット
シルバー〈エージ〉
ジレンマ
シンガー・ソングライター
ジンギスカン鍋〔人はチンギスハン〕
シンクタンク
シングルファーザー
シングルマザー
シンジケート
ジンジャーエール
シンドローム
シンビジウム
シンフォニー
シンポジウム

【ス】

スイーツ
スイート〈ホーム、ポテト〉
スイートルーム〔一続きの部屋〕
スイートピー
スイッチ

ココナツ
ゴシック
コスチューム
コスメティック
コックピット
コットン
コップ、カップ
コテージ
コニャック
コミッション
コミューター
コミューン
コミュニケ
コミュニケーション
コミュニスト
コミュニティー
コメディー
コメンテーター
コラージュ
コラボレーション
コラムニスト
コルセット
コロシアム
コングロマリット
コンシェルジュ*
コンセプト
コンセンサス
コンソーシアム
コンチェルト
コンチネンタル
コンツェルン
コンディション
コンテナ
コンデンサー
コンテンツ
コンドミニアム
コンバーター
コンバーティブル
コンパクト
コンパチブル
コンビ、コンビネーション
コンビーフ
コンビナート
コンビニ、コンビニエンスストア
コンピューター
コンプライアンス*
コンプレックス
コンプレッサー
コンペ、コンペティション
コンペイトー
コンベヤー
コンポ、コンポーネントステレオ
コンボイ

【サ】

サーキット
サーディン
サーバー
サーベイ〈ランス〉*
サーモグラフィー
サーロインステーキ
サイエンス
サイエンティフィック
サイクロン
サイト
サイド〈ビジネス〉
サイネリア、シネラリア
サイバー〈空間、テロ〉
サイボーグ
サイホン
サウンドトラック
サクスホルン
サクソフォン、サックス
サジェスチョン
サッシ
サディスト
サテライト〈スタジオ〉
サバイバル〈ゲーム、レース〉
サファイア
サファリ〈ラリー〉
サプリミナル〈効果〉
サプリメント
サポート
サボタージュ
サマータイム
サミット
サラダボウル
サラブレッド
サリチル酸
サルビア
サルファ剤
サルベージ
サンクチュアリ
サンドイッチ
サンバイザー

【シ】

ジアスターゼ

キヨスク〔ＪＲ東日本以外のＪＲ売店〕
キルティング

【ク】

グアバ
クアハウス
クイーン
クーデター
クーリングオフ
クエーカー
クエスチョンマーク
クォーク△
クオータ〔割り当て〕
クオーター〔４分の１〕
クオーツ
クオリティー〈ペーパー〉
クッパ
クライアント
グラウンド
クラシック
クラス〈メート〉
グラスファイバー
グラビア
グラフィック〈ス〉
グラフィックデザイナー
グラフィティ
グランドソフトボール〔視覚障害者の野球〕
グランドデザイン＊
クリア
クリアランスセール
クリーニング
グリーンピース
クリエーティブ
クリスマス〈イブ、ケーキ、ツリー〉
クリニック
クルー
グルメ
グレー
クレーター
グレードアップ
クレープ
グレープジュース
クレジット
クレソン
クレバス
クレヨン
クローズアップ
クローゼット△
クローバー
グローバリゼーション
グローバル
クローン
クロスゲーム
クロスワードパズル
クロッカス
グロッギー
クロマニョン人
クロム
クロロホルム
クロワッサン

【ケ】

ケアマネジャー△
ケアレスミス
ゲイ
ケージ〔かご〕
ゲージ〔測定機器、軌道の幅〕
ケーススタディー
ケース・バイ・ケース
ケースワーカー
ケータリング
ゲート〈ボール〉
ケーブル〈テレビ〉
ゲルマニウム

【コ】

ゴーイング・マイウエー
コージェネレーション＊
コーチ、コーチャー
コーディネーター
コーティング
コーデュロイ
コードレス
コーナー
コーナリング△
コーポレーション
コーポレートガバナンス〈企業統治〉
ゴーヤー△
コールタール
ゴールデンレトリバー
コールレート
コーンフレーク
コカイン
コケティッシュ

オフシーズン
オブジェ
オフショア市場
オプション
オペレーター
オリエンテーション
オリジナリティー
オリジナル
オルタナティブ*
オンエア
オンデマンド*
オンパレード
オンブズマン
オンライン

【カ】

カーキ色
カーソル
カーチェイス△
カーディガン
ガーデニング
カートリッジ
カーナビ、カーナビゲーション
カーニバル
カーネーション
カーバイド
ガイドライン
カウボーイ
カウンセラー
カウンター
カオス
カシミヤ△
カジュアル〈ウエア〉
ガスクロマトグラフィー
カスタマイズ
カッティング
カップ、コップ
カドミウム
カトリック
カトレア
カナリア
カバリング
カフェ〈オレ、テリア〉
カマンベール
カムバック
カムフラージュ
カリカチュア
カリキュラム
カリフラワー
カルシウム
カルチャー
カルテット
ガレージ
カロテン
カンツォーネ
カントリー〈クラブ〉
カンバス、キャンバス〔画布など〕
ガンマ〈線〉

【キ】

ギア
キー〈パーソン、ホルダー〉
キウイ
キオスク〔売店。JR東日本の売店も〕
ギタリスト
キチン〔甲殻類の殻などの主成分〕
キッチン〔台所〕
ギブ・アンド・テーク
ギプス
ギャザー
キャスチングボート
キャスティング〔釣り、配役〕
キャッチ〈フレーズ〉
ギャップ
キャパシティー
キャビア
キャピタルゲイン
キャビネ
キャビン
キャプレター
ギャラ、ギャランティー
キャラクター
ギャラリー
キャリア〔経歴など〕
キャリアー〔保菌者、輸送関係〕
キャンディー、キャンデー
キャンバス、カンバス〔画布など〕
キャンパス〔学園〕
キャンプファイア
キャンペーン
キュービスム、キュービズム
キュービッド
ギョーザ

ウエスタン
ウエスト〔胴回り〕
ウエットスーツ
ウエディングドレス
ウエハー〔(集積回路の)基板〕
ウエハース
ウェブ〈サイト〉△
ウエルカム
ウオーキング〈シューズ〉
ウォーズ△
ウオーター〈シート、フロント〉
ウオーミングアップ
ウオッカ△
ウオッチ
ウスターソース△
ウラン、ウラニウム
ウレタン〈フォーム〉

【エ】

エアゾール〔噴霧式薬剤〕
エアメール
エアロビクス
エイジングケア
エイト
エージ〈シュート〉
エージェンシー
エージェント
エープリルフール
エーロゾル〔浮遊粉じん〕
エキサイト
エキシビション
エキストラ
エキスパート
エキセントリック
エキゾチシズム
エキゾチック
エクササイズ
エクスプレス
エグゼクティブ
エコ、エコロジー
エスカレーター
エスタブリッシュメント＊
エステティシャン
エステティック〈サロン〉
エスニック
エスプレッソ
エチュード
エチル〈アルコール〉
エックス線
エッセイスト
エッセー
エッセンス
エディター
エトランゼ
エポキシ樹脂
エリア
エルニーニョ現象
エレクトロニクス
エレベーター
エロチシズム
エロチック
エンジニア
エンゼル
エンターテイナー
エンターテインメント

【オ】

オイル〈シェール、ダラー〉
オーガニゼーション
オークション
オーストリッチ
オーソドックス
オーソリティー
オーダーメード
オーディオ
オーディション
オーデコロン
オートクチュール
オートマチック
オートミール
オートメーション
オーナー
オーバーラップ
オーバーラン
オープニング
オーボエ
オール・オア・ナッシング
オールマイティー
オキシダント
オクターブ
オシログラフ
オゾン
オピニオンリーダー＊
オファー
オフィシャル
オフィス
オブザーバー

アメニティー
アモルファス
アラカルト
アラモード
アリア
アルファ〈線〉
アルミニウム
アルミホイール〔車用品〕
アルミホイル〔台所用品〕
アレルギー
アロマセラピー△
アンダーウエア
アンタイドローン＊
アンチエイジング△
アンチテーゼ
アンチョビー
アンティーク
アンペア
アンモニア

【イ】

イージーオーダー
イコール
イスラム
イデオロギー
イニシアチブ
イニシャル
イノベーション＊
イブニングドレス
イベント
イミテーション
イメージ〈アップ、ダウン〉
イヤホン
イヤリング
イラストレーター
イリジウム△
イルミネーション
インキ〔印刷業界〕
インク〔筆記用〕
インサイダー
インジケーター
インストール
インストラクター
インスリン
インセンティブ＊
インター、インターチェンジ
インターナショナル
インターネット
インターバル
インターフェース
インターフェロン
インターホン
インターンシップ＊
インタビュアー
インタビュー
インタラクティブ＊
インテリ、インテリゲンチア
インテリア
インテリジェント〈ビル〉
インドア〈スポーツ〉
イントラネット
インバーター
インフォームドコンセント〔十分な説明と同意〕
インフォメーション
インフラ、インフラストラクチャー
インフレ、インフレーション
インプレッション
インボイス

【ウ】

ウイークデー
ウイークポイント
ウイークリー
ウィキペディア
ウイスキー
ウイット
ウイルス
ウィンウィン△＊
ウインク
ウイング
ウインター〈スポーツ〉
ウインチ
ウインド〔風〕
ウィンドウズ〔商標〕
ウインドー〔窓〕
ウインナ〈コーヒー、ワルツ〉
ウインナーソーセージ△
ウーマンリブ
ウーロン茶
ウエア
ウエアラブル〈端末〉
ウエーター
ウエート
ウエートレス
ウエーブ

外来語・片仮名語用例集

〈 〉派生語・複合語の例
( ) 訳語。必ず付けて用いる
〔 〕補足説明
△ 表記が紛れやすい語
＊ 使用頻度が高いが、外国語と外来語のボーダーライン上にあり日本語訳が定まらないもの。適当な説明を付けるか、言い換えを工夫する

【ア】

アーケード
アーティスト
アールデコ
アールヌーボー
アイコン
アイシャドー
アイデア
アイデンティティー
アイロニー
アウェー△
アウトソーシング＊
アウトドア
アウトレット
アカウンタビリティー＊
アカシア
アカペラ
アクシデント
アクセサリー
アクセス
アクティブ
アゲイン
アゲンスト△
アコースティック〈ギター〉
アコーディオン
アザレア
アシスタント
アスファルト
アスリート
アスレチック〈ス〉
アセスメント
アダージョ
アタッシェ〈ケース〉
アダプター
アットホーム
アップツーデート△
アップリケ△
アップルパイ
アドバイザー
アドバルーン
アドベンチャー
アトランダム
アドリブ
アドレス
アナーキー
アナウンサー
アナキスト
アナクロニズム
アナリスト
アナログ
アニメ、アニメーション
アパルトヘイト(人種隔離)
アバンギャルド
アフターケア
アフタヌーン△
アプローチ
アベレージ
アボカド
アポストロフィー
アボリジニ
アマチュア〈リズム〉
アムネスティ△
アメーバ
アメシスト

〔例外〕クォーク

(16) 語尾の -um は、なるべく「ウム」と書く。特に元素名はすべて「ウム」と書く。

〔例〕　アルミニウム　シンポジウム　ストロンチウム
　　バリウム　プルトニウム　ラジウム　リノリウム

〔例外〕コロシアム　スタジアム　プレミアム　モラトリアム

(17) 語尾が -ture の語は、原則として「チャー」で表す。

〔例〕　カルチャー　ジェスチャー　フィーチャー

〔例外〕カリカチュア　ミニチュア

(18) 2語からなる複合語には、原則として語間に中点「・」を付けない。ただし判読に困難な場合などは、この限りではない。

〔例〕　ウオーミングアップ　セクシュアルハラスメント

〔例外〕シンガー・ソングライター　チマ・チョゴリ

(19) 3語以上からなる複合語には、原則として語間に中点を付ける。ただし、それぞれの語の独立性が希薄で、判読に困難がない場合には中点を省略してもよい。

〔例〕　ギブ・アンド・テーク　ケース・バイ・ケース

〔例外〕アップツーデート

(20) 片仮名の地名・人名などの固有名詞と、一般外来語とが複合する場合は、その間に「・」を入れて区別を付ける。ただし固有名詞としての意識が既に薄れている場合には、この限りではない。

〔例〕　ノーモア・ヒロシマ　メード・イン・ジャパン

〔例外〕ディーゼルエンジン　パリクラブ

除き、「シェ、ジェ」で表す。
〔例〕 エージェント　オブジェ　ジェネレーション
シェパード　ジェントルマン
〔例外〕エンゼル　ゼネラル　ゼリー　ミルクセーキ

(11) 原音で「ティ、ディ、テュ、デュ」の音は、慣用の固定しているものを除き、「ティ、ディ、テュ、デュ」で表す。
〔例〕 オーソリティー　カーディガン　コスメティック
コンディション　パーティー　プロデューサー
〔例外〕イリジウム　コスチューム　ジレンマ　チューブ
デジタル　モチーフ　ロマンチック

(12) 原音で「フュ」の音は慣用の固定しているものを除き「フュ」で表す。
〔例〕 フュージョン　フューチャー
〔例外〕ヒューズ

(13) 原音で「トゥ、ドゥ」の音は、「ト、ド」または「ツ、ズ」で表す。
〔例〕 ツーピース　ツーリスト　ドライバー　トレーナー
トロフィー　ヒンズー教
〔例外〕タトゥー　ドゥ・イット・ユアセルフ

(14) 原音で「ウィ、ウェ、ウォ」の音は、慣用が固定している語を中心に「ウイ、ウエ、ウオ」と書き、原音に近く書き表す場合は「ウィ、ウェ、ウォ」と書く。
〔注〕外国の地名・人名の書き方とは異なる。
〔ウイ、ウエ、ウオと書く例〕
ウイット　ウインドー　ウエーブ　ウオーター　ウオッチ
ハイウエー
〔ウィ、ウェ、ウォと書く例〕
アウェー　ウィンウィン　ウェブ　ウォーズ
ハロウィーン
〔例外〕サンドイッチ　スイッチ　スイング　スエット

(15) 原音で「クァ、クィ、クェ、クォ」の音は「カ、キ、ケ、コ」または「クア、クイ、クエ、クオ」と書く。
〔例〕 イコール　キルティング　クイーン　クオーター
スカッシュ　スクエア

する。ただし外来語として「ン」を入れることが一般化しているものはそれに従う。

〔例〕　コミュニケ　サマータイム

〔例外〕チャンネル　ハンマー

(4) つまる音「ッ」は、原音ではっきりしているもの以外は省略する。ただし外来語として「ッ」を入れることが一般化しているものはそれに従う。

〔例〕　スパゲティ　ファクス　ルクス〔照度〕　ルネサンス

〔例外〕アットホーム　アップリケ　ルックス〔容姿〕

(5) 長音は、長音符号「ー」で表し、母音字を重ねたり、「ウ」を用いたりしない。

〔例〕　アーティスト　インストール　ツール

(6) 原音で二重母音の「エイ、オウ」は、長音での慣用が固定している語を中心に長音符号「ー」で表し、母音で表記するのが一般的な語は「エイ、オウ」と書く。

〔長音で書く例〕

エージシュート　オーナー　クラスメート　メーデー

レーン〔車線〕

〔母音で書く例〕

アンチエイジング　オウンゴール　デイサービス

ノウハウ　メイド〔お手伝い〕　メイン　レイン〔雨〕

〔例外〕ステンレス

(7) 原語（特に英語）の語尾の -er、-or、-ar などは、長音符号「ー」で表すのを原則とする。

〔例〕　インジケーター　オブザーバー　レギュラー

〔例外〕エンジニア　ギア　ジュニア

(8) 原語の語尾の -y は、原則として長音符号「ー」で表す。

〔例〕　アクセサリー　マホガニー　レパートリー

〔例外〕アムネスティ　サンクチュアリ

(9) イ列、エ列の音の次の「ア」は「ヤ」と書かずに「ア」と書くのを本則とする。

〔例〕　アカシア　ウエア　カナリア　スペア　リタイア

〔例外〕カシミヤ　コンペヤー　タイヤ　ロイヤルティー

(10) 原音で「シェ、ジェ」の音は、慣用の固定しているものを

外来語の書き方、用例

1. 外来語とは、元は外国語だが、日本語として使われるようになった語をいう。外来語には次のものも含まれる。

(1) 元の外国語と大きく異なる表記が固定化したもの
〔例〕 コーヒー スタジオ セーター ハンカチ ラジオ

(2) 新たに吸収され、外国語の趣を多分にとどめているもの
〔例〕 アイデンティティー エクササイズ

(3) 和製英語
〔例〕 アフターサービス ナイター ベースアップ

2. **一般化していない外国語は極力、使用を避ける。**新しい概念で適切な言い換えのないものや、専門語で分かりにくいものは、丸かっこし短い説明を入れるなど工夫する。

3. 以下に日本新聞協会新聞用語懇談会の表記基準を基にした統一表記を示す。用例には本社が独自に決めた表記が含まれている。

外来語は片仮名で書き、原音に近く、同時に日本人に読みやすい表記を用いる。ただし慣用の固定しているものは、これに従う。

外来語の短縮は固定化したものに限る。
〔例〕 インフレ パソコン

外国語起源でも古くから使われ外国語と感じさせないものは通常、平仮名で表記する。
〔例〕 たばこ かっぱ かるた

(1) 「ヰ、ヱ、ヲ、ヂ、ヅ」は使わない。
〔例外〕 チヂミ

(2) 「ヴァ、ヴィ、ヴ、ヴェ、ヴォ、ヴュ」は「バ、ビ、ブ、ベ、ボ、ビュ」で表す。
〔例〕 ウエーブ ダイビング デリバリー バイオリン
ベール ボーカル レビュー

(3) はねる音「ン」は、原音ではっきりしているもの以外は省略

年号	西暦	尊号
寛喜	1229	
貞永	1232	四条
天福	1233	
文暦	1234	
嘉禎	1235	
暦仁	1238	
延応	1239	
仁治	1240	
寛元	1243	後嵯峨
宝治	1247	後深草
建長	1249	
康元	1256	
正嘉	1257	
正元	1259	亀山
文応	1260	
弘長	1261	
文永	1264	
建治	1275	後宇多
弘安	1278	
正応	1288	伏見
永仁	1293	
正安	1299	後伏見
乾元	1302	後二条
嘉元	1303	
徳治	1306	
延慶	1308	花園
応長	1311	
正和	1312	
文保	1317	
元応	1319	後醍醐
元亨	1321	
正中	1324	
嘉暦	1326	
元徳	1329	
元弘	1331	
建武	1334	
延元	1336	
興国	1340	後村上
正平	1346	
建徳	1370	長慶
文中	1372	
天授	1375	
弘和	1381	
元中	1384	後亀山

年号	西暦	尊号
明徳	1390	後小松
応永	1394	称光
正長	1428	後花園
永享	1429	
嘉吉	1441	
文安	1444	
宝徳	1449	
享徳	1452	
康正	1455	
長禄	1457	
寛正	1460	
文正	1466	後土御門
応仁	1467	
文明	1469	
長享	1487	
延徳	1489	
明応	1492	
文亀	1501	後柏原
永正	1504	
大永	1521	
享禄	1528	後奈良
天文	1532	
弘治	1555	
永禄	1558	正親町
元亀	1570	
天正	1573	
文禄	1592	後陽成
慶長	1596	
元和	1615	後水尾
寛永	1624	明正
正保	1644	後光明
慶安	1648	
承応	1652	
明暦	1655	後西
万治	1658	
寛文	1661	
延宝	1673	霊元
天和	1681	
貞享	1684	
元禄	1688	東山
宝永	1704	
正徳	1711	中御門
享保	1716	
元文	1736	桜町

年号	西暦	尊号
寛保	1741	
延享	1744	
寛延	1748	桃園
宝暦	1751	
明和	1764	後桜町
安永	1772	後桃園
天明	1781	光格
寛政	1789	
享和	1801	
文化	1804	
文政	1818	仁孝
天保	1830	
弘化	1844	
嘉永	1848	孝明
安政	1854	
万延	1860	
文久	1861	
元治	1864	
慶応	1865	
明治	1868	明治
大正	1912	大正
昭和	1926	昭和
平成	1989	今上

北朝

年号	西暦	尊号
正慶	1332	光厳
暦応	1338	光明
康永	1342	
貞和	1345	
観応	1350	崇光
文和	1352	後光厳
延文	1356	
康安	1361	
貞治	1362	
応安	1368	
永和	1375	後円融
康暦	1379	
永徳	1381	
至徳	1384	
嘉慶	1387	
康応	1389	

〔注〕年号は各元年を示す。改元があった年はその年の最初から新しい元号、対応する西暦にしたが、1872（明治5）年までの旧暦と西暦には1カ月前後の違いがあるため注意が必要。尊号の欄は各年号に皇位にあった天皇をおおまかに示す。明治は1868年9月8日（旧暦）、大正は1912年7月30日、昭和は1926年12月25日、平成は1989年1月8日から。

年号・西暦対照表

年号	西暦	年号
仁和	885	光孝
寛平	889	宇多
昌泰	898	醍醐
延喜	901	
延長	923	
承平	931	朱雀
天慶	938	
天暦	947	村上
天徳	957	
応和	961	
康保	964	
安和	968	冷泉
天禄	970	円融
天延	973	
貞元	976	
天元	978	
永観	983	
寛和	985	花山
永延	987	一条
永祚	989	
正暦	990	
長徳	995	
長保	999	
寛弘	1004	
長和	1012	三条
寛仁	1017	後一条
治安	1021	
万寿	1024	
長元	1028	
長暦	1037	後朱雀
長久	1040	
寛徳	1044	後冷泉
永承	1046	
天喜	1053	
康平	1058	
治暦	1065	
延久	1069	後三条
承保	1074	白河
承暦	1077	
永保	1081	
応徳	1084	
寛治	1087	堀河
嘉保	1094	
永長	1096	
承徳	1097	
康和	1099	

年号	西暦	年号
長治	1104	
嘉承	1106	
天仁	1108	鳥羽
天永	1110	
永久	1113	
元永	1118	
保安	1120	
天治	1124	崇徳
大治	1126	
天承	1131	
長承	1132	
保延	1135	
永治	1141	近衛
康治	1142	
天養	1144	
久安	1145	
仁平	1151	
久寿	1154	
保元	1156	後白河
平治	1159	二条
永暦	1160	
応保	1161	
長寛	1163	
永万	1165	六条
仁安	1166	
嘉応	1169	高倉
承安	1171	
安元	1175	
治承	1177	
養和	1181	安徳
寿永	1182	
元暦	1184	後鳥羽
文治	1185	
建久	1190	
正治	1199	土御門
建仁	1201	
元久	1204	
建永	1206	
承元	1207	
建暦	1211	順徳
建保	1213	
承久	1219	仲恭
貞応	1222	後堀河
元仁	1224	
嘉禄	1225	
安貞	1227	

年号	西暦	年号
大化	645	孝徳
白雉	650	
		斉明
		天智
		弘文
		天武
朱鳥	686	持統
大宝	701	文武
慶雲	704	
和銅	708	元明
霊亀	715	元正
養老	717	
神亀	724	聖武
天平	729	
天平感宝	749	
天平勝宝	749	孝謙
天平宝字	757	淳仁
天平神護	765	称徳
神護景雲	767	
宝亀	770	光仁
天応	781	桓武
延暦	782	
大同	806	平城
弘仁	810	嵯峨
天長	824	淳和
承和	834	仁明
嘉祥	848	
仁寿	851	文徳
斉衡	854	
天安	857	
貞観	859	清和
元慶	877	陽成
仁和	885	光孝
寛平	889	宇多
昌泰	898	醍醐
延喜	901	
延長	923	
承平	931	朱雀
天慶	938	
天暦	947	村上
天徳	957	
応和	961	
康保	964	
安和	968	冷泉
天禄	970	円融
天延	973	
貞元	976	
天元	978	
永観	983	
寛和	985	花山
永延	987	一条
永祚	989	
正暦	990	
長徳	995	
長保	999	
寛弘	1004	
長和	1012	三条
寛仁	1017	後一条
治安	1021	
万寿	1024	
長元	1028	
長暦	1037	後朱雀
長久	1040	
寛徳	1044	後冷泉
永承	1046	
天喜	1053	
康平	1058	
治暦	1065	
延久	1069	後三条
承保	1074	白河
承暦	1077	
永保	1081	
応徳	1084	
寛治	1087	堀河
嘉保	1094	
永長	1096	
承徳	1097	
康和	1099	
長治	1104	
嘉承	1106	
天仁	1108	鳥羽
天永	1110	
永久	1113	
元永	1118	
保安	1120	
天治	1124	崇徳
大治	1126	
天承	1131	
長承	1132	
保延	1135	
永治	1141	近衛
康治	1142	
天養	1144	
久安	1145	
仁平	1151	
久寿	1154	
保元	1156	後白河
平治	1159	二条
永暦	1160	
応保	1161	
長寛	1163	
永万	1165	六条
仁安	1166	
嘉応	1169	高倉
承安	1171	
安元	1175	
治承	1177	
養和	1181	安徳
寿永	1182	
元暦	1184	後鳥羽
文治	1185	
建久	1190	
正治	1199	土御門
建仁	1201	
元久	1204	
建永	1206	
承元	1207	
建暦	1211	順徳
建保	1213	
承久	1219	仲恭
貞応	1222	後堀河
元仁	1224	
嘉禄	1225	
安貞	1227	
神武		武烈
綏靖		継体
安寧		安閑
懿徳		宣化
孝昭		欽明
孝安		敏達
孝霊		用明
孝元		崇峻
開化		推古
崇神		舒明
垂仁		皇極
景行		
成務		
仲哀		
応神		
仁徳		
履中		
反正		
允恭		
安康		
雄略		
清寧		
顕宗		
仁賢		

資料編 2

年号・西暦対照表 ―― 757
外来語の書き方、用例 ―― 755
外来語・片仮名語用例集 ―― 751
運動用語仮名表記 ―― 733
外国の地名・人名の書き方 ―― 728
外国地名一覧 ―― 714
樺太、千島の地名の書き方 ―― 682
外国人名表記例 ―― 681
人名等に使われる中国略字表 ―― 675
新聞略語集 ―― 671
世界のメディア ―― 642
計量単位の使い方 ―― 641
計量単位換算表 ―― 638
主な計量単位と種類 ―― 636
主な建造物・山岳 ―― 628

【も】
申し立て（法令用語）―― 609
もう一つのW ―― 8
「元」「前」の使い方 ―― 535
紋切り型表現 ―― 114
モンゴルなどの地名、人名 ―― 716
【や】
野菜表記 ―― 112
山の標高 ―― 628
【ゆ】
URLの書き方 ―― 533
【よ】
洋・漢数字の混在 ―― 548
洋・漢数字の使い分け例 ―― 553
容疑者・被告（法令用語）―― 611
「容疑者」の呼称 ―― 539
用語について ―― 113
用字について ―― 106
用字用語集 ―― 122
用字用語集使用の原則 ―― 122
用字用語集の凡例 ―― 122
用字用語集の記号 ―― 123
洋数字表記の仕方 ―― 543
洋数字を使うもの ―― 544
予算委員会などの質疑 ―― 502
読み方の難しい姓名 ―― 534
読み方の難しい地名 ―― 533
読み仮名とつづり ―― 500
読み仮名の付け方 ―― 106
読みやすい記事 ―― 113
【ら】
「来ー」「帰ー」「滞ー」などの使い方 ―― 533
ラオスの人名 ―― 715
【り】
リード ―― 8
立候補者名簿 ―― 508
略語、略称について ―― 113
略語集 ―― 671
略式起訴・微罪処分（法令用語）―― 611
略式手続き（法令用語）―― 611
略式命令（法令用語）―― 611
略歴 ―― 512
留置（法令用語）―― 598
留置施設（法令用語）―― 599
流通関連企業で会社名と店名が異なる例 ―― 592
料理記事の野菜表記 ―― 112
【る】
類型証拠（法令用語）―― 607
類語 ―― 114
【れ】
例外的表記を認めるとき ―― 7
0時の扱い方 ―― 529
歴史上の人物の敬称 ―― 537
歴代天皇一覧 ―― 757
列車名の書き方 ―― 118
列島・北から南から ―― 498
連体詞 ―― 108
連帯して（法令用語）―― 597
【ろ】
労役場留置（法令用語）―― 598
ローマ字略号 ―― 639
ローマ数字の表記 ―― 544
6要素と逆三角形 ―― 8
ロシア語の書き方 ―― 720
論戦の焦点 ―― 503
論戦のポイント ―― 503
【わ】
和解・示談（法令用語）―― 611
和製英語 ―― 755

評議・評決（法令用語）―― 610
病気（差別語）の言い換え ―― 490
病名・身体諸器官の表記例 ―― 612
平仮名使用 ―― 107
【ふ】
不快用語 ―― 490,495
不起訴（法令用語）―― 599
複合の語の送り仮名 ―― 97
副詞 ―― 108
複数の人称 ―― 513
符号 ―― 118
付審判請求（法令用語）―― 600
二つ以上の同音を書く場合 ―― 534
復権（法令用語）―― 597
物品・物体の助数詞 ―― 550
不当（法令用語）―― 597
付表 ―― 75
部分判決（法令用語）―― 609
不法（法令用語）―― 597
不法行為（法令用語）―― 597
不要な語 ―― 114
フランス語の書き方 ―― 723
文語調 ―― 7,113
文章について ―― 9
文中ルビ ―― 534
【へ】
「陛下」「殿下」「さま」 ―― 562
米穀年度 ―― 529
ベトナムの人名 ―― 715
片言政句 ―― 506
変更（法令用語）―― 610
弁護士・弁護人・訴訟代理人（法令用語）―― 610
編注 ―― 107,498,500,519,522
【ほ】
法案・条約・予算案 ―― 506
法令関連用語の使い分け ―― 597
ポーランド語の書き方 ―― 718
保護観察（法令用語）―― 605
保佐人・補助人・補佐人（法令用語）―― 601
保釈（法令用語）―― 605
補充裁判員（法令用語）―― 604
補助用言 ―― 108
北極海（北氷洋）―― 428,725
ポルトガル語の書き方 ―― 721
本会議の詳報 ―― 502
本籍地 ―― 515,519,524
【ま】
「前」「元」の使い方 ―― 536
紛らわしい送り仮名 ―― 101
紛らわしい会社名 ―― 590
紛らわしい地名 ―― 579
紛らわしい法令関連用語 ―― 597
マグニチュード ―― 630
交ぜ書き ―― 106,125,520,612
間違えやすい会社名 ―― 590
末尾編注 ―― 500,519
豆らんぷ ―― 499
丸かっこ内の読み仮名 ―― 520
丸かっこの使い方 ―― 119
マンション、アパートの名前、部屋号数の表記 ―― 532
満〇年 ―― 548
マンネリ表現 ―― 114
【み】
岬（崎、埼、碕）の名称 ―― 588
未成年後見人（法令用語）―― 601
未成年者の犯行、非行 ―― 537
見出し、リード ―― 8
見出しの基準 ―― 498
身分（差別語）の言い換え ―― 492
未明と深夜・早朝 ―― 531
民族（差別語）の言い換え ―― 493
【め】
命令（法令用語）―― 610
メートル法表記の基準 ―― 641
免職の書き方 ―― 512
面積の換算 ―― 638

統一用語 ―― 123
東欧語の書き方 ―― 718
同音異義語 ―― 114,125
登記・登録通りに書かない会社 ―― 591
東京特別区 ―― 576
東京特別区長選挙 ―― 510
動植物名の書き方 ―― 111
当選者の書き方 ―― 509
灯台名 ―― 588
読点の付け方 ―― 116
東南アジアの人名 ―― 715
道府県庁所在地 ―― 566
動物の助数詞 ―― 549
動物病名 ―― 625
動物名の比喩的表現 ―― 111
登録商標と言い換え ―― 593
時の人 ―― 501
特赦（法令用語） ―― 597
特定人物名の表記について ―― 107
特別抗告（法令用語） ―― 601
特別用語 ―― 124
匿名にした場合の注意点 ―― 539
所番地の書き方 ―― 532
取り消し（法令用語） ―― 610
取り調べ・事情聴取（法令用語） ―― 610

【な】

内閣や政党の人事に伴う略歴 ― 513
長さの換算 ―― 638
中点の付け方 ―― 117
夏時間 ―― 530
名前を伏せる場合 ―― 537
南極海（南氷洋） ―― 376,725
何時間ぶり ―― 530
何周年、何年ぶり ―― 548
難読姓名 ―― 534
難読地名 ―― 533
難病の表記 ―― 612

【に】

2語以上からなる外国の地名・人名の表記 ―― 726
二重否定 ―― 114
日時の書き方 ―― 527
日本新記録 ―― 560
日本の主な山の標高 ―― 628
日本の会計年度 ―― 528
認可（法令用語） ―― 599
人間の助数詞 ―― 549

【ね】

年月日の書き方 ―― 527
年号・西暦対照表 ―― 757
年代の書き方 ―― 527
年度の書き方 ―― 528
年齢の書き方 ―― 540
年齢早見表 ―― 裏見返し

【の】

農業関係の年度 ―― 529

【は】

破棄・取り消し・変更（法令用語） ―― 610
罰金・科料・追徴金・過料（法令用語） ―― 610
発言採録 ―― 507
発祥地 ―― 498
ハンガリー語の書き方 ―― 717
半期の表記 ―― 530
判決・決定・命令（法令用語） 610
判事・判事補（法令用語） ―― 604

【ひ】

被告（法令用語） ―― 611
懲罰処分（法令用語） ―― 611
微生物名（病気） ―― 624
必要的弁護事件（法令用語） ― 611
人の助数詞 ―― 549
秘密漏示罪（法令用語） ―― 606
表外漢字字体表 ―― 78
表外字・表外音訓の扱い ―― 106
表外字を含む皇室用語 ―― 563

政令指定都市 566
政令指定都市の区名 576
西暦の表記 527
世界新記録 560
世界の主な山の標高 628
世界のメディア 642
責任者、所在地 515
接続詞 108,117
セルビア・クロアチア語の書き方 718
前科・前歴（法令用語） 608
選挙の立候補、投開票 508
全国の市名・区名 566
全体判決（法令用語） 609
「千」と「1千」 543
「前」と「元」 535
船名の書き方 118
専門語を使う場合 113

【そ】

送検（法令用語） 609
捜査・捜索（法令用語） 608
総長（学長） 536
早朝・深夜・未明 531
俗語 495
即時抗告（法令用語） 601
訴訟代理人（法令用語） 610
その他の符号 119

【た】

大赦（法令用語） 597
体積の換算 637
対談 501
タイの人名 715
逮捕・送検（法令用語） 609
代名詞 107
代用監獄（法令用語） 599
単位語表示 629
単位の接頭語 636
団体の責任者 535
団地の表記 533
単独の語の送り仮名 94
談話 500

【ち】

チェコ語の書き方 717
「ぢ」「じ」、「づ」「ず」の使い分け用例集 90
知事選挙 510
千島列島の地名の書き方 682
地点の示し方 533
チベット、モンゴルなどの地名、人名 716
地名にある小文字の「ヶ」「ッ」の扱い 533
地名の書き方 532,579,728
地名のフル表記 532
地名を省略する場合 532
「ちゃん」の敬称 536
中・東欧語の書き方 718
中間判決・部分判決（法令用語） 609
中国語の書き方 717
中国人の読み仮名 525,716
中国略字表 675
仲裁人（法令用語） 609
【注】の使い方 500
朝鮮語の地名、人名 716
調停・仲裁（法令用語） 609
調停委員会（法令用語） 609
重複表現 114

【つ】

追徴金（法令用語） 610
通貨単位語 629

【て】

定型死亡記事 520
定型死亡記事の病名表記 520,612
提訴・申し立て・申請（法令用語） 609
摘発（法令用語） 600
電子メールのアドレス表記 533

【と】

ドイツ語の書き方 724

上告受理申し立て（法令用語） 607
詔書・お言葉 506
上訴・控訴・上告（法令用語） 607
証人・参考人（法令用語） 607
少年鑑別所送致（法令用語） 598
詳報 502
消滅時効（法令用語） 606
常用漢字の異体字 85, 87, 107
常用漢字の旧字体 87, 107
常用漢字表の字体 12, 13
省令（法令用語） 608
使用を避けたい隠語 496
職業（差別語）の言い換え 491
食品の書き方 112
所在地 515
助詞 108
助数詞適用の基準 549
女性暴行の被害者と名前の扱い 539
除斥期間（法令用語） 606
助動詞 108
署名原稿 7, 107, 548
署名原稿の略歴 514
資料編1 565
資料編2 758
新記録（スポーツ） 560
親告罪（法令用語） 604
人事 511, 516, 517
人種、民族（差別語）の言い換え 493
審母（法令用語） 598
心身障害（差別語）の言い換え 490
心神喪失・心神耗弱（法令用語） 608
心神喪失者等医療観察法（法令用語） 608
申請（法令用語） 609
身体器官 625
震度 634
新聞・放送・通信社人事 517
新聞漢字・仮名遣い 11
新聞記事の大原則 7
新聞略語集 671
新聞略語集（アルファベット） 659
新聞略語集（漢字・仮名） 671
人名、年齢の書き方 534
人名等に使われる中国略字表 675
人名用漢字 82
人名用漢字使用の例外 107
人名用漢字の字体の申し合わせ 87
人名を列記する場合の敬称 537
尋問（法令用語） 605
深夜・未明・早朝 531

【す】

数字表記の注意点 544
数字の書き方 543
数字の範囲を示す語 548
数字の表記例 553
数人を連記する場合 541
ズーム 113, 502
スペイン語の書き方 722
スポーツ障害、けが 625
スロバキア語の書き方 717

【せ】

星雲・星団・星名 111
世紀の表記 527
性差別表現の言い換え 494
星座名 110
精神障害者と名前の扱い 538
生徒、学生の区別 274
政党人事の略歴 513
政党名 502
成年後見制度（法令用語） 601
成年後見人（法令用語） 601
税務調査の事務年度 529
姓名の書き方 534
政令・省令（法令用語） 608
政令恩赦（法令用語） 597
政令市長選挙 510

語句の引用 ―― 118
5W1H ―― 8
国会関係 ―― 502
子どもへの差別表現 ―― 495
「故」の書き方 ―― 536
個別恩赦（法令用語） ―― 597
固有名詞の漢字表記 ―― 107
今週、来週の使い方 ―― 530
【さ】
「サー」の称号の表記 ―― 537,725
採決 ―― 505
再抗告（法令用語） ―― 601
在宅起訴（法令用語） ―― 599
裁判員（法令用語） ―― 604
裁判官・判事・判事補（法令用語） ―― 604
裁判上の和解（法令用語） ―― 611
座談会 ―― 501
差別語、不快用語 ―― 490
山岳の標高 ―― 628
参考人（法令用語） ―― 607
参考ルビ ―― 500
「さん」の敬称 ―― 522,536
【し】
時間の書き方 ―― 529
市況欄の野菜表記 ―― 112
事件、事故報道の呼称 ―― 539
時差表 ―― 表見返し
自首・出頭・首服（法令用語） 604
事情聴取（法令用語） ―― 610
辞職、免職の書き方 ―― 512
示談（法令用語） ―― 611
市長選挙 ―― 510
十干 ―― 531
実況見分（法令用語） ―― 601
執行猶予・保護観察（法令用語） ―― 605
質問・尋問・供述・証言（法令用語） ―― 605
指定難病 ―― 612
児童、生徒、学生の区別 ―― 274
「氏」の敬称 ―― 522,536
四半期の表記 ―― 530
死亡記事の書き方 ―― 519
死亡記事の基準 ―― 519
死亡記事の統報 ―― 525
死亡記事の注意事項 ―― 522
死亡記事のフォーム ―― 519
死亡時の肩書 ―― 522
死亡者の経歴、業績 ―― 526
死亡場所の表記 ―― 523
事務年度 ―― 529
市名一覧 ―― 566
締めくくり総括質疑 ―― 502
社外執筆者の署名原稿 7,107,548
釈放・保釈・仮釈放（法令用語） ―― 605
事由（法令用語） ―― 604
住所、職業、姓名、年齢の順序 ―― 541
修飾語 ―― 9
住所の書き方 ―― 532,537,539
集中審議 ―― 502
十二支 ―― 531
住民訴訟・住民監査請求（法令用語） ―― 605
熟字訓 ―― 75,123
主語と述語 ―― 9
受章・受賞者の略歴 ―― 514
首相動静 ―― 507
出身地 ―― 515,524
取得時効・消滅時効・除斥期間（法令用語） ―― 606
守秘義務・秘密漏示罪（法令用語） ―― 606
叙位叙勲 ―― 508
証言（法令用語） ―― 605
証拠・証拠能力（法令用語） ―― 606
畳語 ―― 119
証拠開示（法令用語） ―― 607

疑問符 ―― 116
逆三角形 ―― 8
却下（法令用語） ―― 598
旧字体 ―― 85, 87, 107
教育漢字 ―― 12
供述（法令用語） ―― 605
強制起訴（法令用語） ―― 600
脅迫・強迫（法令用語） ―― 599
業務関係の年度 ―― 529
許可・認可（法令用語） ―― 599
許可抗告（法令用語） ―― 601
虚偽文書・偽造文書（法令用語） ―― 599
緊急逮捕（法令用語） ―― 609

【く】

句点の付け方 ―― 115
句読点 ―― 115
繰り返し符号 ―― 118
クレジット ―― 499
勲章の種類 ―― 508
「君」の敬称 ―― 536

【け】

刑期の書き方 ―― 531
敬語の使用（皇室用語） ―― 562
経済関係複合語組み合わせ表 ― 103
経済関係複合語の送り仮名 ― 102
警察用語 ―― 114, 496
形式名詞 ―― 108
刑事施設・留置施設・代用監獄（法令用語） ―― 599
刑事責任能力（法令用語） ― 608
敬称の使い方 ―― 536, 559
「京城」の表記 ―― 494, 716
敬称を付けない場合 ― 537, 559
刑の時効（法令用語） ―― 602
刑の執行の免除（法令用語） ― 597
計量単位 ―― 636
計量単位換算表 ―― 638
計量単位の使い方 ―― 641
決算 ―― 515
決定（法令用語） ―― 610
検挙・摘発（法令用語） ―― 600
減刑（法令用語） ―― 600
減刑・減軽（法令用語） ―― 600
現行犯逮捕（法令用語） ―― 609
検察官・検事（法令用語） ― 600
検察審査会・付審判請求（法令用語） ―― 600
建造物の数字 ―― 628
現代仮名遣い ―― 88
県庁所在地市長選挙 ―― 510
限定用語 ―― 124
現場検証・実況見分（法令用語） ―― 601

【こ】

工芸品の表記 ―― 99
後見人・保佐人・補助人・補佐人（法令用語） ―― 601
抗告・異議（法令用語） ―― 601
口語文に交じりやすい文語 ― 113
高裁一審の事件・訴訟（法令用語） ―― 601
公示・告示（法令用語） ―― 602
皇室だけに使われる特別な敬語や用語 ―― 563
皇室用語について ―― 562
皇室用語の表記例 ―― 564
厚生労働省指定難病の表記 ― 612
控訴（法令用語） ―― 607
公訴時効・刑の時効（法令用語） ―― 602
公訴の提起（法令用語） ―― 599
公判・口頭弁論（法令用語） ― 603
公判請求（法令用語） ―― 599
公判前整理手続き（法令用語） 603
勾留・勾留理由開示手続き・拘留（法令用語） ―― 603
告示（法令用語） ―― 602
告訴・告発（法令用語） ―― 603
国内記事の発信地 ―― 498

外国の皇帝、王、法王、貴族の称号 536
外国の州、市、山、川などの表記 726
外国の地名・人名の書き方 728
外国名の表記 725
会社人事 516
会社名と店名が異なる例 592
外債関係のクレジット 499
解説 499
外電記事の時刻 530
外来語の書き方、用例 755
外来語の使用を避ける場合 755
外来語表記の基準 755
外来語・片仮名語用例集 751
会話・語句の引用 118
書き方の基本 105
かぎかっこの使い方 9,115,118
各競技の新記録 560
各自・各・連帯して（法令用語） 597
学術用語 110,123
学生、生徒の区別 274
学長（総長） 536
閣僚人事の略歴 513
加工・調理した動植物 112
箇条書き 9,498
数え方が紛らわしいもの 549
数え方の基準 548
肩書の書き方 508,516,522,534
片仮名使用 109
かっこ内の読み仮名 520
活用のある語の送り仮名 94
活用のない語の送り仮名 96
樺太、千島の地名の書き方 682
仮釈放（法令用語） 605
仮処分・仮差し押さえ・仮執行（法令用語） 598
科料・過料（法令用語） 610
漢・洋数字の混在 548
漢・洋数字の使い分け例 553
簡易慣用字体 78
官界や経済界の人事異動に伴う略歴 512
監護・親権（法令用語） 598
韓国・朝鮮人の読み仮名 525,716
韓国語・朝鮮語の地名、人名 716
漢語調 114
漢字書きにできる熟字訓の送り仮名 100
漢字使用 106
漢字表 12
漢数字主体の表記（参考） 558
漢数字使用の例 546
感染症法の対象病名 612
感嘆符 116
監置・留置（法令用語） 598
官庁人事 511
官庁用語 114
鑑定留置（法令用語） 598
感動詞 108
感動表現 109
慣用表記 123

【き】

議員の敬称 502
擬音語・擬声語 109
期間の経過を示す語 548
棄却・却下（法令用語） 598
企業名の書き分け 590
寄稿 7,107,548
期日間整理手続き（法令用語） 603
記事の書き方 8
記事の行数基準 498
記事のフォーム 498
擬声語 109
起訴・不起訴・起訴猶予（法令用語） 599
偽造文書（法令用語） 599
擬態語 109
基本的質疑 502

索引

【あ】
曖昧な数の表記 546
曖昧表現 9
アジア新記録 561
足かけ○年 548
当て字 75, 109
あと○年 549
アパートの名前、部屋号数の表記 532
アフリカの言語の書き方 715
誤りやすい語句 479
【い】
委員会などの単独記事 505
異議（法令用語） 601
異字同訓 114, 125
異体字 85, 87, 107, 508
イタリア語の書き方 723
一問一答 501
一般市長選挙 510
一般死亡記事 520
一般病名 612
一般用語 124
違法・不法・不当（法令用語） 597
隠語 495
インターネットのアドレス表記 533
インタビュー記事の略歴 514
引用符 118
陰暦月異名 531
【う】
「氏」の敬称 522, 536
運動記事の書き方 559
運動記事のフォーム 559
運動選手の呼称 559
運動用語仮名表記 733
【え】
英語の書き方 725
えと 165, 531
【お】
送り仮名の付け方 94
送り仮名を付けない経済用語 99, 102
送り仮名を付けない語 96
送り仮名を付けない複合名詞 98
送り過ぎ（送り仮名）の例 101
送り不足（送り仮名）の例 101
お茶葉 506
踊り字 118
各（法令用語） 597
重さの換算 637
主な計量単位と種類 636
主な建造物・山岳 628
主な岬、崎、埼、碕 588
主に使う単位 640
恩赦・大赦・特赦（法令用語） 597
温度の換算 637
【か】
海外記事の発信地 499
会計年度 528
外国王室と敬語 563
外国語の二重母音の表記 726, 754
外国語別の表記 725
外国人の姓名の表記 726
外国人名・地名、外来語 109
外国人名表記例 681
外国地名一覧 714
外国名の略記 725

記者ハンドブック 第13版

新聞用字用語集

発行日 —— 1956年11月 1 日 初版第1刷発行
1961年 8 月20日 改訂増補版第1刷発行
1973年 6 月 1 日 改訂新版第1刷発行
1981年 9 月16日 第 4 版第1刷発行
1985年10月12日 第 5 版第1刷発行
1990年 3 月12日 第 6 版第1刷発行
1994年 3 月15日 第 7 版第1刷発行
1997年 4 月15日 第 8 版第1刷発行
2001年 3 月15日 第 9 版第1刷発行
2005年 3 月15日 第10版第1刷発行
2008年 3 月17日 第11版第1刷発行
2010年10月28日 第12版第1刷発行
2016年 3 月24日 第13版第1刷発行
2016年 5 月26日 第13版第2刷発行

編著者 一般社団法人共同通信社 ©Kyodo News 2016, Printed in Japan
装丁 中島雄太（中島雄太デザイン室）
発行人 佐藤雄二郎
発行所 株式会社共同通信社
〒105-7208 東京都港区東新橋 1-7-1 汐留メディアタワー
電話 03（6252）6021
印刷所 大日本印刷株式会社

乱丁・落丁本は送料小社負担でお取り換えいたします。
ISBN 978-4-7641-0687-1 ※定価はカバーに表示してあります。

本書のコピー、スキャン、デジタル化等無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することは、個人や家庭内での利用であっても著作権法違反となり、一切認められておりません。